

青森県埋蔵文化財調査報告書第143集

# 富ノ沢(2)遺跡Ⅴ

発掘調査報告書(3)

平成3年度

青森県教育委員会



青森県埋蔵文化財調査報告書第143集

# 富ノ沢(2)遺跡Ⅴ

発掘調査報告書(3)

平成3年度

青森県教育委員会



# 目 次

序	
例 言	
目 次	
第I章 調査に至る経過と調査要項	1
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査要項	2
第II章 調査の概要	7
第1節 調査の方法	7
第2節 調査の概要	7
第3節 遺物の分類	8
第III章 遺跡の地形と層序	10
第1節 遺跡の周辺の地形	10
第2節 遺跡周辺の基本層序	12
第IV章 検出遺構	14
第1節 富ノ沢(2)遺跡の検出遺構と出土遺物	14
(1) 住居跡	14
(2) 屋外炉	1156
(3) 配石遺構	1165
(4) 埋設土器	1178
(5) 溝状遺構	1180
(6) 小ピット群	1181

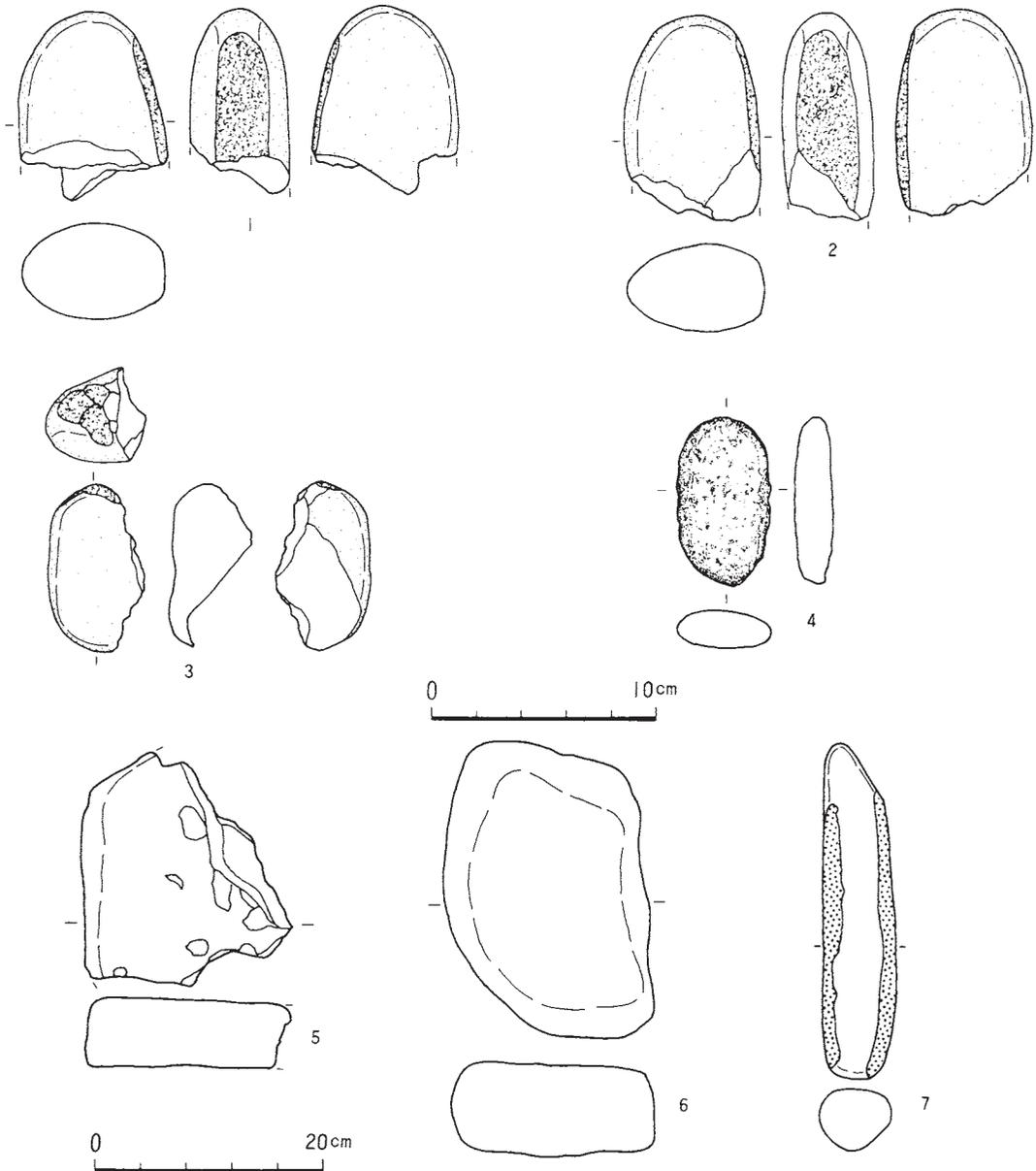


第341号住居跡 (第825~828図)

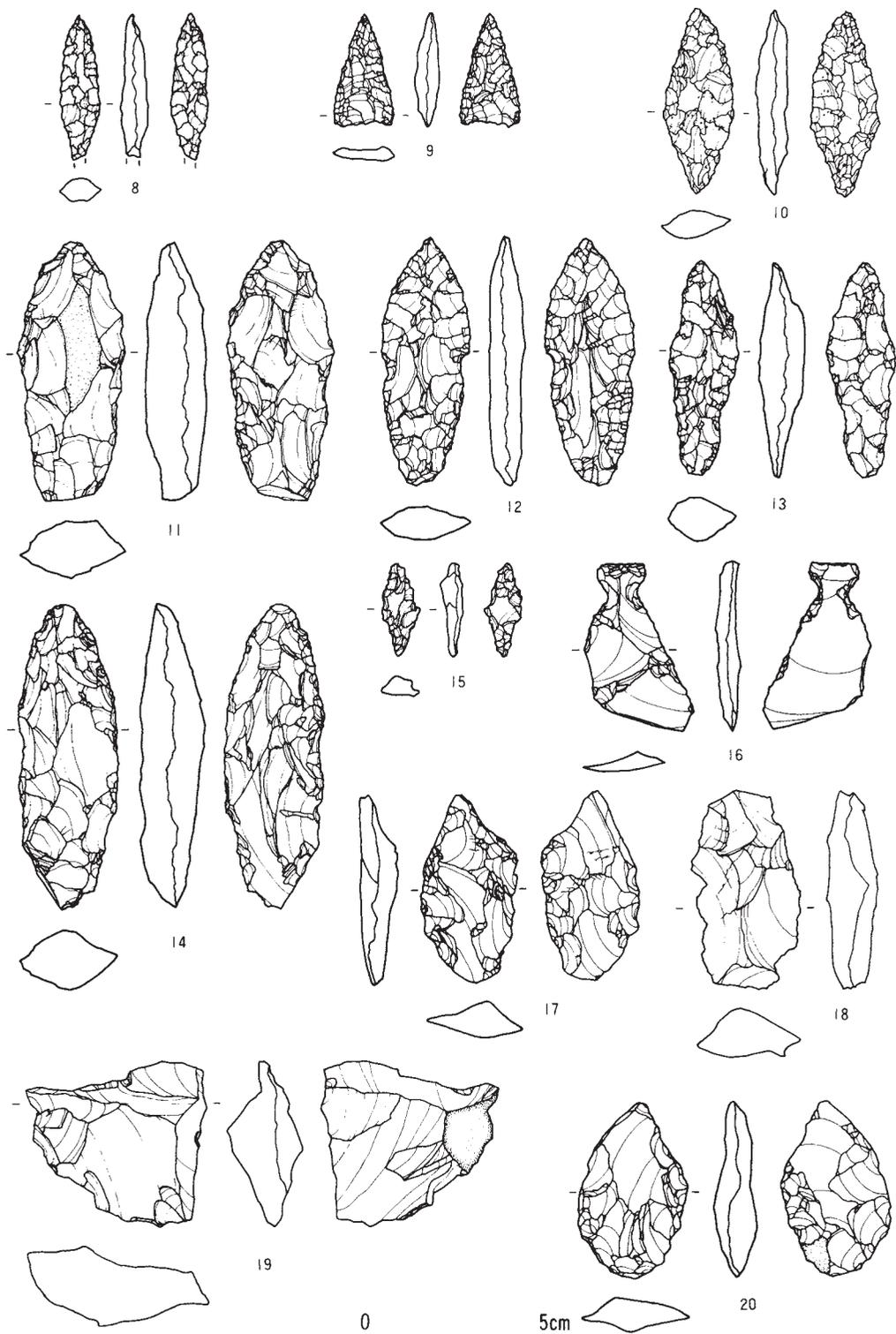
<位置と確認> 調査区の南側斜面のCW-117、118グリッドに位置する。第220号住居跡の床面下に本住居跡の落ち込みを確認した。

<重複> 第220号住居跡、第543号~546号土壌より新しく、第343号住居跡との新旧関係は不明である。

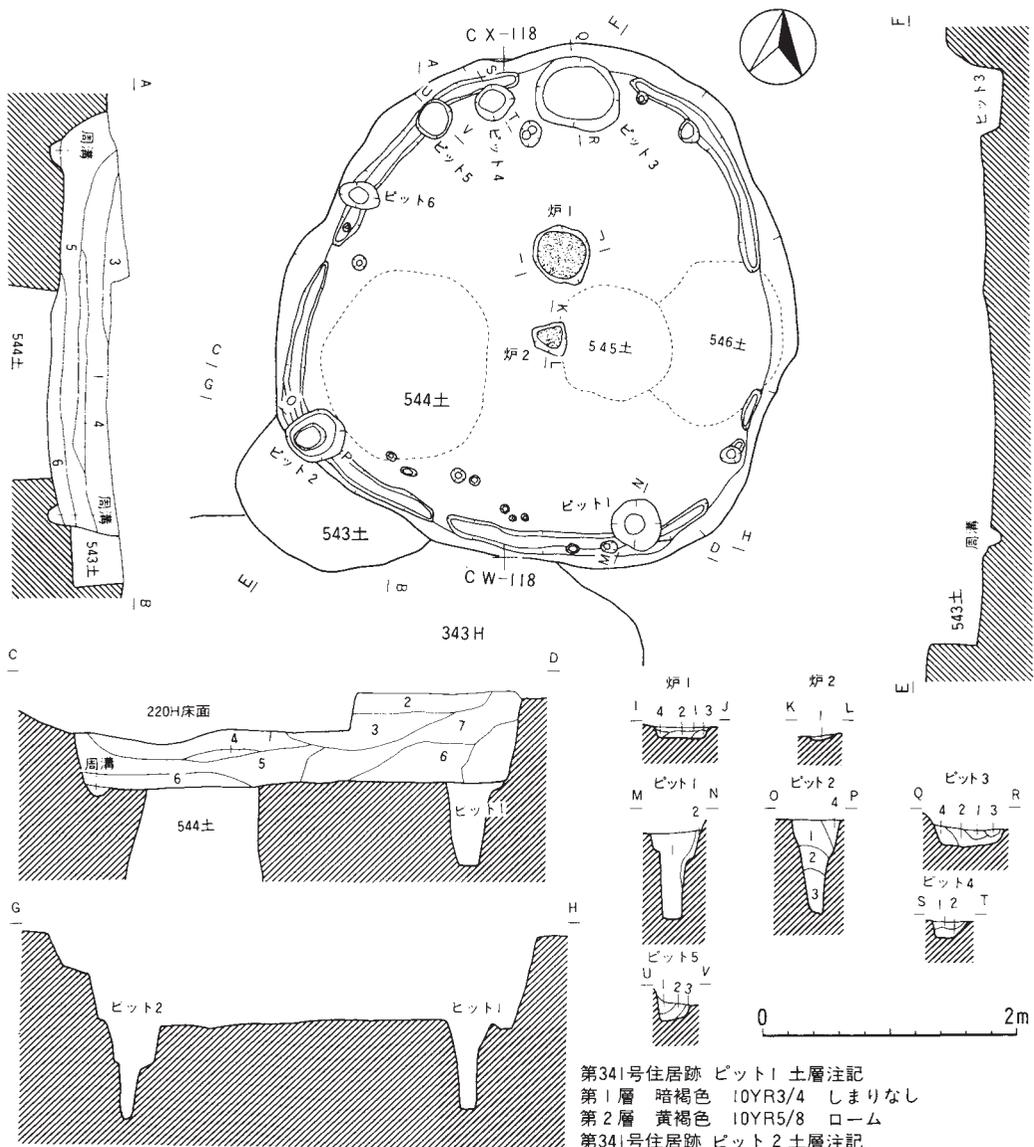
<平面形・規模> 楕円形で、規模は長軸3m70cm、短軸3m50cmである。床面積は31.7㎡である。



第825図 第341号住居跡(1)



第826图 第341号住居迹(2)



第341号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 φ5mm炭化材少量
- 第2層 褐色 10YR4/6 φ5mm炭化材少量
- 第3層 褐色 10YR4/4 φ5mm焼土微量
- 第4層 黄褐色 10YR5/8 ローム粒多量
- 第5層 褐色 10YR4/6 φ5mmL.B微量
- 第6層 黄褐色 10YR5/6 φ5~10mm炭化材所々
- 第7層 暗褐色 10YR3/4 φ5mm炭化材少量
- 第8層 褐色 10YR4/6 φ5mm炭化材少量

第341号住居跡 炉1 土層注記

- 第1層 暗赤褐色 5YR3/6 焼土
- 第2層 赤褐色 5YR4/6 焼土
- 第3層 褐色 7.5YR4/4 炭化粒、焼土粒少量
- 第4層 褐色 10YR4/6 炭化粒、焼土粒微量

第341号住居跡 炉2 土層注記

- 第1層 暗赤褐色 2.5YR3/6 焼土

第341号住居跡 ピット1 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 しまりなし
- 第2層 黄褐色 10YR5/8 ローム

第341号住居跡 ピット2 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量。しまりなし
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量。しまりなし
- 第3層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量。しまりなし
- 第4層 黄褐色 10YR5/8 ローム

第341号住居跡 ピット3 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化粒極微量
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第3層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量
- 第4層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量

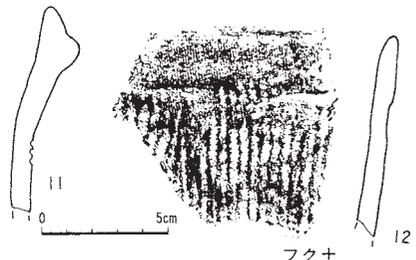
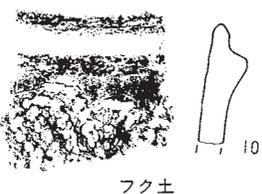
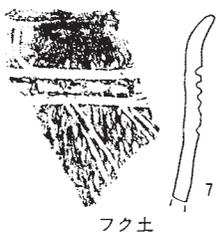
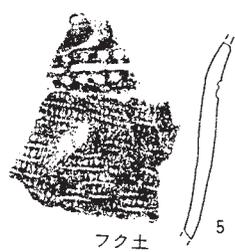
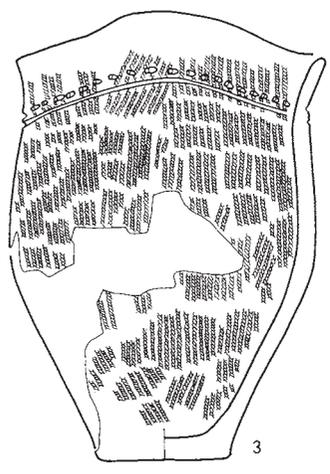
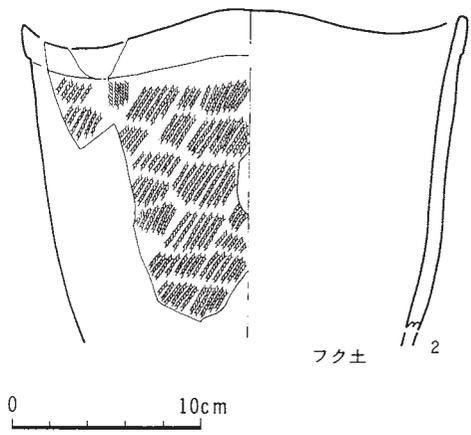
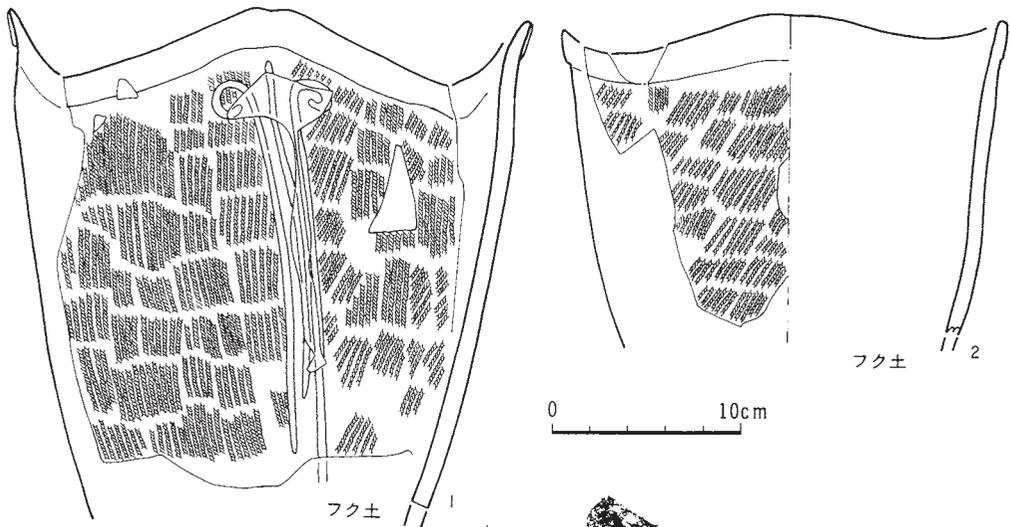
第341号住居跡 ピット4 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/6 炭化粒多量
- 第2層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量

第341号住居跡 ピット5 土層注記

- 第1層 黄褐色 10YR5/6 炭化粒微量
- 第2層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量
- 第3層 黄褐色 10YR5/6 ローム

第827図 第341号住居跡(3)



第828図 第341号住居跡(4)

<壁・床面> 各壁ともほぼ垂直に立ち上がり比較的堅緻である。壁高は東壁70cm、西壁39cm、南壁46cm、北壁37cmである。床面は重複のため凹凸が激しいが堅緻である。

<壁溝> 壁直下に沿って途切れ途切れの壁溝が確認された。幅10～18cmで、深さ5～10cmである。

<柱穴> 壁際でピットが確認した。配置、規模等からP<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>、P<sub>6</sub>が支柱穴の可能性が高い。ピットの深さはP<sub>1</sub>…70cm、P<sub>2</sub>…76cm、P<sub>6</sub>…63cmである。

<炉> 住居跡の若干北側で地床炉(炉1)を確認した。規模は長軸50cm、短軸45cm、深さ8cmである。炉1から50cm南側で地床炉(炉2)が床面下から確認した。長軸27cm、短軸25cmであり、造り替えによるものと思われる。

<特殊施設> 認められない。

<堆積土> 全体的にレンズ状に堆積している。自然堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 土器は覆土から榎林式土器、最花式土器が出土している。石器は床面から石鏃1点、石皿・台石類2点、床面直上から石皿・台石類1点、覆土から石鏃1点、ピエス・エスキュー1点、総数6点出土している。

<小結> 出土した土器及び住居の形態等を考慮すると、本住居跡は榎林式期、最花式期に構築された可能性が高い。(三浦 孝仁)

### 第343号住居跡(第829～831図)

<位置と確認> 調査区の南側斜面のCV-118グリッドに位置する。第347号、414号住居跡等を精査中に確認した。

<重複> 第347号、414号住居跡、第547号、682号土壌より新しい。第220号、345号住居跡より古い。第341号住居跡、第543号土壌との新旧関係は不明である。

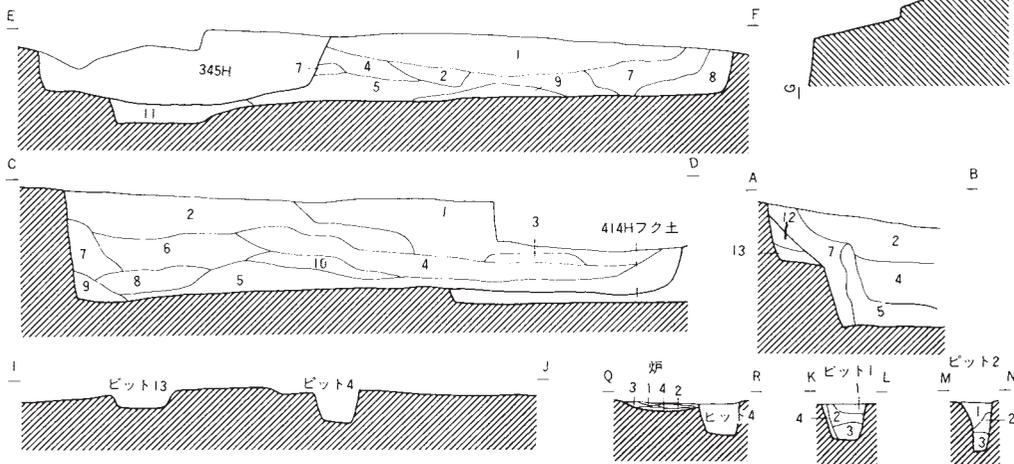
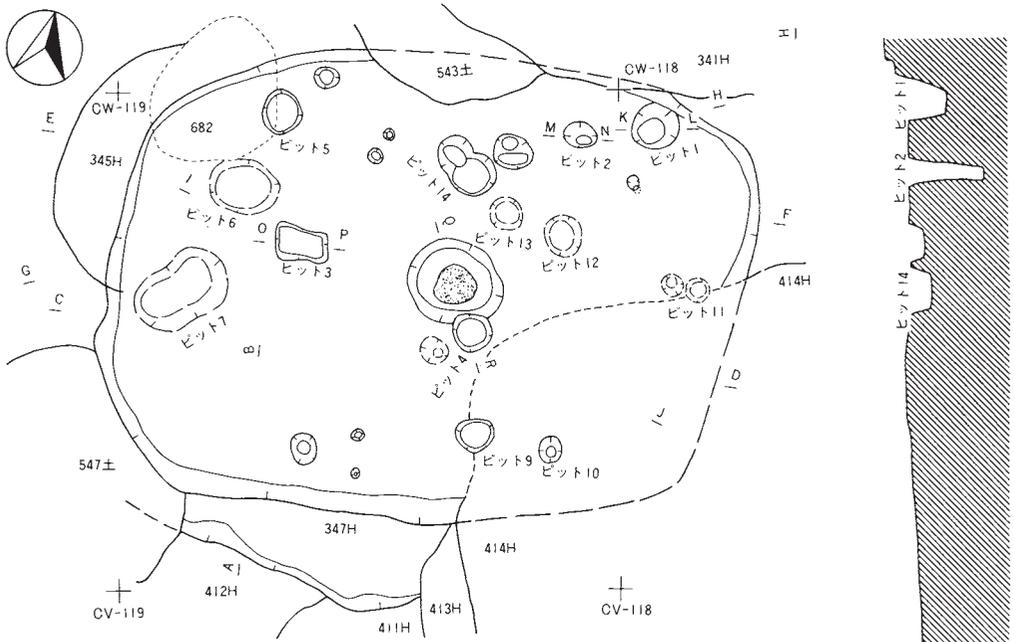
<平面形・規模> 東西に長い隅丸長方形で、規模は長軸4m90cm、短軸3m60cmである。

<壁・床面> 各壁ともほぼ垂直に立ち上がり堅緻である。壁高は東壁35cm、西壁85cm、南壁50cm、北壁8cmである。床面は北西部で凹凸が激しいもの他ではほぼ平坦で堅緻である。

<壁溝> 認められなかった。

<柱穴> 本住居跡の床面から大小多数のピットを検出した。配置、規模等からP<sub>2</sub>、P<sub>5</sub>、P<sub>8</sub>、P<sub>10</sub>が支柱穴の可能性が高い。深さはP<sub>1</sub>…31cm、P<sub>2</sub>…62cm、P<sub>3</sub>…15cm、P<sub>4</sub>…35cm、P<sub>5</sub>…62cm、P<sub>6</sub>…34cm、P<sub>7</sub>…14cm、P<sub>8</sub>…68cm、P<sub>9</sub>…13cm、P<sub>10</sub>…60cm、P<sub>11</sub>…17cm、P<sub>12</sub>…17cm、P<sub>13</sub>…46cm、P<sub>14</sub>…22cmである。

<炉> 住居跡のほぼ中央から地床炉を1基確認した。比較的規模が大きく長軸80cm、短軸67cmで深さは5cmである。第4層上面が火床面である。



第343号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物少量。焼土微量
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化物少量。焼土微量
- 第3層 褐色 10YR4/6 炭化物微量。焼土微量
- 第4層 黒褐色 10YR2/3 炭化物少量。焼土微量
- 第5層 褐色 10YR4/6 炭化物少量。焼土極微量
- 第6層 暗褐色 10YR3/4 炭化物少量。焼土極微量
- 第7層 黄褐色 10YR5/6 炭化物少量。焼土極微量
- 第8層 暗褐色 10YR3/4 炭化物少量。焼土極微量
- 第9層 褐色 10YR4/6 炭化物少量。焼土微量
- 第10層 暗褐色 10YR3/4 炭化物多量。焼土微量

第347号住居跡土層注記

- 第12層 黄褐色 10YR5/8 ローム
- 第13層 褐色 10YR4/6 ロームまばら

第343号住居跡 炉土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/6 焼土粒微量
- 第2層 褐色 10YR4/6 焼土粒少量
- 第3層 暗赤褐色 5YR3/6 焼土粒多量
- 第4層 赤褐色 5YR4/8 焼土

第343号住居跡 ピット1 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/6 ローム粒中量
- 第2層 褐色 10YR4/6 φ10mmL.B少量
- 第3層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒中量
- 第4層 黄褐色 10YR5/8 ローム質

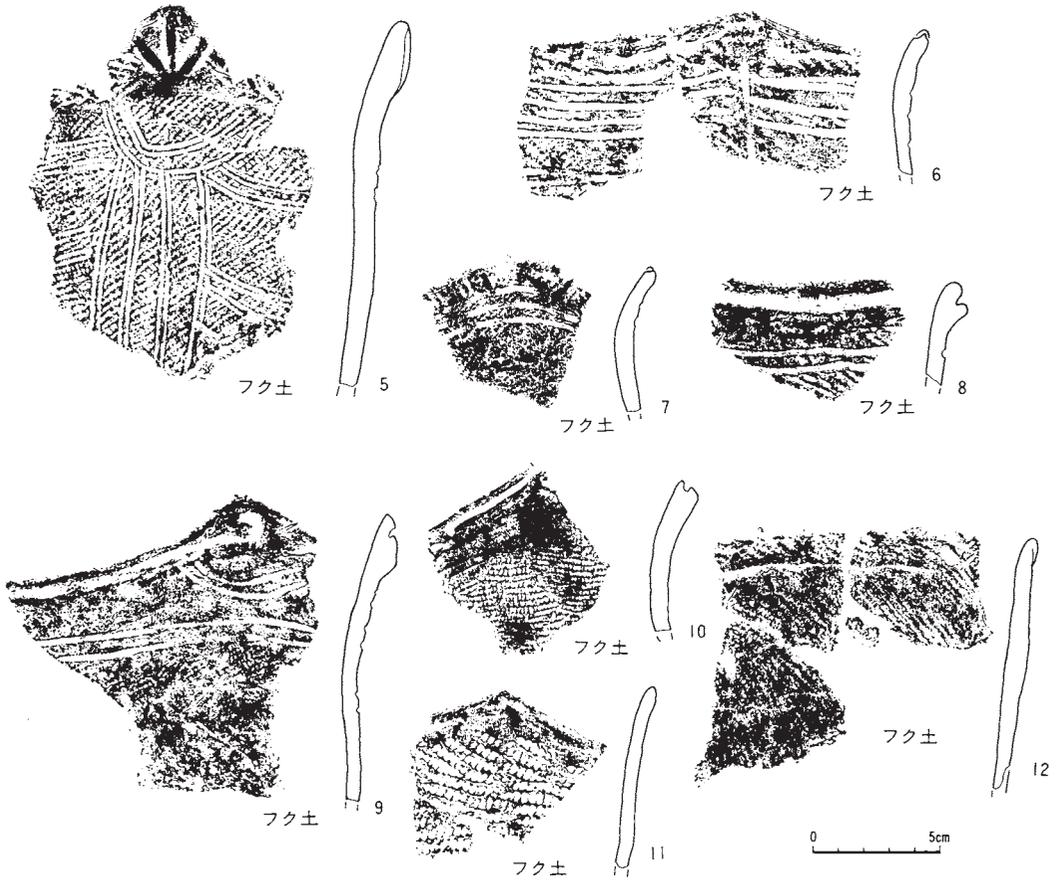
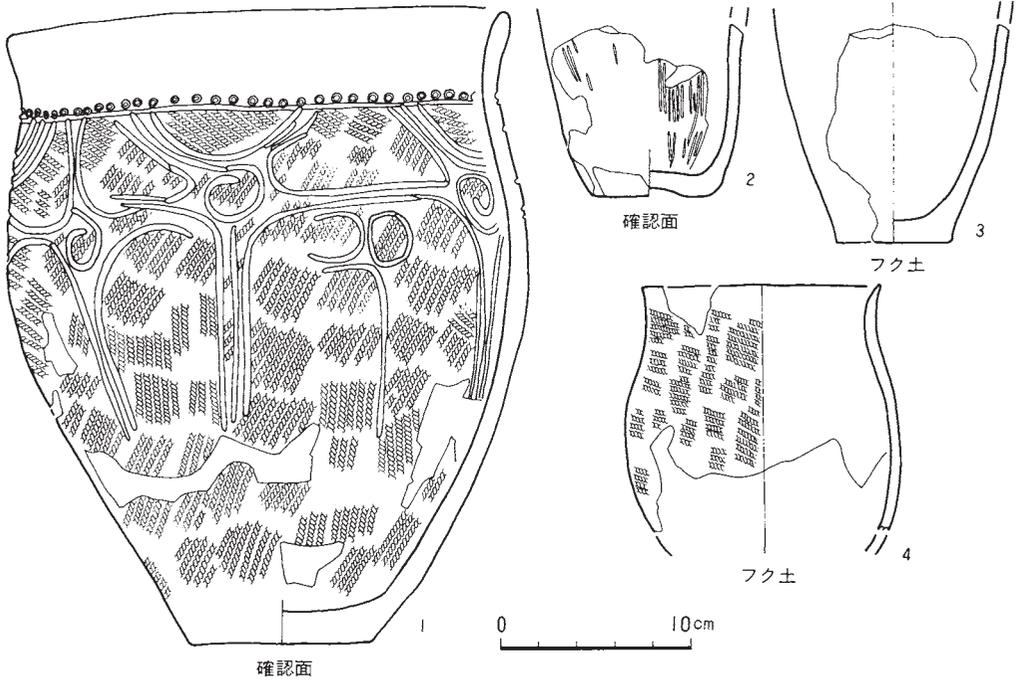
第343号住居跡 ピット2 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒中量
- 第2層 褐色 10YR4/6 ローム粒多量
- 第3層 黄褐色 10YR5/8 ローム粒多量

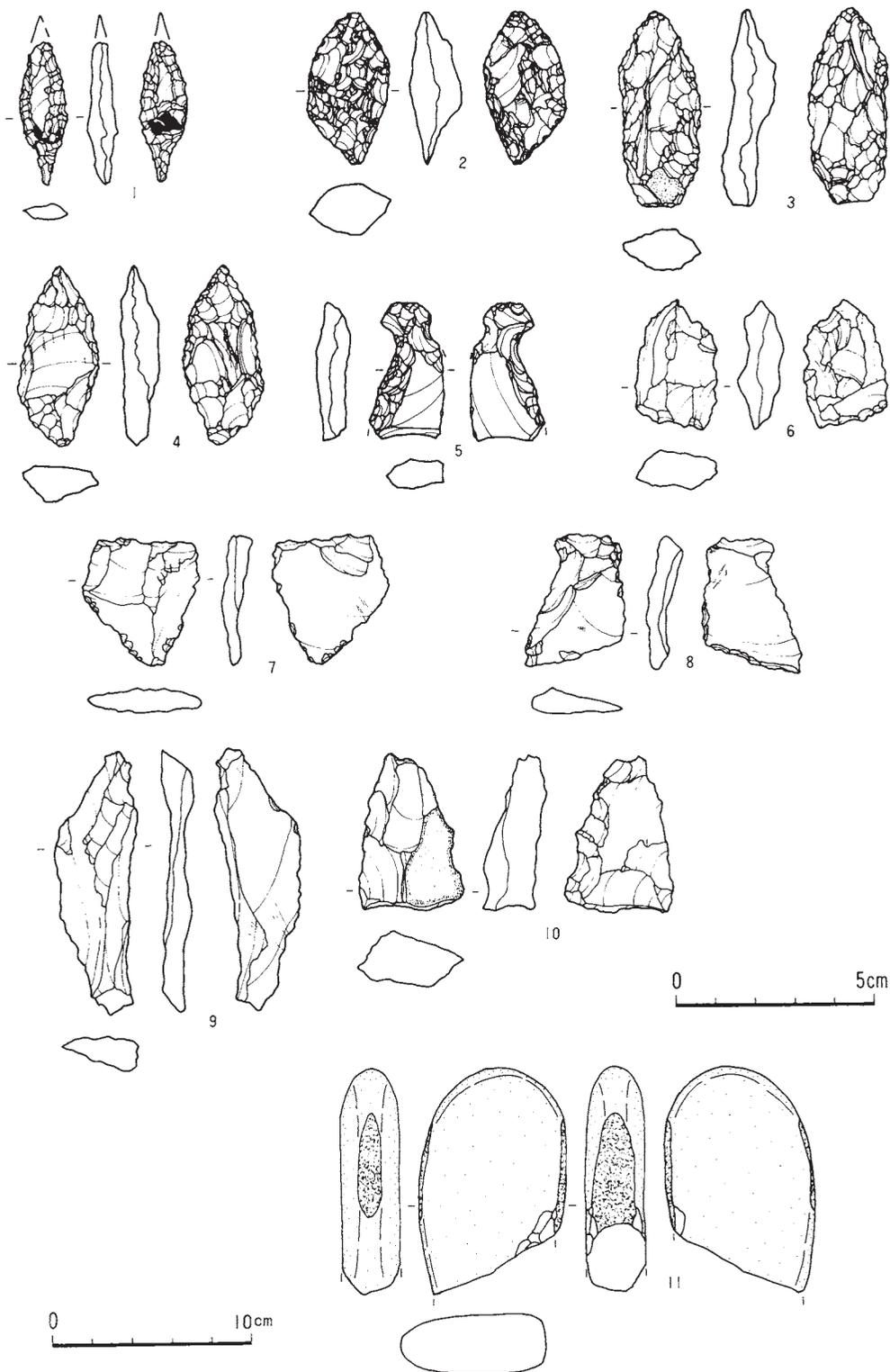
第343号住居跡 ピット3 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量
- 第2層 暗褐色 10YR3/4 φ5mm炭化材少量
- 第3層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒微量

第829図 第343号住居跡(1)



第830図 第343号住居跡(2)



第831图 第343号住居跡(3)

<特殊施設> 認められない。

<堆積土> 11層に分層したが、炭化粒、焼土粒を比較的多く含む。人為的堆積の可能性が高い。

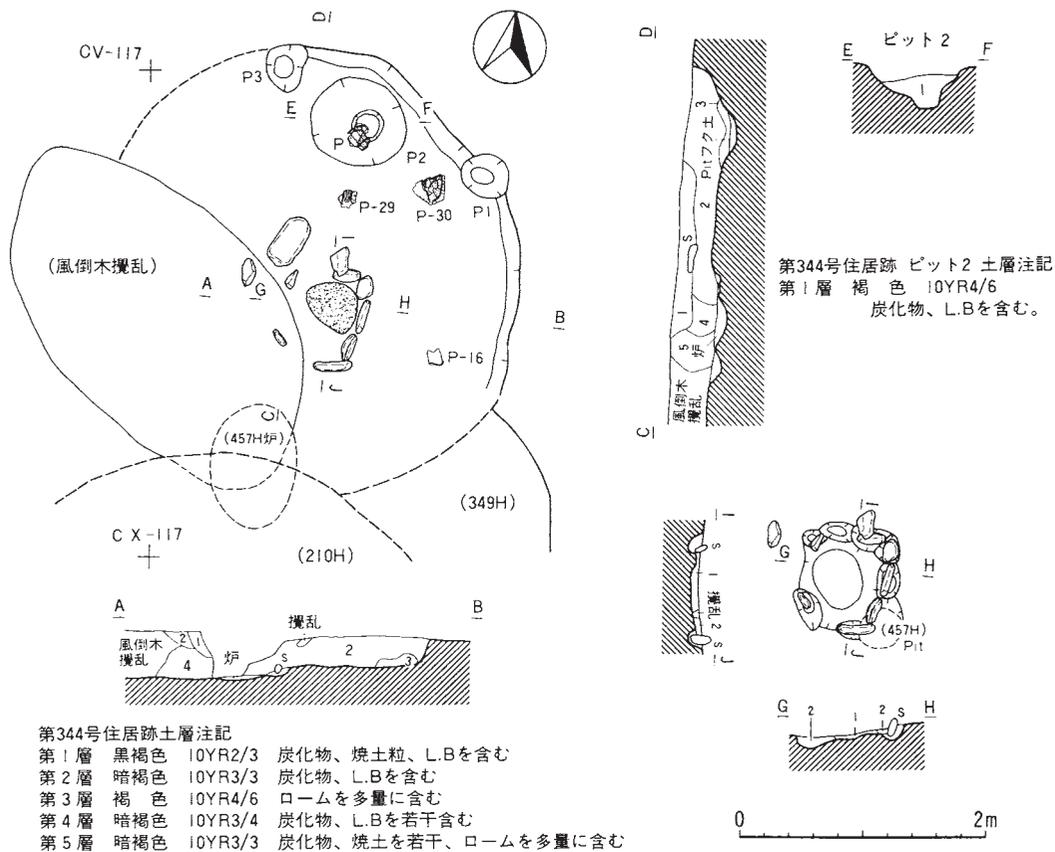
<出土遺物> 覆土から円筒上層e式土器、榎林式土器が出土している。石器は覆土から石鏃1点、石槍3点、石匙1点、不定形石器7点、敲磨器類1点、総数13点出土した。

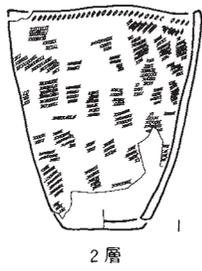
(三浦 孝仁)

### 第344号住居跡 (第832~834図)

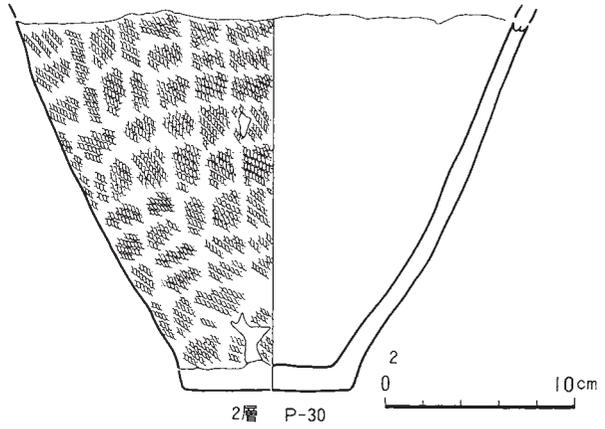
<位置と確認> 調査区のCX-116グリッドに位置している。第II層を精査中に黒褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は、第210・349・457号住居跡と切り合っており第210号住居跡よりも古い

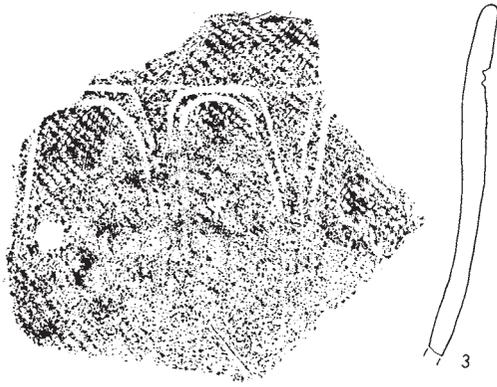
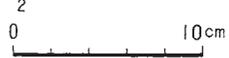




2層



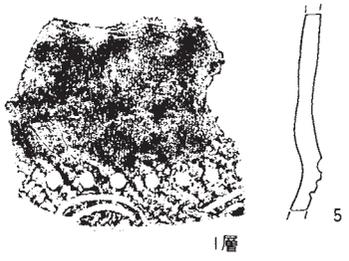
2層 P-30



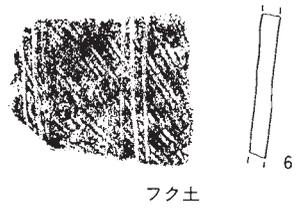
1層 P-29



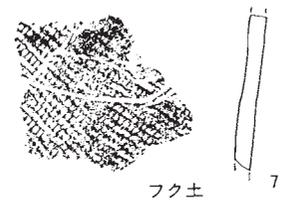
2層 P-16



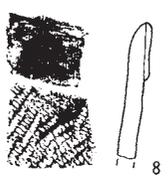
1層



フク土



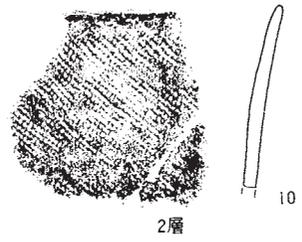
フク土



フク土



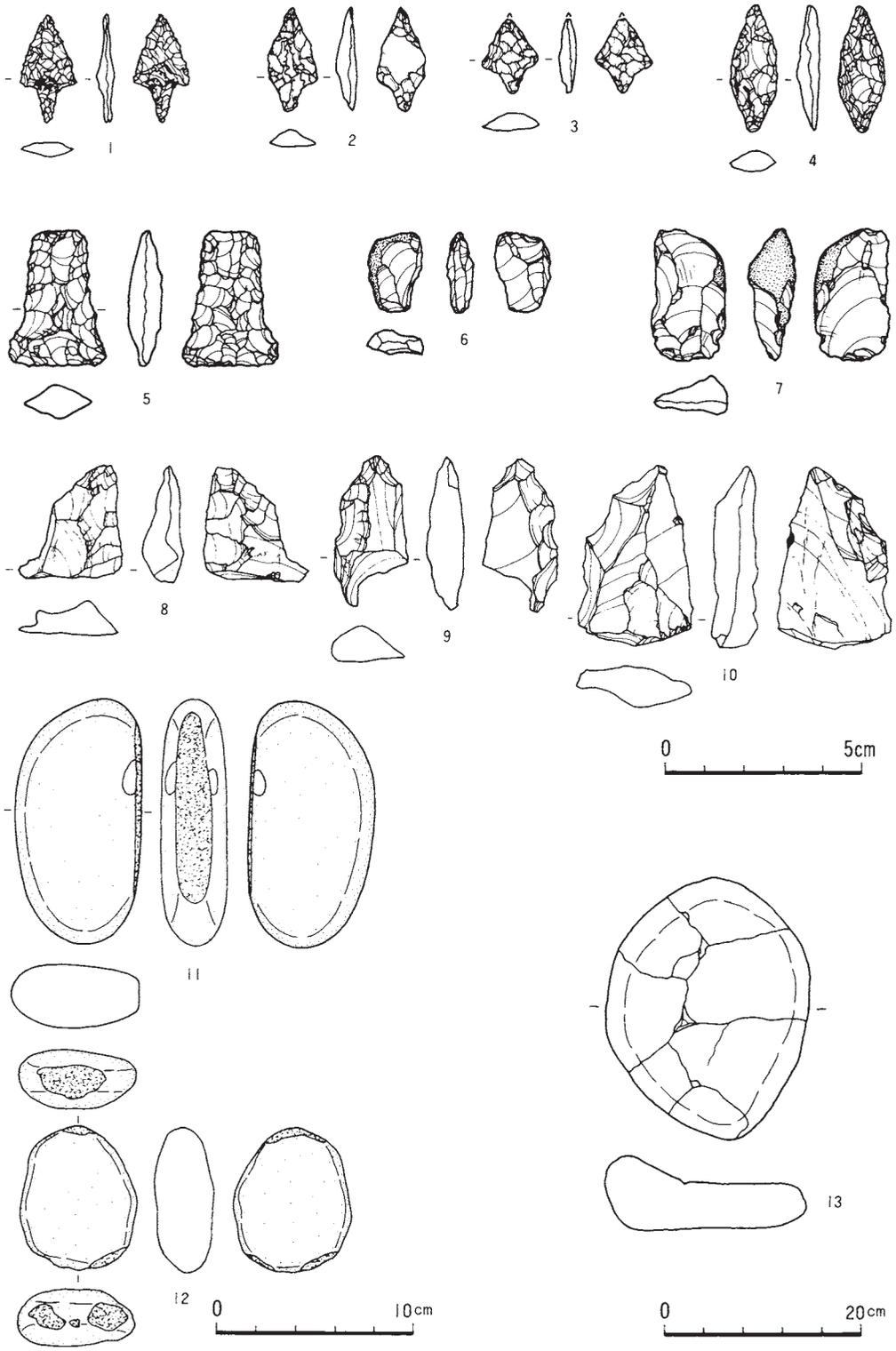
フク土



2層



第833図 第344号住居跡(2)



第834图 第344号住居跡(3)

が、その他の遺構よりも新しい。また、本住居跡の西側は風倒木により攪乱を受けている。

＜平面形・規模＞ 東側と北側の一部しか確認できなかったが、残存部から推定すると円形と思われる。規模は、長軸が(345)cm・短軸が(340)cmで、床面積は(6.16)m<sup>2</sup>である。

＜壁・床面＞ 西壁と南壁が残存しないが、その他は床面から上端にかけて緩く立ち上がり、弱くもろい構築である。壁高は、東壁21cm・北壁16cmである。床は、西側が風倒木による攪乱のため残存していないがその他は、やや起伏があり、軟弱な造りである。

＜柱穴＞ ピットは3個検出され、P<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>は壁際に位置している。P<sub>2</sub>は開口部が広く底面が狭く、すり鉢状である。深さは、P<sub>1</sub>…24cm・P<sub>2</sub>…33cm・P<sub>3</sub>…44cmである。

＜炉＞ 住居跡の中央部から若干南寄りに位置している。主に自然礫を用いた石囲炉であるが、石皿を転用し炉石としたものもある。また、西側では風倒木による攪乱によって礫の一部が欠失している。規模は、長軸95cm・短軸88cmである。堆積土は2層に分層できた。

＜特殊施設＞ 確認できなかった。

＜堆積土＞ 5層に分層できた。断面観察から自然堆積と思われる。

＜出土遺物＞ 土器は、覆土から最花式が出土したが、床面・床直からは出土しなかった。石器は、床直から石皿1点、覆土から石鏃6点・石篋1点・ピエス・エスキーユ2点・不定形石器5点・敲磨器類3点・石斧1点の総数19点が出土した。

＜小結＞ 本住居跡は、榎林から最花式期に構築されたと思われる。 (成田 悟)

### 第345号住居跡 (第835図)

＜位置と確認＞ 調査区の南側斜面のC V-118グリッドに位置する。第343号住居跡を精査中に本住居跡の床面と炉を確認した。

＜重複＞ 第343号住居跡、第682号土壌より新しい。

＜平面形・規模＞ 重複により平面形、規模ともに判然としない。残存部から推測すると円形とみなれ、径2m程になると思われる。

＜壁・床面＞ 壁は西側のみを確認した。ほぼ垂直に立ち上がり、軟弱である。壁高は30cmである。床面は中央部がくぼみ、凹凸が激しい。炉の回りには貼り床がなされ堅緻である。

＜壁溝＞ 認められない。

＜柱穴＞ 第343号住居跡との重複部分には本住居跡のものと思われるピットは認められず、3個のピットを確認しただけである。ピットの深さはP<sub>1</sub>…33cm、P<sub>2</sub>…22cm、P<sub>3</sub>…10cmである。

＜炉＞ 住居跡のほぼ中央で、隅丸長方形の土器片囲炉が1基確認された。炉内には土器が敷つめられている。規模は長軸30cm、短軸27cm、深さ5cmである。

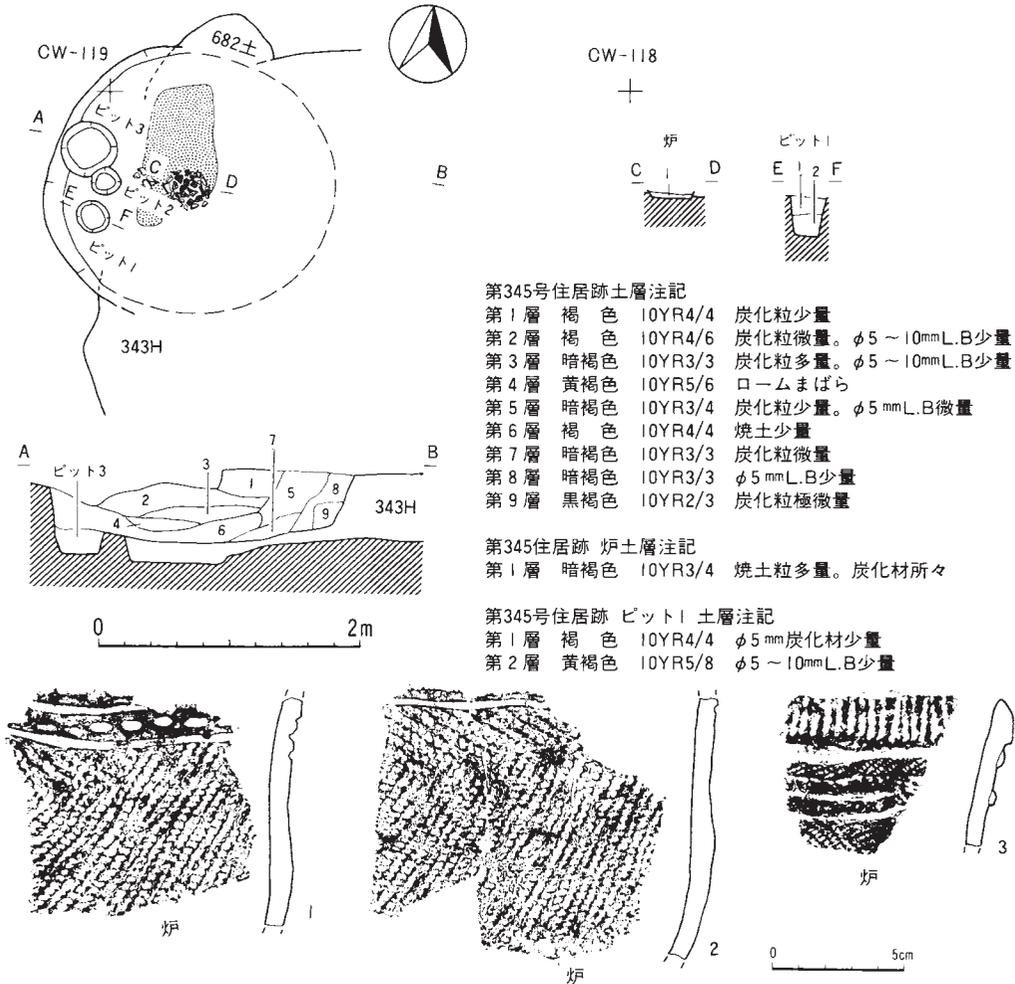
＜特殊施設＞ 認められない。

<堆積土> 9層に分層した。全体的に炭化粒、焼土粒を含む。第4層はロームである。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 土器片囲炉には円筒上層d式土器、榎林式土器を利用している。石器は出土していない。覆土から軽石が1個出土した。

<小結> 本住居跡は土器片囲炉の土器から榎林式期以降に構築された住居跡である。

(三浦 孝仁)



第835図 第345号住居跡

第347号住居跡 (第829~831図)

<位置と確認> 調査区の南側斜面のCV-118グリッドに位置する。第411号、412号住居跡等を精査中に本住居跡の落ち込みを確認した。

<重複> 第411号、412号住居跡より新しい。第343号、413号住居跡より古い。第547号土壌との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 重複により平面形、規模ともに不明である。

<壁・床面> 残存している南壁はほぼ垂直に立ち上がり、比較的堅緻である。壁高は44cmである。床面は平坦で堅緻である。

<壁溝> 残存部には認められなかった。

<柱穴> 残存部には認められなかった。

<炉> 残存部には認められなかった。

<特殊施設> 残存部には認められなかった。

<堆積土> ほとんどの堆積土は確認できないが、ロームを多く含む。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 遺物は出土していない。

<小結> 本住居跡は重複関係から円筒上層d式期～榎林式期に構築されたものと思われる。

(三浦 孝仁)

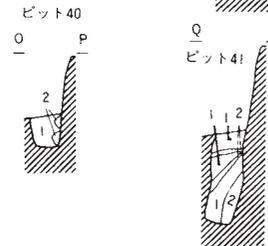
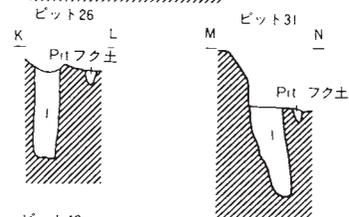
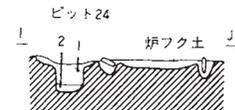
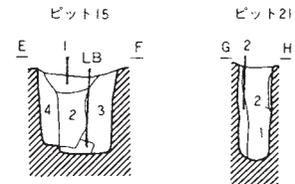
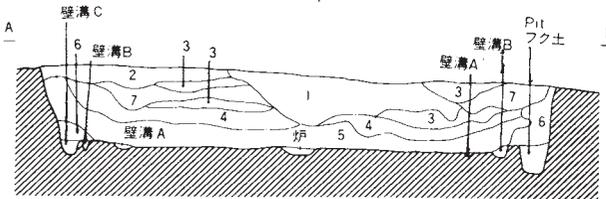
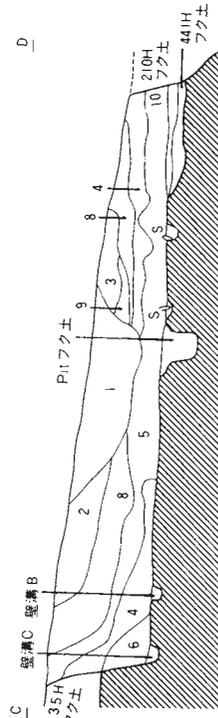
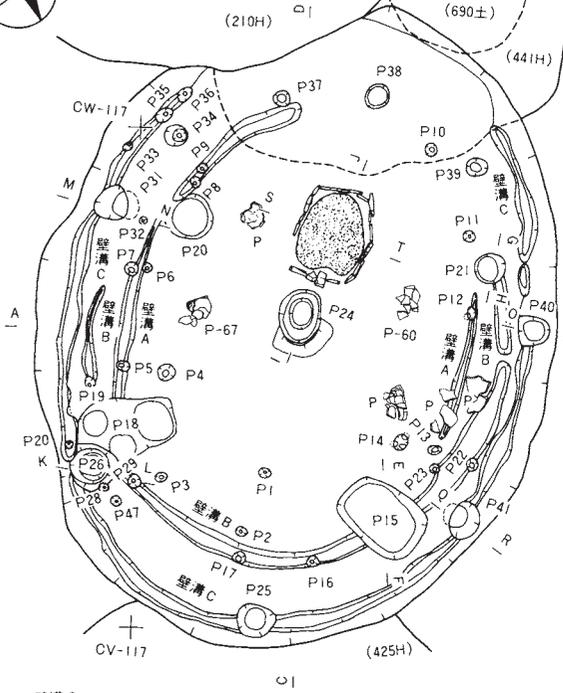
#### 第348号住居跡 (第836～841図)

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、CV・CW-116・117グリッドに位置している。第210号住居跡壁面を精査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は、第210・425・441号住居跡、第690号土壌と切り合っており、第210号住居跡よりは古いが、その他の遺構よりも新しい。

<平面形・規模> 本住居跡は、同心円状にほぼ同じ床面の高さで2回拡張された住居跡と考えられる。いずれも南北がやや長めの長楕円形で、当初の床面は、壁溝Aの範囲内と考えられる。規模は、長軸が(353)cm・短軸が275cmで床面積は(7.1)m<sup>2</sup>である。1回目に拡張した後の住居跡は壁溝Bの範囲内と考えられる。規模は、長軸が(370)cm・短軸が(310)cmで床面積は(8.41)m<sup>2</sup>である。壁溝Cは2回目の拡張を示している。規模は、長軸が(520)cm・短軸が408cmで床面積は(14.12)m<sup>2</sup>である。

<壁・床面> 最後の拡張後北壁は残存していないが、その他の壁は床面から上端にかけてほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な構築である。壁高は、東壁44cm・西壁55cm・南壁76cmである。南壁では、板状の腰板が壁溝に入っている部分は確認できなかったが、床面から上部は炭化した状態で残存していた。床は、拡張前後とも、ほぼ平坦で、堅緻な造りである。最後の拡張後に焼失しており、床面中央部から南壁にかけて大量の炭化材と幅50～70cmでドーナツ状半円形に存在している焼土を確認し4層に分層した。第2層は、炭化物が薄く敷かれているような状態



第348号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、焼土、L.Bを若干含む
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化物、焼土、L.Bを若干含む
- 第3層 黄褐色 10YR5/6 炭化物、褐色土、L.Bを若干含む
- 第4層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、L.Bを若干含む
- 第5層 褐色 10YR4/4 炭化物を若干、L.Bを多少含む
- 第6層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、焼土、L.Bを少々含む
- 第7層 褐色 10YR4/4 炭化物、L.Bを若干含む
- 第8層 褐色 10YR4/4 炭化物、L.Bを少々含む
- 第9層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、L.Bを若干、焼土を多量に含む
- 第10層 暗褐色 10YR3/4 大型の炭化物を多量に含む

第348号住居跡 ビット15 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、焼土を若干含む
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化物、焼土ブロックを若干含む
- 第3層 褐色 10YR4/4 L.Bを多少含む
- 第4層 黄褐色 10YR5/8 暗褐色土を若干含む

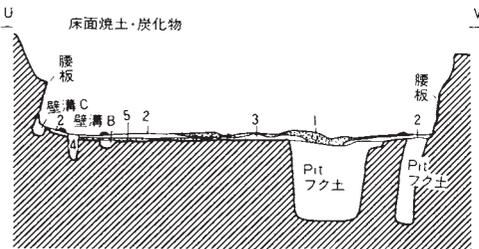
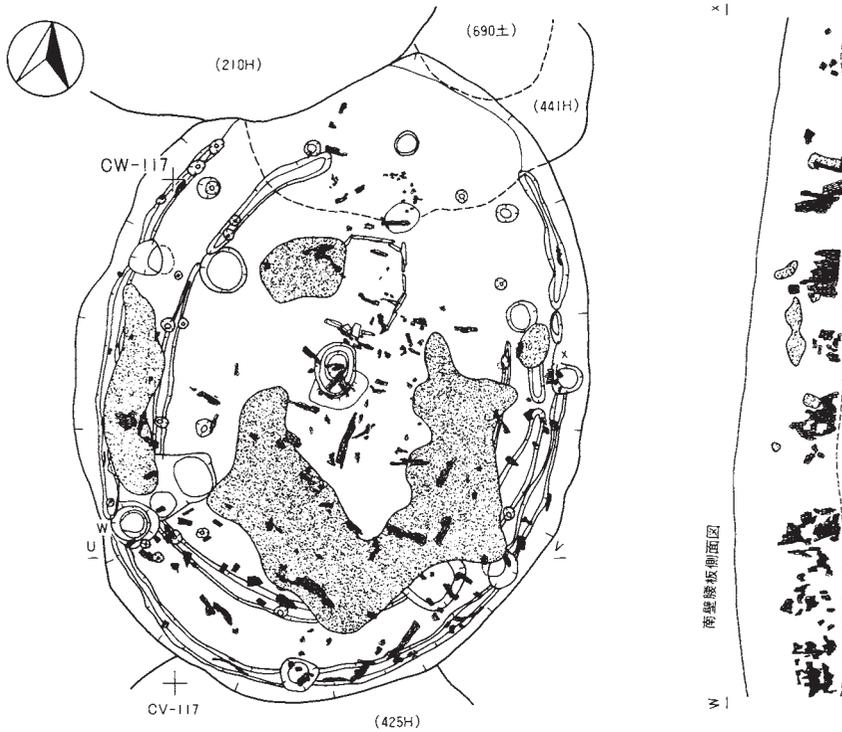
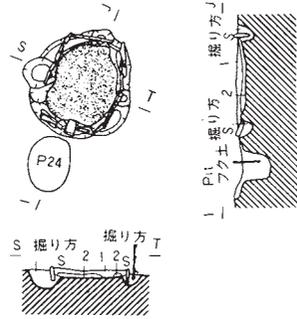
第348号住居跡 ビット21 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化物、L.Bを多少含む
- 第2層 黄褐色 10YR5/8

0 2m

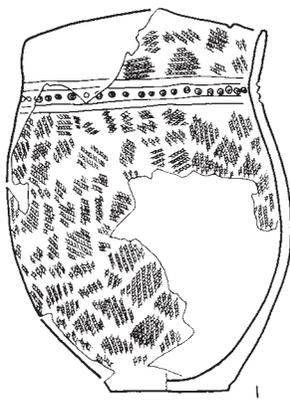
第836図 第348号住居跡(1)

- 第348号住居跡 ビット24土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/3 炭化物多量、L.Bを若干含む  
 第2層 黄褐色 10YR5/8 暗褐色土を若干含む
- 第348号住居跡 ビット26土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物を多少、焼土を若干含む
- 第348号住居跡 ビット31土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、焼土、L.Bを少々含む
- 第348号住居跡 ビット40土層注記  
 第1層 黒褐色 10YR2/2 黄褐色土を微量含む  
 第2層 黄褐色 10YR5/6
- 第348号住居跡 ビット41土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物を多少含む  
 第2層 黄褐色 10YR5/8 暗褐色土を若干含む
- 第348号住居跡 炉土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/3 炭化物、焼土を若干含む  
 第2層 明赤褐色 5YR5/8

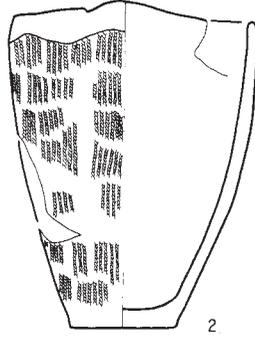


- 第348号住居跡 床面焼土・炭化物土層注記  
 第1層 赤褐色 5YR 4/8 黄褐色土、暗褐色土を少々含む  
 第2層 黒色 10YR 1.7/1 全体が炭化物の層である  
 第3層 暗褐色 10YR 3/4 炭化物、L.Bを少々含む  
 第4層 黒色 10YR 1.7/1 炭化物を多量に含む  
 第5層 暗褐色 10YR 3/4 ロームを多量に含む (貼り床)

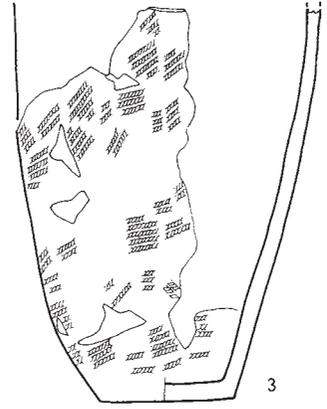
第837図 第348号住居跡(2)



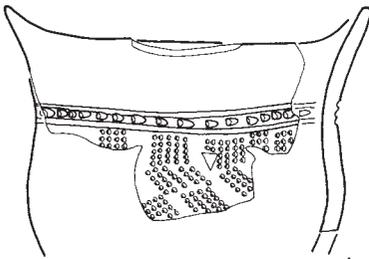
フク土



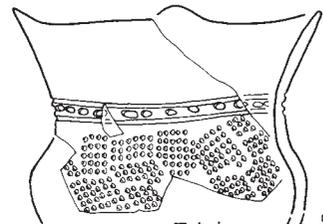
4層P-67



5層P-60

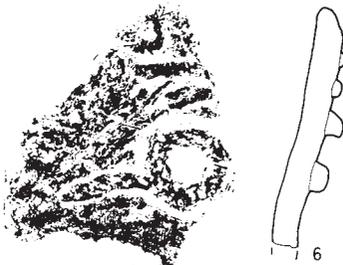


フク土



フク土

0 10cm



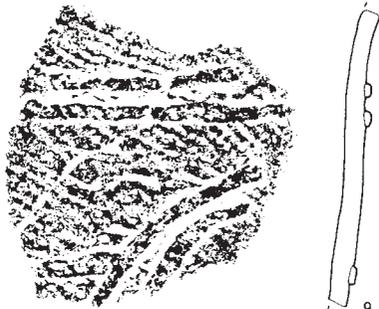
フク土



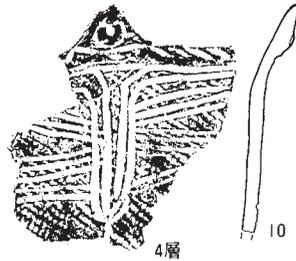
フク土



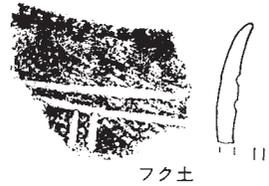
フク土



フク土



4層



フク土



フク土



フク土

0 5cm

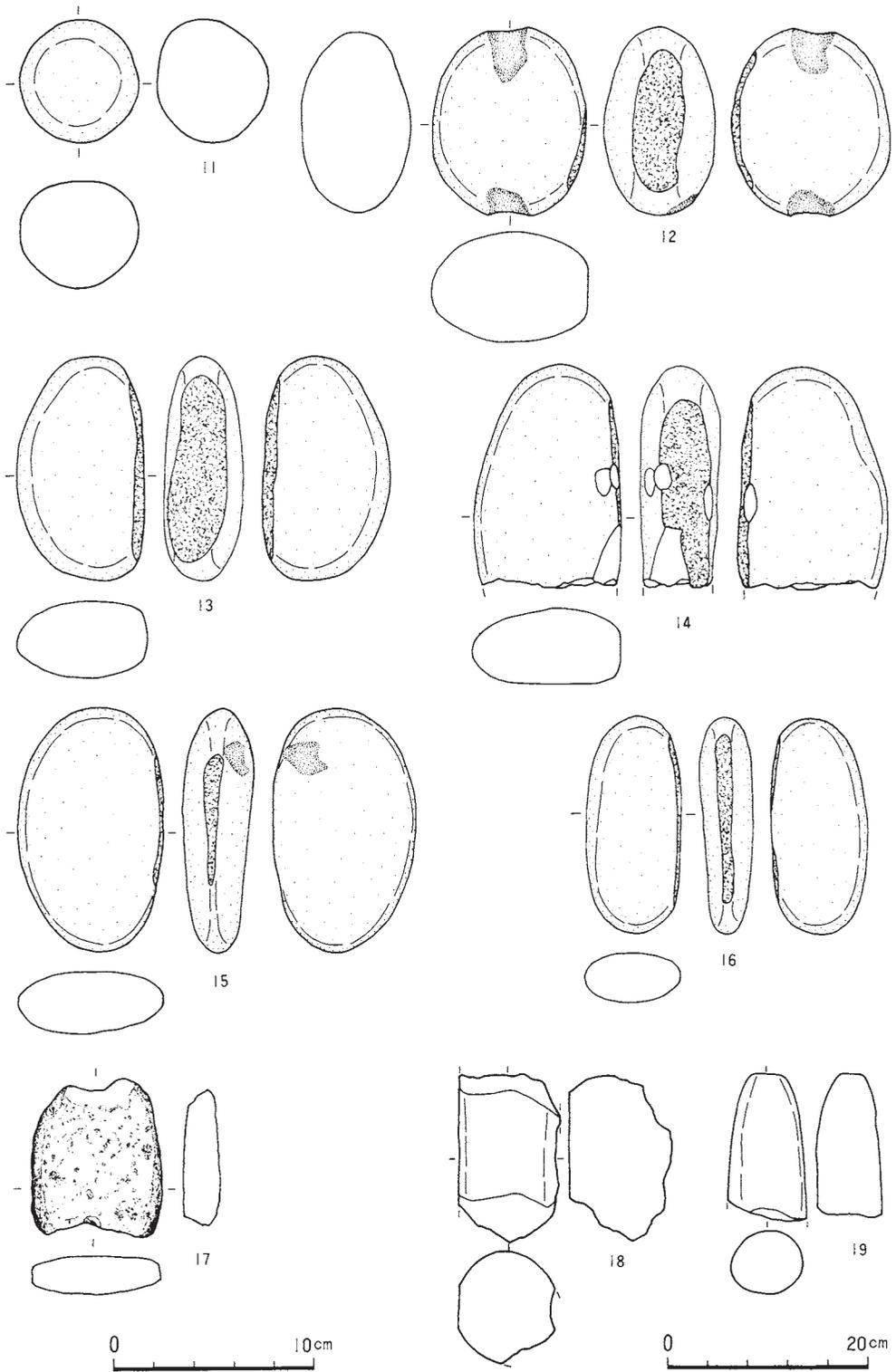
第838図 第348号住居跡(3)



第839図 第348号住居跡(4)



第840图 第348号住居跡(5)



第841图 第348号住居跡(6)

で住居跡北側の一部を除いた、その他の壁際床面から検出した。第5層は、貼り床で、住居跡南側で若干確認出来た。

<壁溝> 壁溝は床面から3本検出した。2回の拡張によるものと思われる。壁溝Aは、幅10cm前後で深さは約4cmである。壁溝Bは幅15cm前後で、深さが約5cmである。壁溝Cは北側の一部を除いてほぼ壁際に残存し幅12cm前後で深さは約9cmである。

<柱穴> 当初の住居跡の支柱穴と思われるものは確認できなかった。1回目の拡張による柱穴はP<sub>15</sub>～P<sub>23</sub>で、規模や配置などからP<sub>15</sub>・P<sub>18</sub>・P<sub>20</sub>・P<sub>21</sub>が支柱穴と思われる。深さは、P<sub>15</sub>…68cm・P<sub>18</sub>…72cm・P<sub>20</sub>…62cm・P<sub>21</sub>…75cmである。最後の拡張による柱穴はP<sub>24</sub>～P<sub>41</sub>で、規模や配置などから、P<sub>24</sub>～P<sub>26</sub>・P<sub>31</sub>・P<sub>38</sub>・P<sub>40</sub>・P<sub>41</sub>が支柱穴と思われる。深さは、P<sub>24</sub>…28cm・P<sub>25</sub>…72cm・P<sub>26</sub>…65cm・P<sub>31</sub>…70cm・P<sub>38</sub>…25cm・P<sub>40</sub>…26cm・P<sub>41</sub>…73cmである。P<sub>24</sub>とP<sub>26</sub>はピット上端にロームの盛土が施されている。

<炉> 住居跡中央部から若干北寄りに位置している。板状節理の礫を用いた石囲い炉である。最後の拡張期のものであり、拡張以前のものとは確認できないので継続使用した可能性も考えられる。規模は、長軸84cm・短軸82cmで、南北がやや長めの方形をしている。堆積土は2層に分けられた。

<特殊施設> 確認できなかった。

<堆積土> 10層に分層できた。全層に炭化物の混入が認められた。自然堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物は、住居跡の中央部から多く出土した。土器は、中期の円筒上層d・e・榎林式が覆土から出土し、床面からは出土しなかった。石器は、床面から不定形石器1点・敲磨器類1点・石棒1点、覆土から石鏃5点・石槍1点・石錐1点・不定形石器10点・敲磨器類5点・石棒1点・石斧1点の総数27点が出土した。また、覆土から軽石製品1点が出土した。

<小結> 本住居は、2回にわたり拡張されており、最後の拡張後火災で焼失している。構築時期は、円筒上層d～榎林式期と思われる。(成田 悟)

### 第349号住居跡 (第842図)

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、CW・CX-116グリッドに位置している。第210号住居跡を精査中に検出した。

<重複> 本住居跡は、第210・344・457号住居跡と切り合っており第457号住居跡との新旧関係は不明であるが、その他の遺構よりは本住居跡の方が古い。

<平面形・規模> 東側の一部だけ確認できたので推定もできない。残存部床面積は(2.23)m<sup>2</sup>である。

<壁> 東壁だけ残存している。床面から上端にかけて緩く立ち上がり、浅く軟弱な構築であ

る。壁高は9cmである。

<床面> 床は、東側だけ残存している。東側から西側にかけて緩く傾斜しており、全体的に軟弱な構築である。

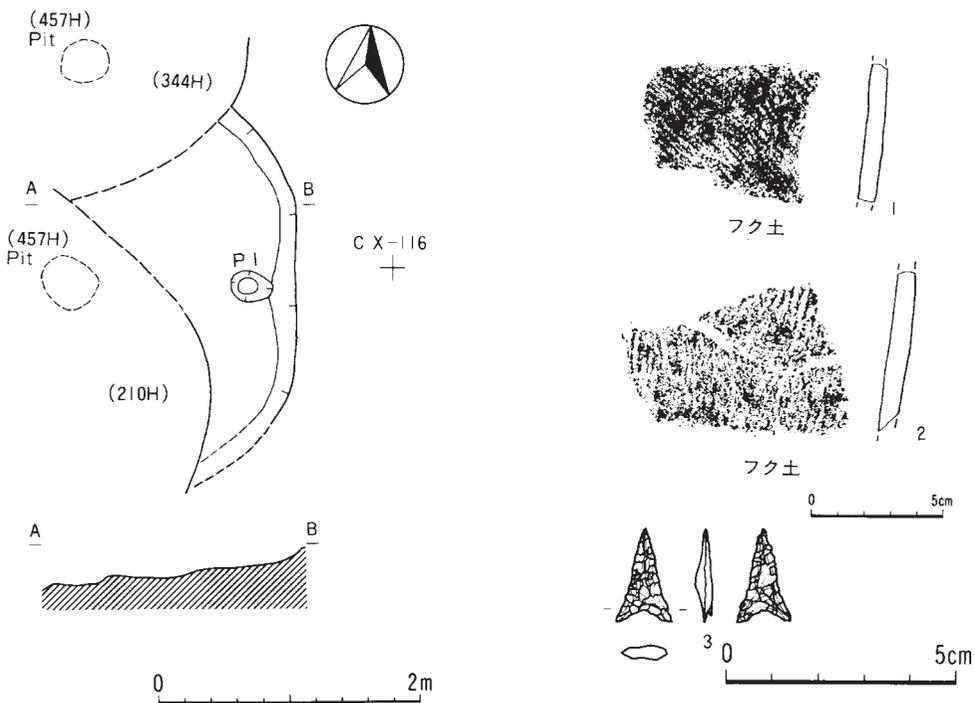
<柱穴> ピットは、東壁の近くから1個検出した。深さは、18cmである。

<炉> 確認できなかった。

<特殊施設> 確認できなかった。

<出土遺物> 土器は、覆土から中期後葉～末葉にかけての粗製深鉢形土器片が2点出土した。石器は、覆土から石鏃が2点出土した。

<小結> 出土した遺物から中期後葉～末葉の住居跡と思われる。 (成田 悟)



第842図 第349号住居跡

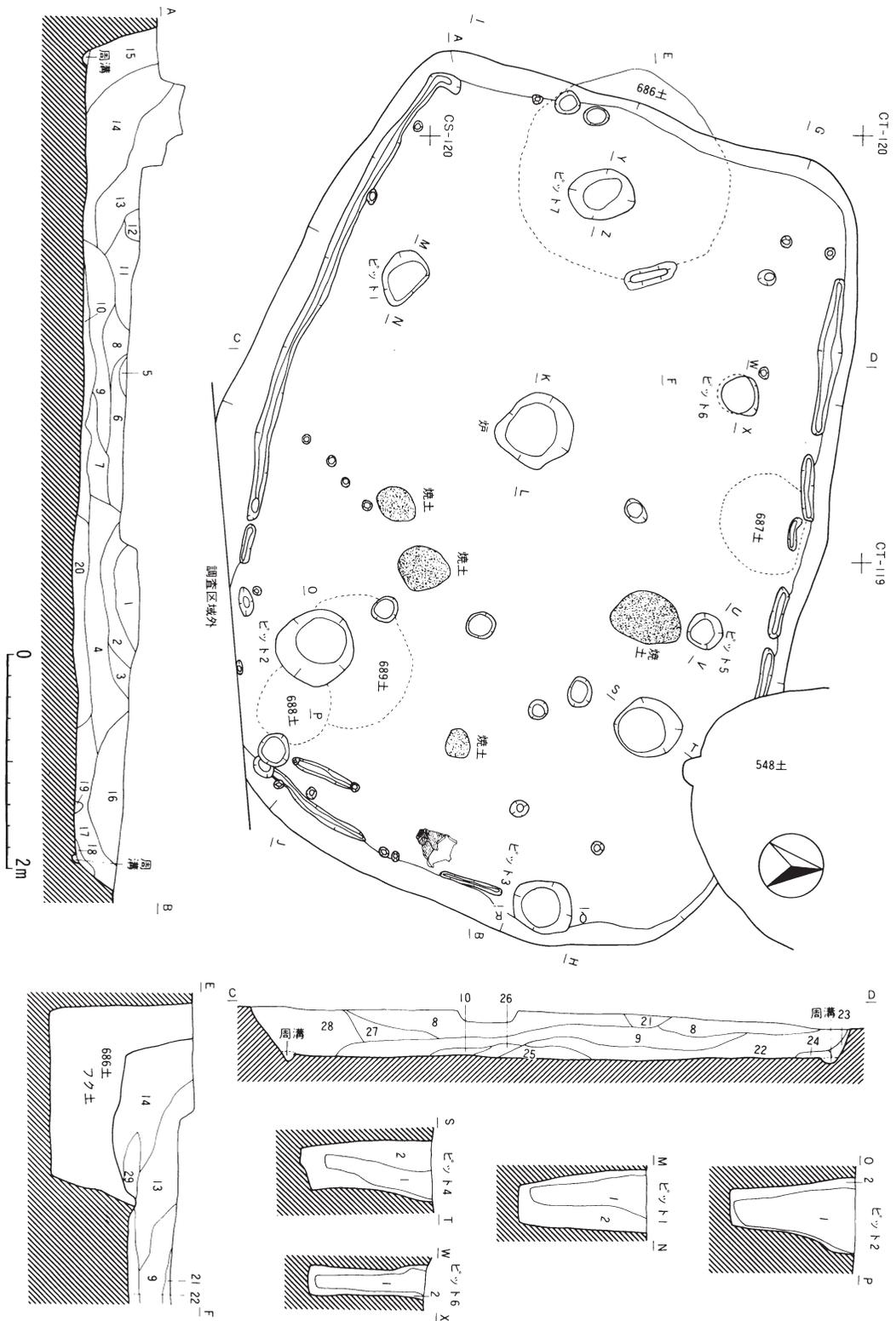
### 第350号住居跡 (第843～849図)

<位置と確認> 調査区の南側の低台地のCS-118、119、CR-118、119グリッドに位置する。第Ⅲ層下面で暗褐色土の不整な落ち込みを確認した。

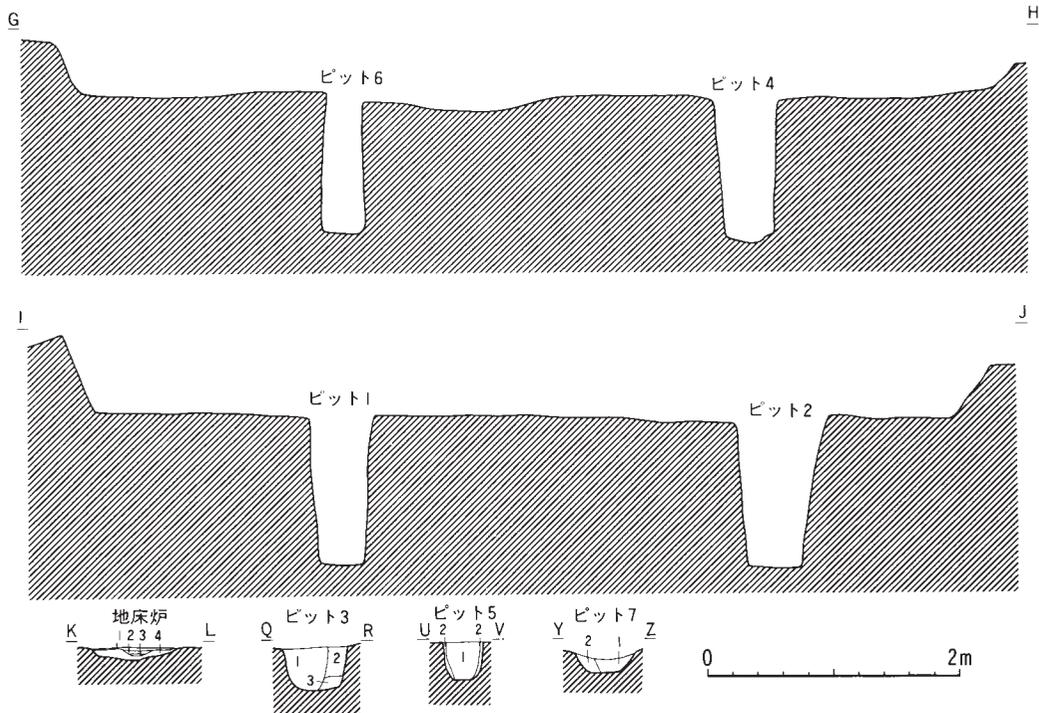
<重複> 第686号～689号土壌より新しい。第548号土壌より古い。

<平面形・規模> 東西に長い長方形で、規模は長軸7m50cm、短軸5m30cmである。床面積は(34.46㎡)である。

<壁・床面> 各壁ともにほぼ緩やかに立ち上がる。壁高は東壁38cm、西壁54cm、南壁41cm、



第843図 第350号住居跡(1)



第350号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/3 炭化粒少量
- 第2層 黒褐色 10YR2/2 炭化粒多量
- 第3層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒極微量
- 第4層 暗褐色 10YR3/3 炭化粒微量
- 第5層 褐色 10YR4/4 炭化粒極微量
- 第6層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒極微量
- 第7層 褐色 10YR4/4 炭化粒極微量
- 第8層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第9層 褐色 10YR4/6 φ5~10mm炭化材少量
- 第10層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量
- 第11層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量
- 第12層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量
- 第13層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒少量
- 第14層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量
- 第15層 褐色 10YR4/6 炭化粒微量
- 第16層 褐色 10YR4/4 炭化粒極微量
- 第17層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒極微量
- 第18層 黄褐色 10YR5/6 ローム質土
- 第19層 黄褐色 10YR5/8 ローム質土
- 第20層 暗褐色 10YR3/3 炭化粒少量
- 第21層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量
- 第22層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒少量
- 第23層 黄褐色 10YR5/8 ローム質土
- 第24層 褐色 10YR4/6 炭化粒微量
- 第25層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第26層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒微量
- 第27層 褐色 10YR4/6 炭化粒極微量
- 第28層 褐色 10YR4/6 炭化粒極微量
- 第29層 暗褐色 10YR3/3 炭化粒微量

第350号住居跡 ピット1 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化粒少量
- 第2層 明黄褐色 10YR6/8 ローム質土

第350号住居跡 ピット2 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第2層 明黄褐色 10YR6/6 炭化粒極微量

第350号住居跡 ピット3 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒少量
- 第2層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第3層 黒褐色 10YR2/3 炭化粒微量

第350号住居跡 ピット4 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒微量
- 第2層 明黄褐色 10YR6/6 ローム質土

第350号住居跡 ピット5 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒微量
- 第2層 明黄褐色 10YR6/6 ローム質土

第350号住居跡 ピット6 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 炭化粒微量
- 第2層 明黄褐色 10YR6/6 ローム質土

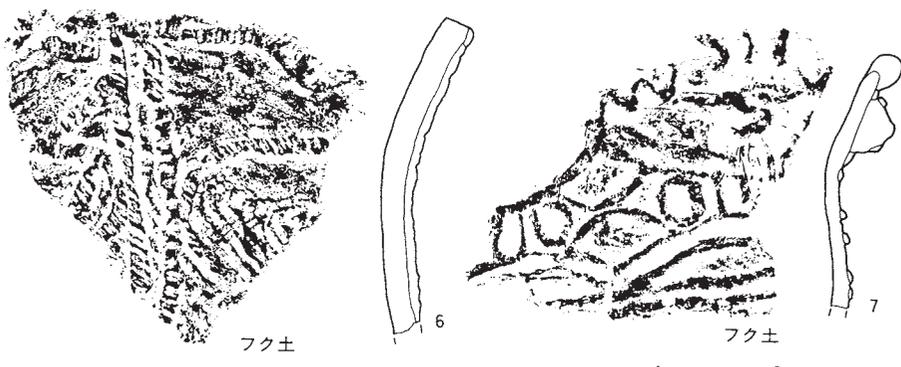
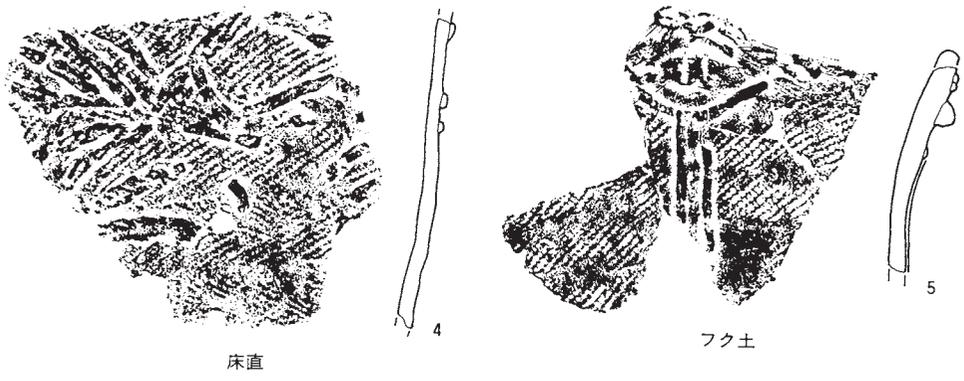
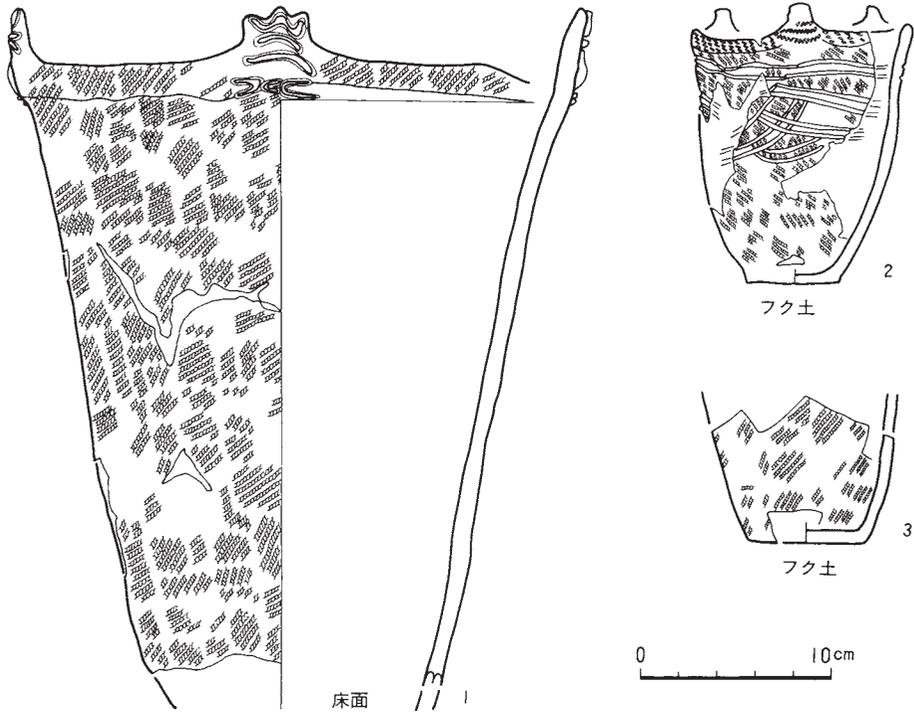
第350号住居跡 ピット7 土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒少量
- 第2層 暗褐色 10YR3/4 炭化粒微量

第350号住居跡 炉土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 焼土粒極微量
- 第2層 暗褐色 10YR3/4 焼土粒少量
- 第3層 暗赤褐色 5YR3/6 焼土粒多量
- 第4層 赤褐色 5YR4/8 焼土

第844図 第350号住居跡(2)



第845図 第350号住居跡(3)

北壁29cmである。床面はほぼ平坦で堅緻である。

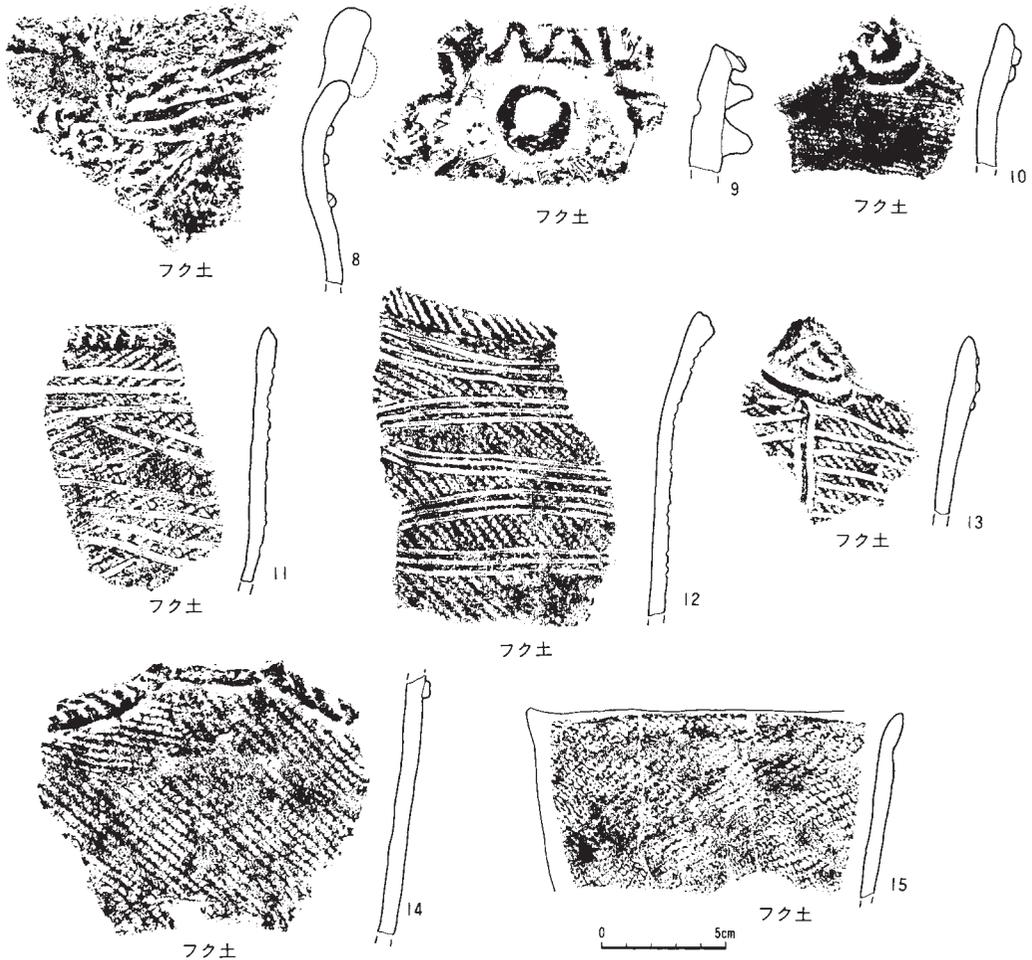
<壁溝> 途切れ途切れであるが、壁に沿った壁溝を確認した。幅は5~20cmで深さは5cm程である。

<柱穴> 本住居跡の床面から大小多数のピットを確認したが、P<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>、P<sub>4</sub>、P<sub>6</sub>の4本が主柱穴と思われる。ピットの深さはP<sub>1</sub>…119cm、P<sub>2</sub>…115cm、P<sub>3</sub>…35cm、P<sub>4</sub>…121cm、P<sub>5</sub>…30cm、P<sub>6</sub>…109cmある。

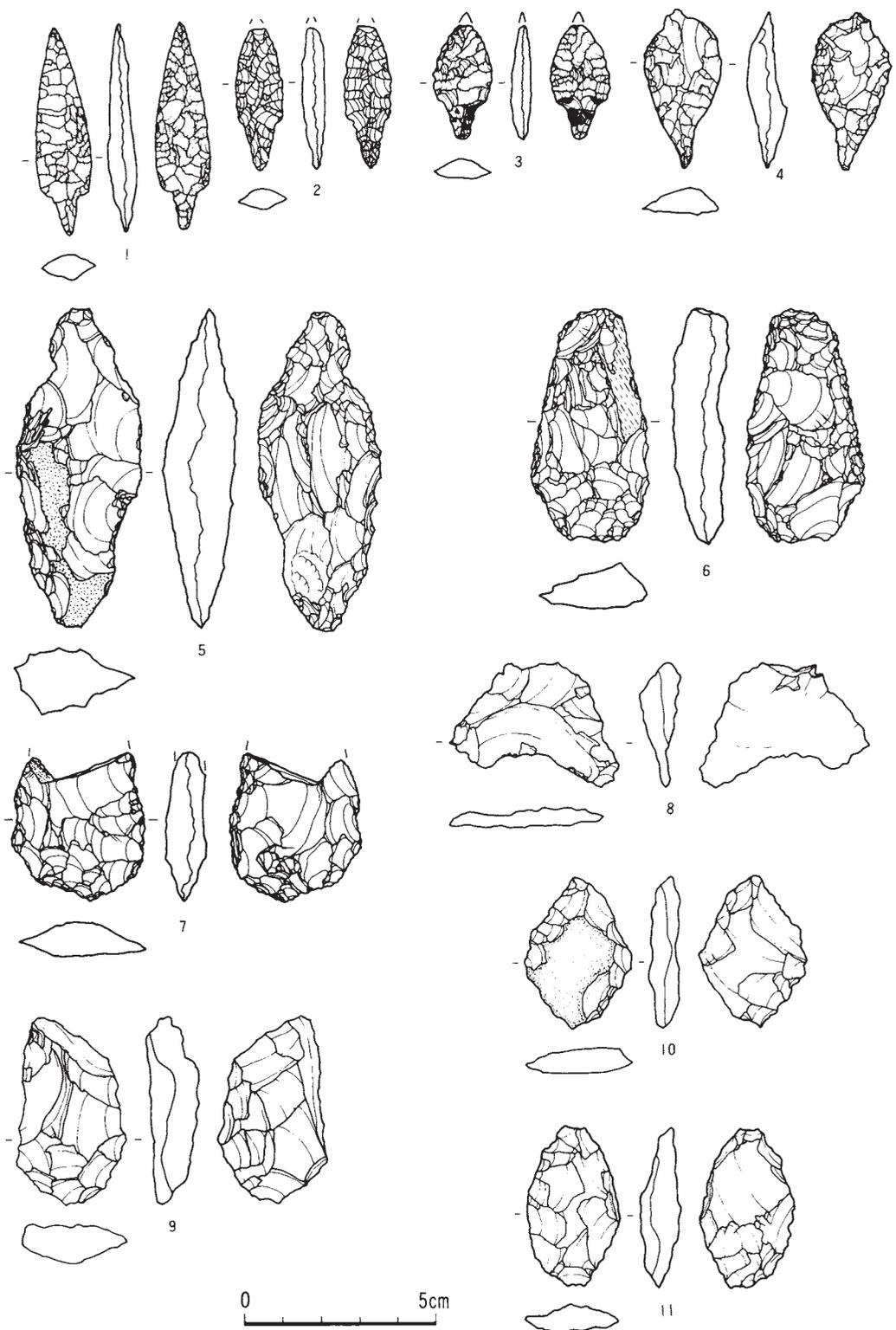
<炉> 住居の長軸上で地床炉を1基確認した。規模は長軸73cm、短軸65cm、深さ6cmである。第4層上面が火床面である。

<特殊施設> 西側の土壌との重複によって床面が下がり明確ではないが、P<sub>7</sub>を伴う施設があった可能性が高い。

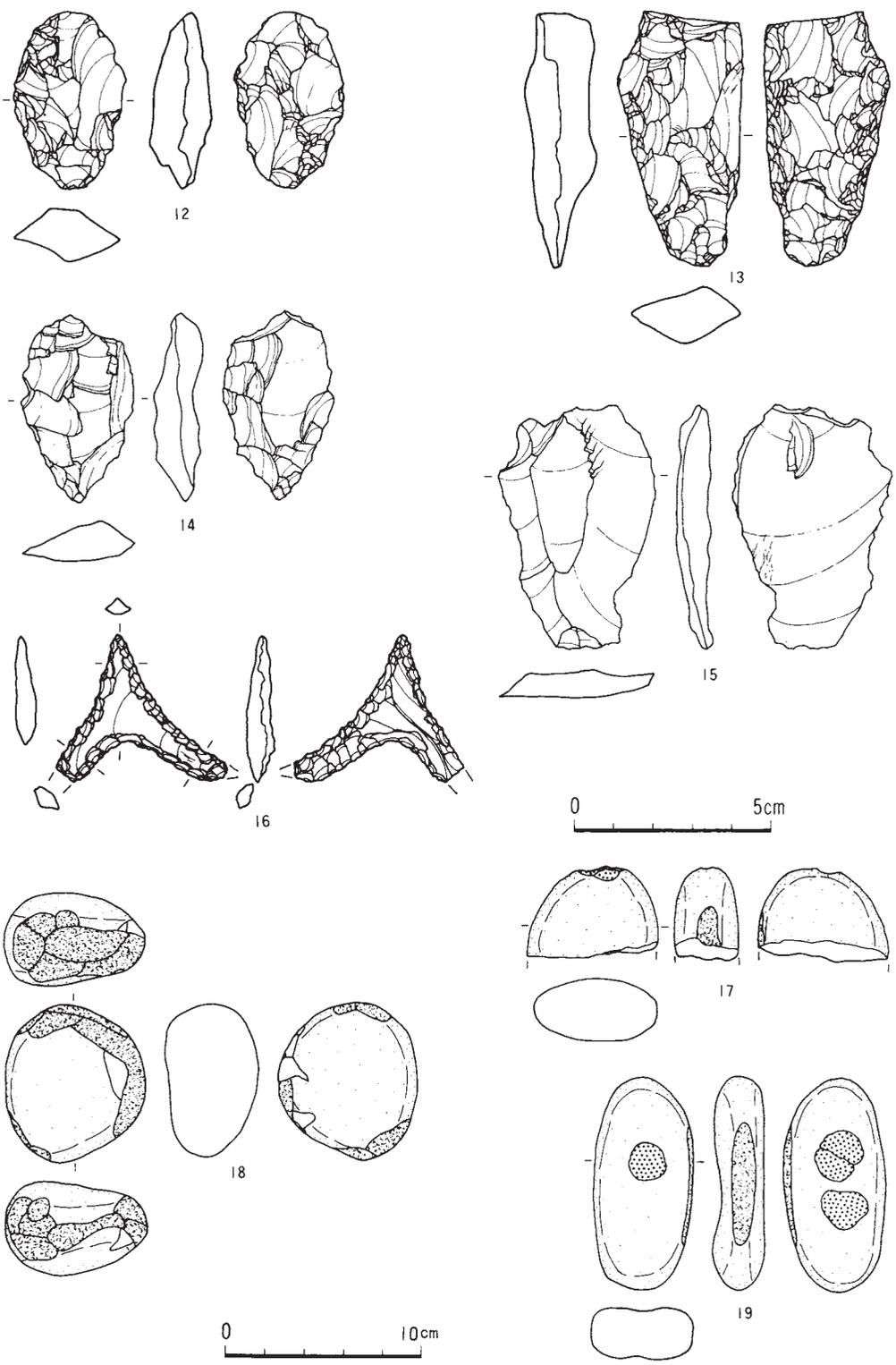
<堆積土> 堆積土全般に炭化粒を多く含み、人為的堆積の可能性が高い。



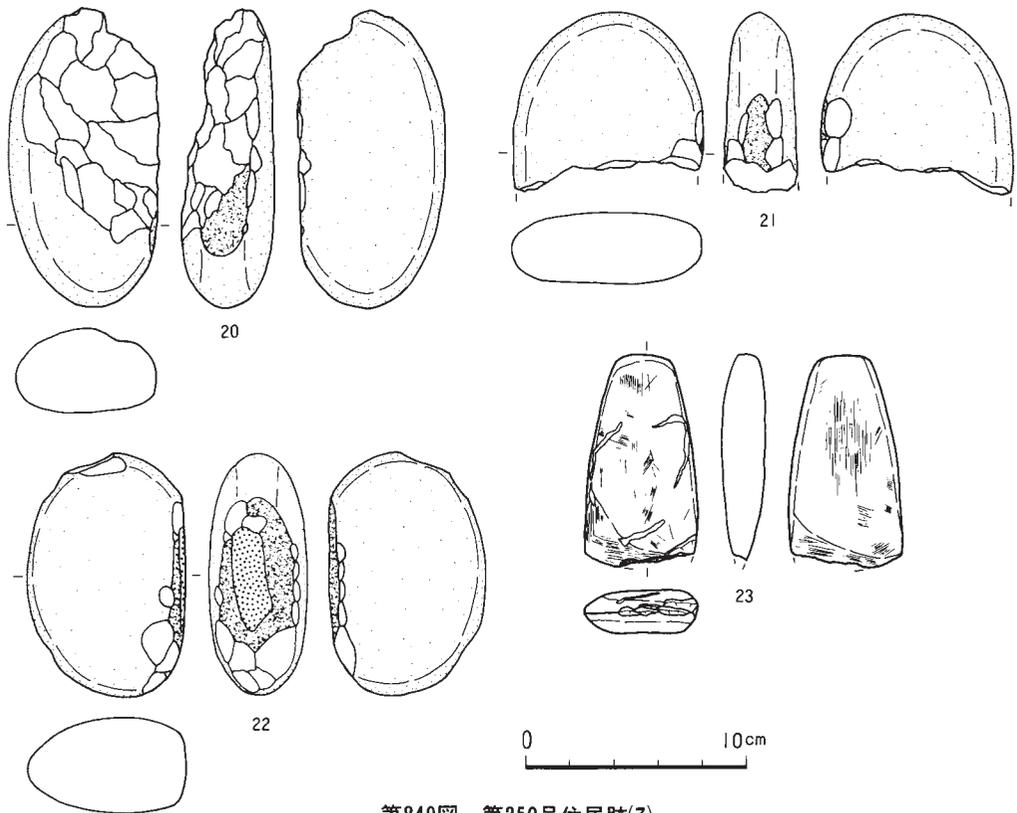
第846図 第350号住居跡(4)



第847图 第350号住居迹(5)



第848图 第350号住居跡(6)



第849図 第350号住居跡(7)

〈出土遺物〉 床面、床面直上から円筒上層d式土器が出土している。石器は覆土から石鏃9点、石錐1点、石匙1点、石篋2点、不定形石器6点、異形石器1点、石斧1点、敲磨器類6点、総数27点出土している。また軽石が覆土から1点出土している。

〈小結〉 床面、床面直上から出土した土器より、本住居跡は円筒上層d式期に構築されたものと思われる。  
(三浦 孝仁)

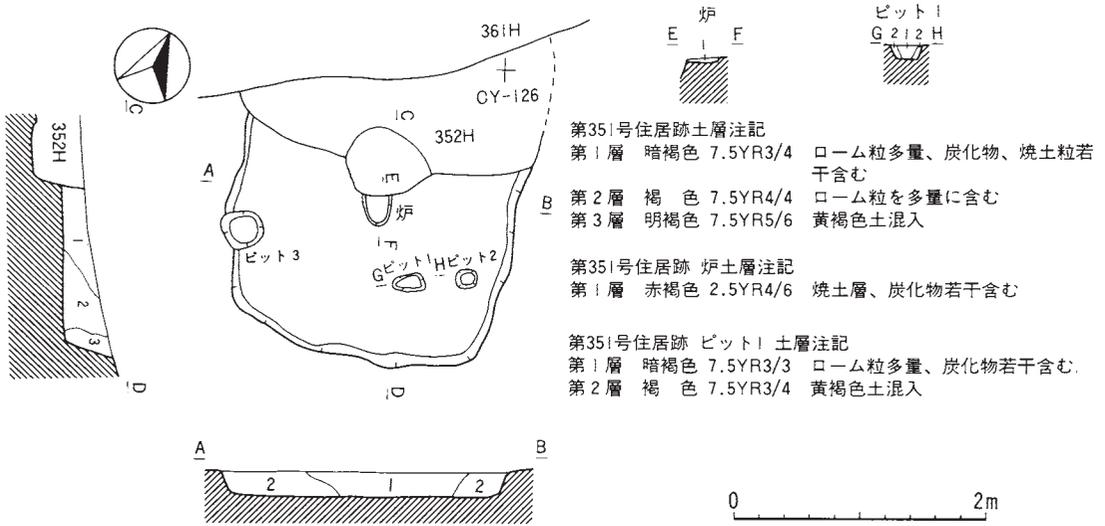
#### 第351号住居跡 (第850・851図)

〈位置と確認〉 調査区CX-126グリッドに位置している。第352号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

〈重複〉 第352号住居跡と重複し、新旧関係は本住居跡が古い。

〈平面形・規模〉 残存部から推定すると方形のプランを呈する。規模は、長軸2m62cm、短軸・床面積は不明である。

〈壁・床面〉 北壁は不明であるが、他の壁は上端から床面にかけて傾斜しており、固い造りである。壁高は、東壁18cm・西壁20cm・南壁32cm・北壁は不明である。床面は、ほぼ平坦で壁



第850図 第351号住居跡(1)

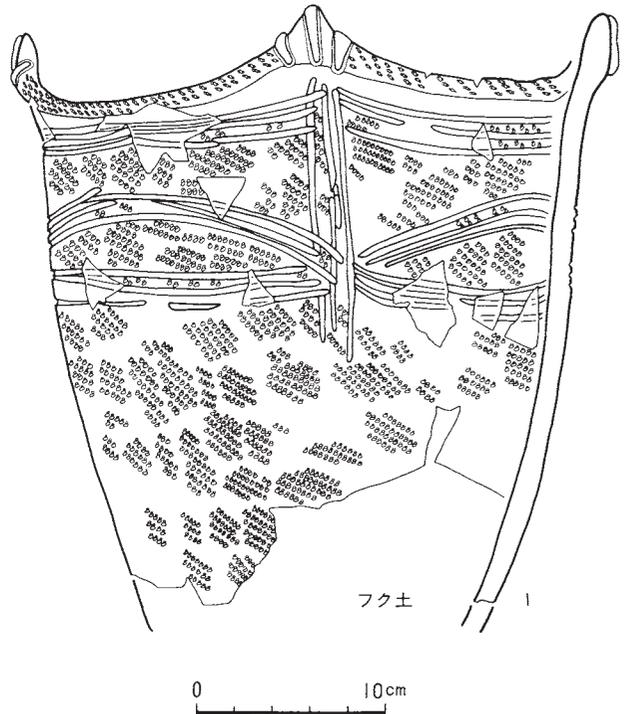
同様に固い造りである。

＜柱穴＞ ピットは3個検出した。配置等から柱穴と思われるが、支柱穴は判断できなかった。

＜炉＞ 住居跡の北側に位置し、第352号住居跡によって切られている。残存部から推定すると楕円形を呈する。規模は、長径(24)cm・短径(23)cm・深さ5cmの浅い地床炉である。

＜特殊施設＞ 認められなかった。

＜堆積土＞ 3層に分層できた。堆積土中には多量のローム粒を含んでおり、人為堆積と思われる。



第851図 第351号住居跡(2)

第351号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	楕円形	25×15	13	2	円形	27×26	10	3	円形	32×30	42

〈出土遺物〉 土器は、すべて覆土からの出土である。石器は、出土しなかった。

〈小結〉 出土土器は、円筒上層e式の時期である。 (成田 滋彦)

### 第352号住居跡 (第852～854図)

〈位置と確認〉 調査区CX125・126グリッドに位置している。第351号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

〈重複〉 住居跡の北側で第361号住居跡、南側で第351号住居跡と重複し、新旧関係は本住居跡が古い。

〈平面形・規模〉 北側の残存部から推定すると円形のプランと思われる。規模は、長軸(2m50cm)、短軸・床面積は不明である。

〈壁・床面〉 北壁は床面から上端にかけて垂直に立ち上がり堅緻な造りである。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い造りである。

〈柱穴〉 認められなかった。

〈炉〉 検出しなかった。

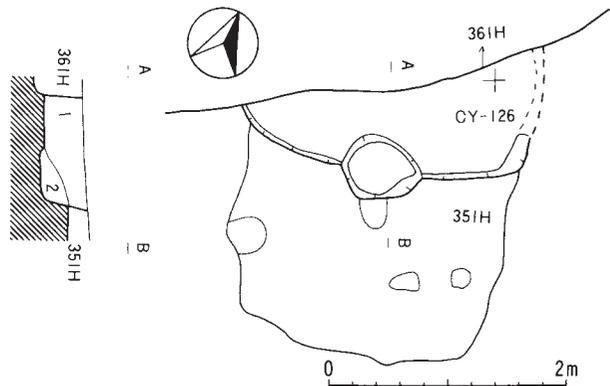
〈特殊施設〉 北壁よりに長径67cm・短径54cm・深さ4cmの浅いピットを検出した。

〈堆積土〉 2層に分層できた。自然・人為堆積かどうか判断できなかった。

〈出土遺物〉 土器は、すべて覆土からの出土である、石器は、1層から不定形石器1点が出土した。

〈小結〉 (1)・(2)・(4)は榎林式の時期の土器である。

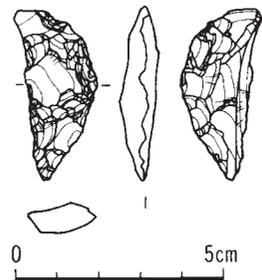
(成田 滋彦)



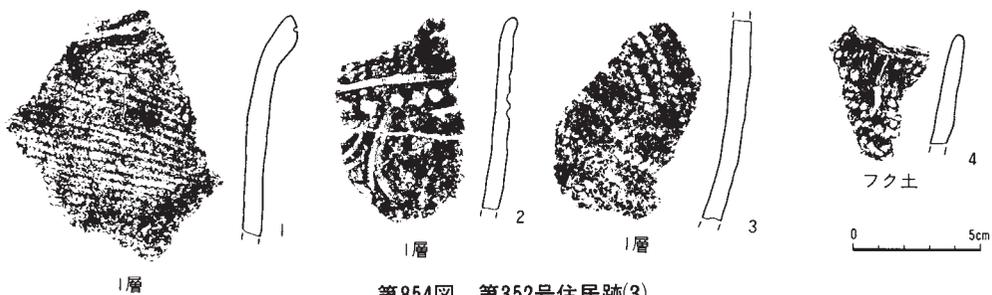
第352号住居跡土層注記

第1層 暗褐色 7.5YR3/3 ローム粒少量、炭化物若干含む  
第2層 褐色 7.5YR4/4 小ロームブロックを含む

第852図 第352号住居跡(1)



第853図 第352号住居跡(2)



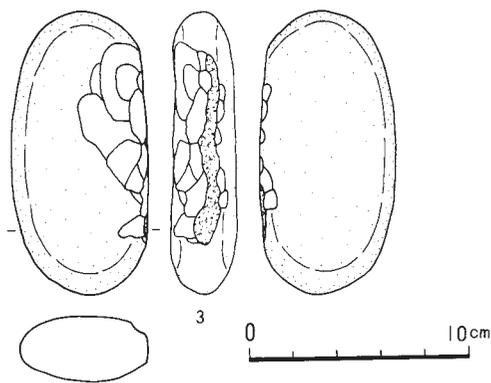
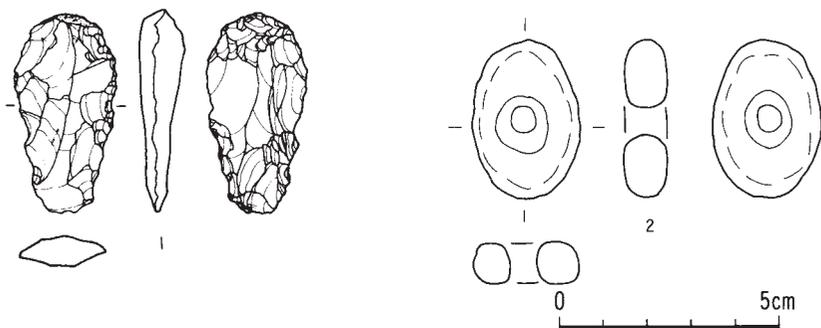
第854図 第352号住居跡(3)

第353号住居跡 (第855～857図)

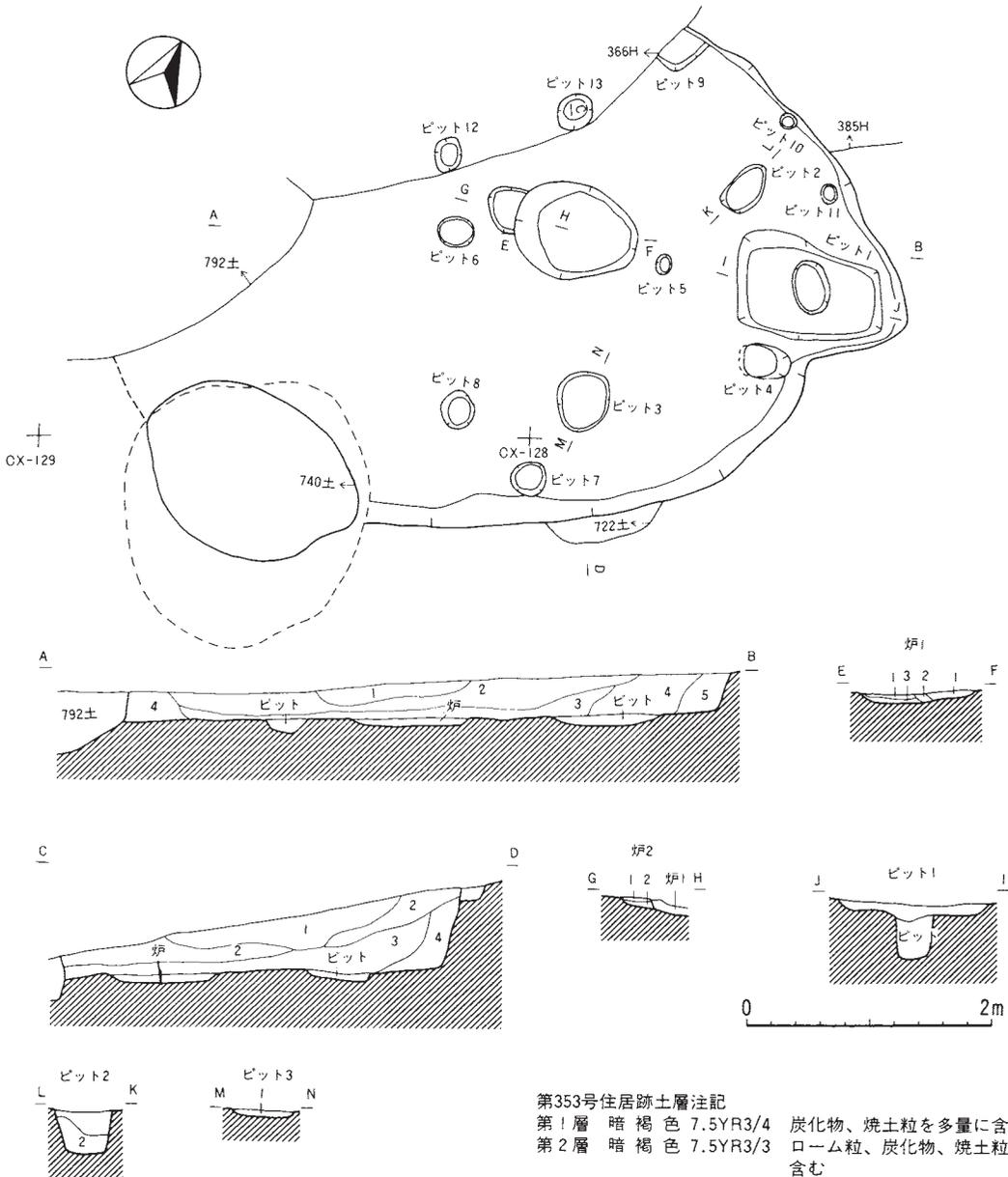
<位置と確認> 調査区CW・CX-127・128グリッドで、調査区中央部の台地緩斜面に位置している。

<重複> 第366・385号住居跡、第704・722・792号土壇と重複し、新旧関係は、第366号住居跡、第704・792号土壇より古く、第385号住居跡・第722号土壇より新しい。

<平面形・規模> 北側部分が切られているため不明であるが、残存部から推定すると東側が張り出した楕円形と思われる。規模は、長軸（6 m45cm）・短軸（4 m50cm）・床面積は不明で



第855図 第353号住居跡(1)



第353号住居跡 炉1 土層注記

- 第1層 暗褐色 7.5YR3/4 焼土粒、炭化材を含む
- 第2層 赤褐色 2.5YR4/6 焼土層
- 第3層 明褐色 7.5YR5/6 暗褐色土混入

第353号住居跡 ビット2 土層注記

- 第1層 暗褐色 7.5YR3/4 炭化物、ローム粒を多量に含む
- 第2層 褐色 7.5YR4/6 黄褐色土混入

第353号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 7.5YR3/4 炭化物、焼土粒を多量に含む
- 第2層 暗褐色 7.5YR3/3 ローム粒、炭化物、焼土粒を少量含む
- 第3層 暗褐色 7.5RR3/3 炭化物若干、ローム粒を多量に含む
- 第4層 褐色 7.5YR4/3 ローム粒多量、炭化物若干含む
- 第5層 明褐色 7.5YR5/6 暗褐色土混入
- 第6層 暗褐色 7.5YR3/4 ローム粒多量に含む

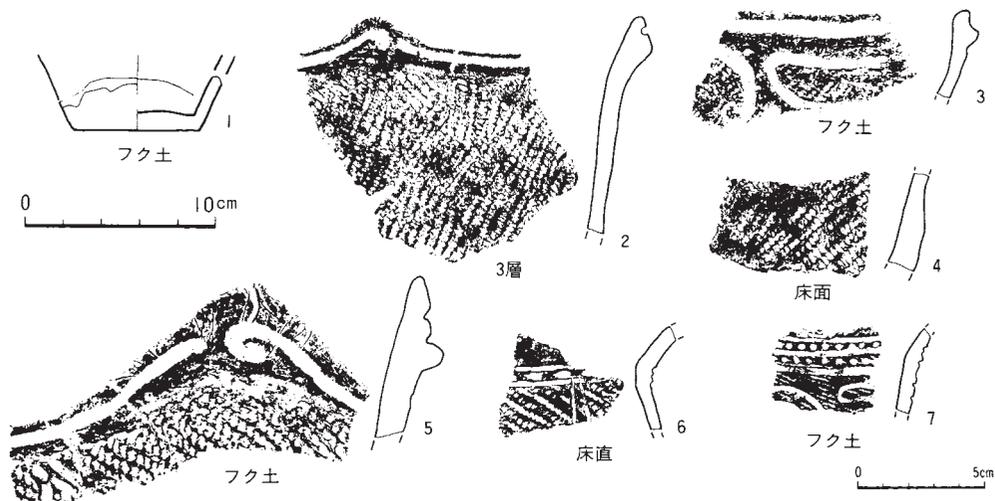
第353号住居跡 炉2 土層注記

- 第1層 明赤褐色 2.5YR5/6 炭化物若干、焼土粒を含む
- 第2層 明黄褐色 10YR6/6 焼土粒混入

第353号住居跡 ビット3 土層注記

- 第1層 褐色 7.5YR4/4 炭化物少量、ローム粒多量に含む

第856図 第353号住居跡(2)



第857図 第353号住居跡(3)

ある。

〈壁・床面〉 東壁は、床面から上端にかけて垂直に立ち上がり、南壁は上端から床面にかけて傾斜しており堅緻な造りである。西・北壁は不明である。壁高は、東壁22cm・南壁10cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い。

〈柱穴〉 ピットは12個検出した。ピット1は特殊施設の項目で記載する。これらのピットは配置等から柱穴と思われる。

第353号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
2	楕円形	46×26	46	3	円形	51×44	6	4	楕円形	38×28	45
5	円形	17×14	28	6	円形	32×26	15	7	円形	30×29	78
8	円形	31×28	54	9	方形	35×32	10	10	円形	13×12	10
11	円形	15×13	20	12	円形	30×24	50	13	円形	30×28	24

〈炉〉 住居跡の東側から2個の炉を検出した。炉1と炉2は重複し、新旧関係は、炉1が新しく、炉2を造り替えたものと思われる。規模は、炉1が長径99cm・短径78cm・深さ7cm、炉2が長径35cm・短径(28cm)・深さ6cmで両炉ともに地床炉である。

〈特殊施設〉 住居跡の東側に張り出して長径118cm・短径86cm・深さ9cmの浅い方形のピットを検出した、内部には円形の小ピットを有する。

〈堆積土〉 6層に分層できた。断面観察等から自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 遺物は、住居跡の炉の南側の覆土から多く出土した。石器は、覆土から不定形石器2点・石製品1点、3層から敲磨器類1点の総数4点が出土した。

〈小結〉 床面・床直(6)・(8)の土器から、榎林式の時期に住居跡が相当すると思われる。

(成田 滋彦)

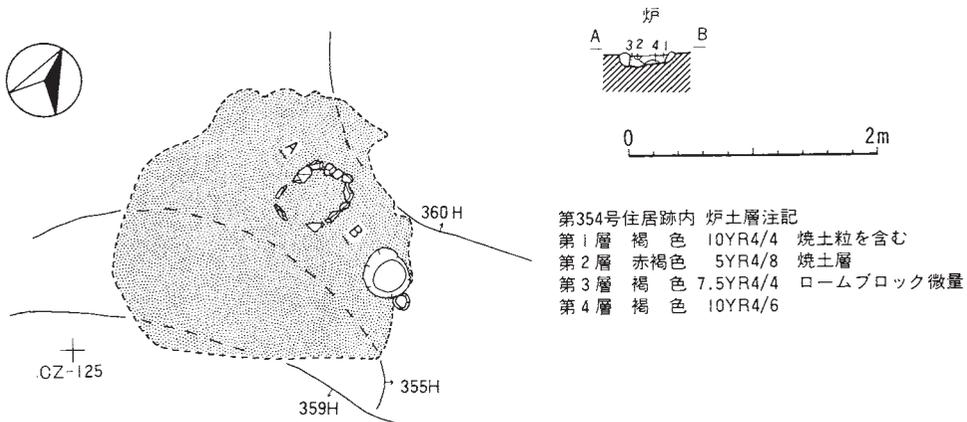
第354号住居跡（第858～860図）

＜位置と確認＞ 調査区CZ-124グリッドに位置している。第IV層を精査中に石囲炉と貼り床を検出した。

＜重複＞ 第355・359・360号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) → (新)

第355号住居跡 → 第359号住居跡 → 本住居跡  
 第360号住居跡 ↗



第858図 第354号住居跡(1)

＜平面形・規模＞ 石囲炉と貼り床の残存部のために平面形・規模は不明である。

＜壁・床面＞ 壁は認められなかった。床面は、炉を中心とした地山を用いた貼り床であり、長軸2m24cm・短軸2m20cmの範囲に分布している。

＜柱穴＞ ピットは炉の西側から2個検出した。柱穴かどうか判断できなかった。

＜炉＞ 角張った礫を用いて方形状に組んだ石囲炉である。規模は、長径62cm・短径47cmを測る。

＜特殊施設＞ 認められなかった。

＜堆積土＞ 認められなかった。

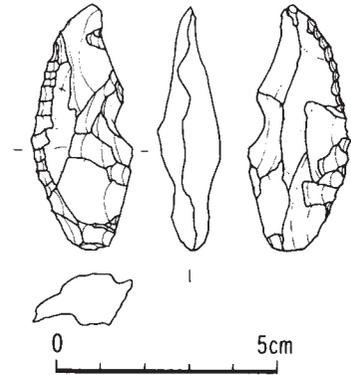
＜出土遺物＞ 遺物は炉の南側から出土し



た。石器は、床直から不定形石器1点が出土した。

＜小結＞ 床直の土器は、粗製の深鉢土器で縄文時代中期後葉～末葉の時期に相当すると思われる。

(神山温子・成田滋彦)



第860図 第354号住居跡(3)

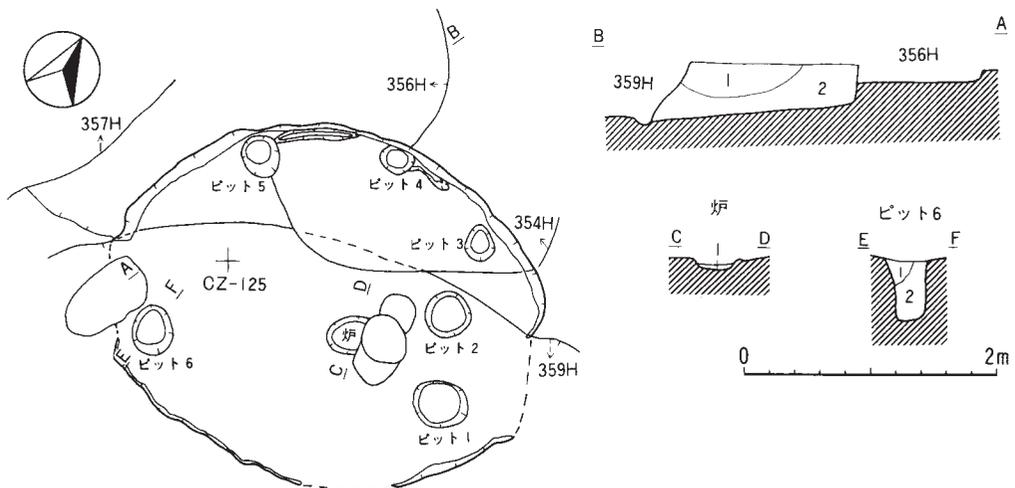
第355号住居跡 (第861～863図)

＜位置と確認＞ 調査区CY・CZ-124・125グリッドに位置している。

＜重複＞ 第354・356・359号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) → (新)

第356号住居跡→本住居跡→第359号住居跡→第354号住居跡



第355号住居跡土層注記

第1層 褐色 10YR4/6 ローム粒少量、炭化粒微量に含む

第2層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒、ロームブロック、炭化粒多量に含む

第355号住居跡 炉土層注記

第1層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒少量、炭化粒、焼土粒多量に含む

第355号住居跡 ピット6 土層注記

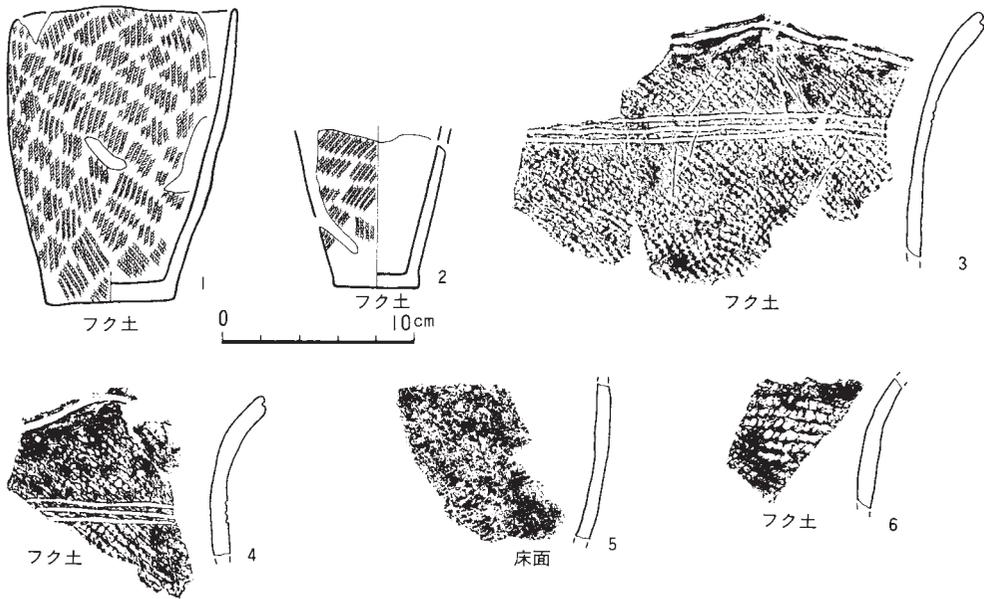
第1層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒多量に含む

第2層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒少量含む

第861図 第355号住居跡(1)

＜平面形・規模＞ 全体的に丸みを有した楕円のりプランを呈する。規模は、長軸3m52cm・短軸2m78cm・床面積(7.22)㎡を測る。

＜壁・床面＞ 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり堅緻な造りである。壁高は、東壁36cm・西壁21cm・南壁4cm・北壁31cmを測る。床面は、ほぼ平坦で軟らかい造りである。



第862図 第355号住居跡(2)

<壁溝> 幅9cm・深さ3cmの溝が、北壁寄りから検出した。溝は北側のみで他からは検出しなかった。

<柱穴> ピットは6個検出した。配置等から柱穴と思われる。

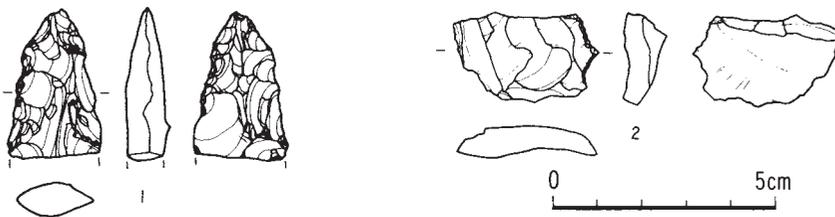
第355号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	円形	43×39	25	2	円形	39×36	5	3	楕円形	31×23	49
4	円形	24×22	17	5	円形	33×28	48	6	楕円形	40×32	50

<炉> 住居跡の中央部から、東側部分をピットに切られた長径(29)cm・短径28cm・深さ7cmの浅い地床炉が位置している。

<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 4層に分層できた。断面観察等から自然堆積と思われる。



第863図 第355号住居跡(3)

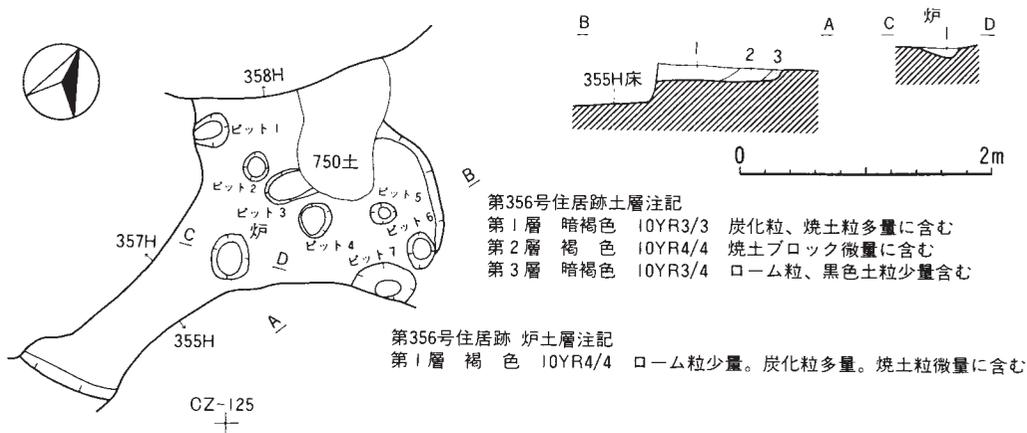
<出土遺物> 土器はすべて覆土からの出土である。石器は、覆土から石槍1点・不定形石器

1点の総数2点が出土した。

＜小結＞ 覆土から出土した土器は、榎林式の土器である。 (神山温子・成田滋彦)

### 第356号住居跡 (第864～866図)

＜位置と確認＞ 調査区CZ-124・125グリッドで、調査区東側の台地緩斜面に位置している。第355号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。



第864図 第356号住居跡(1)

＜重複＞ 第357・358号住居跡と重複し、下記の変遷である。

(旧) → (新)

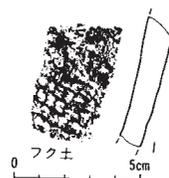
本住居跡 → 第357号住居跡 → 第358号住居跡

＜平面形・規模＞ 残存部から判断して円形と思われる。規模は、長軸3m46cm、短軸と規模は不明である。

＜壁・床面＞ 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり、軟らかい造りである。壁高は、東壁11cm・西壁25cm・南北壁は不明である。床面は、ほぼ平坦で炉の周辺が固いが他の部分は軟らかい。

＜柱穴＞ ピットは7個検出した。配置等から柱穴の思われるが、主柱穴は判断できなかった。

＜炉＞ 円形の形態で、長径38cm・短径29cm・深さ7cmの浅い地床炉を検出した。



第865図 第356号住居跡(2)

第356号住居跡ピット計測表

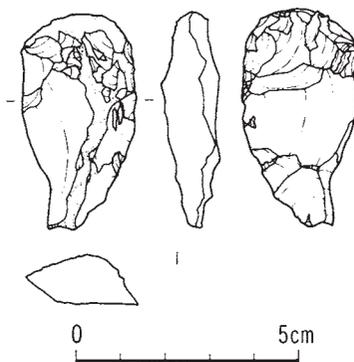
No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	楕円形	(29)×27	32	2	円形	24×19	8	3	楕円形	(35)×26	33
4	楕円形	32×28	15	5	円形	19×17	19	6	楕円形	31×22	17
7	楕円形	(51)×(28)	12								

〈特殊施設〉 認められなかった。

〈出土遺物〉 土器は覆土から1片出土した。石器は、覆土から不定形石器1点が出土した。

〈小結〉 土器は縄文のみの深鉢形土器であり、製作技法状から円筒上層系の土器と思われる。

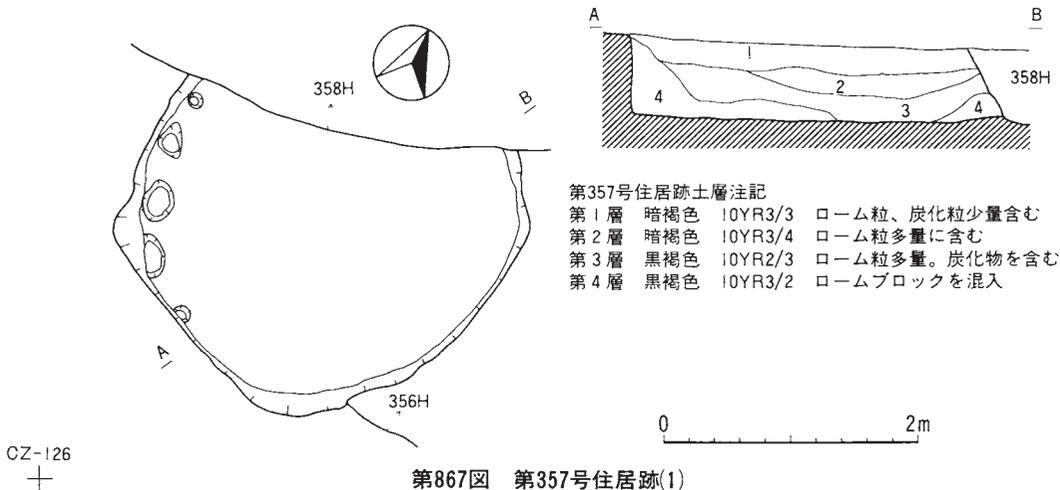
(神山温子・成田滋彦)



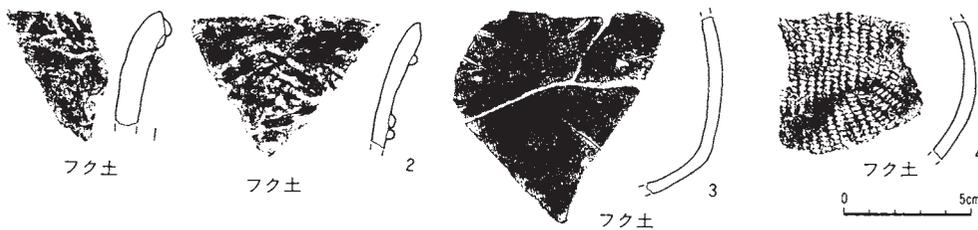
第866図 第356号住居跡(3)

### 第357号住居跡 (第867～869図)

〈位置と確認〉 調査区CZ-125グリッドに位置している。第358号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。



第867図 第357号住居跡(1)



第868図 第357号住居跡(2)

＜重複＞ 第356・358号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————→ (新)

第356号住居跡→本住居跡→第358号住居跡

＜平面形・規模＞ 残存部から推定すると円形のプランと思われる。規模は長軸3 m28cm・短軸(2 m30cm)を測る。

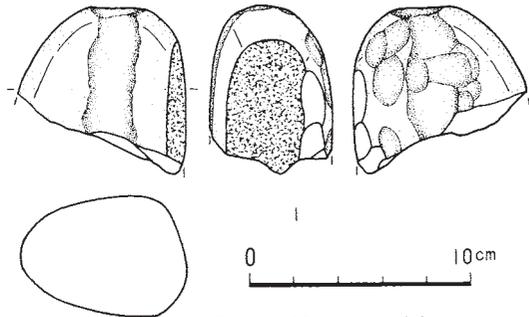
＜壁・床面＞ 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり、堅緻な造りである。東壁41cm・西壁55cm・南壁69cm・北壁は不明である。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固いつくりである。

＜柱穴＞ ピットは5個検出した。北壁寄りに当間隔に配置している。

＜炉＞ 検出しなかった。

＜特殊施設＞ 認められなかった。

＜出土遺物＞ 遺物は、住居跡の中央部ですべて覆土からの出土である。石器は、覆土から敵磨器類1点が出土した。  
(神山温子・成田滋彦)



第869図 第357号住居跡(3)

### 第358号住居跡 (第870～873図)

本住居跡は、2回の拡張を行った住居跡である。古い順にA→B→Cと名称を付した。

＜位置と確認＞ 調査区DA・DB-124・125グリッドに位置している。第IV層を精査中に褐色土の落ち込みを確認した。

＜重複＞ 第356・357号住居跡・第700・749・800号土壇と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————→ (新)

第356号住居跡→第700号住居跡→第357号住居跡→本住居跡A→本住居跡B→本住居跡C

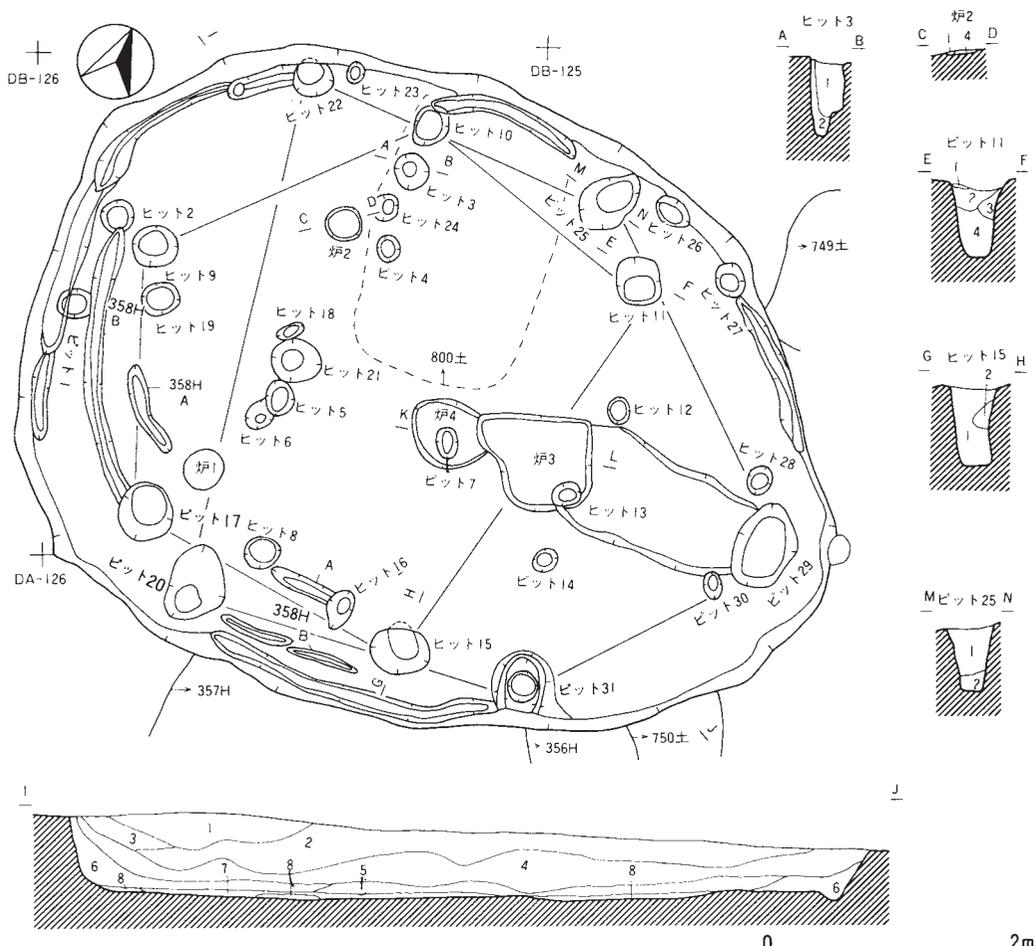
↓  
第800号土壇

↓  
第749号土壇

＜平面形・規模＞ A・B期は形態がつかめなかったため。C期について記載する。

東側が張り出した楕円形を呈する。規模は、長軸6 m58cm・短軸5 m14cm・床面積25.00㎡を測る。

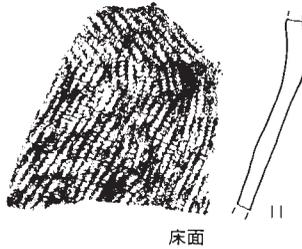
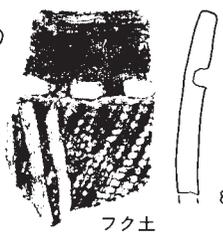
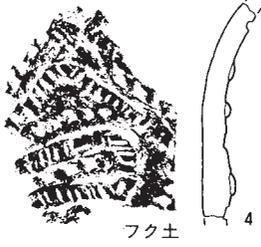
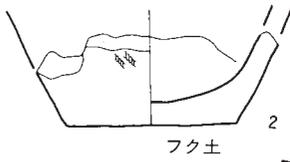
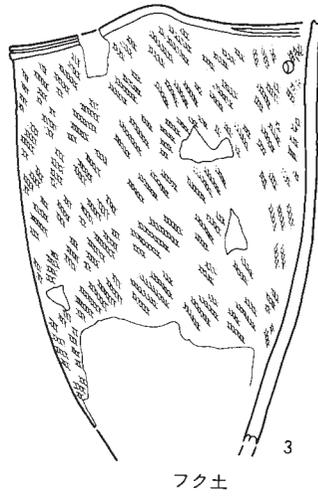
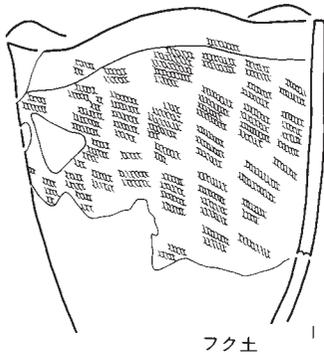
＜壁・床面＞ 壁が確認できたのはC期のみである。床面から上端にかけて垂直に立ち上がり



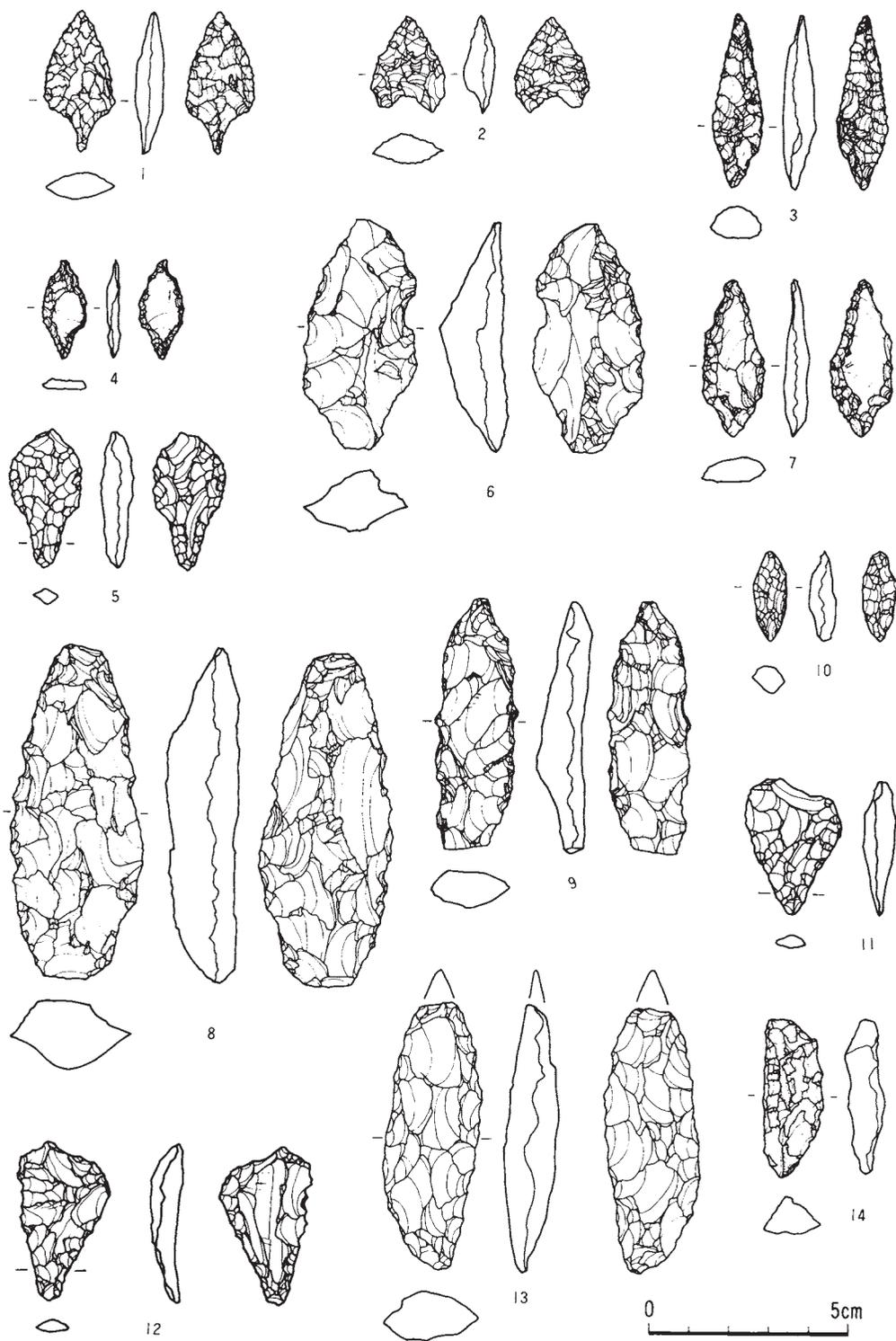
- 第358号住居跡 B 炉2 土層注記  
 第1層 赤褐色 5YR4/6 焼土層  
 第2層 暗赤褐色 5YR3/3 炭化粒極微量
- 第358号住居跡 C 炉4 土層注記  
 第1層 暗赤褐色 5YR5/8 焼土層  
 第2層 褐色 10YR4/8 ロームブロック含む  
 第3層 赤褐色 5YR4/8 焼土層
- 第358号住居跡 A ピット3 土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒、ロームブロック多量に含む  
 第2層 明黄褐色 10YR6/8
- 第358号住居跡 B ピット15土層注記  
 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒多量に含む  
 第2層 暗褐色 10YR3/4 ロームブロック多量に含む

- 第358号住居跡 B, C 土層注記  
 第1層 褐色 10YR4/6 ロームブロック少量含む  
 第2層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量含む  
 第3層 黄褐色 10YR5/6 ロームブロック多量に含む  
 第4層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒多量。焼土粒微量に含む  
 第5層 褐色 10YR4/4 ローム粒、炭化粒、焼土粒微量に含む  
 第6層 暗褐色 10YR3/3 ロームブロック多量に含む  
 第7層 褐色 10YR4/6 暗褐色土混入  
 第8層 暗褐色 10YR3/3 ロームブロック多量に含む
- 第358号住居跡 C 炉3 土層注記  
 第1層 暗褐色 7.5YR3/3 炭化物、焼土粒多量に含む  
 第2層 褐色 10YR4/6 炭化物、焼土粒多量に含む  
 第3層 明赤褐色 5YR5/8 焼土層
- 第358号住居跡 B ピット11土層注記  
 第1層 黄褐色 10YR5/8  
 第2層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒多量に含む  
 第3層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒多量に含む  
 第4層 黒褐色 10YR2/3 ローム粒多量に含む
- 第358号住居跡 C ピット25土層注記  
 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒多量に含む  
 第2層 褐色 10YR4/6 ローム粒少量含む  
 第3層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒多量に含む

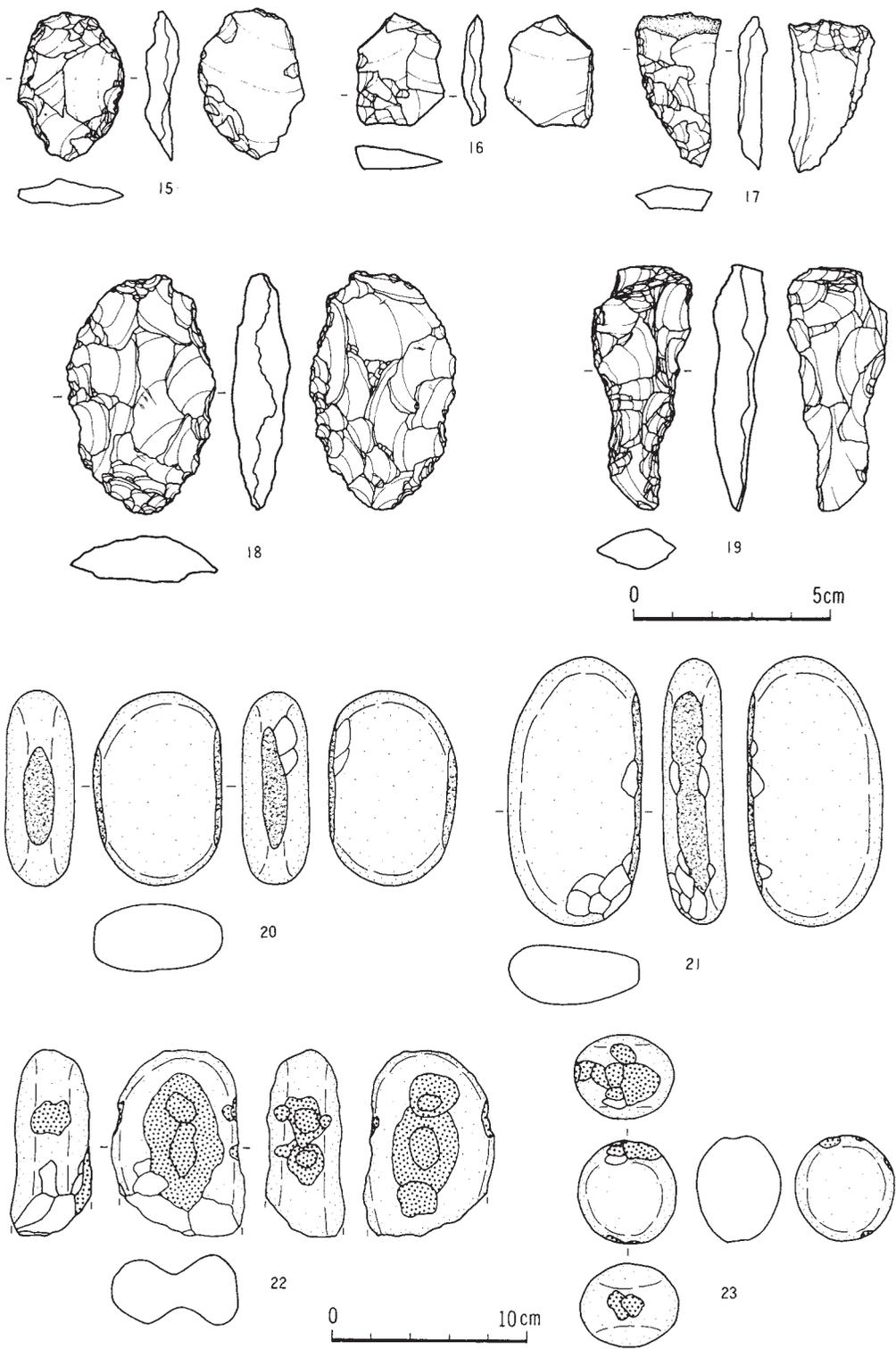
第870図 第358号住居跡(1)



第871図 第358号住居跡



第872图 第358号住居跡(3)



第873图 第358号住居跡(4)

堅緻な造りである。壁高は、東壁34cm・西壁43cm・南壁54cm・北壁37cmを測る。床面は、A～C期の住居跡すべて平坦であり、炉の周辺に貼り床を有し固い。

<壁溝> A期は幅14cm・深さ10cmで西・南側のみで検出し、B期は幅12cm・深さ7cmでA期同様に西・南側に位置している。C期は幅16cm・深さ4cmの溝で壁寄りに一周し一部途切れている。

<柱穴> A期ではピットが8個検出した（ピット1～8）。ピット2・3・7・8の4個が主柱穴である。B期ではピットが11個検出した（ピット9～19）。ピット9・10・11・15・17の5個が主柱穴である。C期では13個のピットを検出した（ピット20～32）。ピット20・22・25・29・31の5個が主柱穴である。

第358号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)	No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)	No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)
1	円形	28×28	24	2	円形	26×25	44	3	円形	29×29	64
4	円形	22×18	68	5	楕円形	27×18	15	6	楕円形	22×21	5
7	楕円形	30×17	13	8	円形	28×26	45	9	円形	35×33	66
10	円形	32×28	70	11	円形	40×39	67	12	円形	21×19	5
13	円形	24×21	16	14	円形	19×18	66	15	円形	46×41	78
16	楕円形	32×21	6	17	円形	47×38	71	18	楕円形	26×18	11
19	円形	28×26	39	20	楕円形	65×46	70	21	円形	42×35	18
22	円形	32×31	69	23	円形	18×14	26	24	円形	24×19	15
25	楕円形	57×39	59	26	楕円形	28×21	8	27	円形	26×23	14
28	円形	23×21	19	29	楕円形	69×48	26	30	楕円形	22×13	16
31	楕円形	59×49	56	32	楕円形	34×22	11				

<炉> A期では長径32cm・短径31cmの円形の地床炉（炉1）、B期では長径29cm・短径27cmの地床炉（炉2）である。C期では炉が2基検出し、住居跡の中央部から西側にかたよった位置にある。炉3・4は重複し、炉3が新しい。規模は炉3が長径(80)cm・短径67cm、炉4が長径(59)cm・短径(54)cmを測る。

<その他の施設> C期は、炉3とピット29の間に長径(120)cm・短径75cmの長方形のピットを検出した。用途に関しては不明である。A・B期からは検出しなかった。

<堆積土> 本住居跡は堆積土中に褐色及びロームブロックを多く含んでおり、人為堆積と思われる。

<出土遺物> 本住居跡は、住居跡を2回建て替えており、遺物は358号住居跡のC期から出土した。土器は、(11)が床面で、他はすべて覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃10点・石槍4点・石錐5点・不定形石器24点・敲磨器類5点・軽石1点の総数49点が出土した。

<小結> 床面出土の土器(11)は、榎林・最花式に相当すると思われる。

(神山温子・成田滋彦)

第359号住居跡（第874～878図）

<位置と確認> 調査区C Y・C Z-124・125グリッドに位置している。第354号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

<重複> 第354・355・408・450号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

第408号住居跡→第450号住居跡→本住居跡→第354号住居跡

第355号住居跡ノ

<平面形・規模> 全体的に丸みのある楕円形のプランを呈する。規模は長軸5 m92cm・短軸(4 m64cm)・床面積(19.69)m<sup>2</sup>を測る。

<壁・床面> 上端から床面にかけて傾斜しており、堅緻な造りである。壁高は、東壁14cm・西壁23cm・南壁20cm・北壁44cmを測る。床面はほぼ平坦で炉の周辺は固く、壁寄りには軟らかい。

<壁溝> 壁寄りに幅16cm・深さ15cmの溝が巡っている。溝は、東・北側で途切れている。

<柱穴> ピットは19個検出した。壁よりに多く位置し、ピット5は掘り方の縁に周提を巡らしている。これらのピットは配置等から柱穴と思われる。

第359号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	円形	21×19	40	2	円形	27×24	14	3	円形	16×16	4
4	楕円形	23×17	21	5	円形	31×25	62	6	楕円形	47×36	76
7	楕円形	72×63	46	8	楕円形	39×27	46	9	楕円形	32×29	75
10	円形	21×17	73	11	円形	34×32	40	12	円形	28×27	66
13	円形	26×24	73	14	円形	28×27	59	15	楕円形	36×27	69
16	楕円形	36×24	76	17	円形	39×35	29	18	楕円形	27×19	14
19	円形	25×24	16								

<炉> 住居跡の中央部から東側寄りに2基の炉が配置されている。炉1・2は重複し、新旧関係は炉1が新しく両炉ともに地床炉である。規模は炉1が長径66cm・短径54cm、炉2は長径92cm・短径(48)cmを測る。

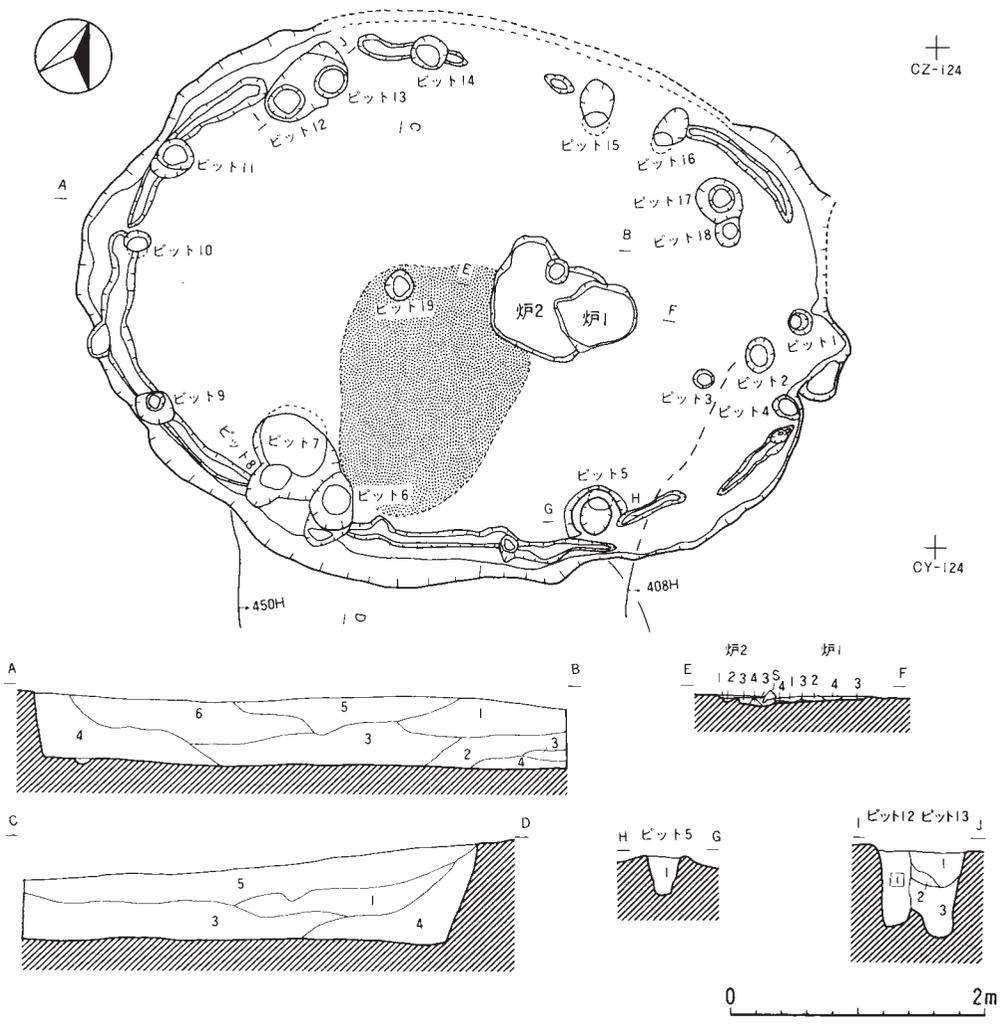
<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 6層に分層できた。断面観察等から人為堆積と思われる。

<出土遺物> 土器は、(3)・(13)が床直から出土し、他は覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃15点・石槍3点・石錐5点・石筥1点・不定形石器30点・磨製石斧1点・台石石皿4点・敲磨器類4点・石棒2点・軽石1点、床面から石鏃1点・不定形石器6点の総数73点が出土した。

<小結> 床直の土器は、最花式であり住居跡もこの時期に相当すると思われる。

(神山温子・成田滋彦)



第359号住居跡土層注記

- 第1層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒少量含む
- 第2層 褐色 10YR4/6 ローム粒、炭化粒微量に含む
- 第3層 明黄褐色 10YR6/8 炭化粒極微量に含む
- 第4層 褐色 10YR4/6 炭化粒少量含む
- 第5層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量。ロームブロックあり
- 第6層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒多量。ロームブロック微量。炭化粒、焼土粒多量に含む

第359号住居跡 炉1 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒多量。炭化物少量含む
- 第2層 褐色 7.5YR4/6 焼土粒多量に含む
- 第3層 明褐色 7.5YR5/8
- 第4層 赤褐色 5YR4/6 焼土層

第359号住居跡 炉2 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/6
- 第2層 暗赤褐色 5YR3/4 焼土粒多量に含む
- 第3層 褐色 7.5YR4/6 炭化物少量含む
- 第4層 明褐色 7.5YR5/8

第359号住居跡 ビット12土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒多量

第359号住居跡 ビット13土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量。炭化粒微量

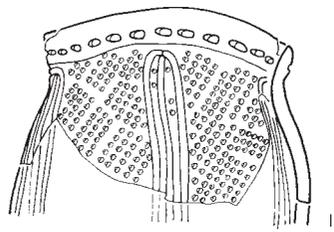
第359号住居跡 ビット5 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/6 ローム粒少量

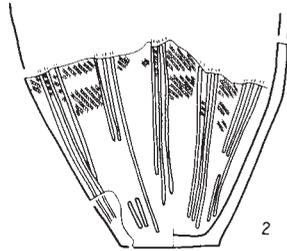
第359号住居跡 ビット12土層注記

- 第2層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒多量
- 第3層 褐色 10YR4/6 ローム粒少量

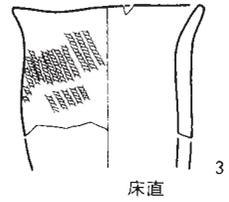
第874図 第359号住居跡(1)



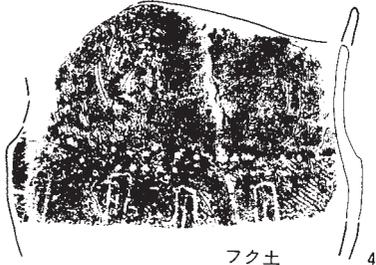
フク土



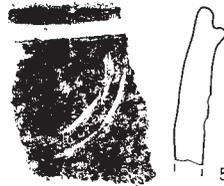
フク土



床直



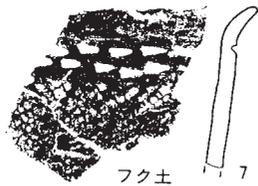
フク土



フク土



フク土



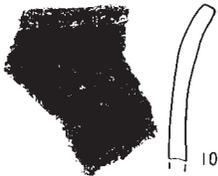
フク土



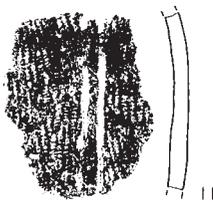
フク土



フク土



フク土



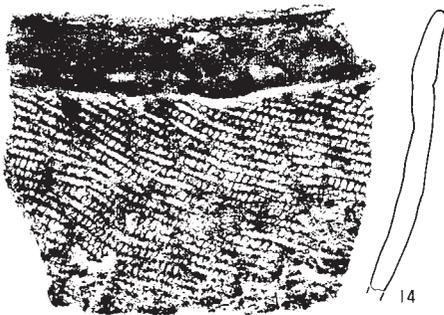
フク土



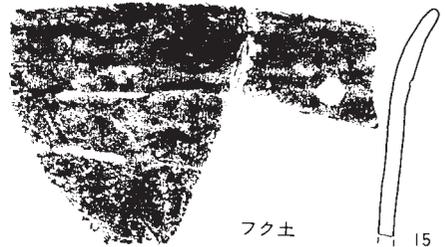
フク土



床直



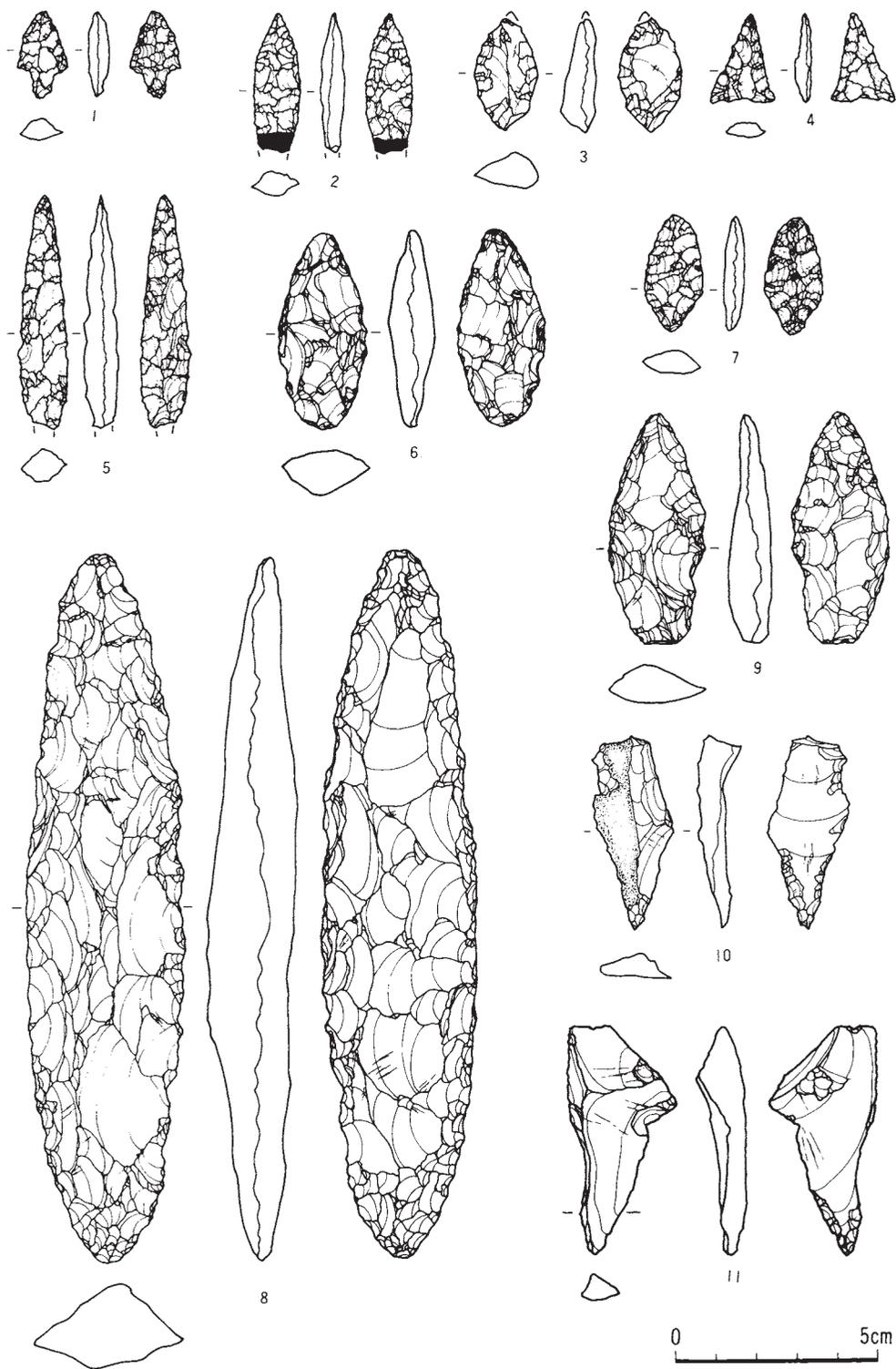
フク土



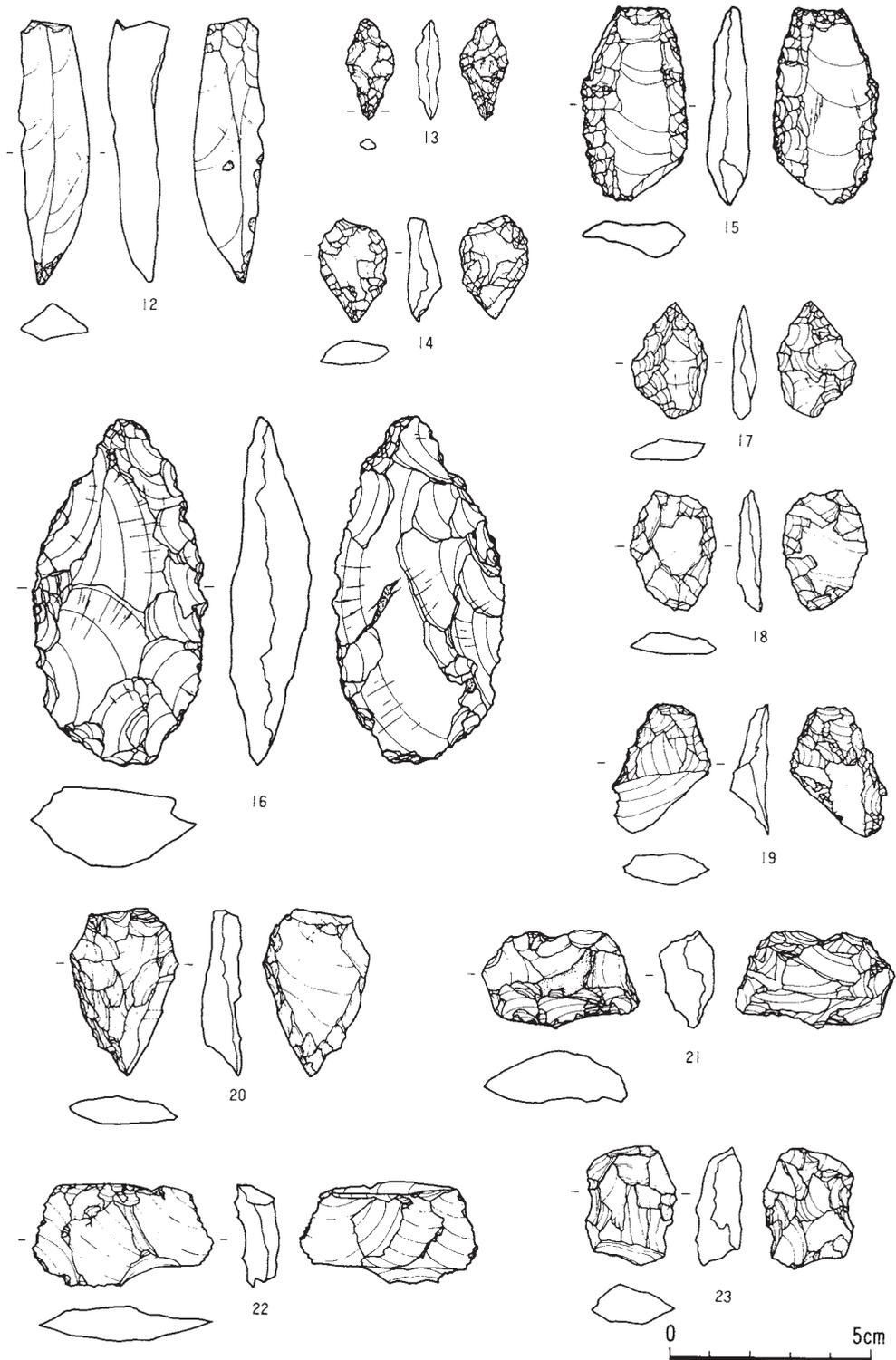
フク土



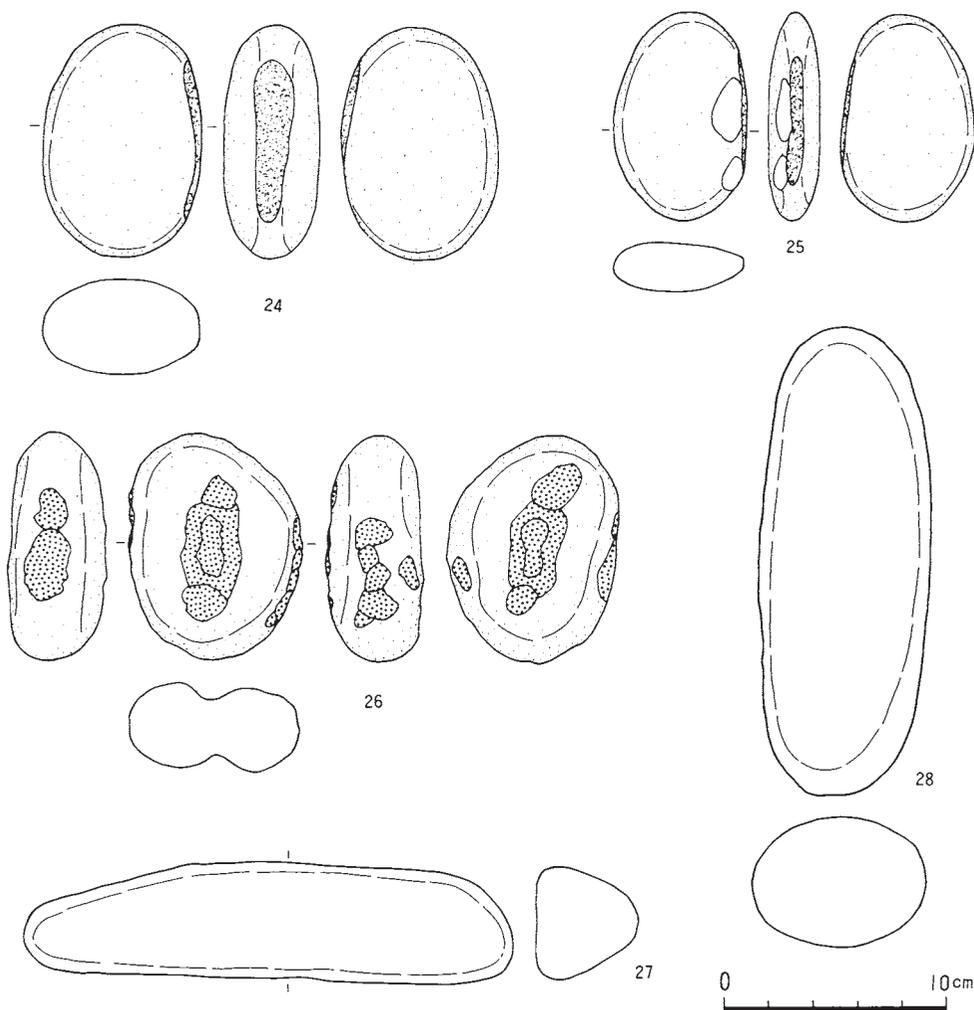
第875図 第359号住居跡(2)



第876图 第359号住居跡(3)



第877图 第359号住居跡(4)



第878図 第359号住居跡(5)

第360号住居跡 (第879～881図)

<位置と確認> 調査区C Z-123・124グリッドに位置している。第354号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

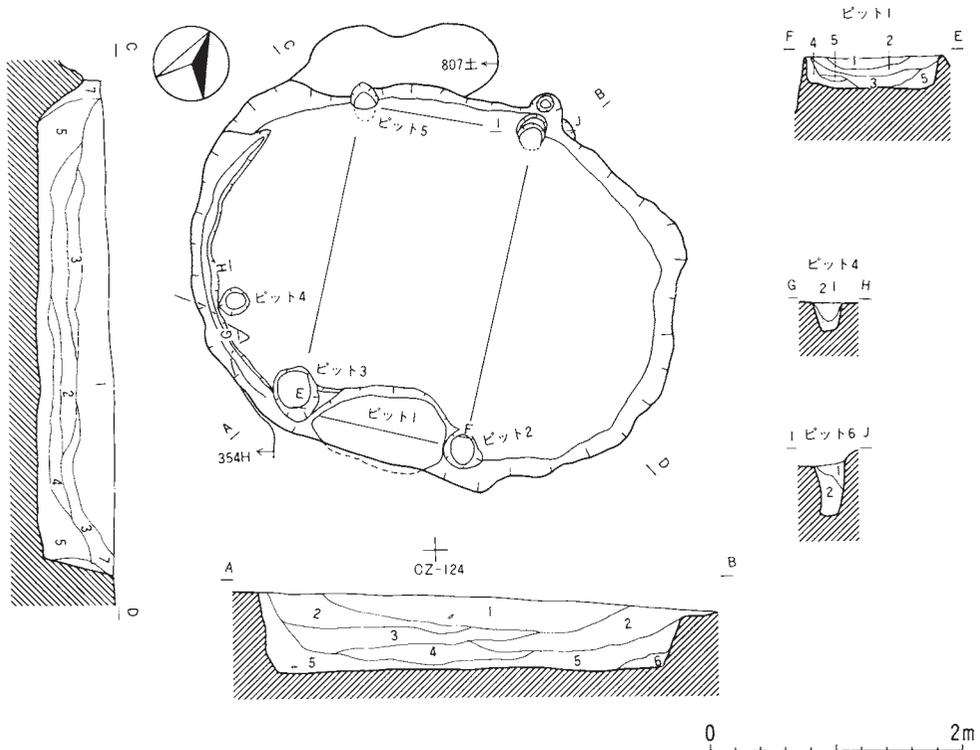
<重複> 第354号住居跡・第807号土壇と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

第807号土壇 → 本住居跡 → 第354号住居跡

<平面形・規模> 東西に長軸をもち全体的に丸みのある長方形である。規模は長軸4 m00cm・短軸3 m02cm・床面積7.65㎡を測る。

<壁・床面> 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり、堅緻な造りである。壁高は東壁57cm・



第360号住居跡土層注記

- |     |      |         |                       |
|-----|------|---------|-----------------------|
| 第1層 | 黄褐色  | 10YR5/8 | ローム粒、炭化粒、焼土粒少量含む      |
| 第2層 | 明黄褐色 | 10YR6/8 | ローム粒少量含む              |
| 第3層 | 褐色   | 10YR4/4 | ローム粒少量。炭化粒多量。焼土粒微量を含む |
| 第4層 | 明黄褐色 | 10YR6/6 |                       |
| 第5層 | 黄褐色  | 10YR5/6 | ローム粒少量。炭化粒微量に含む       |
| 第6層 | 褐色   | 10YR4/4 | 炭化粒微量に含む              |
| 第7層 | 黄褐色  | 10YR5/8 |                       |

第360号住居跡 ピット1 土層注記

- |     |     |          |              |
|-----|-----|----------|--------------|
| 第1層 | 褐色  | 10YR4/6  | ローム粒、焼土粒少量含む |
| 第2層 | 黄褐色 | 10YR5/8  | ローム粒微量に含む    |
| 第3層 | 黄褐色 | 10YR5/6  |              |
| 第4層 | 黄褐色 | 10YR5/8  |              |
| 第5層 | 褐色  | 7.5YR5/6 |              |

第360号住居跡 ピット4 土層注記

- |     |    |         |          |
|-----|----|---------|----------|
| 第1層 | 褐色 | 10YR4/6 |          |
| 第2層 | 褐色 | 10YR4/4 | ローム粒少量含む |

第360号住居跡 ピット6 土層注記

- |     |      |         |           |
|-----|------|---------|-----------|
| 第1層 | 暗褐色  | 10YR3/4 | ローム粒多量に含む |
| 第2層 | 明黄褐色 | 10YR6/8 |           |
| 第3層 | 褐色   | 10YR4/6 | ローム粒少量含む。 |
| 第4層 | 黄褐色  | 10YR5/6 |           |

第879図 第360号住居跡(1)

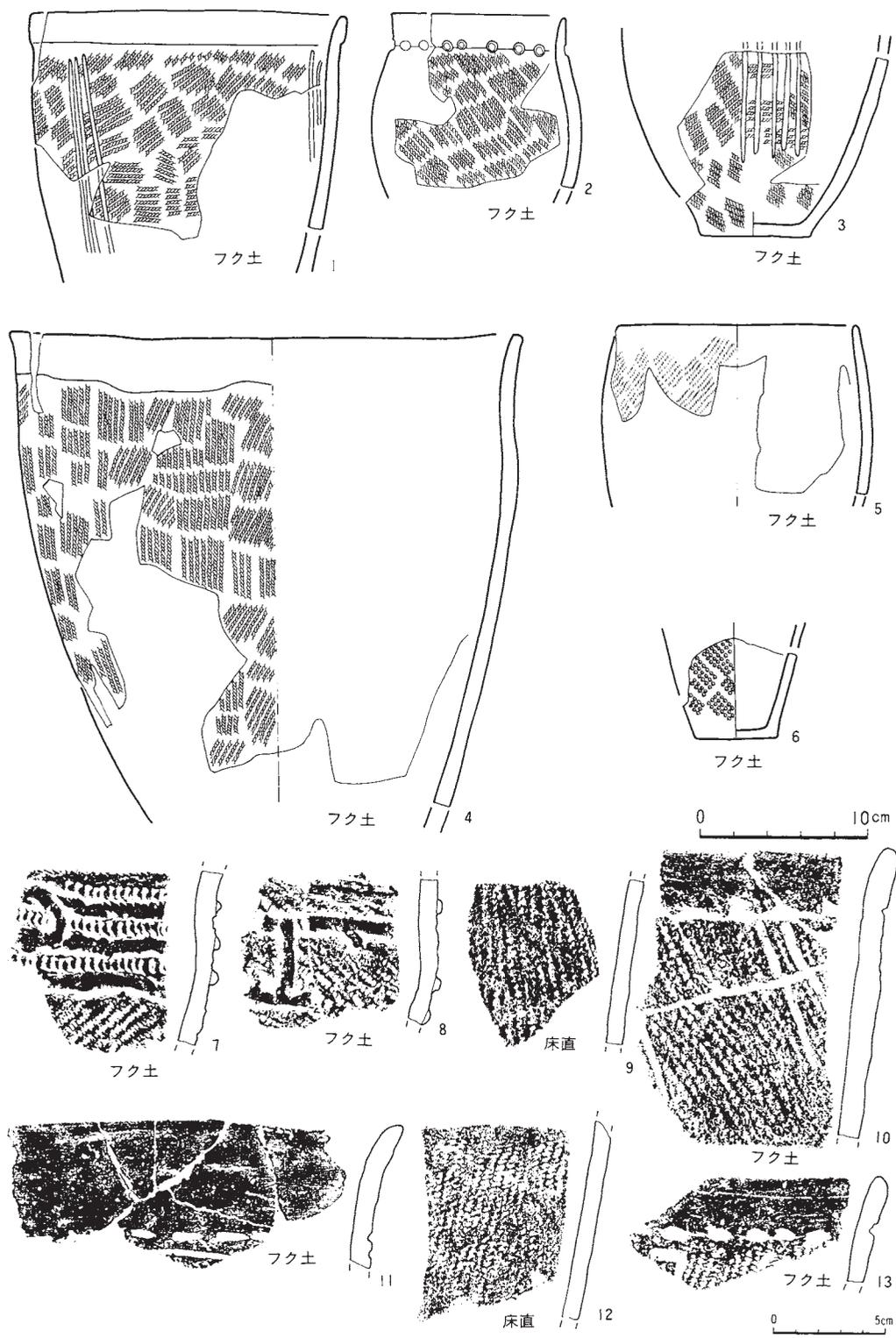
西壁53cm・南壁65cm・北壁46cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い。

<壁溝> 西壁よりに幅8cm・深さ5cmの溝を検出した。溝は西側のみで他からは検出されなかった。

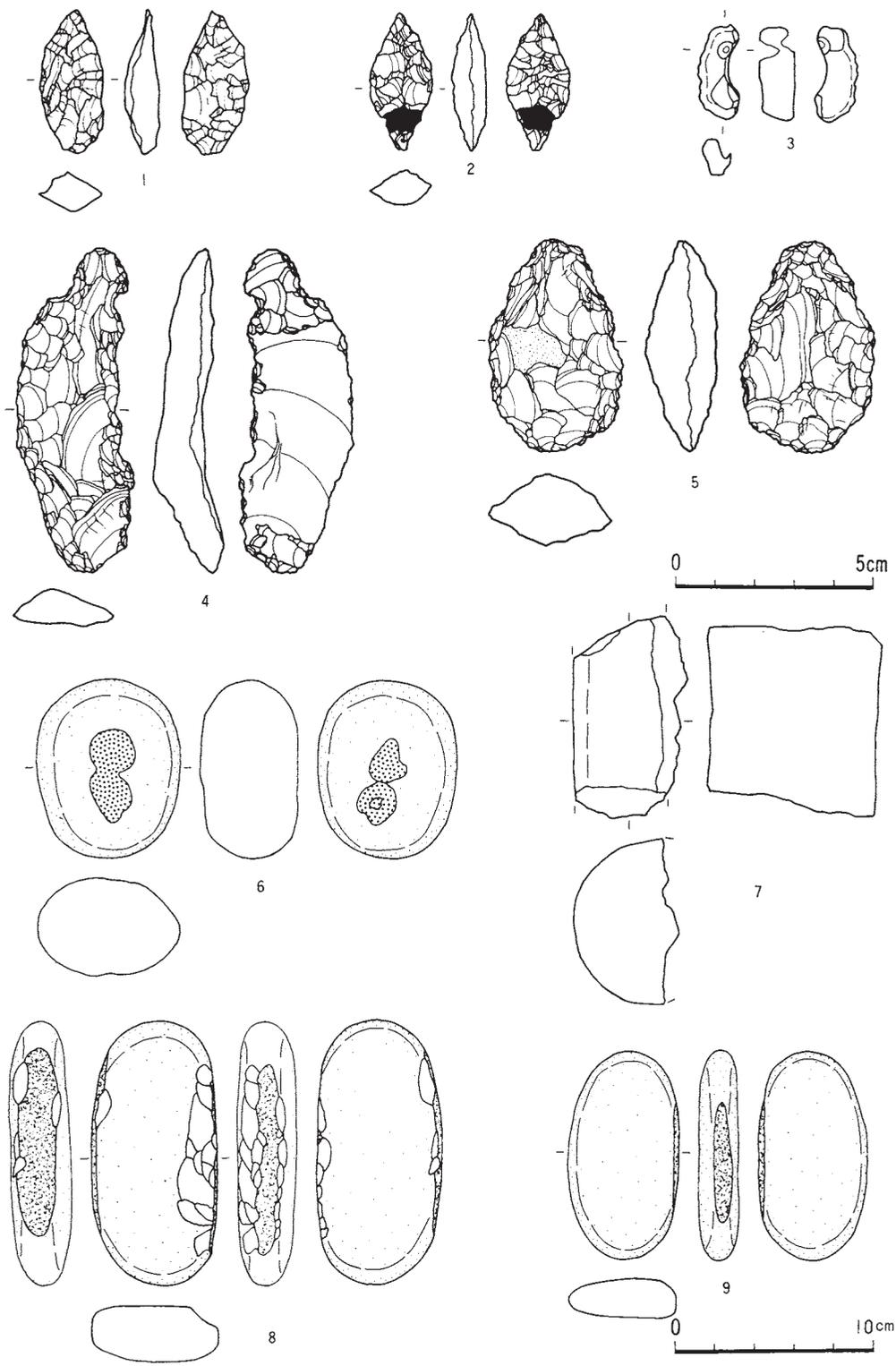
<柱穴> ピットは6個検出した。ピット1については、その他の施設の項目で記載する。他のピットは配置等から柱穴と思われる、ピット2・3・5・6の4個が主柱穴と思われる。

<炉> 検出しなかった。

<その他の施設> 住居跡の南壁寄りに長径1m04cm・短径67cm・深さ25cmの長楕円形のピット



第880図 第360号住居跡(2)



第881图 第360号住居跡(3)

トを検出した。ピットは人為的に埋められており、用途に関しては不明である。

第360号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
2	円形	32×30	63	3	楕円形	45×37	83	4	円形	24×24	21
5	円形	22×19	57	6	円形	28×25	53				

<堆積土> 6層に分層できた。第3層中に焼土を含み断面観察等から人為堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物は住居跡の南側から多く出土した。土器は、すべて覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃4点・石匙1点・石筥1点・不定形石器2点・敲磨器類2点・石棒類1点・台石石皿3点、床面から敲磨器類1点・台石石皿1点・石製品（琥珀）1点の総数17点が出土した。

<小結> 床直の土器(9)・(12)は、榎林・最花式の時期に相当すると思われる。

(神山温子・成田滋彦)

### 第361号住居跡（第882～886図）

<位置と確認> 調査区西側台地の平坦面C Y・C Z-125～127グリッドに位置する。第IV層上面で褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は、9軒の住居跡と重複しており、床面中央で第399号住居跡、東側で第359号住居跡、南側で第352号住居跡・第369号住居跡・第370号住居跡・第384号住居跡・第385号住居跡、東側で第368号住居跡・第453号住居跡と重複している。新旧関係は以下のとおりである。

(新) —————→ (旧)

第369号住居跡→第384号住居跡→第370号住居跡→第385号住居跡

↙ ↘

第359号住居跡→本住居跡→第368号住居跡→第453号住居跡

↓ → ↘

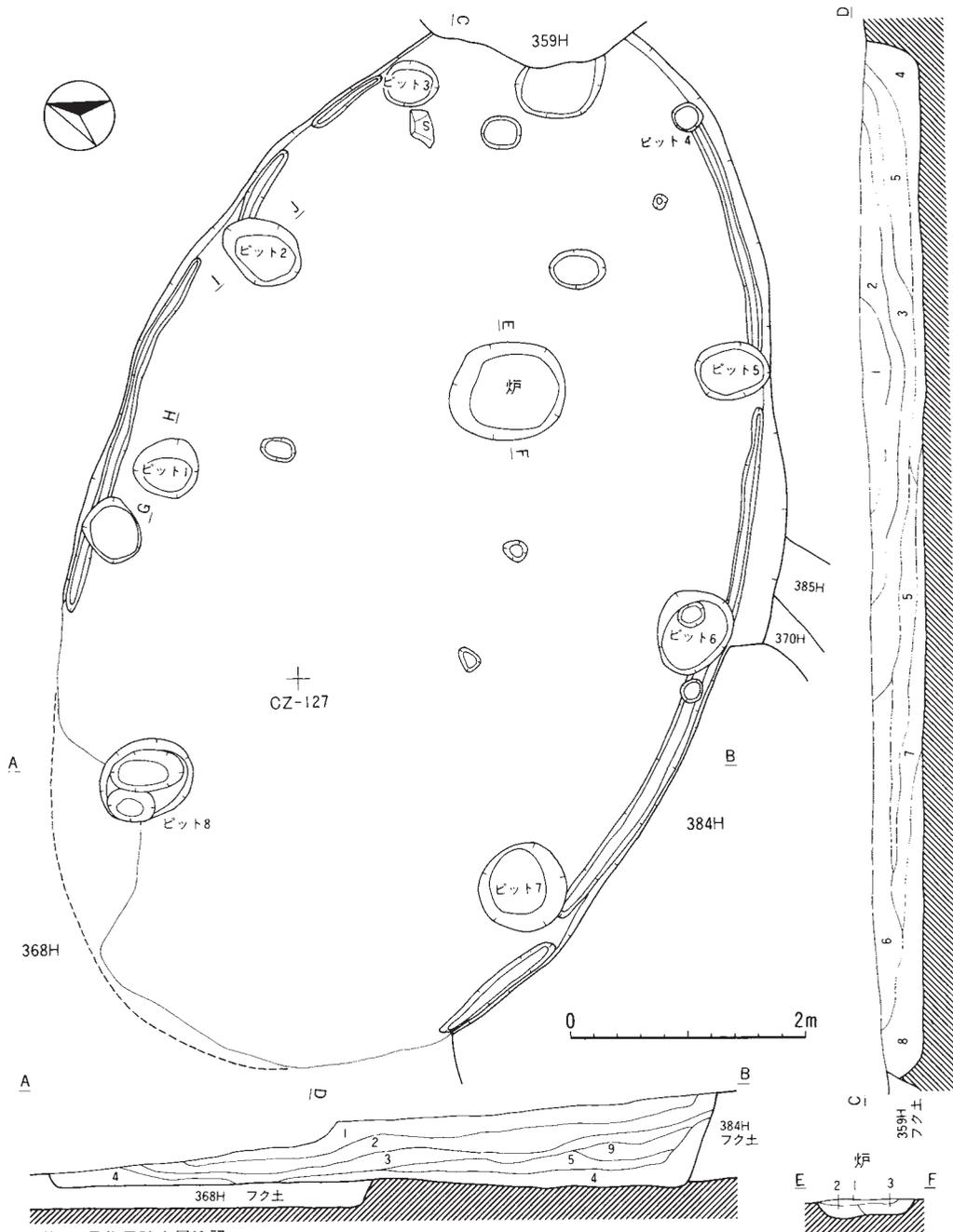
第399号住居跡→第352号住居跡

<平面形・規模> 東西に長い楕円形で、規模は、長軸(9 m50cm)・短軸5 m90cm、床面積は、(41.0m<sup>2</sup>)である。

<壁・床面> 重複が多いため北壁と南壁の一部だけ確認できたが、ほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な構築である。壁高は、北壁16～29cm・南壁46～82cmである。床面はやや起伏が認められ全般的に平坦で、強く締まっている。

<壁溝> 幅8～20cm・深さ3～12cmの壁溝が、東側と西側の一部を除いてほぼ一周する。

<柱穴> 本住居跡内から多数のピットを検出し、このうち、長軸線上で対称になっているP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>5</sub>～P<sub>8</sub>(深さP<sub>1</sub>…100、P<sub>2</sub>…92、P<sub>5</sub>…89、P<sub>6</sub>…89、P<sub>7</sub>…89、P<sub>8</sub>…81cm)が主柱



第361号住居跡土層注記

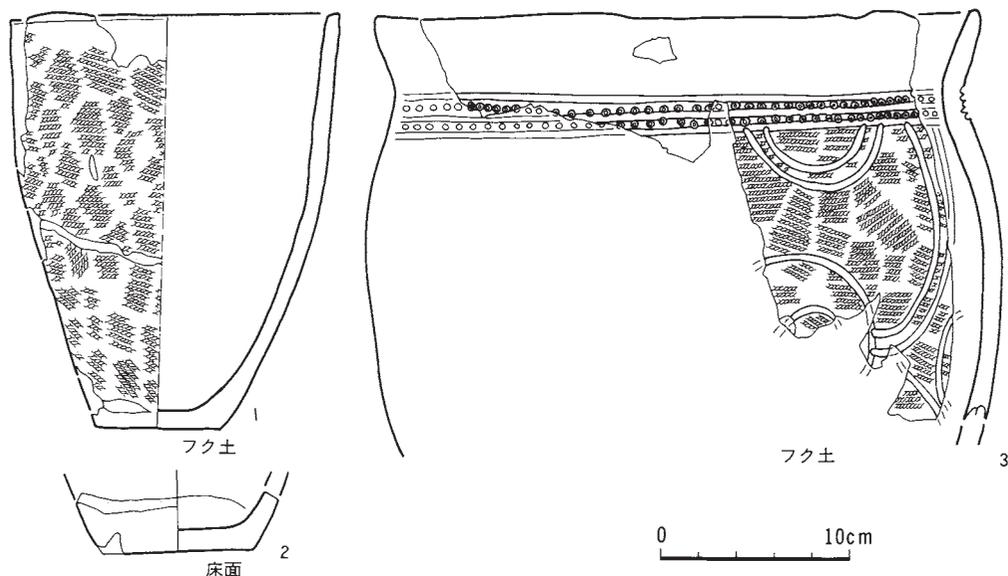
第1層	にぶい黄褐色	10YR5/4	ローム粒、炭化物を少量含む
第2層	褐色	10YR4/4	ローム粒、炭化物を少量含む
第3層	暗褐色	10YR3/4	ローム粒、炭化物を少量含む
第4層	褐色	10YR4/4	ローム粒、炭化物を多量に含む
第5層	黄褐色	10YR5/6	ローム粒、L.Bを多量、炭化物を少量含む
第6層	褐色	10YR4/4	ローム粒を多量、炭化物を少量含む
第7層	暗褐色	10YR3/4	ローム粒、炭化物を少量、焼土粒を微量に含む
第8層	褐色	10YR4/6	ローム粒を多量、炭化物を少量含む
第9層	褐色	10YR4/4	ローム粒、炭化物をやや多く、焼土粒を微量に含む

第882図 第361号住居跡(1)

第361号住居跡 炉土層注記  
 第1層 赤褐色 2.5YR4/8 暗褐色土混入  
 第2層 明赤褐色 2.5YR5/6 ローム粒、炭化物を少量含む  
 第3層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒、炭化物を少量含む

第361号住居跡 ビット2 土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒を多量、炭化物を少量含む  
 第2層 黒褐色 10YR3/2 ローム粒を多量に含む  
 第3層 黄褐色 10YR5/6 暗褐色土混入

第361号住居跡 ビット1 土層注記  
 第1層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒を多量、炭化物を微量に含む  
 第2層 褐色 10YR4/4 ローム粒を多量に含む暗褐色土混入  
 第3層 黄褐色 10YR5/6 暗褐色土ブロック状に含む



第883図 第361号住居跡(2)

穴で、 $P_3 \cdot P_4$  (深さ $P_3 \dots 65$ 、 $P_4 \dots 70$ cm) も柱穴の可能性はある。

<炉> 地床炉で住居跡の中央部からやや東寄り位置する。平面形は不整な円形である。規模は、開口部で長軸100cm・短軸85cm、深さ17cmである。堆積土は3層に区分でき、第1層上面が火床面である。

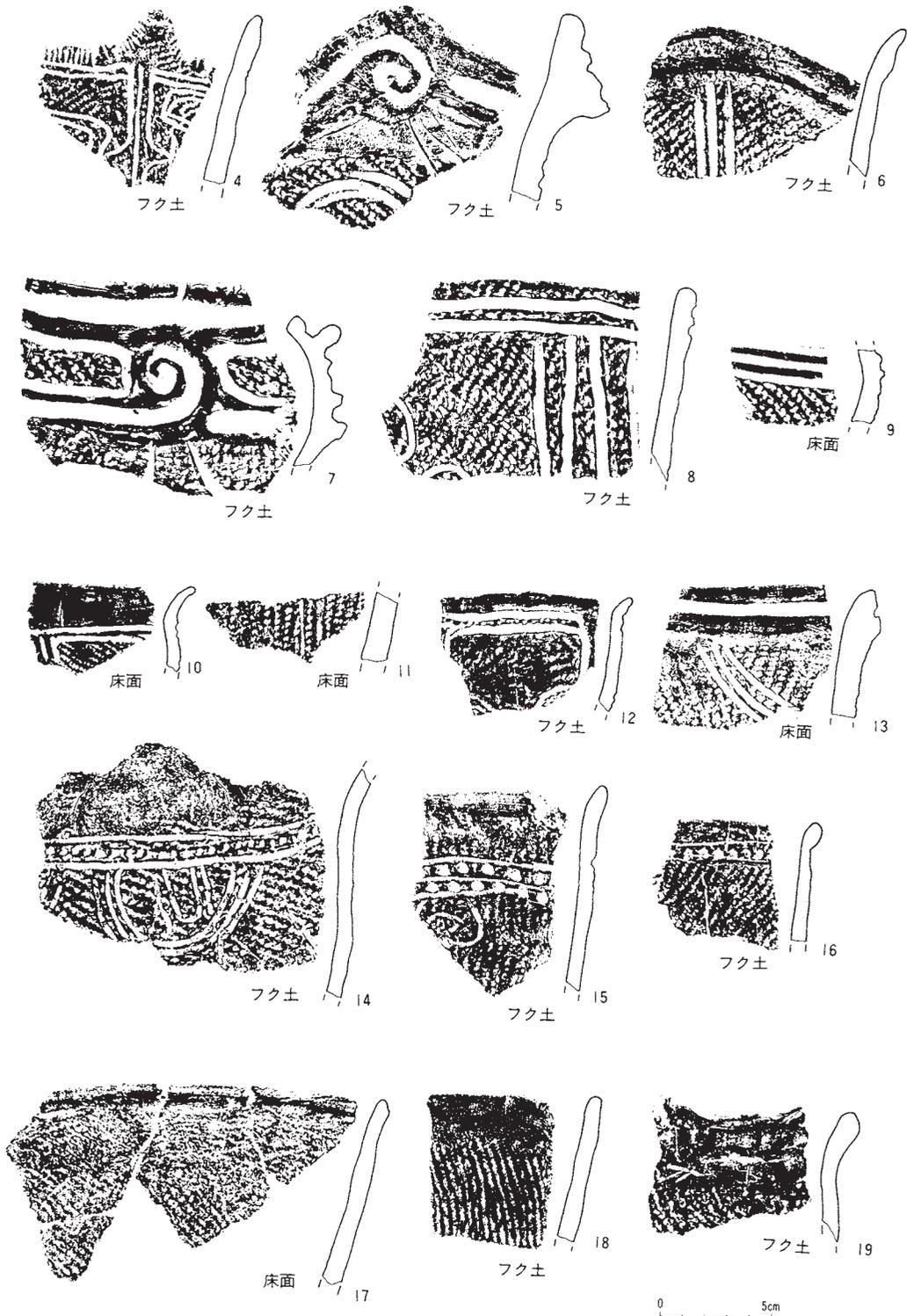
<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 9層に分層できた。各層にわたって炭化物が出土したが、自然堆積と思われる。

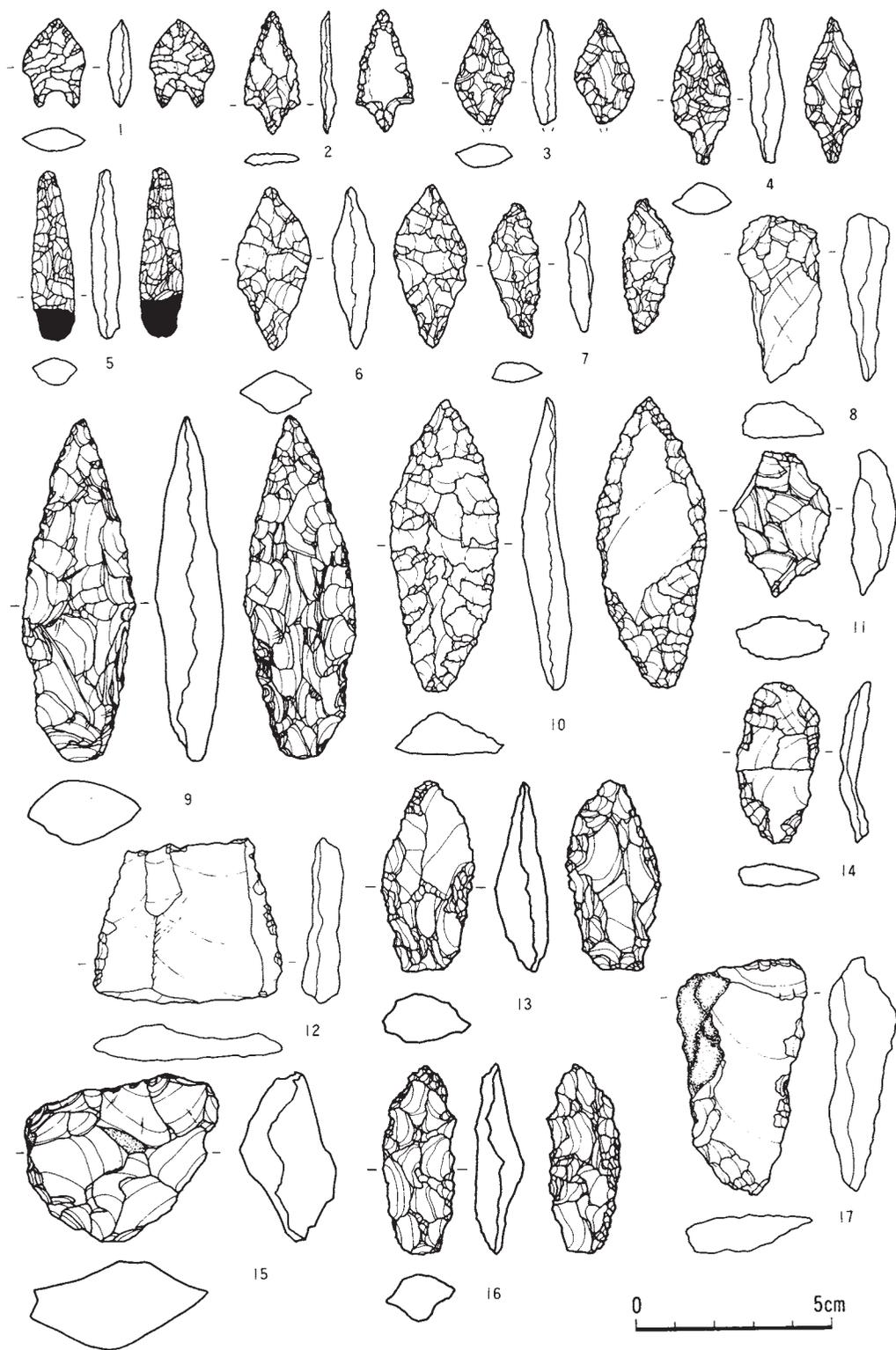
<出土遺物> 遺物は、住居跡の北側部分から多く出土したが、土器は、床面(2・9・10・11・13・17)から出土し、他は、覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃13点・石槍4点・石錐1点・不定形石器21点・石斧3点・敲磨器類7点・石皿4点・石棒類1点・軽石2点、床面から石鏃3点・敲磨器類1点・台石1点・石棒類1点が出土し総数62点である。また、琥珀1点と多量の堅果類も出土した。

<小結> 本住居跡は、床面から出土した土器片(9)・(10)・(13)から榎林式期と思われる。

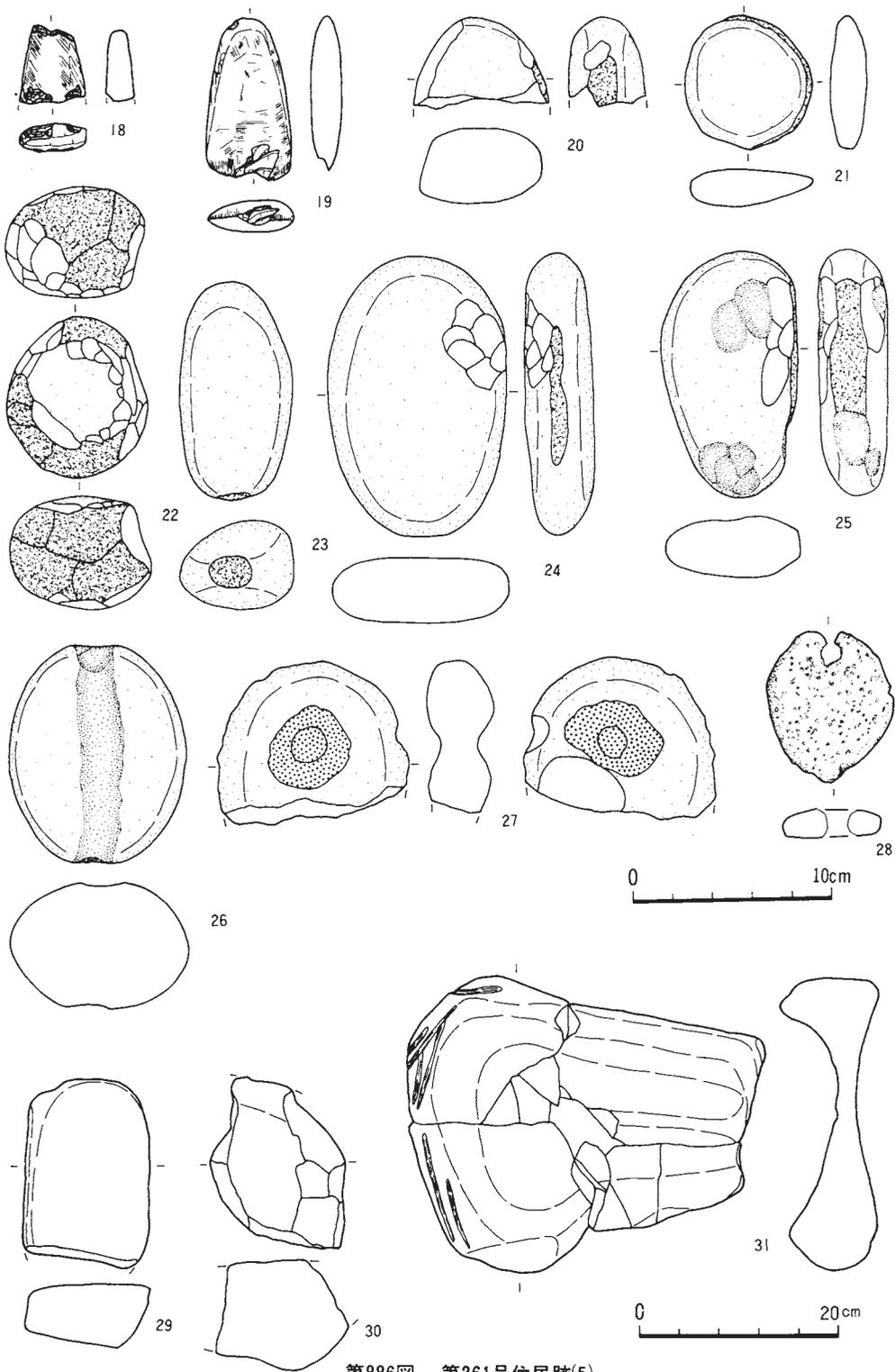
(中嶋 友文)



第884図 第361号住居跡(3)



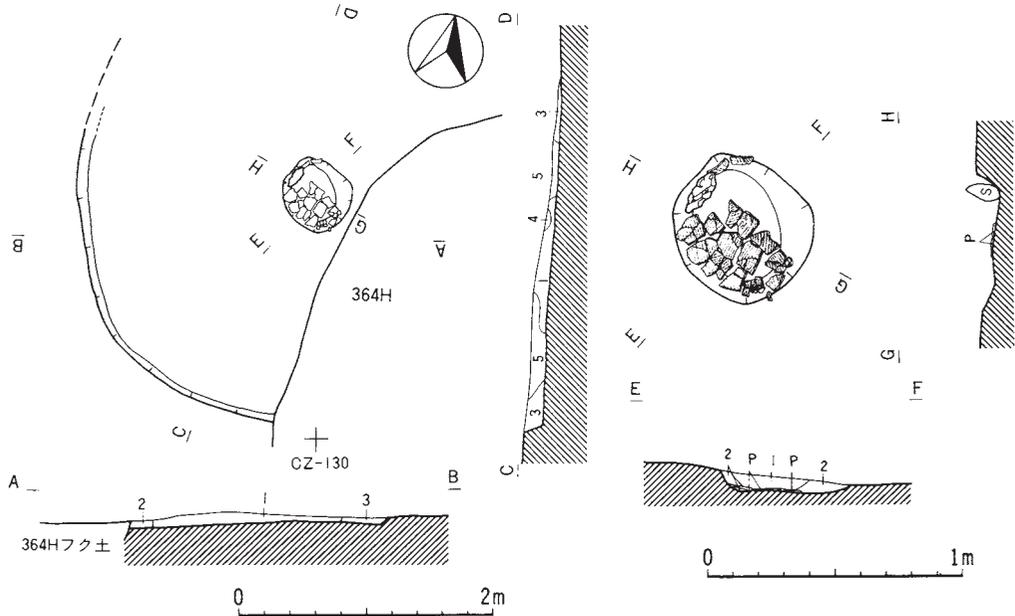
第885图 第361号住居迹(4)



第886图 第361号住居跡(5)

第362号住居跡（第887～889図）

＜位置と確認＞ 調査区西側台地の緩斜面C Z・D A-130・131グリッドに位置している。第IV層を精査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。



第362号住居跡土層注記

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 第1層 暗褐色 10YR3/4    | 炭化物、焼土粒を少量、ローム粒を多量に混入 |
| 第2層 褐色 10YR4/4     | ローム粒を多量に含む            |
| 第3層 褐色 10YR4/6     | ローム粒を多量に含む            |
| 第4層 明褐色 7.5YR5/6   | ローム粒、焼土粒を多量に含む        |
| 第5層 にぶい黄褐色 10YR4/3 | ローム粒、炭化物、焼土粒を少量含む     |

第362号住居跡 炉土層注記

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 第1層 赤褐色 5YR4/6 | ローム粒、炭化物、焼土粒を多量に含む。褐色土混入 |
| 第2層 褐色 10YR4/6 | ローム粒、炭化物を少量含む            |

第887図 第362号住居跡(1)

＜重複＞ 東側で第364号住居跡と重複し、本住居跡が新しい。

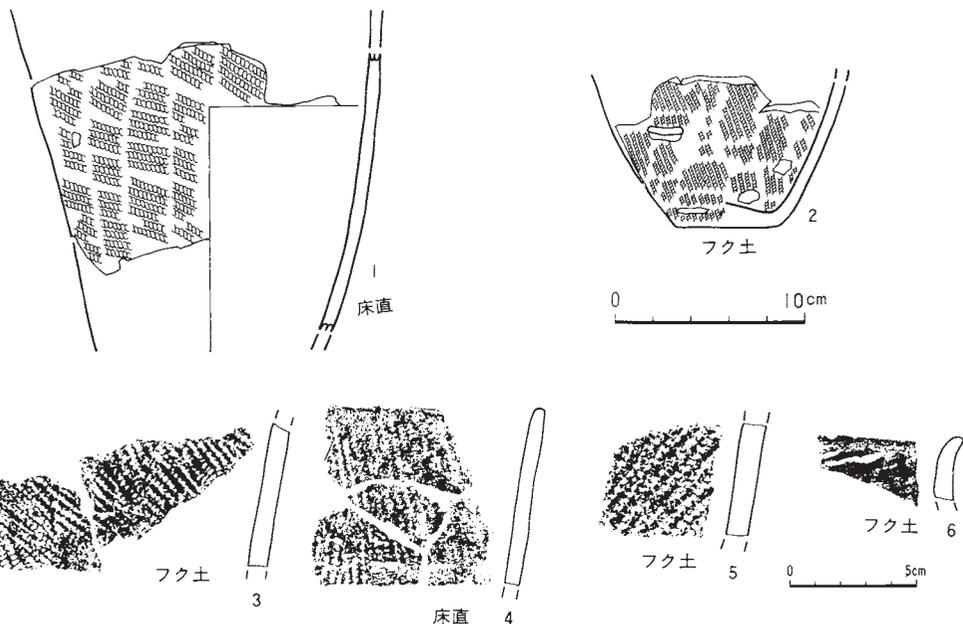
＜平面形・規模＞ 東側の一部しか確認できなかったが、直径3m50cm前後のほぼ円形と思われる。

＜壁・床面＞ 東壁以外確認できないが、壁高約11cmでほぼ垂直に立ち上がり、軟弱である。床面は、北側から南側にかけてやや傾斜しており、全体的にやや堅く締まった構築である。

＜壁溝＞ 検出されなかった。

＜柱穴＞ 確認できなかった。

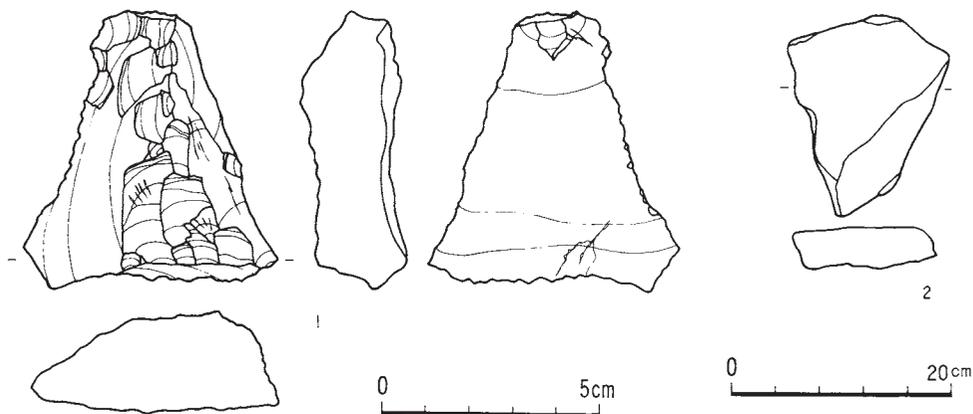
＜炉＞ 住居跡のほぼ中央部に位置している。火床面に土器片を敷き、周囲を礫と土器片で囲んだ炉と思われる。規模は、直径55～60cmの円形で、深さは8cmである。堆積土は2層に区分できた。1層上面が火床面である。



第888図 第362号住居跡(2)

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 5層に分層できた。堆積土にはローム粒を多く含んでおり、人為的堆積と思われる。



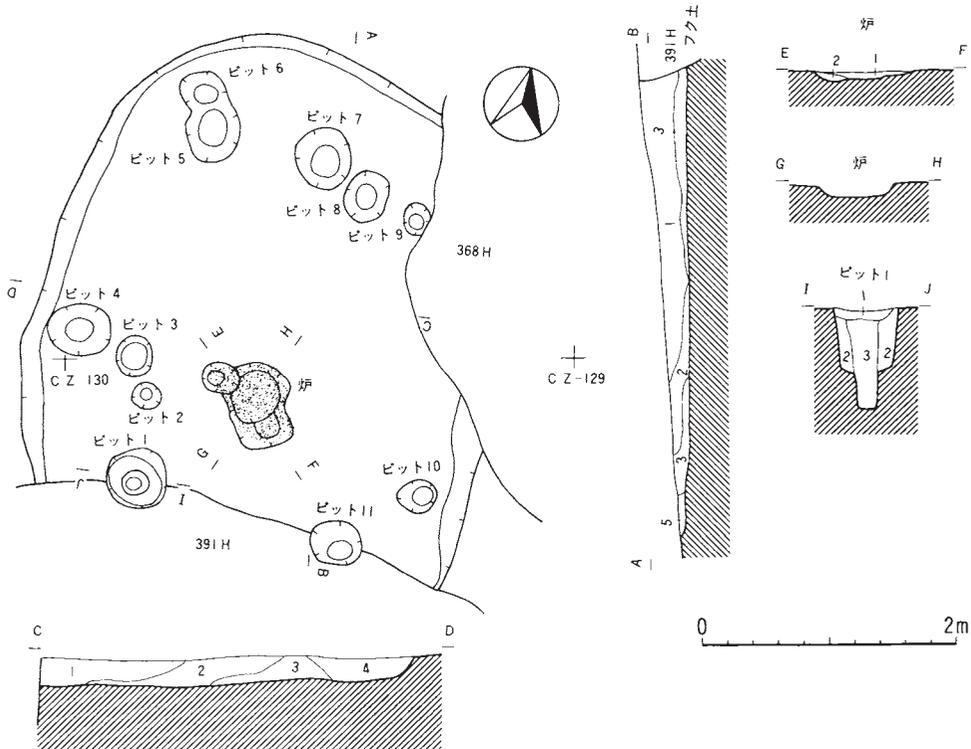
第889図 第362号住居跡(3)

<出土遺物> 遺物は、住居跡の南側部から出土した。土器は、床直から(1・4)、他は、覆土からの出土である。石器は、覆土から不定形石器2点、床直から石皿1点が出土した。

<小結> 本住居跡から出土した土器はいずれも粗製の縄文であるが、重複している第364号住居跡(円筒上層c・d)より以降の中期後葉(榎林)～末葉(弥栄平(1))式期の住居跡と思われる。  
(中嶋 友文)

第364号住居跡（第890～892図）

〈位置と確認〉 調査区西側台地の緩斜面のCY・CZ-130グリッドに位置している。第IV層を精査中に黒色土の落ち込みを確認した。



第364号住居跡土層注記  
 第1層 黒色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒を少量含む  
 第2層 黒褐色 10Y R $\frac{2}{4}$   
 ローム粒をやや多く含む  
 第3層 暗褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒、LBをやや多く、炭化物を少量含む  
 第4層 褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒を少量、バミスを微量に含む  
 第5層 ぬい黄褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒、LBをやや多く含む、褐色土混入

第364号住居跡炉土層注記  
 第1層 赤褐色 5Y R $\frac{3}{4}$ （焼土層）  
 第2層 黄褐色 10Y R $\frac{3}{4}$  黒色土混入

第364号住居跡ピット1土層注記  
 第1層 褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒を多量、炭化物を少量含む  
 第2層 黒褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒、炭化物を少量含む  
 第3層 黒褐色 10Y R $\frac{3}{4}$   
 ローム粒をやや多く、炭化物を少量含む

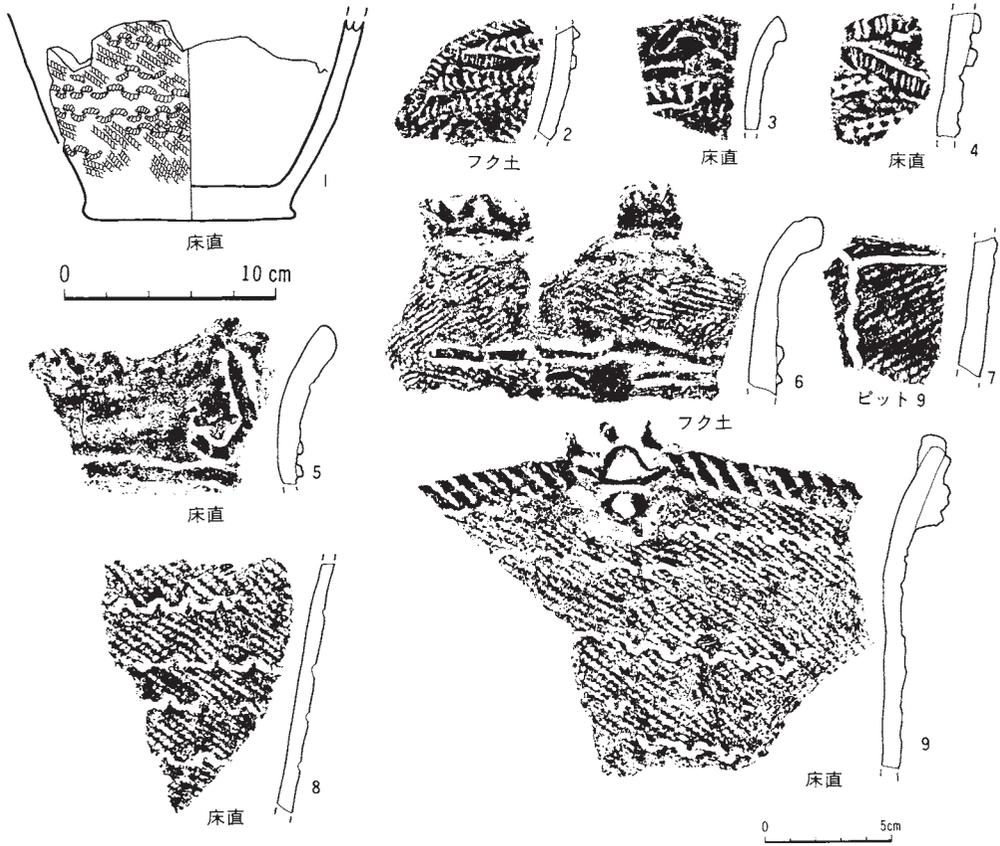
第890図 第364号住居跡(1)

〈重複〉 東側で第368号住居跡と第391号住居跡と重複しており、本住居跡が古い。

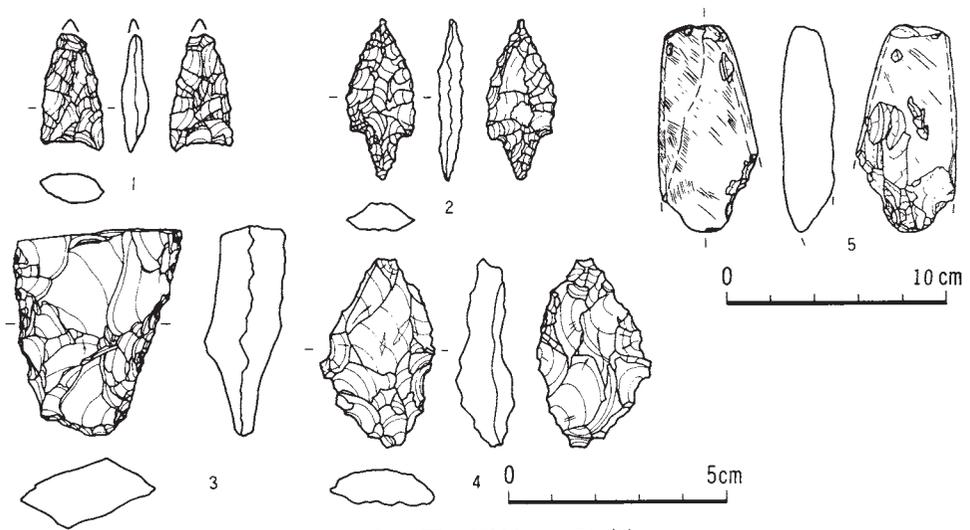
〈平面形・規模〉 南北に長軸を持つ隅丸長方形と思われる。規模は、(長軸 3 m 50 cm)・短軸 3 m 70 cm、床面積は、(10.1 m<sup>2</sup>)である。

〈壁・床面〉 東壁の一部と南壁は、確認できないが、ほぼ垂直に立ち上っている。東壁は32 cmで堅く締まっているが、北壁～西壁は7 cm～30 cmでややもろい構築である。床面は、全体的に堅く締まっている。

〈壁溝〉 検出されなかった。



第891図 第364号住居跡(2)



第892図 第364号住居跡(3)

＜柱穴＞ 本住居跡内から11個のピットが検出された。P<sub>1</sub>・P<sub>11</sub>（深さP<sub>1</sub>…99、P<sub>11</sub>…84cm）が南側の柱穴と考えられ、P<sub>1</sub>は底面に柱痕がみられた。P<sub>1</sub>・P<sub>11</sub>に対応する北側の柱穴については確認できなかった。

＜炉＞ 地床炉で住居跡の中央部から南側に位置する。規模は、長軸70cm・短軸50cmの楕円形で西側に深さ19cmのピットを伴う。堆積土は2層に区分でき、1層上面が火床面である。

＜特殊施設＞ 検出されなかった。

＜堆積土＞ 5層に分層できた。堆積土は、各層にローム粒を含み、自然堆積と思われる。

＜出土遺物＞ 遺物は、住居跡の中央部から多く出土した。土器は、床面からの出土はなく、床直（1・3～5・8・9）からと、他は、覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃2点・不定形石器2点・石斧1点・石皿1点、ピット4から不定形石器1点、床面から石鏃1点が出土し総数8点である。

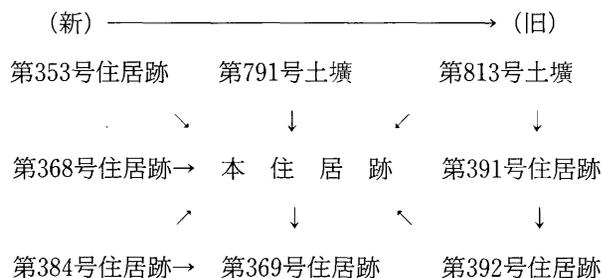
＜小結＞ 本住居跡は、床直の土器片(3)～(5)から円筒上層c・d式期と思われる。

（中嶋 友文）

### 第366号住居跡（第893～898図）

＜位置と確認＞ 調査区の西側台地の緩斜面X・C Y-128・129・130グリッドに位置している。第IV層を精査中に黒色土の落ち込みを確認した。

＜重複＞ 本住居跡は、床面で第392号住居跡、東側で第369号住居跡と第384号住居跡、西側で第391号住居跡・第791号土壌・第813号土壌、北側で第368号住居跡、南側で第353号住居跡と重複している。新旧の関係は以下のとおりである。

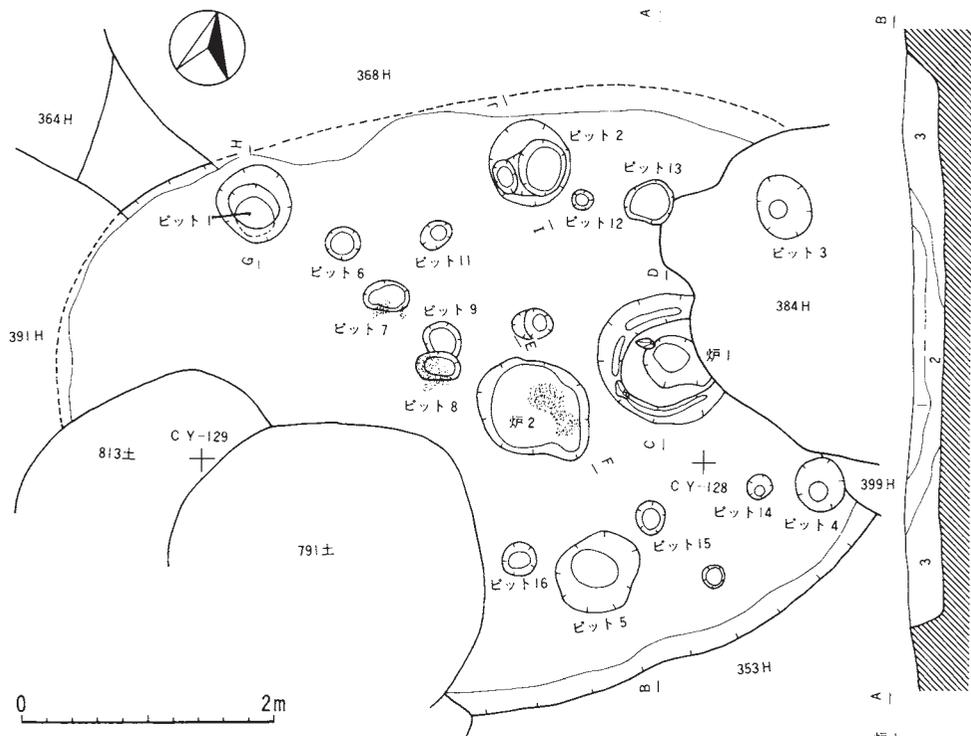


＜平面形・規模＞ 東西に長軸を持つ楕円形と思われる。規模は、長軸（5 m 5 cm）・短軸（4 m 72 cm）、床面積は、(26.78m<sup>2</sup>)である。

＜壁・床面＞ 壁は、削平されているためほとんど確認できなかった。床面は、やや起伏がみられ全体的に堅く締まっている。

＜壁溝＞ 検出されなかった。

＜柱穴＞ 本住居跡内から16個のピットが検出された。P<sub>1</sub>～P<sub>5</sub>（深さP<sub>1</sub>…91、P<sub>2</sub>…133、P<sub>3</sub>



第366号住居跡土層注記

- 第1層 黒色 10Y R 2/1 ローム粒、炭化物を微量に含む
- 第2層 暗褐色 10Y R 3/3 ローム粒、炭化物を少量含む
- 第3層 褐色 10Y R 4/4 ローム粒、炭化物をやや多く含む、焼土粒を微量に含む

第366号住居跡1号炉土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3/4 ローム粒、炭化物少量、焼土粒微量に含む

第366号住居跡2号炉土層注記

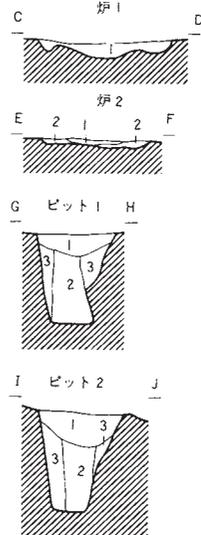
- 第1層 明赤褐色 2.5Y R 6/8 焼土、褐色土少量混入
- 第2層 明黄褐色 10Y R 6/8 褐色土少量混入

第366号住居跡ピット1土層注記

- 第1層 褐色 10Y R 4/4 ローム粒、炭化物を少量含む
- 第2層 暗褐色 10Y R 3/4 ローム粒やや多く、L Bを少量含む、褐色土少量混入
- 第3層 にぶい黄褐色 10Y R 5/6 ローム粒、L B多量、炭化物を少量含む

第366号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 褐色 10Y R 4/4 ローム粒、炭化物を少量含む
- 第2層 暗褐色 10Y R 3/4 ローム粒やや多く、L Bを少量含む、褐色土少量混入
- 第3層 にぶい黄褐色 10Y R 5/6 ローム粒、L B多量、炭化物を少量含む



第893図 第366号住居跡(1)

…100、P<sub>4</sub>…113、P<sub>5</sub>…120cm) が主柱穴で、P<sub>1</sub>に対応する柱穴は、第791号土壌に切られている。

〈炉〉 2基検出された。第1号炉は、住居跡の中央部からやや東側に位置し、石を抜きとられた痕跡がみられることから石囲炉と考えられる。何等かの理由で第1号炉を廃棄し第2号炉を作って使用したと考えられる。周辺には、石囲炉に使用したと思われる礫2点とピット13に

は廃棄したと思われる焼土が検出された。規模は、直径100cmのほぼ円形で、深さは13cmである。第2号炉は、地床炉でほぼ中央に位置する。南側は張り出しているが直径70～80cmのほぼ円形で、深さ10cmの規模である。堆積土は2層に区分でき、1層上面が火床面である。

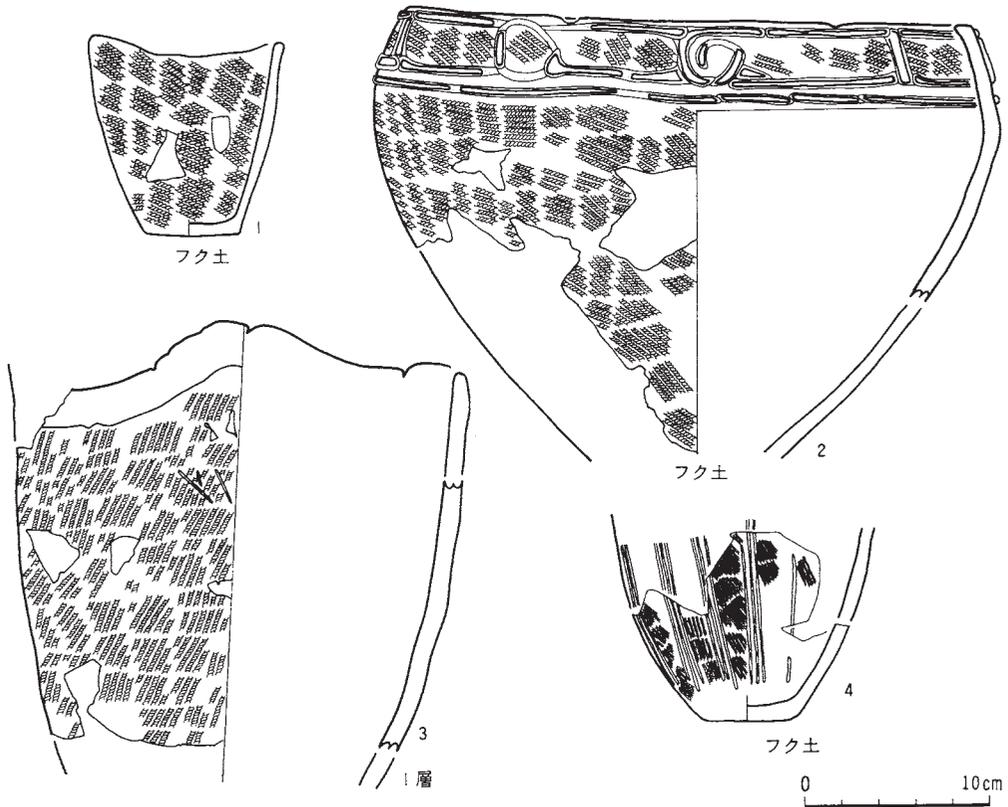
<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 3層に分層できた。堆積土は、各層に炭化物・ローム粒を含んでいるが、自然堆積と思われる。

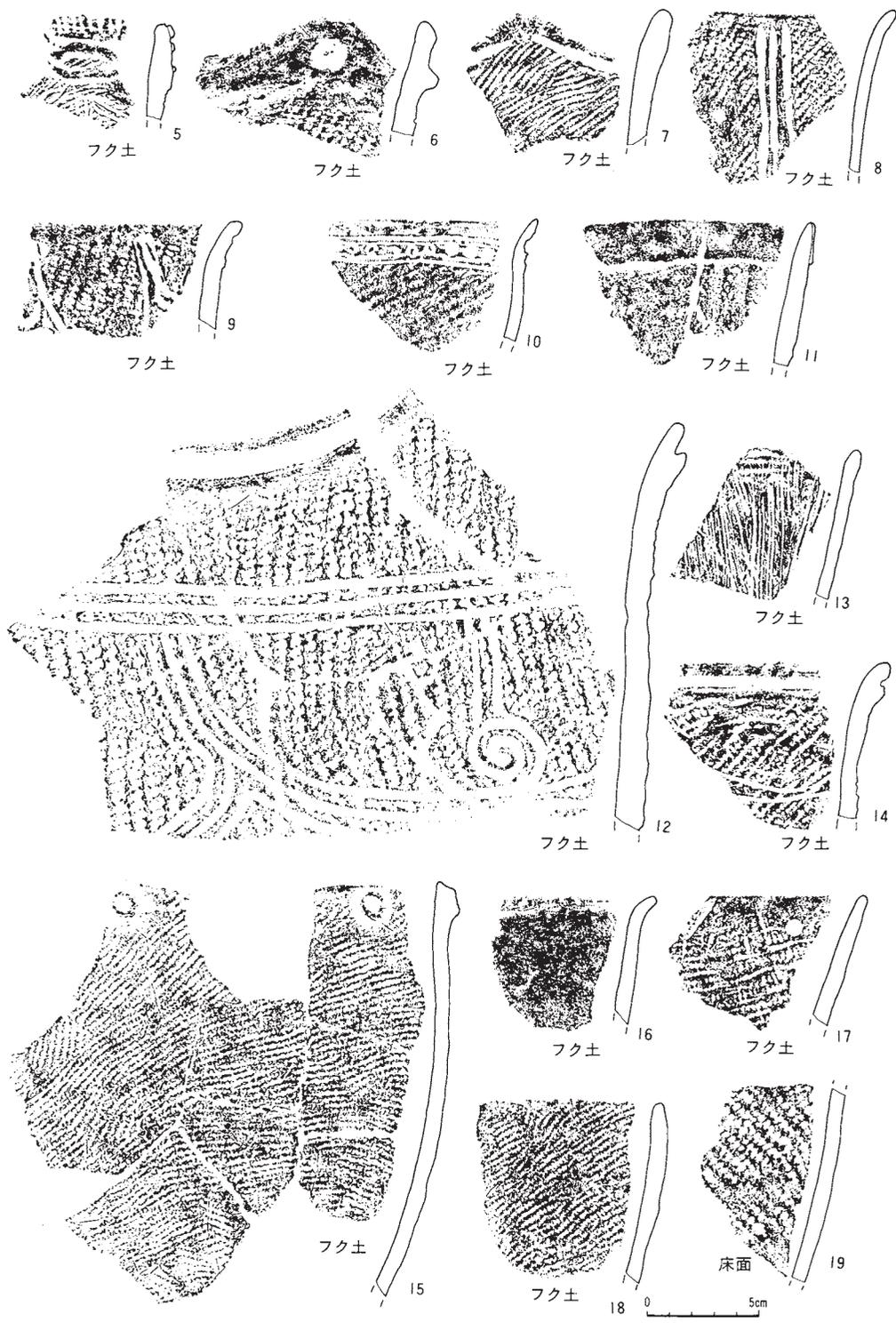
<出土遺物> 遺物は、住居跡の中央部から多く出土した。土器は、床面(19)と、覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃16点・石槍3点・石錐3点・石筥2点・不定形石器52点・石斧1点・敲磨器類6点・台石1点・石皿1点・砥石3点・石棒類1点・軽石2点・石製品2点、ピット6・8・12からそれぞれ石鏃1点、ピット12から石錐1点、床面から石鏃1点が出土し総数98点である。

<小結> 床面から出土した土器片(19)は、粗製の縄文のため時期不明であるが、覆土から榎林式の土器が多く出土している。また、本住居跡は第391号住居跡(榎林式)より新しいことから、榎林～最花式期の住居跡と思われる。

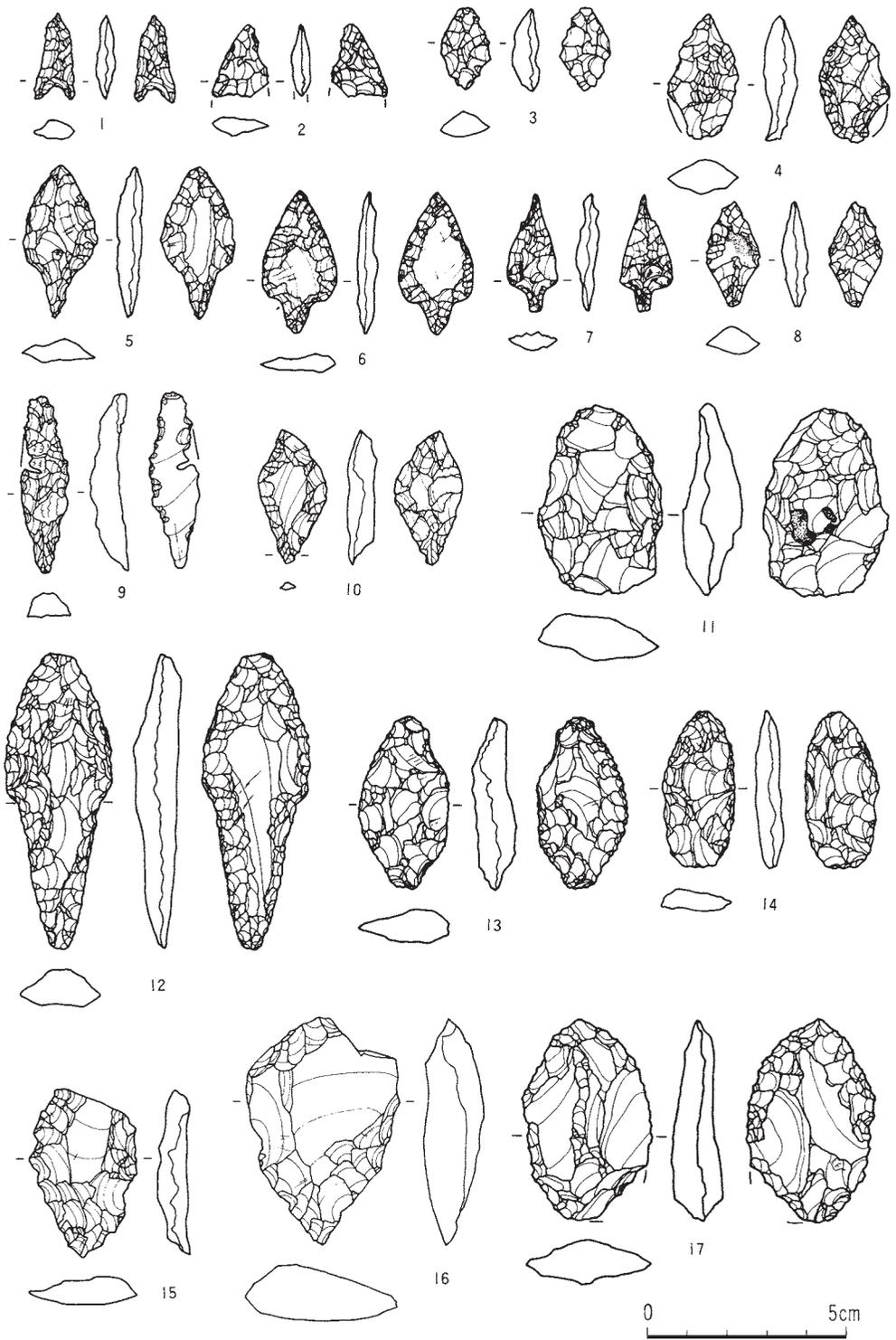
(中嶋 友文)



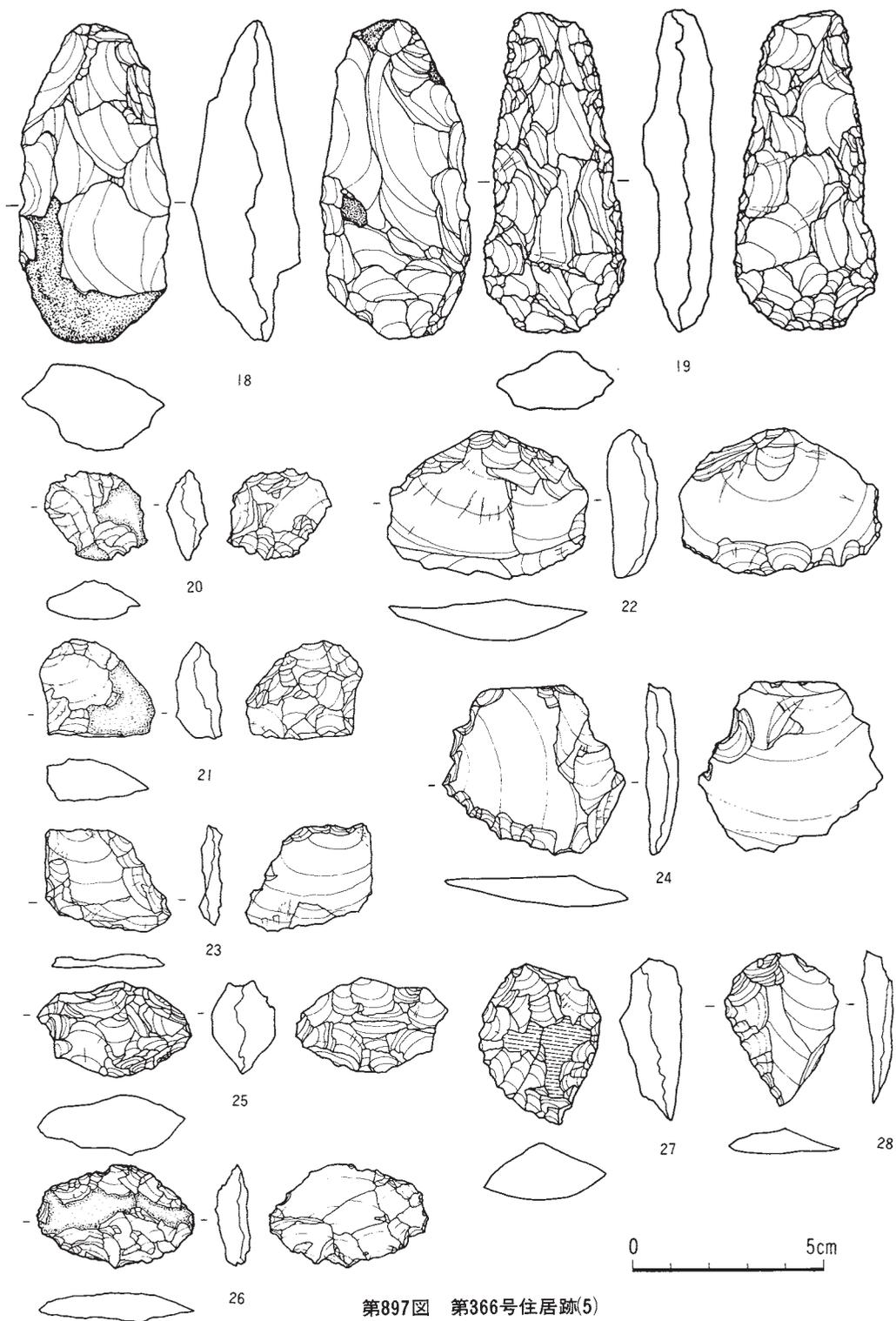
第894図 第366号住居跡(2)



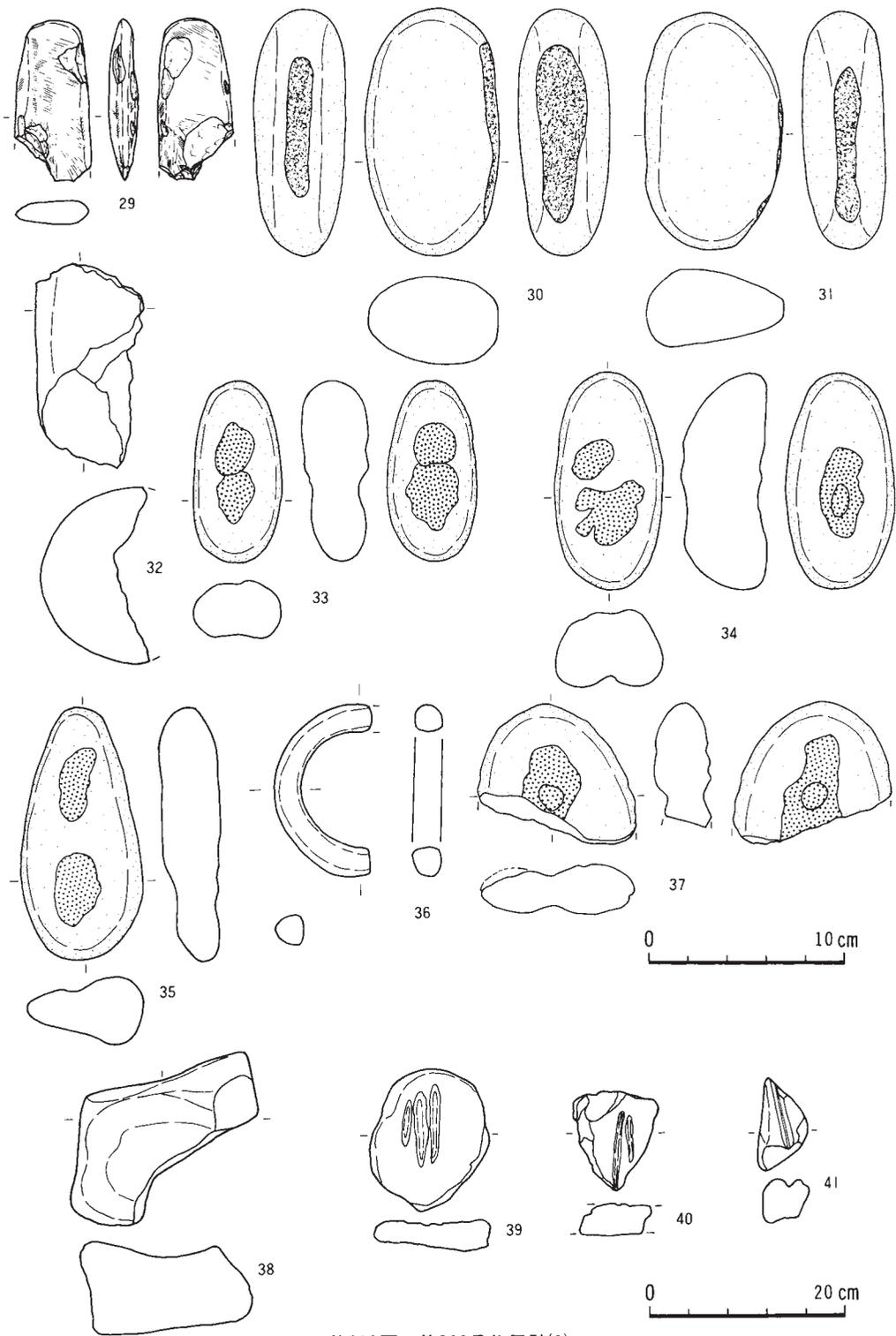
第895図 第366号住居跡(3)



第896图 第366号住居跡(4)



第897图 第366号住居跡(5)



第898图 第366号住居跡(6)

第368号住居跡（第899～903図）

＜位置と確認＞ 調査区の西側の緩斜面C Y-127～129、C Z-126～129、D A-126～128グリッドに位置する。第IV層上面で褐色土の落ち込みを確認した。

＜重複＞ 本住居跡は、8軒の住居と重複している。床面中央で第453号住居跡、東側から南側にかけて第361号住居跡・第399号住居跡・第369号住居跡・第384号住居跡・第366号住居跡・第392号住居跡、西側で第364号住居跡と重複している。新旧関係は以下のとおりである。

(新) → (旧)

第366号住居跡 → 第392号住居跡



第361号住居跡 → 本住居跡 → 第453号住居跡



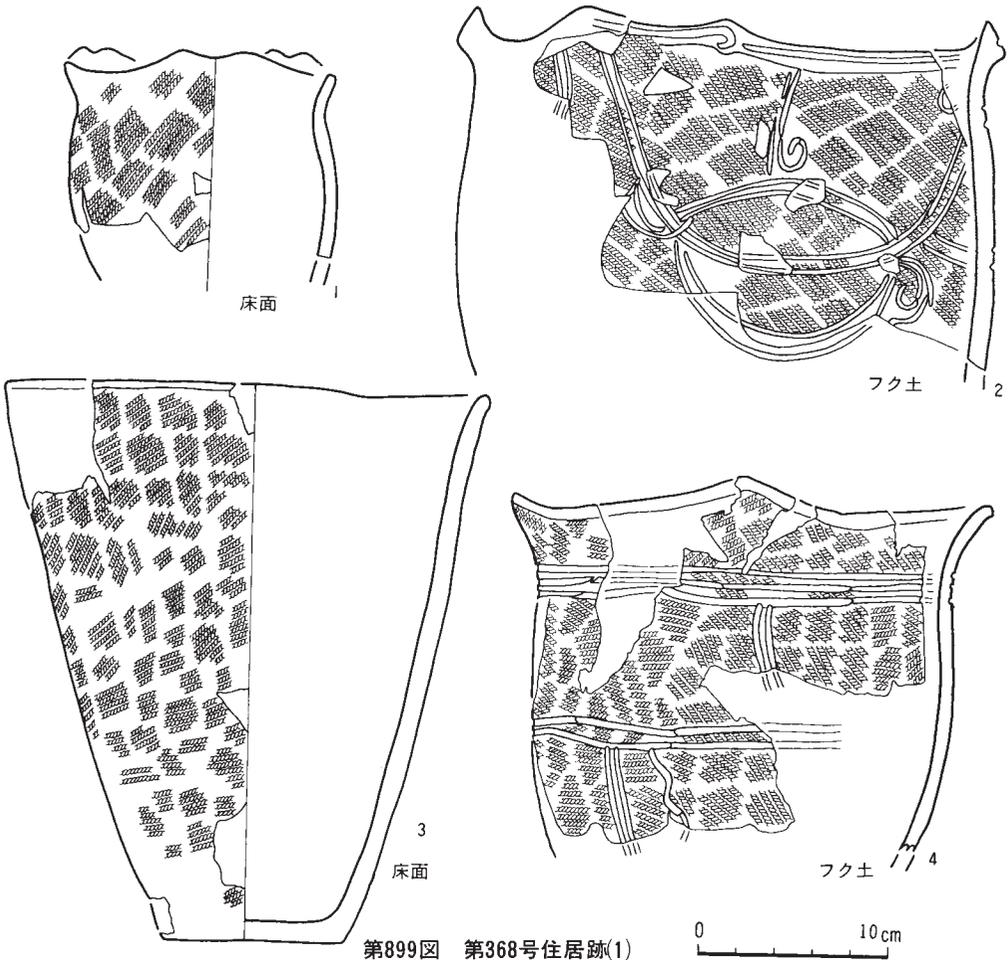
第399号住居跡

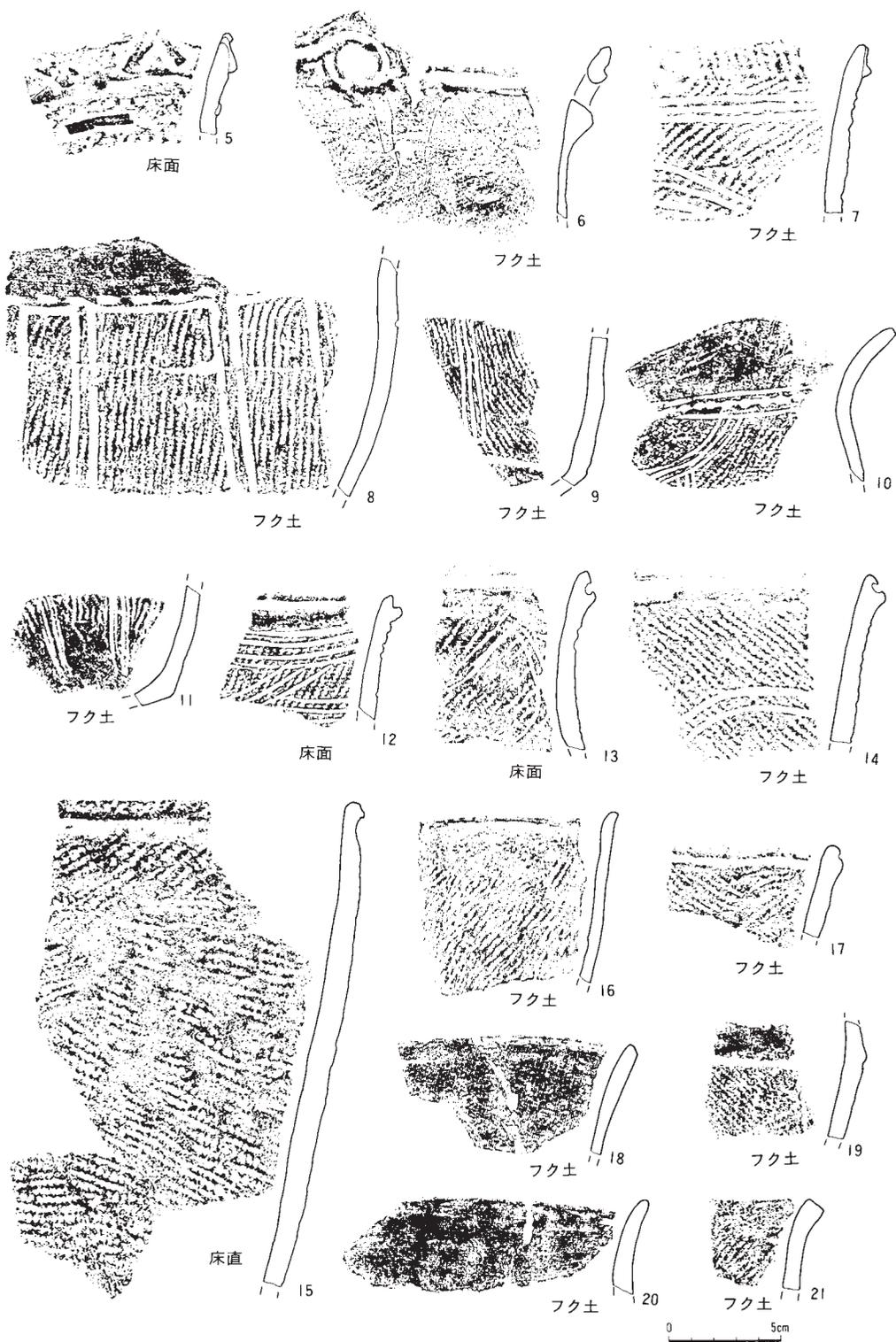


第364号住居跡

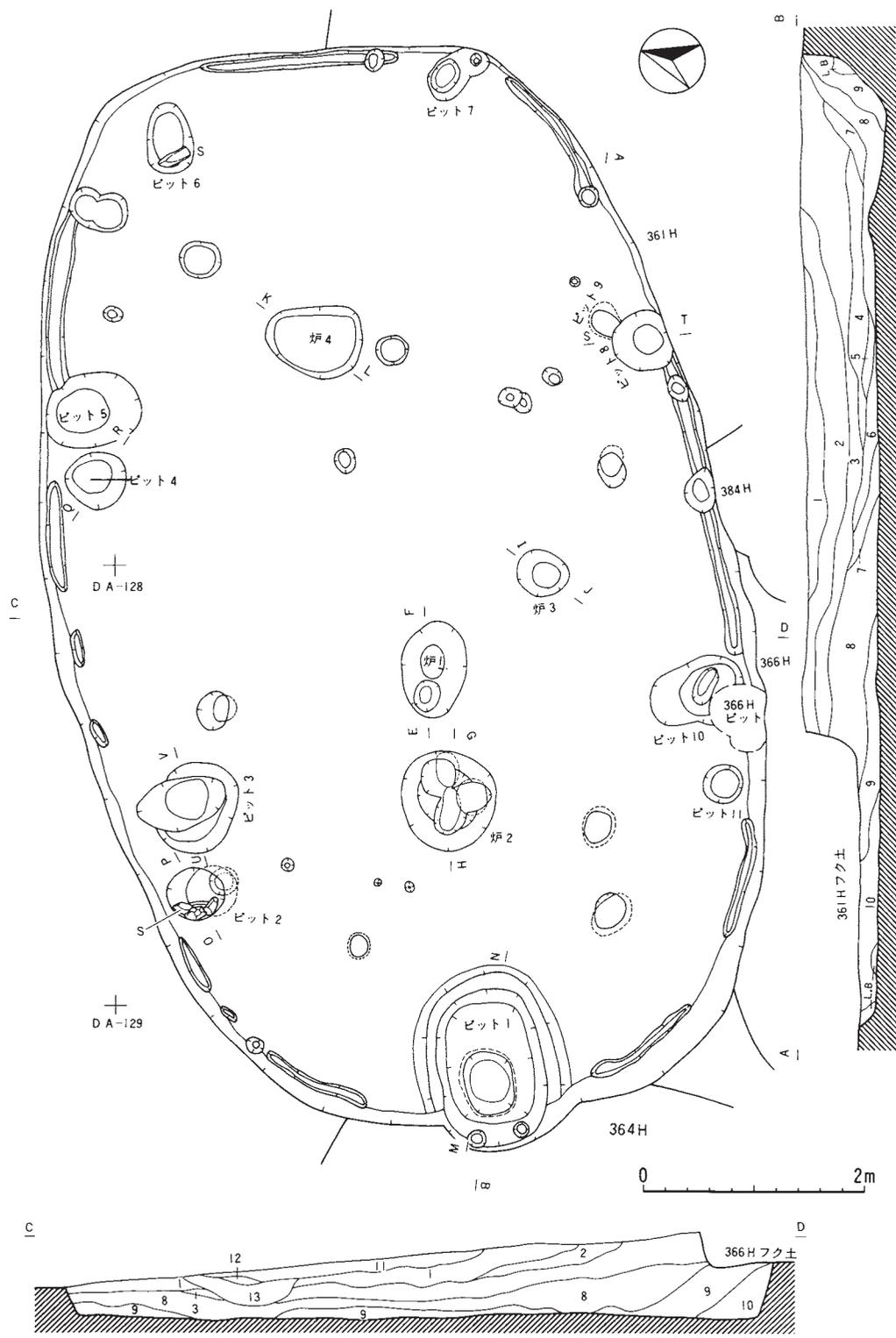


第369号住居跡 → 第384号住居跡

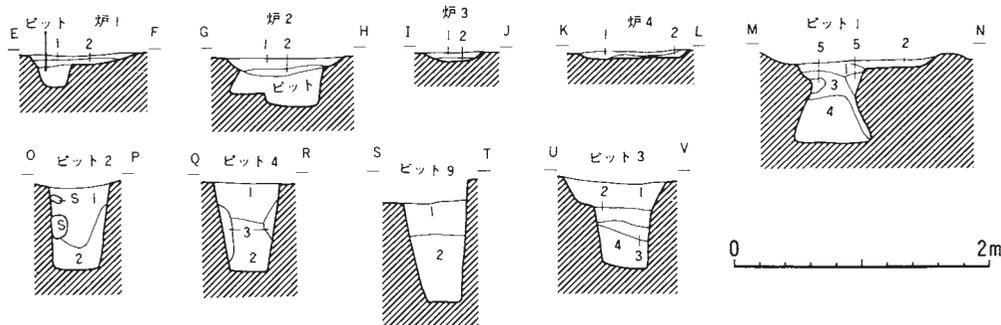




第900図 第368号住居跡(2)



第901図 第368号住居跡(3)



第368号住居跡土層注記

- 第1層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を少量含む
- 第2層 黄褐色 10Y R 5%  
ローム粒、L.B.炭化物を多量に含む
- 第3層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を少量含む
- 第4層 黒褐色 10Y R 2%  
ローム粒、炭化物を少量含む
- 第5層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を微量に含む
- 第6層 濃い褐色 10Y R 4%  
ローム粒、L.B.を多量、炭化物を少量含む
- 第7層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を多量、焼土粒を微量に含む
- 第8層 濃い褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を少量含む。褐色土混入
- 第9層 暗褐色 10Y R 3%  
ローム粒、炭化物を多量に含む
- 第10層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を多量に含む
- 第11層 暗褐色 10Y R 3%  
ローム粒、炭化物を多量に含む
- 第12層 赤褐色 5Y R 6%  
ローム粒、炭化物、焼土粒を多量に含む
- 第13層 褐色 10Y R 4%  
ローム粒、炭化物を多量に含む

第368号住居跡1号炉土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% 炭化物、焼土粒を多量に含む
- 第2層 赤褐色 2.5Y R 6% 暗褐色土混入

第368号住居跡2号炉土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% 炭化物、焼土粒を多量に含む
- 第2層 赤褐色 2.5Y R 6% 黄褐色土混入

第365号住居跡3号炉土層注記

- 第1層 赤褐色 2.5Y R 6%
- 第2層 黄褐色 10Y R 5% 焼土粒を含む

第368号住居跡4号炉土層注記

- 第1層 赤褐色 2.5Y R 6%
- 第2層 黄褐色 10Y R 5% 焼土粒を含む

第368号住居跡ピット1土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% 黒褐色土混入
- 第2層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒多量、炭化物を少量含む
- 第3層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒多量、炭化物、焼土粒を少量含む
- 第4層 褐色 10Y R 4% ローム粒を少量含む

第368号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒、炭化物を少量含む
- 第2層 褐色 10Y R 4% ローム粒を多量に含む

第368号住居跡ピット3土層注記

- 第1層 褐色 10Y R 4% ローム粒、L.B.を多量に含む、黒褐色土混入
- 第2層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒を多量に含む、黒褐色土混入
- 第3層 黄褐色 10Y R 5%
- 第4層 黒褐色 10Y R 2% ローム粒を多量に含む

第368号住居跡ピット4土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒多量、炭化物を少量含む
- 第2層 黒褐色 10Y R 2% ローム粒を多量に含む
- 第3層 黄褐色 10Y R 5% 暗褐色土混入

第368号住居跡ピット9土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒、炭化物を少量含む
- 第2層 暗褐色 10Y R 3% ローム粒を多量に含む

第902図 第368号住居跡(4)

〈平面形・規模〉 東西に長い楕円形である。規模は、長軸10m30cm・短軸6m20cm、床面積は、49.8㎡である。

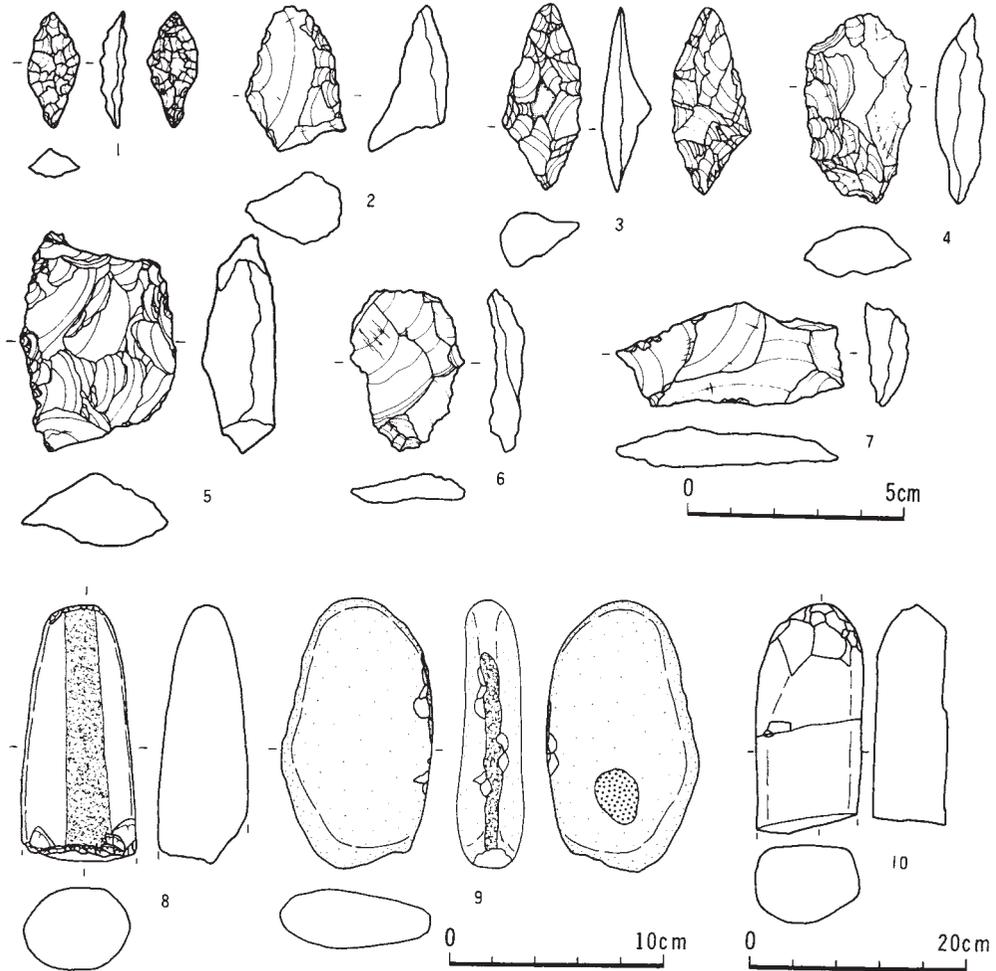
〈壁・床面〉 切り合いが多いため北壁と西壁の一部だけを確認したが、ほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な構築である。壁高は、北壁12～41cm・西壁67cmである。床面は起伏が少なく全般的に平坦で、堅く締まっている。

〈壁溝〉 幅10～18cm・深さ4～15cmの壁溝が、数か所を除いて壁直下を一巡している。

〈柱穴〉 本住居跡内から多数のピットを検出し、このうち、長軸線上で対称になっている

P<sub>2</sub>・P<sub>4</sub>・P<sub>6</sub>～P<sub>8</sub>・P<sub>11</sub> (深さP<sub>2</sub>…58、P<sub>4</sub>…79、P<sub>6</sub>…70、P<sub>7</sub>…60、P<sub>8</sub>…86、P<sub>11</sub>…86cm) が支柱穴と考えられる。P<sub>2</sub>・P<sub>6</sub>から、柱を支える目的で入れたような礫が検出された。P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>・P<sub>9</sub>・P<sub>10</sub> (深さP<sub>3</sub>…86、P<sub>5</sub>…95、P<sub>9</sub>…40、P<sub>10</sub>…48cm) は、P<sub>3</sub>を除いていずれも貼り床の下から検出され、本住居跡の構築する以前の柱穴と思われる。P<sub>3</sub>については、特殊施設の項目で述べる。

＜炉＞ 住居跡の長軸線上と、その付近で4基検出し、第1号炉は、地床炉で、住居跡の中央部からやや西側に位置する。平面形は楕円形で、規模は、開口部で長軸88cm・短軸62cm、深さ10cm、底面の西側に深さ26cmのピットがある。堆積土は2層に区分でき、第2層上面が火床面である。第2号炉は、地床炉で第1号炉の西側に位置する。平面形は円形で、規模は、開口部で長軸94cm・短軸88cm、深さ15cmで、底面から深さ60cm前後のピットが3個検出された。炉に伴うかは不明である。堆積土は2層に区分でき、第2層上面が火床面である。第3号炉は、地



第903図 第368号住居跡(5)

床炉で住居跡の中央部からやや南側に位置する。平面形は楕円形で、規模は、開口部で長軸48cm・短軸31cm、深さ7cmである。堆積土は2層に区分でき、第1層上面が火床面である。第4号炉は、住居跡の中央部と壁の中間点からやや北に位置した地床炉で、平面形は南東部が張り出した不整楕円形である。規模は、開口部で長軸87cm・短軸62cm、深さ7cmである。堆積土は2層に区分でき、第1層上面が火床面である。

＜特殊施設＞ 住居跡東壁直下からピットを1個検出した。ピットの周辺は盛り土となっており、その周辺の床面は非常に堅く締めりがある。ピットの平面形は東西にやや膨らむ円形で、開口部で長軸1m65cm・短軸1m42cm、深さ10cmを測る。中央部にフラスコ状のピット(深さ58cm)と壁直下付近に深さ30cmのピットを2個伴う。堆積土は5層に区分でき、自然堆積と思われる。

＜堆積土＞ 13層に分層できた。各層にわたってローム粒・炭化物が出土し、自然堆積と思われる。

＜出土遺物＞ 遺物は、住居跡の中央部から多く出土した。土器は、床面・床直(1・3・5・12・13・15)から出土し、他は、覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃2点・不定形石器6点・石斧2点・敲磨器類1点・床面から、石鏃1点・不定形石器2点・石棒類1点・軽石1点が出土し、総数16点である。

＜小結＞ 本住居跡は、床面の土器(1)・(12)・(13)から榎林式期と思われる。

(中嶋 友文)

### 第369号住居跡(第904～906図)

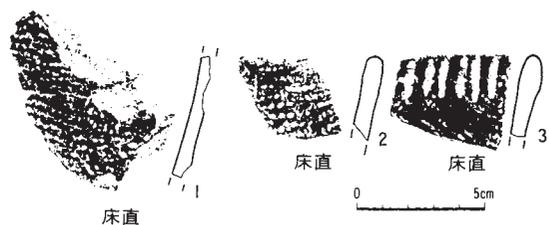
＜位置と確認＞ 調査区の西側台地の緩斜面CY-127グリッドに位置する。第366号竪穴住居跡を精査中に焼土と貼り床の一部を確認し、周辺を精査したところ竪穴住居跡を検出した。

＜重複＞ 床面で第384号住居跡、西側で第366号住居跡、北側で第361号住居跡、南側で第370号住居跡と重複している。新旧関係は本住居跡が一番古い。

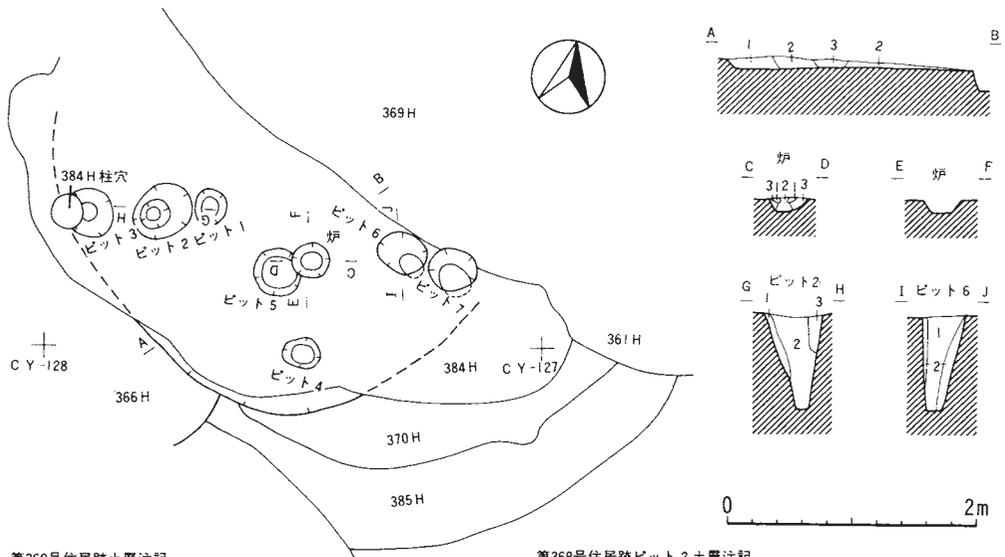
＜平面形・規模＞ 本住居跡は、斜面に構築され、北側も削平されているためプランを確認することができなかった。規模は、計測不可能である。

＜壁・床面＞ ほとんどの壁が削平されているが、僅かに残っている南壁から推察すると、ほぼ垂直に立ち上がると思われる。床面は全体的に平坦で、貼り床は軟弱な造りである。

＜壁溝＞ 検出されなかった。



第904図 第369号住居跡(1)



第369号住居跡土層注記

- 第1層 明黄褐色 10Y R% 炭化物、焼土粒微量を含む。褐色土混入
- 第2層 褐色 10Y R% ローム粒、炭化物多量を含む
- 第3層 黄褐色 10Y R% ローム粒、炭化物多量を含む

第369号住居跡炉土層注記

- 第1層 明赤褐色 5Y R% 焼土層(炭化物少量含む)
- 第2層 暗褐色 10Y R% ローム粒、炭化物を少量含む
- 第3層 明黄褐色 10Y R% 褐色土混入

第369号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 褐色 10Y R% ローム粒、炭化物多量を含む
- 第2層 黄褐色 10Y R% ローム粒、L.B.を多量を含む
- 第3層 明黄褐色 10Y R% 褐色土混入

第369号住居跡ピット6土層注記

- 第1層 褐色 10Y R% ローム粒、炭化物を多量を含む
- 第2層 黄褐色 10Y R% ローム粒、L.B.を多量、炭化物を少量含む

第905図 第369号住居跡(2)

〈柱穴〉 本住居跡内から7個のピットが検出された。P<sub>2</sub>・P<sub>6</sub>(深さP<sub>2</sub>…56、P<sub>6</sub>…52cm)は、柱穴であると思われるが、その他の柱穴および配置については不明である。

〈炉〉 地床炉で南寄りに位置する。平面形は、ほぼ円形で、規模は、長軸32cm・短軸30cm、深さ12cmである。堆積土は3層に区分でき、第2層上面が火床面である。

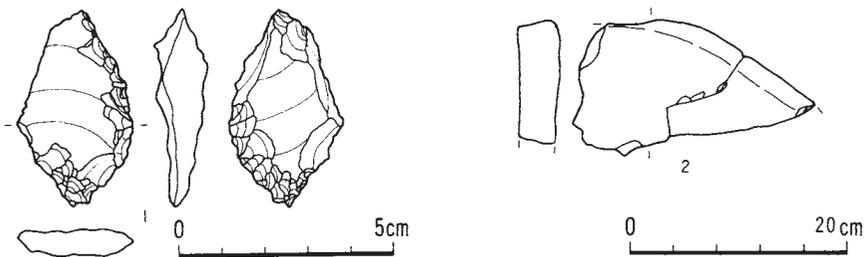
〈特殊施設〉 検出されなかった。

〈堆積土〉 3層に分層できた。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 土器は、床直(1~3)から出土した。石器は、床直から不定形石器1点と石皿1点出土した。

〈小結〉 本住居跡は、出土した土器片から円筒上層d・e式期と思われる。

(中嶋 友文)



第906図 第369号住居跡(3)

### 第370号住居跡（第907図）

＜位置と確認＞ 調査区の西側斜面のC X-126・127グリッドに位置する。第IV層上面で褐色土の落ち込みを確認した。

＜重複＞ 北側で第369号住居跡と第384号住居跡、南側で第385号住居跡と重複している。新旧関係は、以下のとおりである。

（新）—————→（旧）

第369号住居跡→第384号住居跡→本住居跡→第385号住居跡

＜平面形・規模＞ 斜面に構築され掘り込みが浅く、また住居跡の北側は削平されているため確認できたのは南側の一部のみである。残存部分から推定すると、平面形は楕円形と思われる。規模は計測できなかった。

＜壁・床面＞ ほとんど他の住居跡によって壊されているため、残存部分からの推測であるが、第IV層を壁面とし、ほぼ垂直に立ち上がっていたと思われる。床面は起伏が少なく全般的に平坦である。

＜壁溝＞ 検出されなかった。

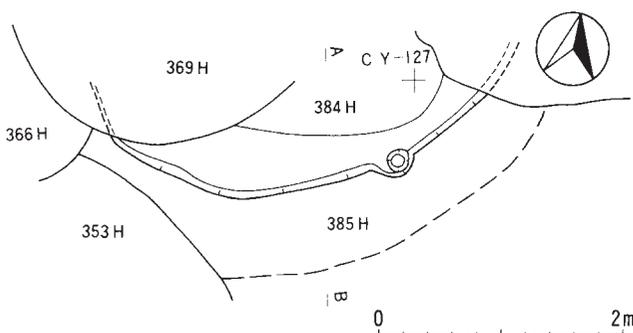
＜柱穴＞ 本住居跡内の壁際にピット(深さ14cm)を1個検出したが、柱穴とは判断できない。

＜炉＞・＜特殊施設＞ 検出されなかった。

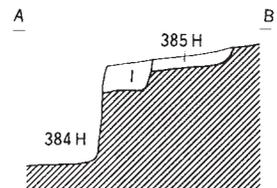
＜堆積土＞ 褐色土の層が1層のみである。

＜出土遺物＞ 住居跡内から遺物は出土しなかった。

＜小結＞ 本住居跡は、北側部分で第369号住居跡（円筒上層d・e式期）・第384号住居跡（円筒上層e式期）と重複し、ともに本住居跡のほうが古いことから円筒上層d・e式期以前の円筒上層c・d式期と思われる。 （中嶋 友文）



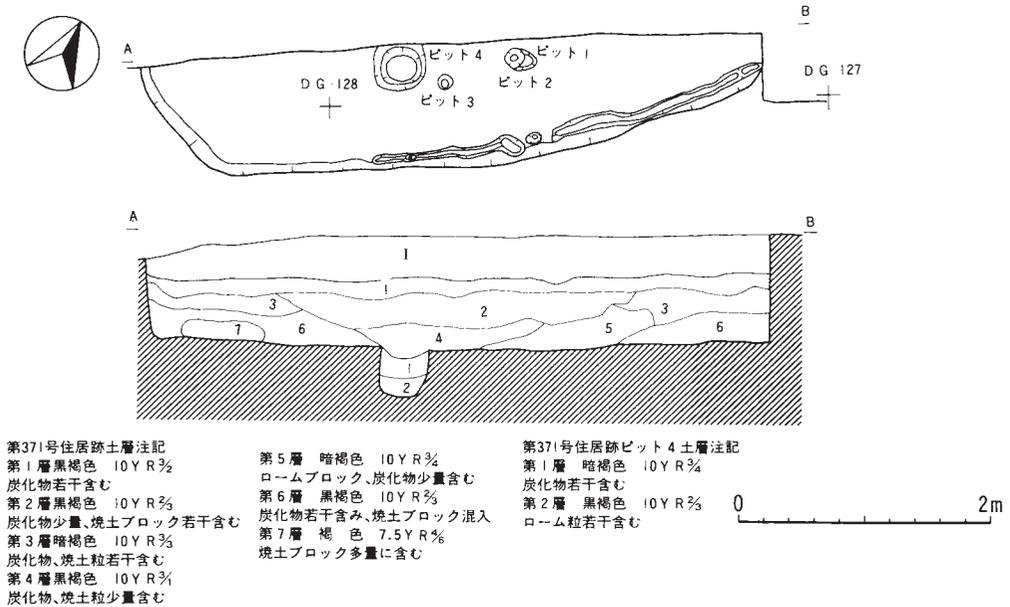
第907図 第370号住居跡



第370号住居跡  
第I層 褐色 10YR 4/4  
ローム粒、炭化物を少量含む

第371号住居跡 (第908～910図)

<位置と確認> 調査区DF・DG-127・128グリッドに位置している。第I層を除去後に黒褐色土の落ち込みを確認した。



第908図 第371号住居跡(1)

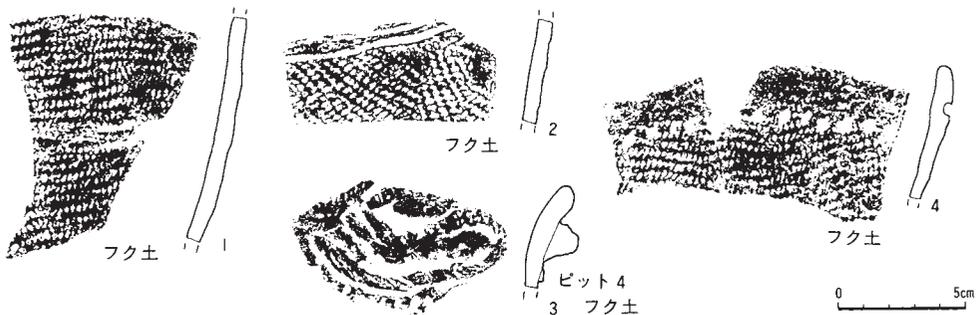
<重複> 住居跡の東側で第851号土層と重複し、新旧関係は本住居跡が新しい。

<平面形・規模> 南側が調査区域外のため住居跡の全容は知り得ないが、残存部から推定すると楕円形と思われる。規模は、長軸(4m95cm)、短軸・床面積は不明である。

<壁溝> 幅10cm・深さ5cmの溝を検出した。溝は北側のみで他からは検出されなかった。

<柱穴> ピットは住居跡の中央部から4個検出されている。配置等から判断して柱穴と思われる。

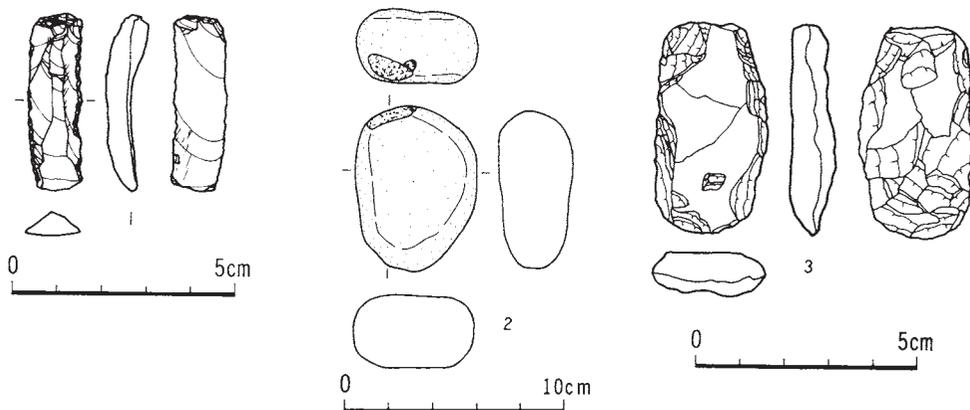
<炉> 検出しなかった。



第909図 第371号住居跡(2)

第371号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	円形	15×(8)	5	2	円形	18×16	24	3	円形	13×11	10
4	円形	36×32	81								



第910図 第371号住居跡(3)

<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 7層に分層できた。堆積土中には炭化物・焼土を多く含んでおり、本住居跡が火災をうけた焼失家屋と思われる。

<出土遺物> 遺物は、ピット4を中心として出土した。石器は、覆土から不定形石器1点・打製石斧1点・敲磨器類1点の総数3点が出土した。

<小結> (3)の土器から、円筒上層d式の時期に住居跡が相当すると思われる。

(成田 滋彦)

第373号住居跡 (第911～913図)

<位置と確認> 調査区CV・CW-128・129グリッドに位置している。第273号住居跡の下位を精査中に本住居跡を確認した。

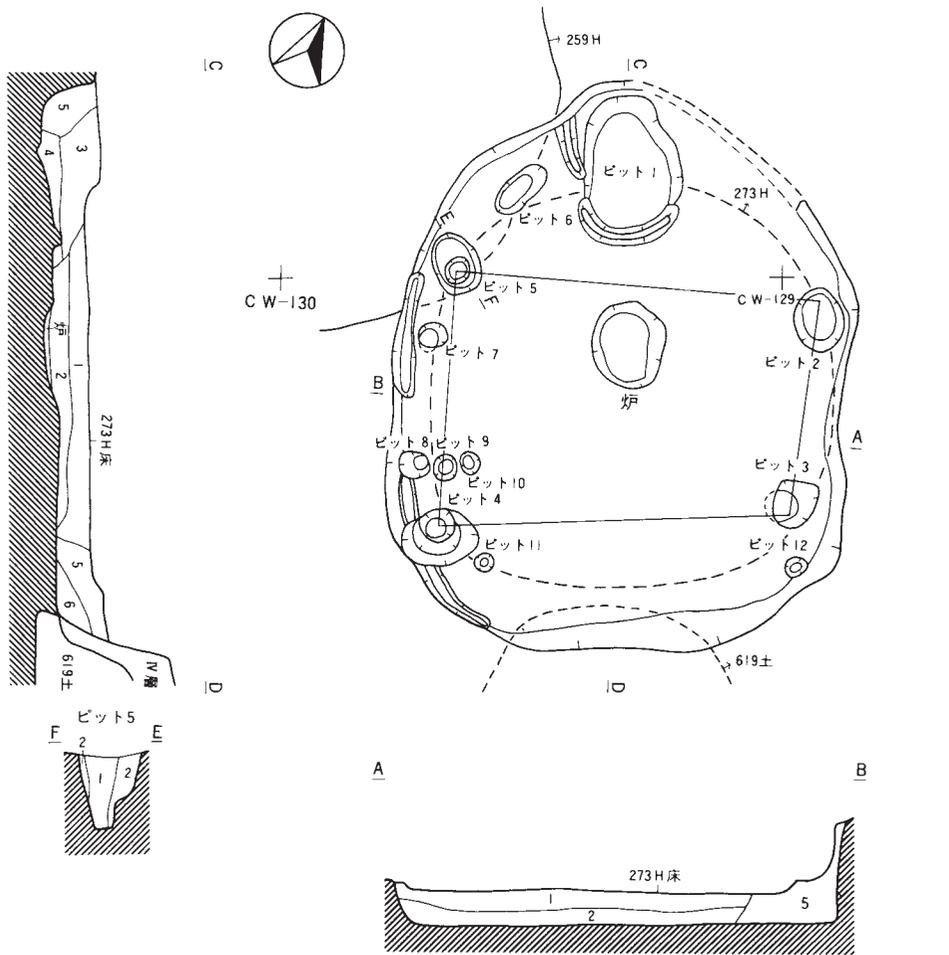
<重複> 第259・273号住居跡、第848号土壌と重複し、新旧関係は、下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

本住居跡→ 第273号住居跡→ 第259号住居跡→ 第848号土壌

<平面形・規模> 北側が張り出し、東・西側が直線的な不整形のプランである。規模は、長軸4 m56cm・短軸3 m55cm・床面積(12.04) m<sup>2</sup>を測る。

<壁・床面> 南壁が上端から床面にかけて傾斜しており、他の壁は床面から上端にかけて垂直に立ち上がる。壁はすべて堅緻な造りである。壁高は東壁35cm・西壁36cm・南壁38cm・北壁37cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い造りである。



第373号住居跡ピット5土層注記

- 第1層 暗褐色 7.5Y R% 炭化物を多量に含む
- 第2層 明褐色 7.5Y R% 黄褐色土混入

第373号住居跡土層注記

- 第1層 褐色 10Y R% ローム粒多量、焼土粒若干含む
- 第2層 褐色 10Y R% ローム粒多量に含み、黒褐色土混入
- 第3層 暗褐色 10Y R% 炭化物多量、焼土粒少量含む
- 第4層 褐色 7.5Y R% 炭化物、焼土粒若干含む

- 第5層 黄褐色 10Y R% 炭化物少量含む、褐色土混入
- 第6層 明褐色 7.5Y R%

第373号住居跡炉土層注記

- 第1層 赤褐色 2.5Y R% 炭化物少量含む(焼土層)

第911図 第373号住居跡(1)

〈壁溝〉 幅17cm・深さ4cmの溝が西壁よりから検出した。一部途切れており一周しない。

〈柱穴〉 ピットは12個検出した。ピット1は特殊施設の項目で記載する。他のピット11個は配置等から柱穴と思われる。なおピット2・3・4・5の4個が支柱穴である。

〈炉〉 中央部から北よりに長径70cm・短径59cm・深さ4cmと浅い楕円形の地床炉が位置している。

〈特殊施設〉 北壁寄りに長径104cm・短径76cm・深さ8cmの楕円形のピットを検出した。ピットの縁には幅15cm・高さ6cmの盛土が弧状に巡らされている。

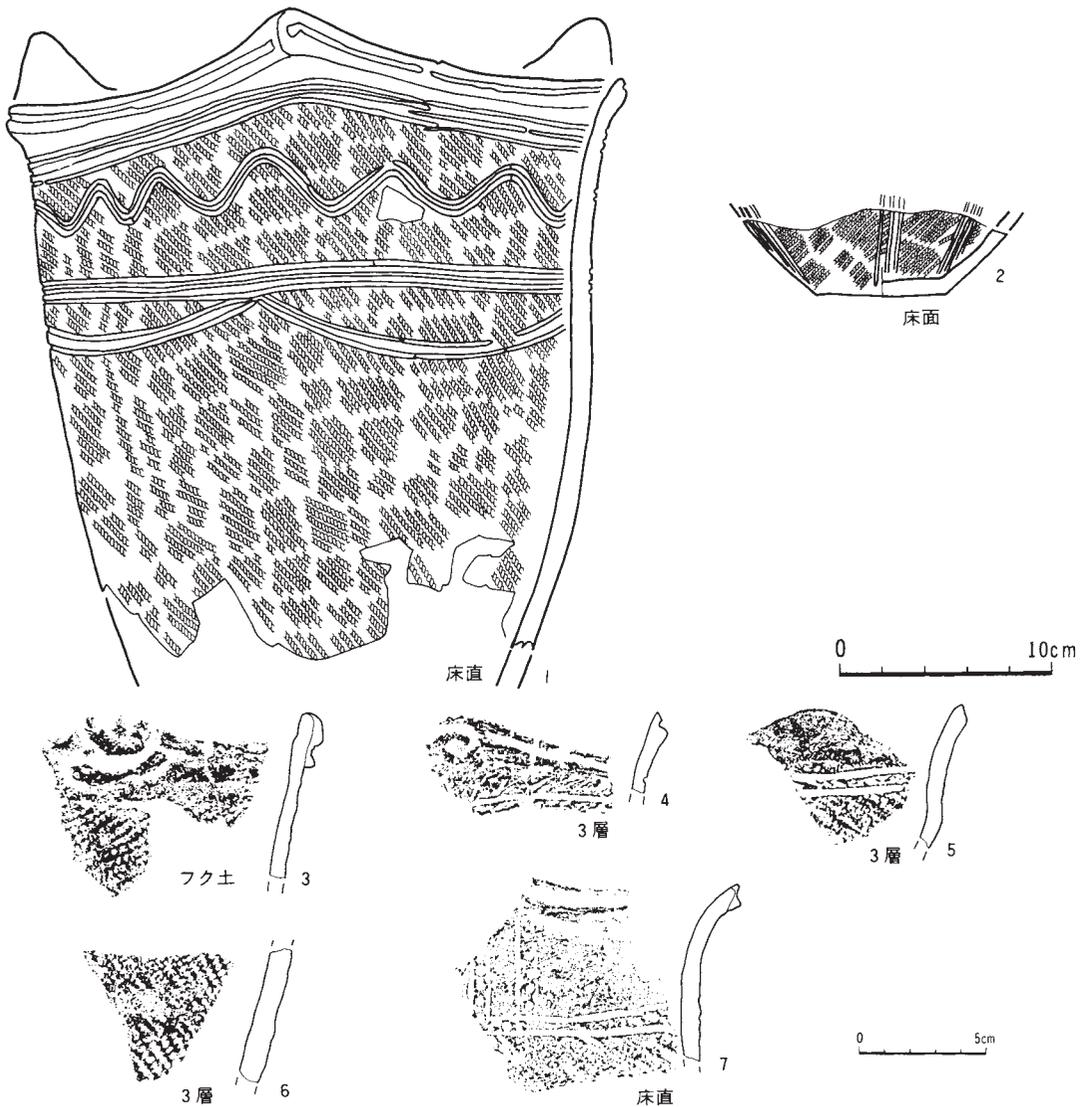
第373号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
2	楕円形	52×39	19	3	不整形	37×33	67	4	楕円形	60×45	76
5	楕円形	49×36	65	6	楕円形	50×22	49	7	円形	22×21	45
8	円形	23×21	32	9	円形	19×18	34	10	円形	17×16	33
11	円形	15×14	25	12	円形	16×16	14				

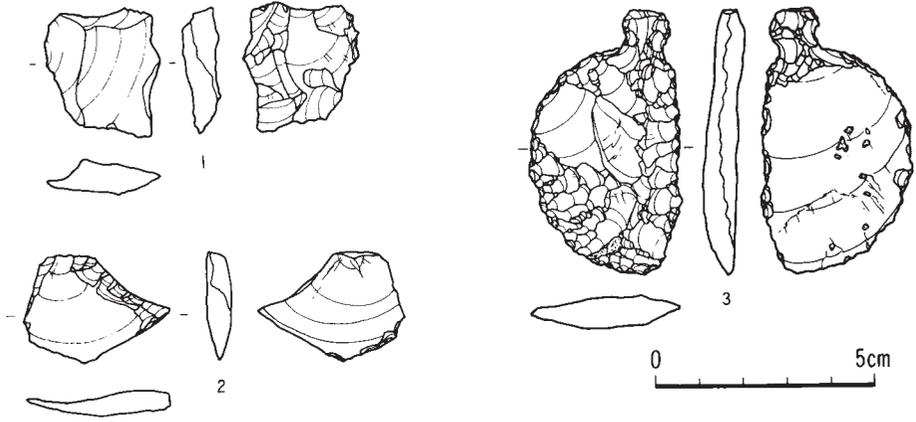
<堆積土> 6層に分層できた。断面観察等から自然堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物は、炉を中心として出土した、石器は、覆土から石匙1点・不定形石器5点床面から台石石皿1点の総数7点が出土した。

<小結> (2)の床面の土器から、最花式期に相当する住居跡と思われる。 (成田 滋彦)



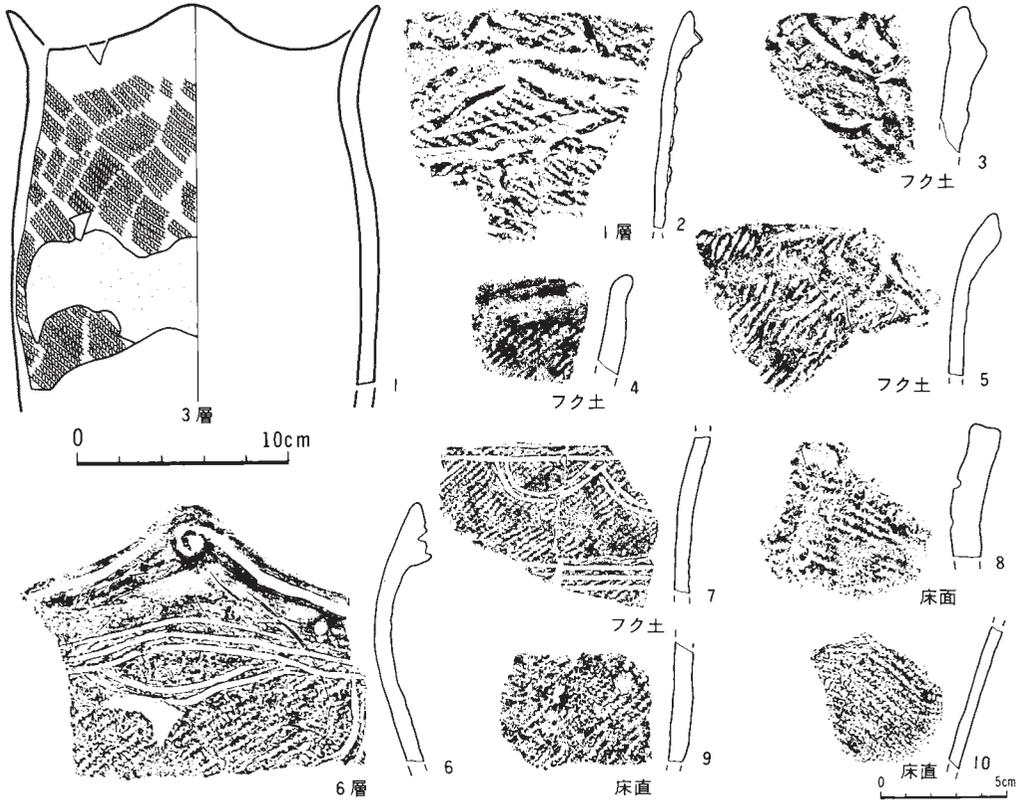
第912図 第373号住居跡(2)



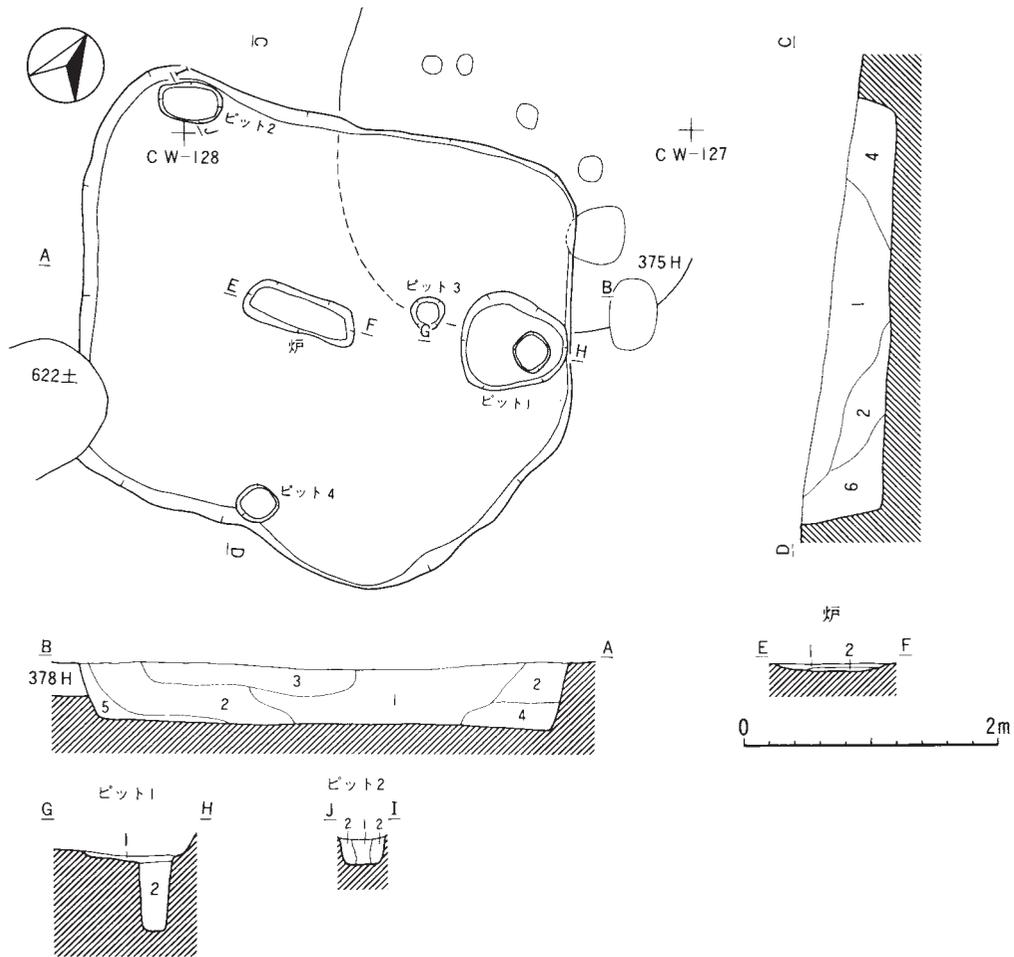
第913図 第373号住居跡(3)

第374号住居跡 (第914~916図)

<位置と確認> 調査区CV・CW-127・128-グリッドに位置している。



第914図 第374号住居跡(1)



第374号住居跡炉土層注記

- 第1層 赤褐色 2.5Y R% 焼土層
- 第2層 明褐色 7.5Y R% 焼土粒がまばらに含む

第374号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R% ローム粒子、炭化物多量、焼土粒若干含む
- 第2層 褐色 10Y R% ローム粒子多量に含む
- 第3層 黄褐色 10Y R% 多量のローム土を含む
- 第4層 褐色 10Y R% 黄褐色土混入
- 第5層 暗褐色 10Y R% 黄褐色土混入、炭化物、焼土粒を若干含む
- 第6層 黄褐色 10Y R% 暗褐色土混入、炭化物若干含む

第374号住居跡ピット1土層注記

- 第1層 黒褐色 7.5Y R% ローム粒、焼土粒少量含む
- 第2層 褐色 7.5Y R% ローム粒多量、炭化物少量含む

第374号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 暗褐色 7.5Y R% ローム粒多量、炭化物若干含む
- 第2層 明褐色 7.5Y R% 黄褐色土混入

第915図 第374号住居跡(2)

〈重複〉 第375号住居跡・第622号土壌と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

第375号住居跡→本住居跡→第622号土壌

〈平面形・規模〉 南側が張り出した不整形を呈する。規模は、長軸3m86cm・短軸3m54cm・床面積11.66㎡を測る。

〈壁・床面〉 上端から床面にかけてなだらかに傾斜しており、堅緻な造りである。壁高は、

東壁47cm・西壁51cm・南壁61cm・北壁32cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い造りである。

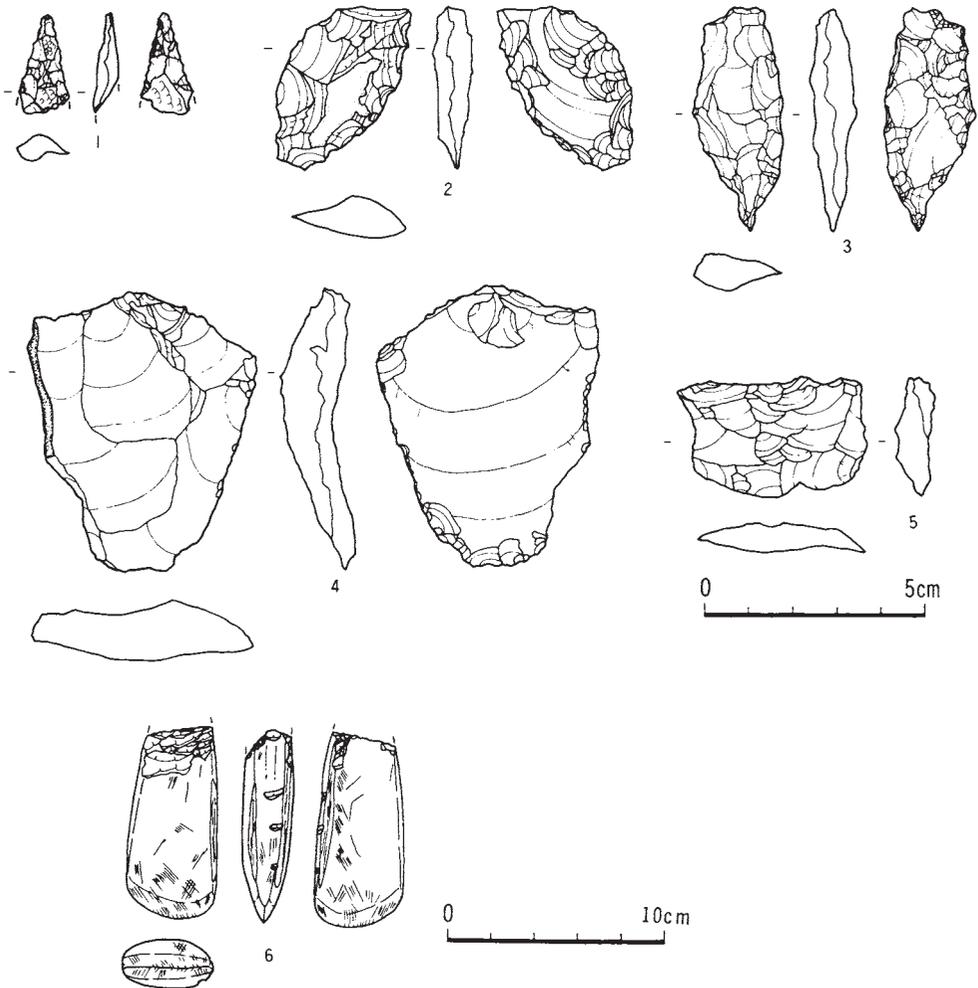
<柱穴> ピットは4個検出した。ピット1は特殊施設の項目で記載する。3個のピットは、形態・配置等から柱穴と思われる。

第374号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
2	楕円形	50×30	25	3	円形	28×26	8	4	円形	32×30	62

<炉> 住居跡の中央部に長径89cm・短径46cm・深さ5cmの浅い地床炉が位置している。

<特殊施設> 西壁寄りに長径86cm・短径78cm・深さ4cmの浅いピットを検出した、内部に1個のピットを有する。



第916図 第374号住居跡(3)

<堆積土> 6層に分層できた。堆積土には多量のロームを含み住居跡廃棄後に人為的に埋められたと思われる。

<出土遺物> 土器は、(8)～(10)が床面・床面から出土し、他は覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃1点・不定形石器5点、床直から石錐1点、床面から磨製石斧1点の総数8点が出土した。

<小結> 床面・床直出土の土器(8)～(10)は、円筒上層d・e式であり、本住居跡がこの時期に相当すると思われる。 (成田 滋彦)

### 第375号住居跡 (第917図)

<位置と確認> 調査区CV・CW-126・127グリッドに位置している。第374号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

<重複> 第374・376・378号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

↗第378号住居跡・第376号住居跡

本住居跡

↘第374号住居跡

<平面形・規模> 東・西側の残存部から推定すると楕円形のプランである。規模は、長軸(4m72cm)・短軸(3m54cm)・床面積(13.86)㎡を測る。

<壁・床面> 上端から床面にかけて、ゆるやかに傾斜しており軟らかい造りである。壁高は、東壁18cm、西壁9cm・南壁・北壁は不明である。床面はほぼ平坦で壁同様に軟らかい。

<柱穴> ピットは6個検出した。配置等から柱穴と思われるが、支柱穴は判断できなかった。

第375号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	円形	21×20	15	2	不整形	48×46	36	3	円形	46×25	9
4	楕円形	22×18	14	5	楕円形	15×12	19	6	円形	17×14	18
7	楕円形	36×24	25								

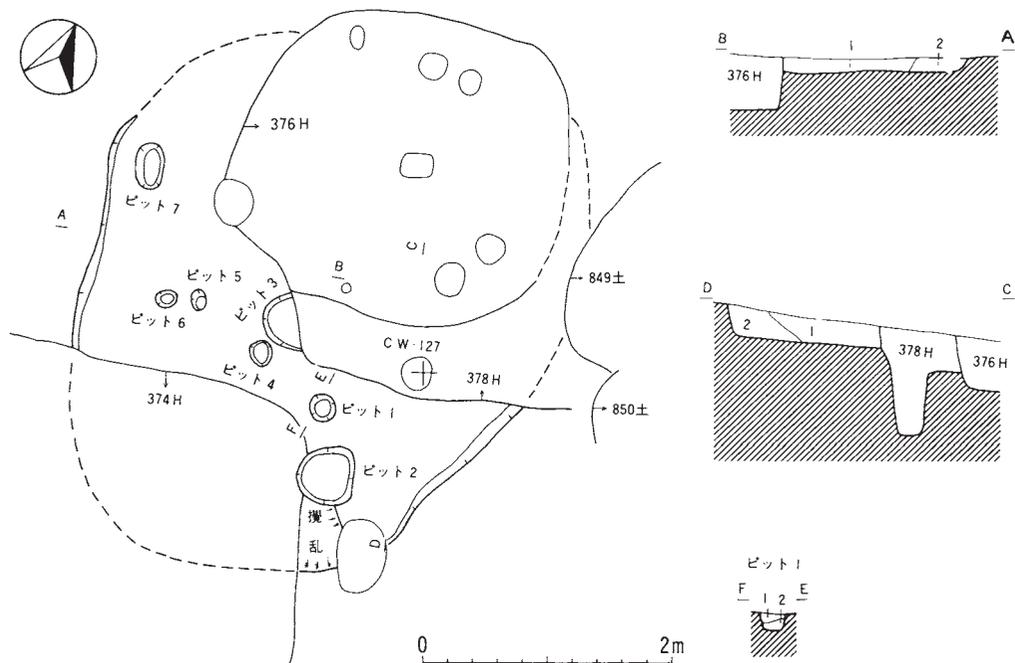
<炉> 検出しなかった。

<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 2層に分層できた。自然・人為堆積かどうか判断できなかった。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 土器は出土しなかったが、住居跡の新旧関係から円筒上層c・d式期に相当すると思われる。 (成田 滋彦)



第375号住居跡土層注記

第1層 暗褐色 10YR 8/4 ロームブロック多量、炭化物若干含む  
 第2層 褐色 10YR 8/4 黄褐色土混入

第375号住居跡ピット1土層注記

第1層 暗褐色 7.5YR 8/4 ローム粒、炭化物少量含む  
 第2層 褐色 7.5YR 8/4 黄褐色土混入

第917図 第375号住居跡

第376号住居跡 (第918～920図)

〈位置と確認〉 調査区CW126・127-グリッドに位置している。

〈重複〉 第375・378号住居跡と重複し、新旧関係は、下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

第375号住居跡 → 第378号住居跡 → 本住居跡

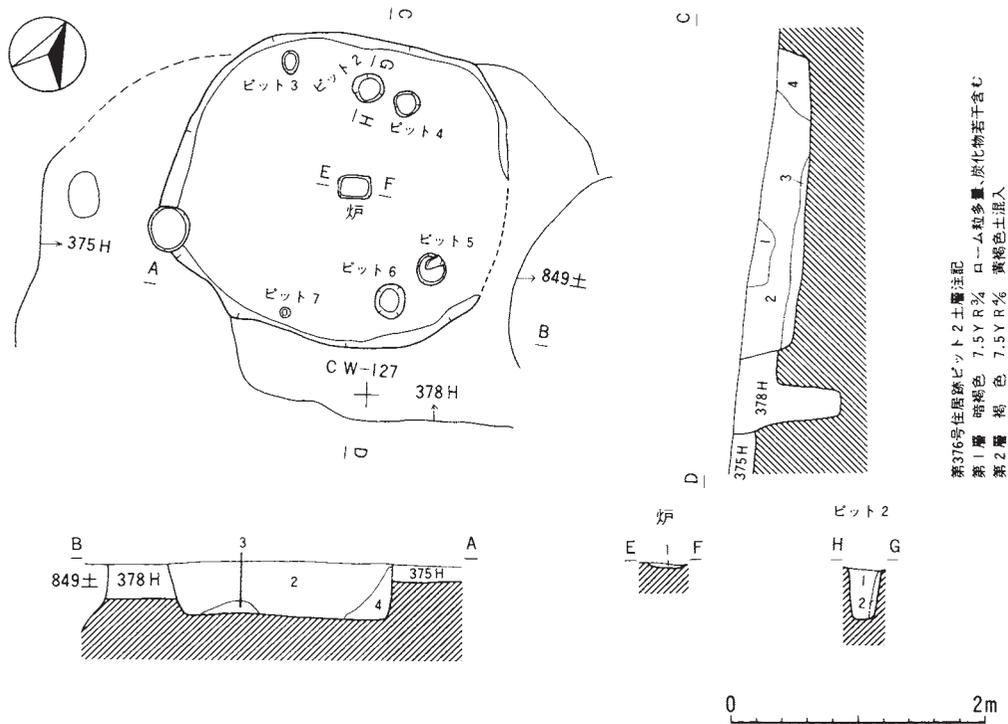
〈平面形・規模〉 全体に丸みをもつ円形のプランである。規模は、長軸2m68cm・短軸2m45cm・床面積は5.02㎡で小型の住居跡である。

〈壁・床面〉 上端から床面にかけてゆるやかに傾斜しており、堅緻な造りである。壁高は東壁43cm・西壁46cm・南壁42cm・北壁21cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い。

〈柱穴〉 7個のピットを検出した。北側と南側に位置し、配置等から柱穴と思われる。

〈炉〉 中央部に長径26cm・短径18cm・深さ4cmの浅い方形を呈する地床炉が位置している。

〈特殊施設〉 認められなかった。



第376号住居跡土層注記  
 第1層 黄褐色 10Y R %  
 第2層 暗褐色 10Y R %  
 第3層 暗褐色 10Y R %  
 第4層 褐色 10Y R %

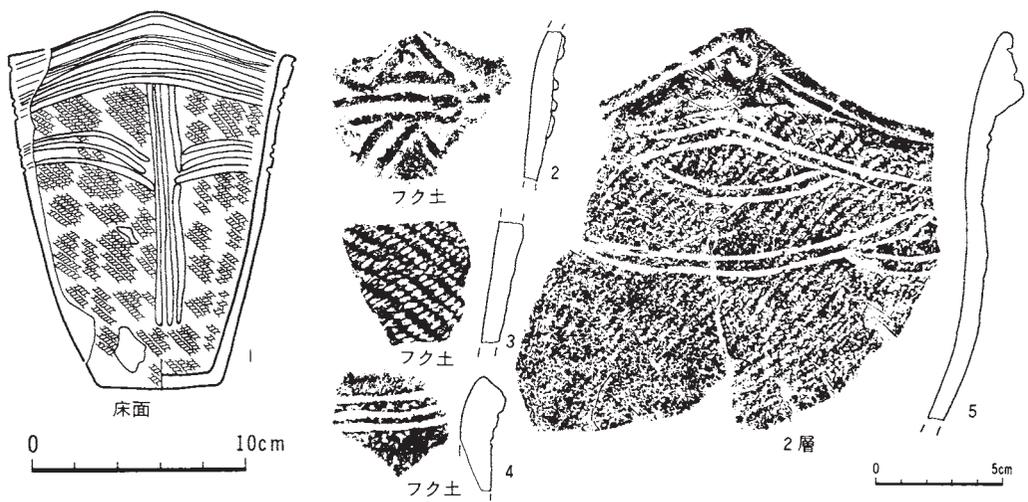
ローム粒、炭化物多量、焼土粒若干含む  
 ロームブロック多量、炭化物若干含む  
 黄褐色土混入、炭化物含む

第376号住居跡炉土層注記

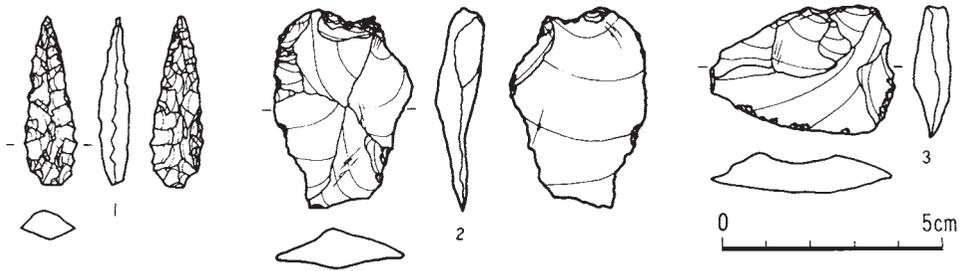
第1層 褐色 7.5Y R % 焼土ブロック多量に含む

第376号住居跡ピット2土層注記  
 第1層 暗褐色 7.5Y R % ローム粒多量、炭化物若干含む  
 第2層 褐色 7.5Y R % 黄褐色土混入

第918図 第376号住居跡(1)



第919図 第376号住居跡(2)



第920図 第376住居跡(3)

第376号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)	No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)	No.	形態	規模 (cm)	深さ (cm)
1	円形	36×30	32	2	円形	25×23	40	3	楕円形	17×14	29
4	円形	18×17	71	5	円形	25×24	52	6	円形	27×26	48
7	円形	37×32	8								

〈堆積土〉 4層に分層できた。堆積土中にローム及び黄色褐色土を含んでおり、人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉 土器は(1)が床面で他は覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃1点・不定形石器2点、床面から不定形石器1点の総数4点が出土した。

〈小結〉 床面の土器は円筒上層e式であり、この時期に本住居跡が相当すると思われる。

(成田 滋彦)

第378号住居跡 (第921・922図)

〈位置と確認〉 調査区CW-126・127-グリッドに位置している。第376号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

〈重複〉 第375・376号住居跡、第849・850号土壇と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————> (新)

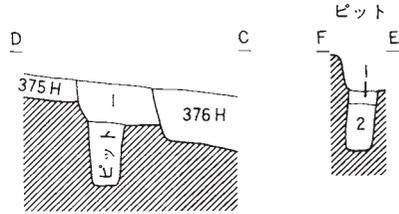
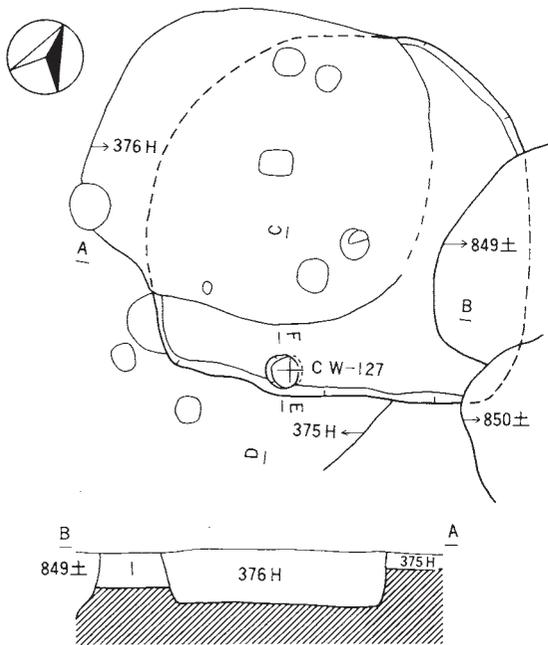
↗ 第376号住居跡

第375号住居跡 → 本住居跡

↘ 第850号土壇 → 第849号土壇

〈平面形・規模〉 北・南側の残存部から推定すると円形のプランと思われる。規模は、長軸 (3 m12cm)・短軸 (2 m91cm)・床面積 (7.51) m<sup>2</sup>を測る。

〈柱穴〉 ピットは、南壁寄りに長径27cm・短径26cm・深さ50cmの円形のピットを1個検出した。



第378号住居跡ビット1土層注記

第1層 褐色 7.5YR%

ローム粒を多量に含む

第2層 褐色 7.5YR%

黄褐色土混入

第378号住居跡土層注記

第1層 暗褐色 10YR%

ローム粒、炭化物少量含む

0 2m

第921図 第378号住居跡(1)

<炉> 検出しなかった。

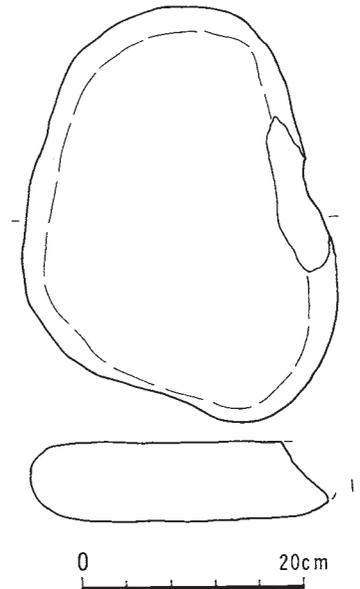
<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 1層のみの堆積で、自然・人為堆積かどうか判断できなかった。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 土器が出土しなかったため、住居跡の新旧関係から円筒上層d・e式に相当すると思われる。

(成田 滋彦)



第922図 第378号住居跡(2)

第379号住居跡 (第923～925図)

〈位置と確認〉 調査区C Z・DA-132・133グリッドに位置している。第197号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

〈重複〉 住居跡の西側で第197号住居跡と南側で第374・380号住居跡、第696号土壇と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) → (新)

第374号住居跡 → 第380号住居跡 → 本住居跡 → 第197号住居跡  
 第696号土壇 ↗

〈平面形・規模〉 西側は確認できなかつたため、残存部から推定するとほぼ円形を呈する。規模は長軸5 m62cm・短軸5 m02cm・床面積(19.66)㎡を測る。

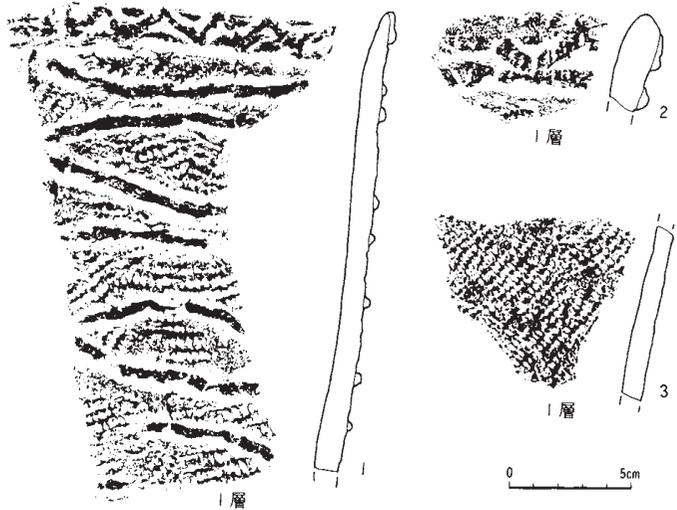
〈壁・床面〉 床面から上端にかけて、ほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な造りである。壁高は、東壁45cm・西壁17cm・南壁49cm・北壁6 cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い。

〈壁溝〉 幅14cm・深さ4 cmの溝が巡っている。一部で途切れている。

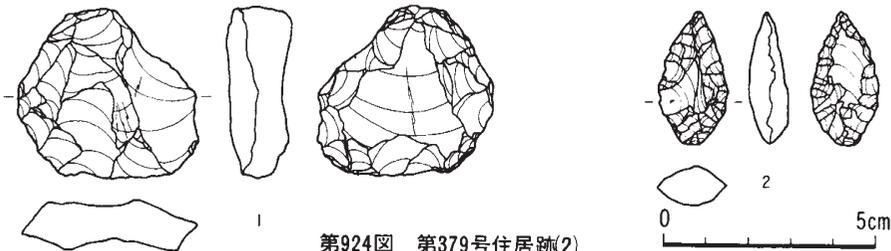
〈柱穴〉 13個のピットを検出した。ピット1については特殊施設の項目で記載する。他の12個のピットは配置等から柱穴と思われる。

〈炉〉 住居跡の中央部に長径75cm・短径66cm・深さ5 cmの浅い地床炉が位置している。

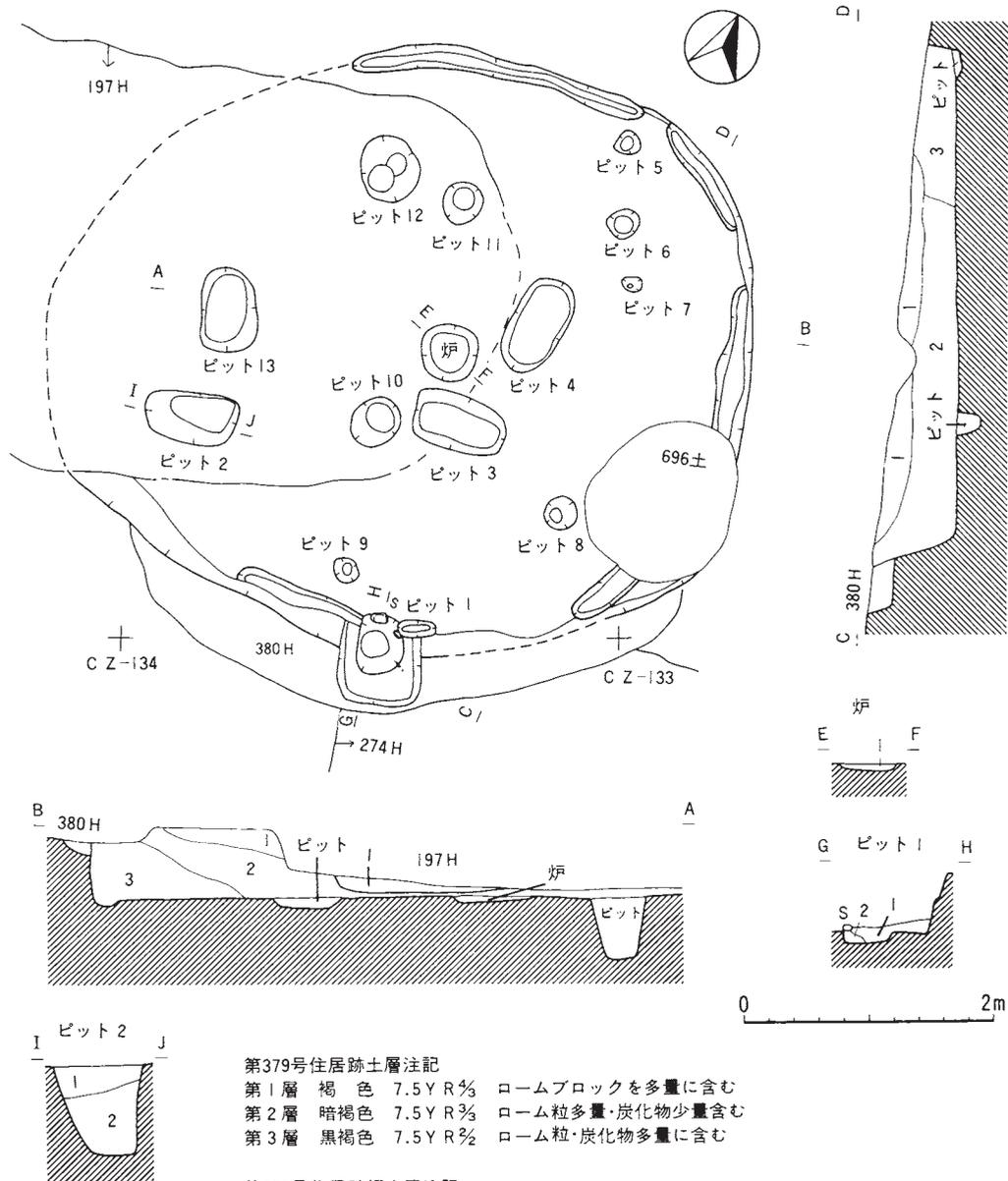
〈特殊施設〉 住居跡の南側に張り出して長径75cm・短径66cm・深さ8 cmの浅い方形のピット



第923図 第379号住居跡(1)



第924図 第379号住居跡(2)



第379号住居跡土層注記

- 第1層 褐色 7.5 Y R 3/4 ロームブロックを多量に含む
- 第2層 暗褐色 7.5 Y R 3/4 ローム粒多量・炭化物少量含む
- 第3層 黒褐色 7.5 Y R 2/3 ローム粒・炭化物多量に含む

第379号住居跡炉土層注記

- 第1層 明赤褐色 5 Y R 5/6 焼土粒を含み、暗褐色土混入

第379号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 暗褐色 10 Y R 3/4 ローム粒多量に含む
- 第2層 褐色 10 Y R 4/6 暗褐色土混入

第379号住居跡ピット1土層注記

- 第1層 黒褐色 10 Y R 2/3 ローム粒少量・炭化物若干含む
- 第2層 暗褐色 10 Y R 3/4 ローム粒多量に含む

第925図 第379号住居跡(3)

を検出した。内部には小礫と円形のピットを有する。

<堆積土> 3層に分層できた、第2・3層は住居跡廃棄後の自然堆積であり、第1層が人為堆積である。

<出土遺物> 土器は第1層から出土した。石器は、1層から石鏃1点、床直から不定形石器1点が出土した。

<小結> (1～3)の土器は円筒上層d式の時期である。 (成田 滋彦)

### 第380号住居跡 (第926図)

<位置と確認> 調査区CY・CZ-132・133グリッドに位置している。第379号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

<重複> 住居跡の北側で第274・379号住居跡、第696号土壇と重複し、新旧関係は、第274号住居跡より新しい、第379号住居跡・第696号土壇より古い。

<平面形・規模> 北側の残存部から推定すると、ほぼ円形を呈すると思われる。規模は一部分のみの検出のため不明である。

<壁・床面> 北壁のみの検出で上端から床面にかけてゆるやかに傾斜している。壁高は10cmを測る。床面は、ほぼ平坦で固い。

<柱穴> 認められなかった。

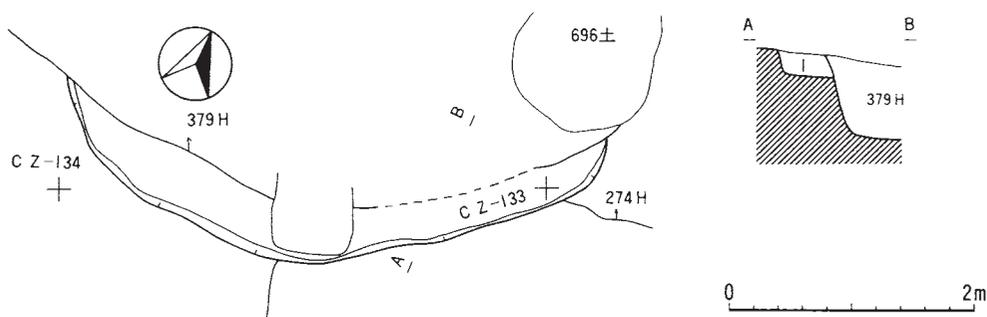
<炉> 検出しなかった。

<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 1層のみであり、自然・人為堆積かどうかは判断できなかった。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

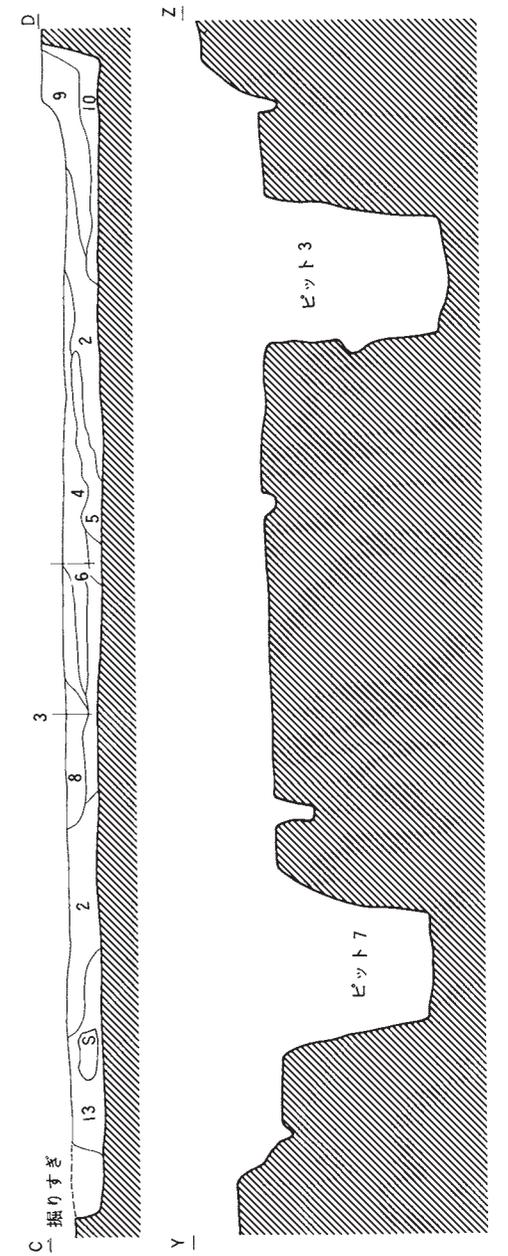
<小結> 土器が出土しなかったため、住居跡の新旧関係から円筒上層d式に本住居跡が相当すると思われる。 (成田 滋彦)



第380号住居跡土層注記

第1層 暗褐色 7.5Y R $\frac{3}{4}$  ローム粒・炭化物少量含む

第926図 第380号住居跡

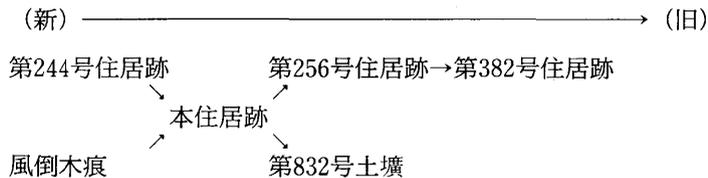


第927図 第381号住居跡(1)

### 第381号住居跡 (第927～935図)

<位置と確認> 調査区西側台地最高部CR・CS-126～129、CT-127・128グリッドに位置する。第IV層上面で暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 住居跡の床面で第832号土壌、東側で風倒木痕、北西側で第256号住居跡と第382号住居跡と第244号住居跡と切り合っており、新旧関係は以下のとおりである。



<平面形・規模> 東西に長い隅丸長方形で、規模は、長軸10m50cm・短軸8m、床面積は、77.3㎡を測る大型の住居跡である。

<壁・床面> 第IV層を壁面とし、東壁を除いて各壁ともほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な構築である。壁高は、西壁33cm・南壁28cm・北壁36cmである。床面は起伏が少なく全般的に平坦で、堅く締まっている。

<壁溝> 幅10～25cm・深さ6～17cmの壁溝が一周すると思われる。

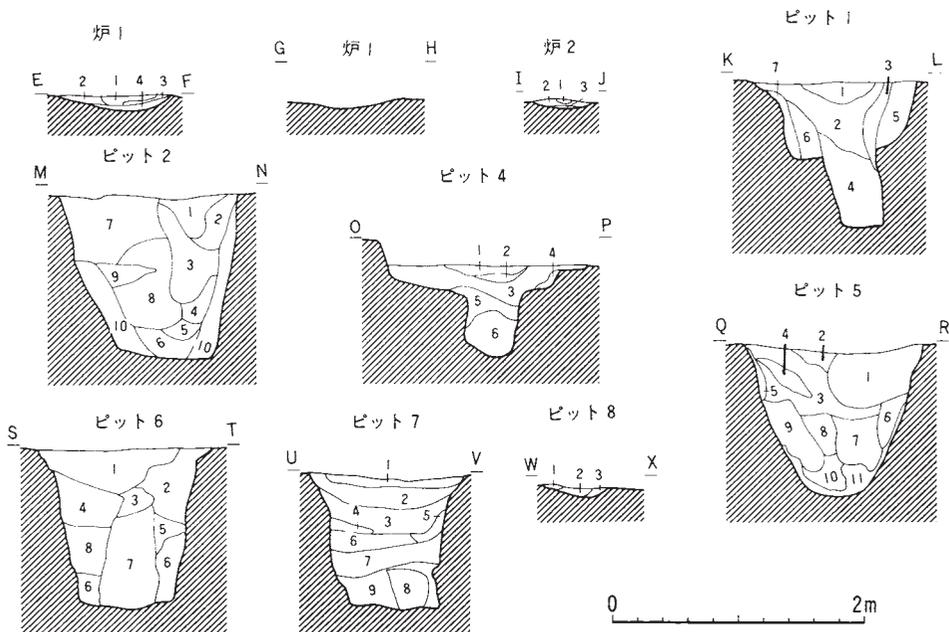
<柱穴> 本住居跡内から多数のピットが検出された。このうち、長軸線上で対称になっているP<sub>1</sub>～P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>～P<sub>7</sub>(深さP<sub>1</sub>…110・P<sub>2</sub>…137・P<sub>3</sub>…127・P<sub>5</sub>…124・P<sub>6</sub>…129・P<sub>7</sub>…109cm)が支柱穴と考えられる。P<sub>2</sub>からは柱痕と考えられる炭化材、P<sub>9</sub>の底面からは石皿(S-147)が出土した。

<炉> 住居跡の長軸線上から2基検出され、いずれも地床炉である。平面形はともに楕円形の一部が張り出している。第1号炉の規模は、長軸103cm・短軸78cm・深さ7cmである。堆積土は4層に区分でき、第1層上面が火床面である。第2号炉の規模は、長軸75cm・短軸53cm・深さ7cmである。堆積土は3層に区分でき、第1層上面が火床面である。

<特殊施設> 住居跡の西側にピットを伴う緩やかな落ち込みが認められた。

<堆積土> 14層に分層できた。各層にわたってローム粒・炭化物を含んでいる。自然堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物は、住居跡西側の覆土から多く出土した。土器は、床面・床直(1・5・9・11・12・15・17)から出土し、他は、覆土からの出土である。石器は、覆土から石鏃6点・石槍4点・石錐1点・不定形石器33点・石斧3点・半円状扁平打製石器1点・敲磨器類2点・台石1点・石皿2点・石棒類1点・石製品1点、ピット1から石鏃1点、ピット5から不定形石器2点、ピット7から不定形石器1点、床直から石槍1点・石篋1点・ピエス・エスキュー1点・不定形石器6点・敲磨器類2点、床面から石鏃1点・石篋1点・ピエス・エスキュー1



第381号住居跡土層注記

- 第1層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒・L.B. を多量に含む、炭化物を微量に含む
- 第2層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒を中量、炭化物を少量含む
- 第3層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒・L.B. を多量に含む、炭化物を微量に含む
- 第4層 褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量含む
- 第5層 黒色 10Y R%  
ローム粒を少量、炭化物を多量に含む
- 第6層 黒褐色 10Y R%  
ローム粒を少量、炭化物を中量含む
- 第7層 濃い黄褐色 10Y R%  
ローム粒を少量、炭化物を少量含む
- 第8層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量、焼土粒を微量に含む
- 第9層 明黄褐色 10Y R%  
ローム粒を中量、炭化物を少量含む
- 第10層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒を中量、炭化物を少量含む
- 第11層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量含む
- 第12層 褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量含む
- 第13層 褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を中量含む
- 第14層 黒褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を中量含む

第381号住居跡2号炉土層注記

- 第1層 明赤褐色 5Y R% 炭化物を微量に含む
- 第2層 明赤褐色 5Y R% (焼土層)
- 第3層 明赤褐色 2.5Y R% (焼土層)
- 第4層 黄褐色土 10Y R% 焼土粒を少量含む

第381号住居2号炉土層注記

- 第1層 赤褐色 2.5Y R% (焼土層)
- 第2層 明赤褐色 5Y R%
- 第3層 明褐色 7.5Y R%

第381号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 褐色 10Y R%  
ローム粒を少量、炭化物を中量、焼土粒を微量に含む
- 第2層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量含む
- 第3層 暗褐色 10Y R%  
炭化物を多量に含む、褐色土混入
- 第4層 黄褐色 10Y R%  
炭化物を中量含む
- 第5層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒を少量含む、暗褐色土を少量混入
- 第6層 黄褐色 10Y R%  
炭化物を多量に含む、暗褐色土を少量混入
- 第7層 明黄褐色 10Y R%  
L.B. を多量、炭化物を少量含む
- 第8層 黄褐色 10Y R%  
炭化物を少量含む、暗褐色土を少量混入
- 第9層 褐色 10Y R%  
ローム粒を多量、炭化物を少量含む、暗褐色土混入
- 第10層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒を多量に含む、暗褐色土を少量混入

第381号住居跡ピット1土層注記

- 第1層 黒褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量含む
- 第2層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を少量、焼土粒を微量に含む
- 第3層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒・炭化物を中量含む
- 第4層 暗褐色 10Y R%  
ローム粒を少量、炭化物を中量、焼土粒を微量に含む
- 第5層 褐色 10Y R%  
ローム粒を多量、炭化物を少量含む、暗褐色土混入
- 第6層 黄褐色 10Y R%  
炭化物を微量に含む、暗褐色土混入
- 第7層 黄褐色 10Y R%  
ローム粒を多量に含む、黒褐色土微量に混入

第928図 第381号住居跡(2)

第381号住居跡ビット4土層注記  
 第1層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を少量、炭化粒を多量に含む  
 第2層 暗褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第3層 褐色 10Y R 4/4  
 ローム粒を少量、炭化物を少量、焼土粒を微量に含む  
 第4層 黄褐色 10Y R 5/6  
 暗褐色土を少量混入  
 第5層 暗褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を少量、炭化物・焼土粒を少量含む  
 第6層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒を少量、炭化物を少量含む

第381号住居跡ビット5土層注記  
 第1層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒・L.B.を多量、炭化粒を少量含む  
 第2層 暗褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第3層 暗褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を中量、炭化物を少量含む  
 第4層 褐色 10Y R 4/4  
 ローム粒を多量、炭化物を少量含む  
 第5層 黄褐色 10Y R 5/6  
 黒褐色土を微量に含む  
 第6層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を少量含む。黒褐色土混入  
 第7層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・L.B.を多量、炭化物を少量、黒褐色土混入  
 第8層 褐色 10Y R 4/4  
 ローム粒を多量、炭化物を微量に含む。黒褐色土混入  
 第9層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を中量、炭化物を少量含む  
 第10層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒を多量、炭化物を少量含む。黒褐色土混入  
 第11層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ロームを多量に含む。暗褐色土混入

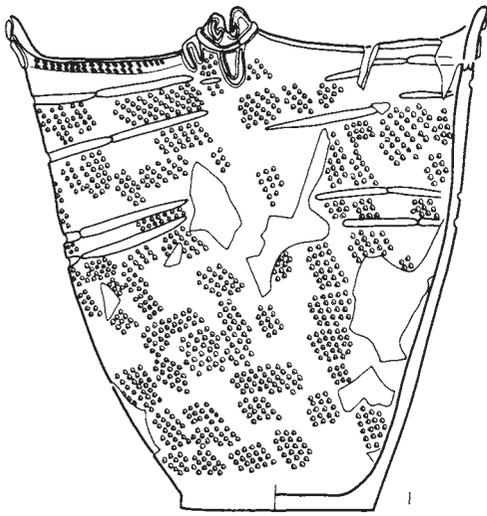
第381号住居跡ビット6土層注記  
 第1層 褐色 10Y R  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第2層 黄褐色 10Y R  
 炭化物を少量含む。暗褐色土混入  
 第3層 褐色 10Y R  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第4層 黄褐色 10Y R  
 暗褐色土混入  
 第5層 褐色 10Y R  
 炭化物を少量含む。暗褐色土混入  
 第6層 黄褐色 10Y R  
 ローム粒を多量に含む。黒褐色土混入  
 第7層 暗褐色 10Y R  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第8層 黒褐色 10Y R  
 L.B.炭化物を少量含む  
 R  
 第381号住居跡ビット7土層注記  
 第1層 褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・炭化物を少量、焼土粒を微量に含む  
 第2層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第3層 褐色 10Y R 4/4  
 ローム粒を量、炭化物を少量、焼土粒を微量に含む  
 第4層 褐色 10Y R 3/4  
 炭化物を微量に含む。暗褐色土混入  
 第5層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒を少量、炭化物を微量に含む  
 第6層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第7層 黒褐色 10Y R 3/4  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第8層 褐色 10Y R 4/4  
 ローム粒・炭化物を少量含む  
 第9層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒を多量、黒褐色土混入

第381号住居跡ビット8土層注記  
 第1層 赤褐色 5Y R 5/6  
 第2層 明褐色 7.5Y R 5/6  
 焼土粒を少量含む  
 第3層 黄褐色 10Y R 5/6  
 ローム粒を少量、炭化物・焼土粒を微量に含む  
 第4層 黄褐色 10Y R 5/6

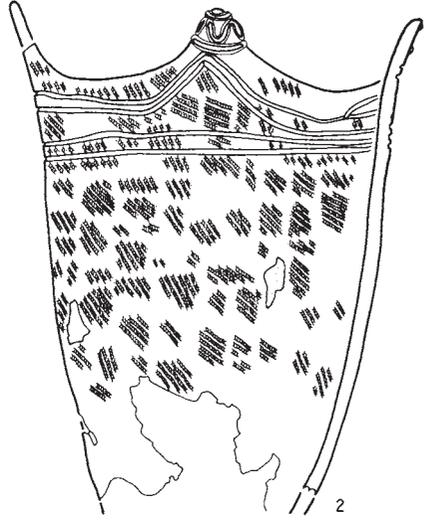
点・不定形石器2点・敲磨器類3点・石棒類1点・石製品2点が出土し、総数71点である。

〈小結〉 本住居跡は、床面の土器(1)・(11)・(38)・(39)から榎林式期と思われる。

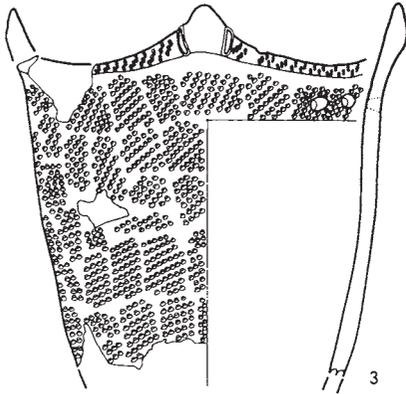
(福土敦子・中嶋友文)



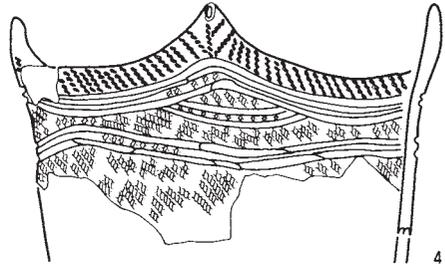
床面



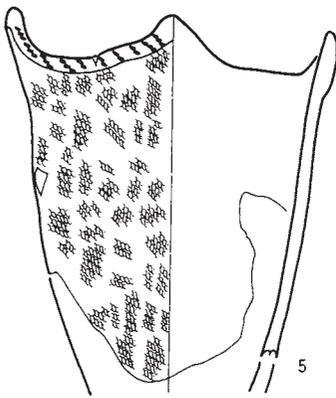
フク土



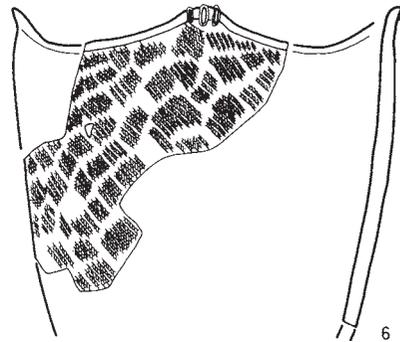
フク土



フク土



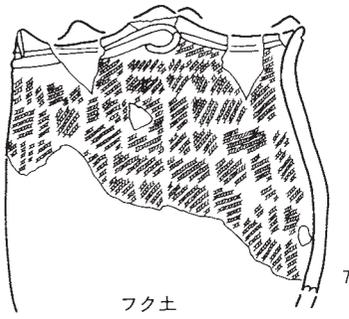
床直



フク土

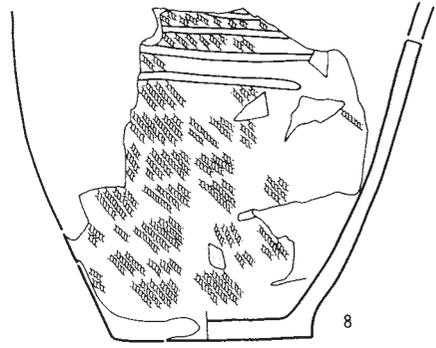


第929図 第381号住居跡(3)



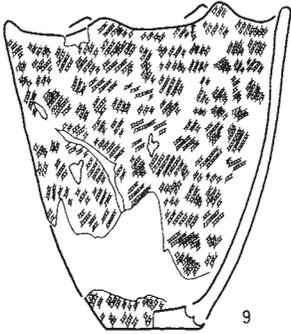
フク土

7



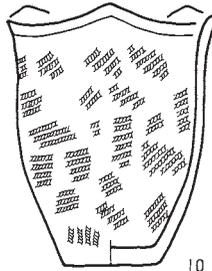
フク土

8



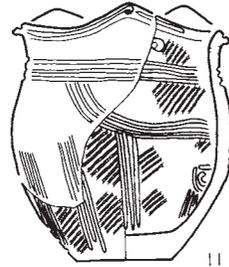
床面

9



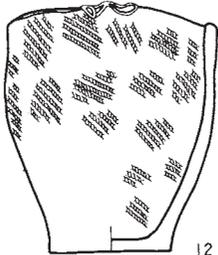
フク土

10



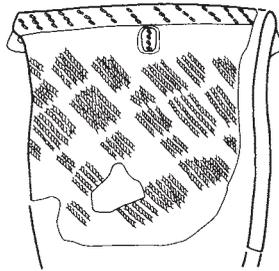
床面

11



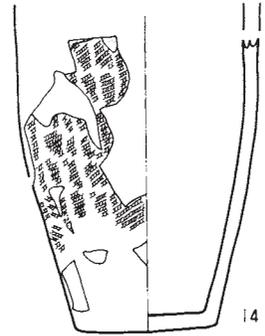
床面

12



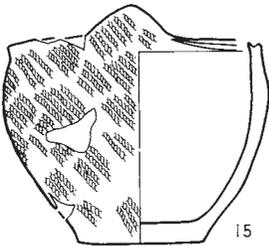
フク土

13



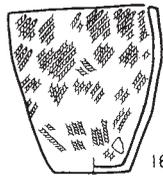
フク土

14



床直

15



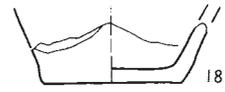
フク土

16



床面

17



フク土

18

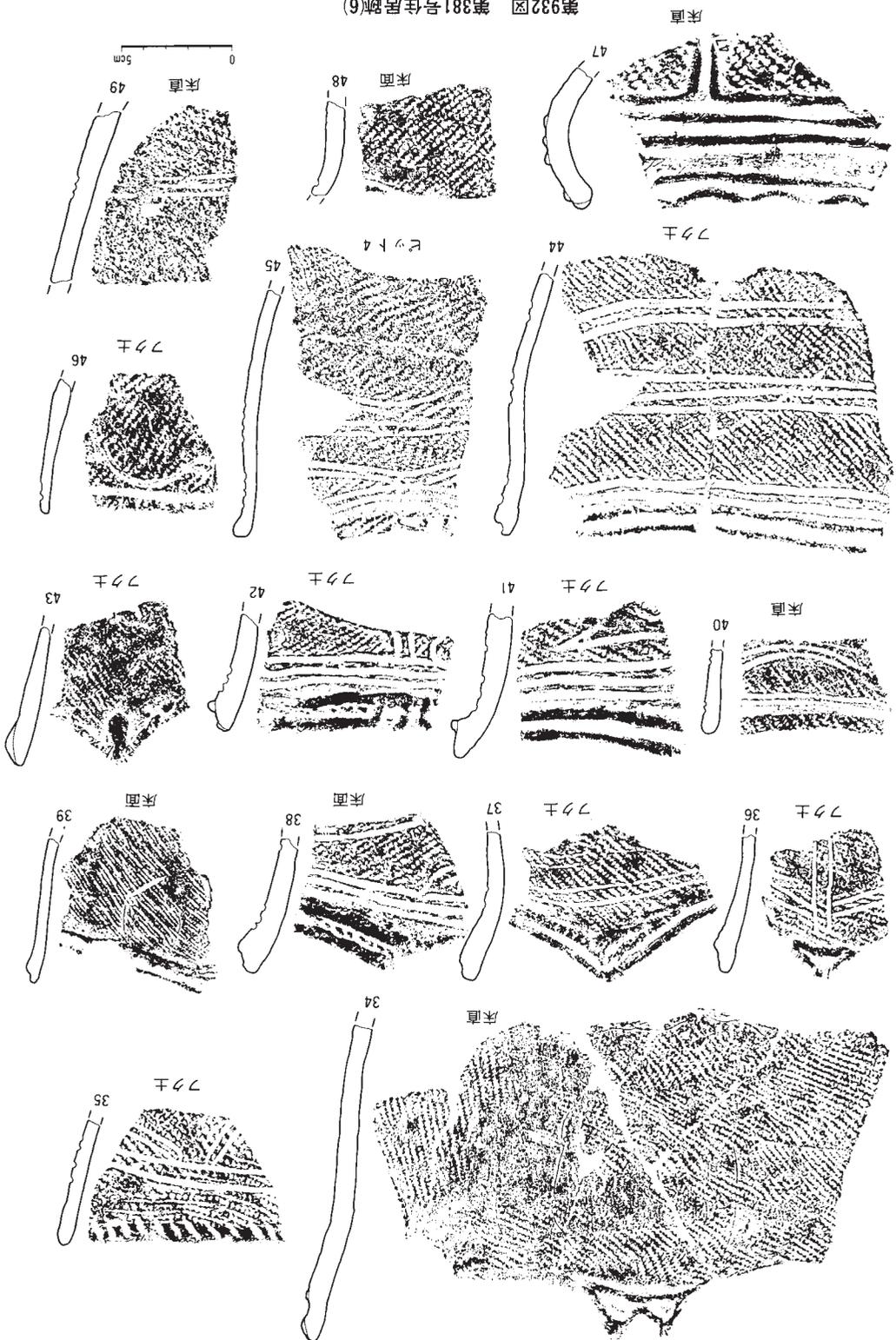


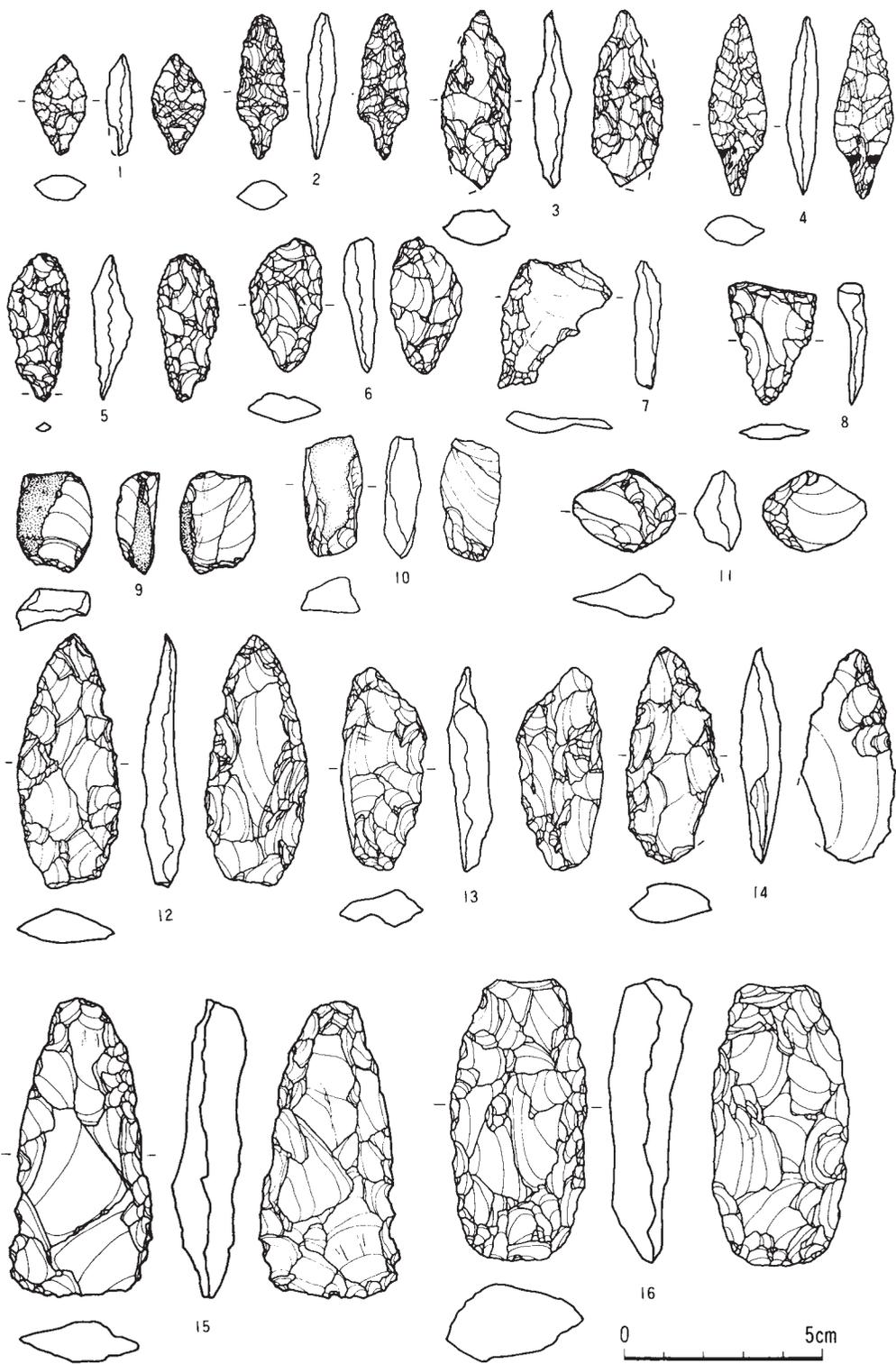
第930図 第381号住居跡(4)



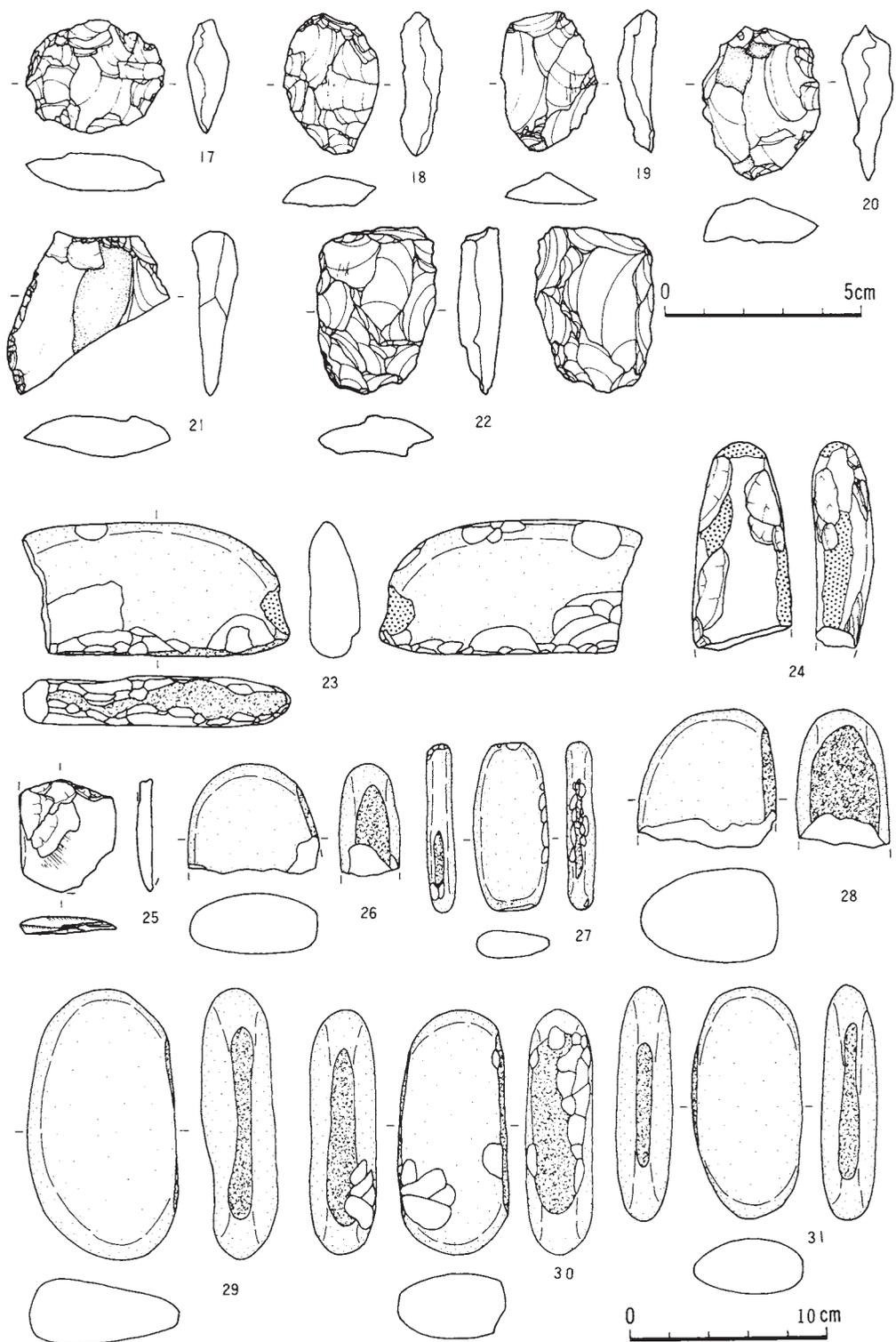
第931図 第381号住居跡(5)

第932図 第381号住居跡(6)

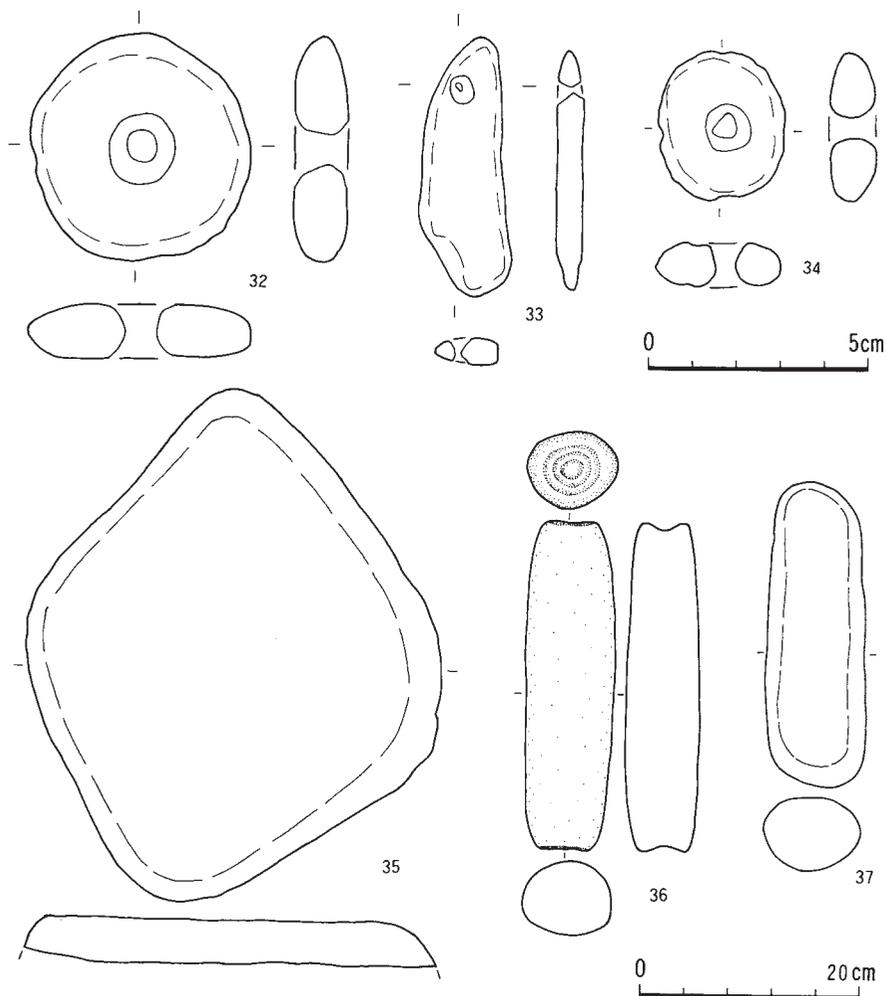




第933图 第381号住居跡(7)



第934图 第381号住居跡(8)



第935図 第381号住居跡(9)

第382号住居跡 (第936図)

<位置と確認> 調査区の西側台地の最高部C S・C T-128・129グリッドに位置する。第381号住居跡を精査中に貼り床と思われる面を確認した。

<重複> 住居跡の東側で第381号住居跡、北側で第256号住居跡と重複しており、新旧関係は以下のとおりである。

(新) —————> (旧)

第381号住居跡→第256号住居跡→本住居跡

<平面形・規模> 住居跡の大部分が重複している住居跡によって壊されているため全容は不

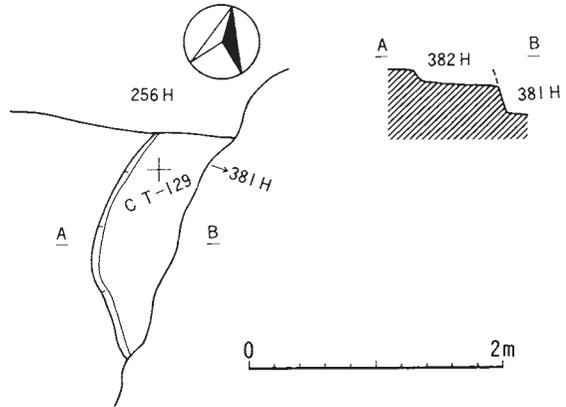
明である。

〈壁・床面〉 西壁の一部を除いて確認できなかったが、第IV層を壁面とし、緩やかに立ち上がると思われる。壁高は約10cmである。床面は起伏が少なく全般的に平坦で、やや堅く締まっている。

〈壁溝〉・〈柱穴〉・〈炉〉・〈特殊施設〉・〈堆積土〉 検出されなかった。

〈出土遺物〉 住居跡内から遺物は出土しなかった。

〈小結〉 本住居跡は、東側で第381号住居跡（榎林式）と重複しており、榎林式以前の円筒上層e式期と考えられる。  
(福士敦子・中嶋友文)



第936図 第382号住居跡

#### 第383号住居跡（第937図）

〈位置と確認〉 調査区西側台地の最高部CU-130グリッドに位置している。第IV層を精査中に褐色土の落ち込みを確認した。

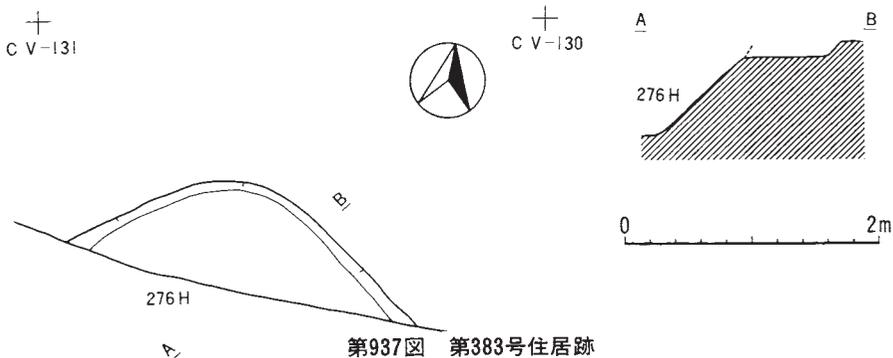
〈重複〉 第276号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

〈平面形・規模〉 プランの大部分が第276号住居跡に削平されているため平面形・規模ともに確認できない。

〈壁・床面〉 残存している北壁は、壁高6～10cmで、緩やかに立ち上がっている。床面は、ほぼ平坦で、堅く締まっている。

〈壁溝〉・〈柱穴〉・〈炉〉・〈特殊施設〉 検出されなかった。

〈堆積土〉 ローム粒を含む褐色土の層が1層みられた。



第937図 第383号住居跡

<出土遺物> 住居跡内から遺物は出土しなかった。

<小結> 本住居跡は、南側で第276号住居跡(円筒上層e式期)と重複しており、円筒上層e式期以前の円筒上層d式期と考えられる。(木村 功・中嶋友文)

### 第384号跡居跡 (第938・939図)

<位置と確認> 調査区西側台地の緩斜面のCY-127グリッドに位置する。第369号竪穴住居跡を精査中に焼土と貼り床の一部を確認し、周辺を精査したところ竪穴住居跡を検出した。

<重複> 本住居跡は、床面直上で第369号住居跡、西側で第366号住居跡、北側で第361号住居跡と重複している。新旧関係は次のとおりである。

(新) —————→ (旧)

第361号住居跡→第369号住居跡→本住居跡→第370号住居跡→第385号住居跡

↓

第368号住居跡

<平面形・規模> 平面形は長軸を東西に持ち西側の一部が張り出す楕円形と思われる。規模は、長軸4m70cm・短軸(2m50cm)、床面積は、(5.99m<sup>2</sup>)である。

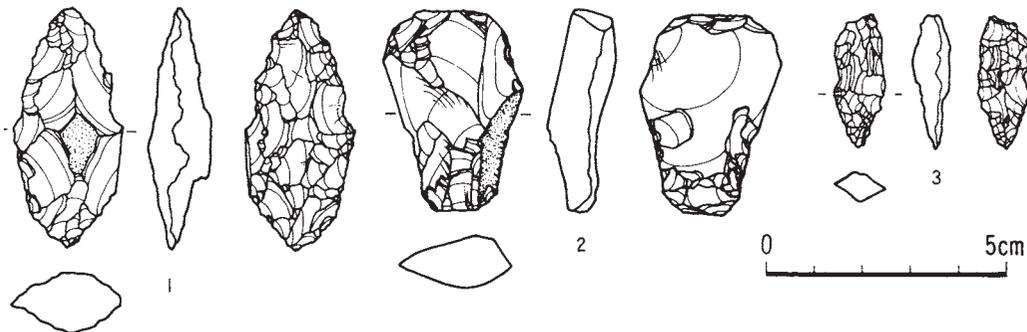
<壁・床面> 壁は、重複している住居跡によって壊されているため確認できない。床面は全体的にほぼ平坦で、炉の周辺は堅く締まっている。

<壁溝> 西側の張り出し部を除いて、幅10~13cm・深さ5~10cmの壁溝が一周するものと思われる。

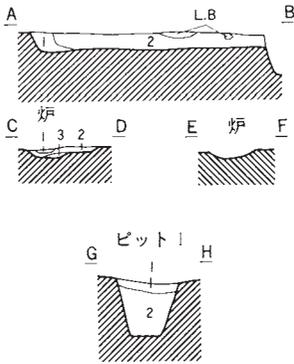
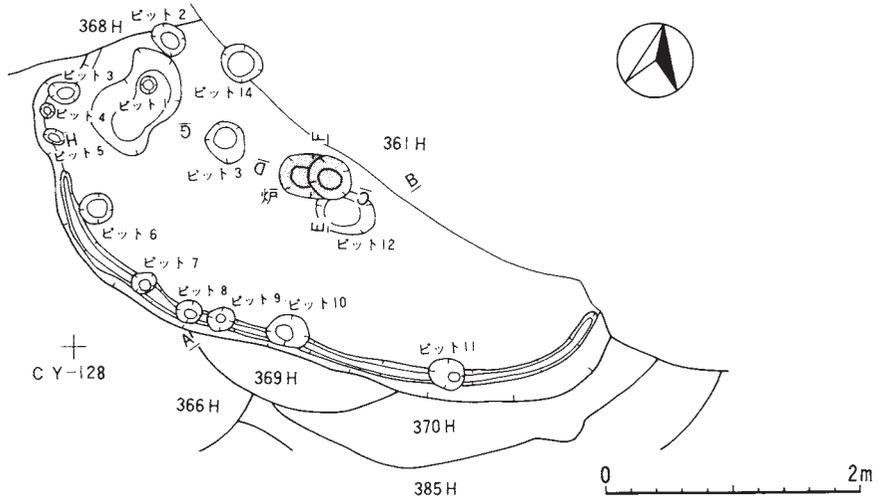
<柱穴> 本住居跡内から14個のピットが検出された。このうち支柱穴は壁寄りのP<sub>2</sub>・P<sub>6</sub>・P<sub>10</sub>・P<sub>11</sub>(深さP<sub>2</sub>…48、P<sub>6</sub>…52、P<sub>10</sub>…64、P<sub>11</sub>…62cm)と考えられる。

<炉> 地床炉で住居跡ほぼ中央部に位置する。平面形は楕円形で、規模は、開口部で長軸58cm・短軸36cm、深さ8cmである。堆積土は3層に区分でき、第2層上面が火床面である。

<特殊施設> 検出されなかった。



第938図 第384号住居跡(1)



第384号住居跡土層注記

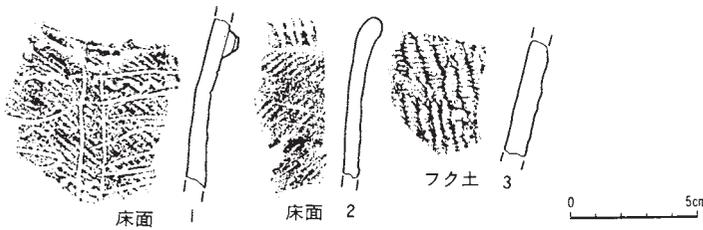
第1層 黄褐色 10Y R 5% ローム粒を多量に含む炭化物を少量含む  
 第2層 褐色 10Y R % ローム粒・炭化物を多量に含む

第384号住居跡炉土層注記

第1層 褐色 10Y R 4% ローム粒・炭化物・焼土粒を多量に含む  
 第2層 赤褐色 2.5Y R % 炭化物を少量含む  
 第3層 明黄褐色 10Y R % 炭化物を少量含む

第384号住居跡ピット I 土層注記

第1層 褐色 10Y R 4% ローム粒・炭化物を多量に含む  
 第2層 黄褐色 10Y R % ローム粒・L.B.・炭化物を多量に含む



第939図 第384号住居跡(2)

<堆積土> 2層に分層できた。自然堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物の出土量は少なかった。土器は、床面(1・2)と、覆土(3)から出土した。石器は、床面から石槍1点と不定形石器1点、ピット6から石錐1点が出土した。

<小結> 床面の土器片(1・2)から、本住居跡は円筒上層e式期と考えられる。

(中嶋 友文)

第385号住居跡（第940図）

〈位置と確認〉 調査区西側台地の斜面のC X-126・127グリッドに位置する。第IV層上面で褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 北側部分で第370号住居跡、西側部分で第353号住居跡と重複して、本住居跡が一番古い。

〈平面形・規模〉 本住居跡は、斜面に構築され掘り込みが浅く、さらに北側が削平されてプランを確認できるのは南側の一部である。残存部分からの推定では、楕円形と思われる。規模は、計測不可能である。

〈壁・床面〉 南壁のみであるが、第IV層を壁面としほぼ垂直に立ち上り、壁高は、18～25cmを測る。床面は起伏が少なく全般的に平坦である。

〈壁溝〉 検出されなかった。

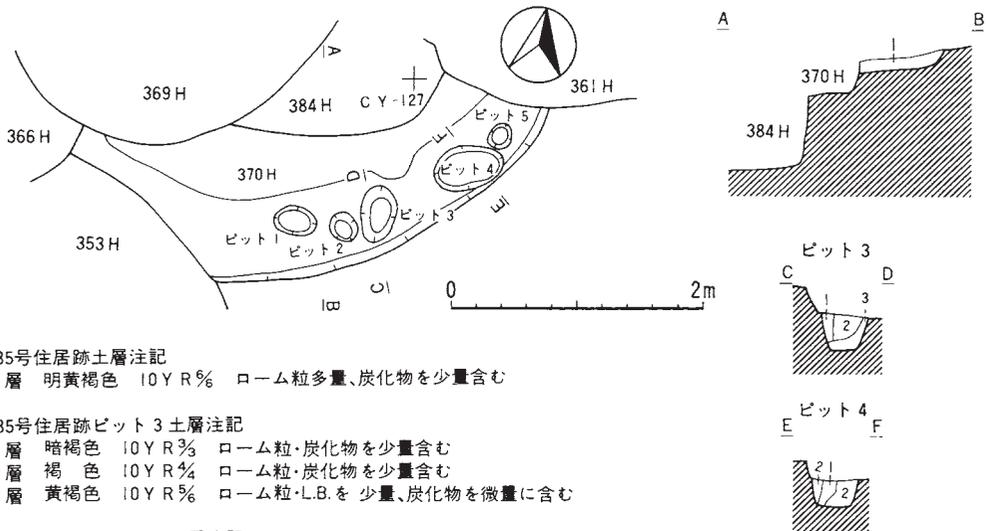
〈柱穴〉 本住居跡内から5個のピットが検出された。P<sub>2</sub>・P<sub>5</sub>（深さP<sub>2</sub>…44、P<sub>5</sub>…15cm）が柱穴と思われる。柱穴の配置は不明である。

〈炉〉・〈特殊施設〉 検出されなかった。

〈堆積土〉 明黄褐色の層が1層のみである。

〈出土遺物〉 住居跡内から遺物は出土しなかった。

〈小結〉 本住居跡は、北側部分で第369号住居跡（円筒上層d・e式期）・第384号住居跡（円筒上層e式期）と重複し、ともに本住居跡が古いことから円筒上層d・e式期以前の円筒上層



第385号住居跡土層注記

第1層 明黄褐色 10YR 6/6 ローム粒多量、炭化物を少量含む

第385号住居跡ピット3土層注記

第1層 暗褐色 10YR 3/3 ローム粒・炭化物を少量含む

第2層 褐色 10YR 4/4 ローム粒・炭化物を少量含む

第3層 黄褐色 10YR 6/6 ローム粒・L.B.を少量、炭化物を微量に含む

第385号住居跡ピット4土層注記

第1層 褐色 10YR 4/4 ローム粒・炭化物を少量含む

第2層 黄褐色 10YR 6/6 ローム粒・L.B.を少量、炭化物を微量に含む

第940図 第385号住居跡

第386号住居跡 (第941~943図)

〈位置と確認〉 調査区DA-122・123グリッドに位置している。第IV層を精査中に本住居跡を確認した。

〈重複〉 住居跡の北側で小ピットと重複し、新旧関係は本住居跡が古い。

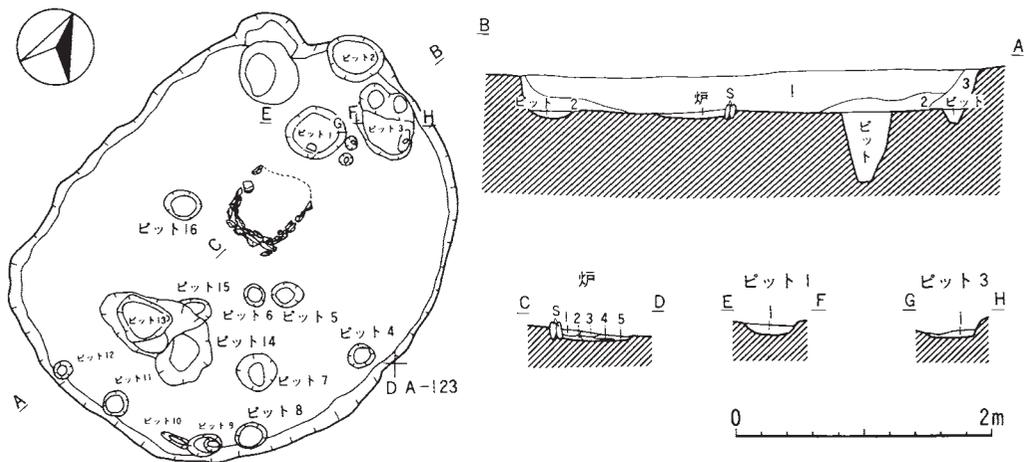
〈平面形・規模〉 北・南側が長い長方形を呈する。規模は、長軸3m55cm・短軸2m86cm・床面積7.67㎡を測る。

〈壁・床面〉 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり堅緻な造りである。壁高は、東壁28cm・西壁33cm・南壁26cm・北壁23cmを測る。床面は、ほぼ平坦で壁同様に固い。

〈柱穴〉 ピットは18個検出した。ピット1~3については付属施設の項目で記載する。他のピットは壁寄りに多くみられ、壁柱穴を主体にした柱穴と思われる。

〈炉〉 住居跡の中央部から北側寄りに角張った安山岩を用いて、二重に組んだU字状の石囲炉が位置している。規模は、長径64cm・短径55cmを測る。

〈その他の施設〉 炉の北側から長径50cm前後で、深さ7cmと浅い小ピットを3個検出した。形態等から柱穴と思われるが他の用途として利用したものと思われる。



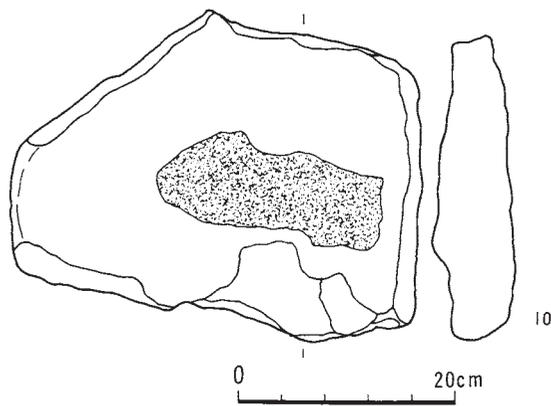
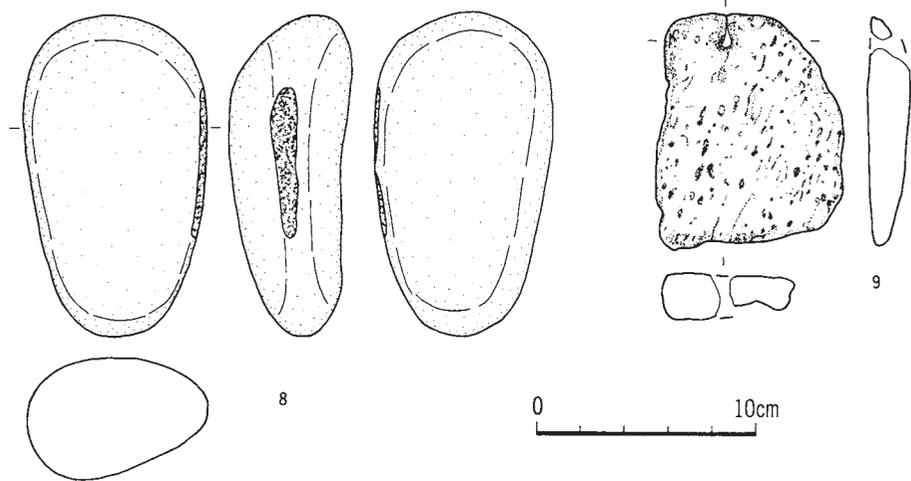
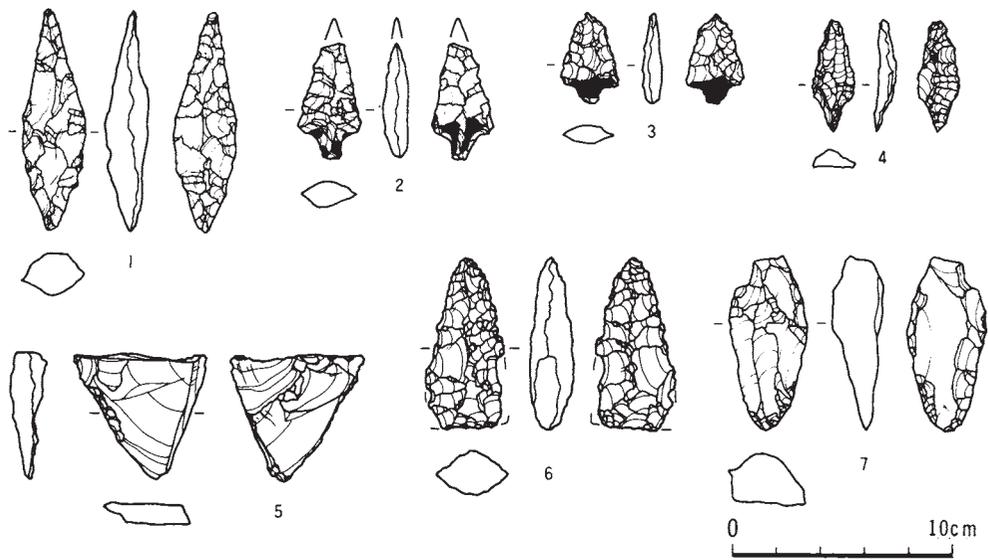
第386号住居跡炉土層注記  
 第1層 暗褐色 7.5YR% 炭化粒多量・炭化粒少量含む  
 第2層 黄褐色 10YR%  
 第3層 赤褐色 5YR% 焼土層  
 第4層 褐色 7.5YR% ローム粒微量に含む  
 第5層 黄褐色 10YR% ローム粒微量に含む

第386号住居跡内ピット1土層注記  
 第1層 黄褐色 10YR% ローム粒少量含む

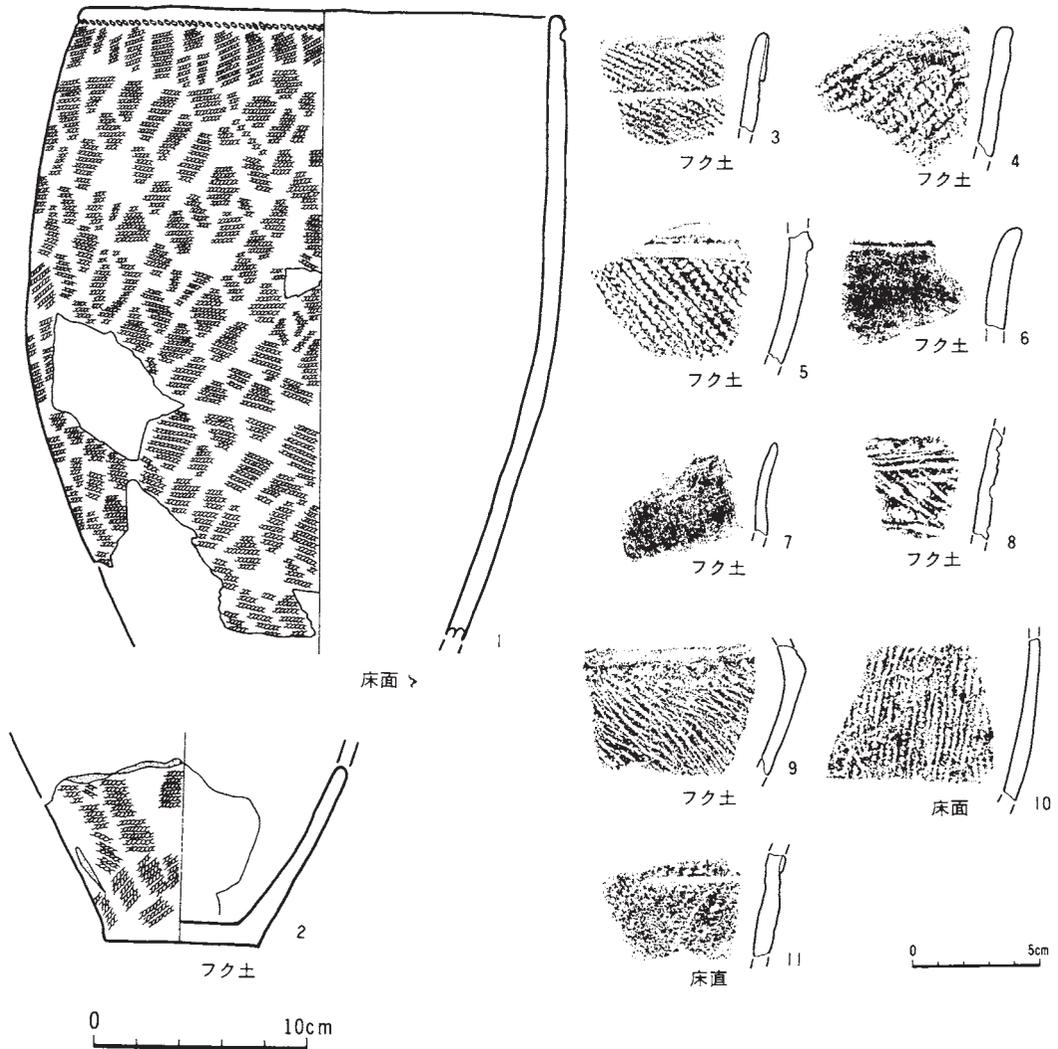
第386号住居跡土層注記  
 第1層 黄褐色 10YR% ローム粒少量・炭化粒微量に含む  
 第2層 褐色 10YR% ローム粒微量に含む  
 第3層 黄褐色 10YR%

第386号住居跡内ピット3土層注記  
 第1層 濃い黄褐色 10YR% ローム粒微量に含む

第941図 第386号住居跡(1)



第942图 第386号住居跡(2)



第943図 第386号住居跡(3)

第386号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
4	円形	19×17	9	5	円形	25×22	16	6	円形	19×15	12
7	円形	31×30	32	8	円形	22×22	14	9	楕円形	26×19	36
10	楕円形	22×8	4	11	円形	21×18	12	12	円形	14×14	13
13	楕円形	80×44	58	14	不整形	57×37	27	15	楕円形	24×15	8
16	円形	28×23	18	17	円形	11×10	10	18	円形	12×9	8

<堆積土> 3層に分層できた。堆積土中に黄褐色土及びローム粒を多く含んでおり人為堆積と思われる。

<出土遺物> 遺物は、住居跡の炉から南側にかけて多く出土した。土器は、(1)・(10)・(11)が床面・床直から出土し、他は覆土の出土である。石器は、覆土から石鏃2点・石槍1点・不定形石器5点・軽石製品1点・台石石皿1点、床直から石鏃2点・敲磨器類1点、床面から不定形

石器1点・敲磨器類1点・軽石1点の総数16点が出土した。

<小結> (1)の床面の土器から、弥栄平(1)式期の住居跡に相当すると思われる。

(神山温子・成田滋彦)

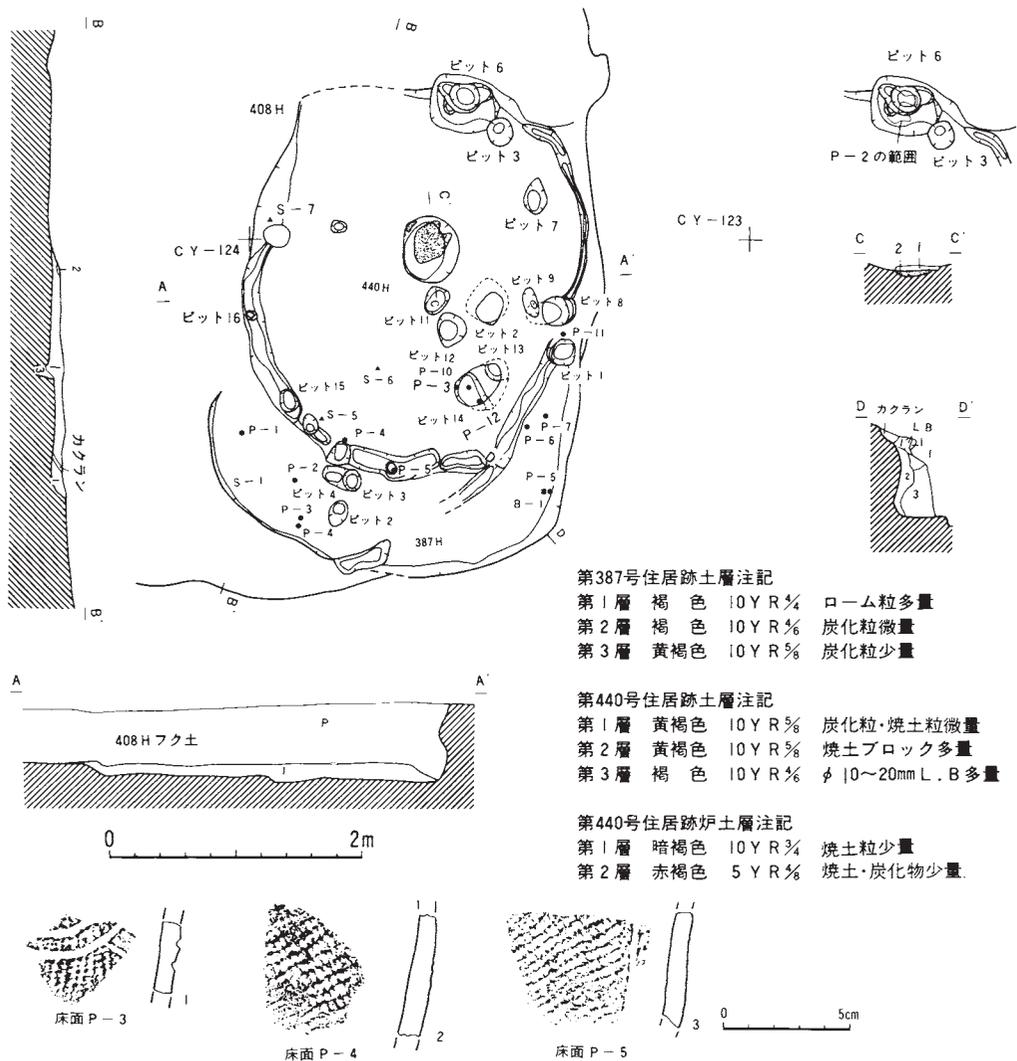
### 第387号住居跡 (第944図)

<位置と確認> CX-123・124グリッドに位置している。第408号住居跡の床下で確認した。

<重複> 第408号・第440号住居跡と重複している。本住居跡はいずれよりも古い。

<平面形・規模> かなり破壊されているが、東西両壁の間隔は2m90cm程ある。

<壁・床面> 壁高は10cm前後である。床面はほぼ平坦である。



第944図 第387号、440号住居跡

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 4個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…45cm、P<sub>2</sub>…12cm、P<sub>3</sub>…18cm（深さ10cm程度以上のもの）である。P<sub>4</sub>は柱穴とは考えられない。

<炉> 検出されなかった。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 第408号住居跡の貼り床であるローム混じりの黄褐色土である。

<出土遺物> 床面から榎林式土器が出土している。石器は床面から不定形石器が1点出土した。

<小結> 本住居跡は床面の土器から榎林式期に構築されたものと思われる。（坂本 洋一）

### 第388号住居跡（第945図）

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、C V・CW-123・124グリッドに位置している。第II層を精査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は、第389号住居跡、第834・844号土壇と切り合っており、第834号土壇よりも新しいが、その他の遺構よりも古い。

<平面形・規模> 西側と北側の一部を確認できなかったが、残存部から推定すると南北がやや長めの楕円形と思われる。規模は長軸が(250)cm・短軸が194cm・床面積は(3.94)m<sup>2</sup>で小型の住居跡である。

<壁・床面> 西壁・北壁は残存していないが、その他は床面から上端にかけて緩く立ち上がり、軟弱な造りである。壁高は、東壁30cm・南壁10cmである。床は、ほぼ平坦であるがやわらかな造りである。

<壁溝> 西壁際から壁溝と思われる溝を一部検出した。幅は約10cmで深さが7cmである。

<柱穴> ピットは住居跡内の西側から3個検出した。深さは、P<sub>1</sub>…20cm・P<sub>2</sub>…20cm・P<sub>3</sub>…19cmである。主柱穴かどうか不明である。

<炉> 地床炉で住居跡のほぼ中央部に位置する。小規模なつくりで長軸29cm・短軸18cmである。火床面は薄く軟弱である。

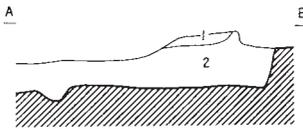
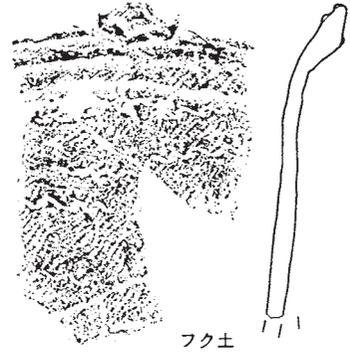
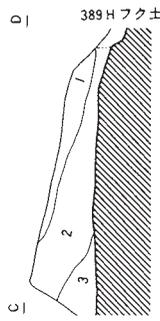
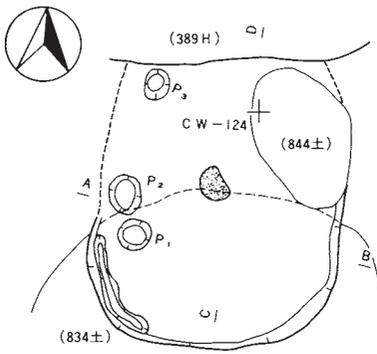
<特殊施設> 確認できなかった。

<堆積土> 3層に分層できた。断面観察から自然堆積と思われる。

<出土遺物> 土器は、覆土から円筒上層d・e式が出土した。石器は、床面から不定形石器1点、覆土から石鏃1点・不定形石器5点の総数7点が出土した。

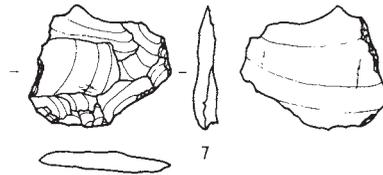
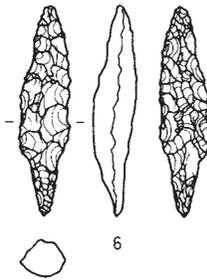
<小結> 覆土の遺物から円筒上層のc～e式期の住居跡の可能性もあると思われる。

（成田 悟）



第388号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10 Y R % 炭化物・L.B. を若干含む
- 第2層 褐色 10 Y R % L.B. を多少含む
- 第3層 褐色 10 Y R % 炭化物・L.B. を若干含む



第945図 第388号住居跡

### 第389号住居跡（第946図）

〈位置と確認〉 調査区の緩斜面で、C W-123・124グリッドに位置している。第388号住居跡を精査中に褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 本住居跡は、第388・408・438・439号住居跡と切り合っており、第409号住居跡よりは古い、その他の遺構よりは新しい。

〈平面形・規模〉 平面形・規模とも住居跡南側一部だけよりも残存していないため推定もできない。

〈壁・床面〉 南壁しか残存しないが、床面から上端にかけて緩く立ち上がり、浅く軟弱な構築である。壁高は10cmである。床も、南側だけ残存しているが、南側から北側にかけて傾斜しており、全体的に軟弱な造りである。

〈壁溝〉 確認できなかった。

〈柱穴〉 確認できなかった。

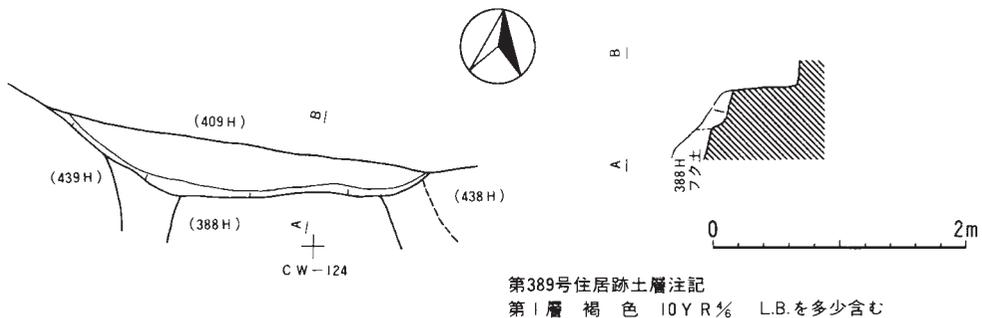
〈炉〉 確認できなかった。

〈特殊施設〉 確認できなかった。

〈堆積土〉 1層のみであり、自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 検出されなかった。

〈小結〉 重複から円筒上層c式期以降の住居跡と思われる。 （成田 悟）



第946図 第389号住居跡

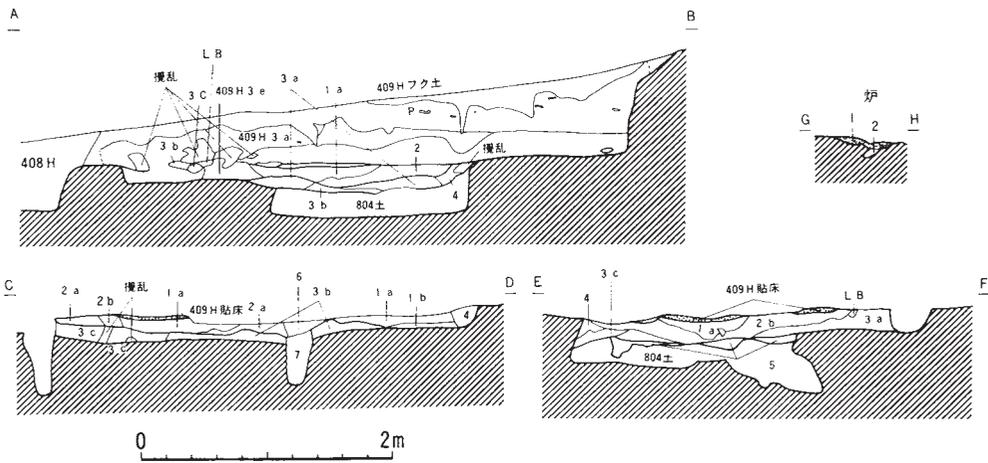
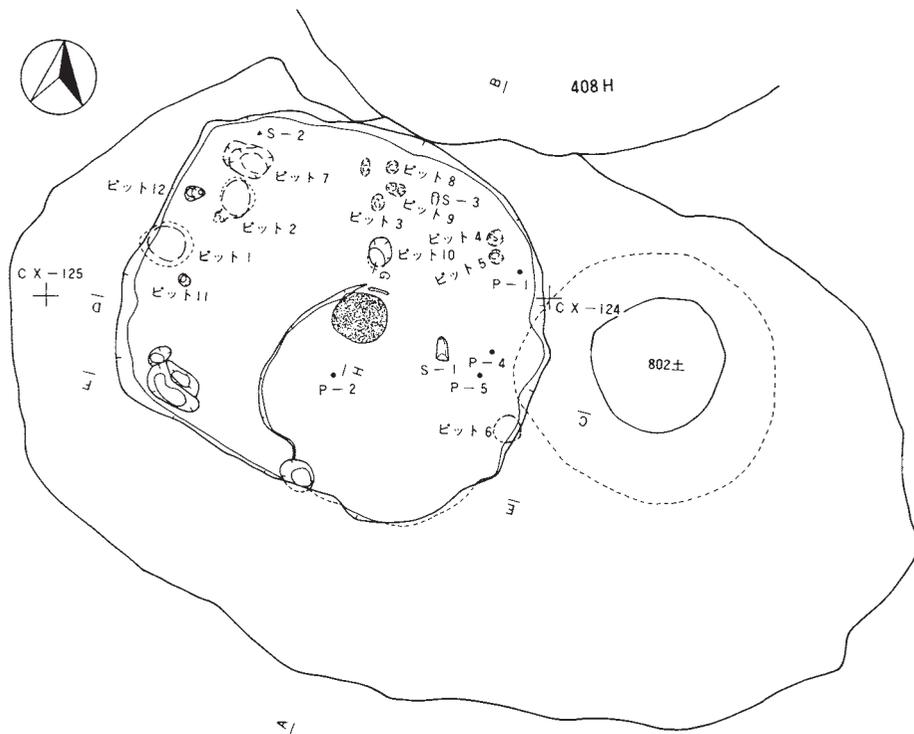
### 第390号住居跡（第947・948図）

〈位置と確認〉 C W・C X-124グリッドに位置している。第409号住居跡の床下で確認した。

〈重複〉 第409号住居跡・第804号土層と重複している。本住居跡は第409号住居跡より古く、第804号土層より新しい。

〈平面形・規模〉 長軸3m30cm、短軸3mの不整隅丸方形である。床面積は7.96㎡である。

〈壁・床面〉 壁高は北側が10cm程、南側が20cm程ある。第804号土層があるため、床中央南側



第390号住居跡炉土層注記

- 第1層 赤褐色土 2.5Y R% 焼土
- 第2層 暗褐色土 10Y R% 10~15mm L B

第390号住居跡ピット土層注記

- 第6層 暗褐色土 10Y R% 炭化物少量
- 第7層 褐色土 10Y R% ローム多量

第390号住居跡土層注記

- 第1 a層 暗褐色土 10Y R% 焼土粒微量 炭化物微量
- 第1 b層 暗褐色土 10Y R% 焼土粒微量
- 第2 a層 明黄褐色土 10Y R% 褐色土少量、1枚目の貼床
- 第2 b層 黄褐色土 10Y R% 炭化物少量、1枚目の貼床
- 第3 a層 褐色土 10Y R% 炭化物少量、2枚目の貼床
- 第3 b層 黄褐色土 10Y R% 炭化物微量
- 第3 c層 黄褐色土 10Y R% L B多量
- 第4層 明黄褐色土 10Y R% 褐色土少量
- 第5層 明黄褐色土 10Y R% 褐色土少量

第947図 第390号住居跡(1)

に段差があり、床の南東は10cm程低くなっている。

<壁溝> 検出されなかった。

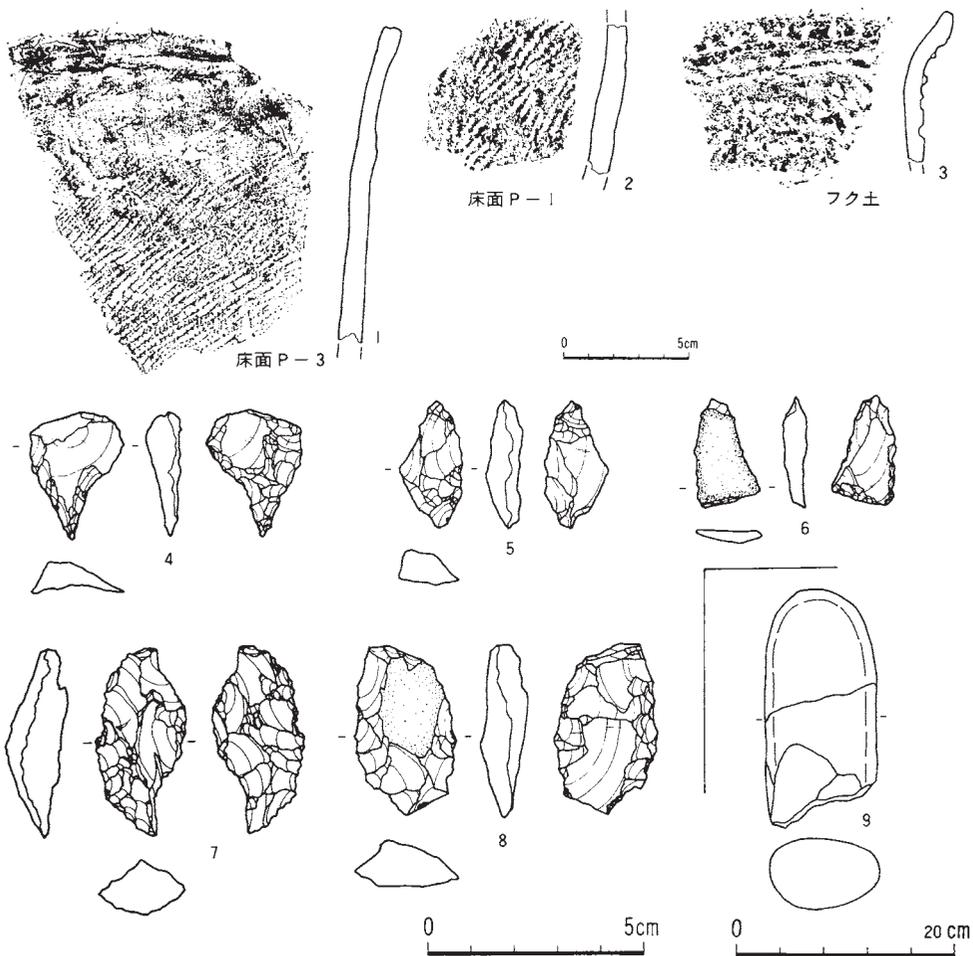
<柱穴> 16個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…36cm、P<sub>2</sub>…40cm、P<sub>3</sub>…12cm、P<sub>4</sub>…16cm、P<sub>5</sub>…11cm、P<sub>6</sub>…22cm、P<sub>7</sub>…23cm、P<sub>8</sub>…13cm、P<sub>9</sub>…13cm、P<sub>10</sub>…43cm、P<sub>11</sub>…17cm、P<sub>12</sub>…17cm(深さ10cm程度以上のもの)である。この内、P<sub>1</sub>～P<sub>9</sub>は床を剥いてから検出されたものである。P<sub>7</sub>は柱穴とは考えられない。

<炉> 床のほぼ中央にある地床炉で、直径20cm範囲で赤変している。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> ローム混じりの褐色土ないし黄褐色土が主体で、これらは締まりが強く第409号住居跡を構築する際に埋め戻されたものと思われる。

<出土遺物> 覆土中及び床面・床面直上から土器・石器が出土した。床面から中期後葉～末



第948図 第390号住居跡(2)

葉にかけての土器が出土している。石器は床面から石棒1点、覆土から石錐1点、不定形石器1点、ピット1、3より不定形石器が1点出土している。

〈小結〉 本住居跡は床面の土器から中期後葉～末葉にかけて構築されたものと思われる。

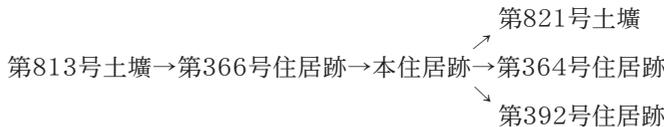
(坂本 洋一)

第391号住居跡 (第949～954図)

〈位置と確認〉 調査区のCX・CY-129・130グリッドに位置する。第IV層上面で褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 床面中央で第821号土壇、北側で第364号住居跡、東側で第813号土壇、第366号住居跡と第392号住居跡と重複している。新旧関係は以下のとおりである。

(新) —————→ (旧)

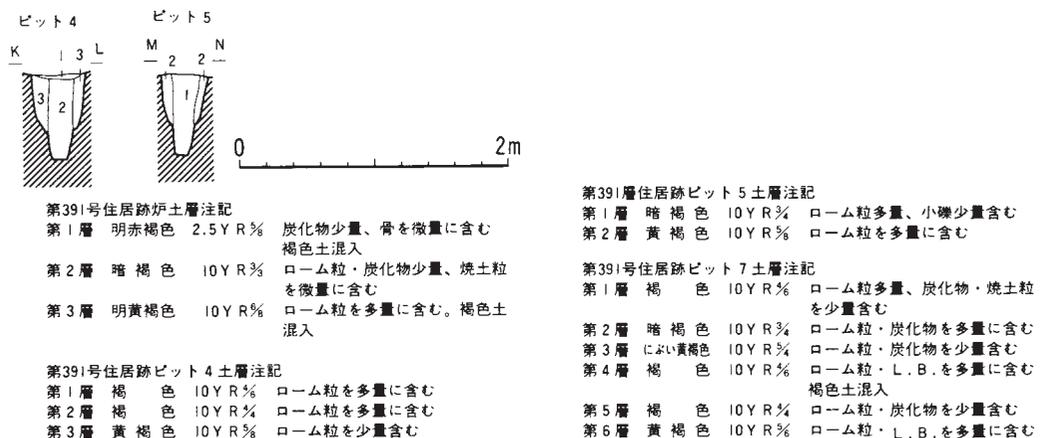


〈平面形・規模〉 東西に長い隅丸の長方形で、規模は、長軸6 m25cm・短軸4 m80cm、床面積は、25.94㎡である。

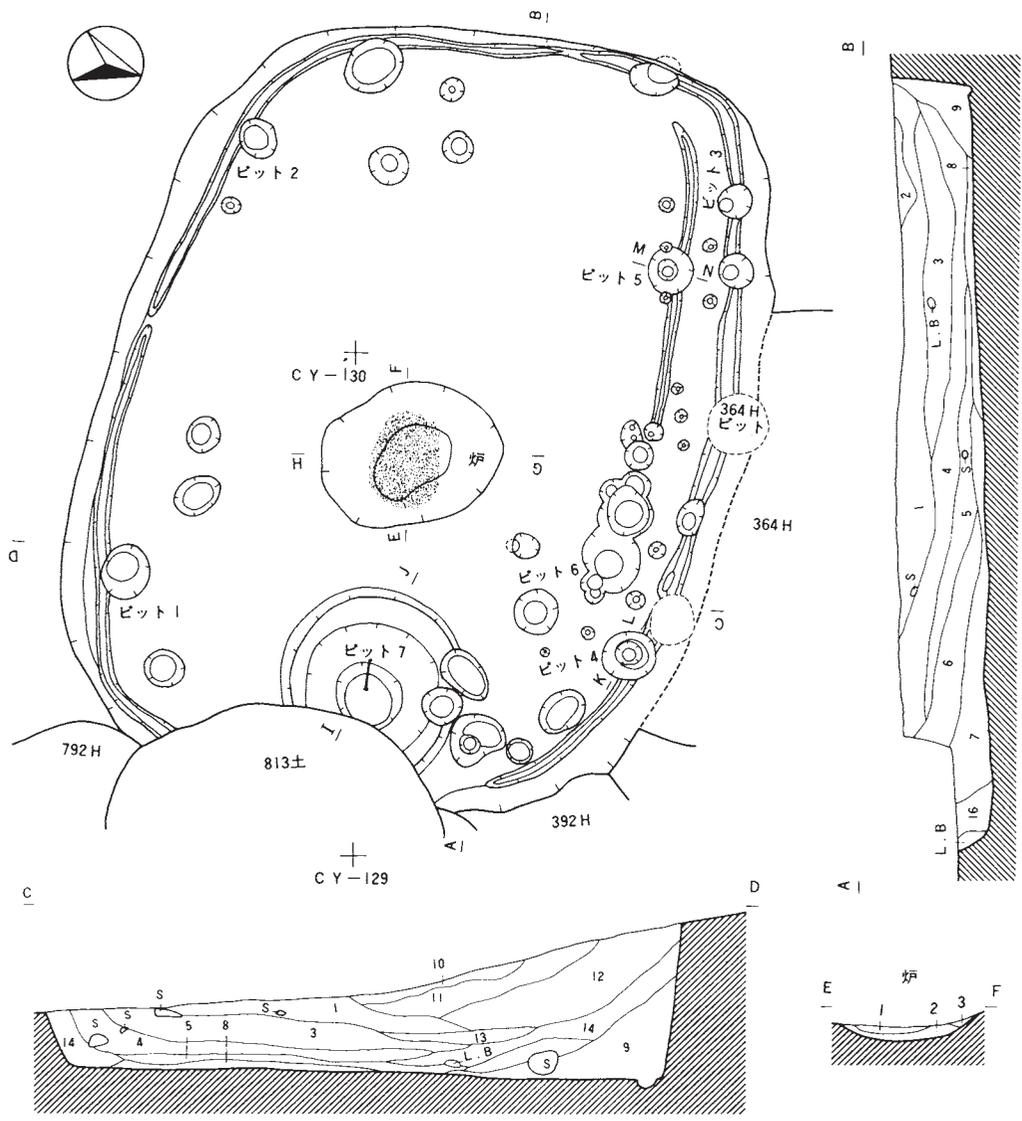
〈壁・床面〉 第IV層を壁面とし、各壁ともにほぼ垂直に立ち上がり、堅緻な構築である。壁高は、東壁と北壁は確認できないが、西壁52～69cm・南壁85～106cmである。床面は起伏が少なく全般的に平坦で、堅く締まっている。

〈壁溝〉 幅9～21cm・深さ3～11cmの壁溝が、東側を除いてほぼ一周している。また、拡張する前と思われる壁溝が、北側の一部に見られる。

〈柱穴〉 本住居跡内から多数のピットが検出された。このうち、長軸線上で対称になっている



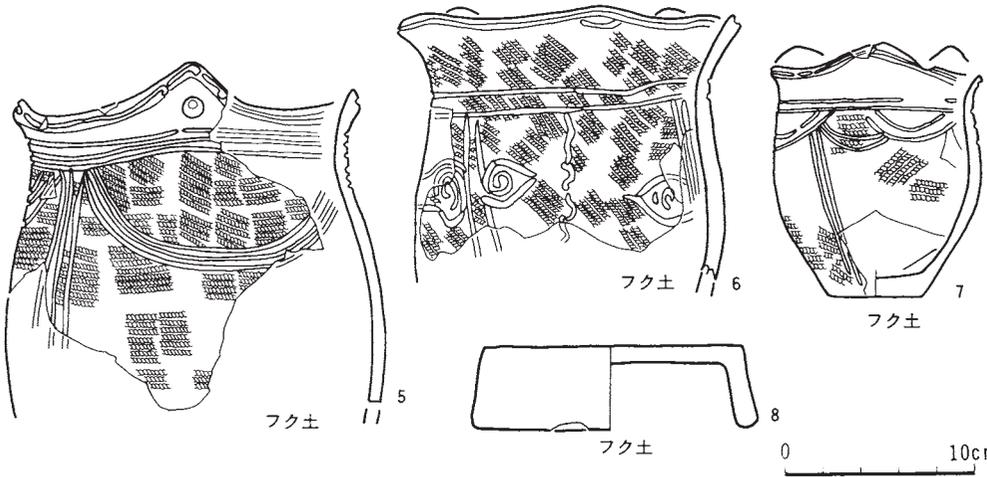
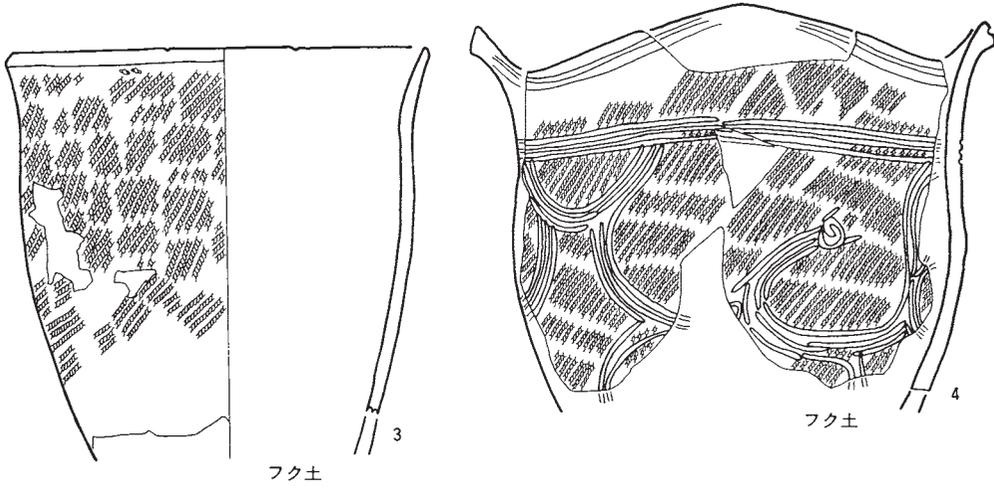
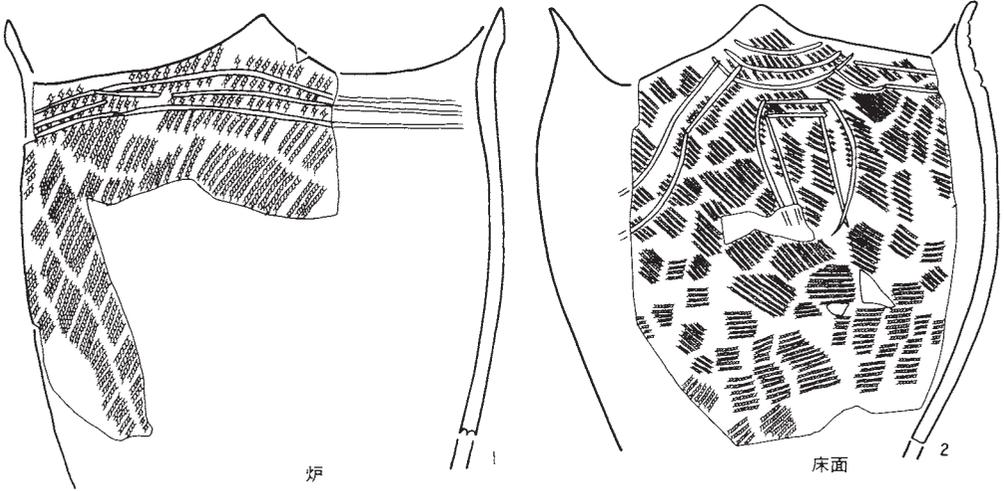
第949図 第391号住居跡(1)



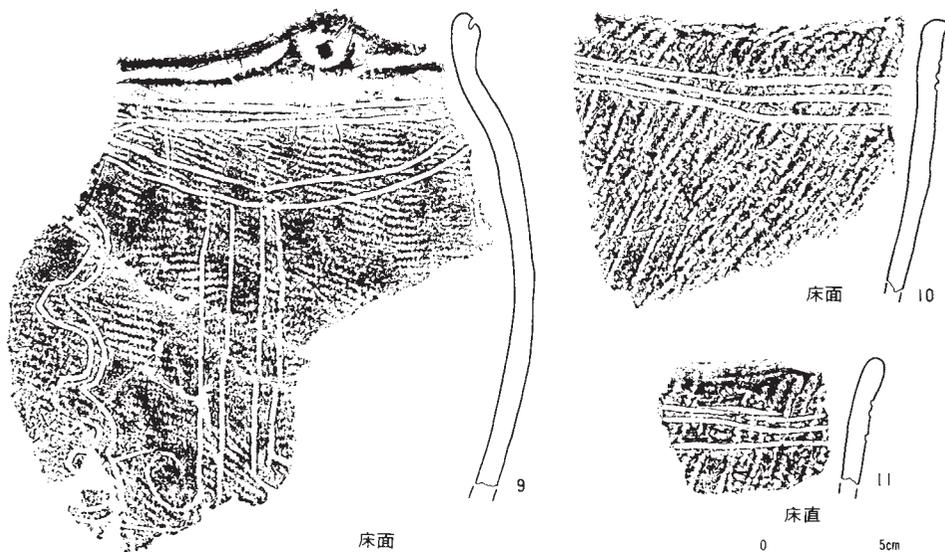
第391号住居跡土層注記

- 第1層 におい黄褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第2層 明黄褐色 10Y R% 炭化物を少量含む。褐色土混入
- 第3層 暗褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第4層 褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第5層 におい黄褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量、焼土粒を微量に含む
- 第6層 黄褐色 10Y R% 炭化物を少量含む。暗褐色混入
- 第7層 褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第8層 黄褐色 10Y R% ローム粒を少量、炭化物を微量に含む
- 第9層 明黄褐色 10Y R% ローム粒を多量に含む
- 第10層 黒褐色 10Y R% 炭化物を多量に含む。褐色土混入
- 第11層 におい黄褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第12層 明黄褐色 10Y R% ローム粒を多量に含む
- 第13層 暗褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量に含む
- 第14層 褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量、焼土粒を微量に含む
- 第15層 黄褐色 10Y R% ローム粒・L.B.を多量、炭化物を微量に含む
- 第16層 暗褐色 10Y R% ローム粒・炭化物を多量、焼土粒を微量に含む

第950図 第391号住居跡(2)



第951図 第391号住居跡(3)



第952図 第391号住居跡(4)

るP<sub>1</sub>～P<sub>4</sub> (深さP<sub>1</sub>…76、P<sub>2</sub>…75、P<sub>3</sub>…67、P<sub>4</sub>…64cm) が支柱穴である。また、拡張前の柱穴はP<sub>5</sub>・P<sub>6</sub> (深さP<sub>5</sub>…63、P<sub>6</sub>…65cm) であると考えられる。P<sub>7</sub>については、特殊施設の項目で述べる。

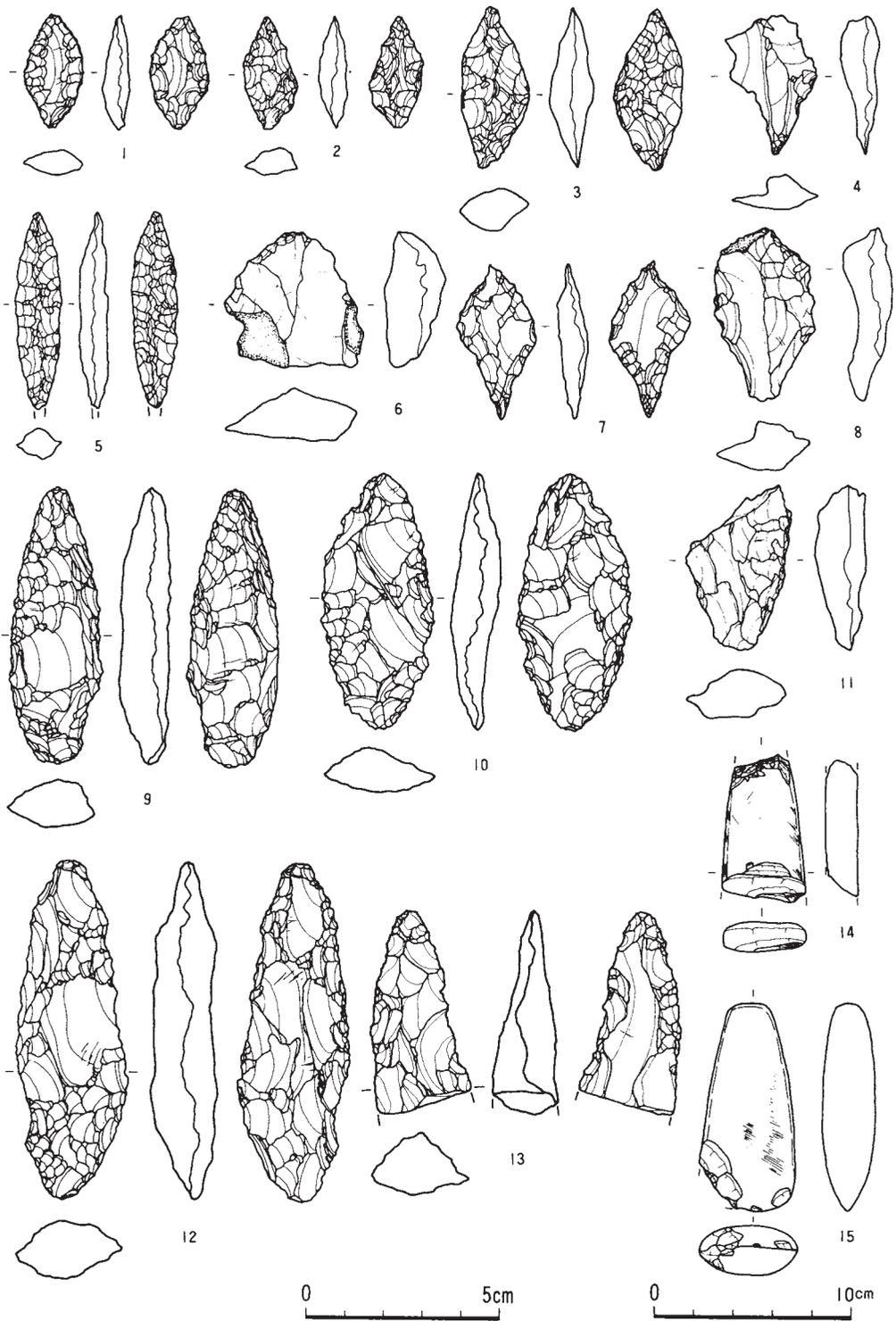
〈炉〉 住居跡のほぼ中央部に位置し、第821号土壌を埋めた後に作られた地床炉で、平面形は南北に長い楕円形である。規模は、開口部で長軸145cm・短軸113cm、深さ12cmである。堆積土は3層に区分でき、第1層上面が火床面である。

〈特殊施設〉 住居跡東壁近くでピットを1個を検出した。ピット周辺は盛土となっており、その周辺の床面は非常にかたく、締まりがある。ピットの平面形は円形で、開口部で直径50cm・深さ72cmである。堆積土は、6層に分層され、自然堆積と思われる。

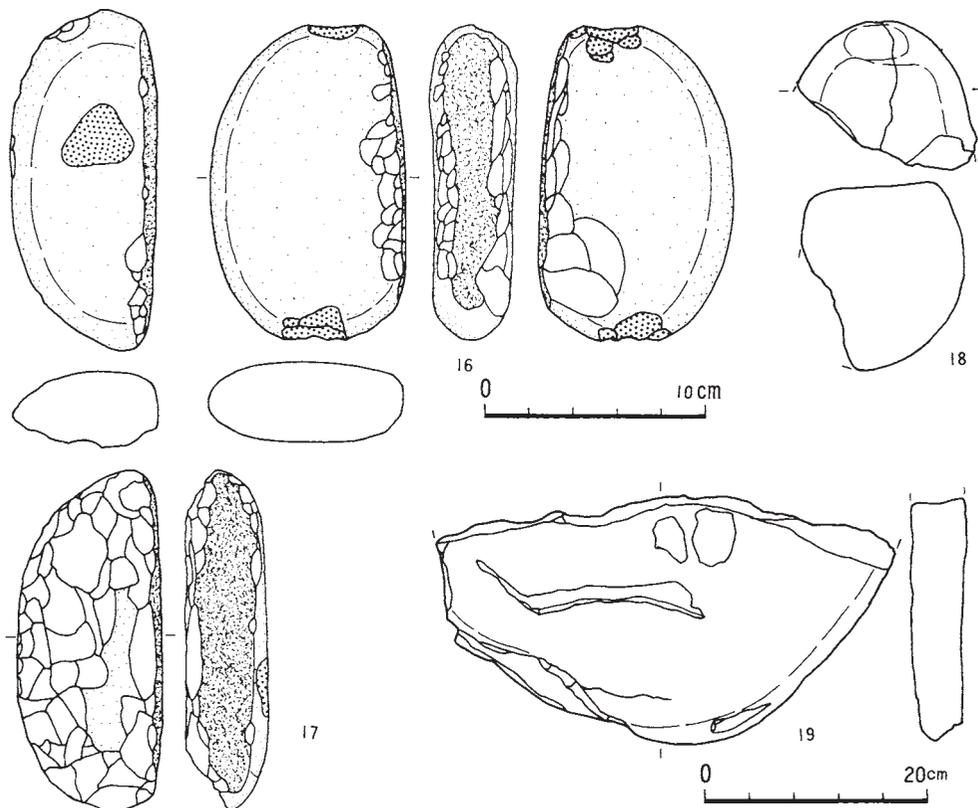
〈堆積土〉 16層に分層できた。南側斜面からのローム質土の流れ込みが激しいが、自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 遺物は、住居跡の中央部から多量に出土した。土器は、床面・床直(2・9～11)から出土し、覆土からは器台(8)が出土している。石器は、覆土から石鏃11点・石槍4点・石錐2点・不定形石器20点・石斧2点・半円状偏平打製石器1点・敲磨器類1点・台石1点・石皿4点・軽石1点、床面から不定形石器1点が出土し、総数48点である。また、5cm程の琥珀も出土した。

〈小結〉 本住居跡は、北側に壁溝が二重になっていることから拡張したと考えられる。また、床面の土器(2)・(9)から榎林式期と思われる。(中嶋 友文)



第953图 第391号住居跡5)



第954図 第391号住居跡(6)

第392号住居跡 (第955図)

〈位置と確認〉 調査区西側台地の緩斜面C X・C Y-128~130グリッドに位置している。第366号住居跡を精査中に床面から焼土を検出し、掘り下げたところ住居跡を確認した。

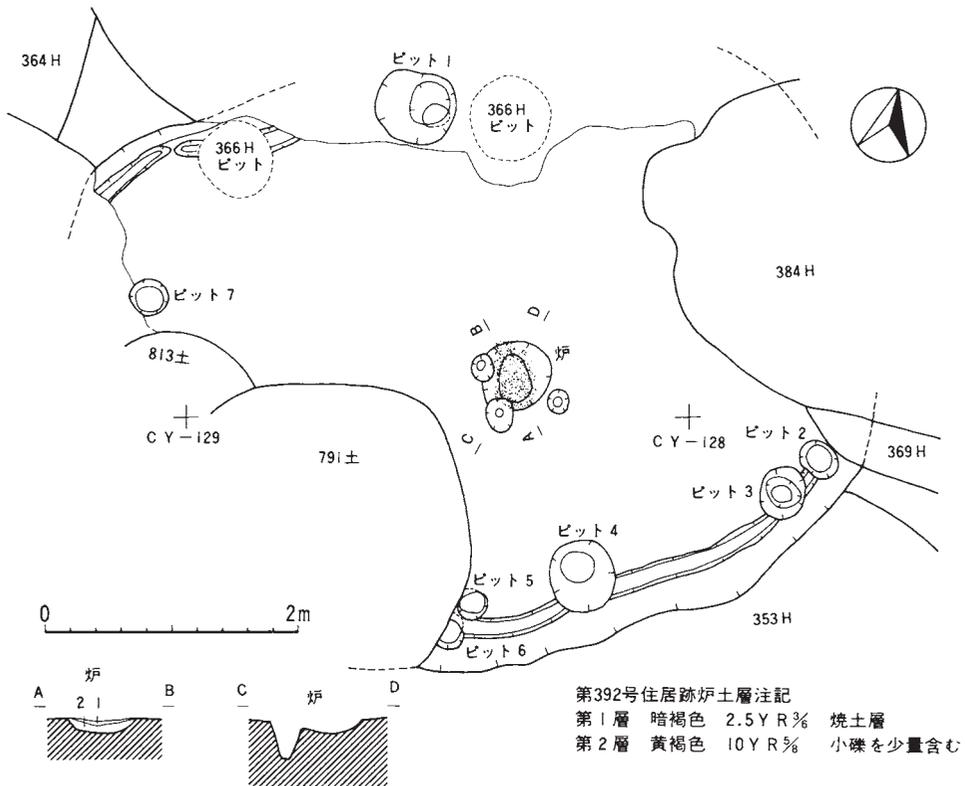
〈重複〉 本住居跡は、第366号住居跡の床面の下にあり、東側で第384号住居跡と第369号住居跡、西側で第391号住居跡、第791号土壌、第813号土壌と重複している。新旧関係は本住居跡が一番古い。

〈平面形・規模〉 平面形は、長軸が東西にある楕円形であると思われる。規模は、長軸(6m50cm)・短軸(4m50cm)、床面積は(26.78㎡)である。

〈壁・床面〉 北壁の一部と南壁以外確認されていないが、ほぼ垂直に立ち上がり、北壁28cm・南壁38~45cmの壁高があり、堅緻な構築である。床面は、全体的に堅く締まっている。

〈壁溝〉 幅14~18cm・深さ6~12cmの壁溝が、ほぼ一周すると思われる。

〈柱穴〉 本住居跡内から7個のピットが検出された。P<sub>1</sub>・P<sub>4</sub>(深さP<sub>1</sub>…118、P<sub>2</sub>…123cm)



第955図 第392号住居跡

が主柱穴であると考えられるが、その他の柱穴および配置については不明である。

〈炉〉 地床炉で住居跡のほぼ中央部に位置する。規模は、直径50cmのほぼで、深さ11cmである。炉に伴うと考えられるピット（深さ7～10cm）が3個検出された。堆積土は2層に区分でき、1層上面が火床面である。

〈特殊施設〉 検出されなかった。

〈出土遺物〉 住居跡内から遺物は出土しなかった。

〈小結〉 本住居跡は、第366号住居跡（榎林～最花式期）床面の下にあり、西側で第391号住居跡（榎林式期）と重複することから円筒上層e～榎林式期と思われる。（中嶋 友文）

### 第393号住居跡（第956～965図）

<位置と確認> C T・C U-125グリッドに位置し、第III層を調査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第394・395・435・451号住居跡、第842号土壙と重複し、これらすべてよりも新しい。また、本住居跡は建て替えが認められ、Aプラン(最終)とBプラン(古)とに区分できる。

<平面形・規模> Aは6m×4.8mの楕円形を呈し、床面積は20.58㎡である。Bは4.2m×3.9mの楕円形を呈し、床面積は11.44㎡である。

<壁・床面> 第IV層を壁面とし、南壁70～80cm、東・西壁90～100cm、北壁は70cmである。床面の中央部は堅緻であるが、壁際では軟弱である。また北壁中央部に盛土を巡らした施設を検出した。

<壁溝> A. 北と西側の一部では確認できなかったが、ほぼ一周するものと思われる。幅6～20cm、深さ2～5cmであり深くはない。

B. 途切れるところはあるが、ほぼ一周する。幅6～12cm、深さ7～12cmである。

<柱穴> 床面と床下から、大小合わせて98個のピットを検出した。この中で、Aプランの主柱穴はP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>6</sub>の4本柱である。また、Bプランは、P<sub>5</sub>・P<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>・P<sub>12</sub>の4本柱である。各ピットの深さはP<sub>1</sub>…83cm・P<sub>2</sub>…89cm・P<sub>3</sub>…84cm・P<sub>4</sub>…67cm・P<sub>5</sub>…60cm・P<sub>6</sub>…103cm・P<sub>7</sub>…61cm・P<sub>8</sub>…50cm・P<sub>9</sub>…67cm・P<sub>10</sub>…38cm・P<sub>11</sub>…65cm・P<sub>12</sub>…58cm・P<sub>13</sub>…31cm・P<sub>14</sub>…9cm・P<sub>15</sub>…15cm・P<sub>16</sub>…35cm・P<sub>17</sub>…7cm・P<sub>18</sub>…17cm・P<sub>19</sub>…14cm・P<sub>20</sub>…13cm・P<sub>21</sub>…21cm・P<sub>22</sub>…52cm。また直径6～20cmまでのピットの深さは4～25cmである。

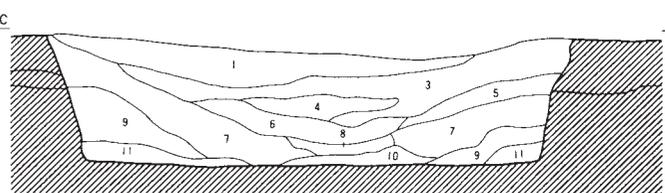
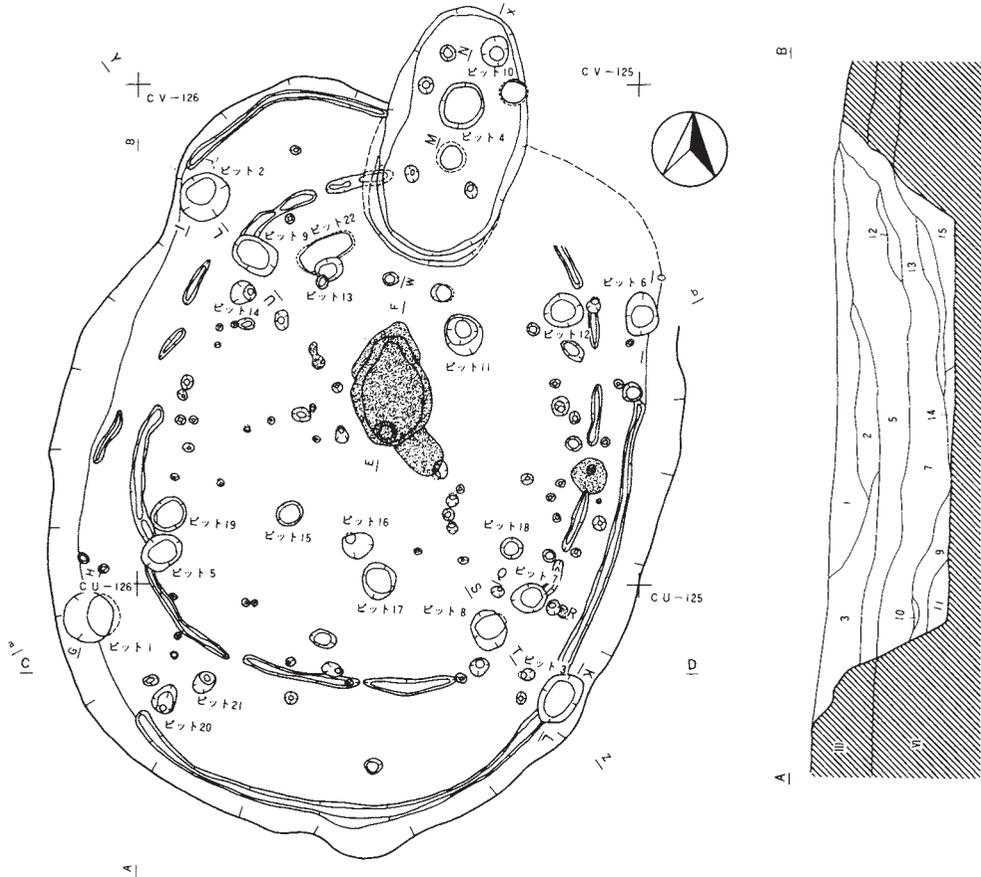
<炉> Aプランに伴うものは、住居跡の中央部に1基。また、東壁際で焼土面が2ヶ所検出された。Bプランに伴う炉は不明である。

<特殊施設> 北壁中央に位置し、馬蹄状の盛土が検出された。長軸2m、短軸1.2mの楕円形で住居跡のプランから約80cm外に張り出す施設である。施設内には大小8個のピットが検出され、その直径は12～40cm、深さは13～67cmである。

<堆積土> 暗褐色土を主体とし、15層に分層した。

<出土遺物> 土器は床面から(3・16～18・21)、床面直上から(31)が出土し、他は覆土からの出土である。また土製品(第958図17)も出土した。石器は床面から石鏃2点、不定形石器4点、床面直上から石鏃1点、不定形石器3点、敲磨器類1点、覆土から石鏃22点、石槍5点、石錐5点、石匙2点、石篋1点、不定形石器48点、磨製石斧6点、敲磨器類2点、石棒3点、軽石1点が出土し総数106点である。

<小結> 床面出土の土器から、円筒上層e式期の住居跡と考えられる。(長崎 勝巳)

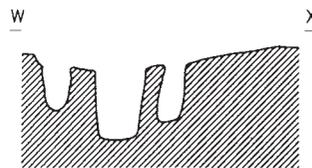


第393号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色 10Y R $\frac{3}{4}$  炭化物多量、ローム粒少量
- 第2層 褐色 10Y R $\frac{1}{2}$  炭化物微量
- 第3層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  炭化粒少量、ローム粒少量
- 第4層 黒褐色 10Y R $\frac{2}{4}$  炭化粒微量、ローム粒微量
- 第5層 褐色 10Y R $\frac{3}{4}$  炭化粒微量、ローム粒微量
- 第6層 暗褐色 10Y R $\frac{3}{4}$  炭化粒少量、ローム粒微量
- 第7層 褐色 10Y R $\frac{1}{2}$  炭化粒微量、ローム粒微量
- 第8層 黒色 10Y R $\frac{1}{4}$  炭化物の層
- 第9層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  炭化物微量、ローム粒多量
- 第10層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  炭化粒微量、ローム粒微量
- 第11層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  ローム粒多量
- 第12層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  ローム粒少量
- 第13層 黄褐色 10Y R $\frac{3}{4}$  ローム粒多量
- 第14層 褐色 10Y R $\frac{1}{4}$  炭化物微量、ローム粒多量
- 第15層 黄褐色 10Y R $\frac{3}{4}$

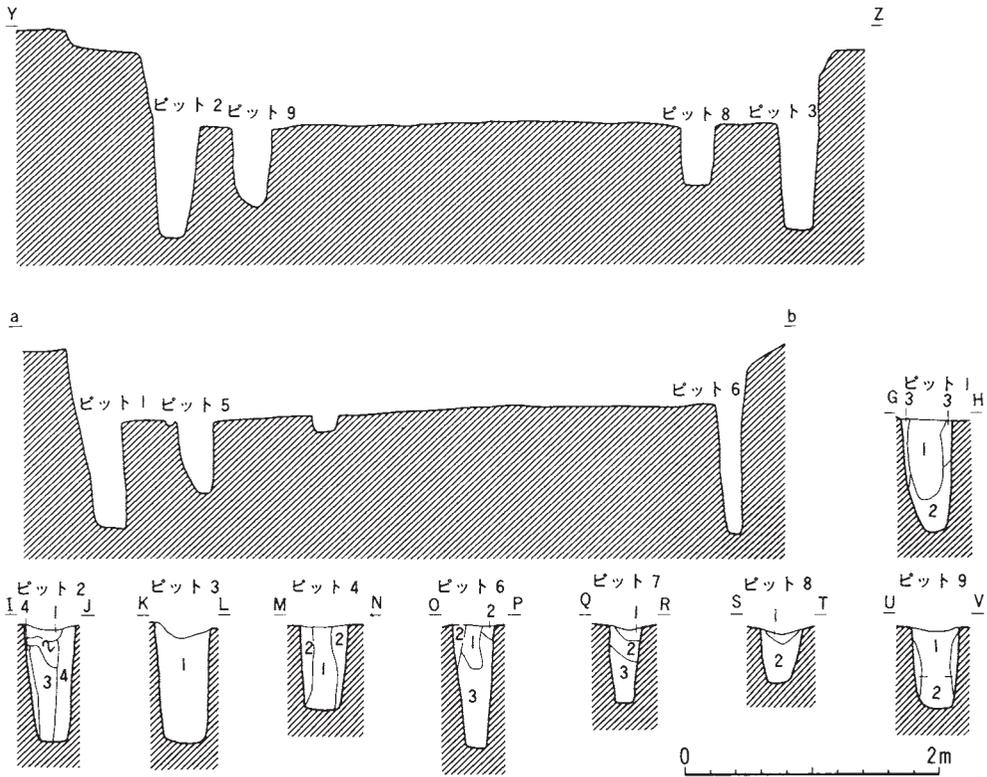
第393号住居跡炉土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R $\frac{1}{4}$  ローム粒多量
- 第2層 暗褐色土 10Y R $\frac{3}{4}$  焼土粒少量
- 第3層 黒褐色土 10Y R $\frac{2}{4}$  焼土粒少量



0 2m

第956図 第393号住居跡(1)



ピット1 土層注記  
 第1層 暗褐色土 10Y R ¾ 炭化粒微量  
 第2層 黄褐色土 10Y R ⅝ 褐色土混入  
 第3層 黄褐色土 10Y R ⅝ 褐色土混入

ピット6 土層注記  
 第1層 褐色土 10Y R ¾ ローム粒少量  
 第2層 黄褐色土 10Y R ⅝  
 第3層 黄褐色土 10Y R ⅝

ピット2 土層注記  
 第1層 暗褐色土 10Y R ¾ 炭化物微量  
 第2層 褐色土 10Y R ¾ ローム粒多量  
 第3層 暗褐色土 10Y R ¾ ロームB微量  
 第4層 黄褐色土 10Y R ⅝

ピット7 土層注記  
 第1層 黄褐色土 10Y R ⅝ 貼床  
 第2層 暗褐色土 10Y R ¾ 炭化粒微量、ローム粒微量  
 第3層 褐色土 10Y R ¾ ローム粒多量

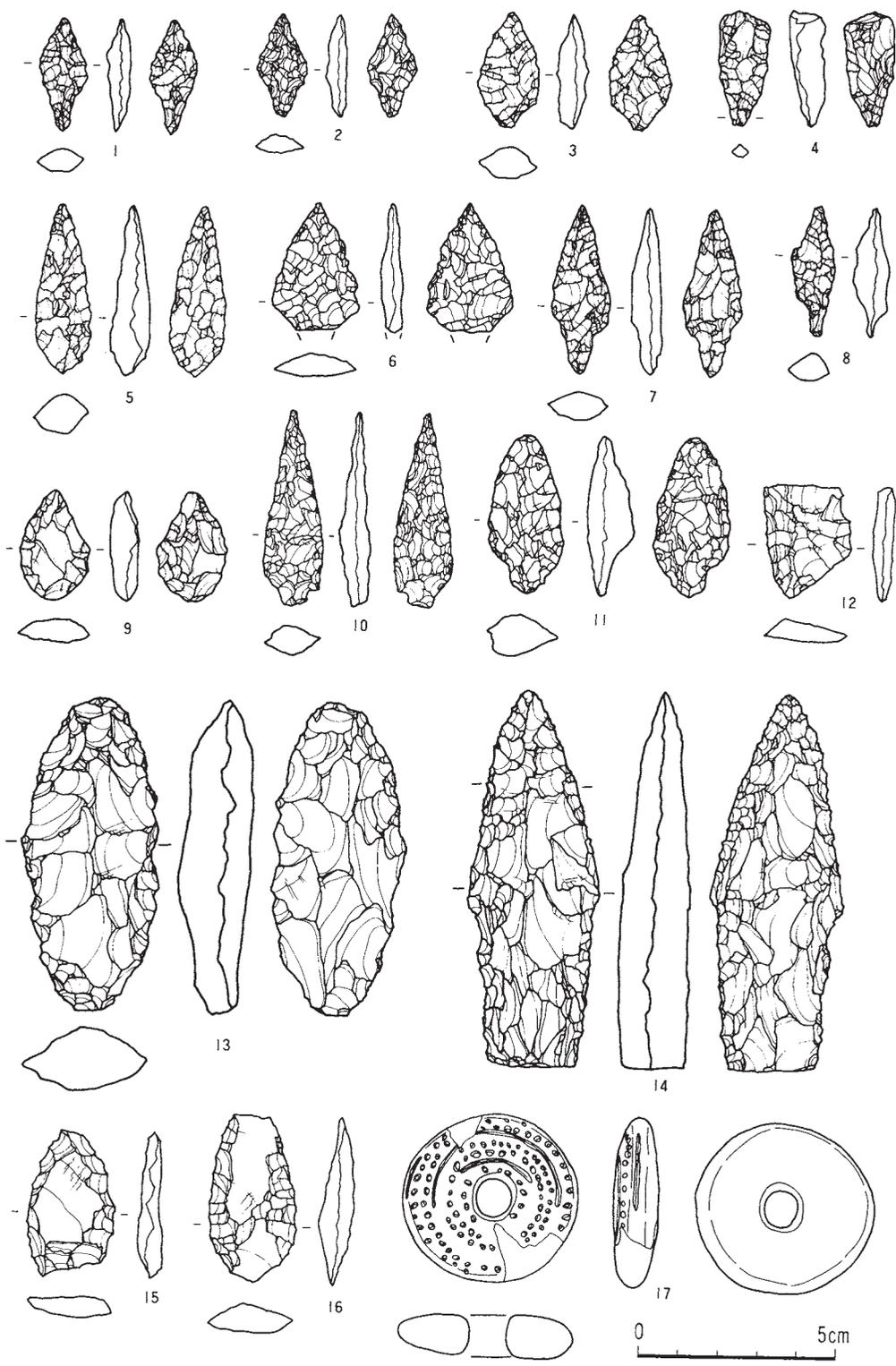
ピット3 土層注記  
 第1層 暗褐色土 10Y R ¾ 炭化物微量

ピット8 土層注記  
 第1層 黄褐色土 10Y R ⅝ 貼床  
 第2層 黄褐色土 10Y R ⅝

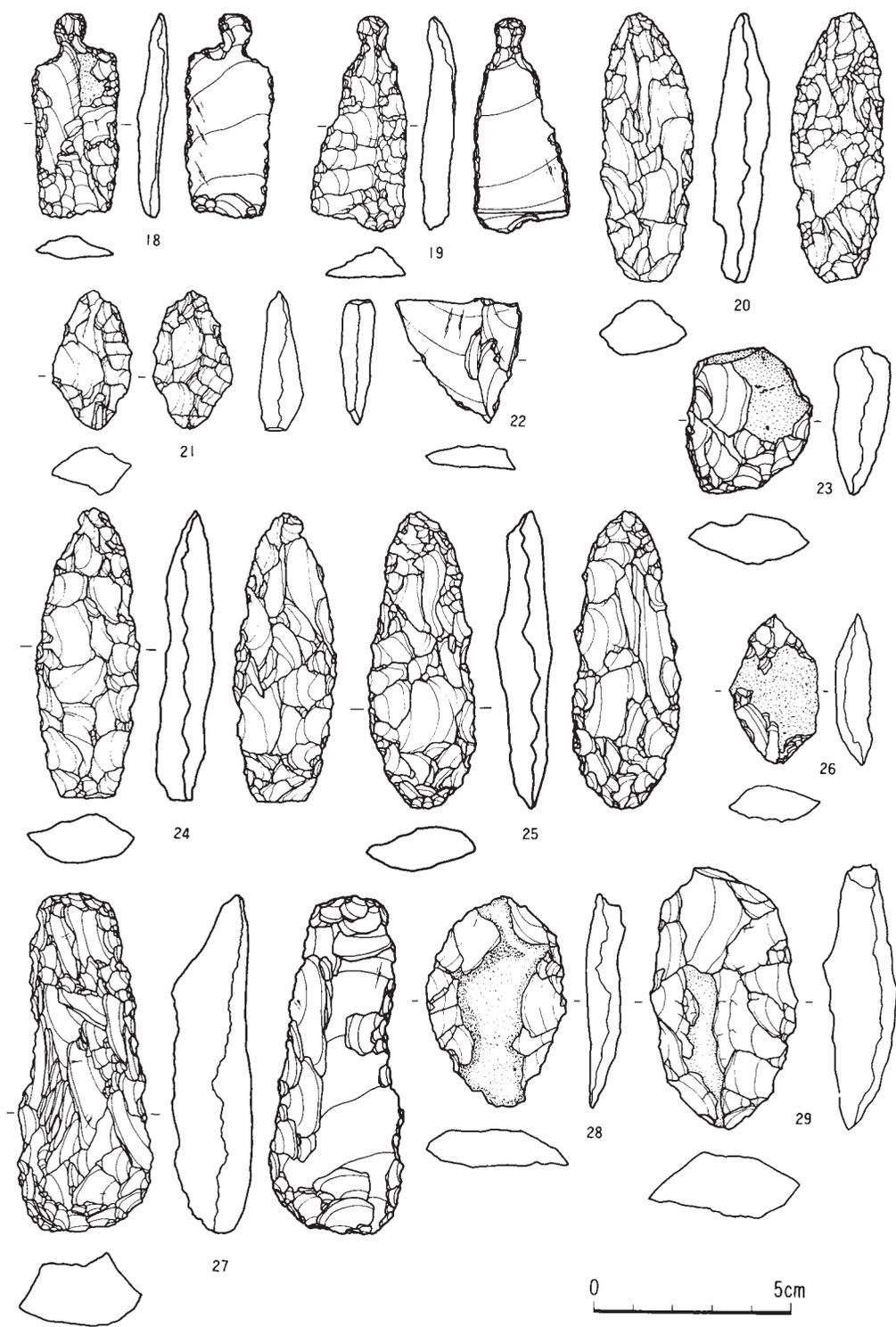
ピット4 土層注記  
 第1層 褐色土 10Y R ¾ ローム粒少量  
 第2層 黄褐色土 10Y R ⅝

ピット9 土層注記  
 第1層 褐色土 10Y R ¾  
 第2層 黄褐色土 10Y R ⅝

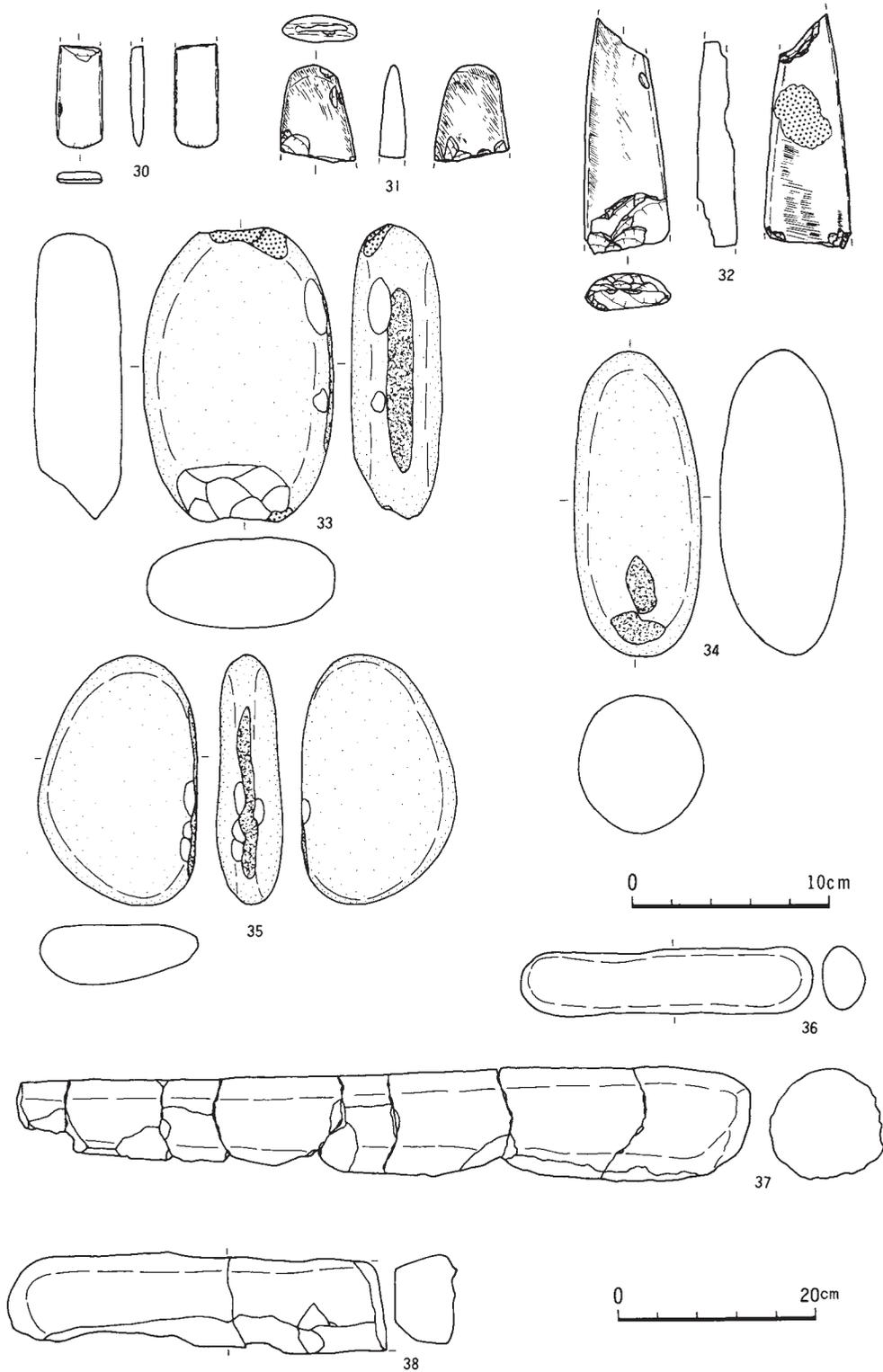
第957図 第393号住居跡(2)



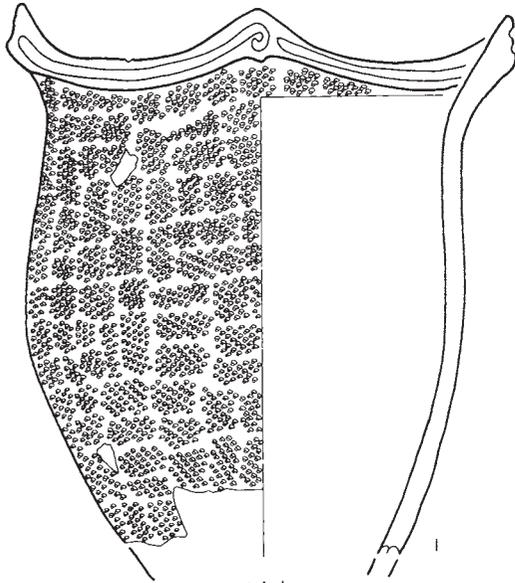
第958图 第393号住居跡(3)



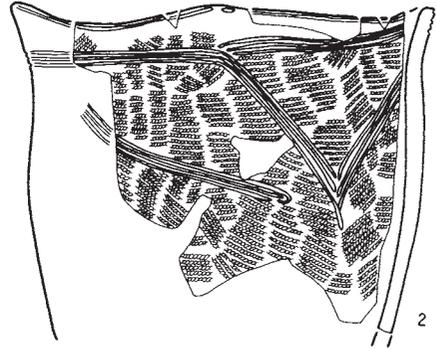
第959图 第393号住居跡(4)



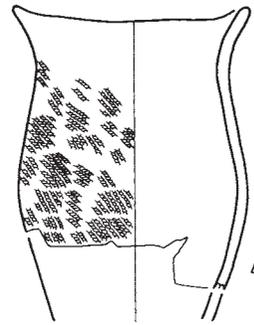
第960图 第393号住居跡5)



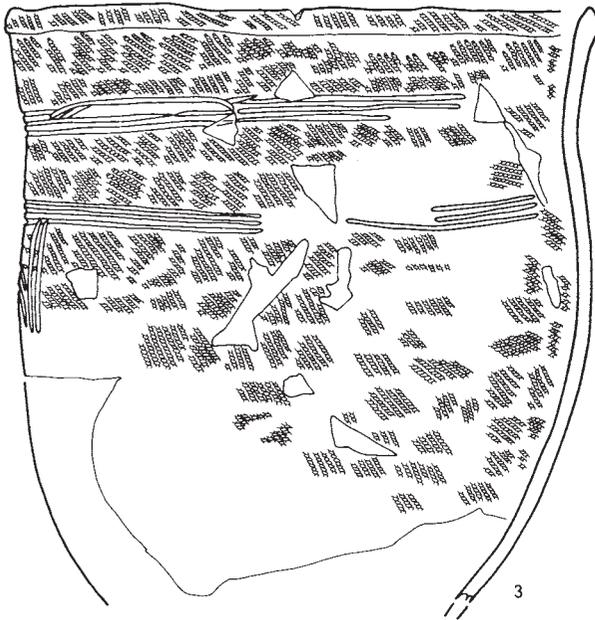
フク土



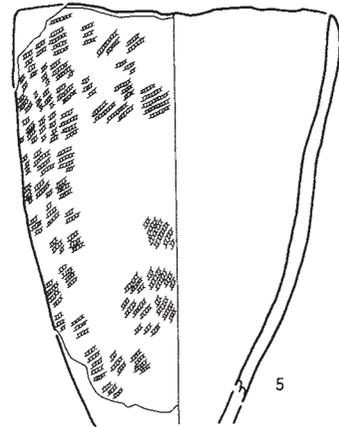
フク土



フク土



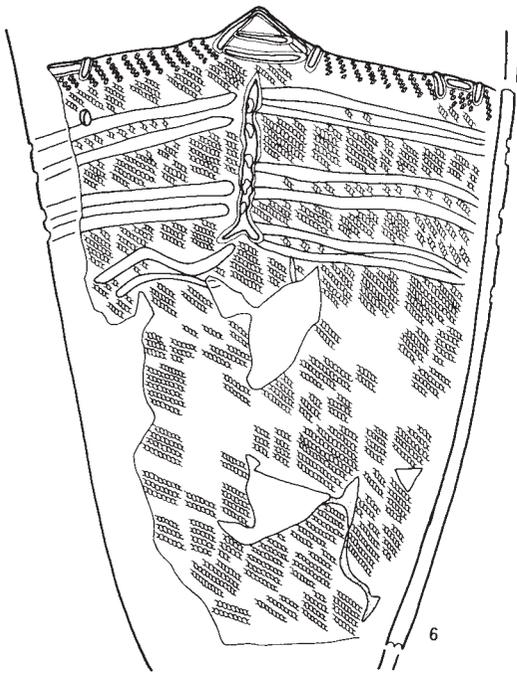
床面



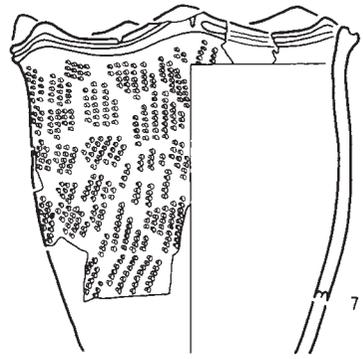
フク土



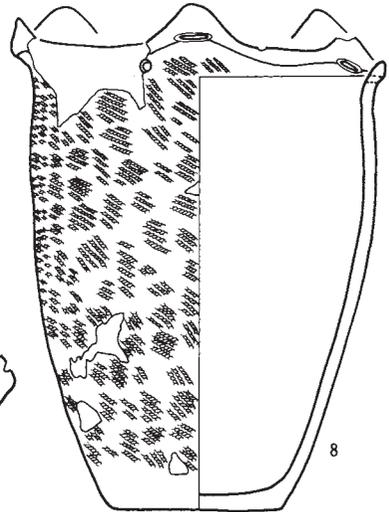
第961図 第393号住居跡6)



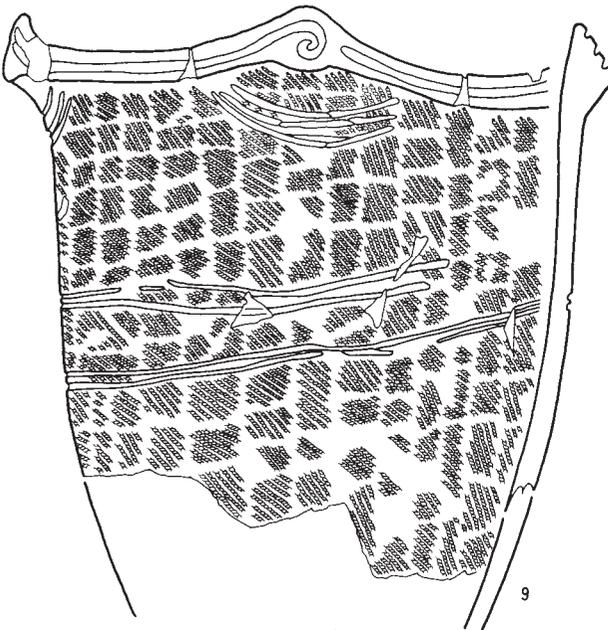
フク土



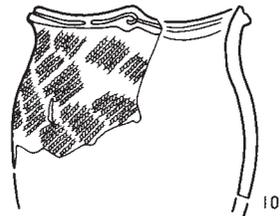
フク土



フク土



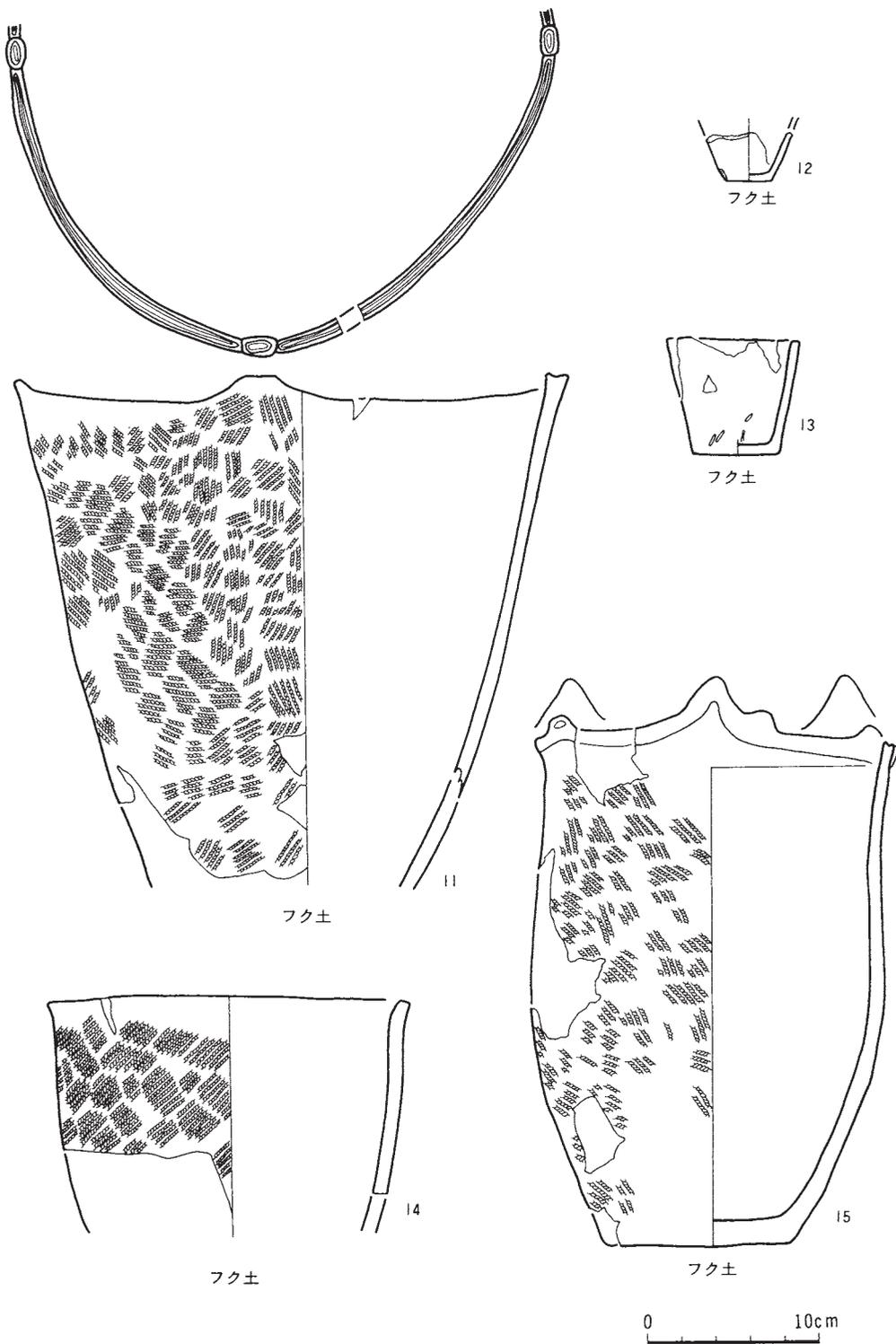
フク土



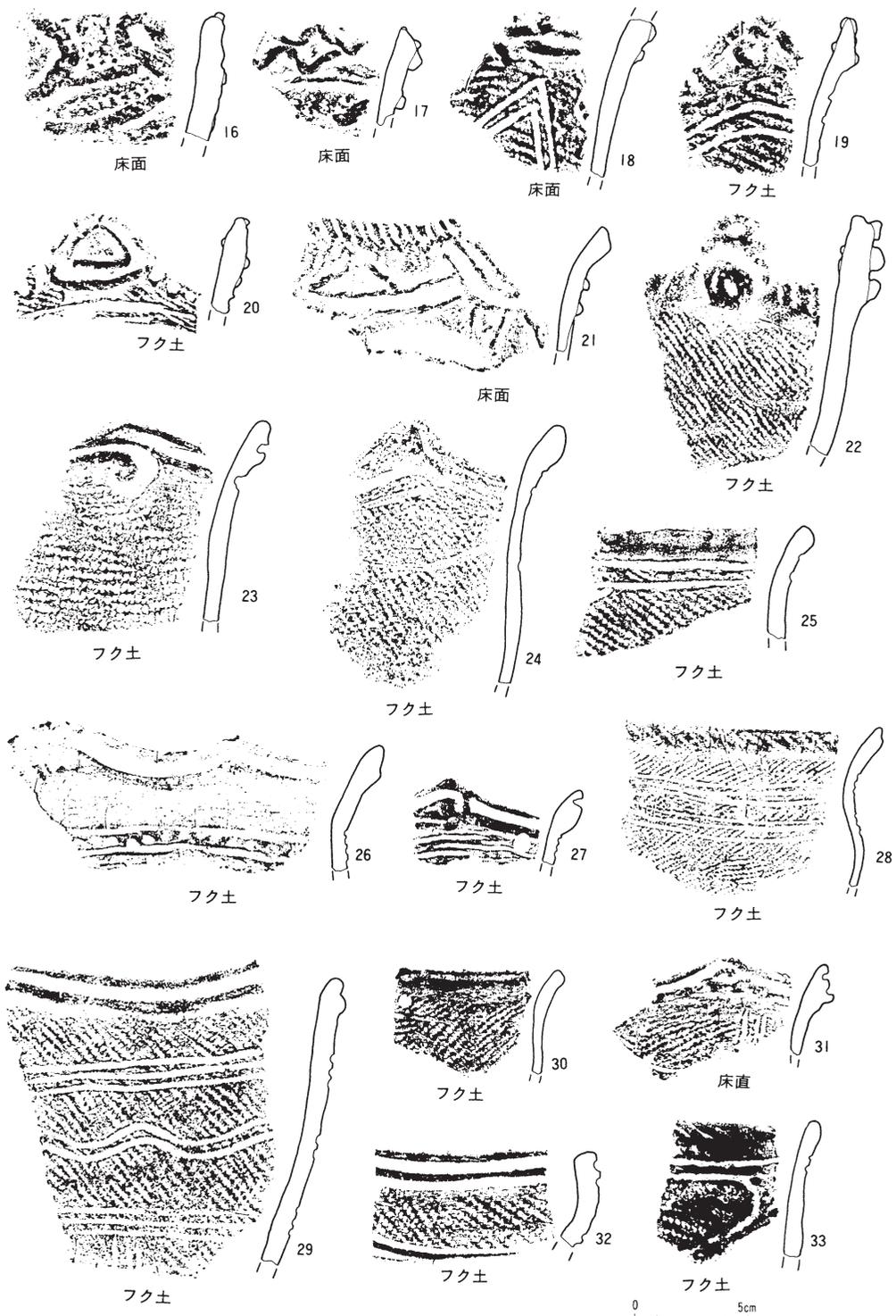
フク土



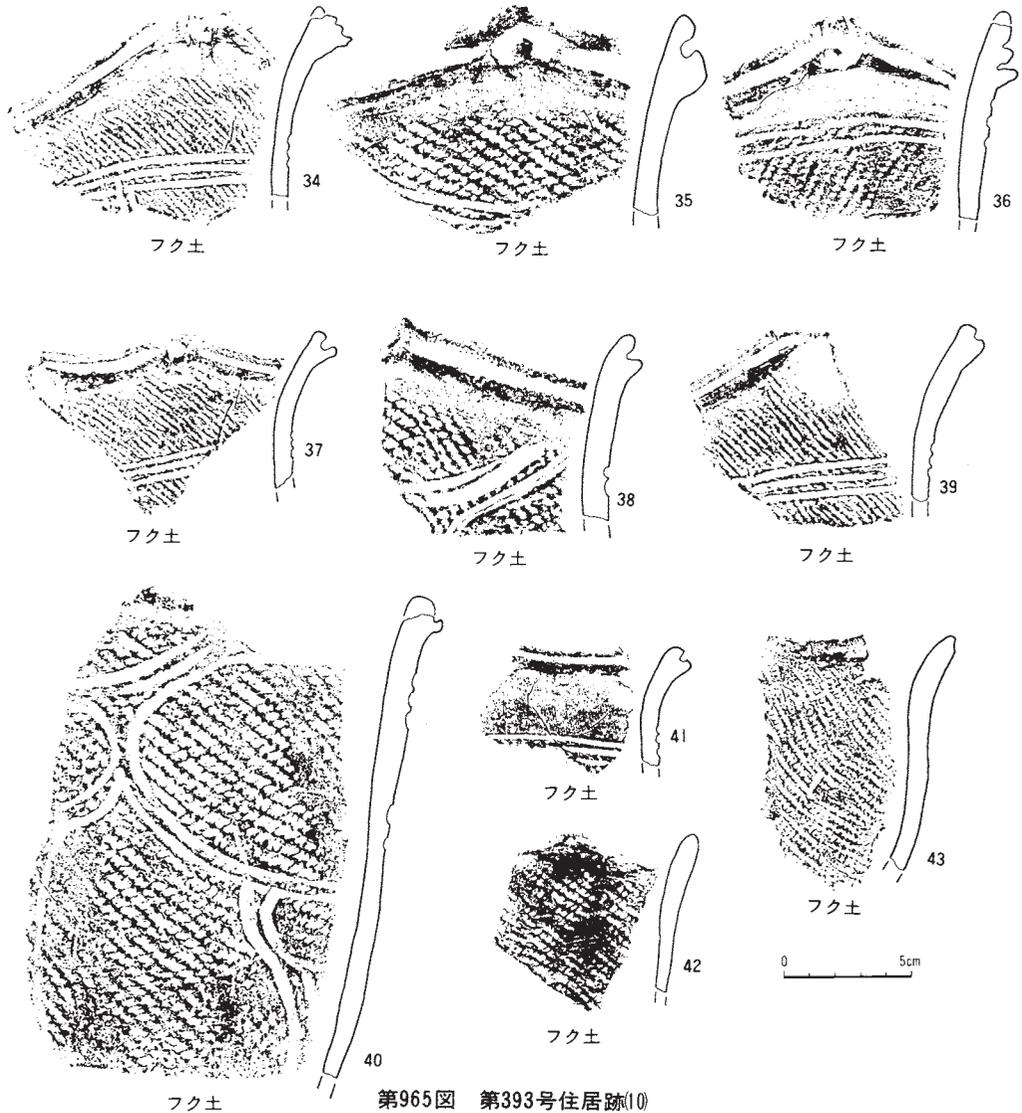
第962図 第393号住居跡(7)



第963図 第393号住居跡(8)



第964図 第393号住居跡(9)



第965図 第393号住居跡(10)

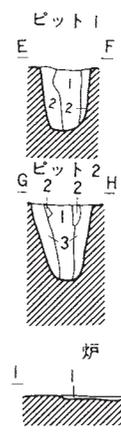
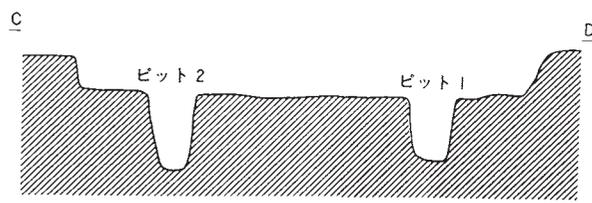
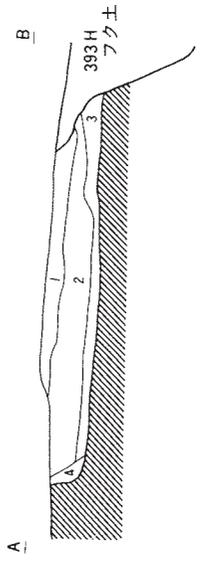
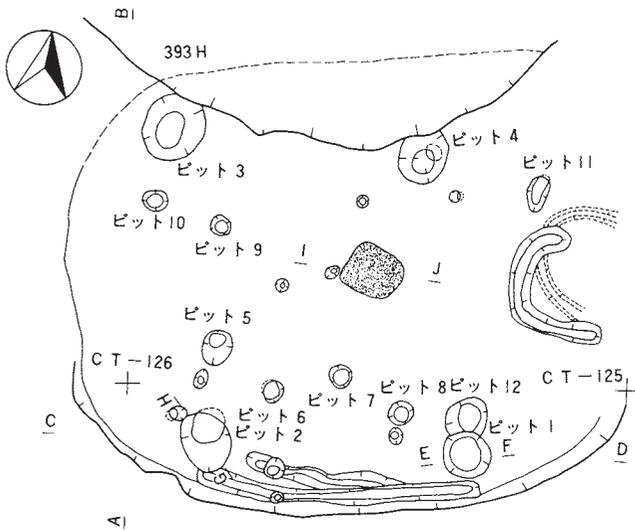
第394号住居跡 (第966～968図)

〈位置と確認〉 C S・C T-125グリッドに位置する。第IV層を調査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 第398・393・395号住居跡と重複し、第393号住居跡より古く、その他の住居跡より新しい。

〈平面形・規模〉 重複が多くプランは判然としないが、長軸4.6m、短軸3.8mの楕円形とみられる。床面積は14.54㎡である。

〈壁・床面〉第IV層を壁面とし、東壁35cm、西壁25cm、南壁28cmである。床面はほぼ平坦で全



0 2m

第394号住居跡土層注記

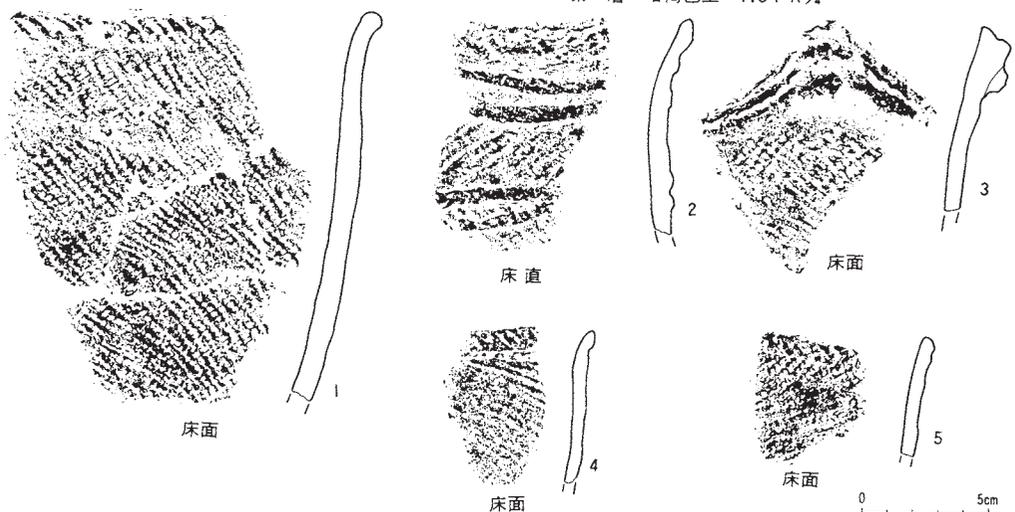
- 第1層 褐色土 10YR%
  - 第2層 暗褐色土 10YR%
  - 第3層 褐色土 10YR%
  - 第4層 黄褐色土 10YR%
- 炭化粒微量、ローム粒微量  
炭化粒微量、ローム粒微量  
炭化粒極微量

ピット1土層注記

- 第1層 褐色土 10YR%
- 第2層 黄褐色土 10YR%

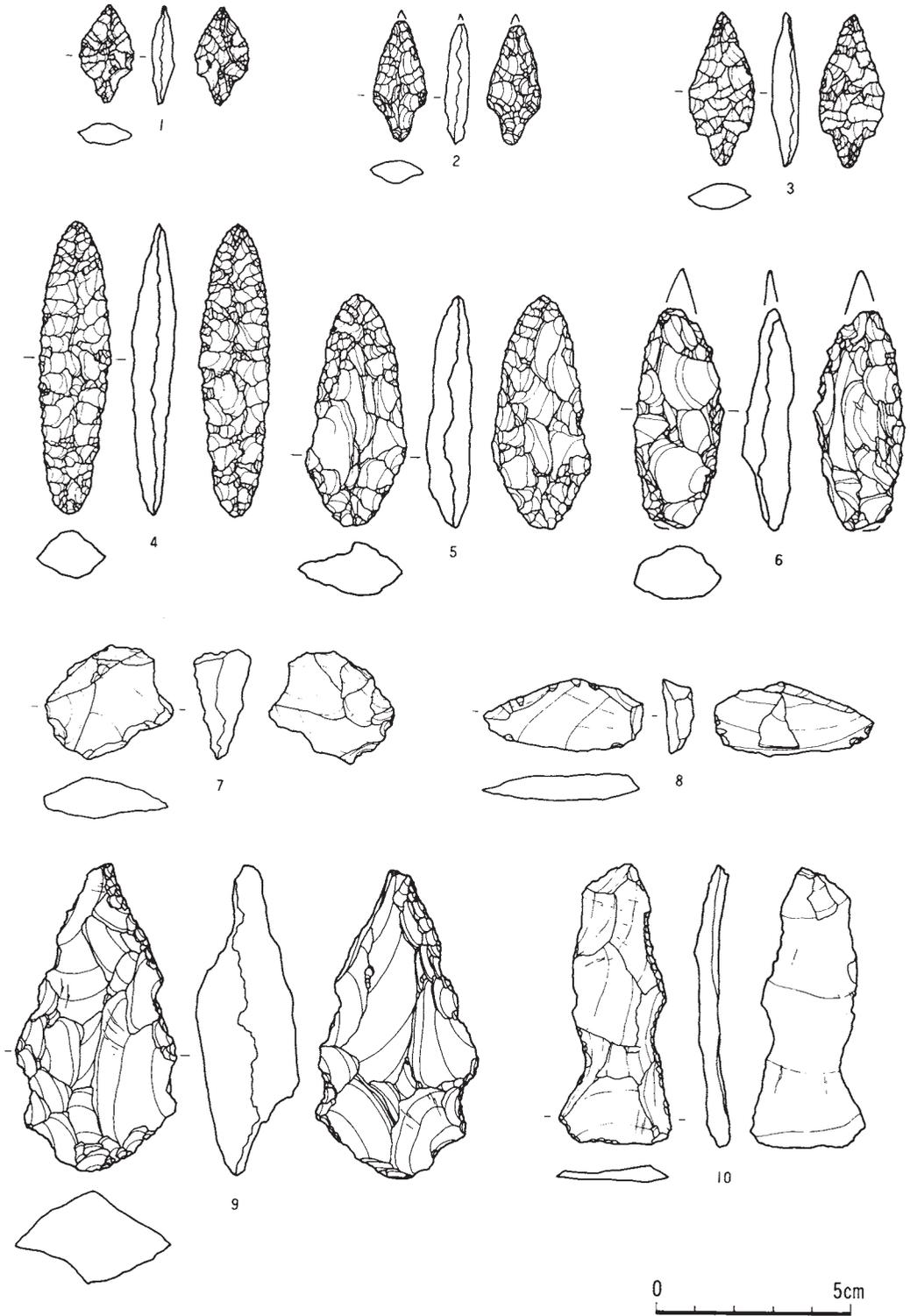
ピット2土層注記

- 第1層 褐色土 10YR%
  - 第2層 褐色土 10YR%
  - 第3層 黄褐色土 10YR%
- 炉土層注記  
第1層 暗褐色土 7.5YR%



0 5cm

第966図 第394号住居跡(1)



第967图 第394号住居跡2)

面に貼り床が施されている。北側がやや低くなり南側との比高差は5～10cmである。また床下2～3cmに建て替えの床面を検出した。新旧ほぼ同一の規模と考えられる。

＜壁溝＞ 南壁際から2条検出した。外側の溝は幅8～18cm、深さ10cmで、内側の溝は幅14cm、深さ19cm程である。また東側でも一部検出した。

＜柱穴＞ 床面及び床下から大小合わせて21個のピットを検出した。主柱穴はP<sub>1</sub>～P<sub>4</sub>の4個と考えられる。各ピットの深さはP<sub>1</sub>…48cm・P<sub>2</sub>…61cm・P<sub>3</sub>…41cm・P<sub>4</sub>…43cm・P<sub>5</sub>…51cm・P<sub>6</sub>…26cm・P<sub>7</sub>…23cm・P<sub>8</sub>…26cm・P<sub>9</sub>…17cm・P<sub>10</sub>…20cm・P<sub>11</sub>…8cm・P<sub>12</sub>…53cmで直径9～18cmのピットの深さは4～16cmである。

＜炉＞ 住居跡の中央部から、46×40cmの方形の地床炉を検出した。

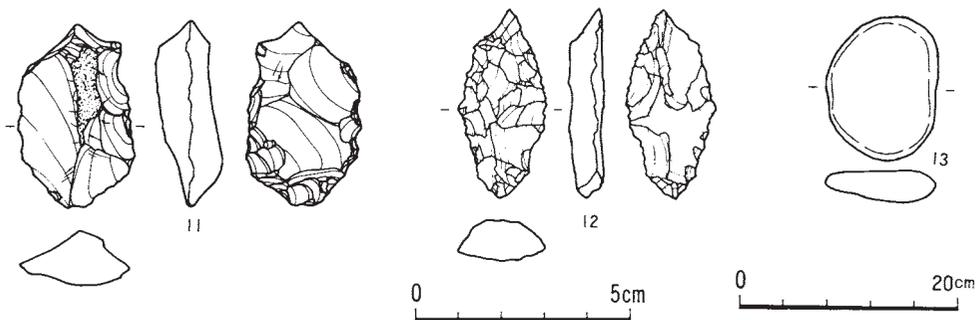
＜特殊施設＞ 馬蹄状の盛土が検出され、中央に凹むもので、高低差は7cm程である。また、特殊施設直下3～5cmで別の古い特殊施設の盛土を検出した。新旧同様の造りで中央が5cm程凹む。同一の方向であるが、上面（新）が西側に片寄っている。

＜堆積土＞ 褐色土、暗褐色土を主体とし、4層に分層した。

＜出土遺物＞ 土器はすべて床面・床面直上から（1～5）出土した。石器は床面から石鏃3点、石槍1点、不定形石器2点、床面直上から石鏃1点、不定形石器1点、覆土から石槍2点、不定形石器9点、石皿・台石類1点が出土し、総数17点である。

＜小結＞ 床面出土の土器から、円筒上層d式期の住居跡と考えられる。また、2枚の貼り床、特殊施設の造り替え及び2条の周溝から、改築が行われた可能性が高い。また調査中に確認された特殊施設の中にはピットを伴うものが検出されているが、本住居跡では確認されなかった。

（長崎 勝巳）



第968図 第394号住居跡(3)



第969図 第395号住居跡(1)

### 第395号住居跡（第969～973図）

<位置と確認> C T・C U-124～126グリットに位置している。

<重複> 第393・394・396・432・435・447・445・433号住居跡より古く、第446号住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 長軸14m、短軸6m程の規模をもち長楕円形を呈すると考えられる。床面積は76.54m<sup>2</sup>で大型である。

<壁・床面> 第IV層を壁面としている。南・北壁の一部が残存し、南壁20cm・北壁9cm程である。床面は、南側がやや高くなり、壁際は軟らかくなっている。（東側床面は第435・433・432・447号住居跡の床面として確認され、第395号住居跡の床面として確認されていない。）

<壁溝> 南・北壁及び西側で検出した。幅10～16cm、深さ10～12cm、また南壁では内側にも1条検出し、幅8～10cm、深さ6～12cm、西壁の特殊施設付近でも1条検出され、幅10～12cm、深さ4～5cmである。

<柱穴> 住居跡内のピットは200個以上になり、ここでは主柱穴と考えられるピットだけにした。各ピットの深さはP<sub>1</sub>…69cm・P<sub>2</sub>…78cm・P<sub>3</sub>…98cm・P<sub>4</sub>…78cm・第393号住居跡P<sub>11</sub>…120cm・第435号住居跡P<sub>6</sub>…79cm・第451号住居跡P<sub>1</sub>…76cm・第432号住居跡P<sub>2</sub>…120cm・第433号住居跡P<sub>8</sub>…85cmである。（P<sub>3</sub>に対応するピットは確認できなかった。）

<炉> 住居跡が重複しているため、図中の焼土にA～Eの記号を付した。ただ、第395号住居跡に伴うかどうかは不明である。

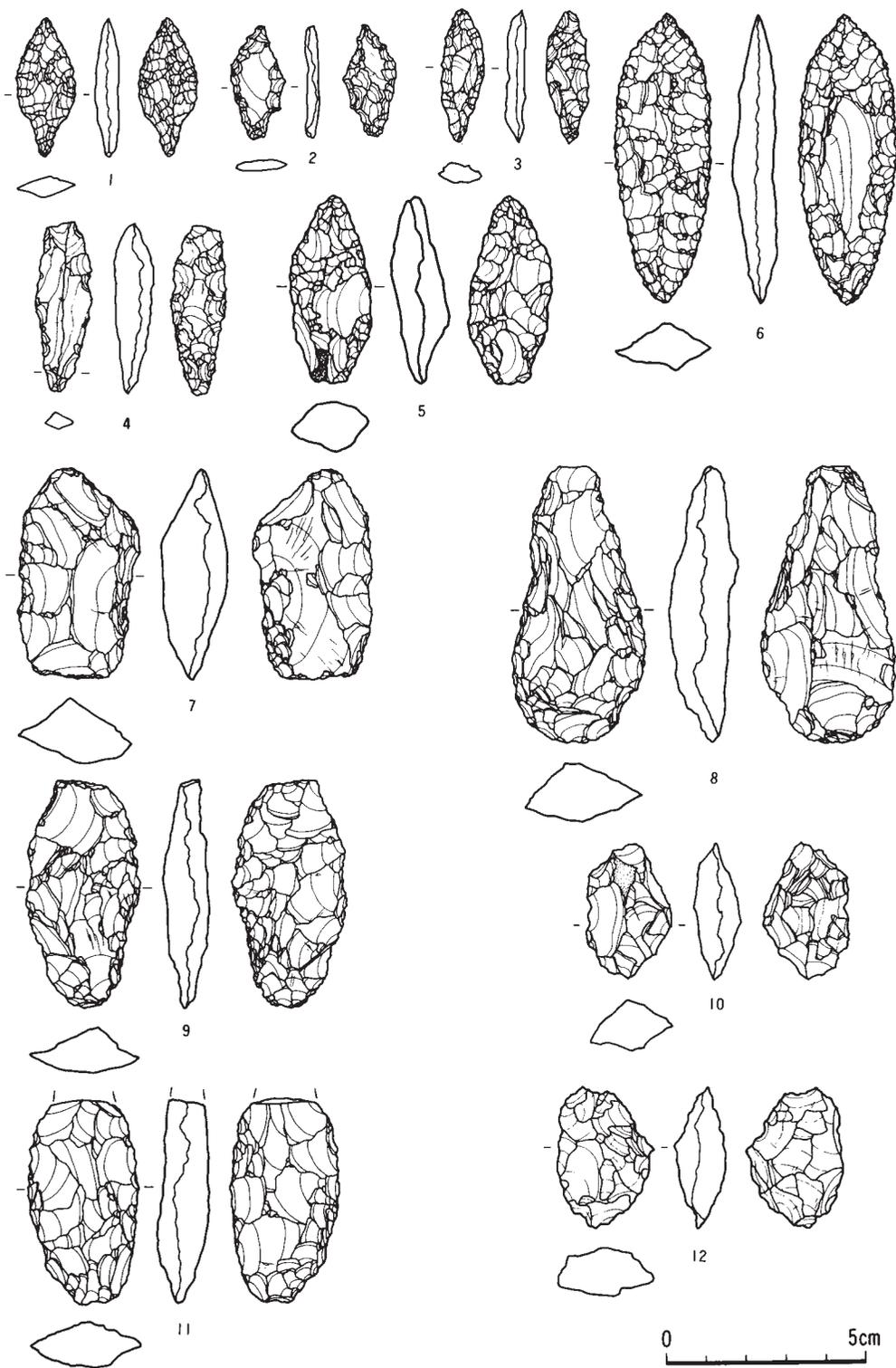
<特殊施設> 住居跡の西壁側に検出された。直径170cm程の馬蹄形を呈するものと考えられる。貼り付けの盛土を巡らせ、施設内には、ピットが検出された。ピットは直径17～60cm・深さ30～70cmである。（盛土の下にあるピットも含む。）

<堆積土> 褐色土の堆積土でローム粒が少量混入している。

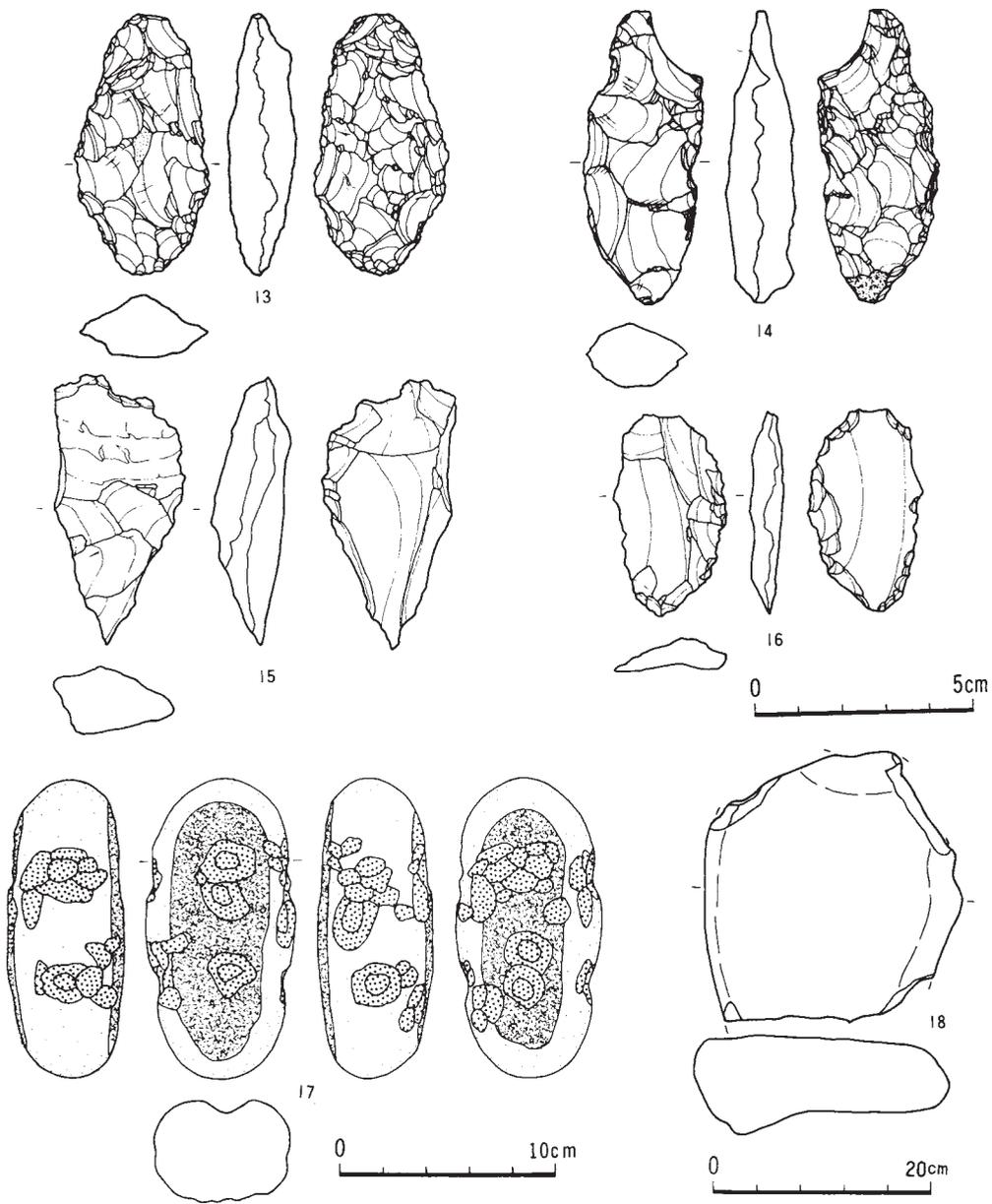
<出土遺物> 土器は床面から(4)、床面直上から(5・6)が出土し、他は覆土からの出土である。石器は床面から石錐1点、不定形石器1点、石皿・台石類1点、床面直上から石鏃1点、不定形石器3点、床下から石鏃1点、不定形石器1点、壁溝から石槍1点、覆土から石鏃3点、石槍1点、石錐1点、石篋2点、不定形石器24点、敲磨器類1点、総数43点である。

<小結> 本住居跡出土の土器から時期を決定できないが、重複している第393号住居跡が円筒上層e式期、第396号住居跡が円筒上層d式期とみられ、その時期か、それ以前の古い時期と考えられる。

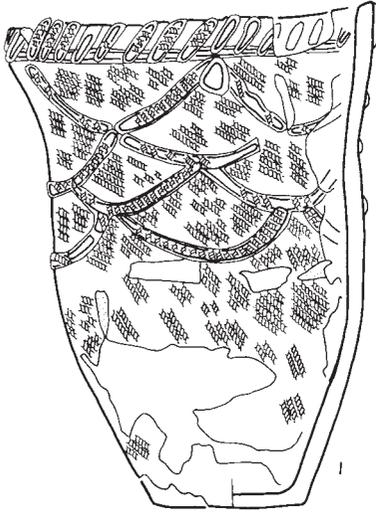
（長崎 勝巳）



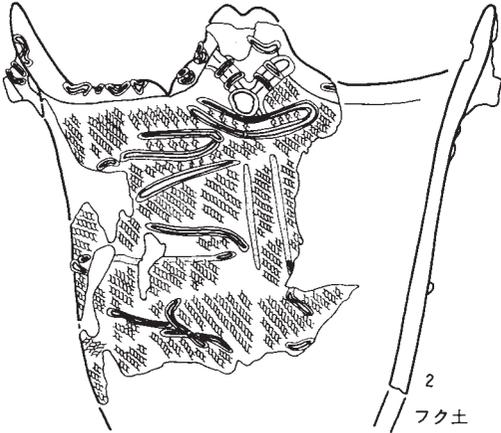
第970图 第395号住居跡2)



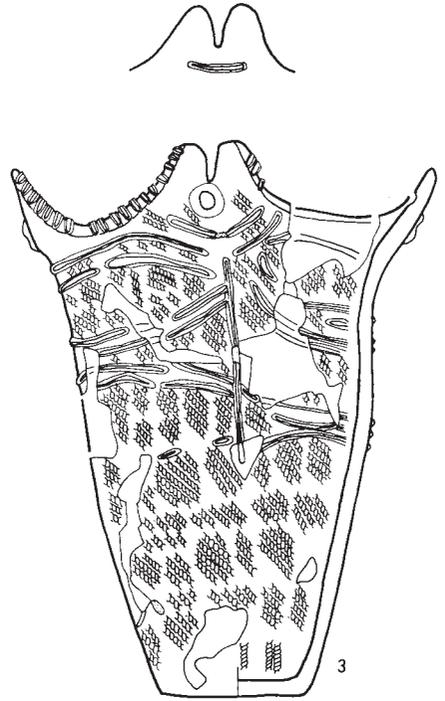
第971图 第395号住居跡(3)



フク土



フク土



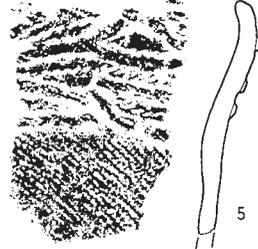
フク土



床面



4



床直



5



床直



6



フク土



7



フク土



8



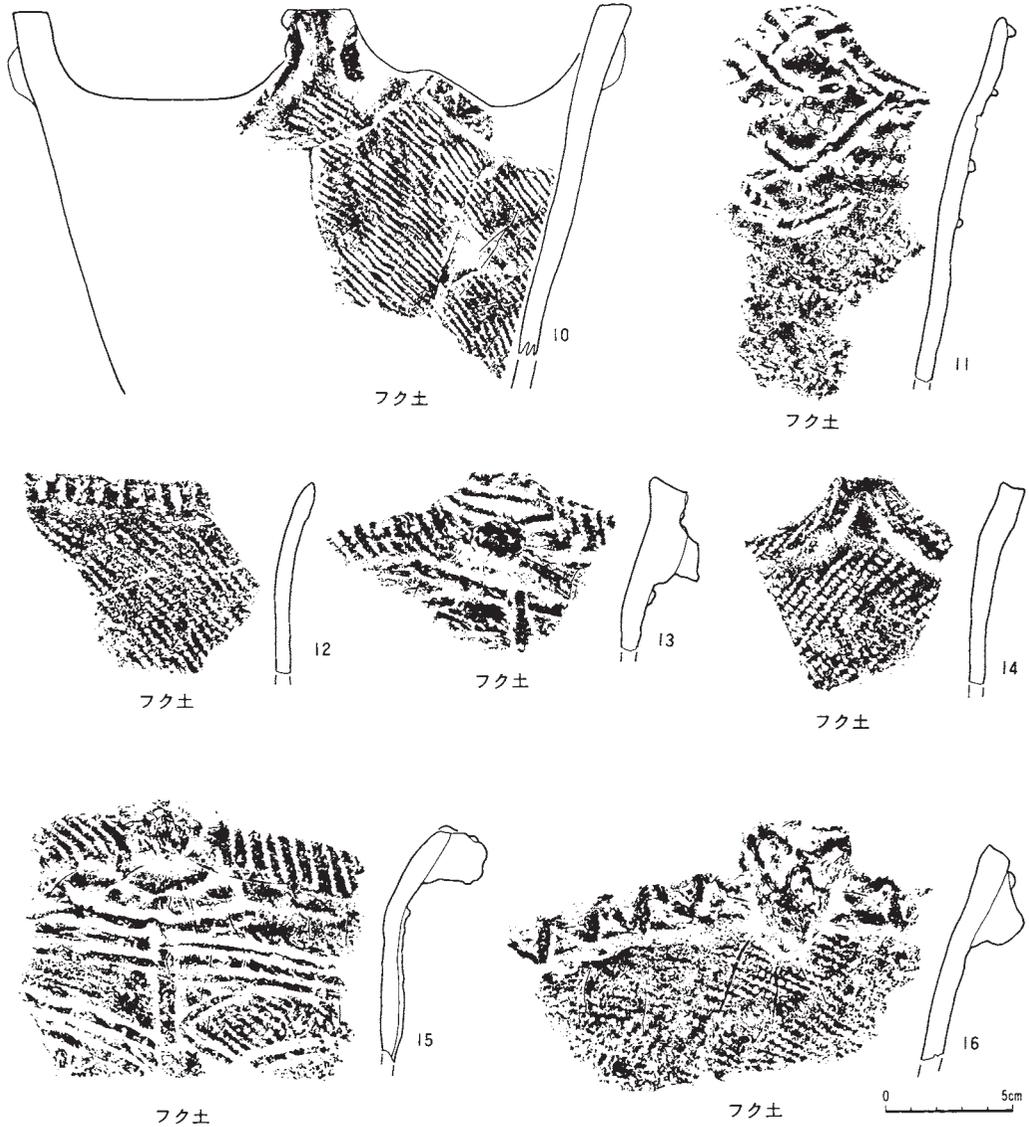
フク土



9



第972図 第395号住居跡4)



第973図 第395号住跡5)

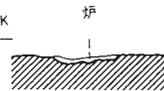
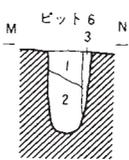
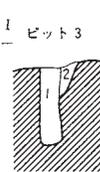
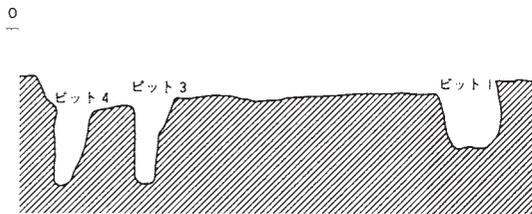
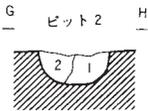
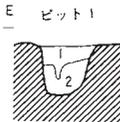
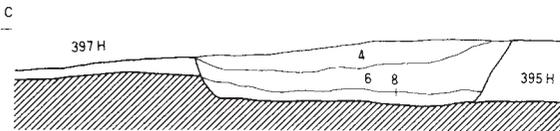
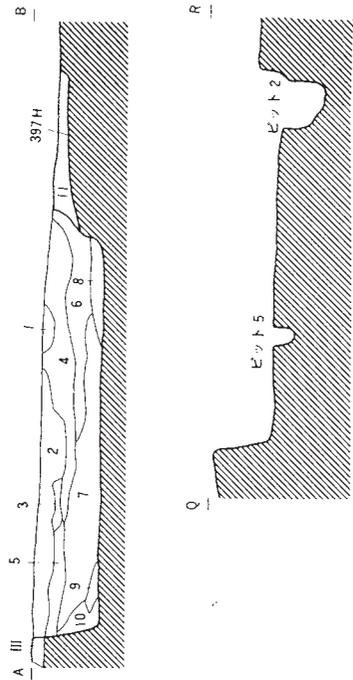
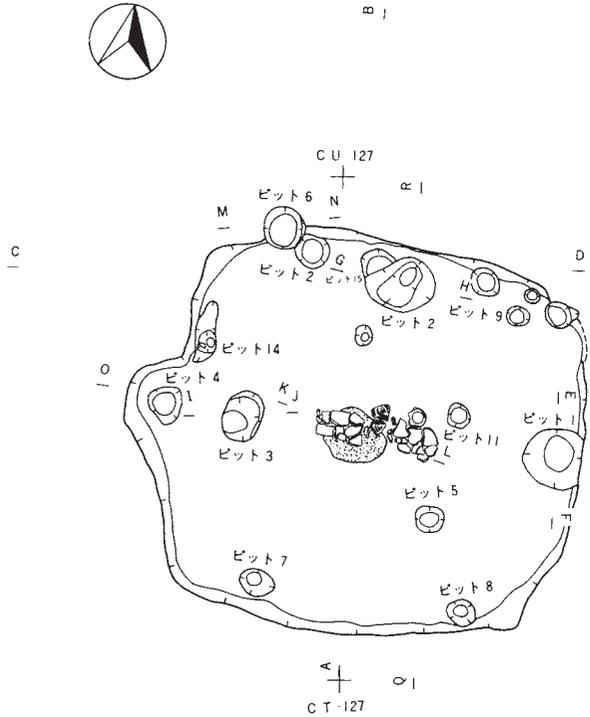
第396号住居跡 (第974~976図)

<位置と確認> CT-126・127グリッドに位置している。

<重複> 第395・397・458号住居跡と重複しているが、本住居跡は、これらすべての住居跡より新しい。

<平面形・規模> 隅丸方形であるが、西壁中央部に張り出し部をもつ。長・短軸とも3m20cmの規模があり、床面積は8.71㎡である。

<壁・床面> 第IV層を壁面として、急な立ち上がりである。壁高は東壁10cm、西壁17cm、南



第396号住居跡土層注記

- 第1層 黄褐色土 10Y R%
- 第2層 褐色土 10Y R% 炭化粒微量、ローム粒少量
- 第3層 褐色土 10Y R% ローム粒多量
- 第4層 褐色土 10Y R% 炭化粒少量、ローム粒少量
- 第5層 褐色土 10Y R% ローム粒微量
- 第6層 暗褐色土 10Y R% ローム粒微量
- 第7層 暗褐色土 10Y R% ローム粒微量
- 第8層 暗褐色土 10Y R% 炭化粒微量、ローム粒少量
- 第9層 褐色土 10Y R%
- 第10層 黄褐色土 10Y R%

ピット6土層注記

- 第1層 暗褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化粒微量含む
- 第2層 褐色土 10Y R% ローム粒微量、炭化粒微量含む
- 第3層 黄褐色土 10Y R% ローム質

ピット1土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R% 炭化物微量、焼土微量含む
- 第2層 黄褐色土 10Y R% ローム質

ピット2土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R% ローム粒少量含む
- 第2層 黄褐色土 10Y R% ローム質、炭化物微量含む

ピット3土層注記

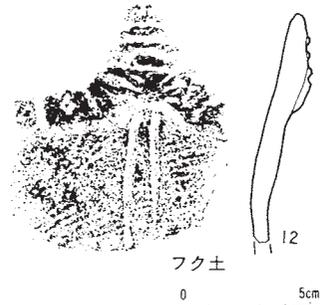
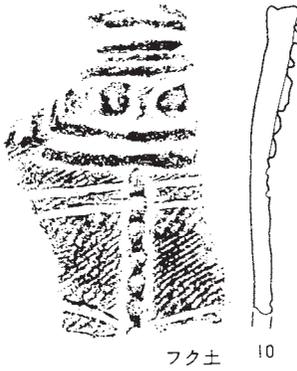
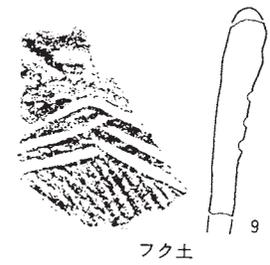
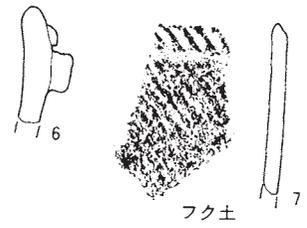
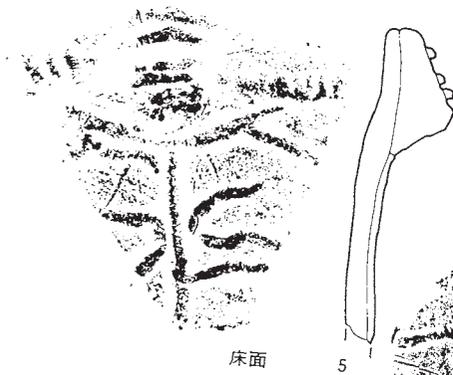
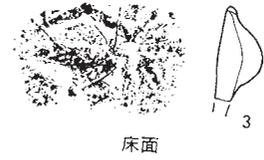
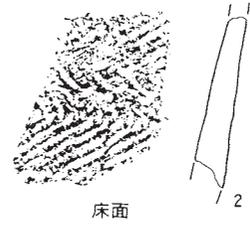
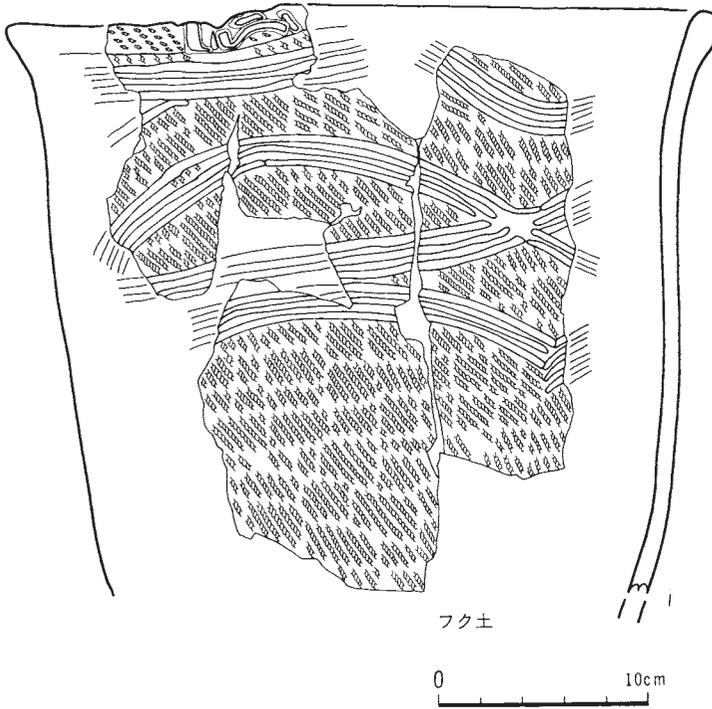
- 第1層 黄褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化物微量、焼土微量含む
- 第2層 暗褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化物極微量含む

炉土層注記

- 第1層 黄褐色土 10Y R% ローム粒微量、炭化物微量、焼土微量含む



第974図 第396号住居跡(1)



第975図 第396号住居跡(2)

壁40cm、北壁16cmである。床面は、ほぼ平坦で堅緻である。

〈壁溝〉 確認されなかった。

〈柱穴〉 床面及び床下から、大小合わせて17個のピットを検出した。主柱穴はP<sub>1</sub>-P<sub>4</sub>・P<sub>6</sub>-P<sub>7</sub>・P<sub>8</sub>-P<sub>9</sub>で6本柱と考えられる。各ピットの床面からの深さは、P<sub>1</sub>…44cm・P<sub>2</sub>…35cm・P<sub>3</sub>…68cm・P<sub>4</sub>…59cm・P<sub>5</sub>…15cm・P<sub>6</sub>…71cm・P<sub>7</sub>…71cm・P<sub>8</sub>…78cm・P<sub>9</sub>…63cm・P<sub>10</sub>…24cm・P<sub>11</sub>…27cm・P<sub>12</sub>…8cm・P<sub>13</sub>…14cm・P<sub>14</sub>…7cm・P<sub>15</sub>…18cm・P<sub>16</sub>…7cm・P<sub>17</sub>…6cmである。

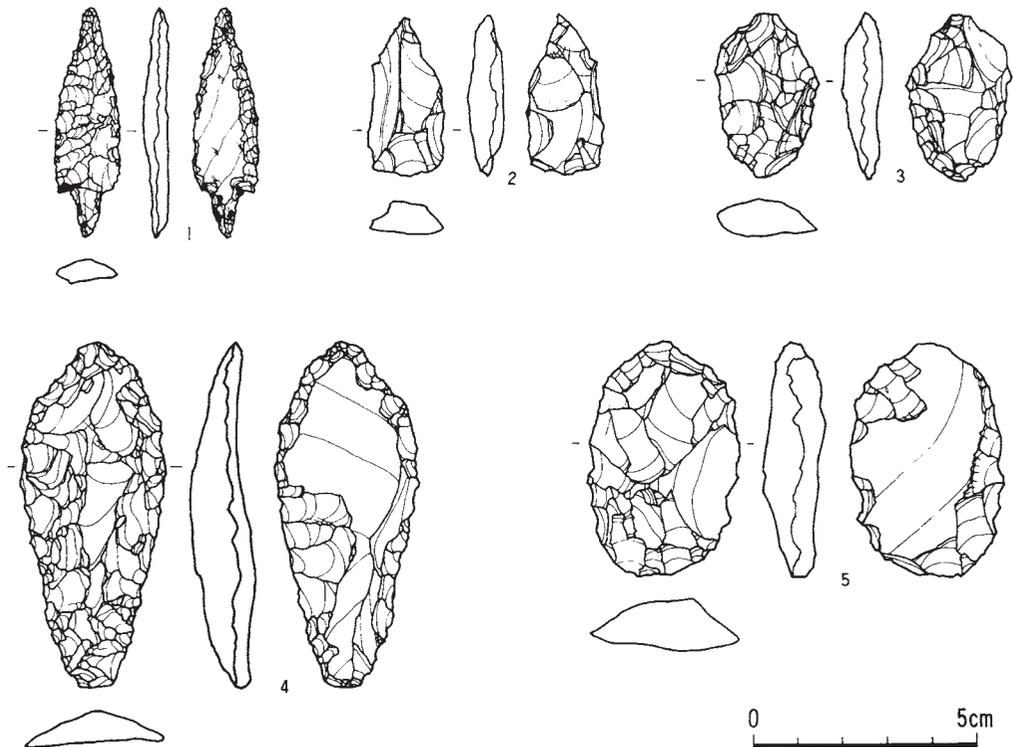
〈炉〉 住居跡の中央部に直径15cmのほぼ円形をした、焼土面が認められ、地床炉の可能性はある。

〈特殊施設〉 西壁中央の張り出し部に位置する。張り出し部から、ピットが1個検出された。直径25cmで深さ59cmである。P<sub>2</sub>と対応する為、主柱穴(棟柱?)と考えられる。また、盛土は確認されなかったがピットのまわりは幾分下がり気味である。

〈堆積土〉 10層に分層され、褐色土を主体とするローム粒が少量、混入している。

〈出土遺物〉 土器は床面から(2~6)が出土し、他は覆土からの出土である。石器は床面から石鏃1点、ピットから不定形石器1点、覆土から石鏃2点、石槍1点が出土した。

〈小結〉 床面出土の土器から、円筒上層d式期の住居跡と考えられる。(長崎 勝巳)

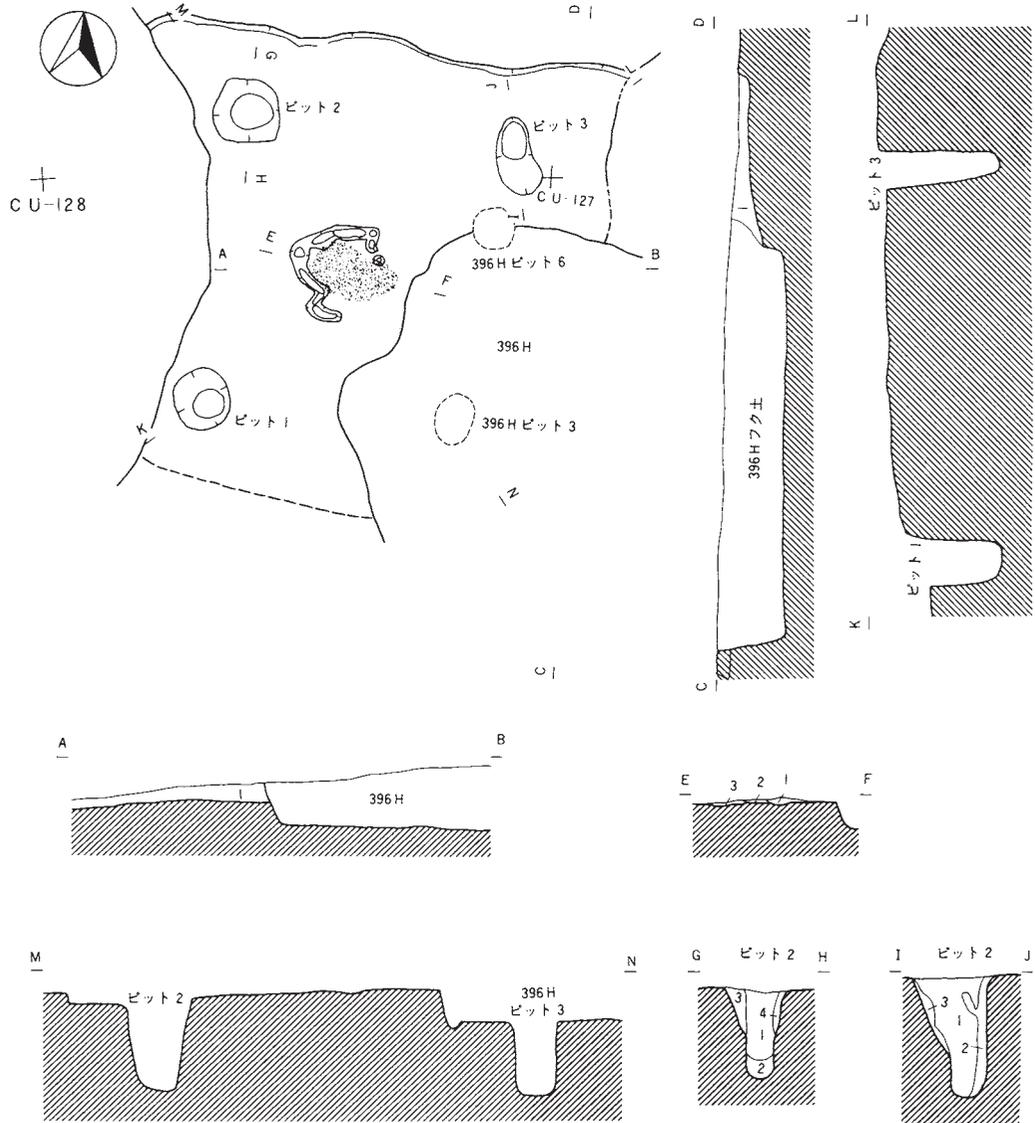


第976図 第396号住居跡(3)

第397号住居跡 (第977・978図)

<位置と確認> CT・CU-127グリッドに位置し、暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第244・396・458号住居跡と重複し、第244・396号住居跡より古く、第458号住居跡



第397号住居跡土層注記

第1層 暗褐色土 10Y R% 炭化粒極微量、ローム粒少量

第397号住居跡炉

- 第1層 褐色土 7.5Y R% ローム粒微量、焼土粒少量含む
- 第2層 黄褐色土 2.5Y R% 焼土粒少量含む、灰を多量に含む
- 第3層 褐色土 10Y R% 焼土粒少量含む

第397号住居跡ピット2土層注記

- 第1層 暗褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化粒少量含む
- 第2層 黄褐色土 10Y R% ローム質
- 第3層 にみい黄褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化粒少量含む
- 第4層 黄褐色土 10Y R% ローム質

第397号住居跡ピット3土層注記

- 第1層 暗褐色土 10Y R% ローム粒少量、炭化粒微量含む
- 第2層 褐色土 10Y R% ローム粒多量、炭化粒極微量含む
- 第3層 黄褐色土 10Y R% ローム粒多量含む

第977図 第397号住居跡(1)

0 2m

より新しい。

〈平面形・規模〉 確認された規模は、東西3.3cm、南北3.8cmであるが、重複のため平面形は不明である。

〈壁・床面〉 東・西・南壁は他遺構との重複で削平され、北壁の一部が残っている。第IV層を壁面とし、壁高は7cm程ある。床面は南側がやや低くなっている。

〈壁溝〉 確認されなかった。

〈柱穴〉 床面からピットを3個検出した。すべて支柱穴と考えられる。また、第396号住居跡内で検出されたP<sub>3</sub>も本住居跡の支柱穴である。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…70cm・P<sub>2</sub>…75cm・P<sub>3</sub>…96cm・第396号住居跡P<sub>3</sub>…86cm（第397号住居跡床面より）である。

〈炉〉 住居跡の中央部(?)に、40～66cmの不整楕円形を呈する地床炉を検出した。炉の回りには掘り方がみられ、炉石を抜かれた石囲炉と考えられる。

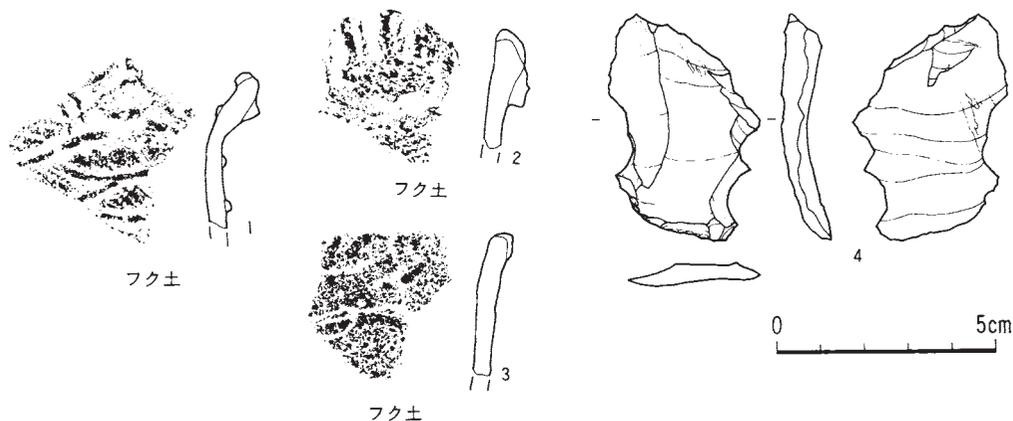
〈特殊施設〉 確認できなかった。

〈堆積土〉 暗褐色土の堆積でローム粒を含む。

〈出土遺物〉 土器はすべて(1～3)は覆土からの出土である。石器も覆土からの出土で不定形石器2点が出土した。

〈小結〉 本住居跡は出土土器から時期を決定できないが、重複している第396号住居跡が円筒上層d式期と思われ、本住居跡はその時期か、それ以前の古い時期と考えられる。

(長崎 勝巳)



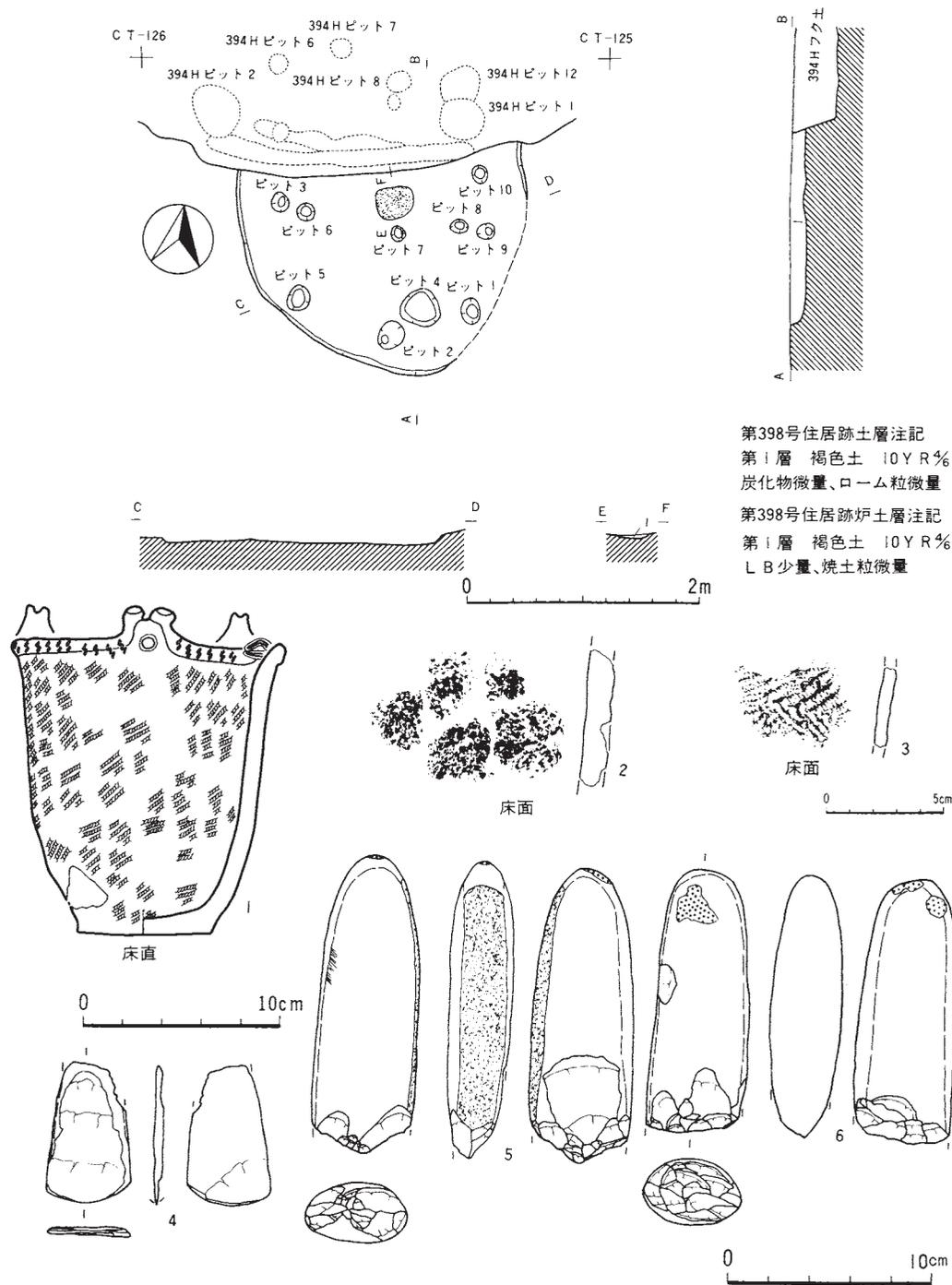
第978図 第397号住居跡(2)

#### 第398号住居跡 (第979図)

〈位置と確認〉 C S-125グリットに位置し、第IV層を調査中に褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第394号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

<平面形・規模> 平面形は不明で、確認された規模は、2.5m×1.6mである。



第979図 第398号住居跡

<壁・床面> 第IV層を壁面とし、東壁6cm、西壁4cm、南壁10cmである。炉の周辺の床面は堅緻であるが、壁際は軟弱である。

<壁溝> 確認されなかった。

<柱穴> 床面及び床下から大小合わせて10個のピットを検出した。各ピットの深さは、 $P_1 \cdots 11\text{cm}$ ・ $P_2 \cdots 17\text{cm}$ ・ $P_3 \cdots 14\text{cm}$ ・ $P_4 \cdots 20\text{cm}$ ・ $P_5 \cdots 10\text{cm}$ ・ $P_6 \cdots 10\text{cm}$ ・ $P_7 \cdots 10\text{cm}$ ・ $P_8 \cdots 10\text{cm}$ ・ $P_9 \cdots 5\text{cm}$ ・ $P_{10} \cdots 9\text{cm}$ である。

<炉> 第314号住居跡の壁際に、 $26 \times 30\text{cm}$ の楕円形の地床炉を検出した。

<特殊施設> 確認できなかった。

<堆積土> 褐色土の堆積である。

<出土遺物> 土器は床面・床面直上から(1~3)が出土した。石器は床面直上から磨製石斧2点、覆土から磨製石斧1点が出土した。

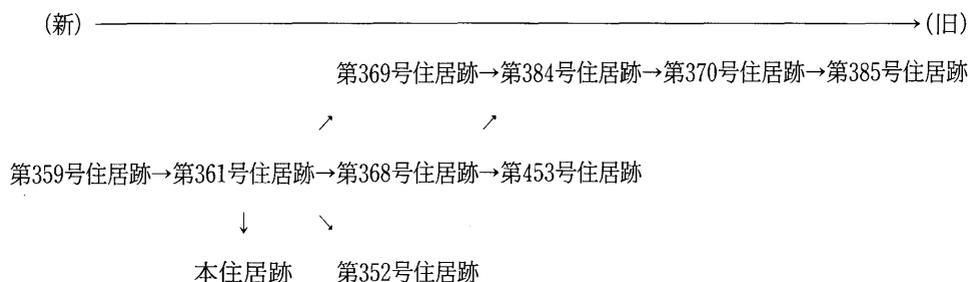
<小結> 床面・床面直上出土の土器から円筒上層d・e式期のものと考えられる。

(長崎 勝巳)

#### 第399号住居跡 (第980図)

<位置と確認> 調査区の西側の緩斜面CY-125~127, CZ-125・126グリッドに位置する。第361号住居跡の床面を精査中に焼土と壁溝の一部を確認し、掘り下げたところ住居跡を検出した。

<重複> 第361号住居跡の貼り床の下にあり、新旧関係は以下のとおりである。

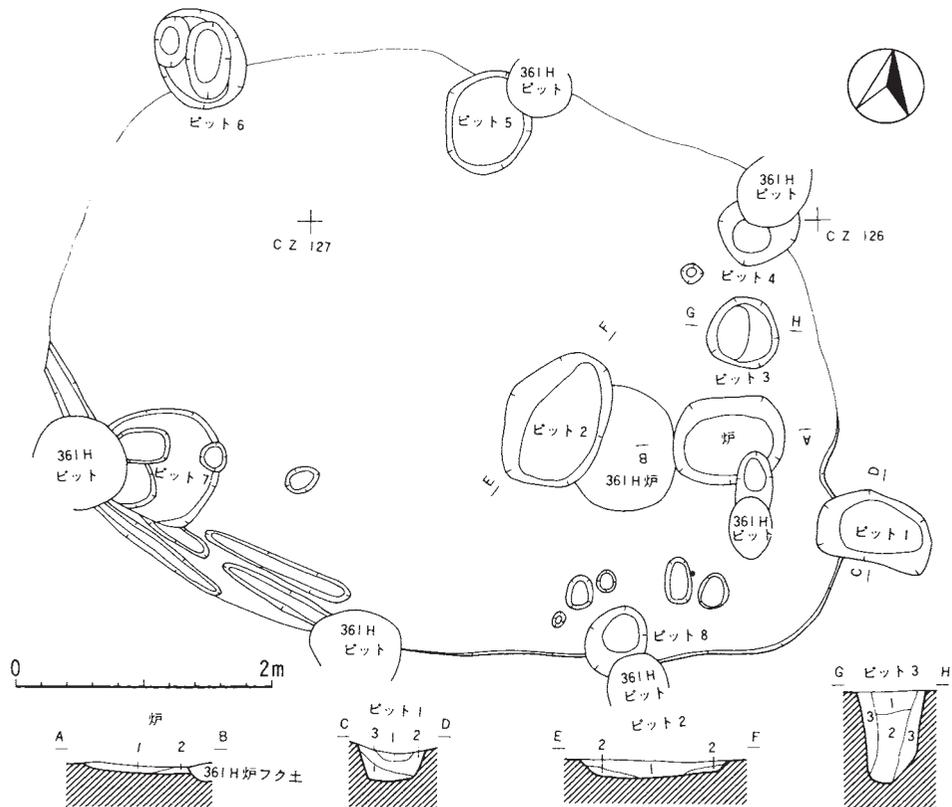


<平面形・規模> 残存する貼り床の範囲から推察するかぎり東西に長い楕円形と思われる。規模は、長軸(6m40cm)・短軸(4m55cm)、床面積は、(24.5㎡)である。

<壁・床面> 壁は確認できなかった。床面はやや起伏があるが一般的に平坦で、堅く締まっている。

<壁溝> 幅11~19cm・深さ7~15cmの壁溝が、南側の一部で二重に検出された。

<柱穴> 本住居跡内から多数のピットが検出された。このうち、長軸線上で対称になっている $P_4$ ・ $P_6 \sim P_8$ (深さ $P_4 \cdots 100$ 、 $P_6 \cdots 88$ 、 $P_7 \cdots 77$ 、 $P_8 \cdots 83\text{cm}$ )が主柱穴で、 $P_6$ は第361号住



第399号住居跡炉土層注記

第1層 明赤褐色 2.5Y R% 黄褐色土混入  
 第2層 黄褐色 10Y R% 焼土粒を少量含む

第399号住居跡ピット1土層注記

第1層 黄褐色 10Y R% 暗褐色土混入  
 第2層 暗褐色 10Y R% ローム粒多量、炭化物・焼土粒少量含む  
 第3層 黄褐色 10Y R%

第399号住居跡ピット2土層注記

第1層 暗褐色 10Y R% ローム粒を多量に含む  
 第2層 黄褐色 10Y R% 暗褐色土混入

第399号住居跡ピット3土層注記

第1層 黄褐色 10Y R% ローム粒を多量に含む  
 第2層 褐色 10Y R% ローム粒を多量に含む  
 第3層 黄褐色 10Y R%

第980図 第399号住居跡

居跡と重複する柱穴である。P<sub>3</sub>（深さ80cm）も柱穴の可能性がある。

〈炉〉 地床炉で住居跡の東寄り位置する。平面形は不整形円で、規模は、開口部で長軸87cm・短軸70cm、深さ15cmである。堆積土は2層に区分でき、第1層上面が火床面である。

〈特殊施設〉 検出されなかった。

〈堆積土〉 第361号住居跡の貼り床（黄褐色）の層が数cm程覆っている。

〈出土遺物〉 本住居跡は、第361号住居跡の貼り床の下にあるため、ほとんど遺物は出土しなかった。

〈小結〉 本住居跡は、第361号住居跡（榎林式期）の貼り床の下にあるため円筒上層e～榎林式期と思われる。

（中嶋 友文）

第401号住居跡（第981・982図）

<位置と確認> CR-124グリッドに位置している。第IV層中で褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> なし。

<平面形・規模> 南側の壁は調査区外にあり、北側は重複のため明らかでないが、長軸3m、短軸2m60cmの不整形円形である。床面積4.97㎡である。

<壁・床面> 壁高は北側・西側で20cm程、南側・東側で10cm程である。床はほぼ平坦である。

<壁溝> 検出されなかった。

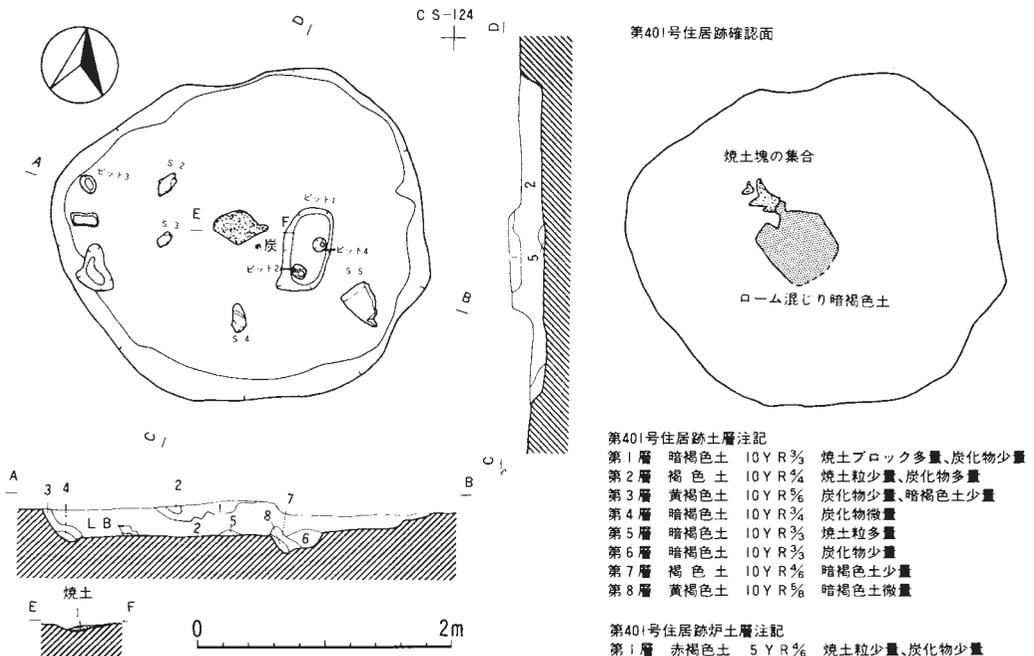
<柱穴> 5個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…14cm、P<sub>2</sub>…12cm、P<sub>3</sub>…13cm（深さ10cm程度以上のもの）である。

<炉> 床のほぼ中央に不整に広がる赤変する部分があり、これが地床炉と考えられる。

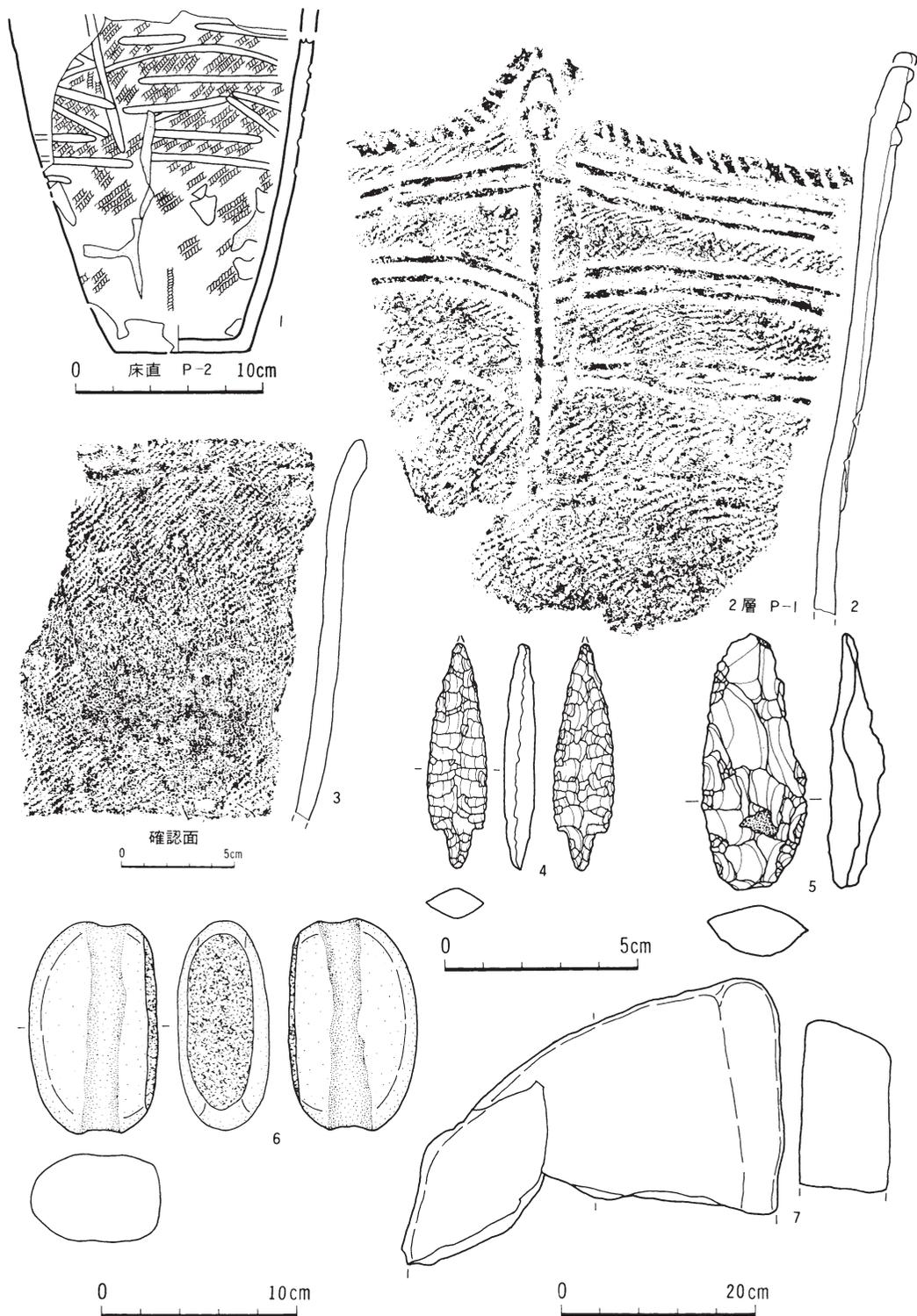
<特殊施設> P<sub>1</sub>はその形態から何らかの施設の可能性がある。

<堆積土> ローム混じりの褐色土が主体である。なお、確認面にはローム混じりの暗褐色土と焼土塊の集合があった。

<出土遺物> 床面から円筒上層e式土器が出土している。床面に礫が数点あった。石器は床面から敲磨器類1点、石皿・台石類1点、覆土から石鏃1点、石槍1点、石錐1点、不定形石



第981図 第401号住居跡(1)



第982図 第401号住居跡(2)

器1点、総数6点出土している。また、東側の覆土中には緑色のゴム様の物質があった。

〈小結〉 本住居跡は床面から出土した土器から円筒上層e式期に構築されたものと思われる。  
(坂本 洋一)

#### 第402号住居跡 (第983～985図)

〈位置と確認〉 CS-123・124グリッドに位置している。第Ⅲ層中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 第403号住居跡・第652号土壇と重複している。本住居跡は第652号土壇より新しい。第403号住居跡の床が本住居跡の覆土上に検出されなかったことからすれば、これよりも本住居跡の方が新しいと思われる。また、覆土の違いから第653号土壇が存在し、これと重複している可能性がある。この場合も本住居跡が新しい。

〈平面形・規模〉 長軸3m90cm、短軸2m80cmの不整形である。床面積は推定で8.09㎡である。

〈壁・床面〉 壁高は20～28cm程である。床はほぼ平坦である。

〈壁溝〉 検出されなかった。

〈柱穴〉 21個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…75cm、P<sub>2</sub>…30cm、P<sub>3</sub>…68cm、P<sub>4</sub>…88cm、P<sub>5</sub>…73cm、P<sub>6</sub>…15cm、P<sub>7</sub>…18cm、P<sub>8</sub>…20cm、P<sub>9</sub>…12cm、P<sub>10</sub>…10cm、P<sub>11</sub>…10cm、P<sub>12</sub>…12cm、P<sub>13</sub>…10cm、P<sub>14</sub>…11cm、P<sub>15</sub>…13cm(深さ10cm程度以上のもの)である。この内、P<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>4</sub>・P<sub>5</sub>が柱穴であり、P<sub>6</sub>・P<sub>7</sub>・P<sub>8</sub>・P<sub>15</sub>も柱穴の可能性はある。

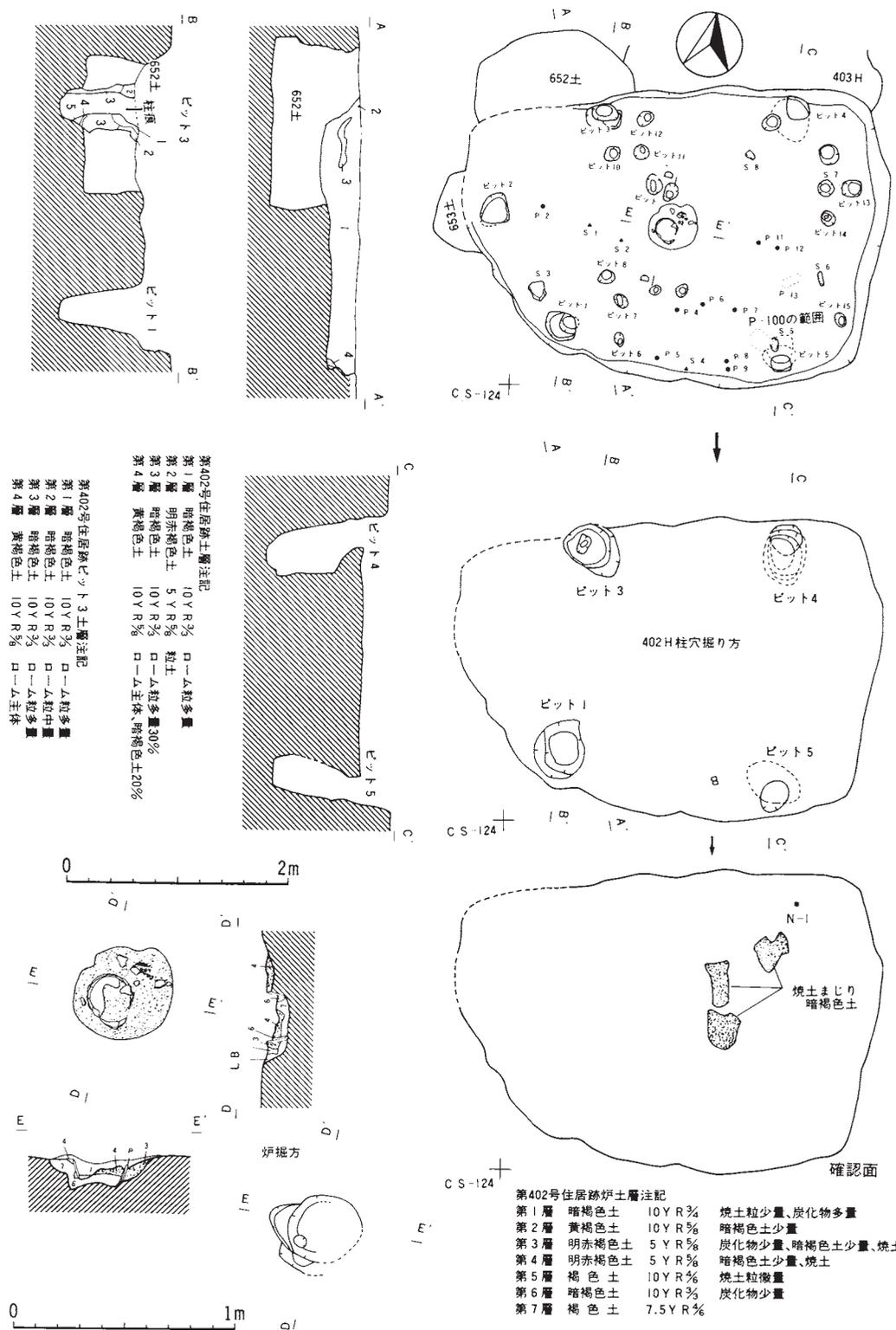
〈炉〉 床のほぼ中央にある土器片を埋設した炉である。

〈特殊施設〉 第653号土壇は覆土の若干の違いから別遺構としているが、本住居跡の特殊施設の可能性もある。

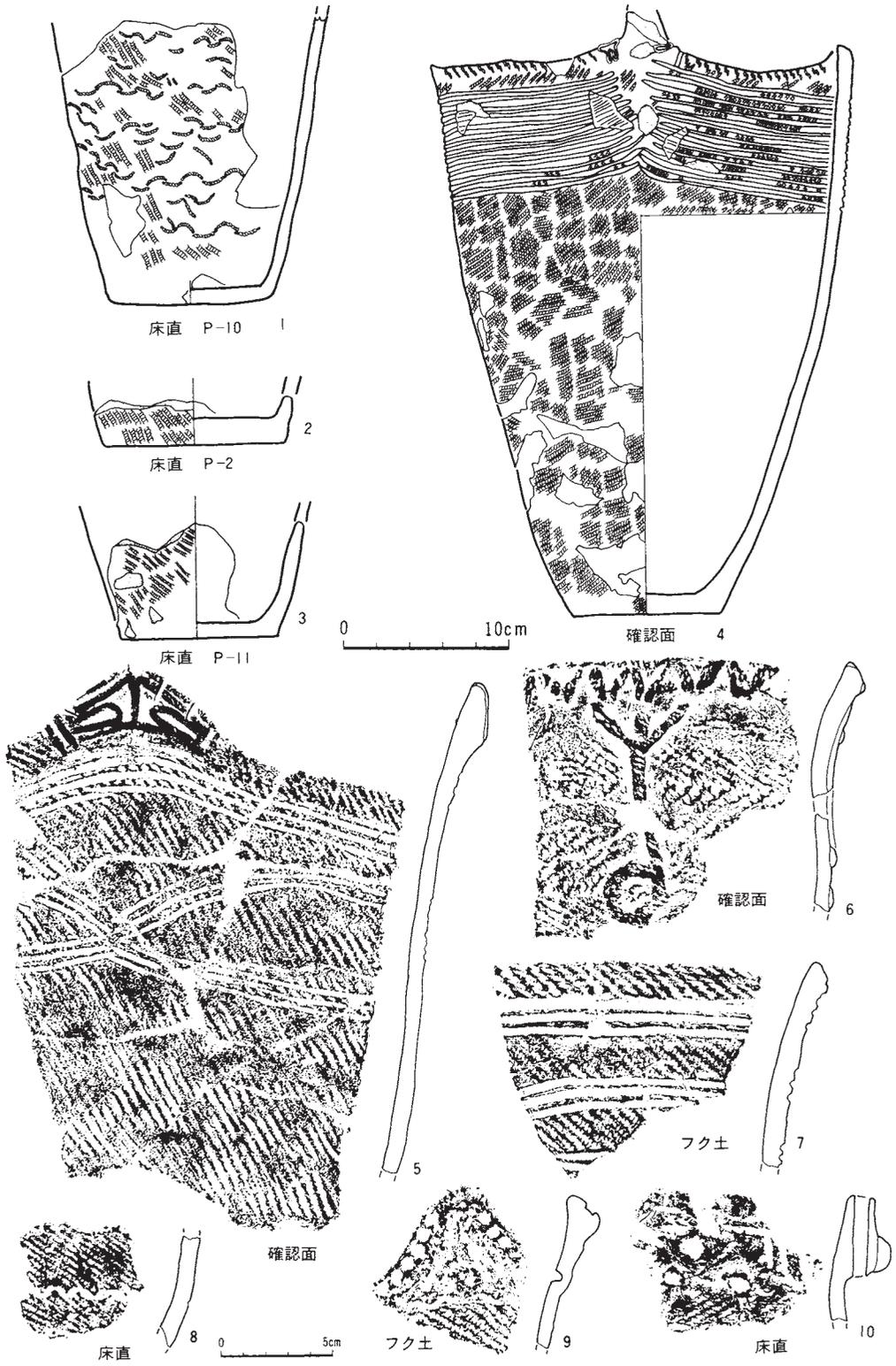
〈堆積土〉 ローム混じりの暗褐色土が主体である。確認面に焼土混じりの暗褐色土ある。

〈出土遺物〉 床面直上から円筒上層d・e式土器が出土している。石器は床面直上から不定形石器3点、石斧1点、覆土から石鏃4点、石篋1点、不定形石器6点、確認面から石鏃1点、敲磨器類1点、総数17点出土している。確認面に骨片があった。

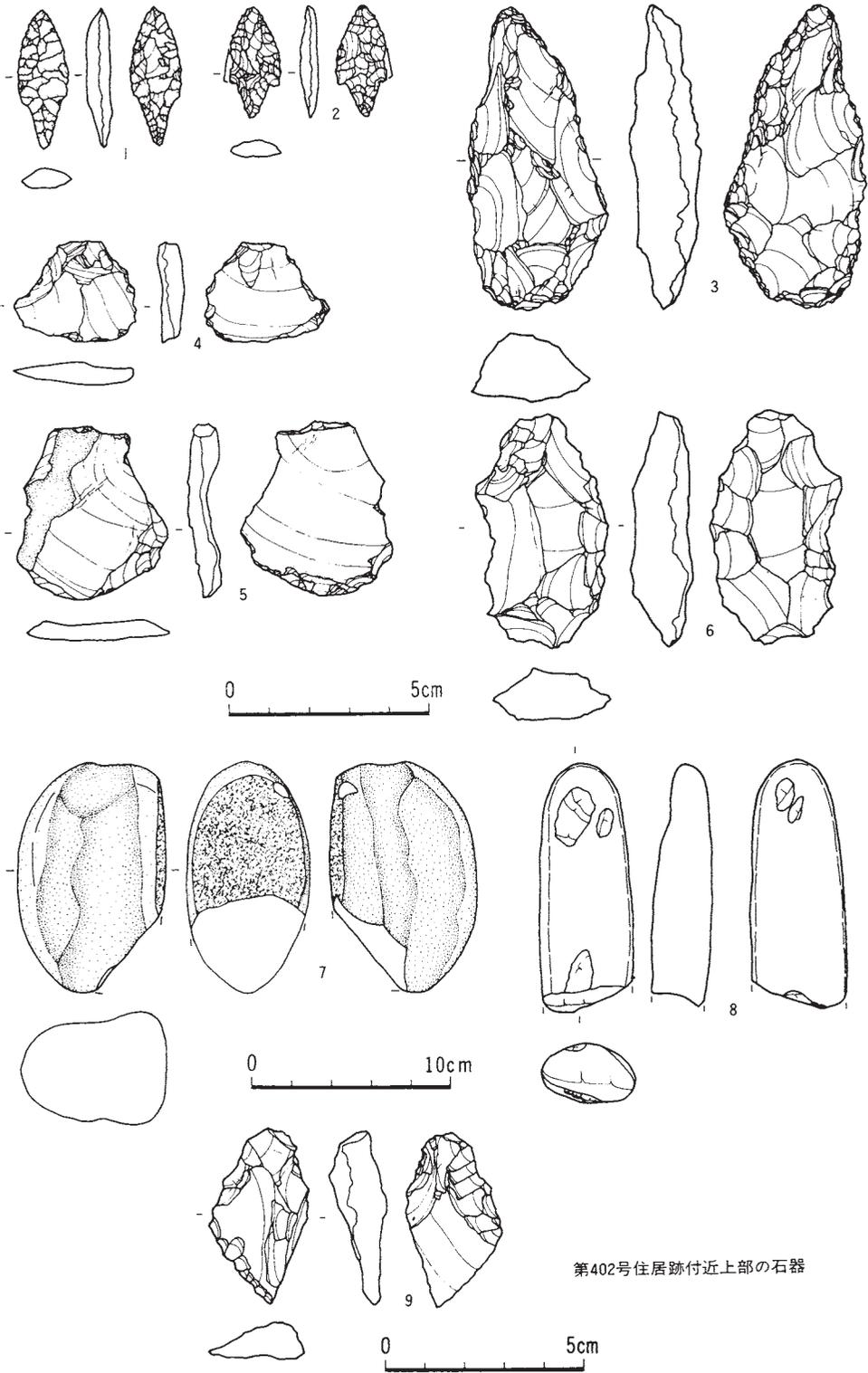
〈小結〉 本住居跡は床面直上から出土した土器から円筒上層d・e式期か、それ以前に構築されたものと思われる。  
(坂本 洋一)



第983図 第402号住居跡(1)



第984図 第402号住居跡(2)

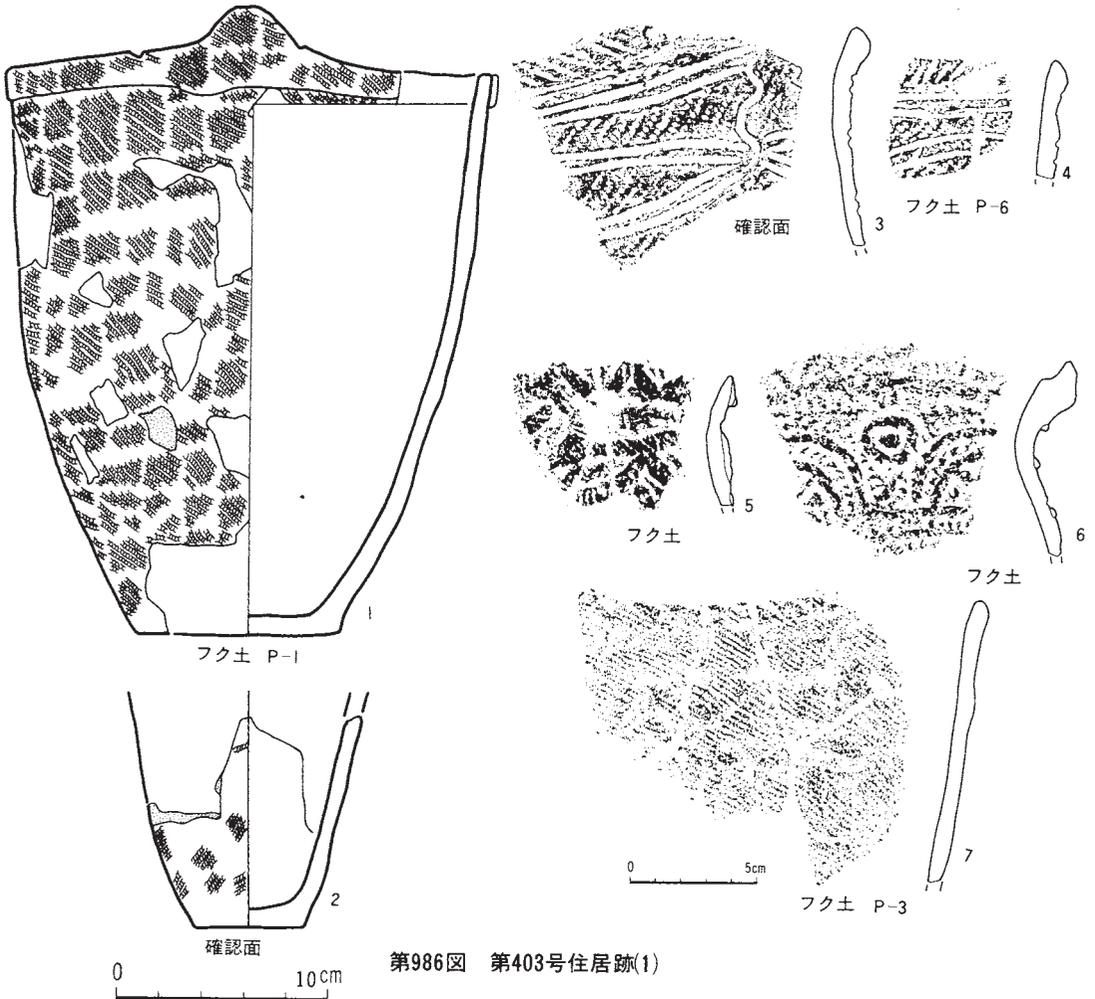
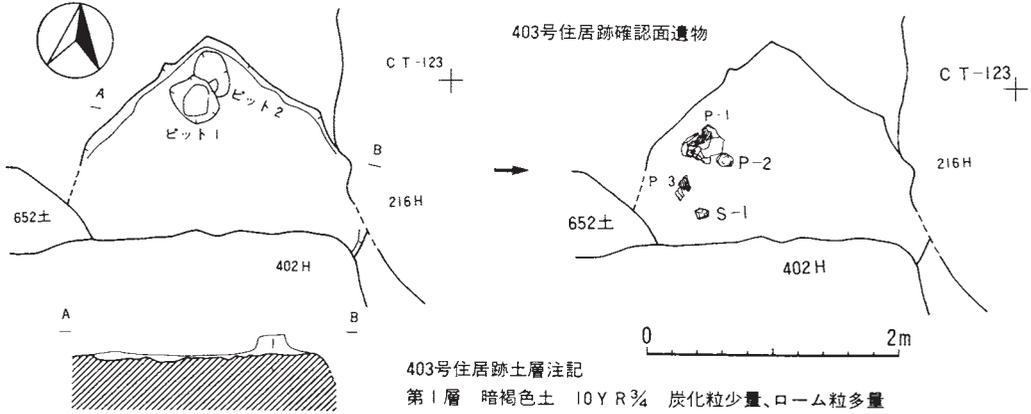


第402号住居跡付近上部の石器

第985図 第402号住居跡(3)

第403号住居跡 (第986・987図)

<位置と確認> CS・CT-123グリッドに位置している。第IV層中に復原可能土器とともに暗褐色土の落ち込みを確認した。



<重複> 第216号・第402号住居跡・第652号土壇と重複している。本住居跡の床が第216号・第402号住居跡の覆土上に検出されなかったことからすれば、本住居跡がこれらの遺構より古いものと思われる。第652号土壇との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 残存部分からすれば1辺2m10cm程の方形のようである。

<壁・床面> 壁高は数cmしか確認できなかった。床は凹凸がある。

<壁溝> 検出されなかった。

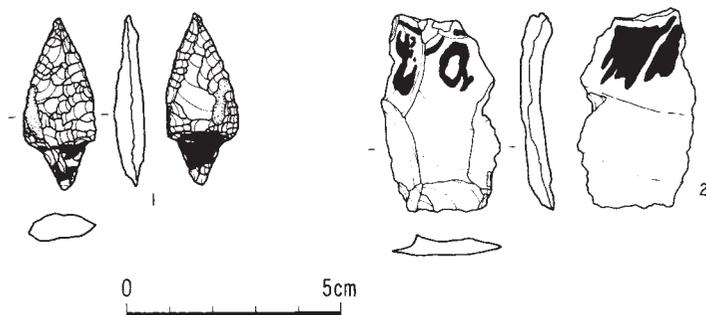
<柱穴> 2個のピットを検出した。P<sub>1</sub>…36cm、P<sub>2</sub>…8cmである。P<sub>1</sub>は柱穴の可能性はある。

<炉> 検出されなかった。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> ローム混じりの暗褐色土が主体である。

<出土遺物> 覆土から円筒上層c式土器、円筒上層d式土器、円筒上層e式土器が出土している。確認面から復原可能な土器が出土した。石器は覆土から不定形石器3点、確認面から石鏃2点出土している。(坂本 洋一)



第987図 第403号住居跡(2)

#### 第404号住居跡 (第988～991図)

<位置と確認> CV-122・123、CW-122・123グリッドに位置している。この付近一帯の暗褐色土の落ち込みの中にあり、トレンチにより確認した。

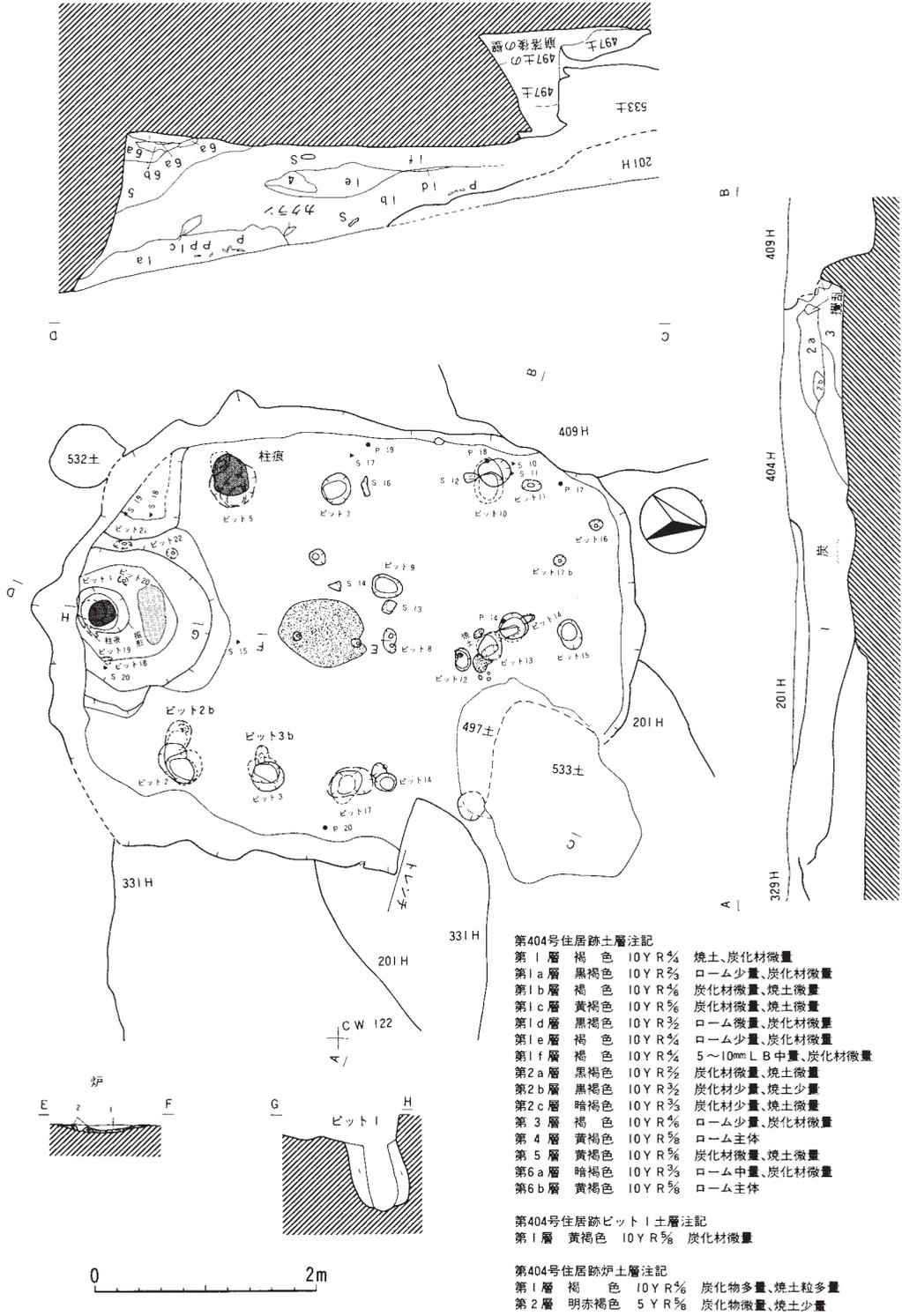
<重複> 本住居跡は第201号・第409号住居跡・第533号土壇より古く、第331号住居跡・第532号土壇より新しい。第438号住居跡・第497号土壇との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 長軸5m40cm、短軸4mの小判型である。

<壁・床面> 壁高は北側が20cm程、南側が50cm程ある。南西隅の床面は第532号土壇があるためか、十数cm低くなっている。

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 23個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…64cm、P<sub>2</sub>…70cm、P<sub>2b</sub>…60cm、P<sub>3</sub>…48cm、P<sub>3b</sub>



第988図 第404号住居跡(1)

…21cm、P<sub>4</sub>…20cm、P<sub>5</sub>…61cm、P<sub>6</sub>…27cm、P<sub>7</sub>…50cm、P<sub>8</sub>…8cm、P<sub>9</sub>…39cm、P<sub>10</sub>…53cm、P<sub>11</sub>…20cm、P<sub>12</sub>…42cm、P<sub>13</sub>…21cm、P<sub>14</sub>…42cm、P<sub>15</sub>…42cm、P<sub>16</sub>…15cm、P<sub>17a</sub>…57cm、P<sub>17b</sub>…15cm、P<sub>18</sub>…12cm、P<sub>19</sub>…10cm、P<sub>20</sub>…22cm、P<sub>21</sub>…7cm、P<sub>22</sub>…7cm(深さ10cm程度以上のもの)である。この内、P<sub>2b</sub>・P<sub>3b</sub>・P<sub>17a</sub>・P<sub>18</sub>～P<sub>22</sub>は床を剥いでから検出されたものである。P<sub>1</sub>は特殊施設に伴う柱穴であり、柱痕が確認された。

＜炉＞ 床のほぼ中央にある地床炉で、長軸80cm、短軸60cmの範囲で赤変している。

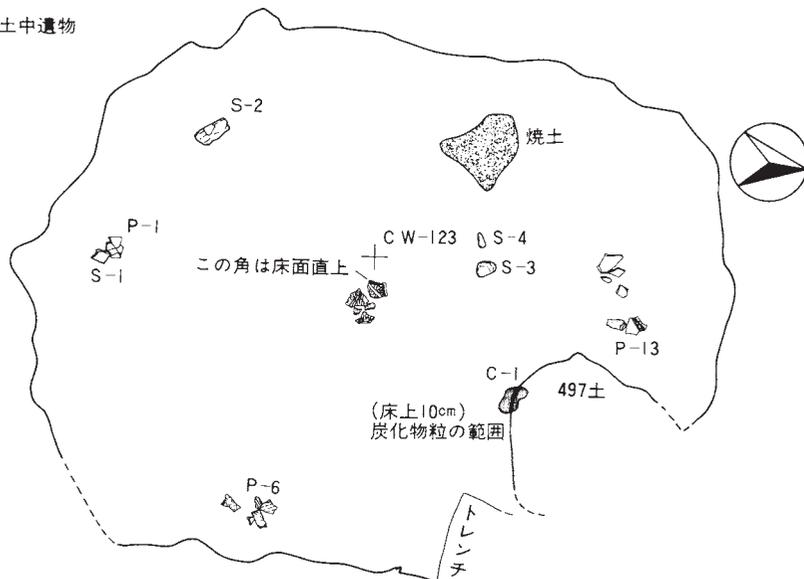
＜特殊施設＞ 南側に位置する。中央壁際の大きなピットのほか、数個の小さなピットもある。

＜堆積土＞ ローム混じりの褐色土が主体である。レンズ状の堆積状態である。

＜出土遺物＞ 床面直上から円筒上層e式土器が出土している。石器は床面から石鏃1個、石錐1点、床面直上から石鏃1個、不定形石器1点、覆土から石鏃1点、石槍4点、不定形石器12点、石斧1点、石皿・台石類1点、総数23点出土している。特殊施設の北側には10mm前後の小礫の密集する部分が見られた。

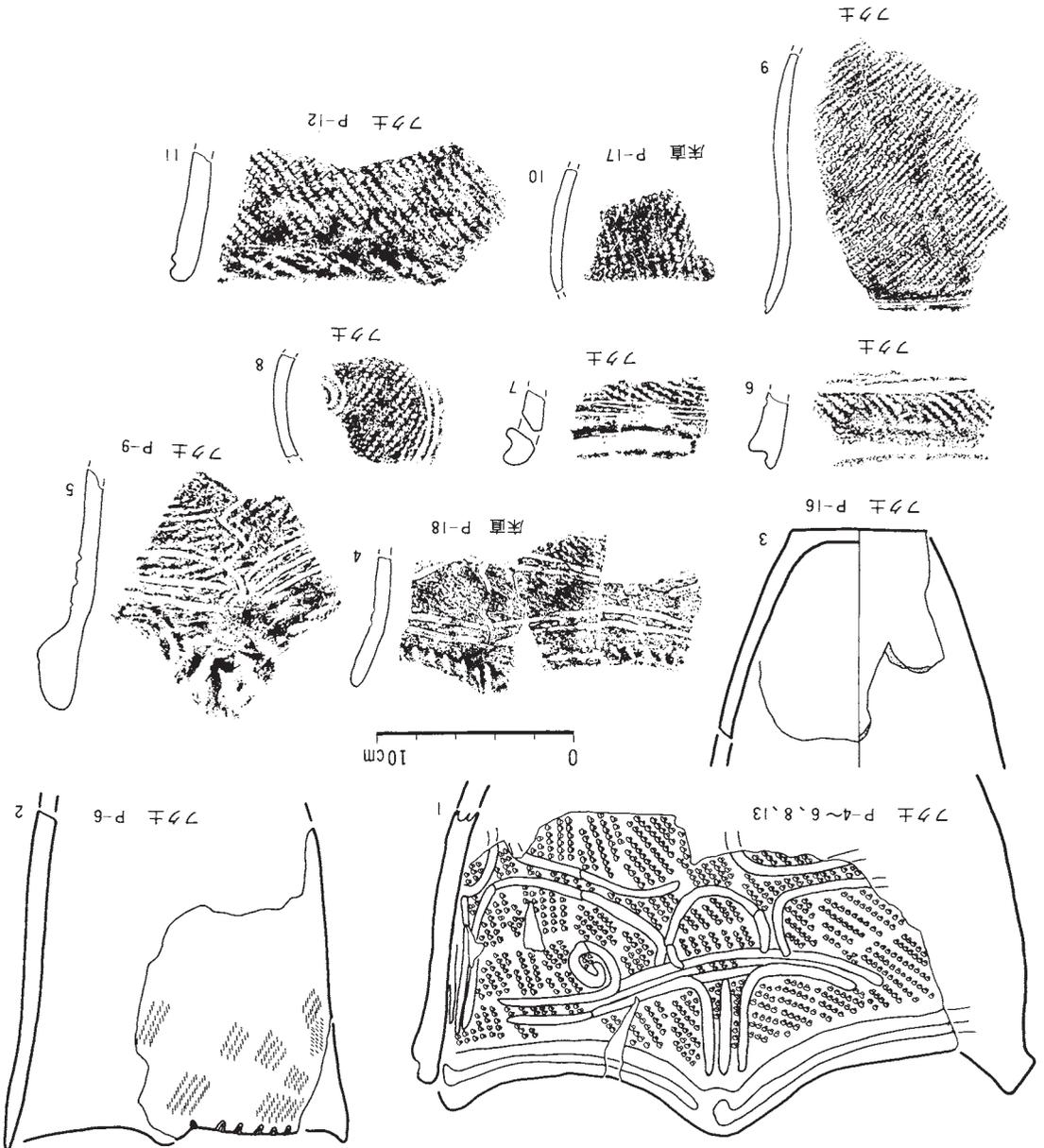
＜小結＞ 本住居跡は床面直上の土器から円筒上層e式期か、それ以前に構築された可能性が高い。  
 (坂本 洋一)

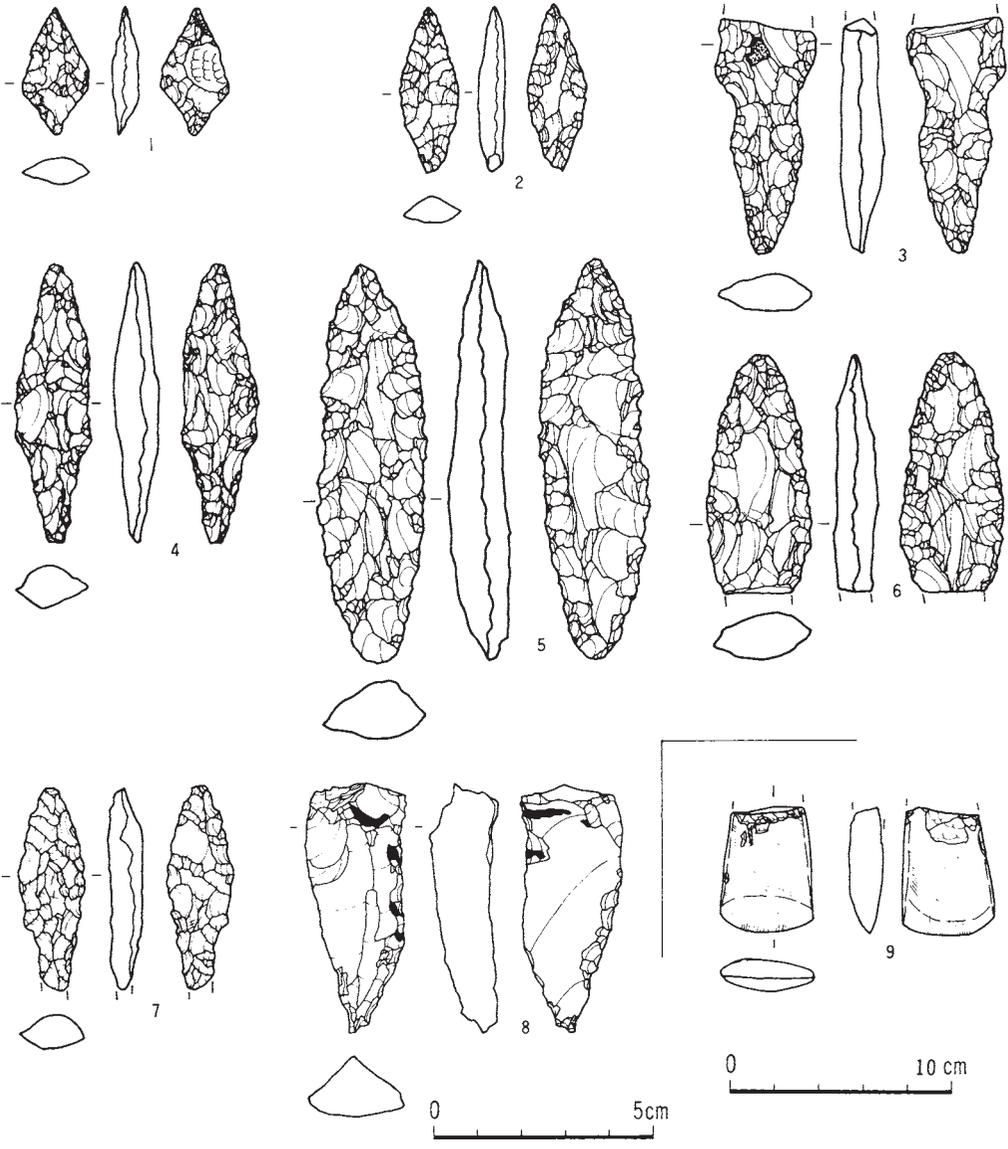
第404号住居跡覆土中遺物



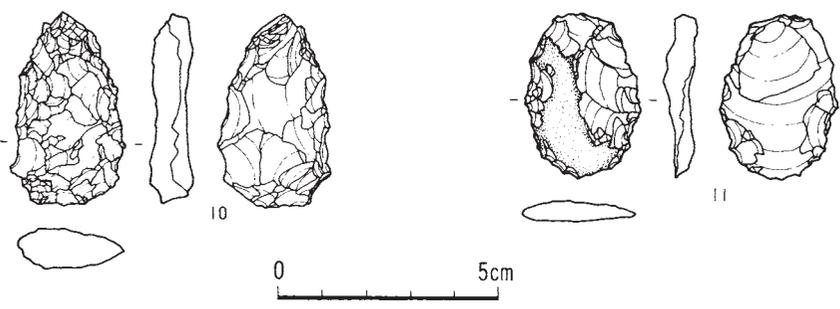
第989図 第404号住居跡(2)

第990図 第404号住居跡(3)





第404号住居跡付近上部の石器



第991図 第404号住居跡(4)

第406号住居跡（第786・787・992図）

＜位置と確認＞ CU-120・121グリッドに位置している。この一帯の暗褐色土の落ち込みの中でトレンチにより本住居跡を確認した。

＜重複＞ 第326号・第340号・第437号住居跡・第658号土壇と重複している。本住居跡は第658号土壇よりも新しい。第326号・第340号住居跡とは、本住居跡の床が低いにもかかわらず本住居跡の覆土にこれらの住居跡の貼り床が見られなかったことから、これらの住居跡よりも新しいのではないと思われる。また、第437号住居跡の覆土中に本住居跡の貼り床が見られないことからすれば、本住居跡の方が古いと思われる。

＜平面形・規模＞ 北半が欠失しているため全体はわからないが、南壁が3m20cmの方形のように思われる。

＜壁・床面＞ 壁高は10～20cmである。床は西側が東側に比べて数cm低い。

＜壁溝＞ 検出されなかった。

＜柱穴＞ 4個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…11cm、P<sub>2</sub>…40cm、P<sub>3</sub>…17cm(深さ10cm程度以上のもの)でP<sub>2</sub>は柱穴と考えられる。P<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>は床を剥いで確認した。

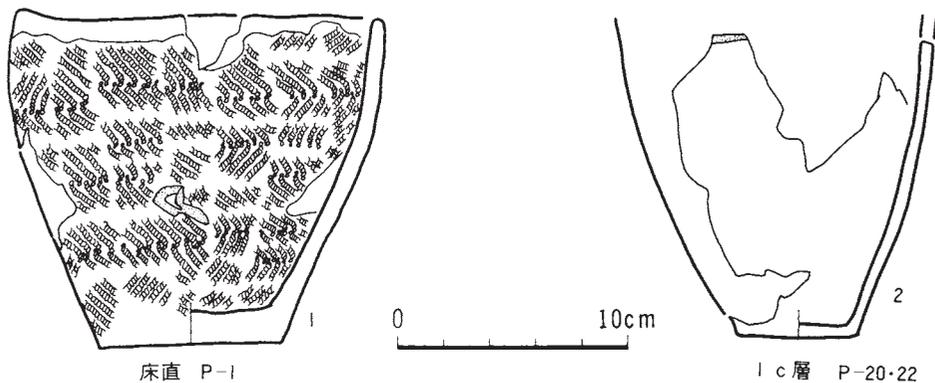
＜炉＞ 床面東端に床の赤変しているところがあるが、炉とすれば壁に近すぎる。

＜特殊施設＞ 検出されなかった。

＜堆積土＞ 残存部分ではローム混じりの暗褐色土である。

＜出土遺物＞ 床面直上に鉢形土器下半部が出土した。石器は覆土から石皿・台石類1点出土している。

＜小結＞ 床面直上の土器から本住居跡は円筒上層d・e式期か、それ以前に構築された可能性が高い。(坂本 洋一)

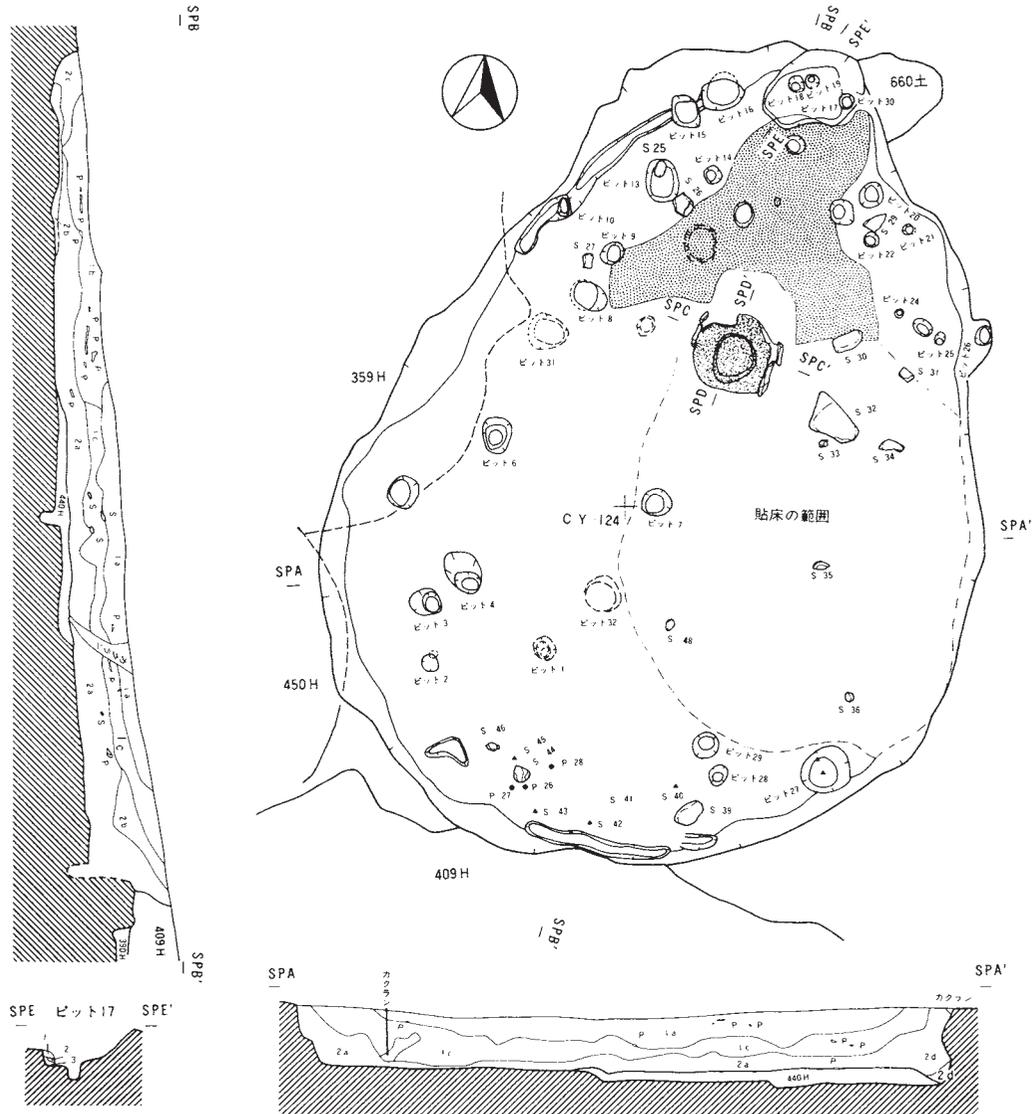


第992図 第406号住居跡

第408号住居跡（第993～998図）

<位置と確認> CX-123・124, CY-123・124グリッドに位置している。黒褐色土の落ち込みを確認した。

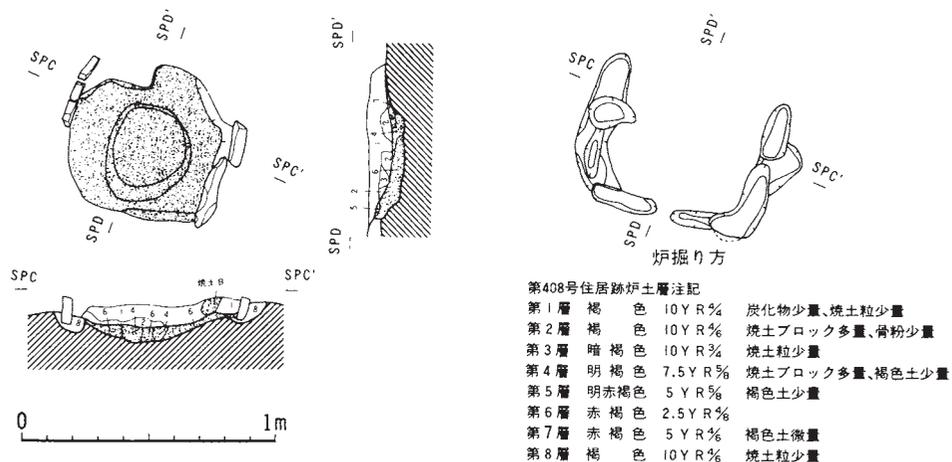
<重複> 第359号、第387号・第409号・第440号、第450号住居跡・第660号土層と重複している。



第408号住居跡ピット17土層注記  
 第1層 黄褐色 10Y R 5/6 炭化物微量  
 第2層 褐色 10Y R 3/6 炭化物多量、焼土粒多量  
 第3層 暗褐色 10Y R 3/4 ローム粒多量、炭化物少量

第408号住居跡土層注記  
 第1a層 黒褐色 10Y R 3/6 炭化物少量、焼土少量  
 第1b層 暗褐色 10Y R 3/4 (10～20mm)炭化物多量、焼土微量  
 第1c層 暗褐色 10Y R 3/6 炭化物少量、焼土粒微量  
 第2a層 濃い黄褐色 10Y R 5/6 炭化物少量  
 第2b層 暗褐色 10Y R 3/4 炭化物少量・焼土微量  
 第2c層 褐色 10Y R 3/6 焼土微量  
 第2d層 黄褐色 10Y R 5/6 暗褐色土少量

第993図 第408号住居跡(1)



第994図 第408号住居跡(2)

る。いずれの遺構より新しい。

〈平面形・規模〉 長軸6m90cm、短軸5mの卵形である。床面積は22.26㎡である。

〈壁・床面〉 壁高は北側が20cm程、南側が60cm程である。床は北側が南側に比べて十数cm低い。

〈壁溝〉 北西と南端の一部で検出された。幅10～13cm程で、深さは5～15cmである。

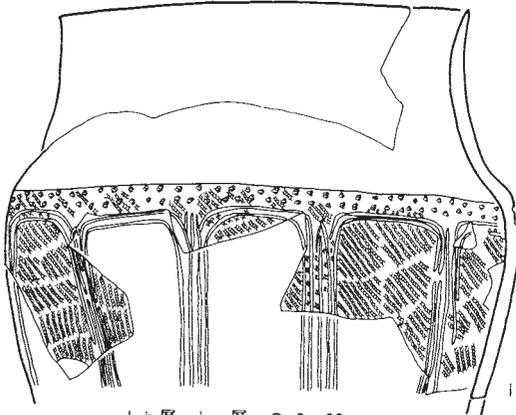
〈柱穴〉 32個のピットを検出した。深さはP<sub>1</sub>…17cm、P<sub>2</sub>…28cm、P<sub>3</sub>…20cm、P<sub>4</sub>…13cm、P<sub>5</sub>…20cm、P<sub>6</sub>…65cm、P<sub>7</sub>…45cm、P<sub>8</sub>…63cm、P<sub>9</sub>…13cm、P<sub>10</sub>…21cm、P<sub>11</sub>…17cm、P<sub>12</sub>…9cm、P<sub>13</sub>…8cm、P<sub>14</sub>…18cm、P<sub>15</sub>…21cm、P<sub>16</sub>…22cm、P<sub>17</sub>…10cm、P<sub>18</sub>…11cm、P<sub>19</sub>…9cm、P<sub>20</sub>…8cm、P<sub>21</sub>…27cm、P<sub>22</sub>…17cm、P<sub>23</sub>…21cm、P<sub>24</sub>…11cm、P<sub>25</sub>…15cm、P<sub>26</sub>…10cm、P<sub>27</sub>…26cm、P<sub>28</sub>…15cm、P<sub>29</sub>…15cm、P<sub>30</sub>…12cm、P<sub>31</sub>…16cm、P<sub>32</sub>…58cm（深さ10cm程度以上のもの）である。この内、P<sub>1</sub>・P<sub>7</sub>・P<sub>11</sub>・P<sub>31</sub>は床を剥いてから検出されたものである。

〈炉〉 床の中央北寄りにある石囲炉である。東西80cm、南北60cmの規模である。扁平な礫が東西に立てられている。掘り方はコの字状を呈していて、礫は一部抜き取られたものと思われる。

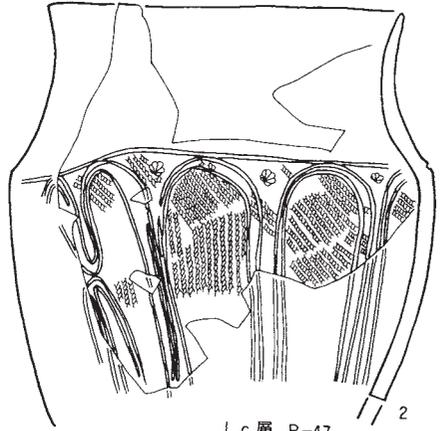
〈特殊施設〉 北端のP<sub>17</sub>が何らかの特殊施設かもしれない。

〈堆積土〉 上半はローム混じりの黒褐色土、下半はローム混じりの暗褐色土が主体で、レンズ状の堆積状態である。

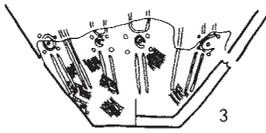
〈出土遺物〉 覆土中および床面・床面直上から土器・石器がかなり出土した。土器は床面から最花式土器、覆土から弥栄平(1)式土器が出土している。石器は床面から石鏃1点、不定形石器1点、台石・石皿類3点、床面直上から敲磨器類1点、台石・石皿類3点、覆土から石鏃9点、石槍2点、石錐2点、石篋1点、ピエス・エスキーユ1点、不定形石器15点、石皿・台石



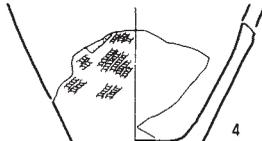
I b層 I c層 P-3、20



I c層 P-47



I c層 P-6



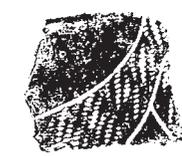
I c層、P-13



I a層、P-8



I層



I層



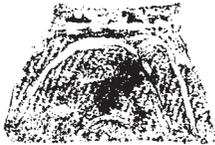
I層下



I層下



床面 P-29



I層



I層下



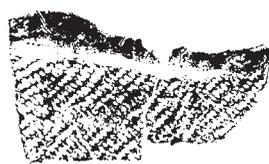
I層



I b層



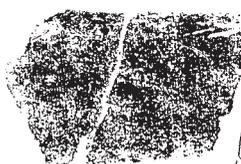
I c層 P-16



I c層



I層



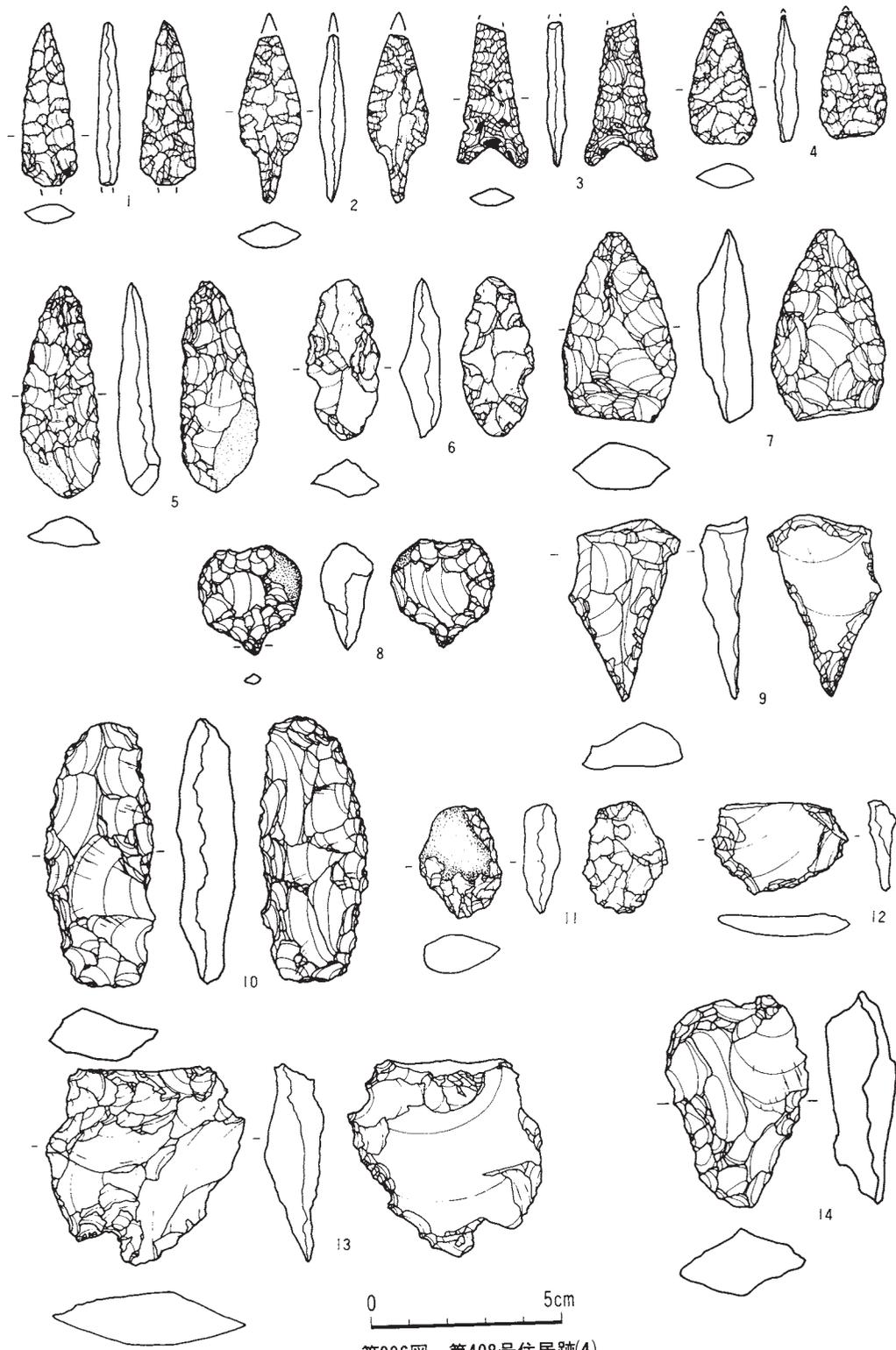
I c層 P-15



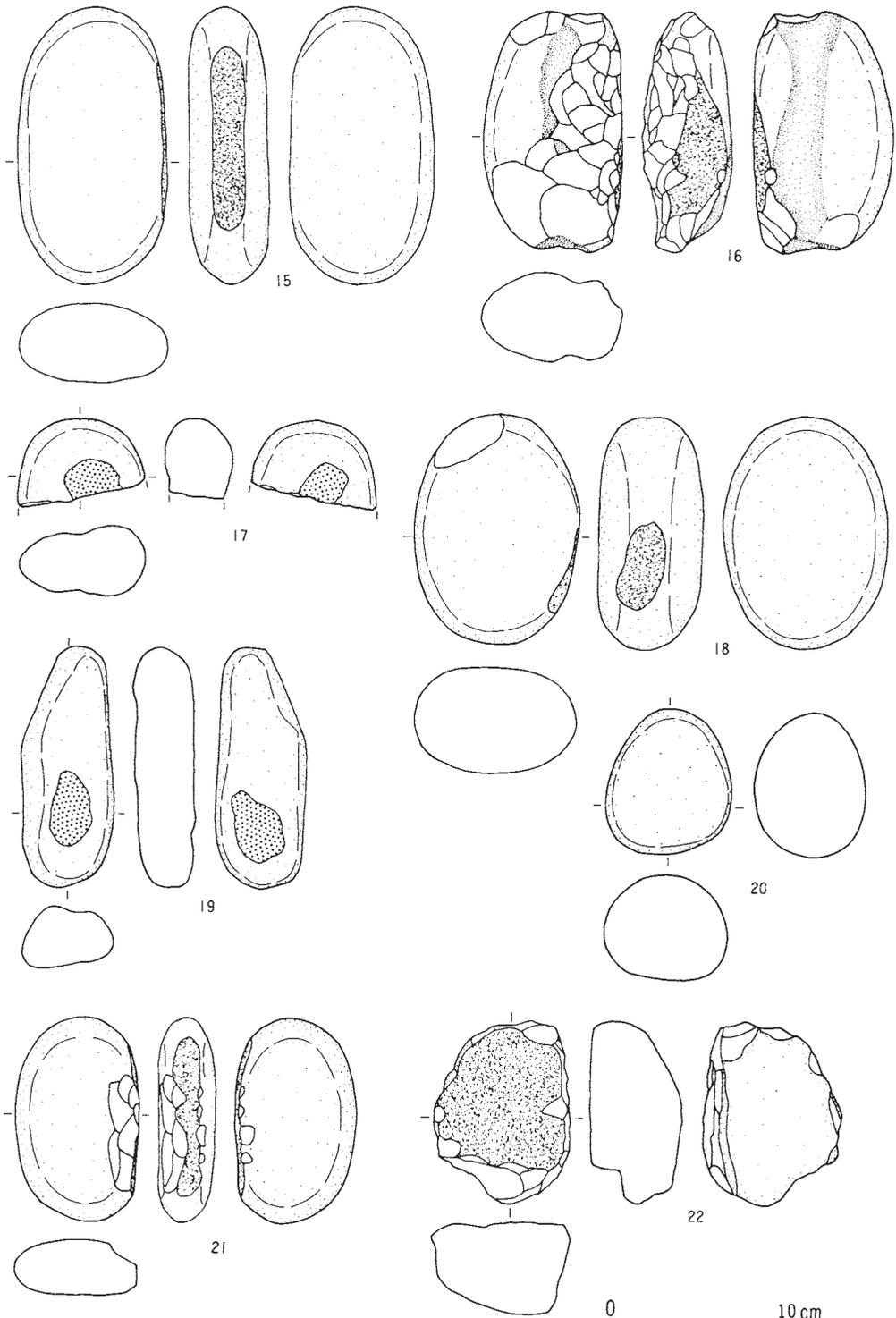
I c層 P-14



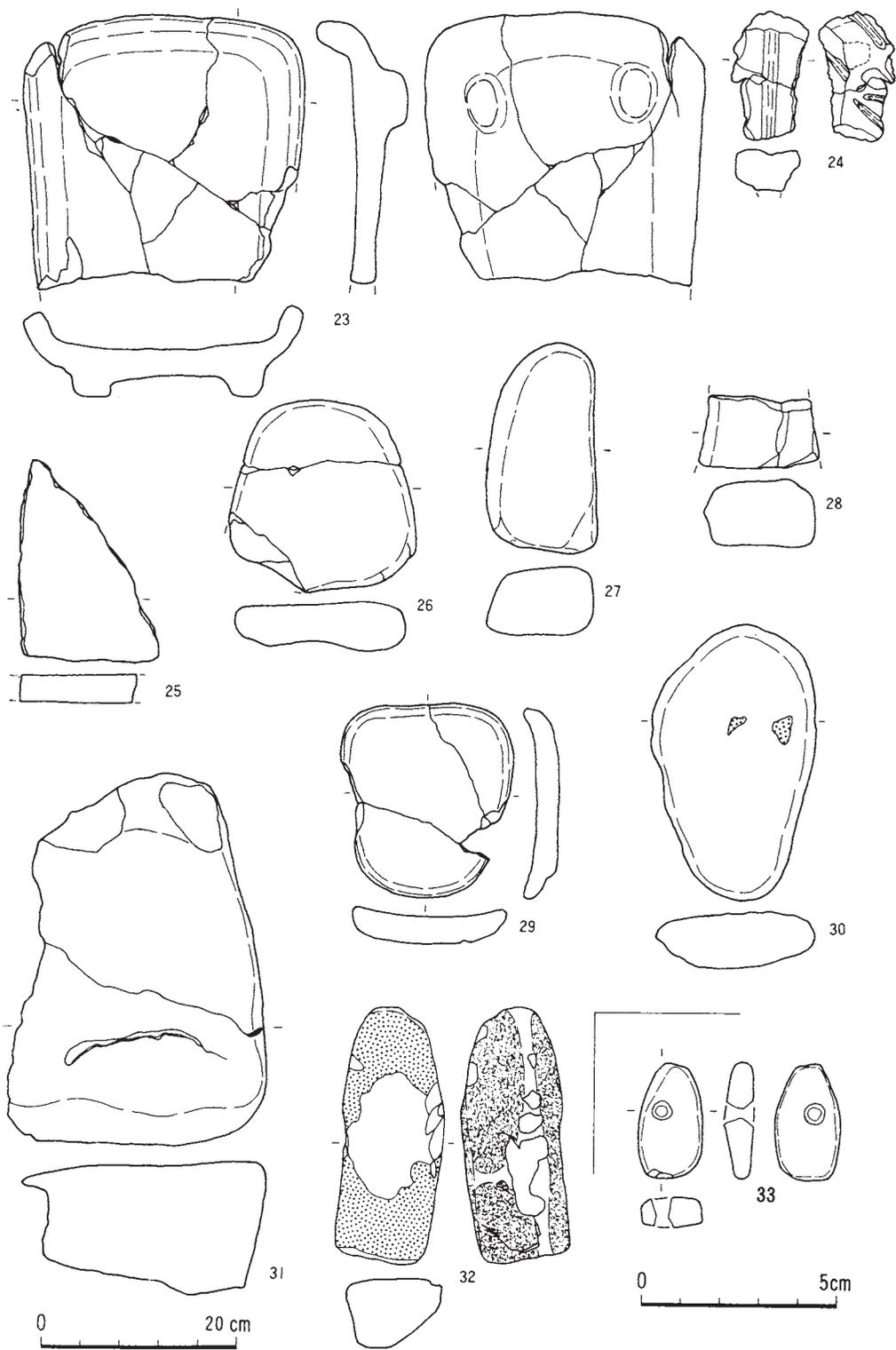
第995图 第408号住居跡(3)



第996图 第408号住居跡(4)



第997图 第408号住居跡(5)



第998图 第408号住居跡(6)

類6点、第1層から敲磨器類6点、第2層より敲磨器類1点、総数52点出土している。また覆土から軽石が1点、第1b層からヒスイ、コハクが出土している。

<小結> 本住居跡は、床面の土器から最花式期に構築されたものと思われる。

(坂本 洋一)

#### 第409号住居跡 (第999～1003図)

<位置と確認> CW-123・124、CX-123・124グリッドに位置している。黒褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は第408号住居跡より古く、第388号・第389号、第390号・第404号・第438号・第439号住居跡、第802号・第804号土壙より新しい。

<平面形・規模> 長軸7m50cm、短軸4m50cmの楕円形である。床面積は推定で25.22㎡である。

<壁・床面> 壁高は北側が30cm程、南側が70cm程である。床は北側が南側に比べて十数cm低い。

<壁溝> 一部途切れるがほぼ全体を巡っている。幅15～20cm程で、深さは3～13cmである。

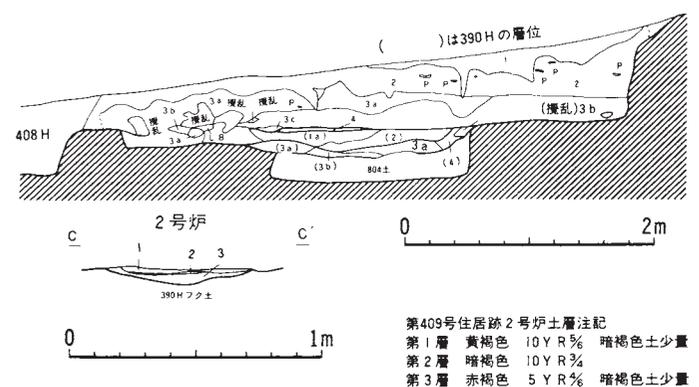
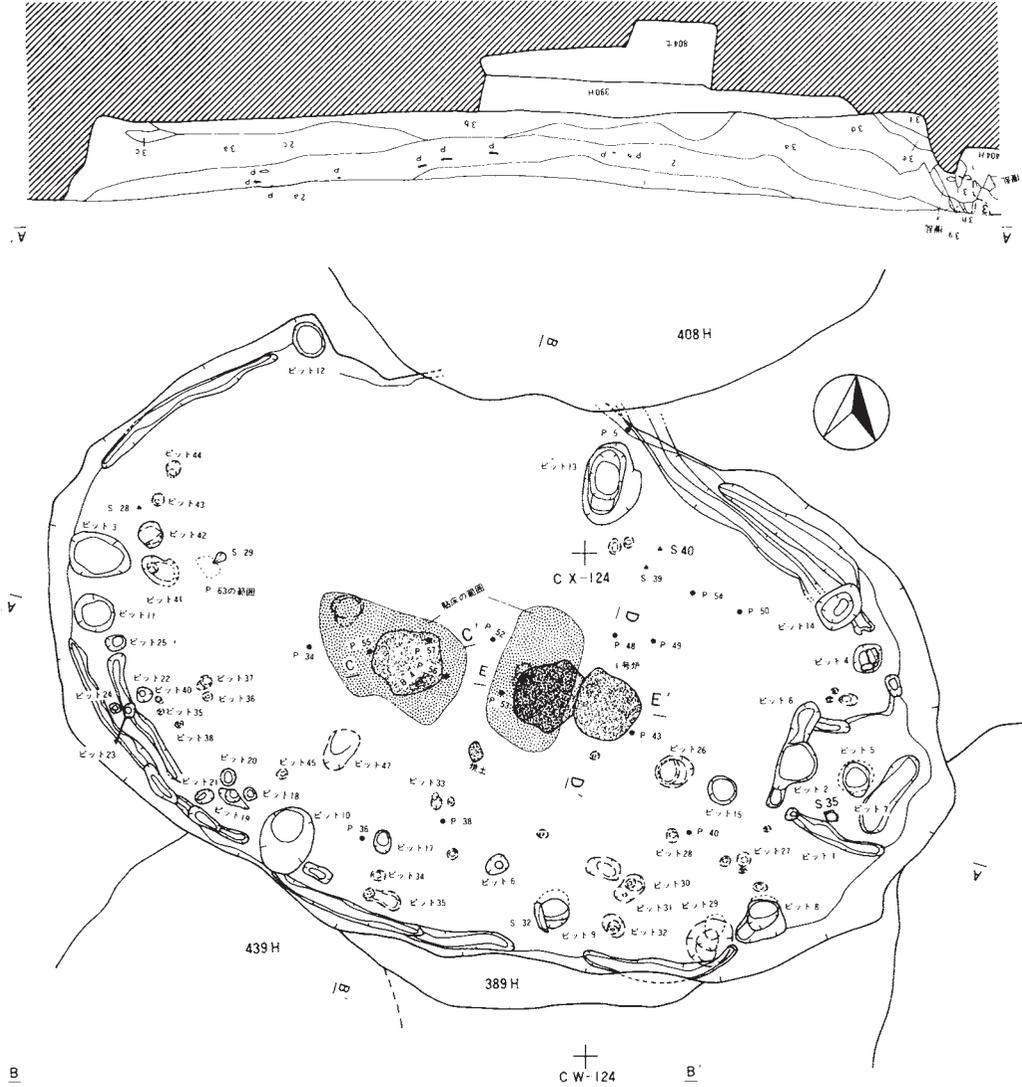
<柱穴> 59個のピットを検出した。深さはP<sub>2</sub>…28cm、P<sub>3</sub>…32cm、P<sub>4</sub>…46cm、P<sub>5</sub>…30cm、P<sub>8</sub>…58cm、P<sub>9</sub>…72cm、P<sub>10</sub>…72cm、P<sub>11</sub>…29cm、P<sub>12</sub>…19cm、P<sub>13</sub>…73cm、P<sub>14</sub>…61cm、P<sub>15</sub>…40cm、P<sub>16</sub>…46cm、P<sub>17</sub>…16cm、P<sub>18</sub>…16cm、P<sub>19</sub>…14cm、P<sub>20</sub>…30cm、P<sub>21</sub>…10cm、P<sub>22</sub>…22cm、P<sub>23</sub>…14cm、P<sub>24</sub>…13cm、P<sub>25</sub>…14cm、P<sub>26</sub>…38cm、P<sub>27</sub>…17cm、P<sub>28</sub>…10cm、P<sub>29</sub>…25cm、P<sub>30</sub>…27cm、P<sub>31</sub>…12cm、P<sub>32</sub>…14cm、P<sub>33</sub>…10cm、P<sub>34</sub>…10cm、P<sub>35</sub>…11cm、P<sub>36</sub>…10cm、P<sub>37</sub>…10cm、P<sub>38</sub>…13cm、P<sub>39</sub>…15cm、P<sub>40</sub>…11cm、P<sub>41</sub>…19cm、P<sub>42</sub>…40cm、P<sub>43</sub>…15cm、P<sub>44</sub>…48cm、P<sub>45</sub>…13cm、P<sub>46</sub>…53cm、P<sub>47</sub>…27cm(深さ10cm程度以上のもの)である。この内、P<sub>26</sub>～P<sub>45</sub>は床を剥いでから検出されたものである。また、P<sub>3</sub>・P<sub>12</sub>・P<sub>29</sub>は柱穴とは考えられない。

<炉> 床のほぼ中央に重複して6基の地床炉が検出された。2号炉が最終段階の炉で、1号炉と4号炉は連続したもので、その上に貼り床がされており2号炉より前の段階のものと思われる。5a・5b・5c号炉はさらにその下位に位置している。5b・5c号炉は重複しており5b号炉は5c号炉の上になっている。

<特殊施設> 東端に柱穴を溝で囲んだ部分がある。溝の深さは、P<sub>1</sub>…5cm、P<sub>6</sub>…18cm、P<sub>7</sub>…14cmである。

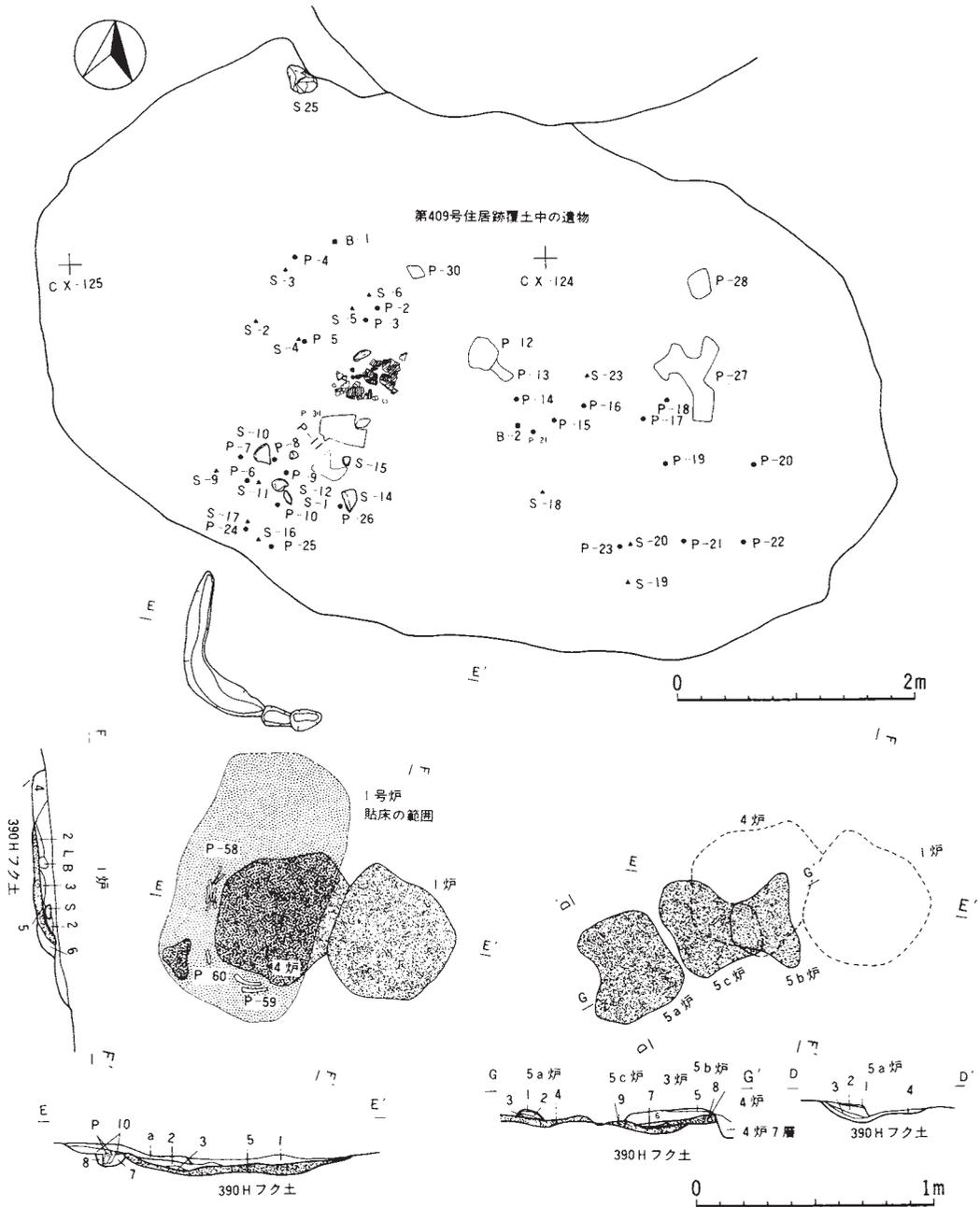
<堆積土> ローム混じりの黒褐色土ないし暗褐色土が主体で、レンズ状の堆積状態である。

<出土遺物> 覆土中および床面・床面直上から土器・石器がかなり出土した。土器は床面から榎林式土器が出土している。石器は床面直上から石槍1点、不定形石器1点、石皿・台石類



- 第409号住居跡土層注記
- |      |      |            |          |
|------|------|------------|----------|
| 第1層  | 黒褐色土 | 10 Y R 2/2 | ローム微量    |
| 第2層  | 黒褐色土 | 10 Y R 2/2 | 焼土微量     |
| 第3a層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3b層 | 暗褐色土 | 10 Y R 3/4 | 炭化物微量    |
| 第3c層 | 暗褐色土 | 10 Y R 3/4 | 炭化物微量    |
| 第3d層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3e層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3f層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3g層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3h層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3i層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | ローム少量    |
| 第3j層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物微量    |
| 第3k層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | 炭化物少量    |
| 第3l層 | 褐色土  | 10 Y R 4/4 | ローム多量    |
| 第4層  | 明黄褐色 | 10 Y R 6/4 | 409 H 貼床 |
- 第409号住居跡2号炉土層注記
- |     |     |            |        |
|-----|-----|------------|--------|
| 第1層 | 黄褐色 | 10 Y R 6/4 | 暗褐色土少量 |
| 第2層 | 暗褐色 | 10 Y R 3/4 |        |
| 第3層 | 赤褐色 | 5 Y R 6/4  | 暗褐色土少量 |

第999図 第409号住居跡(1)



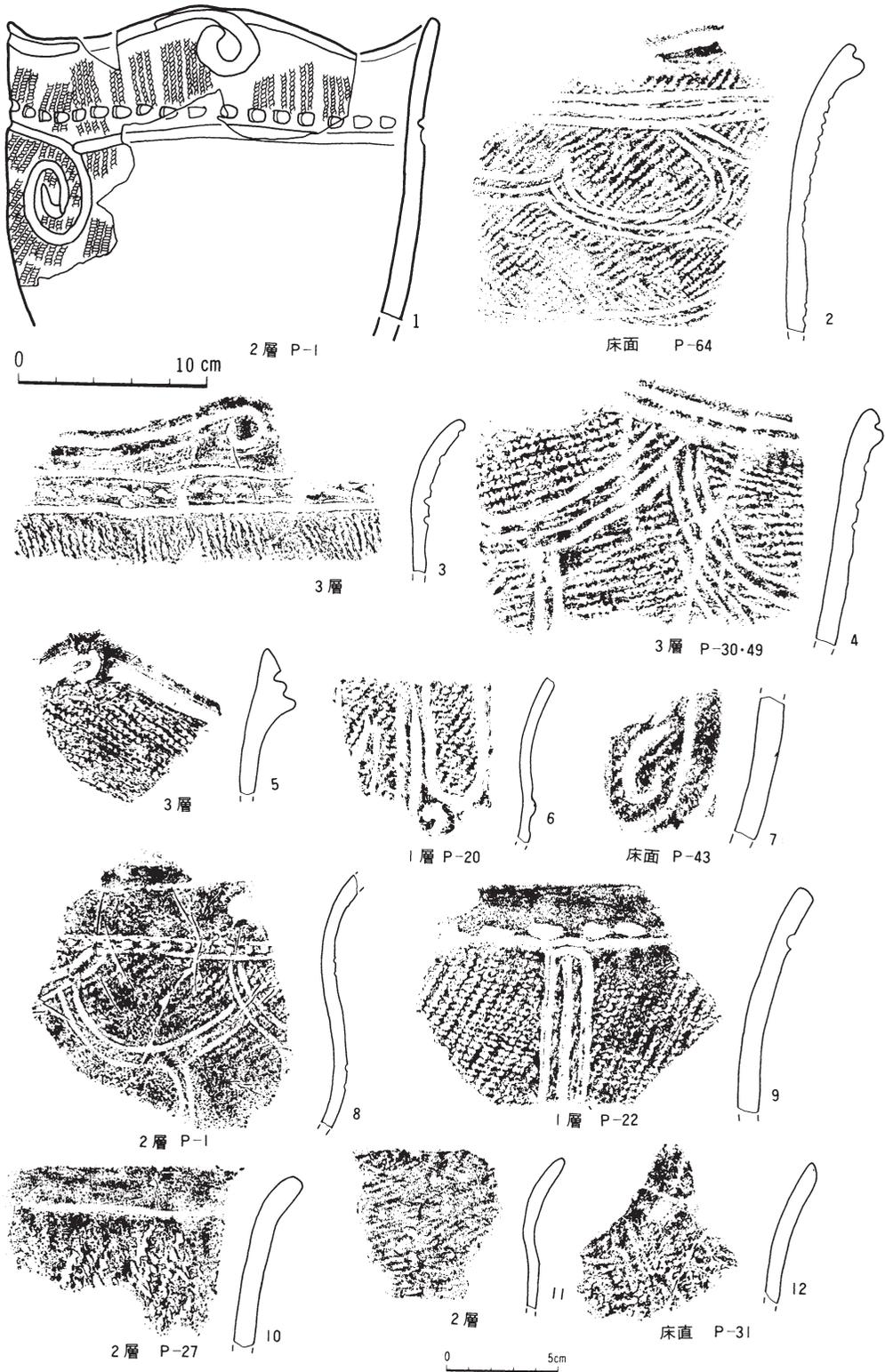
第409号住居跡1号炉土層注記

第1層	褐色土	10Y R%	焼土微量、炭化物微量
第2層	黒褐色土	10Y R%	炭化物多量
第3層	赤褐色土	5 Y R%	暗褐色土少量
第4層	明褐色土	7.5 Y R%	(10~20mm) L B 多量
第5層	明赤褐色土	5 Y R%	1-4号炉の燃焼部
第6層	明褐色土	10Y R%	焼土粒少量、炭化物多量
第7層	褐色土	10Y R%	焼土粒少量、炭化物多量
第8層	褐色土	10Y R%	炭化物少量、暗褐色土少量
第9層	褐色土	10Y R%	暗褐色土少量
第10層	褐色土	10Y R%	貼床下の埋土

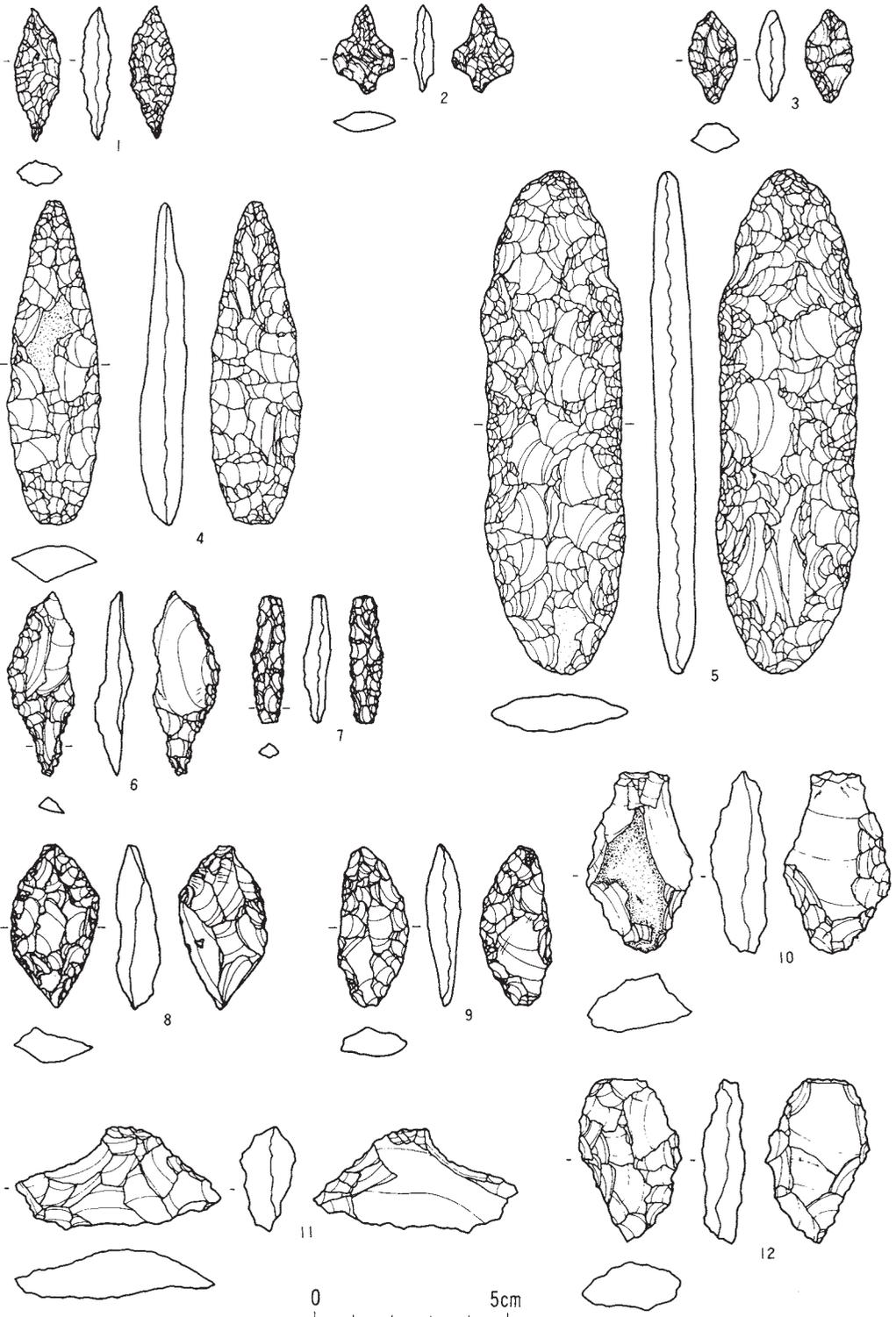
第409号住居跡5a・5b・5c土層注記

第1層	褐色土	7.5 Y R%	焼土
第2層	黄褐色土	10 Y R%	褐色土少量
第3層	褐色土	10 Y R%	炭化物少量
第4層	明褐色土	7.5 Y R%	焼土
第5層	明褐色土	7.5 Y R%	3号炉の焼土
第6層	黄褐色土	10 Y R%	貼床の層
第7層	褐色土	10 Y R%	2号炉下の貼床
第8層	明褐色土	7.5 Y R%	5b号炉の焼土
第9層	赤褐色土	5 Y R%	5c号炉の焼土

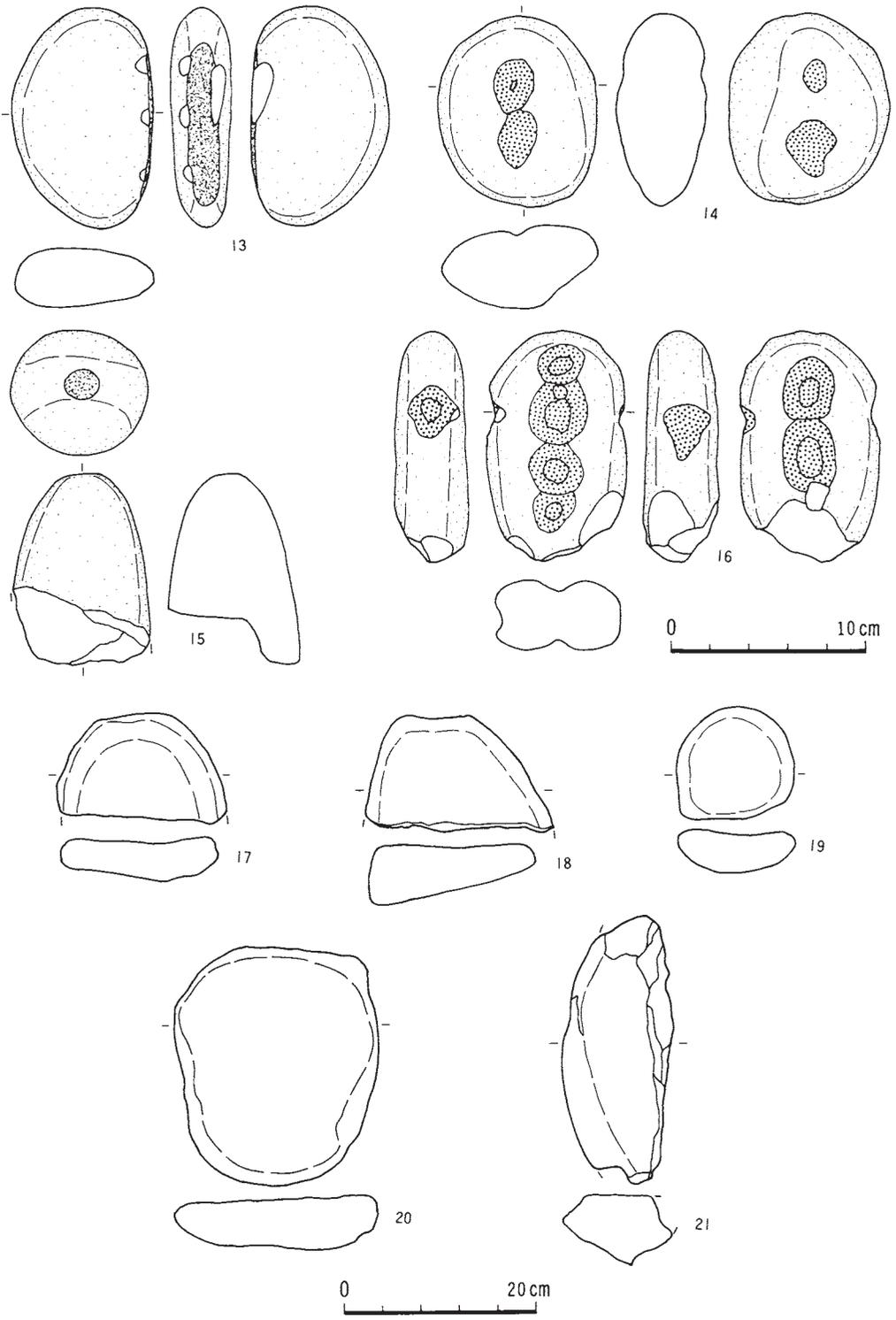
第1000図 第409号住居跡(2)



第1001图 第409号住居跡(3)



第1002图 第409号住居跡(4)



第1003图 第409号住居跡(5)

1点、覆土から石鏃6点、石槍1点、石錐1点、不定形石器25点、敲磨器類1点、石皿・台石類6点、特殊施設から石鏃1点、ピット1から石錐1点、ピット3から不定形石器1点、第1層より敲磨器類1点、第2層より敲磨器類2点、総数51点出土している。

<小結> 床面の土器から榎林式期に構築されたものと思われる。 (坂本 洋一)

#### 第410号住居跡 (第786・787図)

<位置と確認> CU-121・122グリッドに位置している。この付近一帯の暗褐色土の落ち込みの中で確認した。

<重複> 第324号・第325号住居跡と重複している。第325号住居跡よりも古いものと思われる。第324号住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> かなり切られているが、残存部分から長軸2m10cm程の楕円形と思われる。

<壁・床面> 壁高は20cm弱である。床は北側が南側に比べて十数cm低い。

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 床面で1個のピットを検出した。深さは10cm程である。

<炉> 検出されなかった。床面にわずかに赤変している部分がある。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> ローム混じりの褐色土が主体である。

<出土遺物> 床面から1点の礫が出土した。 (坂本 洋一)

#### 第411号住居跡 (第1004・1005図)

<位置と確認> CU-118グリッドに位置する。第II層下面で暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第412号住居跡、第759、762号土壌より新しく、第347、413号住居跡より古い。

<平面形・規模> 残存部から推測するとほぼ円形と思われる。規模は明確でないが径3m程と思われる。

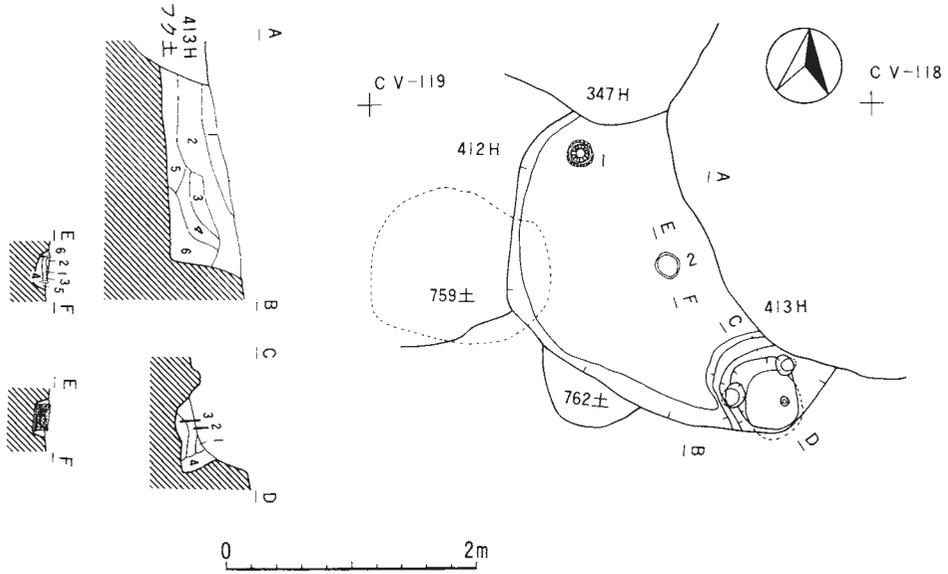
<壁・床面> 残存している壁はほぼ垂直に立ち上がり、堅緻である。壁高は西壁20cm、南壁55cmである。床面は平坦で極めて堅緻である。

<壁溝> 残存部には認められない。

<柱穴> 床面上には確認できなかった。

<炉> 住居跡のほぼ中央で土器埋設炉を1基確認した。床面を12cm程掘り込んで胴部下半のない土器を、埋設したものである。

<特殊施設> 南側の一部は重複により確認できない部分もあるが、貼り付けをほぼ半円状に



第411号住居跡土層注記

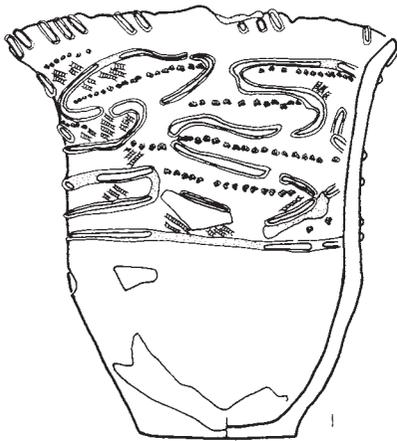
- 第1層 暗褐色 10Y R% φ 5~10mm L B微量
- 第2層 暗褐色 10Y R% φ 5mm炭化材少量
- 第3層 暗褐色 10Y R% φ 5mm炭化材微量
- 第4層 黄褐色 10Y R% ローム質土
- 第5層 褐色 10Y R% φ 10mm L Bまばら
- 第6層 褐色 10Y R% φ 5mm L B少量

第411号住居跡炉土層注記

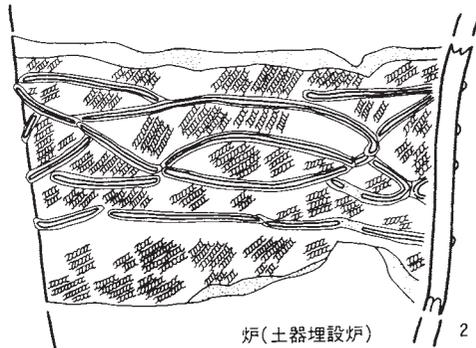
- 第1層 黄褐色 10Y R% ローム質土
- 第2層 黄褐色 10Y R% φ 5mm焼土所々
- 第3層 明赤褐色 2.5Y R% 焼土
- 第4層 黄褐色 10Y R% ローム質
- 第5層 黒褐色 10Y R% ローム粒多量
- 第6層 黄褐色 10Y R%

第411号住居跡特殊施設内ビット土層注記

- 第1層 褐色 10Y R% ローム粒微量
- 第2層 褐色 10Y R% ローム粒中量
- 第3層 褐色 10Y R% ローム粒少量
- 第4層 褐色 10Y R% φ 5mm炭化材少量



床面



炉(土器埋設炉)

0 10cm



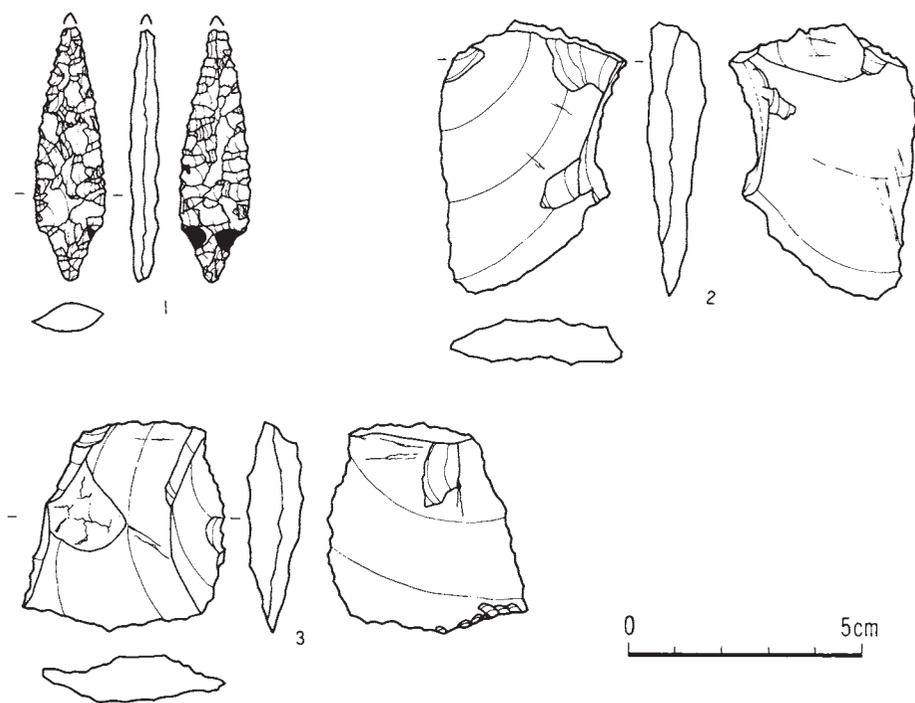
第1004図 第411号住居跡(1)

巡らし、内部は外側へ若干フラスコ状に拡げた特殊施設を確認した。径はおよそ80cmで内部の深さは15cmである。

<堆積土> 6層に分層した。第4層はロームである。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 床面から円筒上層d式土器出土している。土器埋設炉が円筒上層d式土器である。石器は覆土から石鏃1点、不定形石器4点、総数5点出土している。

<小結> 本住居跡は円筒上層d式期に構築されたものと思われる。 (三浦 孝仁)



第1005図 第411号住居跡(2)

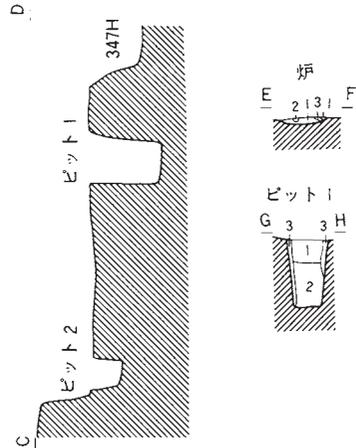
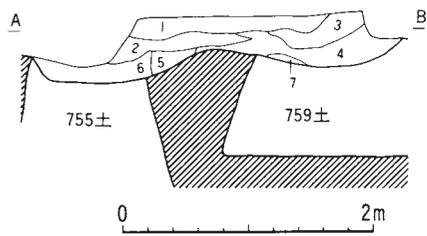
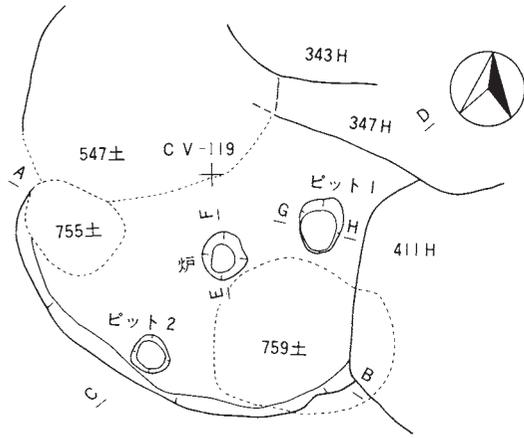
#### 第412号住居跡 (第1006・1007図)

<位置と確認> CU-118, 119グリッドに位置する。第Ⅱ層下面で暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第547, 755, 759号土壙より新しく、第347号, 411号住居跡より古い。

<平面形・規模> 重複が多いため残存部の推測であるが、円形とみられ、径3m程の規模と思われる。

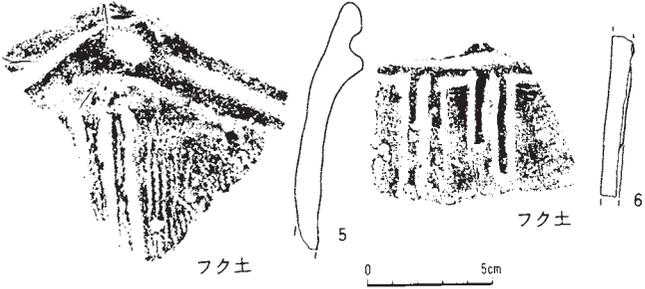
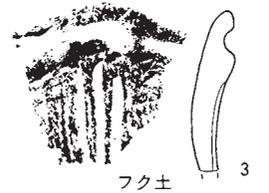
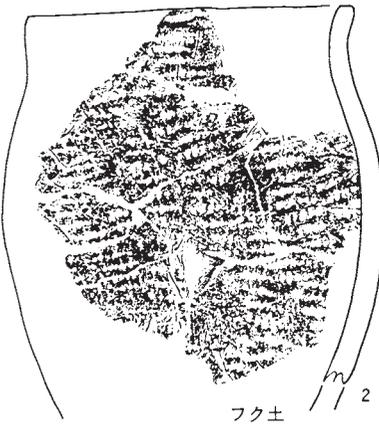
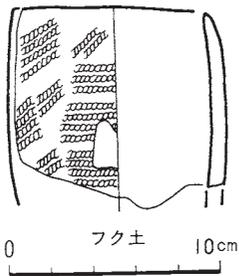
<壁・床面> 残存している南壁はほぼ垂直に立ち上がるが軟弱である。南壁の高さは37cmで



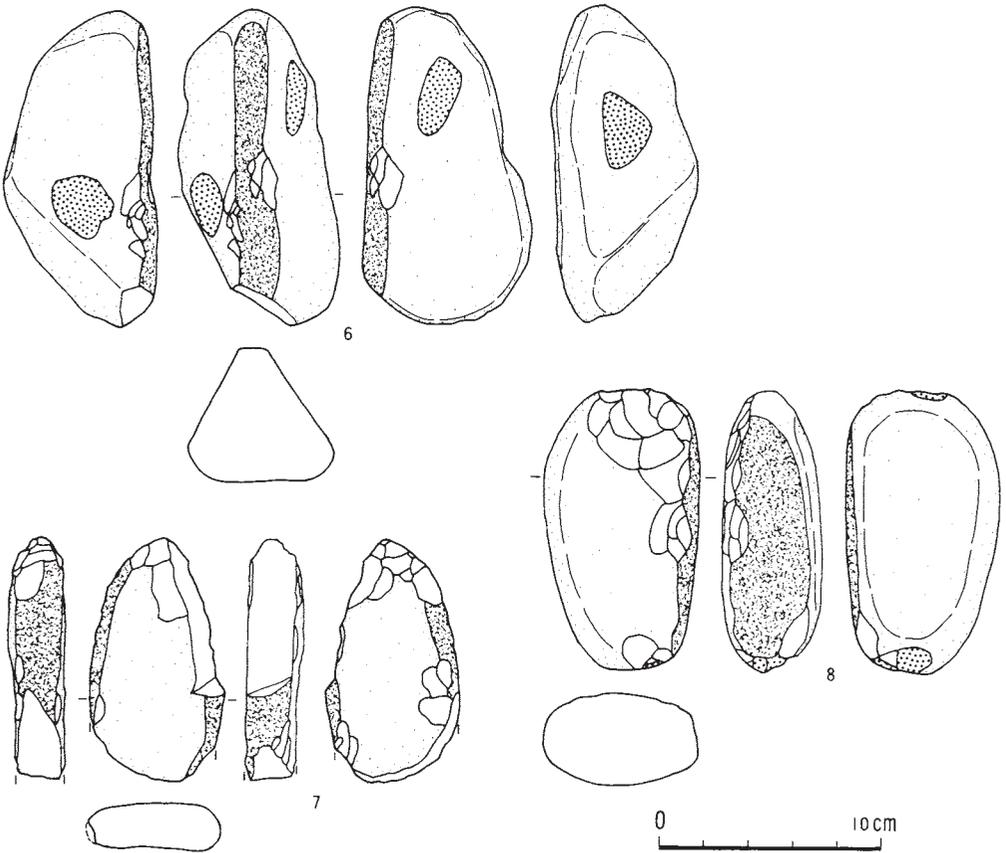
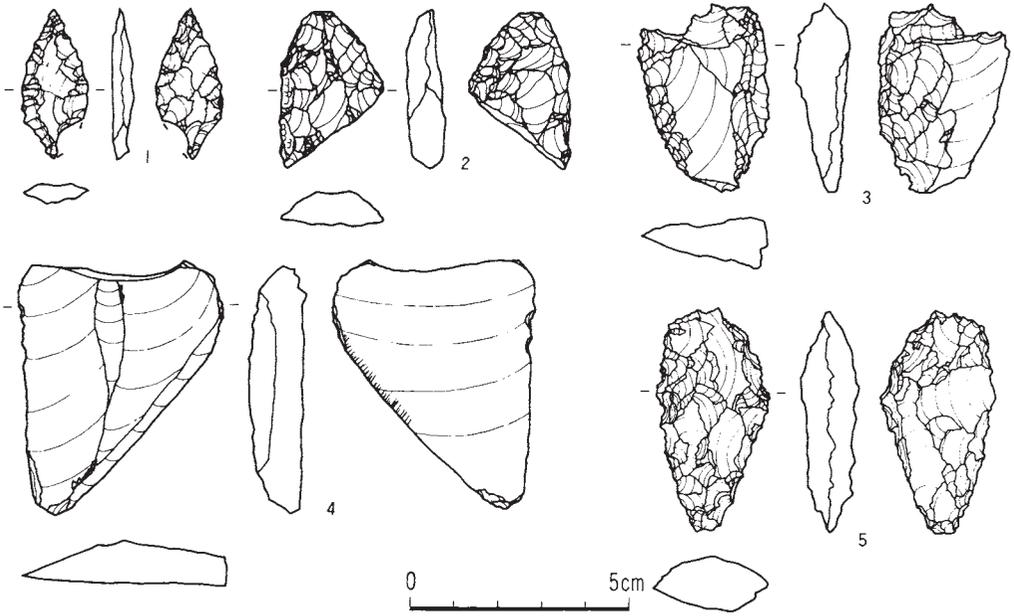
第412号住居跡ピット1土層注記  
 第1層 褐色 10Y R% 焼土微量  
 第2層 褐色 10Y R% 5mm L B少量  
 第3層 黄褐色 10Y R% ローム

第412号住居跡土層注記  
 第1層 暗褐色 10Y R% 5mm炭化材少量  
 第2層 褐色 10Y R% 10mm炭化材まばら  
 第3層 黄褐色 10Y R% 焼土粒微量  
 第4層 暗褐色 10Y R% 5mm炭化材微量  
 第5層 暗褐色 10Y R% 5mm炭化材少量  
 第6層 暗褐色 10Y R% 5~10mm炭化材少量  
 第7層 褐色 10Y R% 焼土粒、炭化粒微量

第412号住居跡炉土層注記  
 第1層 赤褐色 5 Y R% 焼土粒  
 第2層 褐色 10Y R% 焼土粒微量  
 第3層 褐色 10Y R% 焼土粒多量



第1006図 第412号住居跡(1)



第1007图 第412号住居跡(2)

ある。床面は土壌との重複からその部分の落ち込みが激しい。

<壁溝> 残存部には認められなかった。

<柱穴> 床面上から2個のピットを確認した。主柱穴と思われる。ピットの深さはP<sub>1</sub>…56cm、P<sub>2</sub>…22cmである。

<炉> 住居のほぼ中央で地床炉1基を確認した。規模は長軸40cm、短軸35cmである。

<特殊施設> 残存部には認められなかった。

<堆積土> 7層に分層した。全体的に炭化材を含む。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 覆土から榎林式土器が出土している。石器は覆土から石鏃1個、不定形石器11点、敲磨器類3点出土している。

<小結> 本住居跡は重複関係から円筒上層c～d式期に構築されたものと思われる。

(三浦 孝仁)

#### 第413号住居跡 (第1008～1012図)

<位置と確認> CU-117・118、CV-117・118グリッドに位置する。第II層下面で不整な落ち込みを確認した。

<重複> 第347、411、412、415号住居跡より新しい。

<平面形・規模> 重複にため明確ではないが、不整な楕円形で、規模は長軸2 m50cm、短軸1 m70cm程である。床面積は(14.34㎡)である。

<壁・床面> 確認できた壁はほぼ垂直に立ち上がるが、比較的軟弱である。壁高は南西壁20cm、北東壁16cmである。床面は重複部は凹凸があるものの、堅緻である。

<壁溝> 認められない。

<柱穴> 重複部分で確認できなかった。P<sub>9</sub>とP<sub>10</sub>が本住居跡の主柱穴と考えられる。深さはP<sub>9</sub>…72cm、P<sub>10</sub>…66cmである。

<炉> 確認できなかった。

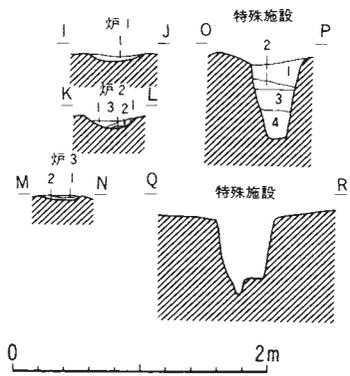
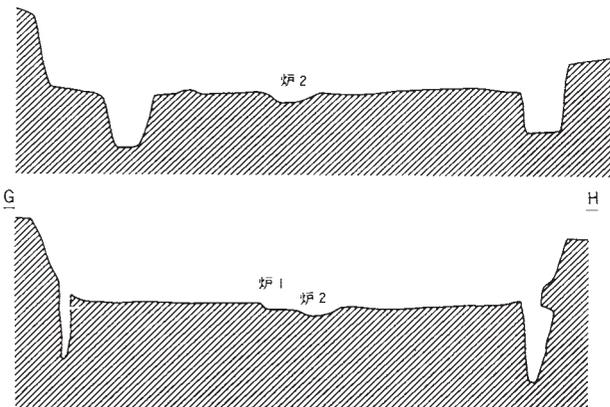
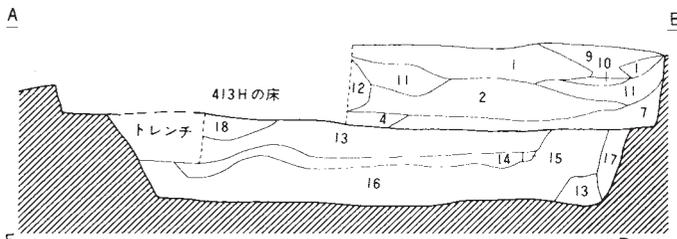
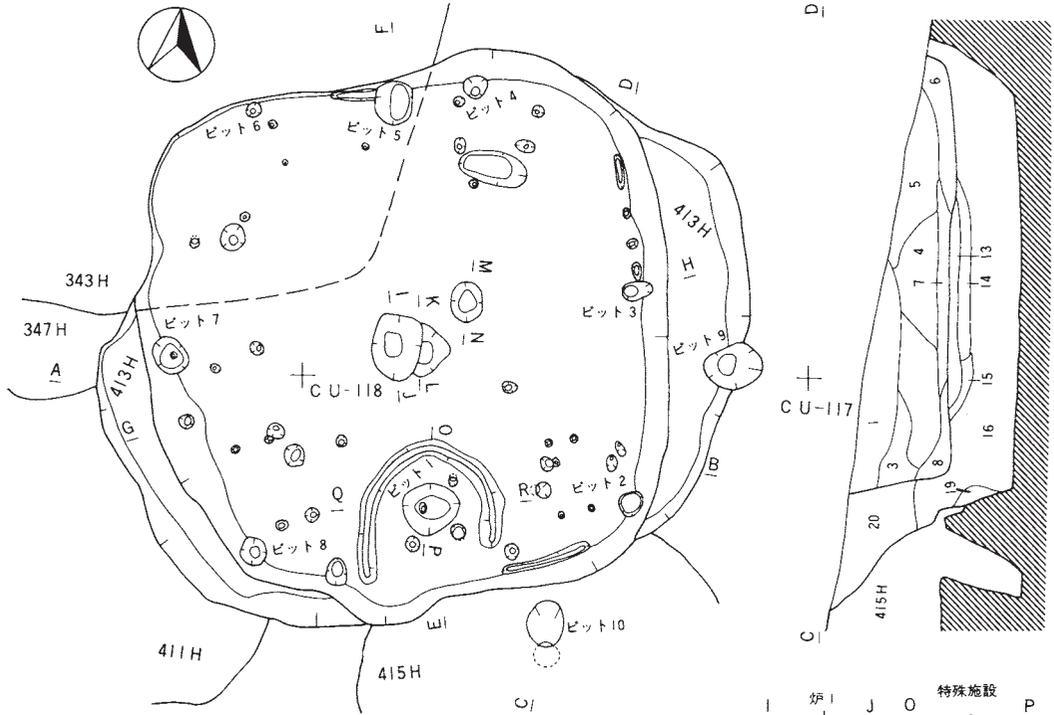
<特殊施設> 認められなかった。

<堆積土> 全体的に細かい炭化粒を含む。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 床面から榎林式土器が出土している。石器は床面直上から不定形石器1点、石皿・台石類2点、覆土から石鏃5点、石槍2点、石筥1点、不定形石器18点、敲磨器類1点、石皿・台石類3点、総数33点出土している。また覆土から軽石が1点出土している。

<小結> 本住居跡は床面から出土した土器から榎林式期に構築されたと思われる。

(三浦 孝仁)



第414号住居跡ピット1土層注記  
 第1層 褐色 10Y R% 炭化粒微量  
 第2層 黄褐色 10Y R% ローム  
 第3層 褐色 10Y R% 炭化粒微量  
 第4層 黄褐色 10Y R% ローム

第414号住居跡炉1土層注記  
 第1層 赤褐色 5Y R% 炭化粒

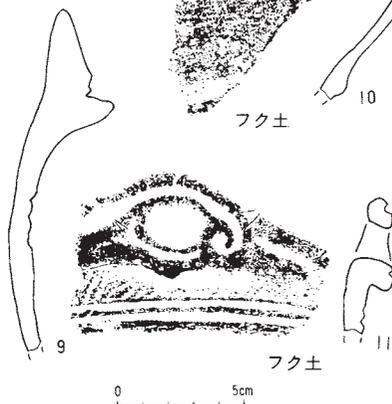
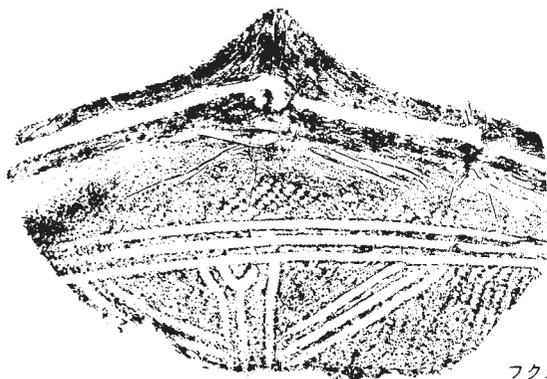
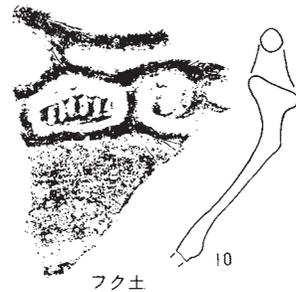
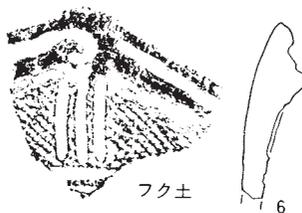
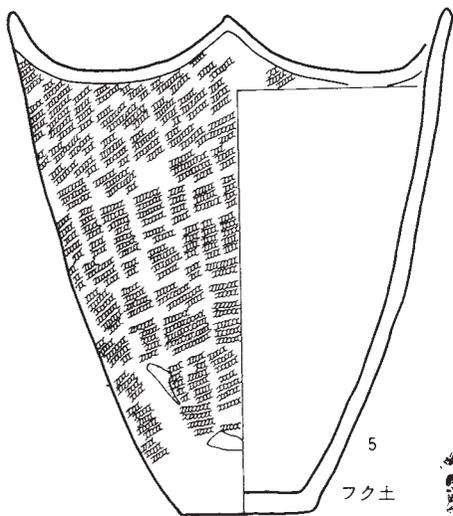
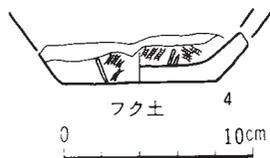
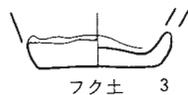
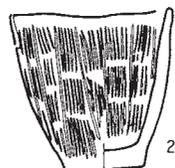
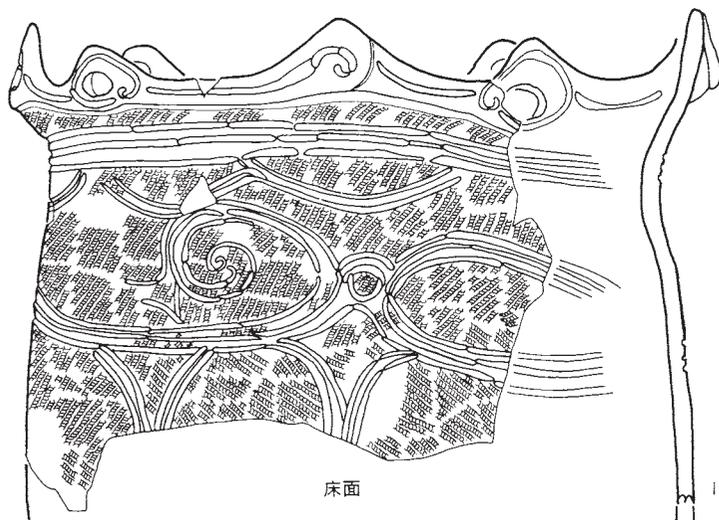
第414号住居跡炉2土層注記  
 第1層 明赤褐色 5Y R% 炭化粒  
 第2層 赤褐色 5Y R% 炭化粒  
 第3層 明褐色 7.5Y R% 炭化粒

第414号住居跡炉3土層注記  
 第1層 赤褐色 5Y R% 炭化粒  
 第2層 赤褐色 5Y R% 炭化粒

第413・414号住居跡土層注記

- 第1層 褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第2層 黒褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第3層 暗褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第4層 暗褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第5層 暗褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第6層 黒褐色 10Y R% 炭化粒少量
- 第7層 黒褐色 10Y R% 炭化粒多量
- 第8層 暗褐色 10Y R% 炭化粒微量
- 第9層 暗褐色 10Y R% 炭化粒微量
- 第10層 褐色 10Y R% ローム多量
- 第11層 暗褐色 10Y R% 炭化粒極微量
- 第12層 暗褐色 10Y R% 炭化粒極微量
- 第13層 暗褐色 10Y R% 炭化粒微量
- 第14層 黒褐色 10Y R% 炭化粒極微量
- 第15層 暗褐色 10Y R% ローム粒微量
- 第16層 褐色 10Y R% 炭化粒微量
- 第17層 黄褐色 10Y R% ローム黄土
- 第18層 黒褐色 10Y R% 炭化粒極微量
- 第19層 暗褐色 10Y R% 炭化粒極微量
- 第20層 暗褐色 10Y R% 炭化粒極微量

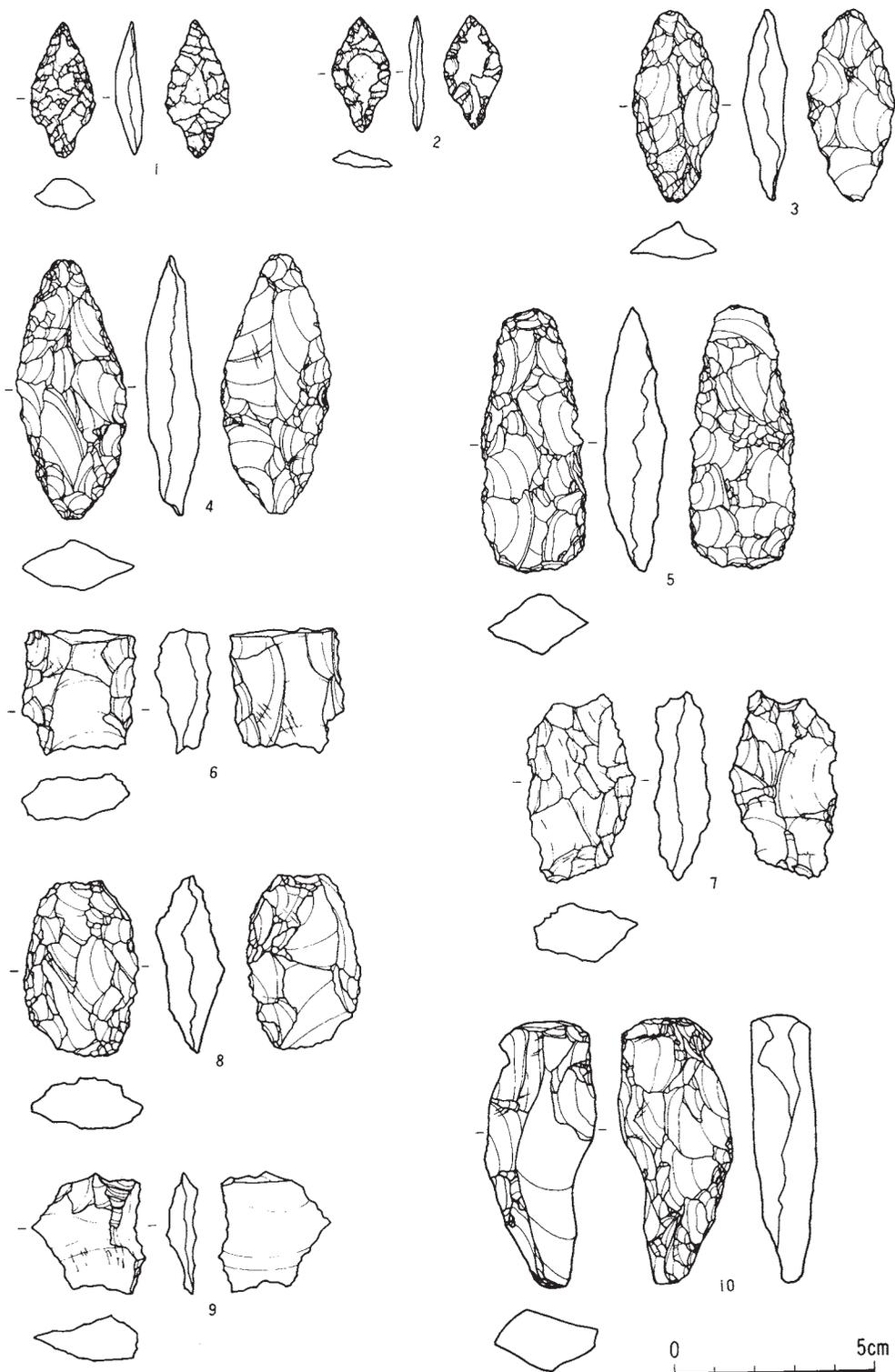
第1008図 第413・414号住居跡



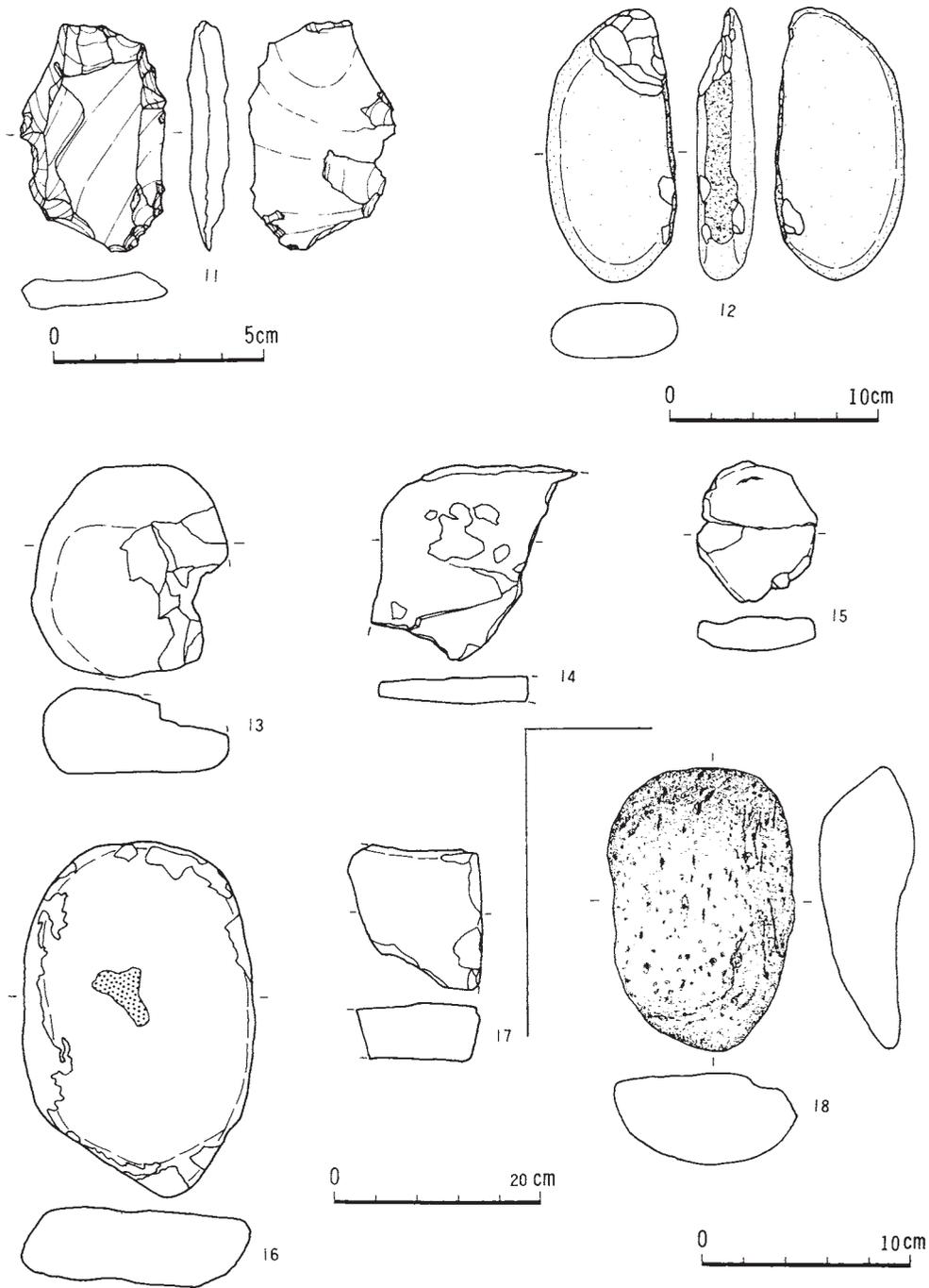
第1009図 第413号住居跡(1)



第1010図 第413号住居跡(2) フク土



第1011图 第413号住居跡(3)



第1012図 第413号住居跡(4)

第414号住居跡（第1013・1014図）

〈位置と確認〉 CU-117・118、CV-117・118グリッドに位置する。第413号住居跡を精査中に確認した。

〈重複〉 第343、413号住居跡より古い。

〈平面形・規模〉 隅丸長方形で、規模は長軸4m10cm、短軸3m80cmである。床面積は13.50㎡である。

〈壁・床面〉 各壁ともにほぼ垂直に立ち上がり、堅緻である。壁高は東壁60cm、西壁68cm、南壁58cm、北壁24cmである。床面にはほぼ全体に貼り床がなされ、平坦で堅緻である。

〈壁溝〉 壁に沿って一部確認された。幅5～10cm、深さは5cmである。

〈柱穴〉 本住居跡の床面から多数のピットを見つけた。配置等からP<sub>2</sub>、P<sub>3</sub>、P<sub>5</sub>、P<sub>7</sub>、P<sub>8</sub>が支柱穴の可能性が高い。深さはP<sub>2</sub>…72cm、P<sub>3</sub>…64cm、P<sub>4</sub>…15cm、P<sub>5</sub>…35cm、P<sub>6</sub>…11cm、P<sub>7</sub>…14cm、P<sub>8</sub>…27cmである。

〈炉〉 炉と思われる焼土が3基認められた。

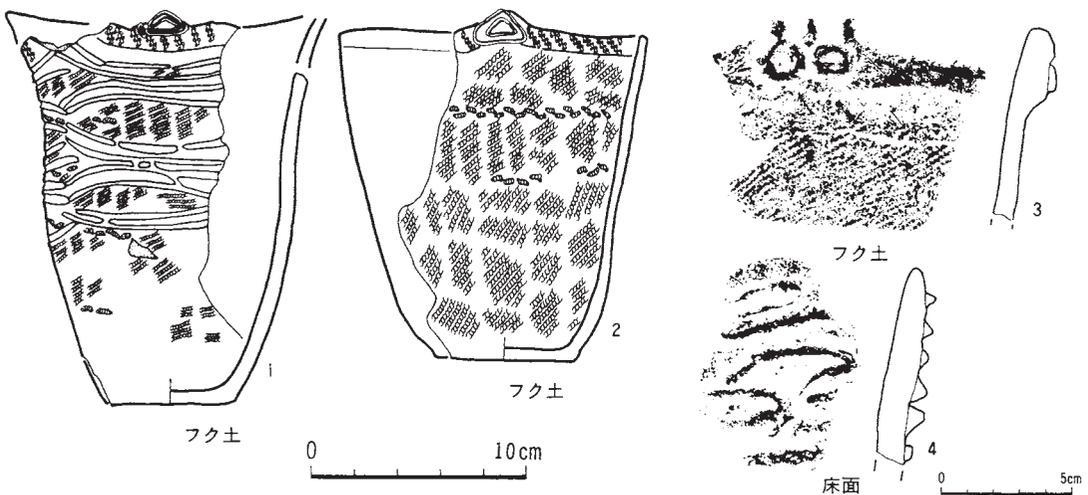
〈特殊施設〉 長軸線上の南側で半円状の貼り付けと深さ60cmのピットがセットになった特殊施設が認められた。長軸120cm、短軸100cmの規模である。

〈堆積土〉 全体的に炭化材を含む。人為的堆積の可能性が高い。

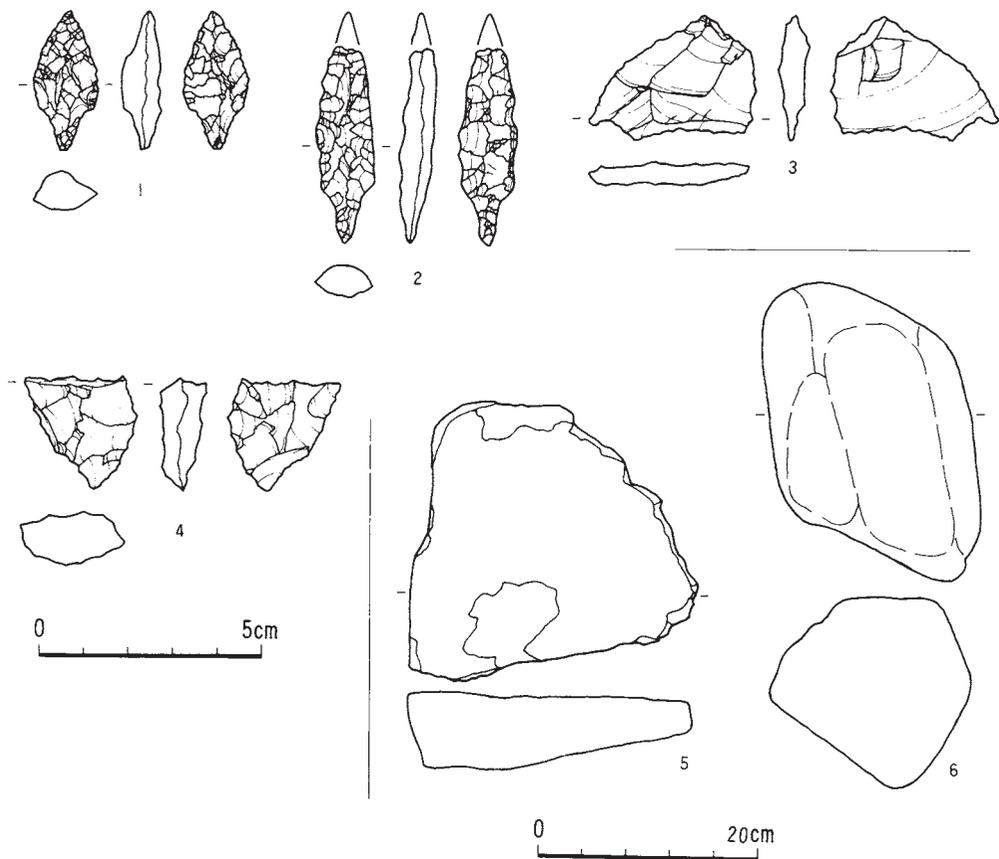
〈出土遺物〉 床面から円筒上層d式土器が出土している。石器は床面から石鏃2点、不定形石器2点、石皿・台石類2点、覆土から不定形石器1点、総数7点出土している。

〈小結〉 本住居跡は床面から出土した土器から円筒上層d式期に構築されたと思われる。

（三浦 孝仁）



第1013図 第414号住居跡(1)



第1014図 第414号住居跡(2)

第415号住居跡 (第1015・1016図)

〈位置と確認〉 CU-117グリッドに位置する。第Ⅱ層下面で不整な暗褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 第414号住居跡より古いが、第425号住居跡との新旧関係は不明である。

〈平面形・規模〉 重複により、残存部からの推測であるが東側に張り出しをもつ円形と思われる。規模は径3m20cm程である。

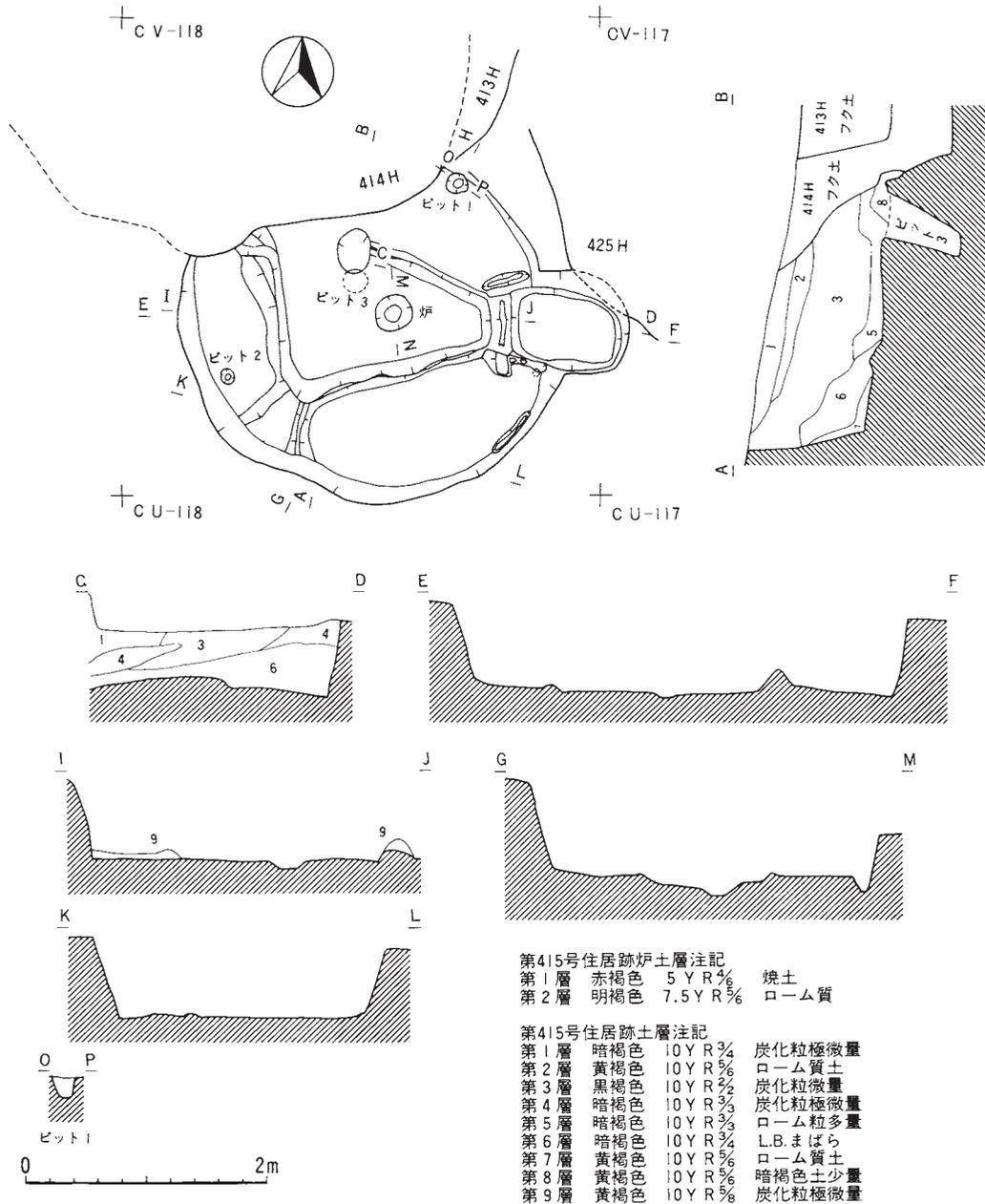
〈壁・床面〉 各壁ともにほぼ垂直に立ち上がり堅緻である。床面は、ほぼ三角形に隆帯を貼り巡らされている。その三角形の内側は一段低くなるという特殊な構築である。床面は貼り床がなされ堅緻である。

〈壁溝〉 壁に沿って一部確認された。深さ5cm程である。

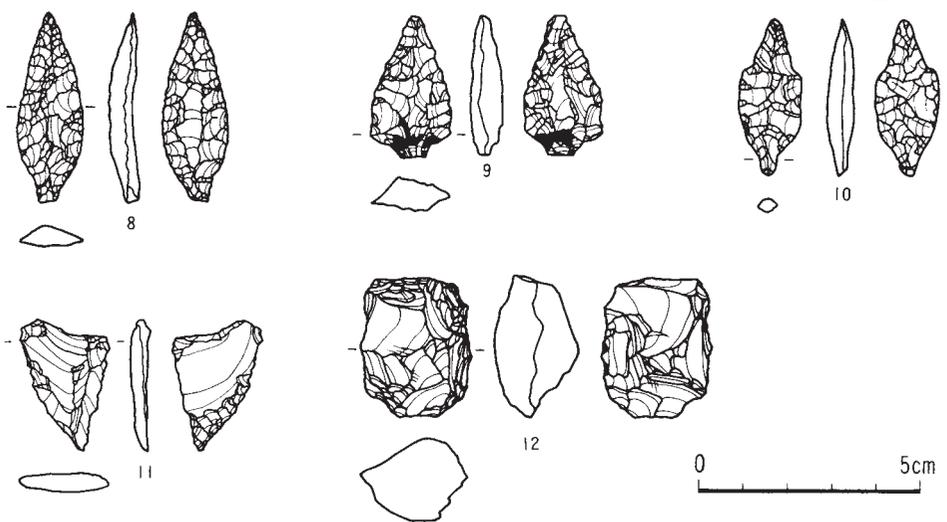
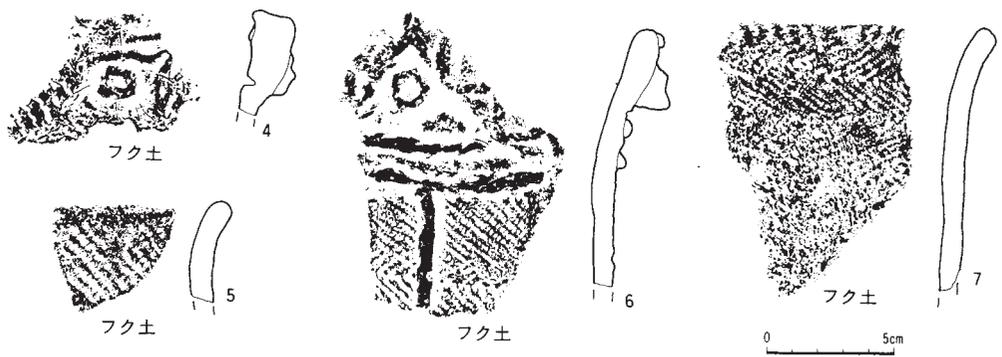
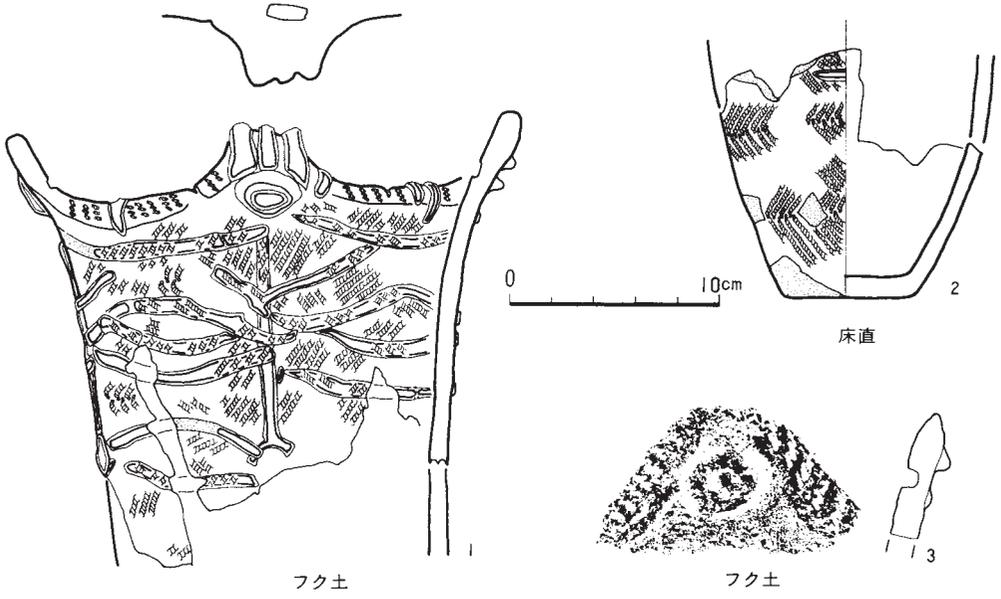
〈柱穴〉 床面から2個のピットを検出した。この住居跡の支柱穴かどうか不明である。深さはP<sub>1</sub>…18cm、P<sub>2</sub>…15cmである。

<炉> 住居跡のほぼ中央で地床炉を1基確認した。規模は長軸32cm、短軸30cm、深さは5cmである。

<特殊施設> 東側に張り出し、そこが若干くぼんだ特殊施設がある。この施設と住居の境界には枕状の隆帯があり、その両側には細長いくぼみが確認された。このくぼみの深さは10cm程



第1015図 第415号住居跡(1)



第1016図 第415号住居跡(2)

である。

<堆積土> 堆積土下層にロームブロックを多量に含む。人為的堆積の可能性が高い。

<出土遺物> 覆土から円筒上層d式土器が出土している。2も円筒上層系の土器である。石器は覆土から石鏃2点、石錐1点、不定形石器4点、総数7点出土した。

<小結> 床面から本住居跡の構築時期を判断する土器は出土していないが、覆土から出土した土器及び重複関係から円筒上層d式期に構築された可能性が高い。 (三浦 孝仁)

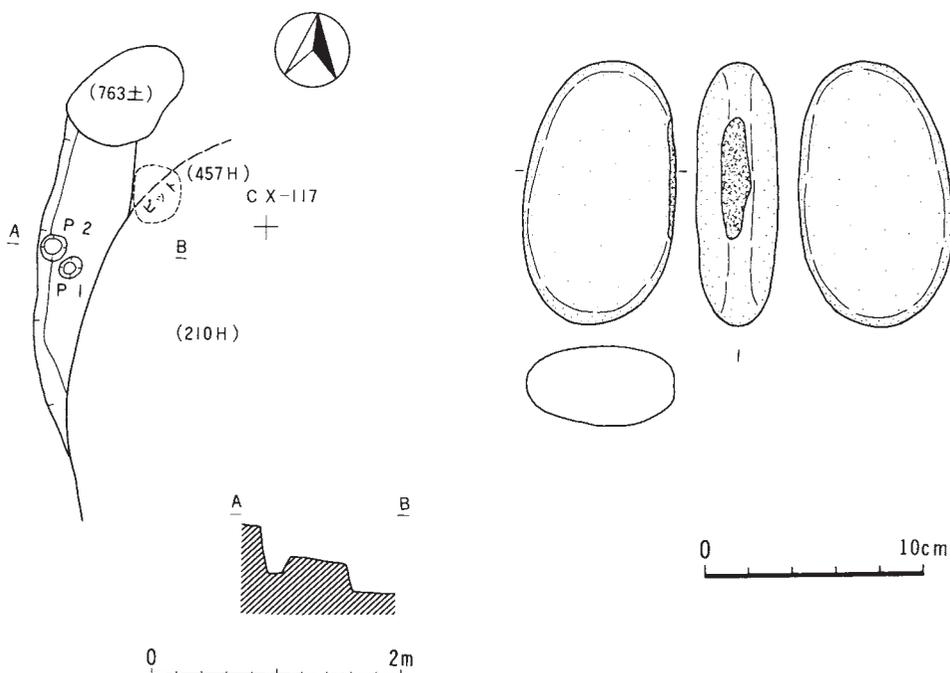
### 第417号住居跡 (第1017図)

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、CW・CX-117グリッドに位置している。第210号住居跡の壁を精査中に確認した。

<重複> 本住居跡は、第210・457号住居跡、第763号土壙と切り合っており、いずれの遺構よりも本住居跡の方が古い。

<平面形・規模> 住居跡西側の一部よりも残存していないため推定もできない。残存部の床面積は1㎡である。

<壁・床面> 西壁だけ残存している。床面から上端にかけては、ほぼ垂直に立ち上がるが、軟弱な造りである。壁高は24cmである。床も、西側だけ残存している。西側から東側にかけて緩傾斜しており、軟弱な造りである。



第1017図 第417号住居跡

<壁溝> 確認できなかった。

<柱穴> ピットは2個検出され、壁際に位置している。深さはいずれも13cmである。

<炉> 確認できなかった。

<特殊施設> 確認できなかった。

<出土遺物> 確認面から敲磨器類が1点出土した。

<小結> 重複から中期の榎林式期以降の住居跡と思われる。(成田 悟)

### 第420号住居跡 (第1018図)

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、CW-116グリッドに位置している。第690号土壌を精査中に確認した。

<重複> 本住居跡は、第210・441号住居跡、第690号土壌と切り合っており、いずれの遺構よりも古い。

<平面形・規模> 平面形・規模とも住居跡の一部しか残存していないため不明である。

<壁・床面> 壁は、確認できなかった。床は、ほぼ平坦であるが、やわらかく軟弱な構築である。

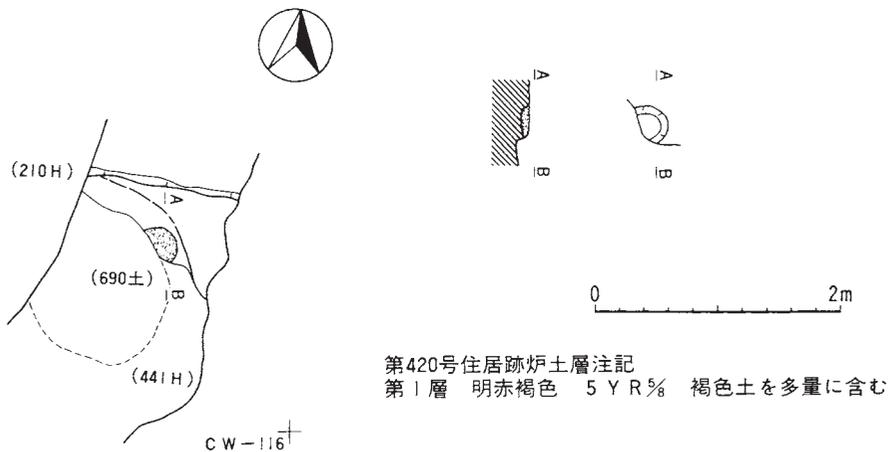
<柱穴> 確認できなかった。

<炉> 地床炉で、第960号土壌に一部が切られて残存している。規模は、長軸34cm・短軸(20)cmである。

<特殊施設> 確認できなかった。

<出土遺物> 検出されなかった。

<小結> 重複から、円筒上層d・e式期以前の住居跡と思われる。(成田 悟)



第1018図 第420号住居跡

第422号住居跡（第1019図）

〈位置と確認〉 CR・CS-116グリッドで、第307号住居跡の調査中に確認した。

〈重複〉 第307号住居跡より古い。

〈平面形・規模〉 平面形・規模とも不明である。

〈壁・床面〉 壁はやや急に立ち上がり、壁高は30～40cm前後である。床面は、西壁側が12cmほど高くなって、幅30cm前後のテラス状となっている。

〈壁溝〉 検出できなかった。

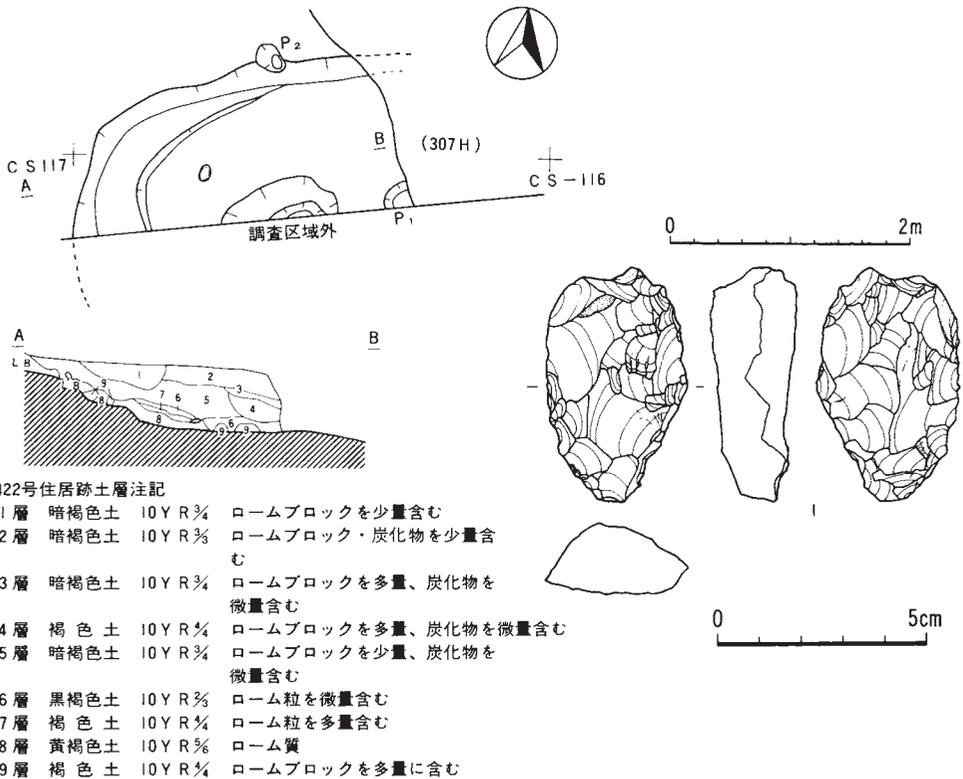
〈柱穴〉 床面から1個、壁と重複して1個検出した。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…5cm、P<sub>2</sub>…13cmで、浅く、柱穴とは考えられない。

〈炉〉 検出できなかった。

〈特殊施設〉 検出できなかった。

〈堆積土〉 黒褐色～暗褐色土の堆積が見られた。自然堆積と考えられる。

〈出土遺物〉 遺物の出土は、ほとんど見られなかった。土器は数片が出土しただけで、石器は、覆土から不定形石器3点が出土しただけである。



第1019図 第422号住居跡

<小結> 本住居跡の時期を決定できる土器の出土が見られなかったが、住居跡の新旧関係から本住居跡は円筒上層 e 式期かそれ以前と思われる。(畠山 昇)

#### 第423号住居跡 (第1020図～第1022図)

<位置と確認> CU・CV-124・125グリッドの緩斜面で、褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第393・448号住居跡・及び第842号土壌より古く、第451号住居跡・第819・833・834号土壌より新しい。

<平面形・規模> 重複により明確ではないが、短軸 4 m60cm、長軸 4 m80cm前後の隅丸方形または楕円形と推定される。推定床面積は16.4m<sup>2</sup>である。

<壁・床面> 壁は急に立ち上がり、壁高は東西壁で60～90cm前後である。床面はほぼ平坦で、第448号住居の構築時に中央部を破壊されている。

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 大小30個のピットを検出した。このうち主柱穴と考えられるのは、P<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>・P<sub>6</sub>で4本柱の配置である。主なピットの深さは、以下のとおりである。

P<sub>1</sub>…70cm、P<sub>2</sub>…54cm、P<sub>3</sub>…80cm、P<sub>4</sub>…14cm、P<sub>5</sub>…72cm、P<sub>6</sub>…66cm、P<sub>7</sub>…26cm、P<sub>8</sub>…22cm、P<sub>9</sub>…32cm、P<sub>10</sub>…34cm、P<sub>11</sub>…13cm、P<sub>12</sub>…14cm、P<sub>13</sub>…19cm、P<sub>14</sub>…14cm、P<sub>17</sub>…11cm。

<炉> 第448号住居跡構築時に中央部を破壊されているため、不明である。

<特殊施設> 南壁で検出した。第448号住居跡構築時に中央部を破壊されているため、明確ではないが、ロームの盛土は半円状に巡らされていたものと思われる。内側には径40～46cmのピット(P<sub>2</sub>)と径20cm前後の小ピット(P<sub>9</sub>・P<sub>10</sub>・P<sub>18</sub>・P<sub>19</sub>)を検出した。このうち、P<sub>18</sub>・P<sub>19</sub>の2個のピットは斜位(水平に近い)に掘り込まれており、P<sub>18</sub>はP<sub>10</sub>と繋がっていた。

<堆積土> 第448号住居跡構築時に中央部を破壊されているため、中央部分は不明である。壁際では、上部に褐色土、中位に暗褐色土の堆積が見られた。

<出土遺物> 土器は、覆土から床面にかけて円筒上層 c～e 式土器が出土した。石器は、床面から不定形石器1点、石棒類1点、覆土から不定形石器1点、石皿1点が出土した。

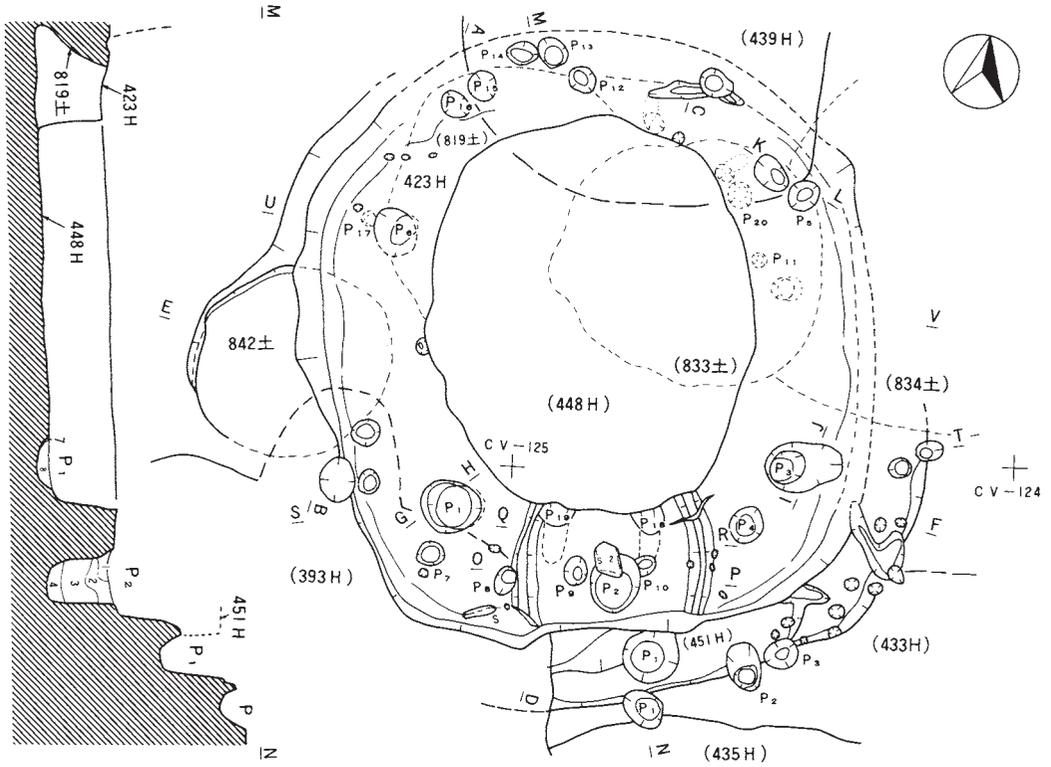
<小結> 本住居跡の時期は、床面から出土した土器及び住居跡の新旧関係から、円筒上層 e 式期かそれ以前に構築されたものと思われる。(畠山 昇)

#### 第424号住居跡 (第1023・1024図)

<位置と確認> CV-115グリッドに位置し、第302号住居跡を精査中に確認した。

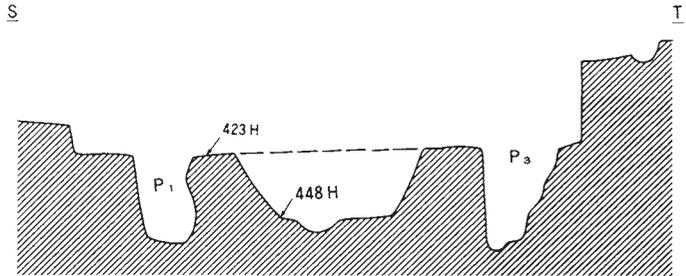
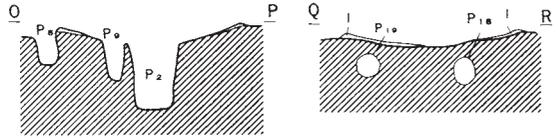
<重複> 第223・302号住居跡と重複し本住居跡が古い。

<平面形・規模> 直径2.8m程の円形と考えられる。東側にはわずかに張り出しぎみの施設が



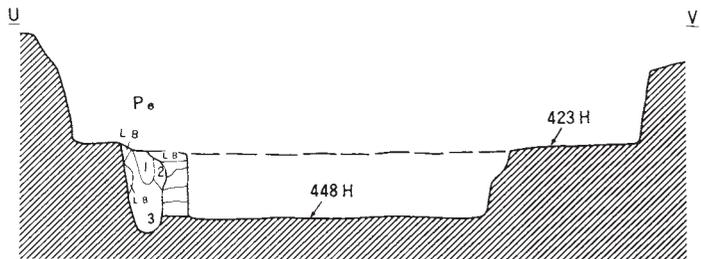
第423号住居跡ビット2土層注記

- 第1層 暗褐色土 10Y R 3/4
- 第2層 黄褐色土 10Y R 3/4
- 第3層 黄褐色土 10Y R 3/4
- 第4層 暗褐色土 10Y R 3/4

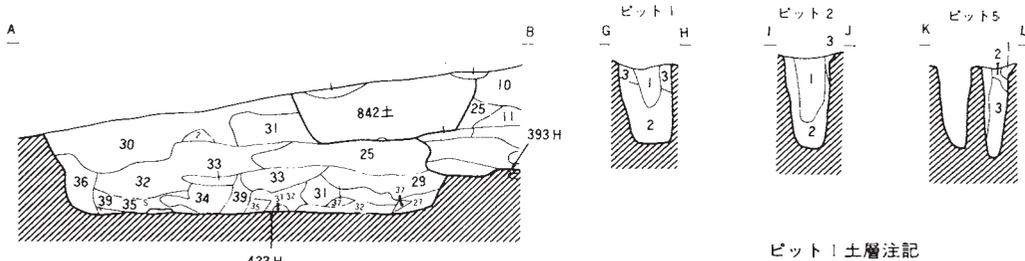


第423号住居跡ビット6土層注記

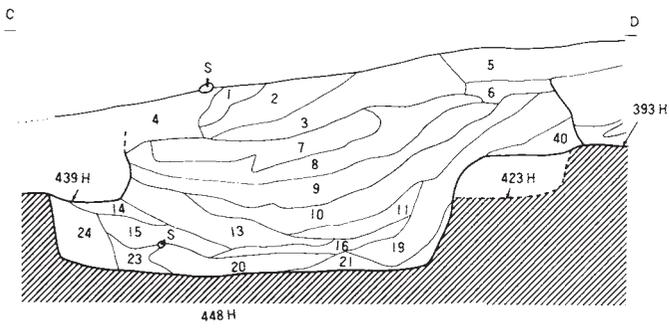
- 第1層 褐色土 10Y R 3/4
- 第2層 褐色土 10Y R 3/4
- 第3層 褐色土 10Y R 3/4



第1020図 第423号住居跡

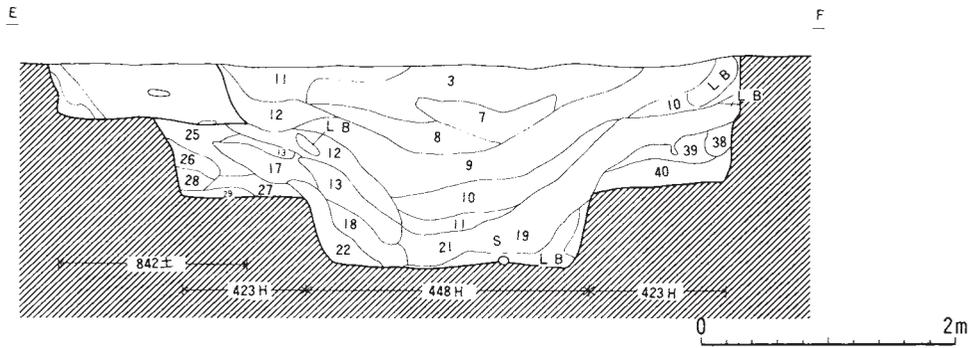


ピット 1 土層注記  
 第1層 暗褐色土 10Y R ¾  
 第2層 黄褐色土 10Y R ¾  
 第3層 黄褐色土 10Y R ¾



ピット 3 土層注記  
 第1層 褐色土 10Y R ¾  
 第2層 黄褐色土 10Y R ¾  
 第3層 黄褐色土 10Y R ¾

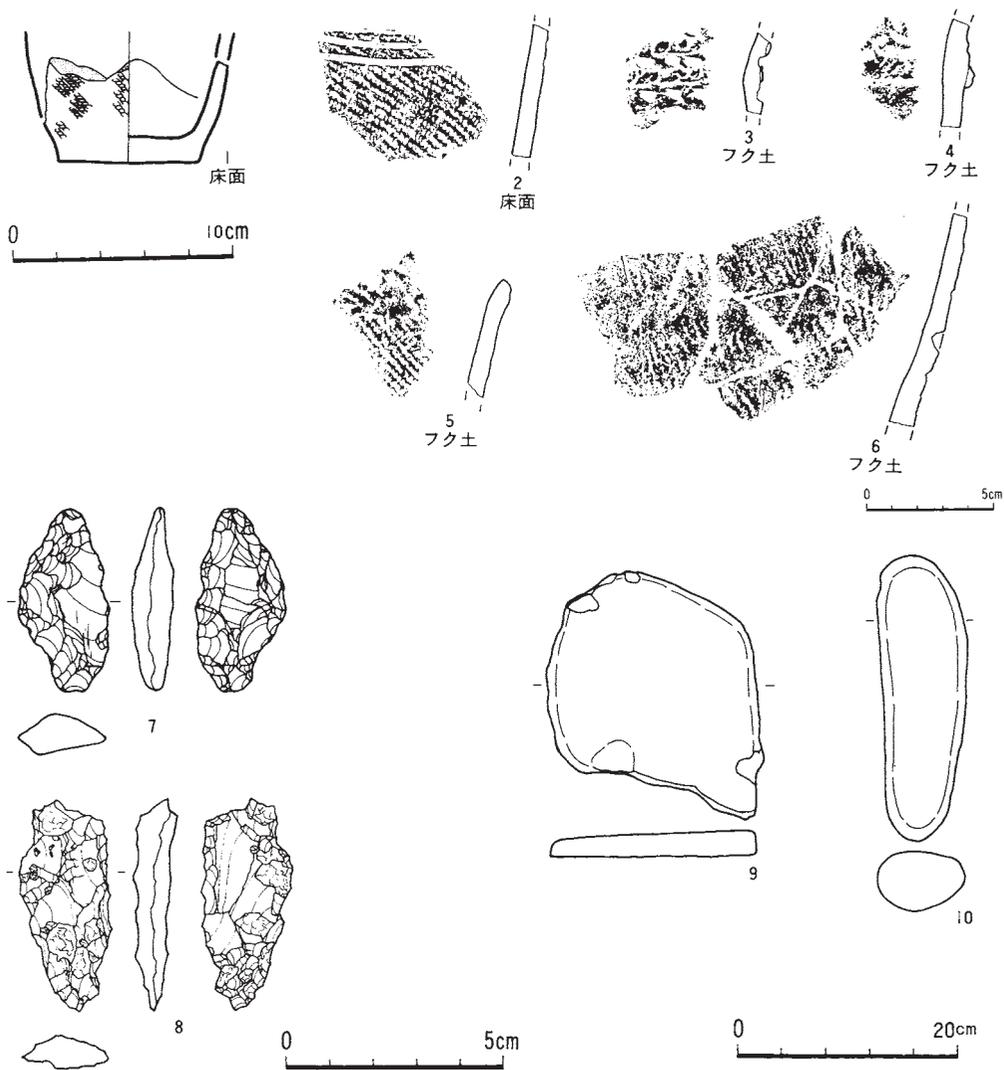
ピット 5 土層注記  
 第1層 黄褐色土 10Y R ¾  
 第2層 褐色土 10Y R ¾  
 第3層 黄褐色土 10Y R ¾



第423・第448号住居跡土層注記 (A-B、C-D、E-F)

第1層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第21層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量に含む
第2層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを微量含む	第22層 黄褐色土 10Y R ¾	
第3層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第23層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第4層 暗褐色土 10Y R ¾	L・B、焼土粒を微量含む	第24層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第5層 暗褐色土 10Y R ¾	" "	第25層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第6層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第26層 黄褐色土 10Y R ¾	
第7層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む	第27層 暗褐色土 10Y R ¾	L・B、炭化物を微量含む
第8層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第28層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む
第9層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第29層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第10層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む	第30層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む
第11層 黒褐色土 10Y R ¾		第31層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む
第12層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む	第32層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第13層 黄褐色土 10Y R ¾		第33層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを微量含む
第14層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第34層 黄褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第15層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第35層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを微量含む
第16層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを含む	第36層 黄褐色土 10Y R ¾	
第17層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第37層 黒褐色土 10Y R ¾	L・Bを微量含む
第18層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む	第38層 褐色土 10Y R ¾	L・Bを多量含む
第19層 暗褐色土 10Y R ¾	L・Bを少量含む	第39層 黄褐色土 10Y R ¾	
第20層 黄褐色土 10Y R ¾	上部に炭化物が見られる	第40層 黄褐色土 10Y R ¾	

第1021図 第423号・448号住居跡



第1022図 第423号住居跡

ある。

<壁・床面> 第IV層を壁面とし北壁18cm、西壁75cm、南壁20cm、東壁20cm程である。床面はほぼ平坦で堅緻である。

<壁溝> 確認されなかった。

<柱穴> 床面及び床下から大小合わせて33個のピットを検出した。主柱穴は不明である。各ピットの床面からの深さはP<sub>1</sub>…29cm・P<sub>2</sub>…16cm・P<sub>3</sub>…9cm・P<sub>4</sub>…4cm・P<sub>5</sub>…3cm・P<sub>6</sub>…7cm・P<sub>7</sub>…26cmである。直径3～8cmの小ピットの深さは、2～8cmである。

<炉> 住居の中央東側に地床炉が検出され、12×18cmの楕円形を呈する。

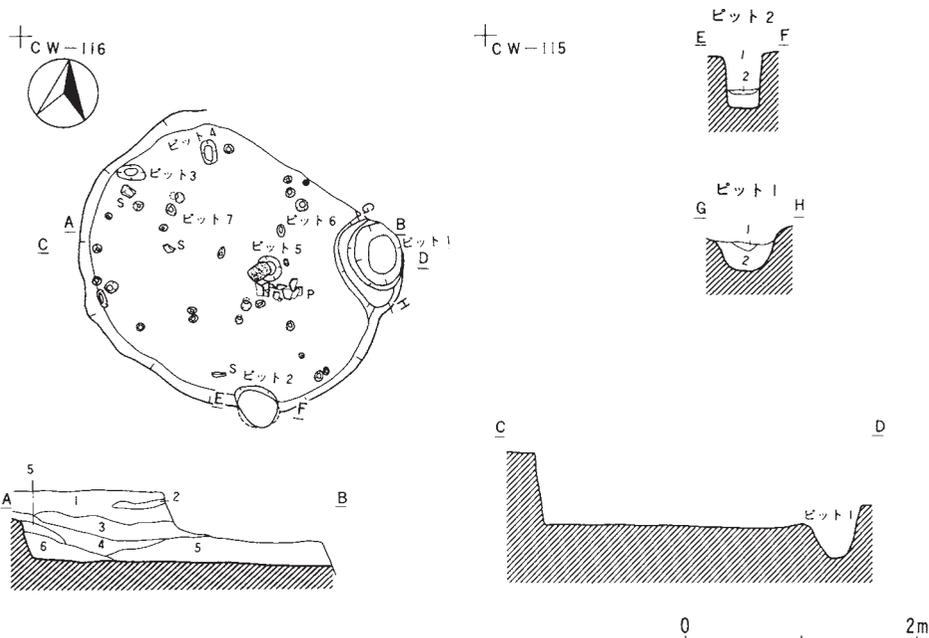
<特殊施設> 東側に位置し円形で馬蹄状の盛土を巡らしている。盛土は貼り付けで、幾分張り出している。中心部から直径54×40cm、深さ40cmのピットが検出された。

<堆積土> 6層に分層され、褐色土を主体とする。ローム粒を多く含む土層である。

<出土遺物> 土器は床面直上から(2)が出土し、他は覆土からの出土である。石器は覆土から石鏃1点、敲磨器類1点が出土している。

<小結> 第302号住居跡が榎林式期と考えられるため、それ以前の時期と考えられる。

(長崎 勝巳)



第424号住居跡土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R ¼ ローム粒微量含む
- 第2層 褐色土 10Y R ¼ ローム粒少量含む
- 第3層 暗褐色土 10Y R ⅓ ローム粒多量、焼土微量含む
- 第4層 黒褐色土 10Y R ⅓ ローム粒多量含む
- 第5層 褐色土 10Y R ¼ ローム粒多量含む
- 第6層 黄褐色土 10Y R ⅓ ローム粒多量含む

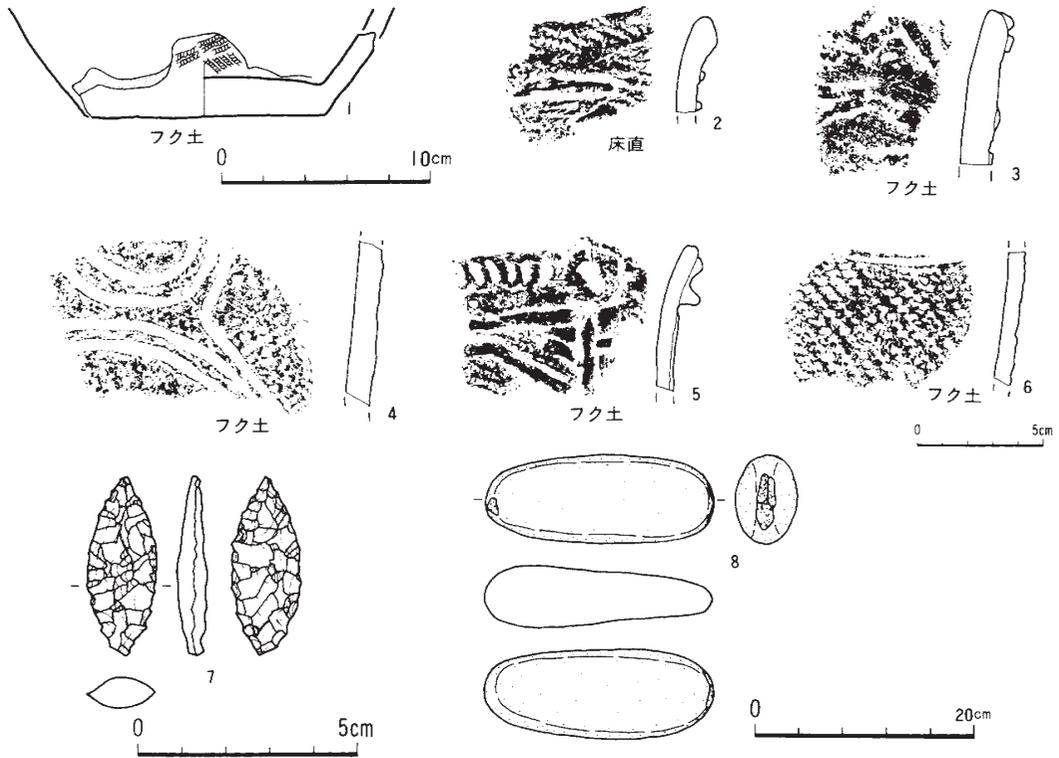
ピット1土層注記

- 第1層 黄褐色土 10Y R ⅓
- 第2層 明褐色土 10Y R ¼ ローム粒微量含む

ピット2土層注記

- 第1層 黒褐色土 10Y R ⅓ ローム粒微量含む
- 第2層 褐色土 10Y R ¼ ローム粒少量、炭化物極微量含む

第1023図 第424号住居跡



第1024図 第424号住居跡

第425号住居跡（第1025～1028図）

〈位置と確認〉 CU-116に位置し、第348号住居跡を精査中に確認した。

〈重複〉 第348号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

〈平面形・規模〉 長軸3.5m、短軸3m程の不整楕円形と考えられる。

〈壁・床面〉 北壁の一部は、重複のため不明であるが東・西・南壁は、第IV層を壁面として  
いる。壁高は東壁23cm、西壁51cm、南壁54cmである。床面は西側がやや高く、東側はそれより  
2～3cm低くなっている。

〈壁溝〉 北西壁から南西壁へ連なるものと、東壁から40cm程離れた場所に検出された。幅は  
10～14cm、深さは4～6cmである。

〈柱穴〉 床面及び床下から大小合わせて27個のピットを検出した。このうちP<sub>2</sub>～P<sub>10</sub>まで  
は、壁を巡っており壁柱穴と考えられる。各ピットの床面からの深さはP<sub>1</sub>…32cm・P<sub>2</sub>…18cm・  
P<sub>3</sub>…5cm・P<sub>4</sub>…13cm・P<sub>5</sub>…34cm・P<sub>6</sub>…24cm・P<sub>7</sub>…27cm・P<sub>8</sub>…20cm・P<sub>9</sub>…23cm・P<sub>10</sub>…13cm・  
P<sub>11</sub>…20cm・P<sub>12</sub>…30cm・P<sub>13</sub>…23cm・P<sub>14</sub>…16cm・P<sub>15</sub>…30cm・P<sub>16</sub>…26cm・P<sub>17</sub>…19cm・P<sub>18</sub>…17  
cm・P<sub>19</sub>…20cm・P<sub>20</sub>…14cm、直径8～15cmのピットの深さは6～15cmである。

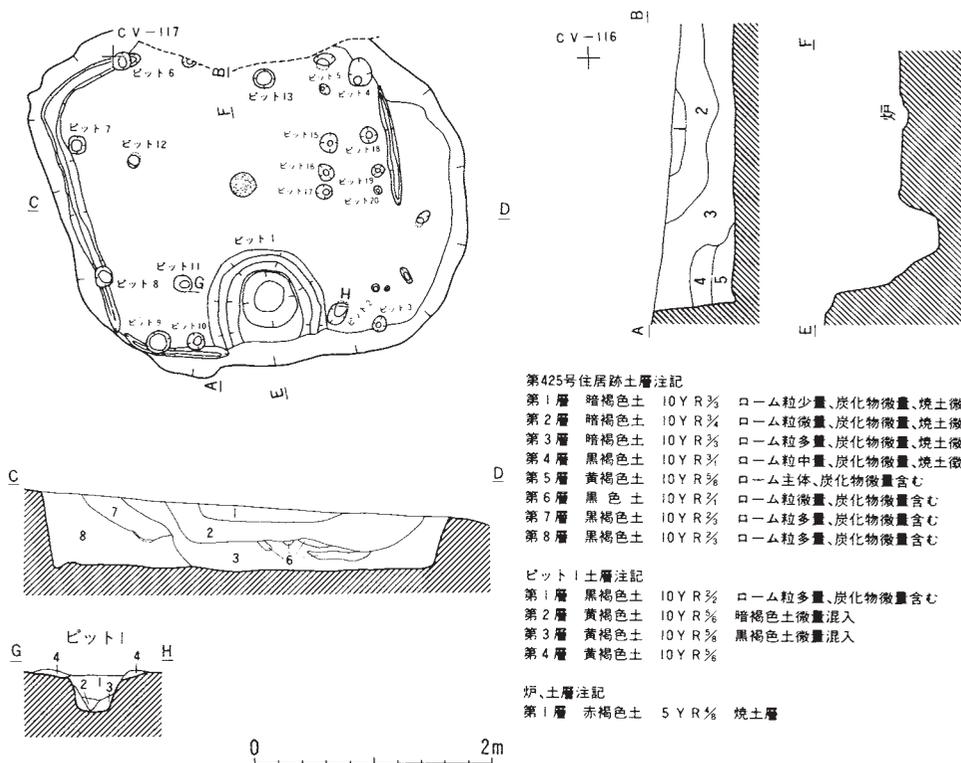
<炉> 住居跡のほぼ中央から、直径20cmで円形の地床炉を検出した。

<特殊施設> 直径1mで馬蹄状を呈し、盛土を巡らしている。盛土は、貼り付けによるもので施設内には直径50cm、深さ32cmのピットが検出された。

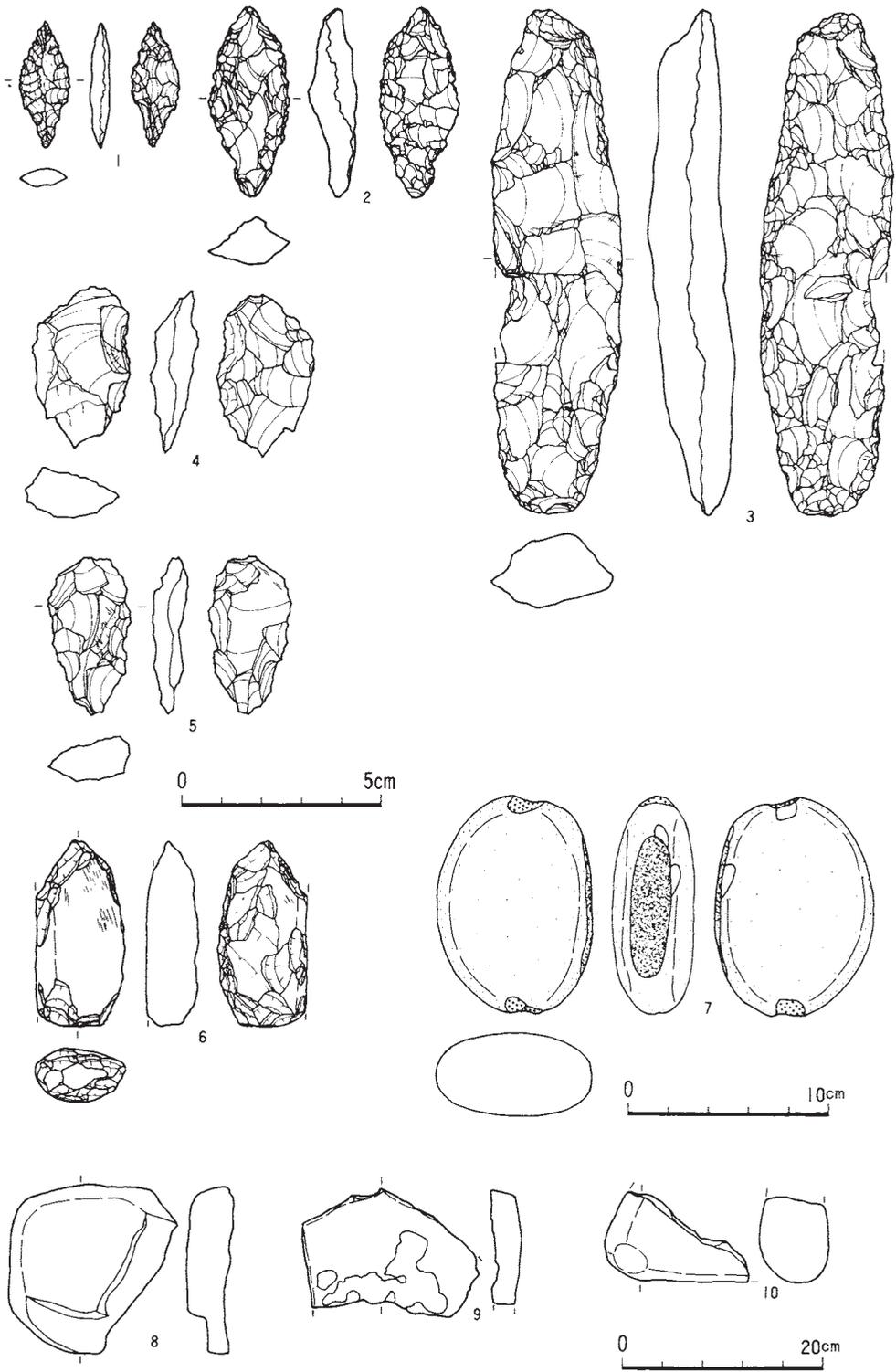
<堆積土> 8層に分層され、暗褐色土を主体とするローム粒を多く混入する土層である。特にここで分層された7・8層は人為的堆積の様相が強い。

<出土遺物> 土器は床面直上から(1・4~7)が出土し、他は覆土からの出土である。石器は床面直上から石皿・台石類2点、覆土から石鎌1点、石槍2点、不定形石器3点、磨製石斧1点、敲磨器類1点、石皿・台石類2点が出土し、総数で12点である。

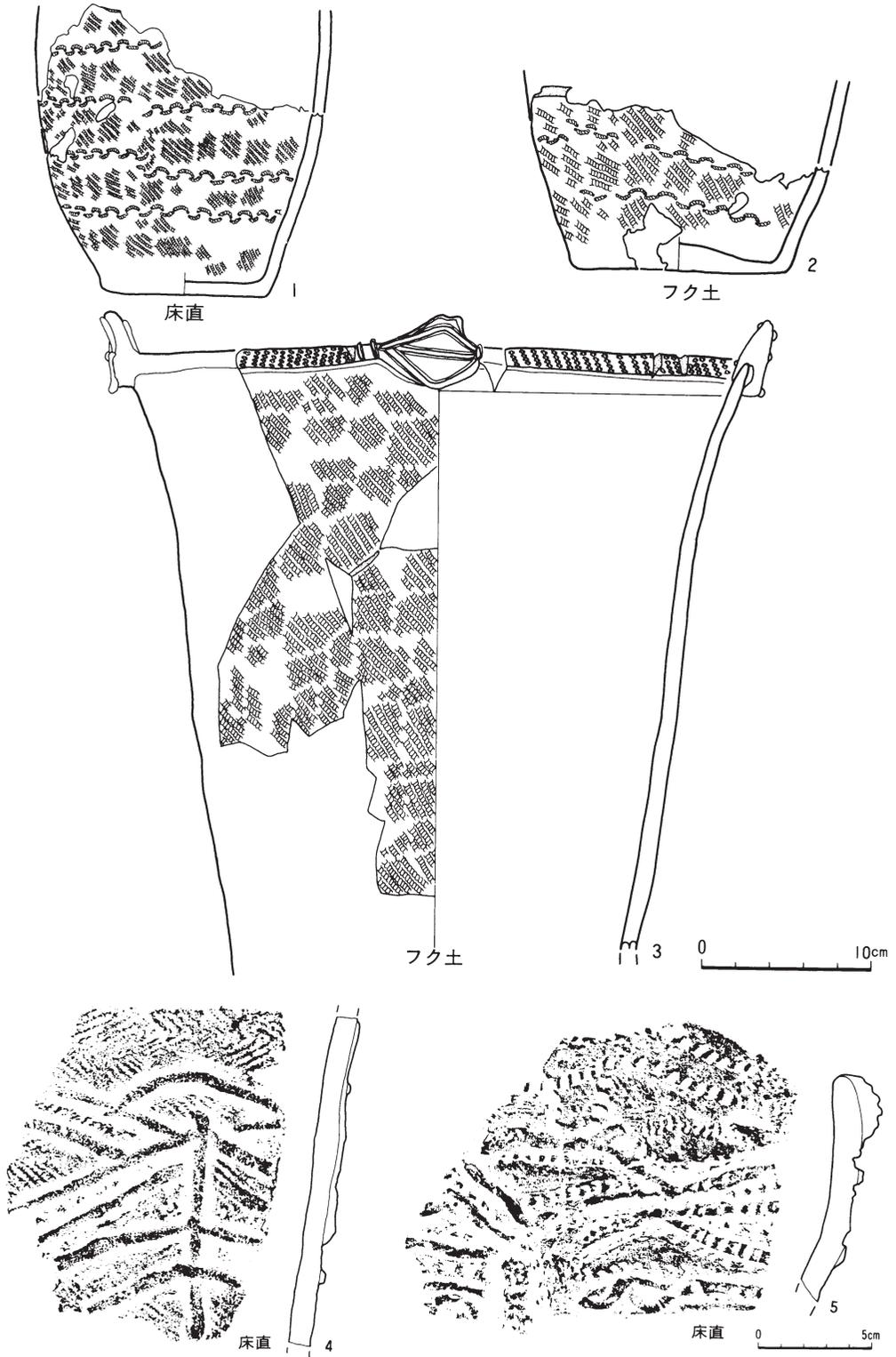
<小結> 第348号住居跡は榎林式期とみられ、本住居跡はその時期よりも古いと考えられる。また東側壁溝の外側は、この住居跡の拡張された部分と考えられる。(長崎 勝巳)



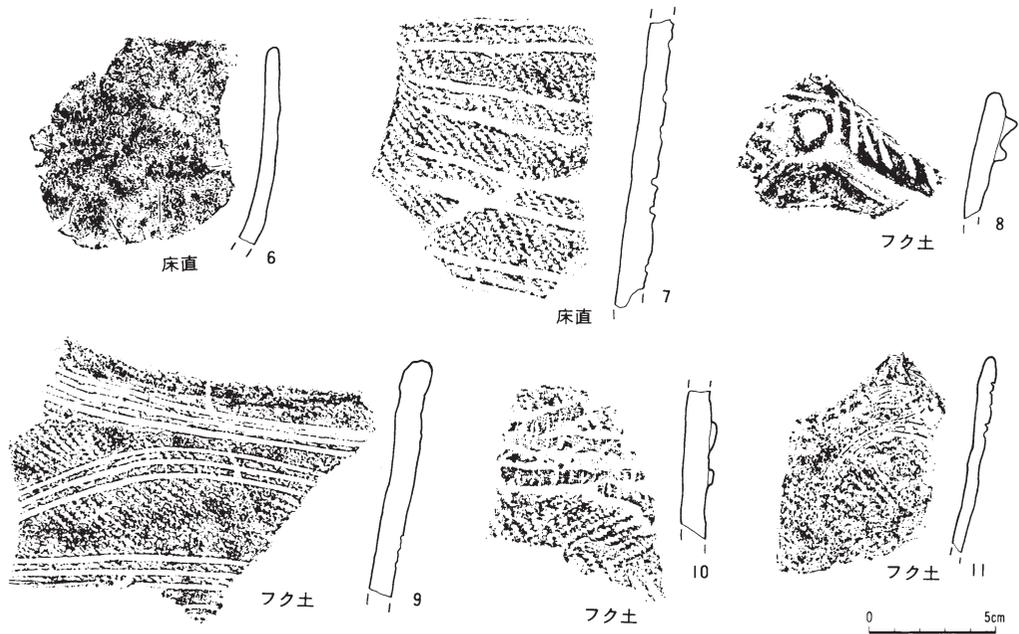
第1025図 第425号住居跡(1)



第1026图 第425号住居跡2)



第1027図 第425号住居跡(3)



第1028図 第425号住居跡(4)

#### 第426号住居跡 (第1029図)

〈位置と確認〉 CR・CS-117グリッドの緩斜面上で、暗褐色～褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 認められなかった。

〈平面形・規模〉 短軸2m30cm、長軸2m67cmの楕円形で、床面積は4.3㎡である。

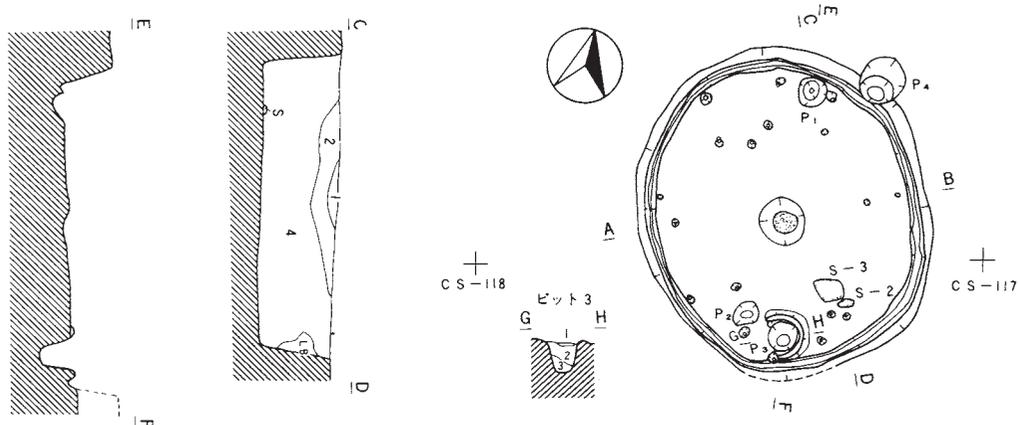
〈壁・床面〉 壁の立ち上がりは急で、壁高は東壁25cm、西壁41cm、南壁55cm、北壁60cmである。床面はほぼ平坦で、堅緻である。

〈壁溝〉 壁溝は全周し、幅10cm、深さ5cm前後である。

〈柱穴〉 大小21個のピットを検出した。このうち3個は径20～25cmのピットで、深さはP<sub>1</sub>…8cm、P<sub>2</sub>…6cm、P<sub>3</sub>…27cmである。これ以外は、径10cm未満の小ピットで、深さ10～20cmである。支柱穴と考えられるものは検出されなかった。

〈炉〉 ほぼ中央で検出した。46～61cmの楕円形の地床炉である。

〈特殊施設〉 南壁で検出したP<sub>3</sub>がその可能性がある。ピットの周囲にロームの盛土を巡らしているが、西側には見られなかった。ロームの盛土は中軸線上に左右対称となるように巡らされることが一般的であるが、本住居跡の場合、それが見られないことからいささか疑問である。  
(似たようなものに、柱穴にロームが貼られる場合があるが、それとは異なる状況である)

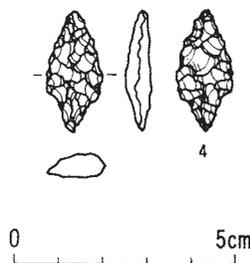
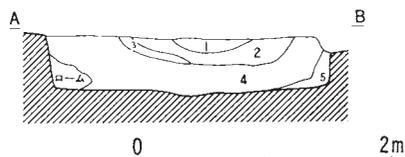


第426号住居跡土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R% 焼土を多量に含む
- 第2層 褐色土 10Y R% 焼土多量、炭化物を微量含む
- 第3層 暗褐色土 10Y R% 焼土微量、炭化物多量含む
- 第4層 暗褐色土 10Y R% ローム粒を多量、塊多量含む
- 第5層 暗褐色土 10Y R% ローム粒を多量に含む

第426号住居跡ビット3土層注記

- 第1層 褐色土 10Y R% ローム粒を多量に含む
- 第2層 暗褐色土 10Y R% ローム粒を多量に含む
- 第3層 黄褐色土 10Y R%



第1029図 第426号住居跡

〈堆積土〉 全般に、ローム粒・塊を多量に含む暗褐色土の堆積が見られ、上部に焼土を多量に含む褐色土の堆積が見られた。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉 土器は、覆土から円筒上層e式土器の破片が数点見られただけである。また石器は、覆土から石鎌1点が出土した。

〈小結〉 本住居跡の時期は不明であるが、円筒上層e式期かそれ以前と思われる。

(畠山 昇)

第427号住居跡 (第1030図)

〈位置と確認〉 CS・CT-117グリッドの緩斜面上で、黒褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 認められなかった。

〈平面形・規模〉 緩斜面上に位置しているため、北側から東側は検出できなかったが、短軸

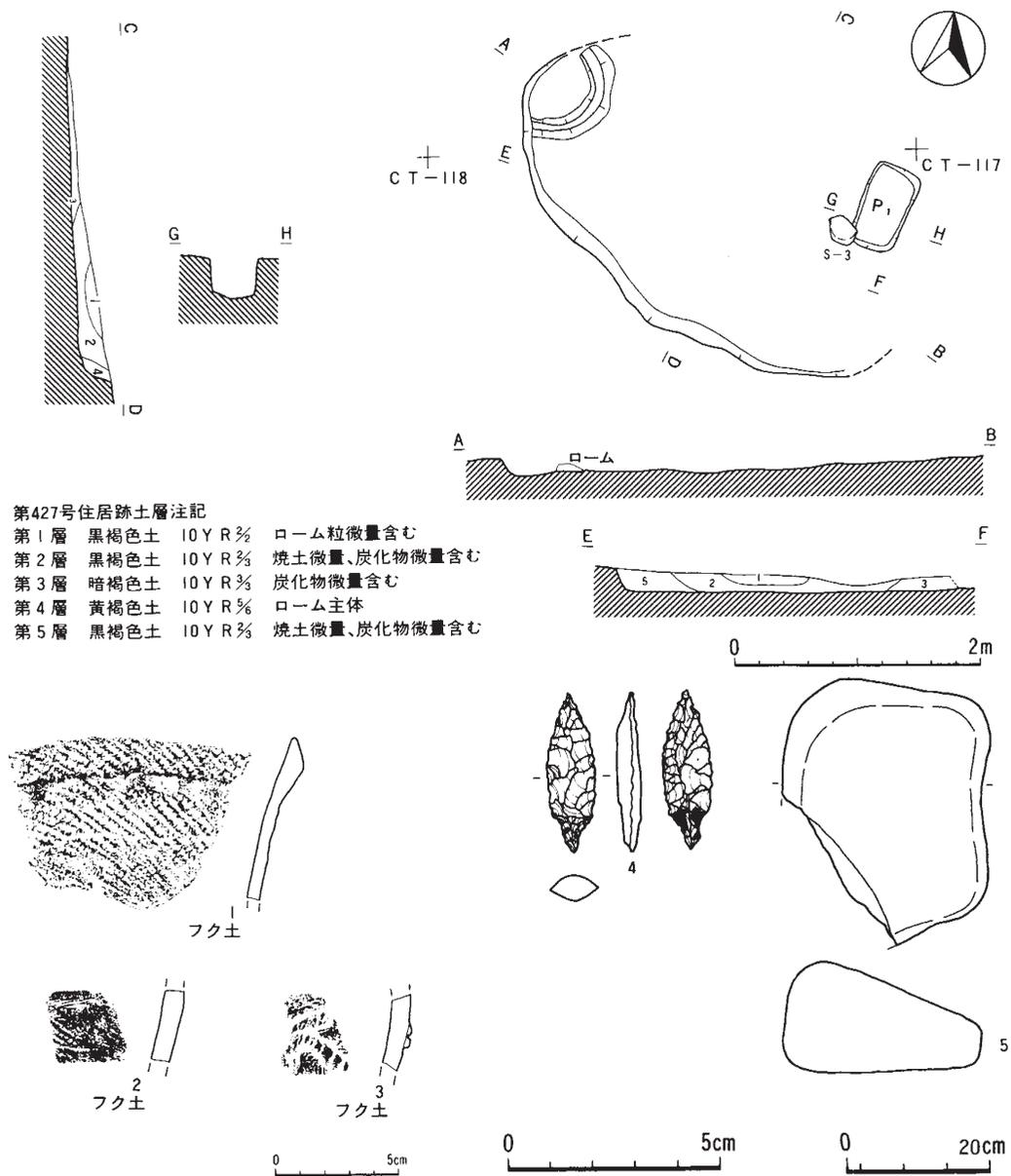
2 m50cm前後、長軸 3 m70cm前後の楕円形と推定される。

<壁・床面> 南壁で20cm前後の壁高である。床面はいくぶん軟らかである。

<壁溝> 検出できなかった。

<柱穴> 長形状のピットを検出したが、柱穴とは思われない。短軸40cm、長軸72cm、深さ32cmである。

<炉> 検出されなかった。



第1030図 第427号住居跡

<特殊施設> 北東壁の長軸端で検出した。ロームの盛土を半円状に巡らしている。内側は若干くぼむ程度で、ピットは検出されなかった。

<堆積土> 黒褐色～暗褐色土の堆積が見られた。

<出土遺物> 土器は、覆土から数点出土しただけである。石器は、床面から石皿1点、床面直上から石鏃1点が出土した。

<小結> 本住居跡の時期は、不明である。 (島山 昇)

#### 第428号住居跡 (第687図)

<位置と確認> C S・C T-113グリッドで、第294号住居跡の調査中に確認した。大半を第294号住居跡に切られており、一部より確認できなかった。

<重複> 第294号住居跡より古い。

<平面形・規模> 平面形、規模とも不明である。

<壁・床面> 南西隅のみの確認であるが、壁の立ち上がりは急で、壁高は20cmである。床面は平坦で、堅緻である。

<壁溝> 検出できなかった。

<柱穴> 壁際から2個のピットを検出した。P<sub>1</sub>は内側に向けて、斜位に掘り込まれている。深さはP<sub>1</sub>…19cm、P<sub>2</sub>…14cmである。

<炉> 不明である。

<特殊施設> 不明である。

<堆積土> 一部より確認できなかった。壁際に黄褐色土と暗褐色土の堆積が見られたのみである。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 本住居跡の時期は不明であるが、住居跡の新旧関係から、円筒上層(d・e)式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。 (島山 昇)

#### 第429号住居跡 (第1031図)

<位置と確認> C U-113グリッドに位置し、第313号住居跡を精査中に確認した。

<重複> 第312・313号住居跡より古く、第316・314号住居跡より新しい。

<平面形・規模> 重複のため、平面形は不明である。

<壁・床面> 住居跡の重複が激しいため、確認された壁は西壁だけで16cmである。床面は第314号住居跡とほぼ同一で平坦である。南側がやや軟弱である。

<壁溝> 西側に検出され、幅4～12cm、深さ2～8cmである。北側では内側にも検出され、

幅10cm、深さ24cmである。

<柱穴> 床面及び床下から大小合わせて7個検出された。P<sub>1</sub>…82cm・P<sub>2</sub>…24cm・P<sub>3</sub>…21cm・P<sub>4</sub>…2cm・P<sub>5</sub>…15cm・P<sub>6</sub>…6cm・P<sub>7</sub>…13cmである。

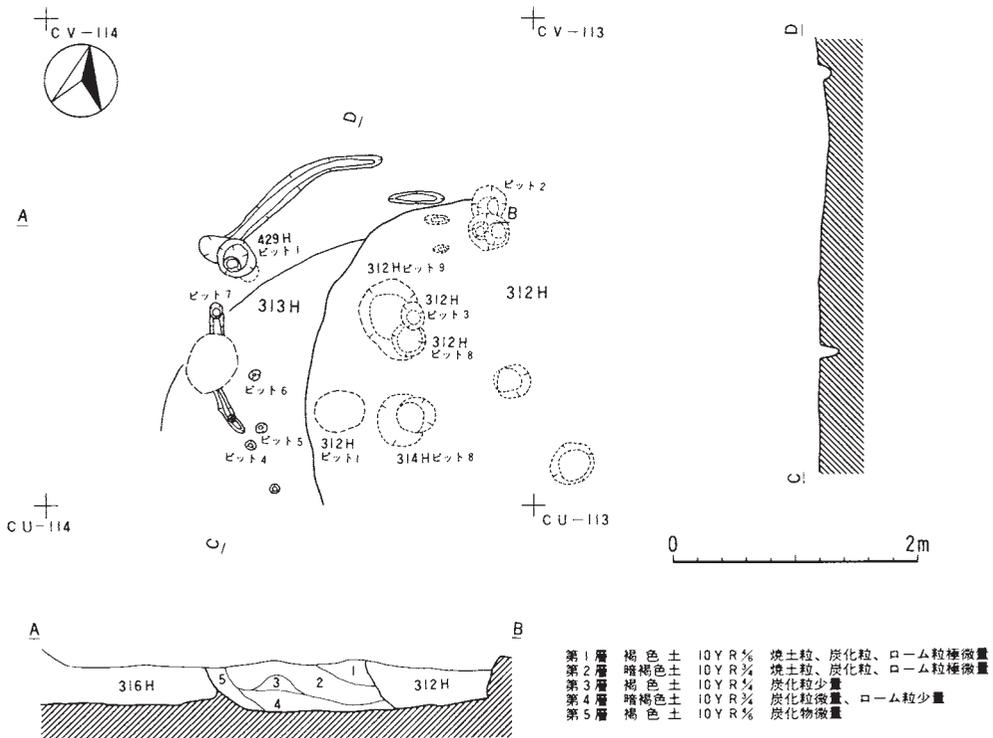
<炉> 確認されなかった。

<特殊施設> 確認されなかった。

<堆積土> 4層に分層され、褐色土を主体とする。

<出土遺物> 出土していない。

<小結> 本住居跡から時期を決定できる遺物は出土していないが、重複している第313号住居跡が榎林式期とみられ、それ以前の時期と考えられる。 (長崎 勝巳)



第1031図 第429号住居跡

第430号住居跡 (第1032図)

<位置と確認> CW-113・114グリッドに位置する。

<重複> 第294・310・320・303~305号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

<平面形・規模> 重複が多くプランは判然としない。

<壁・床面> わずかに南側に壁がみられ、壁高は9cm程である。床面は軟弱で、硬く踏みし

められたところはなかった。

<柱穴> 床面及び床下から15個のピットを検出したが、支柱穴は不明である。

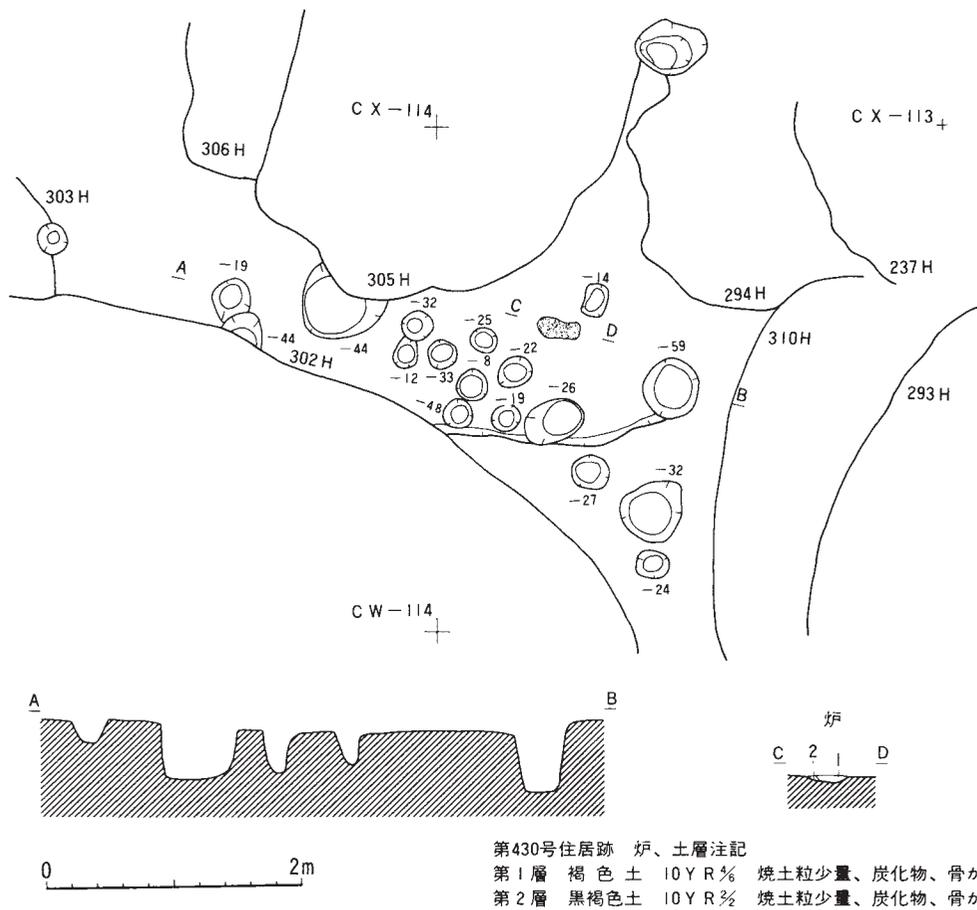
<炉> 第294・310・302・305号住居跡にはさまれた中央やや北西寄りに位置し、30×10cmの不整楕円形を呈した地床炉を検出した。

<特殊施設> 確認されていない。

<堆積土> 掘り込みが浅く確認できなかった。

<出土遺物> 出土していない。

(長崎 勝巳)



第1032図 第430号住居跡

#### 第432号住居跡（第1033図～第1039図）

<位置と確認> CT・CU-122・123グリッドの緩斜面上に位置し、黄褐色土及び黄褐色土（ローム）を多量に含む暗褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 第433号～435号、第445号～447号住居跡より新しく、第216号住居跡との新旧関係は不明である。また、本住居跡には建て替えが認められたので、新しいほうをA、古いほうをBとして記載する。

#### 第432号A住居跡

<平面形・規模> 東西に主軸を持つ隅丸長方形で、規模は短軸3m35cm、長軸4m75cm（推定値、短軸・長軸とも床面での計測）である。床面積は12.66㎡である。

<壁・床面> 床面はほぼ平坦で、堅緻である。第434号住居跡と重複している部分には貼り床が施されている。緩斜面上に位置しているため、壁高は、南側では地山から60cmを計るが、北側では10cm前後である。重複関係にある各住居跡との比高差は、第447号住居跡より5cm、445号住居跡より50cm、第433号住居跡より10cm低く、反対に第434号住居跡より6cm前後高い。また第435号住居跡とはほぼ同レベルである。

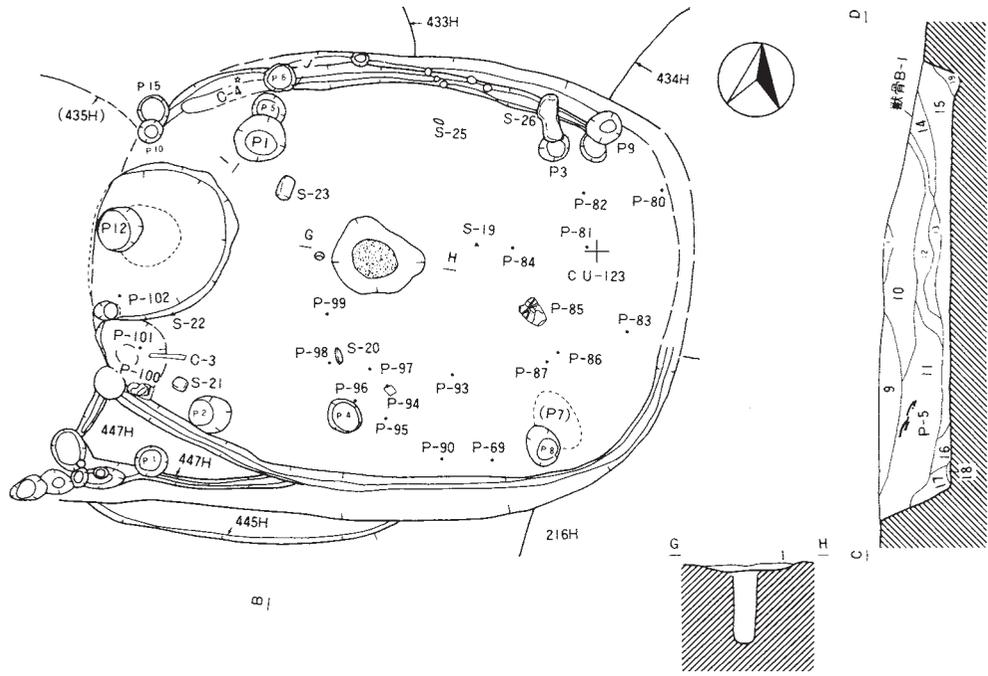
<壁溝> 東側の第434号住居跡との重複部分及び西側の特殊施設の部分を除いて、壁溝が検出された。第434号住居跡との重複部分では検出されなかったものの、セクションでは壁溝が確認されていることから、特殊施設の部分を除いて、ほぼ一周していたものと考えられる。壁溝の幅約10cm、深さ約7cmである。

<柱穴> 堅穴内からは大小合わせて約20個のピットを検出した。主なピットの深さは、P<sub>1</sub>…73cm、P<sub>2</sub>…90cm、P<sub>3</sub>…47cm、P<sub>4</sub>…49cm、P<sub>5</sub>…76cm、P<sub>6</sub>…73cm、P<sub>7</sub>…69cm、P<sub>8</sub>…54cm、P<sub>9</sub>…65cm、P<sub>10</sub>…63cm、P<sub>11</sub>…74cm、P<sub>12</sub>…74cm、P<sub>13</sub>…80cmである。このうち、P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>・P<sub>7</sub>はピット上部には貼り床が施され、堅緻であったことから古い柱穴であることが確かめられた。以上のことから、本住居に伴う主柱穴はP<sub>2</sub>・P<sub>6</sub>（またはP<sub>1</sub>）・P<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>の4本で構成される柱穴配置と考えられる。

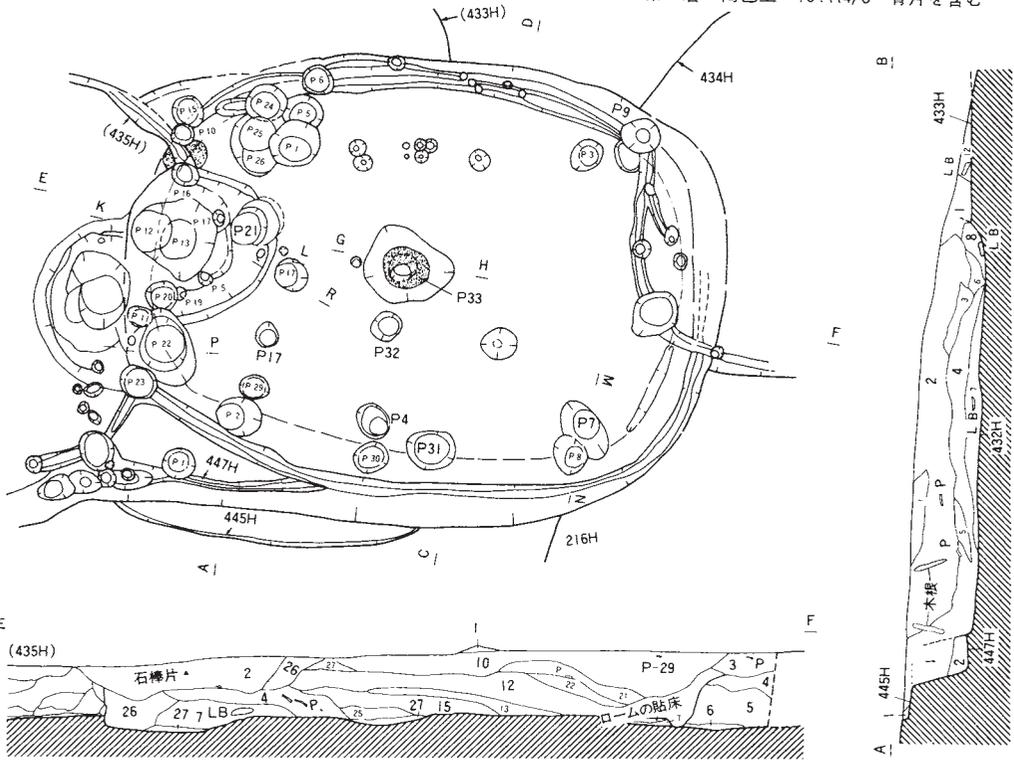
<炉> 住居跡のほぼ中央で地床炉を検出した。63cm×72cmの楕円形に近いもので、約6cm程くぼんでいる。

<特殊施設> 西壁に接するように検出した。110cm×125cmの範囲で、西壁際に検出したP<sub>12</sub>（深さ74cm）に向かって、なだらかに低くなっており、その比高差は約6cmである。前段階の住居跡の特殊施設の上にローム貼っており、壁緻である。P<sub>12</sub>にはローム粒・塊を多量に含む褐色土～暗褐色土の堆積が見られ、P<sub>13</sub>を切って構築されている。

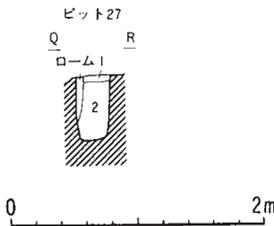
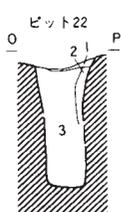
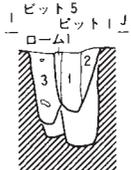
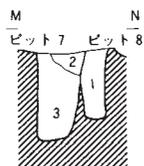
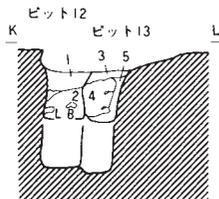
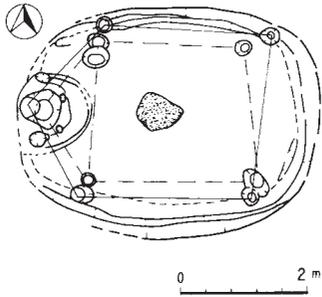
<堆積土> 全体にローム粒を多量に含んだ、締まりの弱い褐色～暗褐色土と、黄褐色土（ローム）の堆積が見られ、どちらかといえば、人為的堆積の様相を呈していると思われる。



第432号住居跡 炉土層注記  
第1層 褐色土 10YR4/6 骨片を含む



第1033図 第422・445・447号住居跡(1)



第432号住居跡土層注記

- 第1層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒、木炭粒微量に含む
- 第2層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量、木炭粒少量含む
- 第3層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒少量含む
- 第4層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量含む
- 第5層 褐色土 10YR4/4 ローム粒、木炭粒微量に含む
- 第6層 褐色土 10YR4/6 ローム質
- 第7層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量、炭化物微量含む
- 第8層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量含む
- 第9層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量含む
- 第10層 褐色土 10YR4/6 焼土粒微量、炭化物微量、ローム粒多量含む
- 第11層 褐色土 10YR4/4 ローム粒少量含む
- 第12層 黄褐色土 10YR5/8 ローム粒、塊を多量含む
- 第13層 褐色土 10YR4/4 ローム粒少量含む
- 第14層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量、炭化物微量含む
- 第15層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒多量含む
- 第16層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒多量含む
- 第17層 黄褐色土 10YR5/8 ローム質土多量含む
- 第18層 褐色土 10YR4/4 ローム質土多量含む
- 第19層 褐色土 10YR4/6 ローム質
- 第20層 赤褐色土 5YR4/6 焼土、骨片を含む
- 第21層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒少量含む
- 第22層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量含む
- 第23層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化物微量含む
- 第24層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒多量含む
- 第25層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化物少量含む
- 第26層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化物少量含む
- 第27層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化物少量含む

第432号住居跡 ビット1・5 土層注記

- 第1層 黒褐色土 10YR2/3
- 第2層 褐色土 10YR4/6 ローム粒、塊を多量に含む
- 第3層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒、塊を多量に含む

第433号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒を少量含む
- 第2層 褐色土 10YR4/4 ローム粒を多量含む

第445号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒を少量含む

第447号住居跡土層注記

- 第1層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒を多量含む
- 第2層 黒褐色土 10YR4/4 ローム粒を少量含む

第432号住居跡 ビット12・13土層注記

- 第1層 褐色土 10YR4/6 } P12
- 第2層 暗褐色土 10YR3/4 } ローム粒、塊を多量に含む
- 第3層 褐色土 10YR4/4 } P13
- 第4層 黄褐色土 10YR5/8 }
- 第5層 褐色土 10YR4/6 }

第432号住居跡 ビット22土層注記

- 第1層 黄褐色土 10YR5/6
- 第2層 黄褐色土 10YR5/8 ローム
- 第3層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量、塊少量、炭化物少量含む

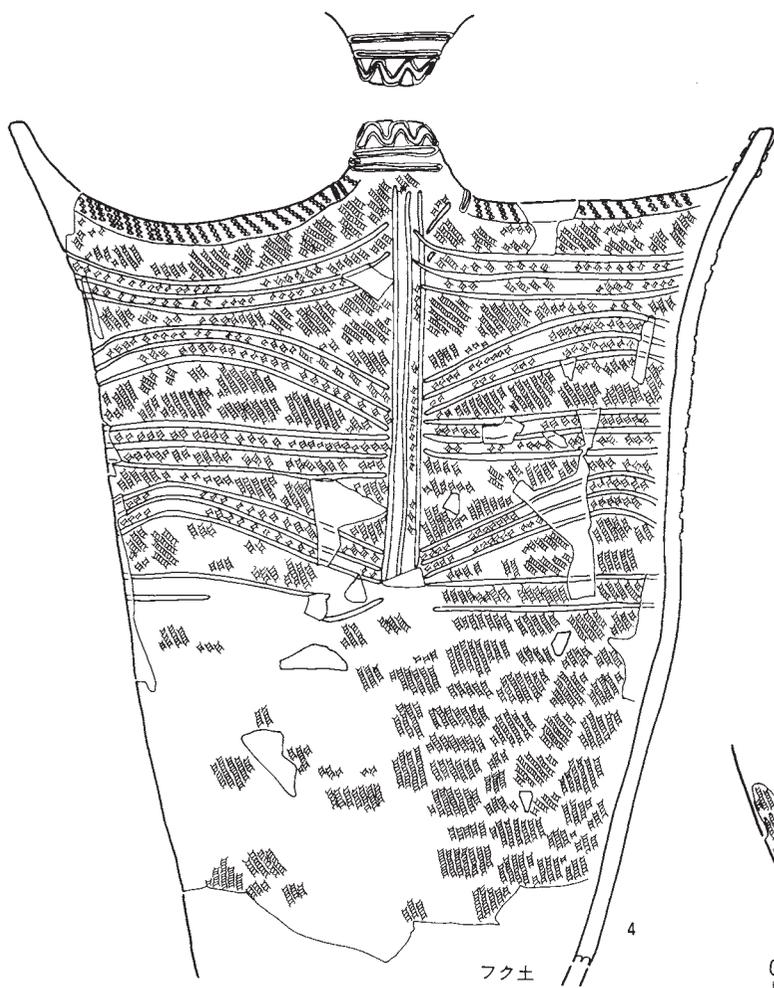
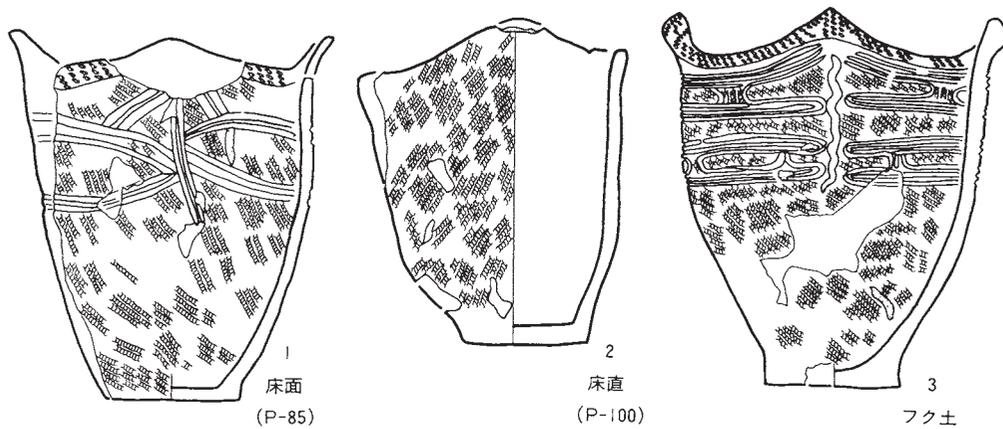
第432号住居跡 ビット27土層注記

- 第1層 黄褐色土 10YR5/8 暗褐色土、ローム含む
- 第2層 黄褐色土、暗褐色土、ローム多量含む

第432号住居跡 ビット7・8 土層注記

- 第1層 暗褐色土 10YR3/4 軟らかい
- 第2層 黄褐色土 10YR5/6 硬い
- 第3層 黄褐色土 10YR5/8 上面硬い

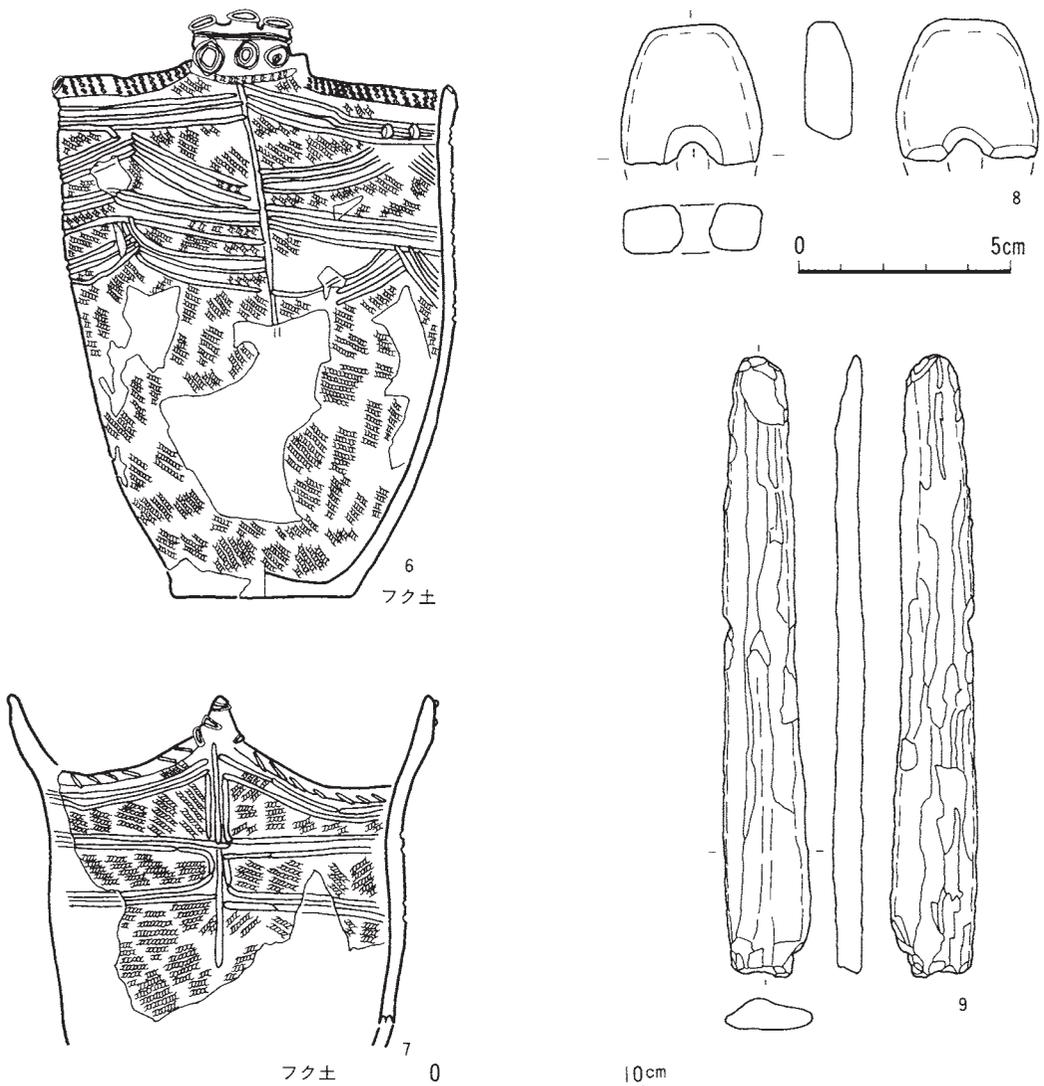
第1034図 第432・445・447号住居跡(2)



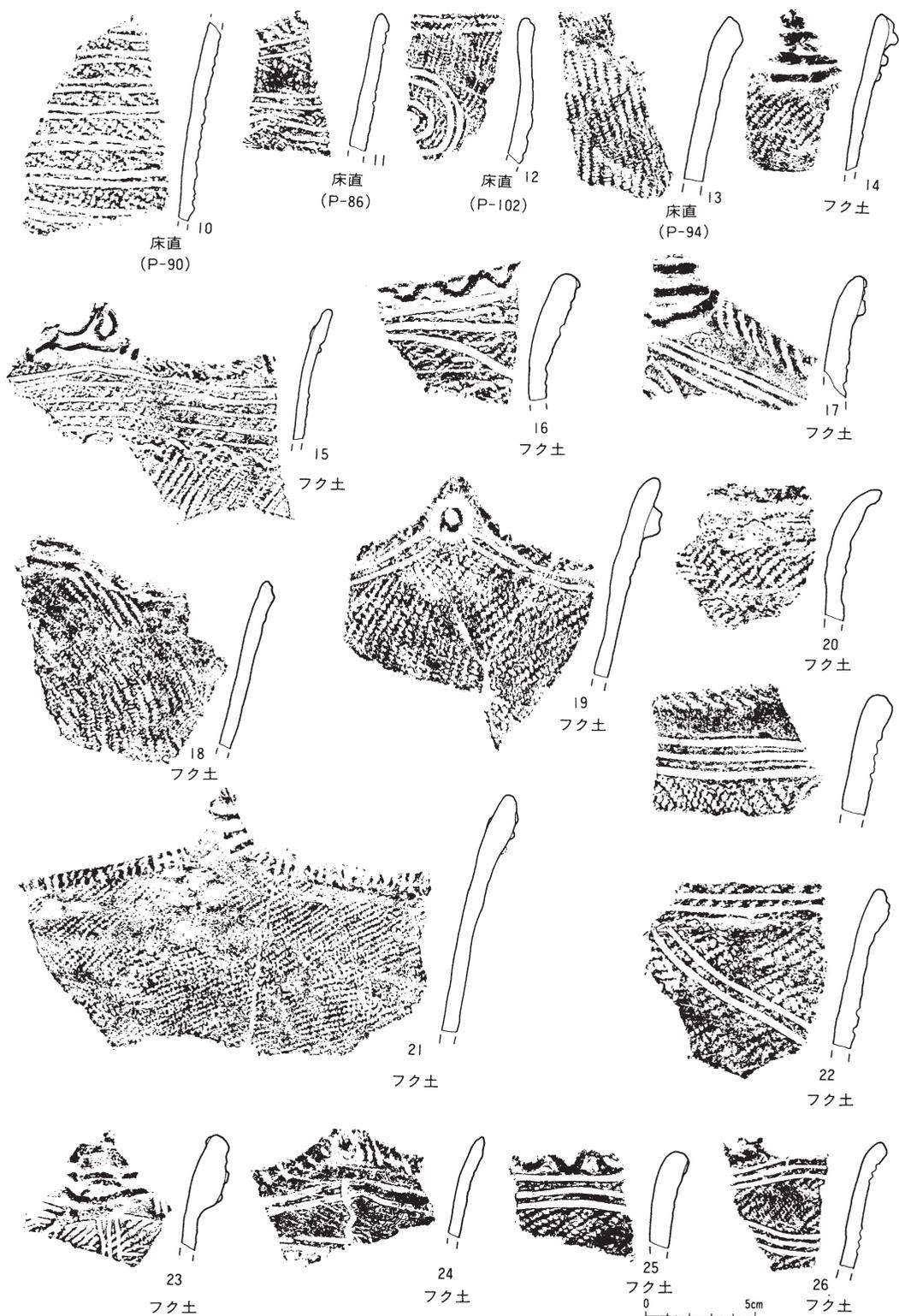
第1035図 第432号住居跡(3)

〈出土遺物〉 覆土からは円筒上層d・e式及び大木系の土器が出土しているが、とくに円筒上層e式土器が多い。床面及び床面直上からの出土遺物はあまり多くはないが、円筒上層e式の深鉢型土器（P-85、第1035図1・2）が出土している。

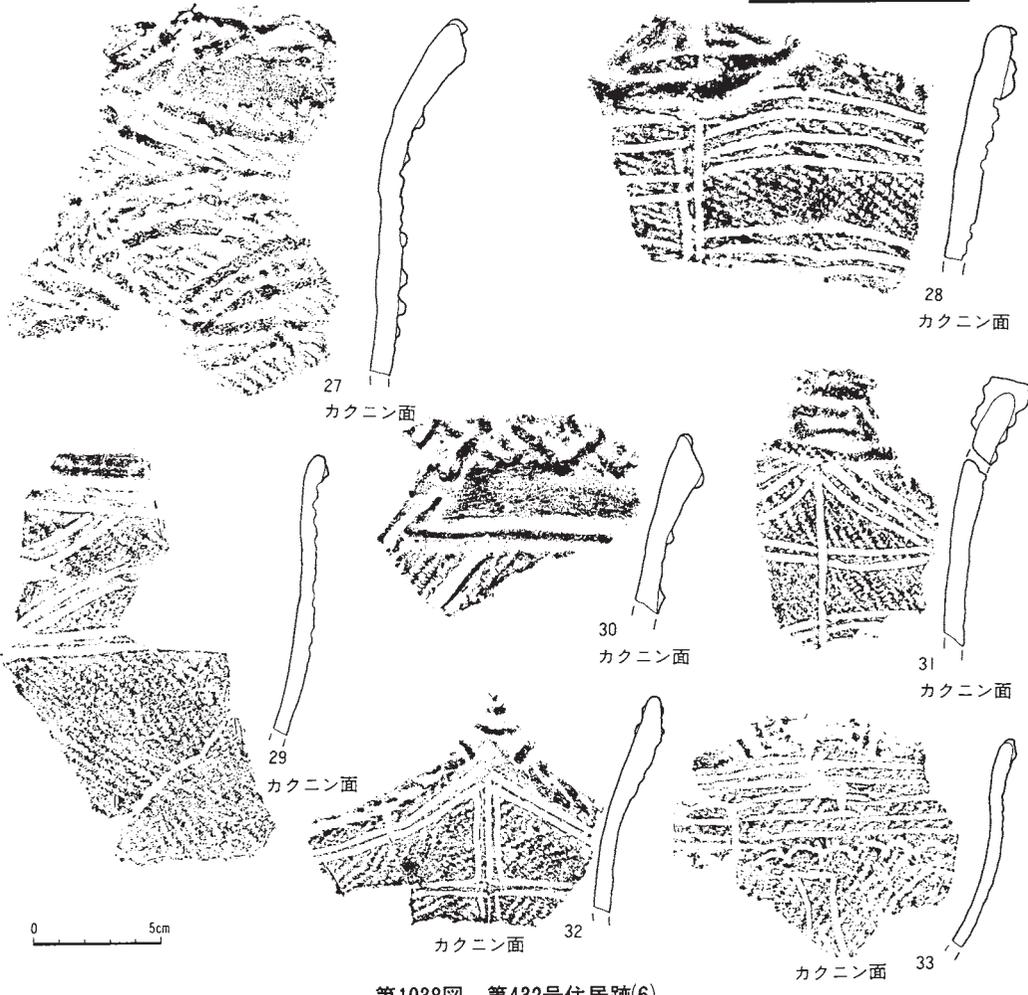
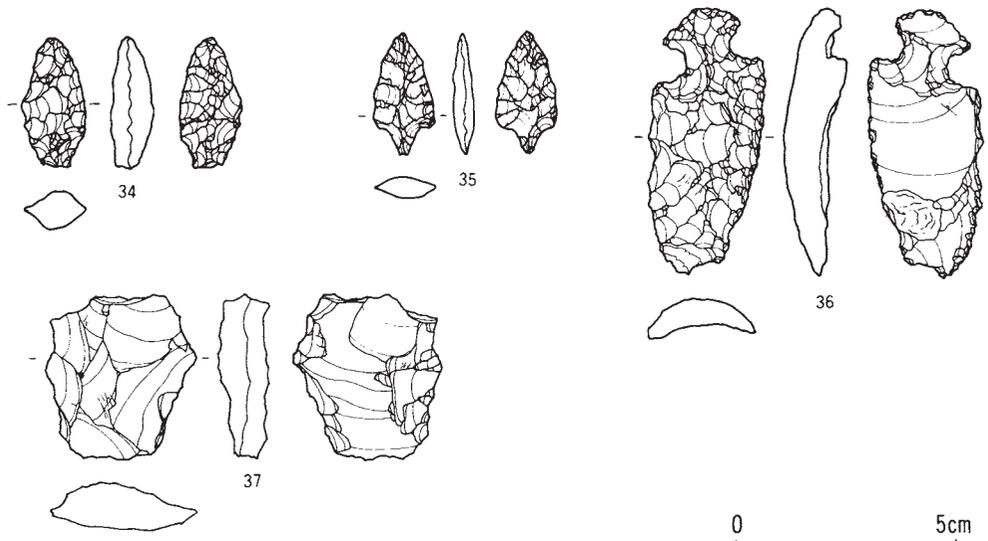
石器は、床面から敲磨器類1点、台石1点、石棒類1点、床面直上から磨製石斧1点、覆土から石鏃2点、石錐2点、石匙1点、不定形石器11点、磨製石斧1点、敲磨器類1点、石皿2点が出土した。また、炉の脇の小ピット(P14)からは石鏃が出土した。床面から石剣(C-3)1点、有孔石製品(C-4)1点が出土した。また確認面から骨刀と思われるものの一部分が出土した（第1039図39）。



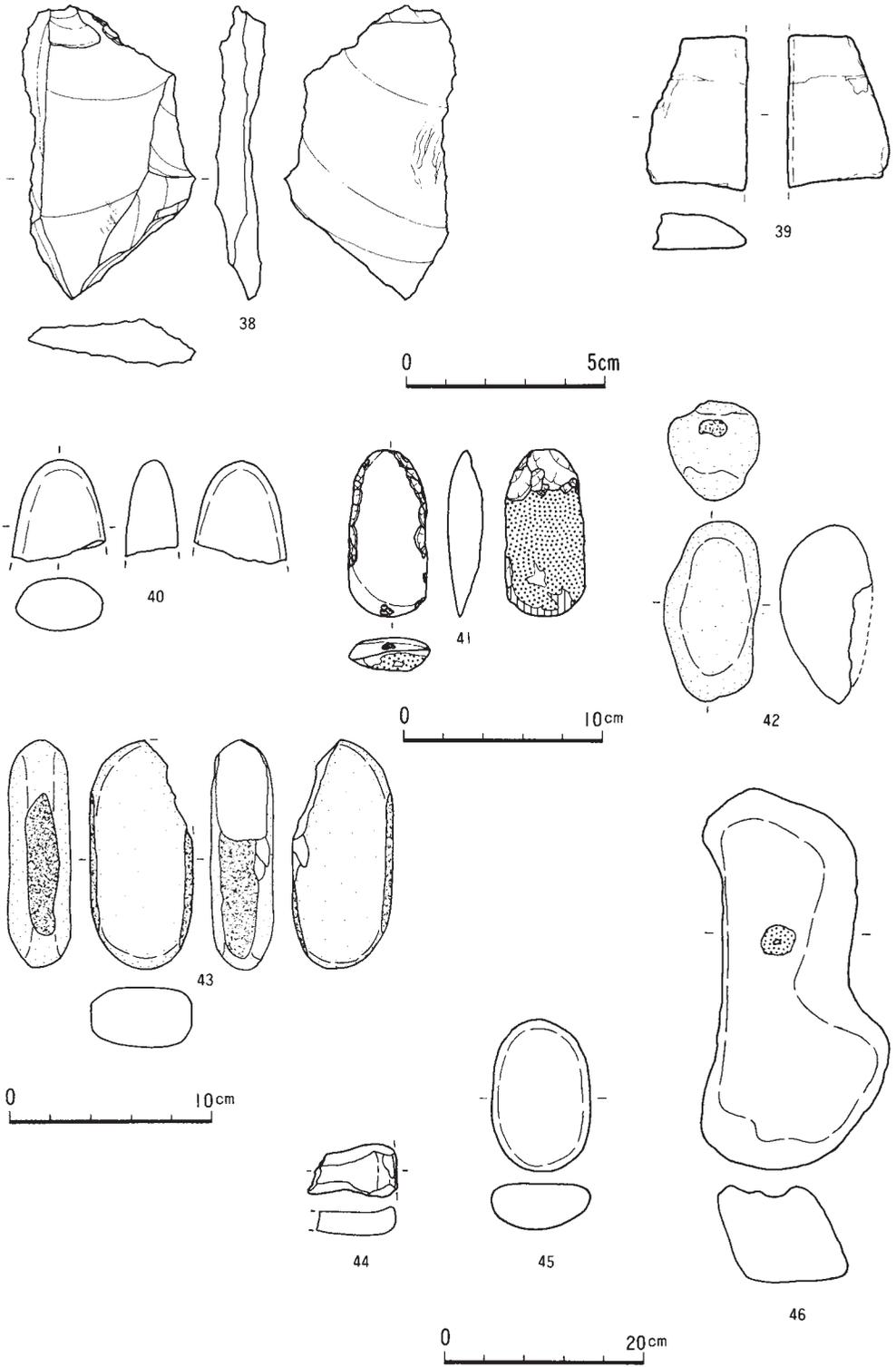
第1036図 第432号住居跡(4)



第1037図 第432号住居跡(5)



第1038図 第432号住居跡(6)



第1039图 第432号住居跡(7)

<小結> 本住居跡の時期は床面から出土した土器から、円筒上層 e 式期と考えられる。

#### 第432号B住居跡

<平面形・規模> 平面形は、第432号A住居跡と似た形状と推測され、東西に主軸を持つ隅丸長方形もしくはそれに近い楕円形と思われる。推定規模は短軸約3m、長軸4m20cm(床面での推定)である。推定床面積は、10.24m<sup>2</sup>である。

<壁溝> 南壁の約20cm内側に、幅2~3cm、深さ1~2cm程度の壁溝の痕跡が認められた。また、北壁側では第432号A住居跡の壁溝より若干内側に重複して検出された。

<柱穴> 第432号A住居跡の床面をさらに削平したところ、新たに大小合わせて約50個のピットを検出した。主なピットの深さは、P<sub>14</sub>…18cm、P<sub>15</sub>…69cm、P<sub>16</sub>…40cm、P<sub>17</sub>…28cm、P<sub>18</sub>…5cm、P<sub>19</sub>…11cm、P<sub>20</sub>…13cm、P<sub>21</sub>…50cm、P<sub>22</sub>…104cm、P<sub>23</sub>…46cm、P<sub>24</sub>…48cm、P<sub>25</sub>…88cm、P<sub>26</sub>…14cm、P<sub>27</sub>…55cm、P<sub>28</sub>…17cm、P<sub>29</sub>…64cm、P<sub>30</sub>…18cm、P<sub>31</sub>…32cm、P<sub>32</sub>…15cm、P<sub>33</sub>…55cmである。これ以外のピットは深さ10cmに満たないものである。このうち、本住居に伴う柱穴はP<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>(またはP<sub>1</sub>)・P<sub>7</sub>・P<sub>29</sub>の4個である。また、P<sub>32</sub>は地床炉の中央から検出したもので、炉より古い時期のものである。住居跡西側から、多数のピットが検出したが、その中には、別の住居跡の柱穴と考えられるものもあるが、確定することが出来なかった。

<炉> 第432号A住居跡のものと同様のものであり、ほかには検出されなかった。

<特殊施設> 第432号A住居跡のものと同様のものであり、ほぼ同位置にある。第432号A住居跡のものより若干内側にあり、施設内のピット(P<sub>13</sub>)はP<sub>12</sub>と重複して、やはり、若干内側にある。ピットの規模はほぼ同規模である。P<sub>13</sub>はその大半を黄褐色土(ローム)で占められ、上部は褐色土の貼り床が見られた。また、南北にあるP<sub>17</sub>・P<sub>18</sub>は付随するものと思われる。(畠山 昇)

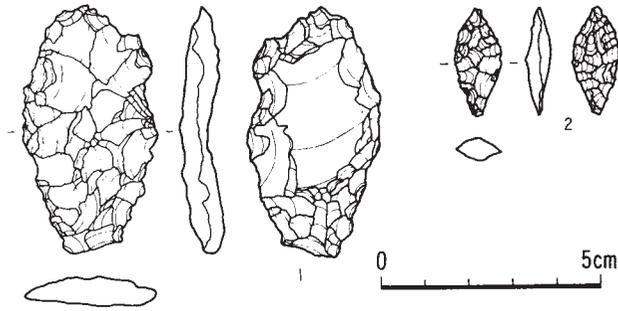
#### 第433号住居跡(第1040図、第1045図)

<位置と確認> CU-124グリッドの緩斜面上に位置して、第432・435号住居跡の調査中に北側に検出した。

<重複> 南側で重複関係にある第432・435号住居跡より古いのが、これらと重複している第445・446号住居跡との新旧関係は不明、また、西側で重複している第393号住居跡より古いのが、これと重複している第394号住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 不明である。ただ検出できた床面から、東西に長軸を持つ大型の住居跡の可能性が考えられる。

<壁・床面> 床面はほぼ平坦で、堅緻である。西側に位置している第435号住居跡の床面とはあまりレベルの差はない。床面は北側が低くなっているため、確認できなかった。壁は第432号



第1040図 第433号住居跡

住居跡と切りあっているわずかの部分より確認できず、この部分の壁高は14cmである。

<壁溝> 不明である。

<柱穴> 第433号とした床面からは大小合わせて30個のピットを検出した。主なピットの深さは、P<sub>1</sub>…21cm、P<sub>2</sub>…46cm、P<sub>3</sub>…16cm、P<sub>4</sub>…11cm、P<sub>5</sub>…17cm、P<sub>6</sub>…20cm、P<sub>7</sub>…18cm、P<sub>8</sub>…83cm、P<sub>9</sub>…8cm、P<sub>10</sub>…63cm、P<sub>11</sub>…35cm、P<sub>12</sub>…11cm、P<sub>13</sub>…7cm、P<sub>14</sub>…19cm、P<sub>15</sub>…55cm、である。これら以外にも、第432・435号住居跡の内外から検出されピットの中にも存在すると思われるが、判別できなかった。

<炉> 不明である。

<特殊施設> 不明である。

<堆積土> 締まりのない暗褐色～褐色土の堆積が見られた。

<出土遺物> 土器は出土しなかった。石器は、覆土から石鏃3点、不定形石器1点、ピットから不定形石器1点が出土した。

<小結> 本住居は北西側を第451号、西側を第393号、南側を第432号・435号に囲まれてはいるが、床面をやや広く確認することができ、比較的大型の住居と考えられる。先に、第394号住居跡でも記述されているように、本住居跡は大型住居跡(第394号住居跡)の一部である可能性が強い。本住居跡の時期は、住居跡の新旧関係から、円筒上層d式かそれ以前と考えられる。

(畠山 昇)

#### 第434号住居跡 (第1041図～ 第1043図)

<位置と確認> C・T・C・U-124グリッドの緩斜面上に位置して、第423号住居跡の調査中に西側に隣接して検出した。

<重複> 第432号住居跡より古いが、第216号住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 南北に長軸をもつ不整円形もしくは隅丸方形で、規模は短軸2 m80cm、長軸2 m88cm(床面での計測)である。確認面での規模は、短軸3 m05cm(南北)、長軸3 m20cm前後(東西、推定値)である。床面積は6.7㎡で、拡張前の床面積は5.6㎡である。

<壁・床面> 床面は主柱穴に囲まれた部分に貼り床が確認され、とくに、炉と特殊施設に挟まれた部分が堅く踏み締められている。反対に、特殊施設とP<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>を結んだライン上から北側は軟らかであった。緩斜面上に位置しているため、壁高は北壁30cm、東壁60cm前後である。

<壁溝> 北壁を除きほぼ一周する。幅約7～10cm、深さ約7～15cmである。また、この壁溝の約10cm内側にも検出された。古い段階のものと思われる。

<柱穴> 堅穴内からは大小合わせて31個のピットを検出した。主なピットの深さは、P<sub>1</sub>…46cm、P<sub>2</sub>…48cm、P<sub>3</sub>…32cm、P<sub>4</sub>…63cm、P<sub>5</sub>…28cm、P<sub>6</sub>…27cm、P<sub>7</sub>…32cm、P<sub>8</sub>…26cm、P<sub>9</sub>…20cm、P<sub>10</sub>…11cm、P<sub>11</sub>…22cm、P<sub>12</sub>…9cm、P<sub>13</sub>…10cm、P<sub>14</sub>…15cm、P<sub>15</sub>…16cm(P<sub>14</sub>・P<sub>15</sub>はP<sub>13</sub>底面からの測定値)である。このうち、主柱穴はP<sub>1</sub>～P<sub>4</sub>の4個で4本柱である。また、P<sub>5</sub>～P<sub>8</sub>は長方形に対応しており、何らかの施設跡の可能性が窺わせる。

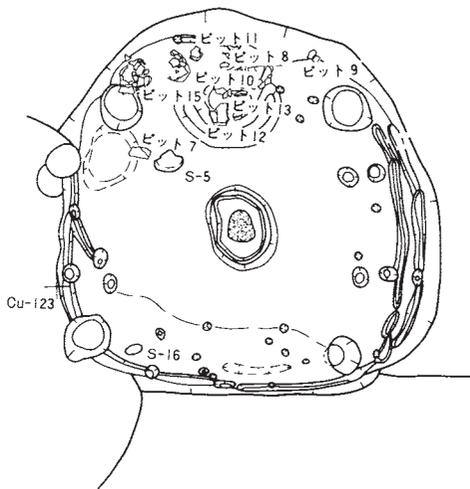
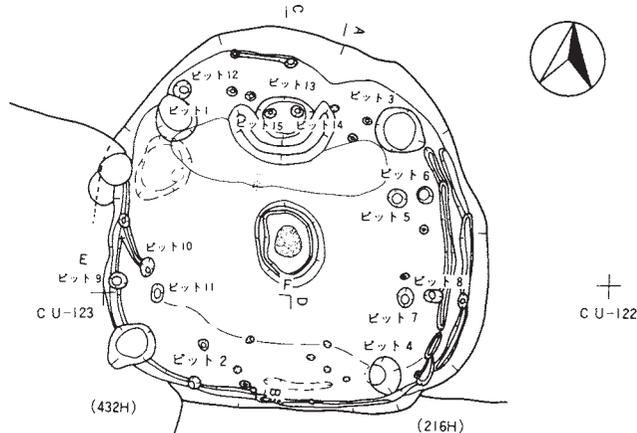
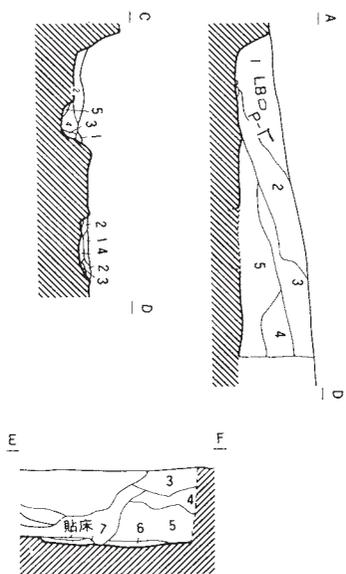
<炉> 住居跡のほぼ中央で地床炉を検出した。規模は53cm×70cmの楕円形で、南北に長い。約6cm程くぼんでいる。縁辺はロームの盛土で、土手状に囲っている。盛土の高さは2～3cm前後である。

<特殊施設> 北側に位置する。P<sub>1</sub>とP<sub>3</sub>を結んだライン上にあり、北壁からは約30cm離れている。幅約20cm、高さ約5cmの黄褐色土(ローム)を、半円状に(径85cm)巡らしたものである。その内側には、深さ10cmのピット(P<sub>13</sub>)があり、さらにその内部には径10cm前後の小ピット2個(P<sub>14</sub>・P<sub>15</sub>)を穿っている。P<sub>13</sub>内部の堆積土は軟らかく、締まりのない暗褐色土を主体としたもので、P<sub>13</sub>底面及びその周辺の床面は北壁に至るまで、軟らかであった。

<堆積土> 全体に、ローム粒を多量に含んだ暗褐色～褐色土を主体としているが、とくに北側では中央付近から北側にかけて、黄褐色土(ローム)の堆積が床面近くまで見られ、人為的堆積の様相を呈している。

<出土遺物> 覆土から床面直上にかけてやや多量の遺物が出土した。床面直上では、とくに北壁寄りから出土した。出土した土器は円筒上層e式期と考えられるが、堆積土の状況から、これらの遺物は投棄されたものの可能性が高いと考えられる。石器類は、北東から多く出土した。北東壁際のP<sub>3</sub>の北西及び南東で、多数のフレイク・チップ類が出土したほか、炉から石鏃1点、特殊施設から不定形石器6点、床面直上から石鏃1点、不定形石器4点、台石1点、覆土から石鏃2点、石錐2点、不定形石器10点、台石1点が出土した。

<小結> 本住居は、不整円形もしくは隅丸方形を呈する小型の住居跡である。本住居跡の時



第434号住居跡土層注記

- |     |      |         |                  |
|-----|------|---------|------------------|
| 第1層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | ローム粒、炭化物、焼土粒微量含む |
| 第2層 | 黄褐色土 | 10YR5/8 | ローム              |
| 第3層 | 褐色土  | 10YR4/4 | ローム粒多量含む         |
| 第4層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | ローム粒多量含む(1層より多量) |
| 第5層 | 褐色土  | 10YR4/6 | ローム粒多量含む(2層より多量) |
| 第6層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | ローム粒多量含む         |
| 第7層 | 褐色土  | 10YR4/4 | ローム粒多量含む         |

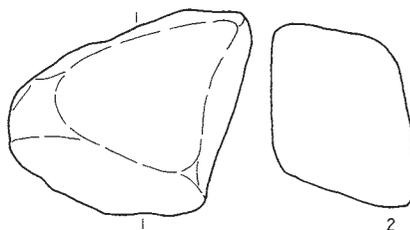
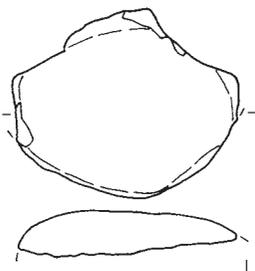
第434号住居跡特殊施設土層注記

- |     |      |         |                  |
|-----|------|---------|------------------|
| 第1層 | 黄褐色土 | 10YR5/8 | ローム主体 炭化物微量含む    |
| 第2層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | 焼土、炭化物少量、ローム多量含む |
| 第3層 | 黄褐色土 | 10YR5/8 | 褐色土、炭化物微量含む      |
| 第4層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | ローム粒少量、炭化物微量含む   |
| 第5層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | ローム粒多量、炭化物微量含む   |

第434号住居跡 炉土層注記

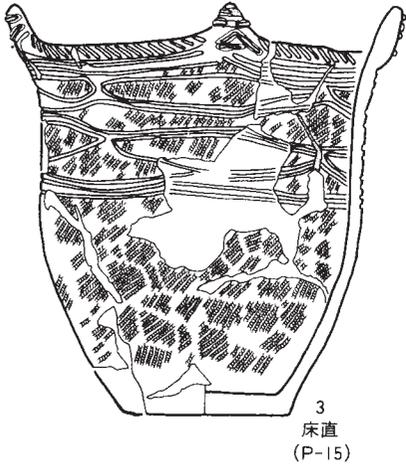
- |     |      |          |                     |
|-----|------|----------|---------------------|
| 第1層 | 褐色土  | 10YR4/4  | 炭化物微量、焼土少量、ローム粒多量含む |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YR2/2  | 炭化物、焼土微量、ローム中量含む    |
| 第3層 | 黄褐色土 | 10YR5/8  | ローム主体、暗褐色土微量含む      |
| 第4層 | 明褐色土 | 7.5YR5/8 |                     |

0 2m

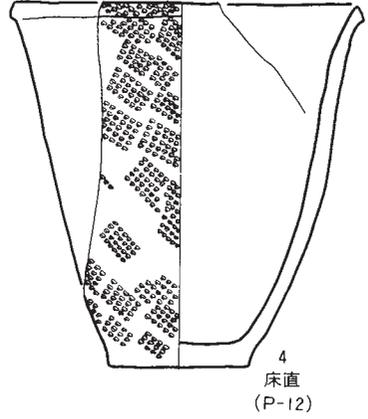


0 20cm

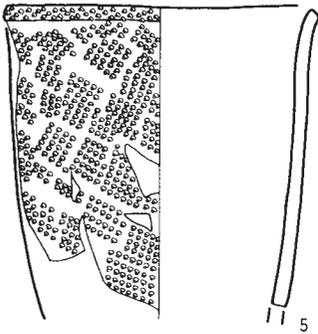
第1041図 第434号住居跡(1)



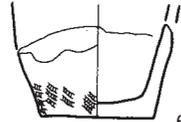
3  
床直  
(P-15)



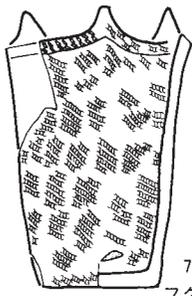
4  
床直  
(P-12)



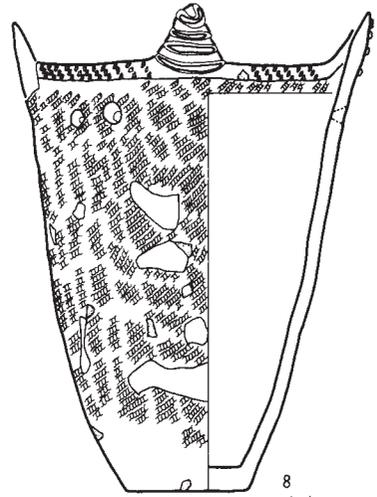
5  
床直  
(P-14)



6  
床直  
(P-13)



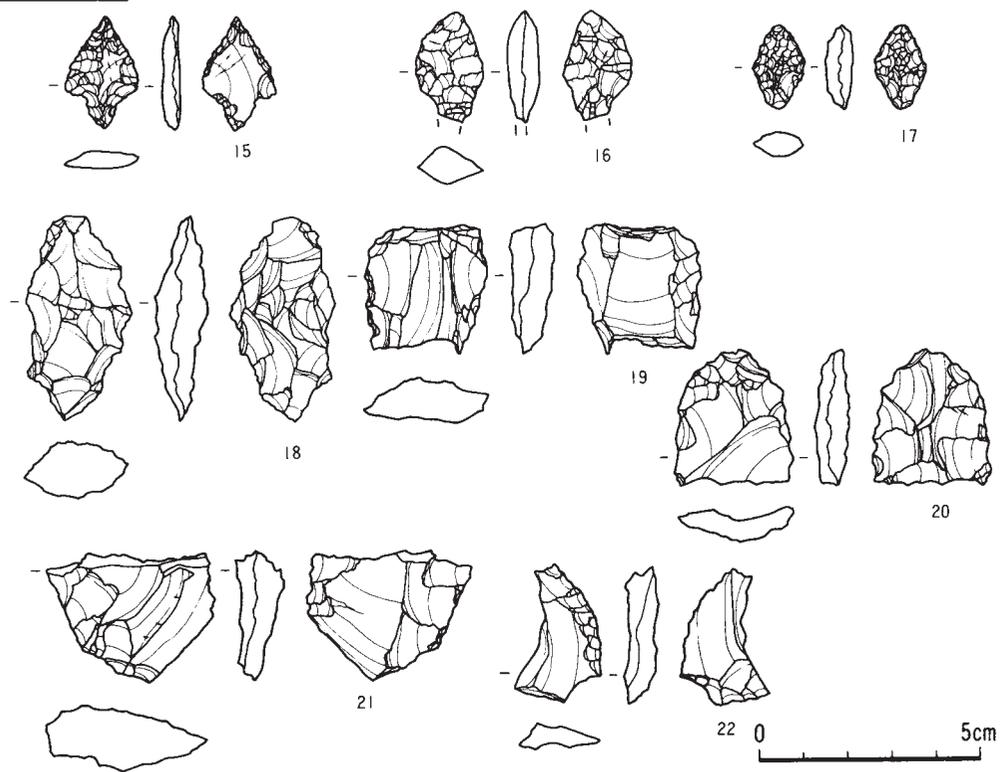
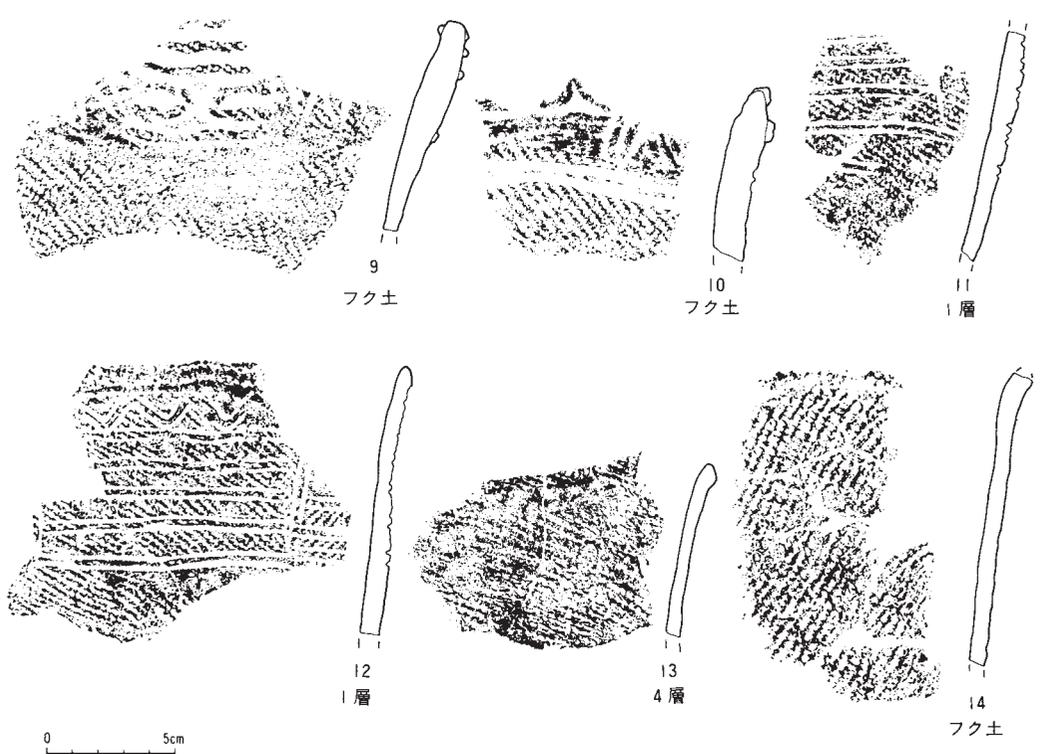
7  
フク土  
(P-9)



8  
フク土  
(P-8)



第1042図 第434号住居跡(2)



第1043図 第434号住居跡(3)

期は不明であるが、土器の出土状況と住居跡の新旧関係から円筒上層 e 式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。また床面での調査から、壁溝が 2 本検出され、小規模ながらも建て替えが認められた。炉・柱の位置には変化が認められなかったが、壁溝が南・東側に拡張されたものと考えられる。また、北側では特殊施設と北壁とに間隙が認められているが、この種の施設の特徴は、壁際に接するように検出される例が多いことから、北側も拡張されたものと考えられる（ただし、この場合施設も炉・柱と同様、同位置のままであった。）。

（畠山 昇）

#### 第435号住居跡（第1044図～第1049図）

＜位置と確認＞ C T・C U-124グリッドの緩斜面上で、第423号住居跡の調査中に西側に隣接して確認した。

＜重複＞ 第393・432号住居跡より古く、第433・446・447号住居跡より新しい。

＜平面形・規模＞ 東西に長軸を持つ楕円形で、規模は短軸 3 m 48cm、推定長軸 4 m 70cm（床面での計測）である。推定床面積は12.75㎡である。

＜壁・床面＞ 床面はほぼ平坦で、堅緻である。周辺の住居、第432・433号住居跡等の床面とはあまりレベルの差はない。また床面は第IV層を掘り込んでいるが、部分的に貼り床が施されている。壁高は第432号住居跡とほぼ同じものと思われる。緩斜面上に位置しているため、壁高は、南側では地山から60cm前後、北側では10cm前後である。

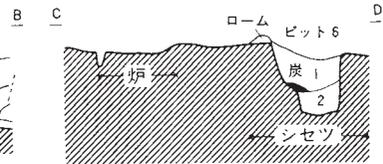
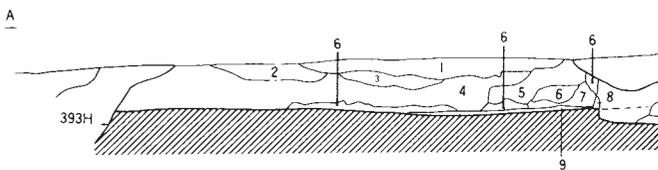
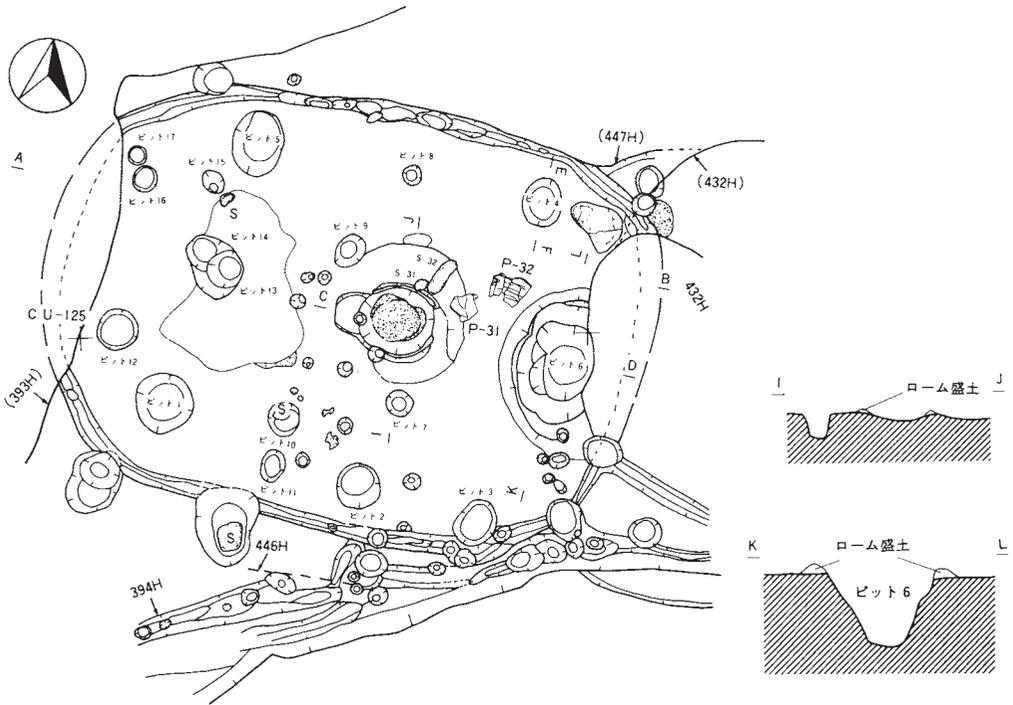
＜壁溝＞ 東側の第393号住居跡に切られている部分は不明であるが、西側の付属施設の部分を除いて、一周するものと思われる。幅約 7～10cm、深さ約 7～15cm である。

＜柱穴＞ 竪穴内からは多数のピットを検出した。主なピットの深さは以下のとおりである。  
P<sub>1</sub>…41cm、P<sub>2</sub>…73cm、P<sub>3</sub>…81cm、P<sub>4</sub>…76cm、P<sub>5</sub>…72cm、P<sub>6</sub>…58cm、P<sub>7</sub>…17cm、P<sub>8</sub>…12cm、  
P<sub>9</sub>…24cm、P<sub>10</sub>…21cm、P<sub>11</sub>…17cm、P<sub>12</sub>…36cm、P<sub>13</sub>…85cm、P<sub>14</sub>…72cm、P<sub>15</sub>…58cm、P<sub>16</sub>…19  
cm、P<sub>17</sub>…18cm、P<sub>18</sub>…73cm、P<sub>19</sub>…107cm、P<sub>20</sub>…92cm、P<sub>21</sub>…54cm、P<sub>22</sub>…33cm、P<sub>23</sub>…26cm、  
P<sub>24</sub>…54cm、P<sub>25</sub>…61cm、P<sub>26</sub>…38cm、P<sub>27</sub>…48cm、P<sub>28</sub>…25cm、P<sub>29</sub>…65cm、P<sub>30</sub>…18cm。

このうち、本住居の支柱穴は P<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>～P<sub>5</sub> の 4 個で、4 本柱と考えられる。また P<sub>2</sub> は第394号住居跡に伴うものとみられる。P<sub>18</sub>～P<sub>29</sub> はピット上部にロームが貼られており、他の住居跡の柱穴と思われる。

＜炉＞ 住居跡の中央から東寄り地床炉を検出した。56cm×60cmのほぼ円形で、床面から約 5 cm 程くぼんでいる。南と北側では幅10cm、高さ 5 cm のロームが弧状に盛土されているが、東と西側には見られない。また炉の周辺（北～東～南）には貼り床が施され、非常に堅い。

また、炉の周辺の貼り床下部（P<sub>27</sub> 近辺）及び北東壁際で焼土を検出した。とくに北東壁際か



第435号住居跡土層注記 (A-B)

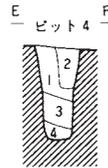
- |     |       |          |                    |
|-----|-------|----------|--------------------|
| 第1層 | 黄褐色土  | 10YR5/8  | ローム                |
| 第2層 | 暗褐色土  | 10YR3/4  | ローム粒多量、炭化物少量含む     |
| 第3層 | 赤褐色土  | 2.5YR4/6 | 焼土                 |
| 第4層 | 黒褐色土  | 10YR2/3  | ローム粒、炭化粒多量、焼土粒少量含む |
| 第5層 | 暗褐色土  | 10YR3/3  | ローム粒、炭化粒多量、焼土粒少量含む |
| 第6層 | 暗赤褐色土 | 5YR3/3   | 焼土多量含む             |
| 第7層 | 赤褐色土  | 5YR4/8   | 焼土                 |
| 第8層 | 暗褐色土  | 10YR3/4  | 炭化物多量、焼土少量含む       |
| 第9層 | 黒褐色土  | 10YR2/2  | 炭化物多量、焼土微量含む       |

ピット6 土層注記 (C-D)

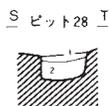
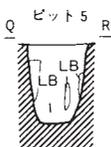
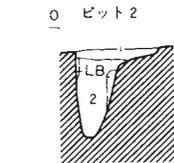
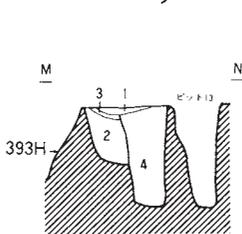
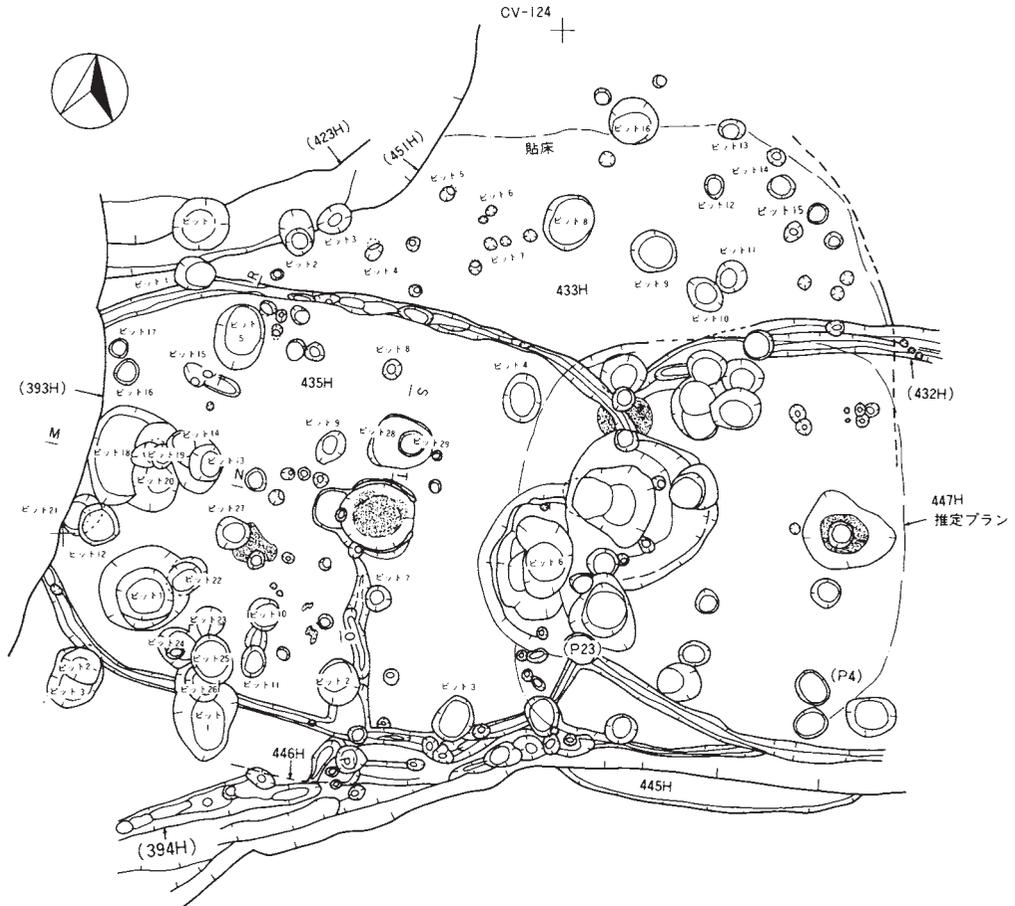
- |     |      |         |            |
|-----|------|---------|------------|
| 第1層 | 黒色土  | 10YR2/3 | 焼土、炭化物多量含む |
| 第2層 | 黄褐色土 | 10YR5/6 | ローム粒多量含む   |

ピット4 土層注記 (E-F)

- |     |      |         |                      |
|-----|------|---------|----------------------|
| 第1層 | 黒褐色土 | 10YR2/3 | 焼土ブロック、ローム若干、炭化物少量含む |
| 第2層 | 黄褐色土 | 10YR5/8 | ローム 上面硬い             |
| 第3層 | 黄褐色土 | 10YR5/6 | ロームと暗褐色土の互層          |
| 第4層 | 褐色土  | 10YR4/4 |                      |



第1044図 第435・446号住居跡(1)



第435号住居跡 ピット18・20土層注記 (M-N)

- 第1層 黄褐色土 10YR5/6 ローム
- 第2層 黄褐色土 10YR シルト微量、ローム粒、塊含む
- 第3層 黒褐色土 10YR ローム微量含む
- 第4層 黄褐色土 10YR5/8 焼土粒微量、ローム含む

第435号住居跡 ピット2 土層注記 (O-P)

- 第1層 黄褐色土 10YR5/6 貼床
- 第2層 黄褐色土 10YR5/6 ローム主体、焼土粒微量、暗褐色土シルト含む

第435号住居跡 ピット28土層注記 (S-T)

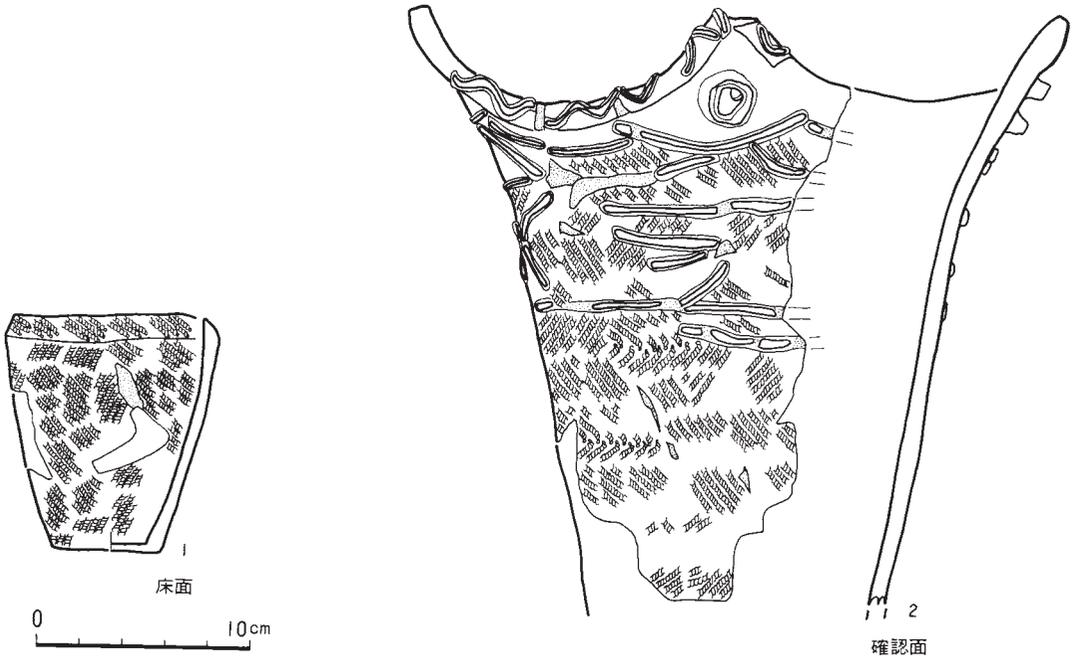
- 第1層 暗褐色土 10YR3/4 焼土粒、炭化物微量含む
- 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒若干含む

第435号住居跡 ピット5 土層注記 (Q-R)

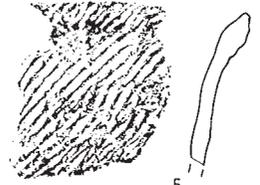
- 第1層 暗褐色土 10YR3/3

第1045図 第433・435・445・446・447号住居跡(2)

0 2m



4 床面



5 床面

3 フク土



6 床直



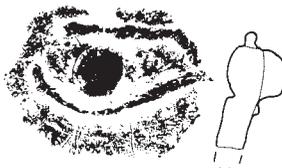
7 床直



8 床直



9 床直 (P-31)



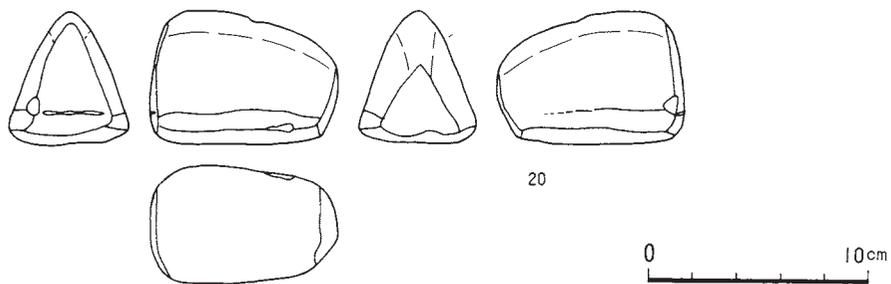
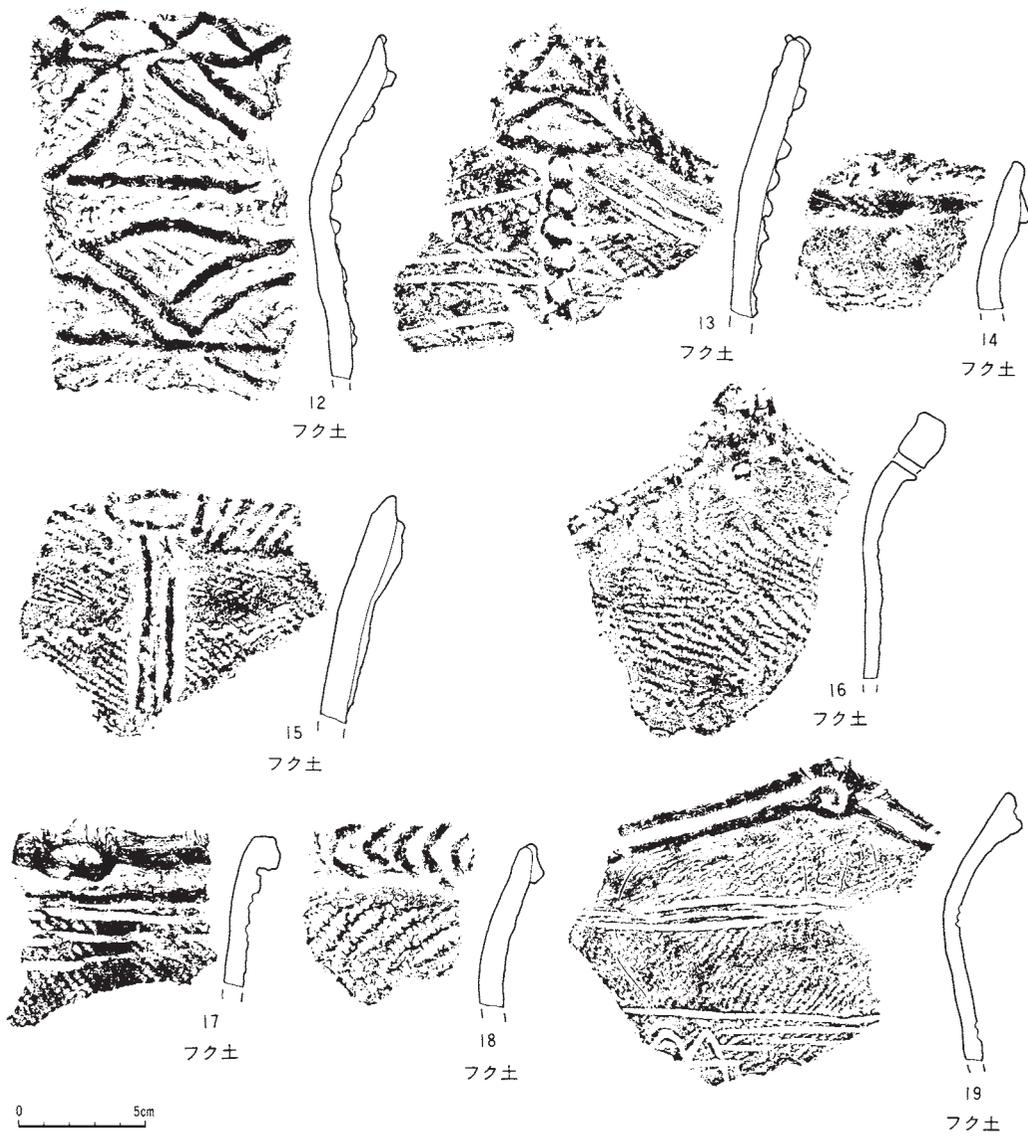
10 フク土



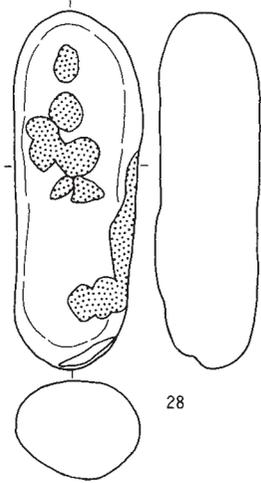
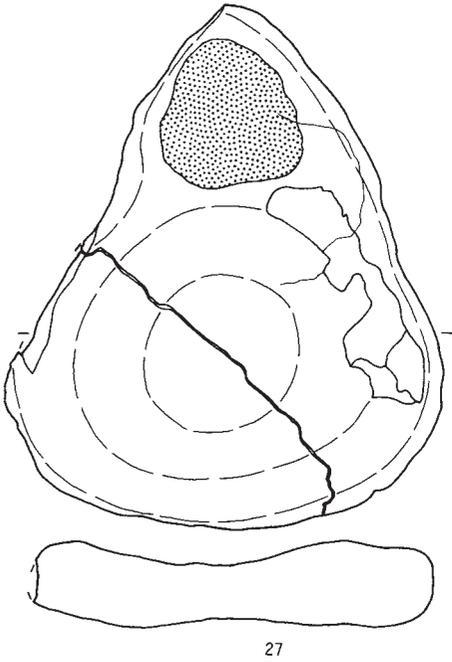
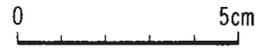
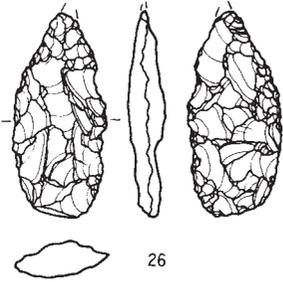
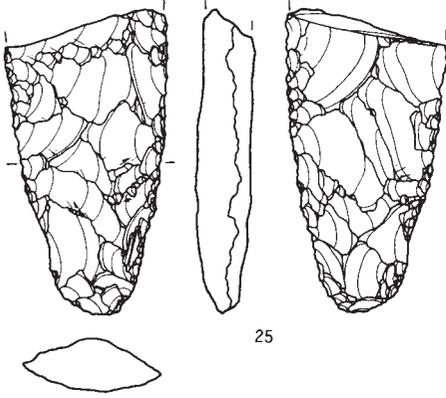
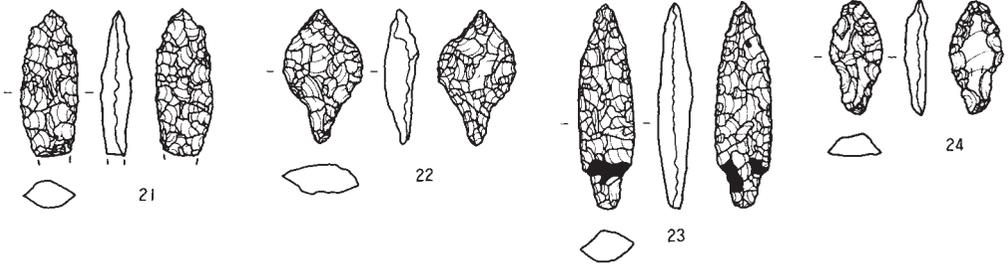
11 フク土



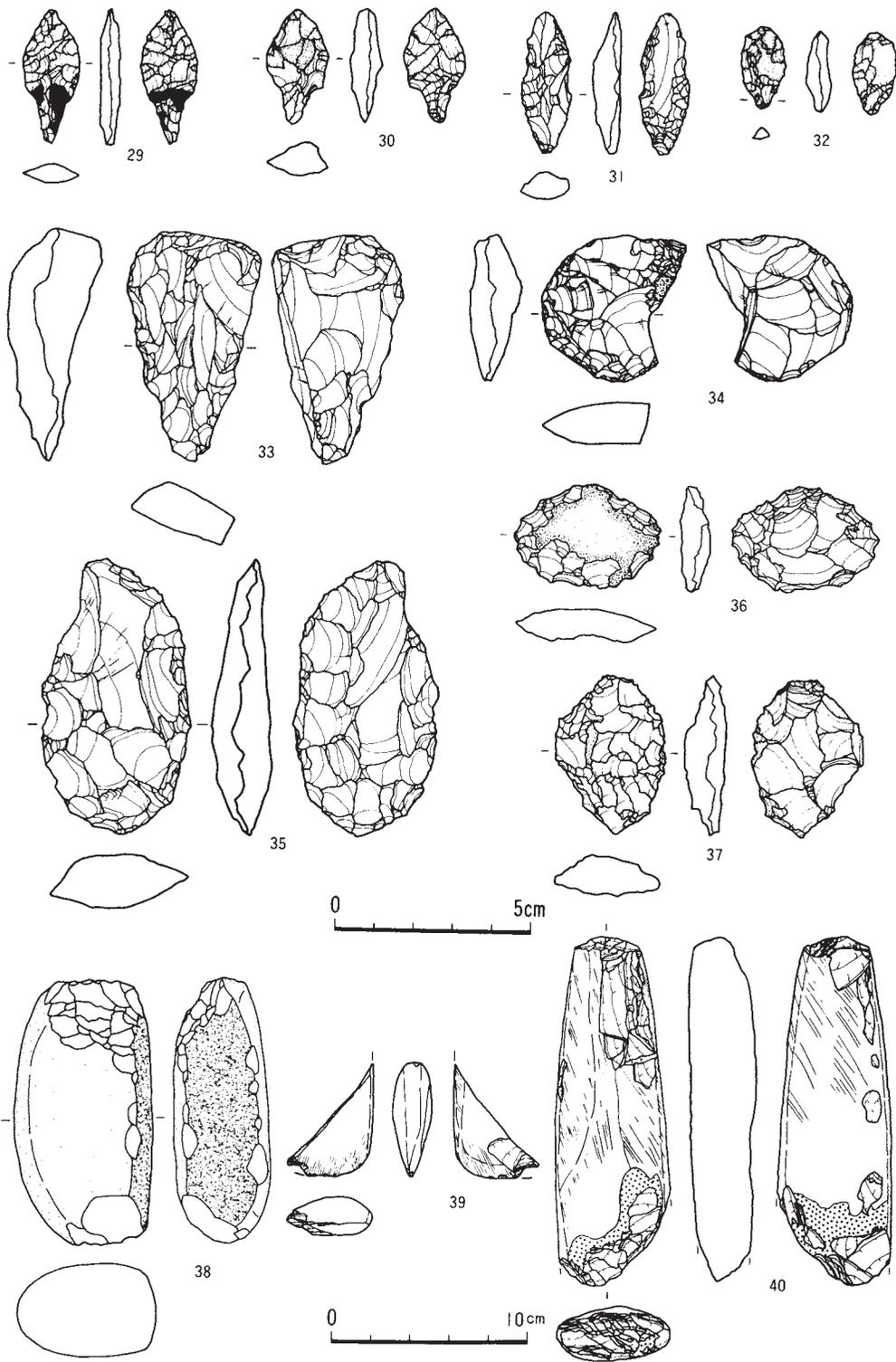
第1046図 第435号住居跡(3)



第1047図 第435号住居跡(4)



第1048图 第435号住居跡(5)



第1049图 第435号住居跡(6)

ら検出したものは、本住居跡の壁溝に切られていることから、本住居跡より古い時期のものである。この焼土は、いわゆる地床炉として機能していたものと考えられるが、どの住居に伴うものか、識別できなかった。

**<特殊施設>** 東壁に接するような位置から検出した。ちょうど、第432号住居跡の特殊施設と接するように付設されている。ロームの盛土を半円状に巡らしたもので（幅20～25cm、高さ7～10cm、断面三角形状で、半径約1 m37cm）、壁際から検出したP。(深さ58cm)に向けて、急に低くなっている。ピット内部の堆積土は2層に区分され、上部には多量の焼土と炭化物を含んだ黒褐色土、下部には多量のロームを含んだ黄褐色土が見られた。

**<堆積土>** 上部に黄褐色土（ローム）の堆積が見られ、その直下に焼土の堆積が見られたので、この段階で、住居の存在を想定して精査したが、検出されなかった。中～下位にかけて、ローム粒・炭化物を多量に含んだ黒褐色土が主に見られ、壁際ではローム粒・炭化物を多量に含んだ暗褐色土や焼土の堆積が見られた。また、床面直上には、とくに炭化物が多く見られ、火災住居と思われたが、炭化材の検出はほとんど認められなかった。堆積状況から人為的堆積と思われる。

**<出土遺物>** 覆土からは円筒上層d式から榎林式にかけての土器が出土しているが、とくに円筒上層e式が多い。床面及び床面直上からは、円筒上層d式土器がやや多く出土した。

石器は、床面から石鏃1点、石槍1点、石錐1点、不定形石器4点（うち2点は特殊施設から出土）、石皿1点、石棒類1点、床面直上から石鏃1点、石錐1点、石槍1点、不定形石器1点、石皿1点、覆土から石鏃8点、石錐1点、不定形石器14点、磨製石斧2点、敲磨器類1点、石冠1点、ピットから石鏃2点が出土し、総数43点である。

**<小結>** 本住居跡の時期は、円筒上層d式期と考えられる。 (畠山 昇)

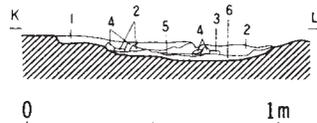
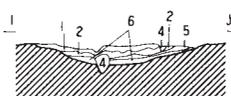
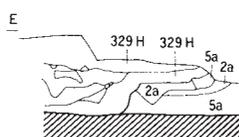
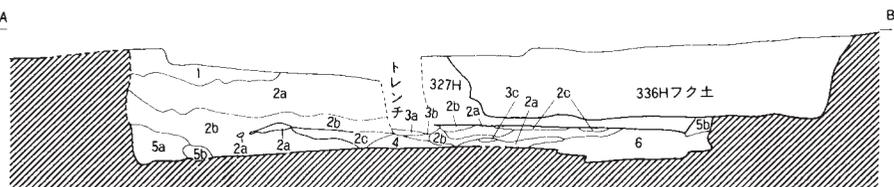
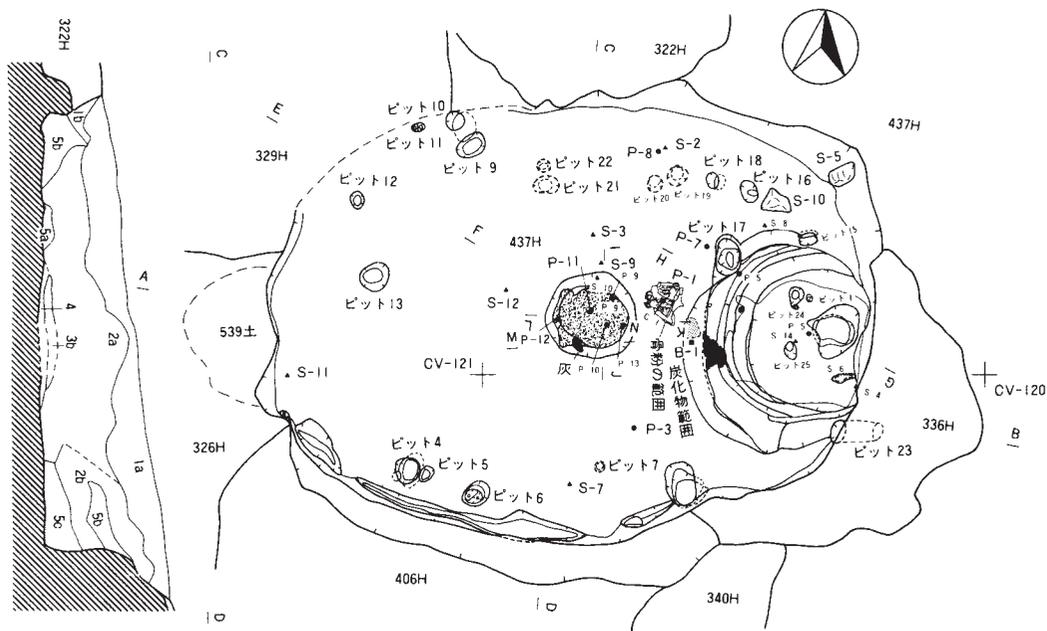
#### 第437号住居跡（第1050～1053図）

**<位置と確認>** CU-120・121、CV-120・121グリッドに位置している。他の遺構と一体となって暗褐色土の落ち込みとして確認し、トレンチ・セクション等で形態などを把握していった。

**<重複>** 本住居跡は第327号・第336号・第329号住居跡よりも古く、第406号住居跡、第539号・第669号土壌より新しい。第322号・第326号住居跡との新旧関係は不明である。

**<平面形・規模>** 長軸4 m90cm、短軸3 m80cmの楕円形である。床面積は推定で13.33㎡である。

**<壁・床面>** 壁高は南側で約90cm、北側で約20cmである。床はほぼ平坦である。特殊施設の直下には第669号土壌があり、周堤部分の外側の床面が沈下して壇状になっている。



第437号住居跡土層注記

第1a層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量、(10~30mm)L.B.少量
第1b層	褐色	10YR4/4	ローム多量
第2a層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量
第2b層	暗褐色	10YR3/4	~10mm L.B.多量
第2c層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量
第3b層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量、焼土少量
第4層	黒褐色	10YR2/3	ローム多量
第5a層	褐色	10YR4/4	~15mm L.B.20%
第5b層	黄褐色	10YR5/8	ローム主体
第5c層	黄褐色	10YR5/8	ローム主体
第6層	暗褐色	10YR3/3	ローム多量、やや砂質

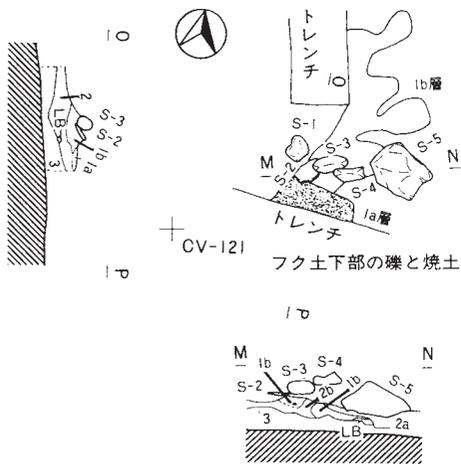
第437号住居跡 炉土層注記

第1層	暗褐色	10YR3/4	炭化物微量、焼土多量
第2層	黒褐色	10YR2/3	炭化物微量、焼土少量
第3層	明赤褐色	5YR5/8	焼土
第4層	暗褐色	10YR3/4	ローム中量、焼土中量
第5層	明褐色	7.5YR5/6	焼土
第6層	明褐色	7.5YR5/8	焼土、しまり若干

第437号住居跡特殊施設土層注記

第1a層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量
第1b層	黒褐色	10YR2/3	ローム少量
第1c層	暗褐色	10YR3/4	ローム多量
第1d層	暗褐色	10YR3/3	ローム少量
第1e層	暗褐色	10YR3/3	ローム多量
第2a層	黄褐色	10YR5/8	ローム
第2b層	黄褐色	10YR5/8	ローム
第3a層	暗褐色	10YR3/3	~20mm L.B.少量、炭化物多量
第3a'層	暗褐色	10YR3/3	ローム中量、炭化物少量
第3b層	黄褐色	10YR5/8	5~20mm L.B.多量

第1050図 第437号住居跡(1)

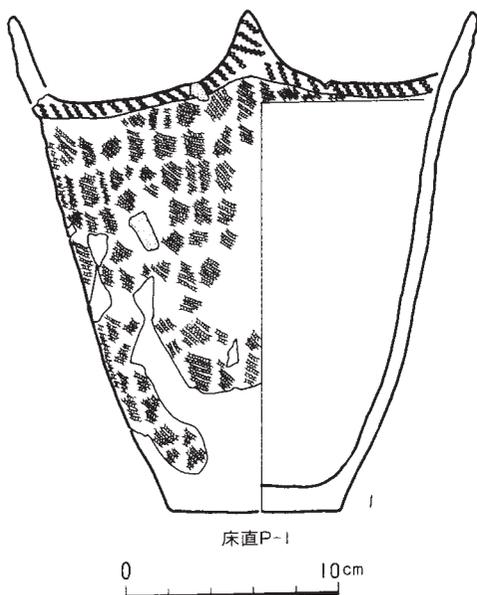


- 第437号住居跡 礫、焼土土層注記
- 第1a層 赤褐色 5YR4/8 ローム粒多量
  - 第1b層 暗褐色 10YR3/4 焼土多量
  - 第2a層 暗褐色 10YR3/3 ローム多量
  - 第2b層 暗褐色 10YR3/4 ローム多量
  - 第3層 黒褐色 10YR2/3 ローム少量

第1051図 第437号住居跡(2)

cm程の範囲が楕円形に緩く窪む地床炉である。

<特殊施設> 東側に位置する。半円状の貼り付けに内部に大きいピット (P<sub>1</sub>) と小さいピット (P<sub>19</sub>・P<sub>20</sub>) がある。

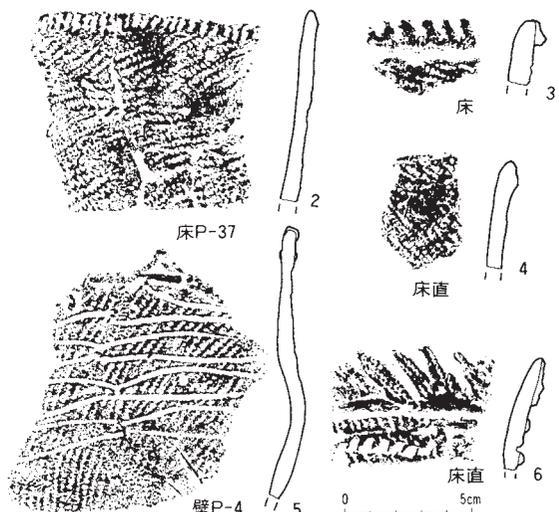


第1052図 第437号住居跡(3)

<壁溝> 南壁際に3m程確認できた。深さ数cm、幅10~20cmである。

<柱穴> 23個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…23cm、P<sub>4</sub>…60cm、P<sub>5</sub>…10cm、P<sub>6</sub>…23cm、P<sub>7</sub>…21cm、P<sub>8</sub>…72cm、P<sub>9</sub>…48cm、P<sub>10</sub>…41cm、P<sub>11</sub>…12cm、P<sub>12</sub>…5cm、P<sub>13</sub>…9cm、P<sub>15</sub>…11cm、P<sub>16</sub>…33cm、P<sub>17</sub>…17cm、P<sub>18</sub>…36cm、P<sub>19</sub>…20cm、P<sub>20</sub>…17cm、P<sub>21</sub>…19cm、P<sub>22</sub>…13cm (深さ10cm程度以上のもの) である。P<sub>4</sub>・P<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>・P<sub>10</sub>・P<sub>16</sub>・P<sub>18</sub>が柱穴と考えられる。P<sub>6</sub>・P<sub>7</sub>・P<sub>24</sub>・P<sub>25</sub>等も柱穴の可能性もある。P<sub>19</sub>・P<sub>20</sub>・P<sub>21</sub>・P<sub>22</sub>は床を剥してから確認された。P<sub>23</sub>は壁から壁外の方へ40cm水平に延びるピットである。

<炉> 床面中央にある。長軸60cm、短軸50

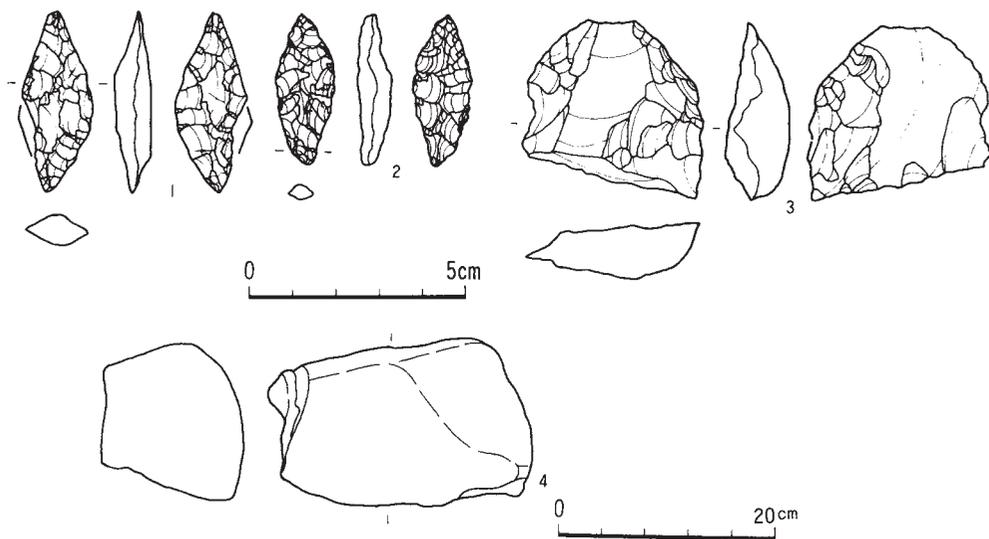


<堆積土> 上位の黒褐色土と壁際の褐色土を除き、大部分ローム混じりの暗褐色土であり、レンズ状の堆積状態を呈している。

<出土遺物> 覆土および床面上にかけて土器・石器が出土した。特殊施設と炉の間からは、つぶれて横倒しになった状態で土器が出土した。なお、炉の10cm程上部の覆土下位に礫を伴った焼土の広がりが見られた。石器は床面から不定形石器1点、床面直上から石鏃2点、石錐1点、炉から石皿・台石類2点、ピット1から不定形石器1点、ピット13から不定形石器1点、総数8点出土している。また覆土から軽石が1点出土している。

<小結> 床面の土器から本住居跡は円筒上層d・e式期に構築されたと思われる。

(坂本 洋一)



第1053図 第437号住居跡(4)

#### 第438号住居跡 (第1054図)

<位置と確認> 調査区の緩斜面でCV・CW-123グリッドに位置している。

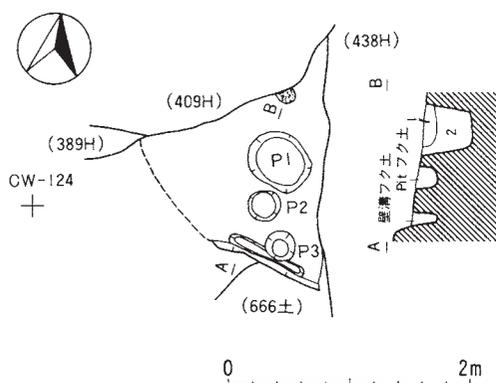
<重複> 本住居跡は、第389・404・409号住居跡、第666号土壇と切り合っており、第666号土壇との新旧関係は不明であるが、その他の遺構よりも古い。

<平面形・規模> 平面形・規模とも住居跡南側一部しか残存しないため推定もできない。

<壁・床面> 南壁しか残存しない。床面から上端にかけて緩く立ち上がり、浅く軟弱な構築である。壁高は11cmである。床は、南側から北側にかけて緩傾斜しており、全体的に軟弱な構築である。

<壁溝> 南壁際から壁溝の一部と思われる溝を検出した。幅は約9cmで深さが10cmである。

<柱穴> ピットは住居跡内から3個検出した。深さは、P<sub>1</sub>…43cm・P<sub>2</sub>…67cm・P<sub>3</sub>…38cmで



第438号住居跡 ビットI 土層注記

第1層 暗褐色 IOYR3/4 炭化物、L.B.を若干含む

第2層 褐色 IOYR4/4 炭化物を微量、L.B.を多少含む

第1054図 第438号住居跡

ある。

〈炉〉 地床炉で、第409号住居跡に切られて北側に残存している。規模は、長軸15cm・短軸(14)cmである。火床面は薄く軟弱である。

〈特殊施設〉 確認されなかった。

〈出土遺物〉 検出されなかった。

〈小結〉 中期のいつごろかは不明である。

(成田 悟)

第439号住居跡 (第1055・1056図)

〈位置と確認〉 調査区の緩斜面上で、CW-124・125グリッドに位置している。第II層を精査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

〈重複〉 本住居跡は、第389・409・423・448号住居跡、第819・833・834・843号土壌と切り合っており、第389・409号住居跡より古い、その他の遺構よりは新しい。

〈平面形・規模〉 南側と北側の壁は確認できなかったが、残存部から推定すると南北がやや長めの楕円形と思われる。規模は、長軸が(325)cm・短軸が294cmで床面積は(7.48)㎡である。

〈壁・床面〉 南壁と北壁は残存していない。東壁は床面から上端にかけて緩く立ち上がり、やわらかく軟弱な構築である。また、西壁は床面から上端にかけてほぼ垂直に立ち上がり堅緻な構築である。壁高は、東壁65cm・西壁68cmである。床は、住居跡中央部から北側に位置する第389号住居跡にかけて若干緩く傾斜するが全体的に堅緻な構築である。

〈壁溝〉 確認できなかった。

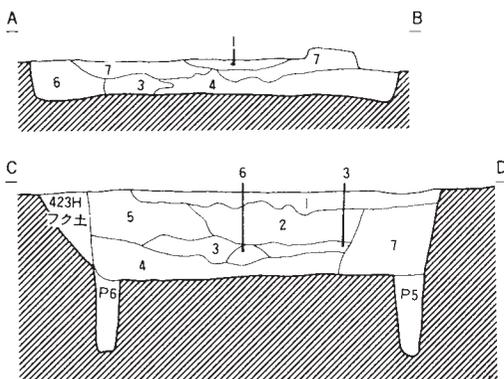
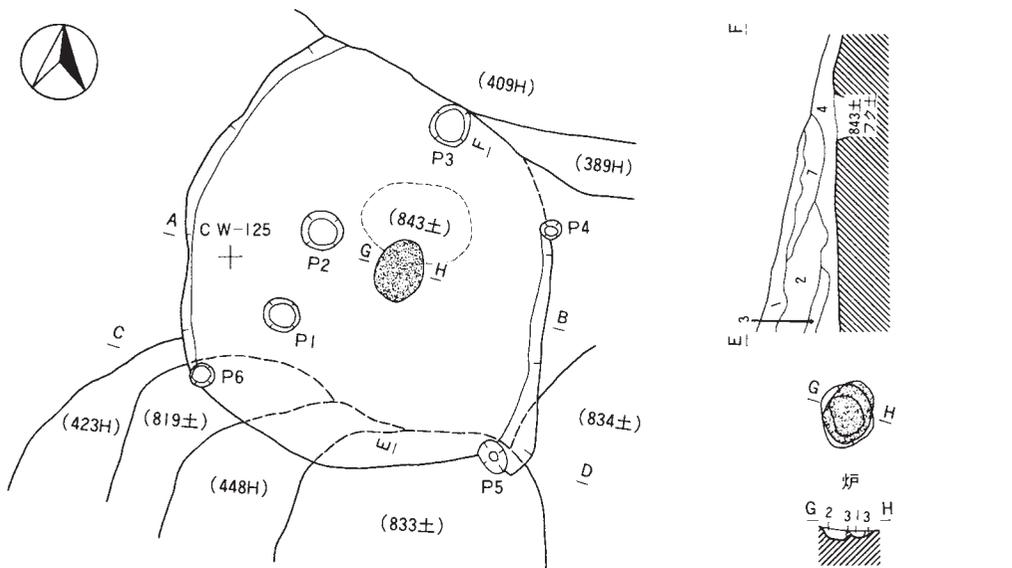
〈柱穴〉 ピットは、住居跡内から6個検出され、P<sub>5</sub>・P<sub>6</sub>は壁際に位置しており、規模や配置などから支柱穴と思われる。深さは、P<sub>5</sub>…58cm・P<sub>6</sub>…69cmである。

〈炉〉 地床炉で住居跡のほぼ中央部に位置している。規模は、長軸50cm・短軸39cmである。堆積土は3層に分層できた。

〈特殊施設〉 確認できなかった。

〈堆積土〉 7層に分層できた。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 土器は、床面から(1)の榎林式が出土し、覆土からは円筒上層e式が出土した。

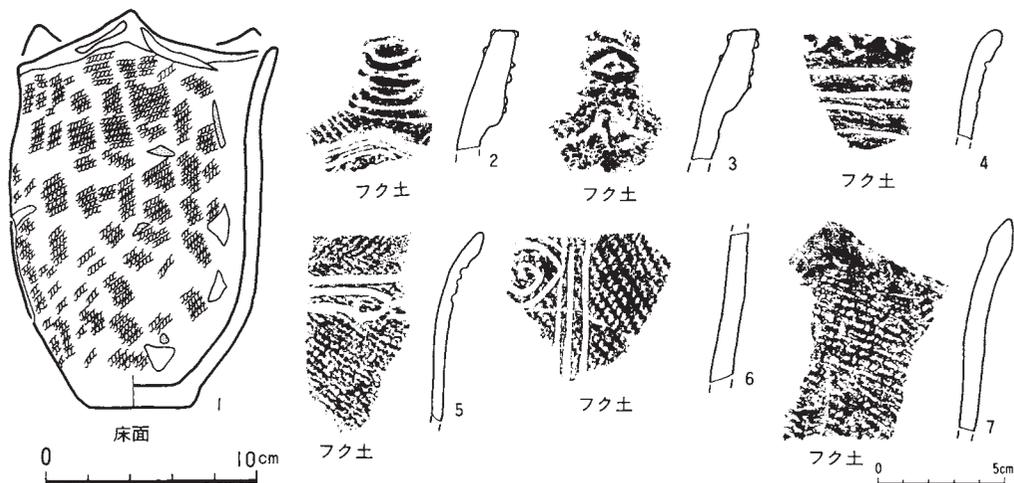


第439号住居跡土層注記

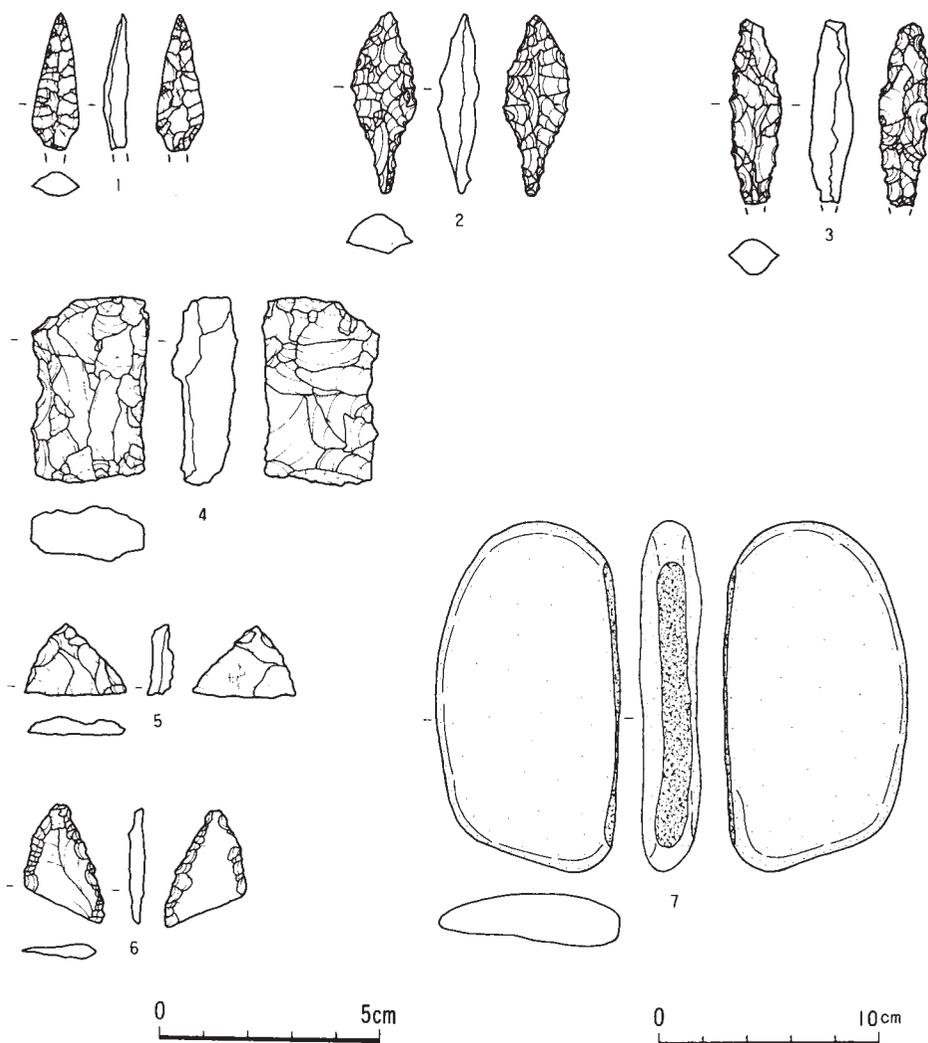
- 第1層 暗褐色 10YR3/4 炭化物、L.Bを若干含む
- 第2層 褐色 10YR3/4 炭化物、L.Bを若干含む
- 第3層 暗褐色 10YR3/3 炭化物、L.Bを若干含む
- 第4層 褐色 10YR4/6 L.Bを多少含む
- 第5層 褐色 10YR4/4 炭化物、L.Bを若干含む
- 第6層 褐色 10YR4/6 炭化物、L.Bを若干含む
- 第7層 褐色 10YR4/6 炭化物、L.Bを含む

第439号住居跡 炉土層注記

- 第1層 暗褐色 10YR3/4 焼土を多量に含む
- 第2層 褐色 10YR4/4 焼土を多少含む
- 第3層 黄褐色 10YR5/6



第1055図 第439号住居跡(1)



第1056図 第439号住居跡(2)

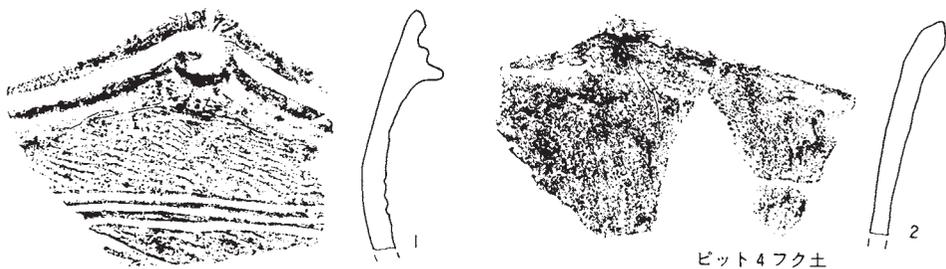
石器は、床面から不定形石器1点、覆土から石鏃3点・石錐2点・不定形石器5点・敲磨器類1点の総数12点が出土した。

<小結> 床面の遺物から本住居跡は、榎林式期のものと思われる。 (成田 悟)

#### 第440号住居跡 (第1057図)

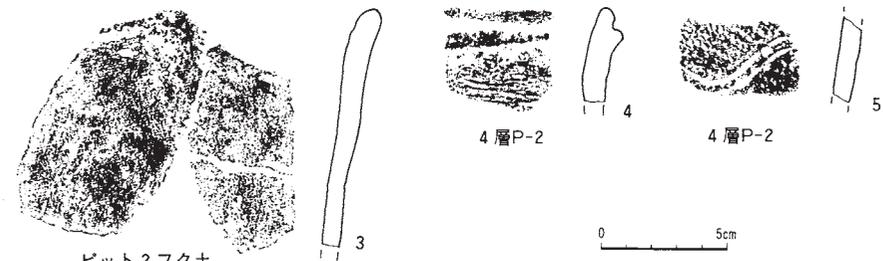
<位置と確認> CX・CY-123グリッドに位置している。第408号住居跡の床下で確認した。

<重複> 第387号・第408号住居跡と重複している。本住居跡は第408号住居跡より古く、第387号土壌より新しい。



炉確認面

ビット4フク土

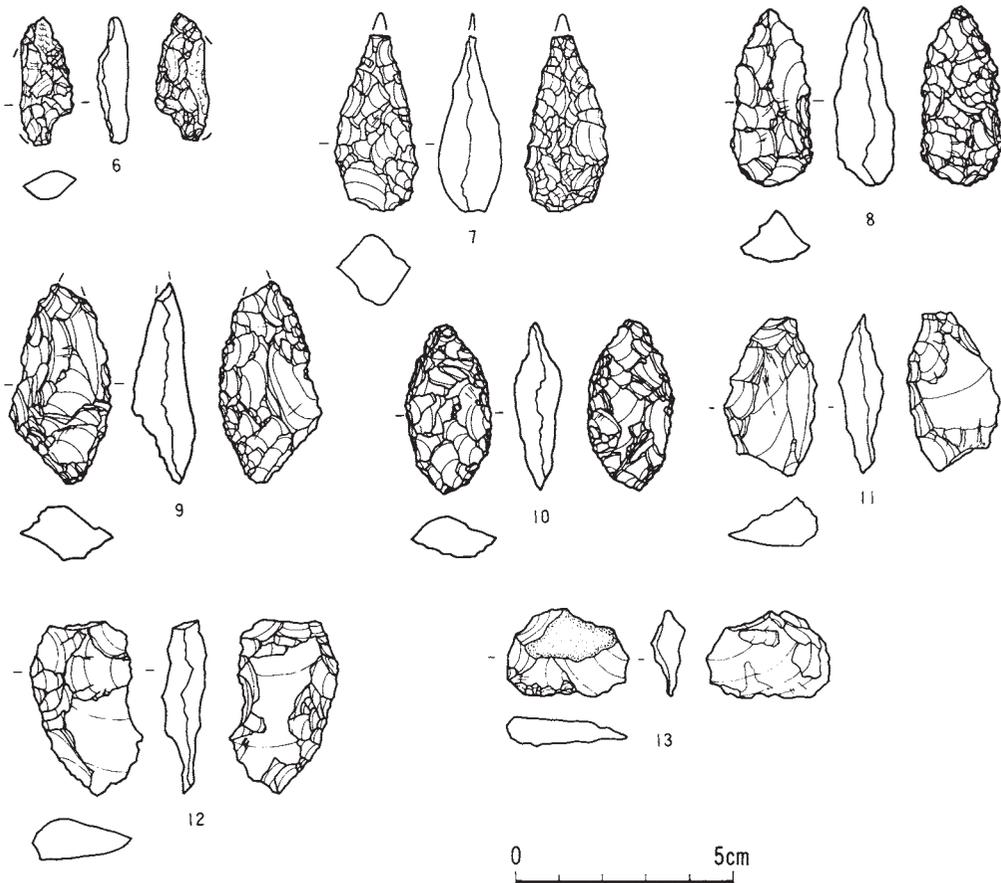


ビット2フク土

4層P-2

4層P-2

0 5cm



0 5cm

第1057図 第440号住居跡

<平面形・規模> 長軸 3 m20cm、短軸 2 m60cmの楕円形である。床面積は推定で5.88㎡である。

<壁・床面> 壁高は10cm前後である。床面はほぼ平坦である。

<壁溝> 北西側を除いて検出された。幅 5～20cmで、深さ数cmである。

<柱穴> 17個のピットを検出した。深さはP<sub>2</sub>…46cm、P<sub>3</sub>…23cm、P<sub>6</sub>…40cm、P<sub>7</sub>…10cm、P<sub>8</sub>…34cm、P<sub>9</sub>…18cm、P<sub>10</sub>…17cm、P<sub>11</sub>…8cm、P<sub>12</sub>…28cm、P<sub>13</sub>…49cm、P<sub>14</sub>…53cm、P<sub>15</sub>…11cm、P<sub>16</sub>…14cm（深さ10cm程度以上のもの）である。P<sub>7</sub>・P<sub>11</sub>・P<sub>15</sub>は柱穴とは考えられない。

<炉> 床のほぼ中央にある地床炉で、直径20cmの範囲が赤変している。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 第408号住居跡の貼り床であるローム混じりの黄褐色土である。

<出土遺物> 覆土中及び床面・床面直上から土器・石器が出土した。石器は床面から石槍 1点、不定形石器 1点、覆土から石鏃 2点、石槍 2点、不定形石器 2点、ピット 2より石鏃 1点、不定形石器 1点出土した。

<小結> 本住居跡は1の土器から榎林式期に構築されたものと思われる。（坂本 洋一）

#### 第441号住居跡（第1058図）

<位置と確認> 調査区の緩斜面で、CV・CW-116グリッドに位置している。第348号住居跡の床面を精査中に褐色土の落ち込みを確認した。

<重複> 本住居跡は、第210・348・420号住居跡、第690号土壇と切り合っており、第420号住居跡よりは新しいが、その他の遺構よりは古い。

<平面形・規模> 西側と北側は確認できないが、残存部から推定すると不整楕円形と思われる。規模は、長軸が287cm・短軸(260)cmで床面積は(3.56)㎡である。

<壁・床面> 北壁が残存していないが、その他の壁は床面から上端にかけて緩く立ち上がり、浅く軟弱な構築である。壁高は、東壁 9 cm・西壁 5 cm・南壁 4 cmである。床は、北側が残存しないがその他は、やや起伏があり、軟弱な造りである。

<壁溝> 確認できなかった。

<柱穴> ピットは2個検出されており、規模は小さく、深さはP<sub>1</sub>…14cm・P<sub>2</sub>…8 cmである。

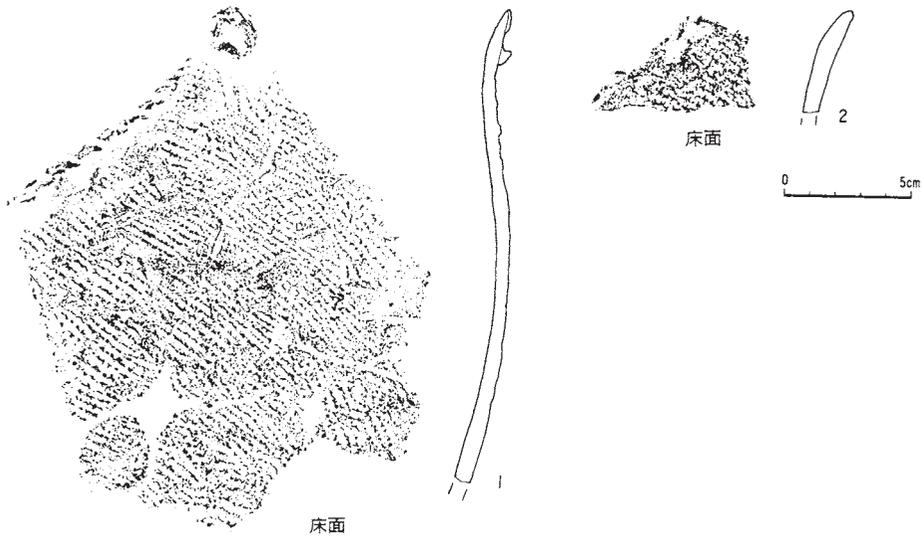
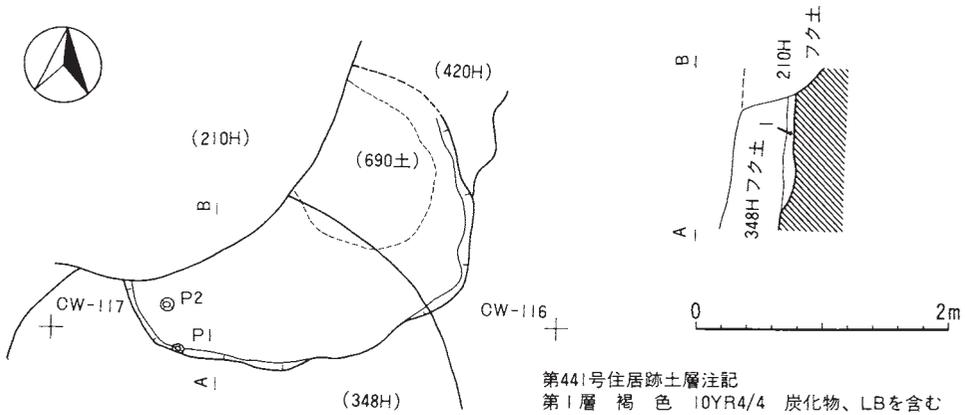
<炉> 確認できなかった。

<特殊施設> 確認できなかった。

<堆積土> 本住居跡より新しい住居跡に削平されているため1層のみである。

<出土遺物> 土器は、床面から(1)の円筒上層 d・e 式期が出土した。

<小結> 床面の遺物から本住居跡は、円筒上層 d・e 式期と思われる。（成田 悟）



第1058図 第441号住居跡

#### 第445号住居跡（第1033図）

〈位置と確認〉 CT-123グリッドに位置し、第432号住居跡の調査中に南側に隣接して検出した。地山から深く掘り込まれていないうえに、北側を第432・435・447号住居跡等によってその多くを破壊されてしまっており、痕跡として残されたものである。

〈重複〉 第432・435・447号住居跡と重複しているおり、これらの住居跡より古い。

〈平面形・規模〉 平面形、規模とも不明である。

〈壁・床面〉 地山から5cm程度しか掘り込まれておらず、非常に浅い。確認した床面は平坦で比較的堅緻である。

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 検出されなかった。

<炉> 検出されなかった。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 掘り込みが浅く、またほとんどを切られているため、ローム粒を含んだ、締まりの無い暗褐色土より確認していない。

<出土遺物> 遺物の出土は見られなかった。

<小結> 本住居跡の時期は、出土土器からは特定されないが、住居跡の新旧関係から円筒上層d式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。 (畠山 昇)

#### 第446号住居跡 (第1045図)

<位置と確認> C T-123グリッドに位置し、第435号住居跡の調査中に南側に隣接して壁溝を確認した。北側を第435号住居跡によってその多くを破壊されてしまっており、わずかに南壁と床面の一部を確認したにすぎない。

<重複> 北側を第432号・435号住居跡と、南側を第394号住居跡と、東側を432号・445号・447号住居跡と重複している。第432号・435号住居跡より古い、これら以外の住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 不明である。

<壁・床面> 検出した壁・床面は南側の一部しかない。南壁は、地山から44cm掘り込まれており、急な立ち上がりを呈している。

<壁溝> 幅約20cm、深さ約10cmの壁溝を検出した。

<柱穴> 重複が激しいため、明確に本住居跡のものと言えるものは無い。検出したピットの深さはP<sub>1</sub>…89cm、P<sub>2</sub>…23cm、P<sub>3</sub>…18cmである。

<炉> 不明である。

<特殊施設> 不明である。

<堆積土> 不明である。

<出土遺物> 遺物の出土はほとんど、見られなかった。

<小結> 本住居跡の時期は不明であるが、住居跡の新旧関係から、円筒上層d式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。 (畠山 昇)

#### 第447号住居跡（第1033図）

<位置と確認> CT-123グリッドに位置し、第432号住居跡の調査中に南側に隣接して確認した。北側を第432・435号住居跡によってその多くを破壊されてしまっており、わずかに南壁と床面の一部を確認できたにすぎない。

<重複> 北側は第432・435号住居跡と、南側は第447号住居跡と、西側は第446号住居跡と重複している。第446・447号住居跡との新旧関係は不明だが、第432・435号住居跡より古い。また、第433・394号住居跡等と重複している可能性が考えられるが、床面にレベル差があまりないことや重複が激しいことから、うまく把握できなかった。

<平面形・規模> 不明である。

<壁・床面> 検出した壁と床面は南側の一部だけである。第445号住居跡床面から44cm掘り込まれており、しっかりとした壁である。床面は平坦で堅緻である。

<壁溝> 壁際に沿って、幅5cm、深さ4cmの壁溝を検出した。

<柱穴> 深さ11cmのピットを1個（P<sub>1</sub>）だけ検出した。これ以外にも、第432・435号住居跡内にあると思われるが、明確に選別することが出来なかった。

<炉> 不明である。

<特殊施設> 不明である。

<堆積土> 大部分は第432号住居跡に切られているため、暗褐色～黒褐色土の堆積が部分的にしか見られなかった。

<出土遺物> 遺物の出土は、ほとんどなかった。

<小結> 本住居は北側に位置する第432・435号住居跡に切られているため、わずかの部分だけの検出でおわった。なお、これらの住居の北側に壁が一部残されている部分もあるが、これと関連する可能性も考えられる。この場合、考えられる柱穴配置は第432号住居跡内のP<sub>4</sub>・P<sub>10</sub>・P<sub>23</sub>であり、これと対応すると思われる地点には、深さ6～10cmのピットは検出されてはいるが、いささか、疑問が残る。本住居跡の時期は、新旧関係から円筒上層d式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。

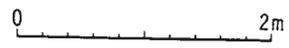
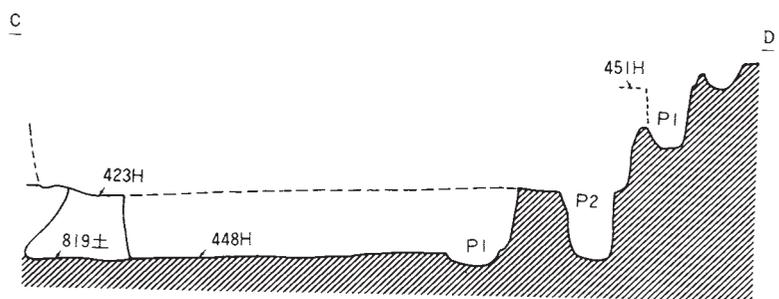
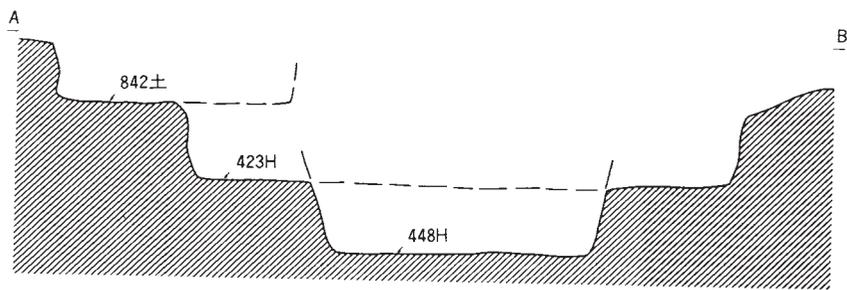
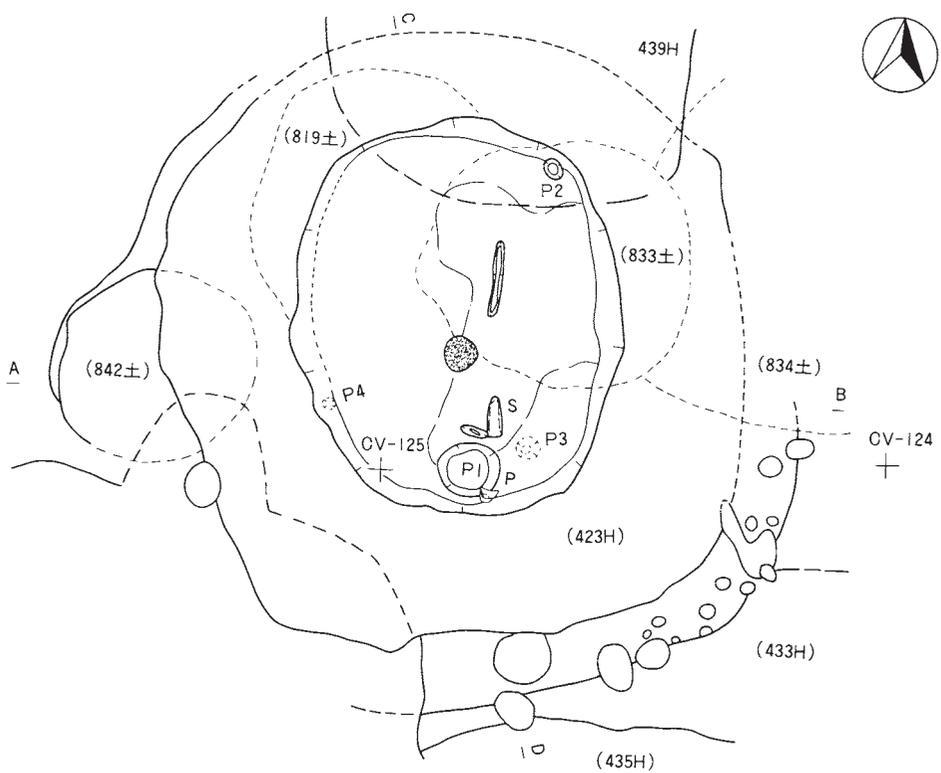
（畠山 昇）

#### 第448号住居跡（第1059図～第1062図）

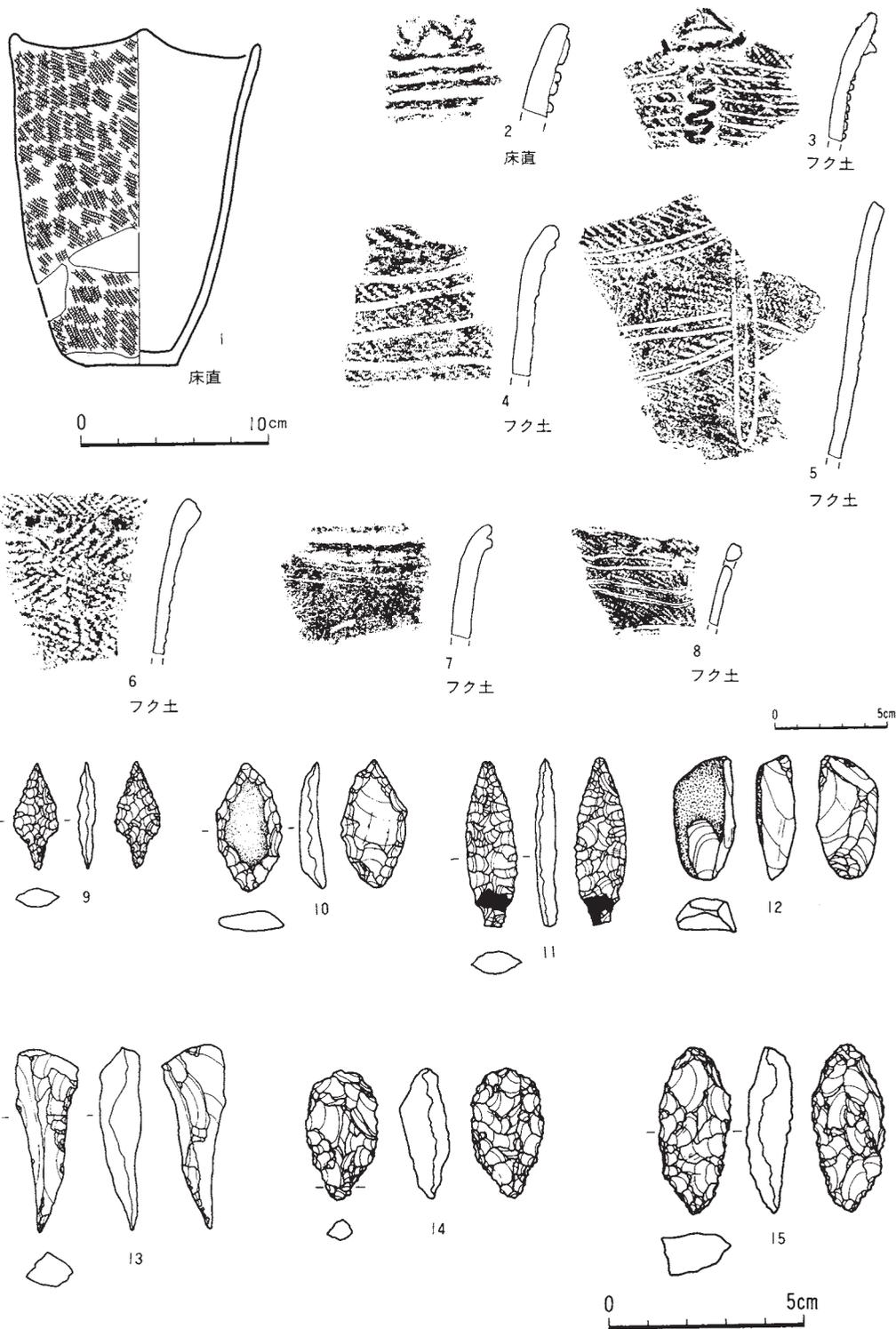
<位置と確認> CV-124・125グリッド位置する緩斜面上で、第423号住居跡を調査中に確認した。

<重複> 第423号住居跡、第819・833号土壇より新しく、第439号住居跡より古い。

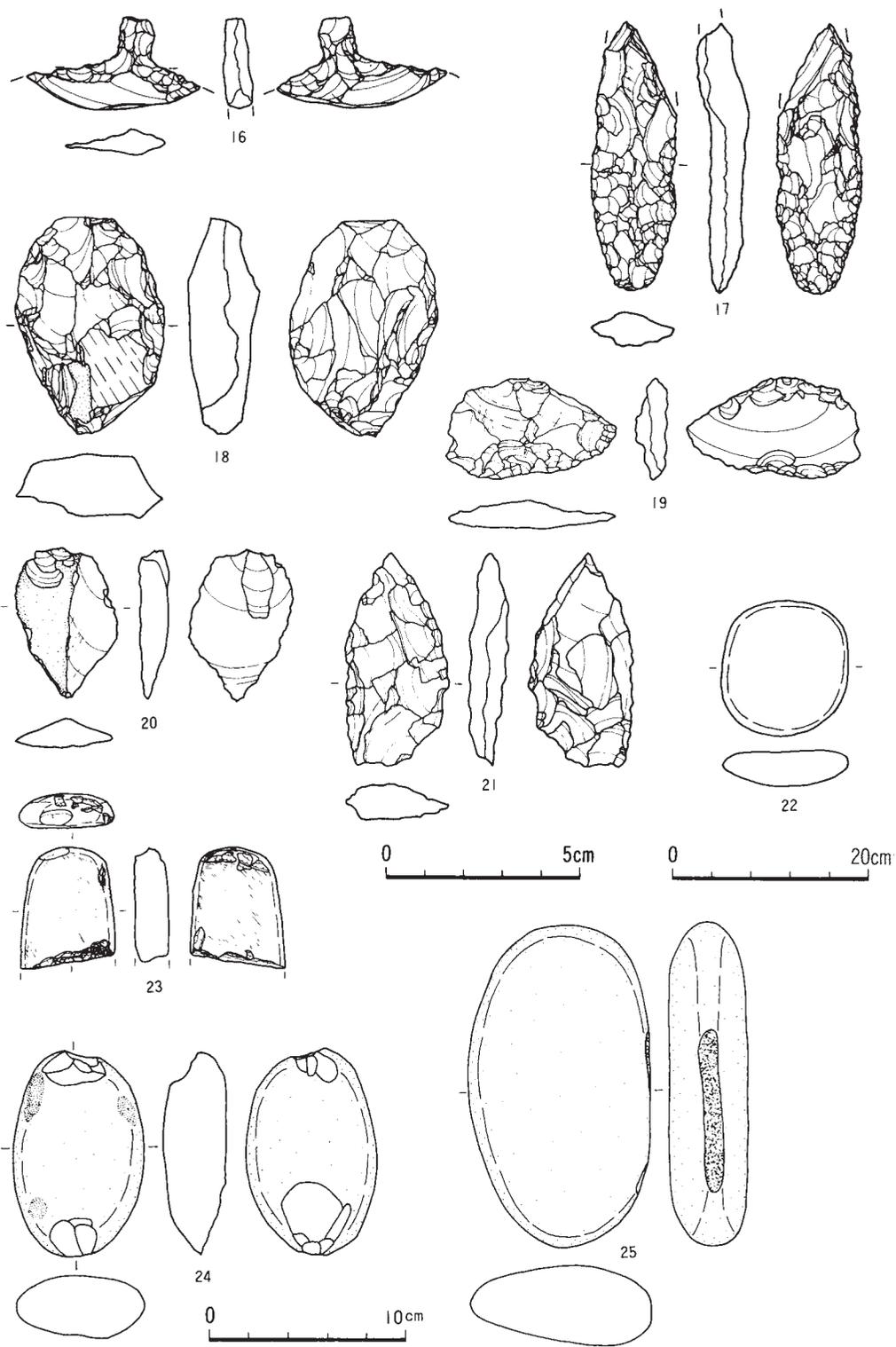
<平面形・規模> 南北に長軸を持つ楕円形で、規模は短軸2m60cm、長軸3m14cm（床面での計測）である。推定床面積は5.5㎡である。



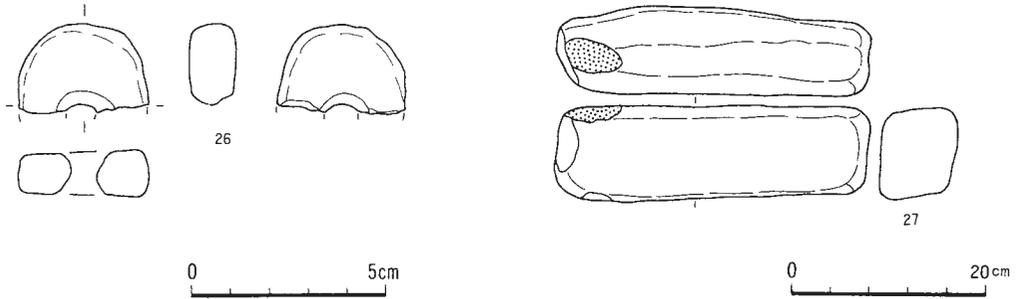
第1059图 第448号住居跡(1)



第1060図 第448号住居跡(2)



第1061图 第448号住居跡(3)



第1062図 第448号住居跡(4)

〈壁・床面〉 床面はほぼ平坦で、堅緻である。貼り床は東側で検出されている。第423号住居跡床面から約60cm、第430号住居床面から約54cm掘り込まれており、地山からは160cm掘り込まれていることになる。

〈壁溝〉 検出されなかった。

〈柱穴〉 竪穴内からは4個のピットを検出したが、柱穴らしいピットは検出されなかった。ピットの深さは、 $P_1$ …9cm、 $P_2$ …6cm、 $P_3$ …3cm、 $P_4$ …36cmである。なお、 $P_3$ ・ $P_4$ は床面を掘り下げてから検出したものである。

〈炉〉 住居跡の中央からやや南に寄ったところから地床炉を検出した。径30cm前後の円形で若干くぼんでいる。

〈特殊施設〉 検出されなかった。位置的には、 $P_1$ がその可能性がある。

〈堆積土〉 上部に褐色土、中位に暗褐色土、下部には黄褐色土、褐色土・暗褐色土が混在して堆積している。また北側壁寄りにも褐色土、黄褐色土（地山のローム・貼床に使われたローム）等が互層を成すように見られ、人為的堆積の様相を呈している。

〈出土遺物〉 覆土から床面にかけて若干の遺物が出土した。土器は床面直上から円筒上層d式土器と円筒上層式系以後と思われる縄文のみ施文された土器が出土した。

石器は、床面から石鎌1点、不定形石器1点、覆土から石鎌1点、石槍2点、石錐2点、石匙1点、ピエス・エスキュー1点、不定形石器16点、磨製石斧1点、敲磨器類1点、石皿・台石類1点が出土し、総数30点である。また覆土から、有孔石製品が1点出土した。

〈小結〉 本住居跡の時期は、床面直上から出土した土器及び住居跡の新旧関係から、円筒上層e式期から榎林式期にかけて構築されたものと思われる。 (畠山 昇)

第450号住居跡（第1063・1064図）

＜位置と確認＞ 調査区CX-124・125グリッドに位置している。第359号住居跡を精査中に本住居跡を確認した。

＜重複＞ 第359・408号住居跡と重複し、新旧関係は下記の変遷である。

(旧) —————→ (新)

第408号住居跡→ 本住居跡→ 第359号住居跡

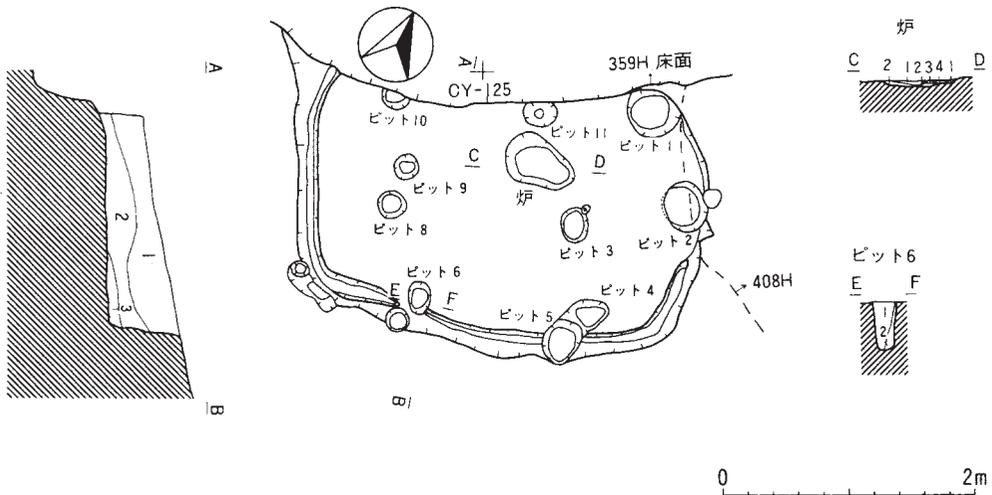
＜平面形・規模＞ 北側部分が切られているために残存部から推定すると方形のプランを呈すると思われる。規模は、長軸3m34cm・短軸（2m04cm）を測る。

＜壁・床面＞ 床面から上端にかけて垂直に立ち上がり。堅緻な造りである。壁高は東壁35cm・西壁39cm・南壁39cm・北壁は不明である。床面はほぼ平坦で炉の周辺が固い。

＜壁溝＞ 幅9cm・長さ6cmの溝が西・南壁よりから検出した。溝は一部途切れており東側から検出できなかった。

＜柱穴＞ ピットは11個検出した。配置等から柱穴と思われる。

＜炉＞ 住居跡の中央部に長径58cm・短径37cm・深さ4cmの浅い楕円形の地床炉を検出した。



第450号住居跡土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量 炭化粒微量に含む
- 第2層 褐色 10YR4/6 ローム粒微量 炭化粒少量 焼土粒極微量に含む
- 第3層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒少量含む

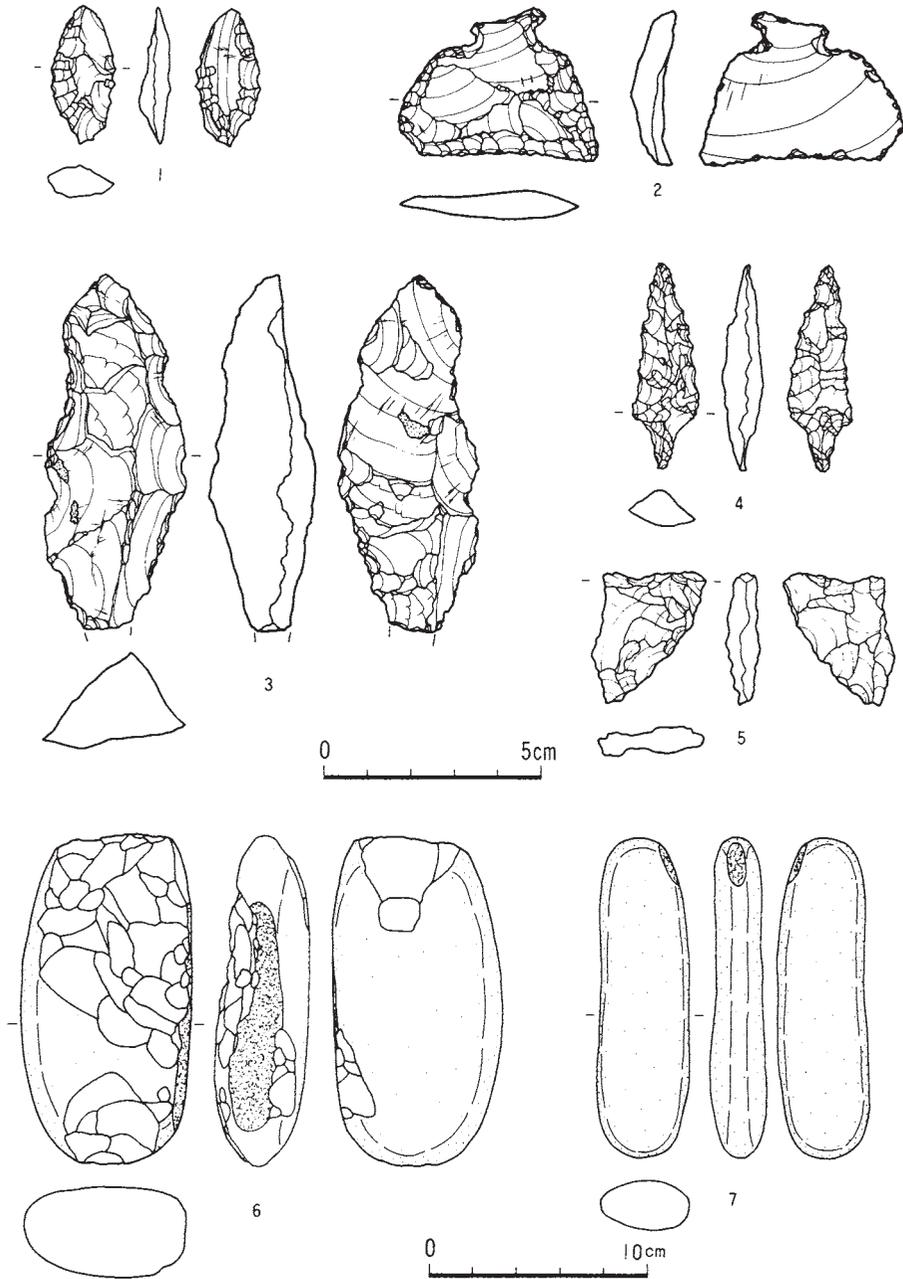
第450号住居跡 ピット6 土層注記

- 第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒少量
- 第2層 黄褐色 10YR5/6

第450号住居跡 炉土層注記

- 第1層 褐色 7.5YR4/6 炭化粒多量 骨粉多量に含む
- 第2層 明赤褐色 5YR5/8 焼土層
- 第3層 褐色 7.5YR4/4 骨粉多量 焼土粒少量含む
- 第4層 暗褐色 7.5YR3/3 ローム粒少量 炭化粒微量に含む

第1063図 第450号住居跡(1)



第1064図 第450号住居跡(2)

<その他の施設> 認められなかった。

<堆積土> 3層に分層できた。断面観察等から人為堆積と思われる。

<出土遺物> 土器は出土しなかった。石器は、覆土から石鏃2点・石槍1点・石匙1点・不定形石器2点・敲磨器類2点、床直から石鏃1点の総数9点が出土した。(神山温子・成田滋彦)

第450号住居跡ピット計測表

No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)	No.	形態	規模(cm)	深さ(cm)
1	円形	42×38	32	2	円形	40×37	35	3	楕円形	29×19	25
4	不整形	28×(25)	11	5	楕円形	39×29	41	6	楕円形	28×18	42
7	円形	21×19	12	8	円形	34×22	22	9	円形	21×19	9
10	円形	21×(15)	13	11	円形	28×(21)	34				

第451号住居跡 (第1020図)

<位置と確認> CU-124グリッドに位置している。第423号住居跡精査中に確認した。

<重複> 第393・423号住居跡より古く、第433号住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 不明である。

<壁・床面> 東南壁のみ確認した。壁高は8cmである。床面は重複のため一部確認したのみである。

<壁溝> 認められない。

<柱穴> ピットを4個確認した。ピットの深さはP<sub>1</sub>…59cm、P<sub>2</sub>…13cm、P<sub>3</sub>…12cmであり、他は5cm以下の浅いピットである。

<炉> 認められない。

<特殊施設> 認められない。

<堆積土> ローム粒を多く含む褐色土が堆積している。

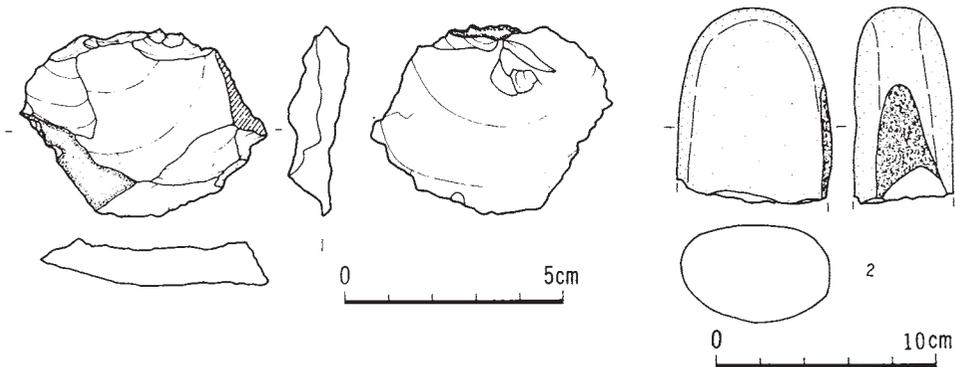
<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 重複関係から円筒上層e式期かそれ以前に構築されたものと考えられる。

(島山 昇)

第453号住居跡 (第1065・1066図)

<位置と確認> 調査区の西側台地の緩斜面CY・CZ-126~128グリッドに位置する。第368



第1065図 第453号住居跡(1)

号住居跡の床面を精査中に焼土と壁溝の一部を確認し、掘り下げたところ住居跡を検出した。

<重複> 第368号住居跡の貼り床下部にあり、新旧関係は以下のとおりである。

(新) —————→ (旧)

第366号住居跡→第392号住居跡

↓

第361号住居跡→第368号住居跡→本住居跡

↓

↓

↘

第399号住居跡 第364号住居跡 第369号住居跡→第384号住居跡

<平面形・規模> 残存している壁溝から推察すると東西に長い楕円形と思われる。規模は、長軸(7m2cm)・短軸(4m5cm)、床面積は、(22.97㎡)である。

<壁・床面> 壁は確認できなかった。床面はやや起伏があり堅く締まっている。

<壁溝> 幅10～20cm・深さ4～10cmの壁溝が、東側と西側の一部を除いて一周している。

<柱穴> 多数のピットが東側に集中して検出された。このうち、長軸線上で対称になっているP<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>(深さP<sub>1</sub>…100、P<sub>3</sub>…88、P<sub>8</sub>…77、P<sub>9</sub>…83cm)が主柱穴と考えられる。

<炉> 住居跡のほぼ長軸線上で2基検出し、第1号炉は、地床炉で住居跡のほぼ中央部に位置する。平面形は楕円形で、規模は、開口部で長軸50cm・短軸40cm、深さは4cmである。堆積土は2層に区分でき、第1層上面が火床面である。第2号炉も、地床炉で住居跡のほぼ中央部から西寄りに位置する。平面形は楕円形で、規模は、開口部で長軸65cm・短軸40cm、深さは8cmである。堆積土は赤褐色の焼土層のみである。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> 第368号住居跡の貼り床(黄褐色)の層が数cm程覆っている。

<出土遺物> 第368号住居跡の貼り床の下にあるため遺物は、ほとんど出土しなかったが、覆土から敲磨器類が1点出土した。

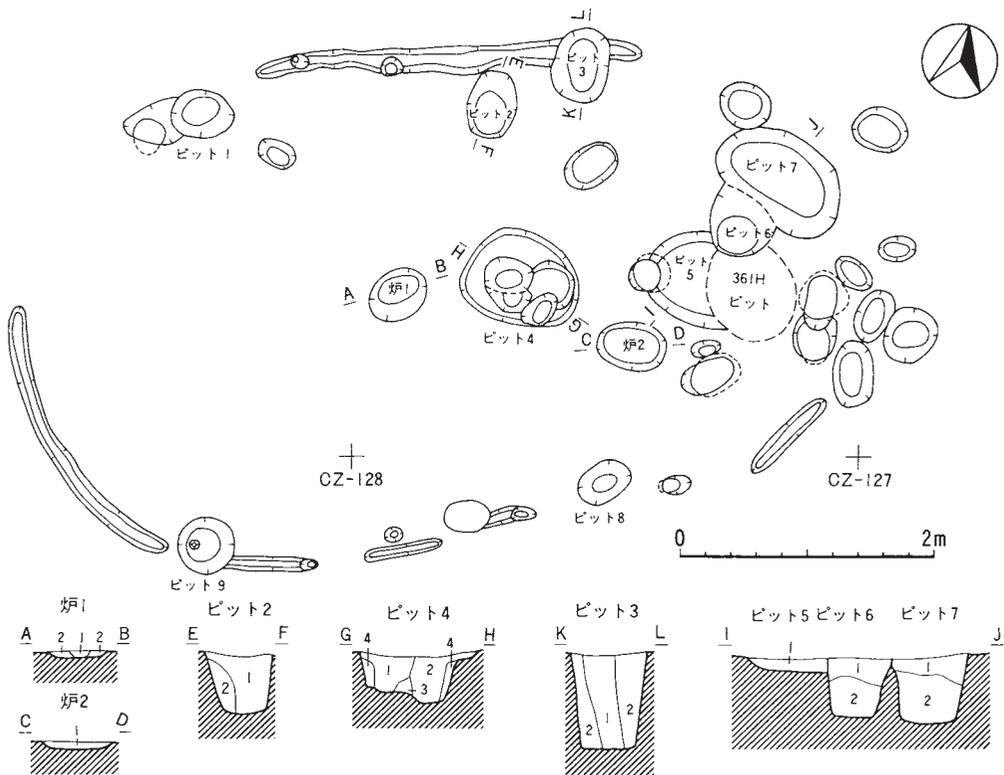
<小結> 本住居跡は、第368号住居跡(榎林式期)の貼り床の下にあるため円筒上層e～榎林式期と思われる。(中嶋 友文)

#### 第454号住居跡(第476図)

<位置と確認> CS・CT-120グリッドに位置している。当初第216号住居跡の一部として確認した。

<重複> 第216・第339号住居跡と重複している。本住居跡が古い。

<平面形・規模> 一部しか残っていないが、東側の壁は3m程ある。



第453号住居跡 炉1号土層注記

第1層 明褐色 7.5YR5/6  
 第2層 赤褐色 2.5YR4/8 明褐色土混入

第453号住居跡 炉2号土層注記

第1層 赤褐色 2.5YR4/8 (焼土層)

第453号 ビット2 土層注記

第1層 黄褐色 10YR5/6 ローム粒、LBを多量、炭化物を微量に含む 暗褐色混入  
 第2層 黒褐色 10YR2/2 ローム粒を多量に含む

第453号住居跡 ビット3 土層注記

第1層 暗褐色 10YR3/6 ローム粒を多量に含む  
 第2層 黄褐色 10YR5/2 黒褐色土混入

第453号住居跡 ビット4 土層注記

第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒を少量、焼土粒を微量に含む  
 第2層 暗褐色 10YR3/4 ローム粒を多量、炭化物、焼土粒を微量に含む  
 第3層 黄褐色 10YR5/6 褐色土混入

第453号住居跡 ビット5 土層注記

第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒、LBを多量、炭化物、焼土粒を微量に含む

第453号住居跡 ビット6 土層注記

第1層 暗褐色 10YR4/3 ローム粒を多量、炭化物を微量に含む  
 第2層 暗褐色 10YR3/3 ローム粒を少量、炭化物を微量に含む

第453号住居跡 ビット7 土層注記

第1層 褐色 10YR4/4 ローム粒を少量含む  
 第2層 褐色 10YR4/6 ローム粒、LBを多量、炭化物を微量に含む

第1066図 第453号住居跡(2)

<壁・床面> 壁高は25～30cm前後である。

<壁溝> 検出されなかった。

<柱穴> 検出されなかった。

<炉> 検出されなかった。

<特殊施設> 検出されなかった。

<堆積土> ローム主体の土である。

<出土遺物> 出土しなかった。

(坂本 洋一)

#### 第456号住居跡 (第669図、第1067図)

<位置と確認> CV-112グリッドに位置している。第285・310号住居跡の調査中に確認した。

<重複> 第285・288・293・310号住居跡と重複している。第293号住居跡より古い。他の住居跡との新旧関係は不明である。

<平面形・規模> 平面形、規模とも不明である。

<壁・床面> 壁は確認できなかった。床面はほぼ平坦であるが、炉の周辺はいくぶん低い。第288号住居跡の床面とは、同レベルである。

<壁溝> 不明である。

<柱穴> 1個のみ検出した。深さ27cmである。

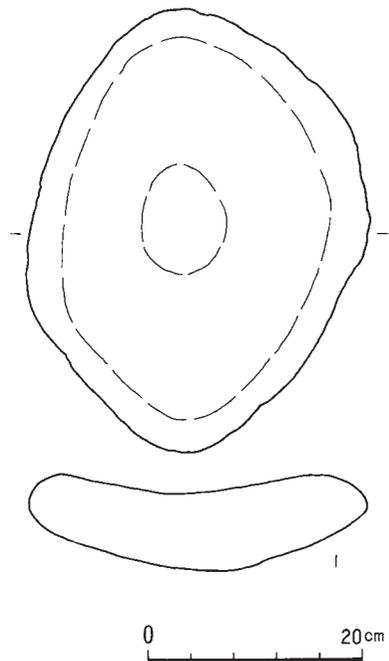
<炉> 地床炉で、径25cmの円形である。

<特殊施設> 不明である。

<堆積土> 不明である。

<出土遺物> 土器は出土しなかった。石器は、床面から石皿が1点出土した。

<小結> 本住居跡の時期は、不明であるが、住居跡の新旧関係から榎林式期かそれ以前と考えられる。  
(畠山 昇)



第1067図 第456号住居跡

第457号住居跡（第1068図）

＜位置と確認＞ 調査区のCX-116・117グリッドに位置している。第210・344号住居跡を精査中に炉と柱穴を確認した。

＜重複＞ 本住居跡は、第210・344・349・417号住居跡、第763号土壙と切り合っており、第349号住居跡との新旧関係は不明であるが、第417号住居跡よりは新しく、その他の遺構よりは古い。また、本住居跡の北西側は風倒木により攪乱を受けている。

＜平面形・規模＞ 柱穴と炉だけの確認であるため、平面形・規模とも不明である。

＜壁・床面＞ P<sub>3</sub>西側に壁の一部分と思われるものを検出した。壁高は、21cmである。床はやや起伏があり、炉の周辺は堅く締まっているが、その他は軟弱な造りであるためプランの確定はできなかった。また、北西側は風倒木による攪乱のため不明である。

＜壁溝＞ 確認できなかった。

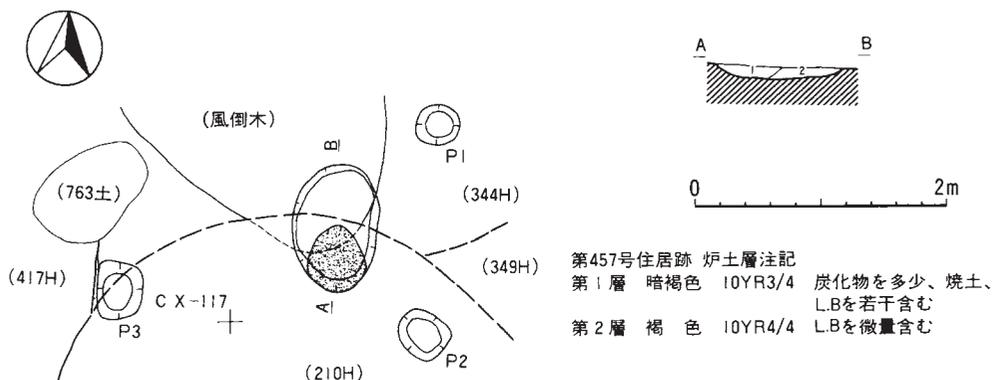
＜柱穴＞ ピットは、3個検出されたが、風倒木に攪乱される以前は4個であったと思われる。柱穴の深さは、P<sub>1</sub>…64cm・P<sub>2</sub>…55cm・P<sub>3</sub>…66cmである。規模や配置などから本住居跡の主柱穴である。

＜炉＞ 地床炉で住居跡の中央から若干東寄りに位置する。規模は、長軸102cm・短軸68cmである。堆積土は2層に分層できた。

＜特殊施設＞ 確認できなかった。

＜出土遺物＞ 検出されなかった。

＜小結＞ 重複から中期の榎林式期以前の住居跡と思われる。 (成田 悟)



第1068図 第457号住居跡

第458号住居跡（第1069図）

〈位置と確認〉 C T-127グリッドに位置し、第397号住居跡を精査後に確認した。

〈重複〉 第397号住居跡の床面下で重複している。

〈平面形・規模〉 3.5×4.3mの楕円形と観られる。床面積は10.97㎡である。

〈壁・床面〉 壁溝のみで、壁は確認されていない。床面は、ほぼ第397号住居跡とほぼ同一または、上面にあった可能性が高く、第458号住居跡の床面としては確認していない。

〈壁溝〉 第397号住居跡の床面下より幅10～14cm、深さ2～14cmである。

〈柱穴〉 第397号住居跡の床面下より4個のピットを検出した。P<sub>1</sub>は支柱穴と考えられ、第396号住居跡P<sub>2</sub>に対応すると考えられる。その2個の支柱穴から、対応するのは第397号住居跡P<sub>2</sub>と第244号住居跡内と重複する場所にあると考えられる。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…28cm、第396号住居跡P<sub>2</sub>…25cm、第397号住居跡P<sub>2</sub>…75cm（第458号住居跡床面より）である。

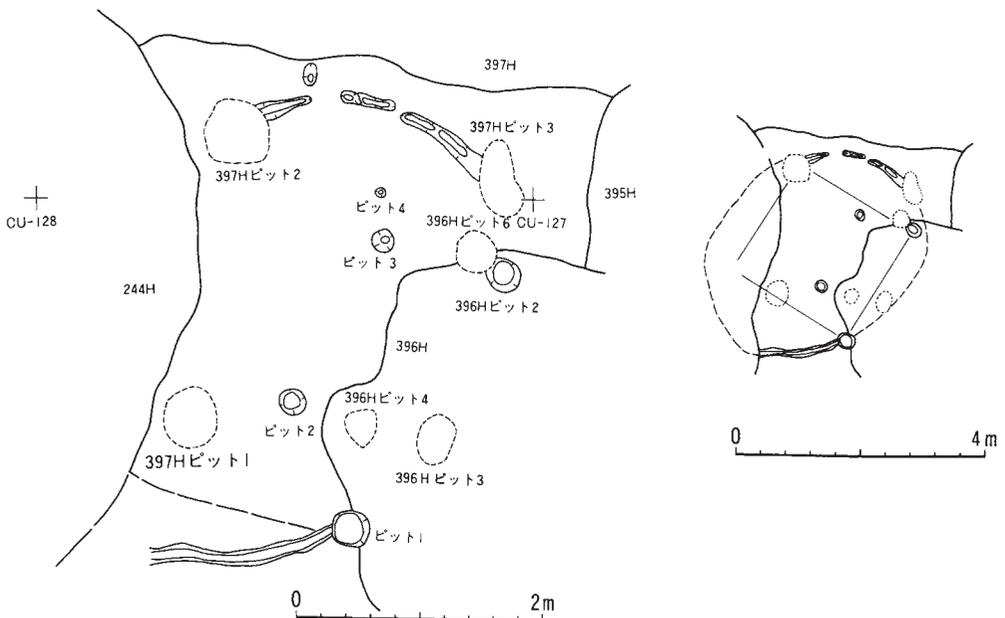
〈炉〉 確認されていない。

〈特殊施設〉 確認できなかった。

〈堆積土〉 第397号住居跡と重複のため認められなかった。

〈出土遺物〉 ピット1から不定形石器1点が出土した。

〈小結〉 重複している第396号住居跡が、円筒上層d式期と考えられるため、それ以前の時期と考えられる。（長崎 勝巳）



第1069図 第458号住居跡

第459号住居跡（第329図）

〈位置と確認〉 DE-103グリッドに位置し、第139号住居跡の調査中に確認した。

〈重複〉 第79・97・138号住居跡より古いが、他の住居跡との新旧関係は不明である。

〈平面形・規模〉 平面形、規模とも不明である。

〈壁・床面〉 不明であるが、床面は第139号住居跡と同レベルである。

〈壁溝〉 不明である。

〈柱穴〉 不明である。

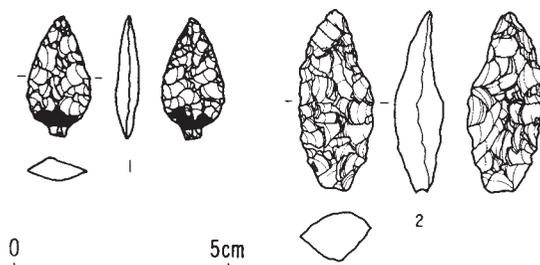
〈炉〉 焼土の周囲に、炉石の抜き取り痕と思われる形跡を、長方形状に確認できたことから、石囲炉であった可能性が考えられる。

〈特殊施設〉 不明である。

〈堆積土〉 不明である。

〈小結〉 本住居は第139号住居跡の調査中に炉のみを検出したものである。調査中は住居番号を付けていなかったもので、整理作業時に第459号住居跡とした。多数の住居跡を重複して検出した地域からのものであり、ほぼ同じレベルで、多くの住居跡の床面が確認しているという状況下で検出したものである。また周辺から、多数のピット検出したが、本住居跡に伴うピットは確定できなかった。

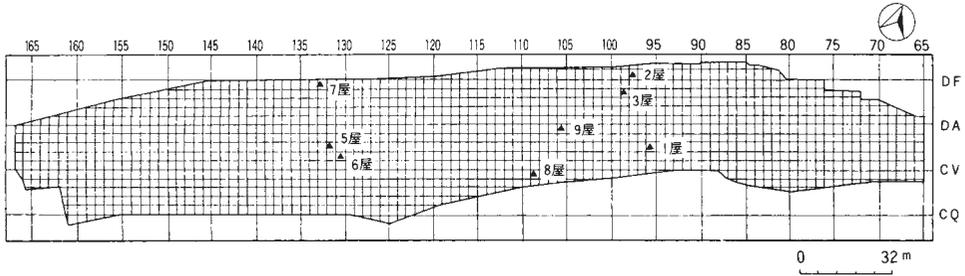
（畠山 昇）



第1070図 第459号住居跡

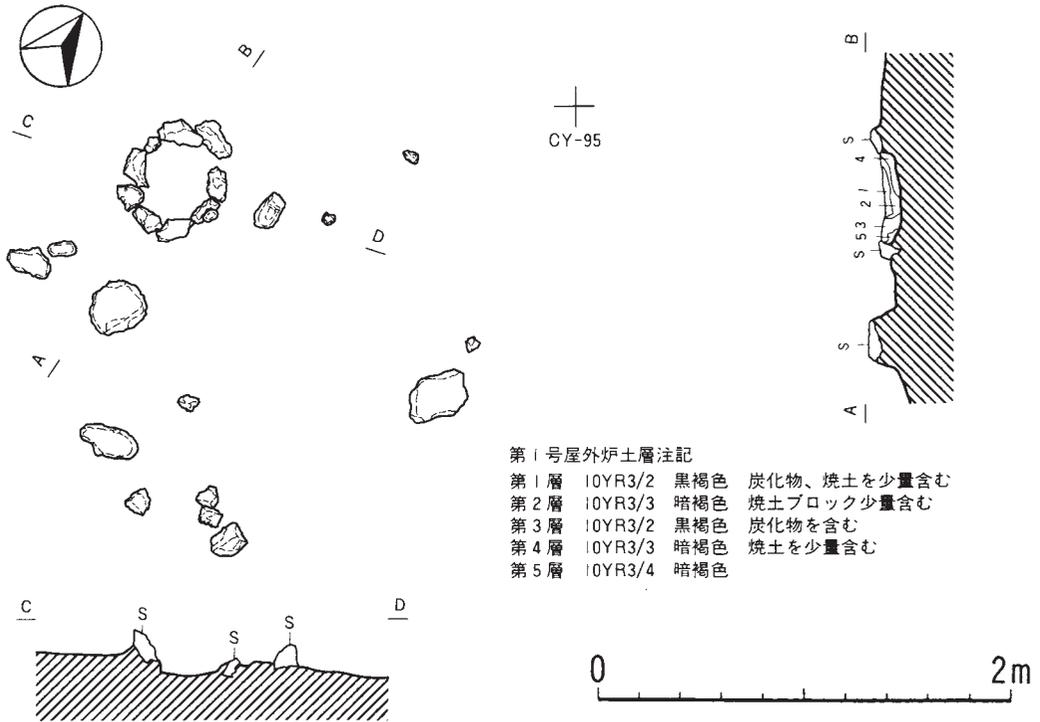
(2) 屋外炉 (第1071~1082図)

屋外炉は9基検出した。



第1071図 屋外炉位置図

第1号屋外炉 (第1072・1073図)



第1072図 第1号屋外炉(1)

<位置と確認> 調査区CX-95グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

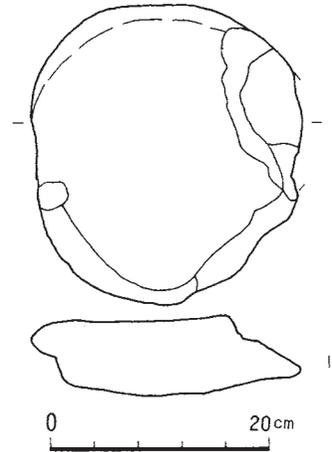
<重複> 認められなかった。

<形態と規模> 角張った礫(安山岩)を用いて円形に組んだ石囲炉である。規模は、長径64

cm・短径50cm・深さ15cmを測る。

<堆積土> 5層に分層できた。

<出土遺物> 炉石に台石石皿を用いている。また、炉の南側から礫が出土した。  
(畠山 昇)



第1073図 第1号屋外炉(2)

### 第2号屋外炉 (第1074図)

<位置と確認> 調査区DF-97グリッドの平坦面に位置している。第II層を精査中に確認した。

<重複> 第150号住居跡と重複しており、本屋外炉が新しい。

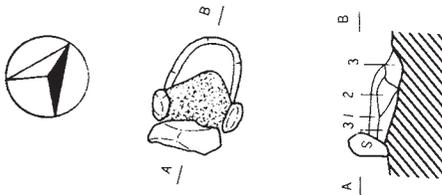
<平面形・規模> 3個の炉石をコの字状に配置した石囲炉である。規模は、長径60cm・短径38cm・深さ13cmを測る。

<壁・底面> 上端から底面にかけて緩やかに傾斜している。底面は火熱をあまり受けておらず、焼土がまだらに散在する程度で軟らかい。

<堆積土> 3層に分層でき、焼土粒を多く含んでいる。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 本屋外炉は遺物が出土しなかったため、遺構の新旧関係から時期を概観すると第150号住居跡(榎林式)より以降の時期と思われる。  
(三浦 孝仁)



#### 第2号屋外炉土層注記

- |     |     |         |               |
|-----|-----|---------|---------------|
| 第1層 | 暗褐色 | 10YR3/3 | 焼土、ローム粒少量     |
| 第2層 | 黒褐色 | 10YR3/2 | 焼土(5YR6/8)まばら |
| 第3層 | 暗褐色 | 10YR3/3 | 焼土中量          |



第3号屋外炉（第1075図）

＜位置と確認＞ 調査区DD-98グリッドで中央の平坦部に位置している。第Ⅱ層を精査中に確認した。

＜重複＞ 第81号住居跡と重複しており、本屋外炉が新しい。

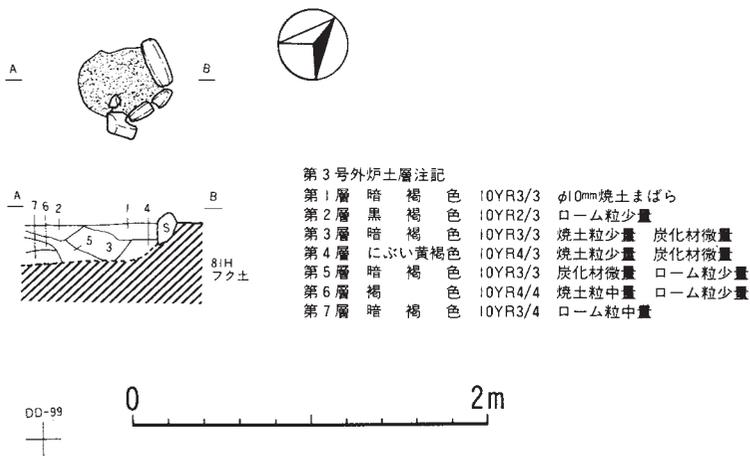
＜平面形・規模＞ 4個の炉石をくの字状に配置した石囲炉である。規模は、長径52cm・短径47cm・深さ20cmを測る。

＜壁＞ 壁は確認できなかった。底面は火熱をあまり受けておらず、焼土粒が若干散在する程度で軟らかい。

＜堆積土＞ 7層に分層でき、焼土粒、炭化粒を含んでいる。

＜出土遺物＞ 遺物は出土しなかった。

＜小結＞ 本屋外炉は遺物が出土しなかったため、遺構の新旧関係から時期を概観すると第81号住居跡（弥栄平（1）式）より以降の時期と思われる。 （三浦 孝仁）



第1075図 第3号屋外炉

第4号屋外炉（第1076・1077図）旧第205号住居跡

＜位置と確認＞ CY-122グリッドに位置する。第Ⅲ層下部で確認した。

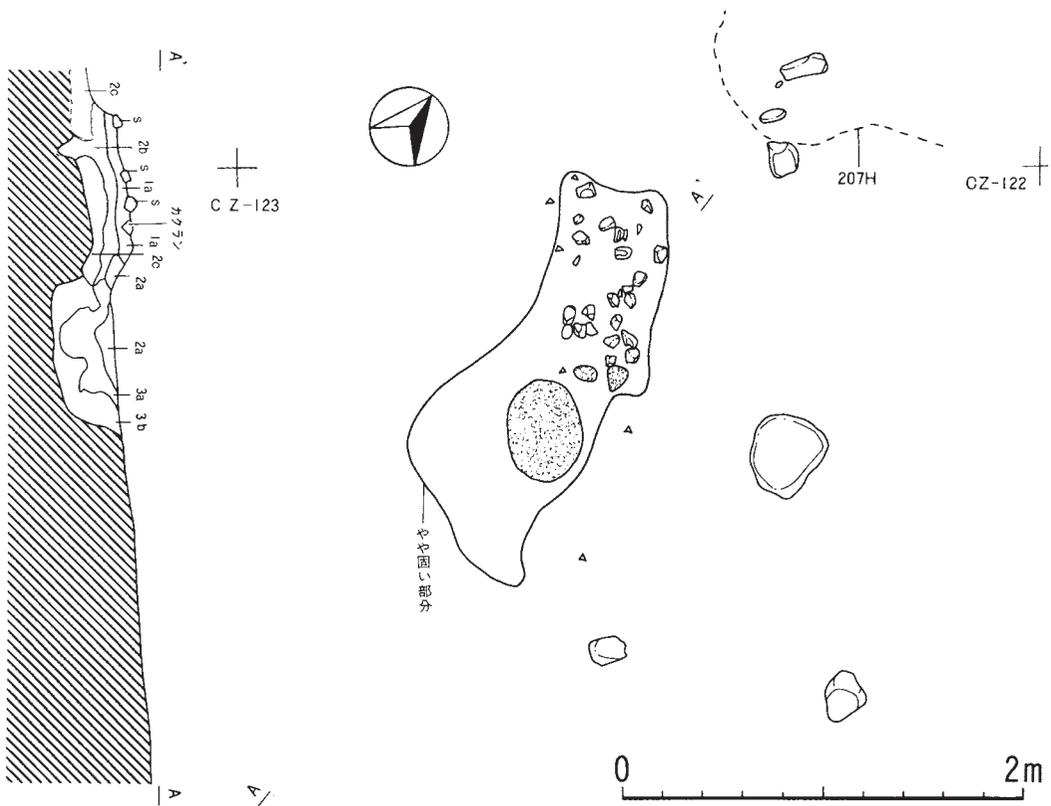
＜重複＞ 認められない。

＜平面形・規模＞ 焼土部分は、長径50cm、短径40cmほどの不整楕円形である。焼土の周囲に長径約2m、短径約80cmのやや堅くしまった床状の部分がかった。焼土部分の北側には拳大の礫がかなり密集してあった。この礫は床状の部分からやや浮いて黒褐色土中にあり、南東側に

はこれより大きな礫が散在していた。下部はやや軟らかく地山との境界が不明瞭で人為的に掘られたものか判然としない。

〈堆積土〉 床上部分の上部の堆積土は黒褐色土、下部の土は褐色土ないし黄色褐色土である。

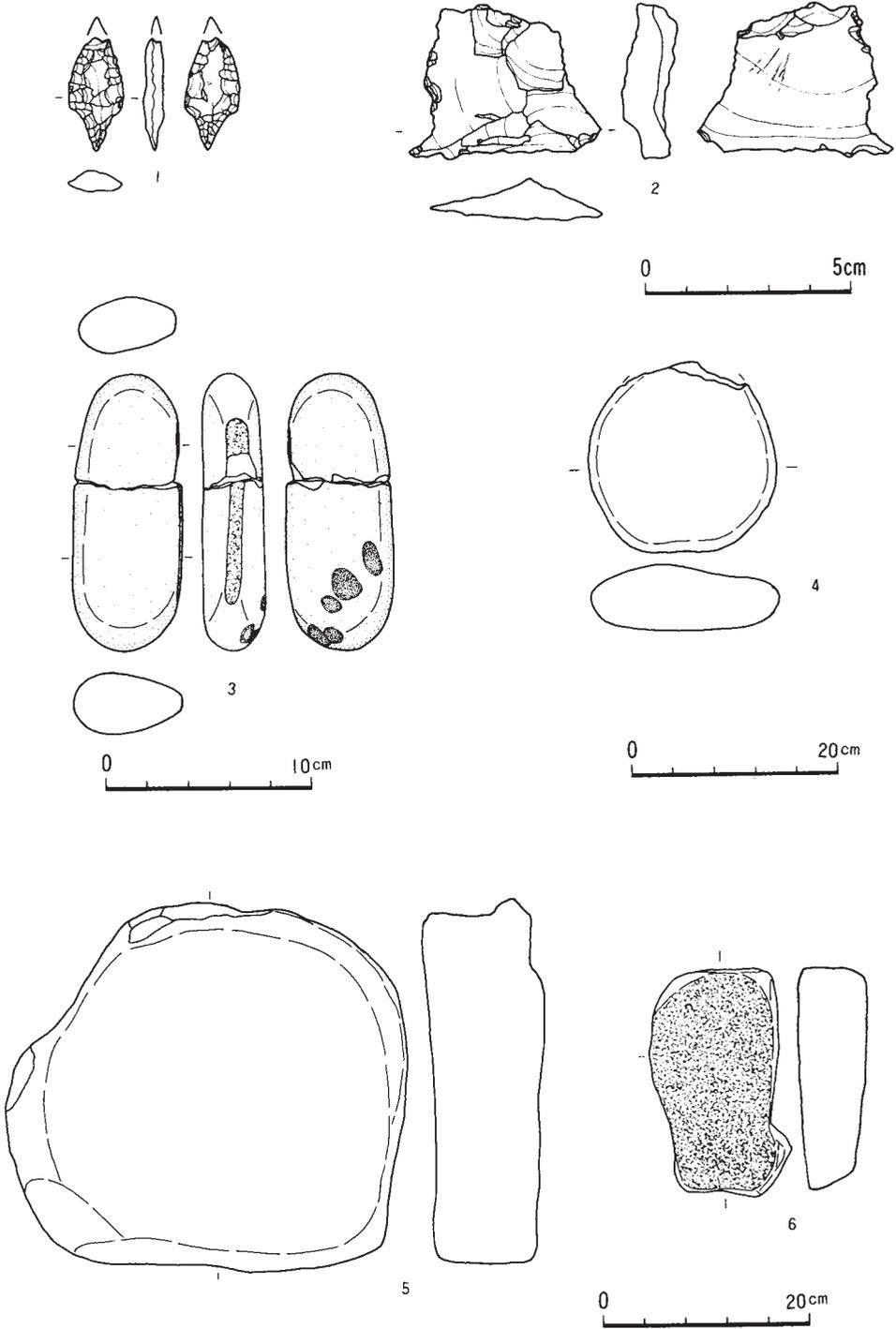
〈出土遺物〉 土器は、粗製の縄文土器が数片、石器は、石鏃・不定形石器・台石石皿・敲磨器類が出土した。  
(坂本 洋一)



第4号屋外炉土層注記

第1a層	黒褐色土	10YR3/2	ローム微量
第2a層	褐色土	10YR4/6	炭化物微量 焼土少量。ローム少量
第2b層	褐色土	10YR4/6	ローム粒多量
第2c層	黄褐色土	10YR5/6	ローム粒多量
第3a層	褐色土	10YR4/6	炭化物微量 ローム多量
第3b層	黄褐色土	10YR5/8	炭化物微量 ローム主体

第1076図 第4号屋外炉(1)



第1077图 第4号屋外炉(2)

### 第5号屋外炉（第1078図）旧第198号住居跡

<位置と確認> 調査区CW-131グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

<重複> 第509号土壇と重複し、新旧関係は本屋外炉が新しい。

<平面形・規模> 全体に丸みをもつ地床炉である。規模は、長径74cm・短径62cm・深さ7cmを測る。

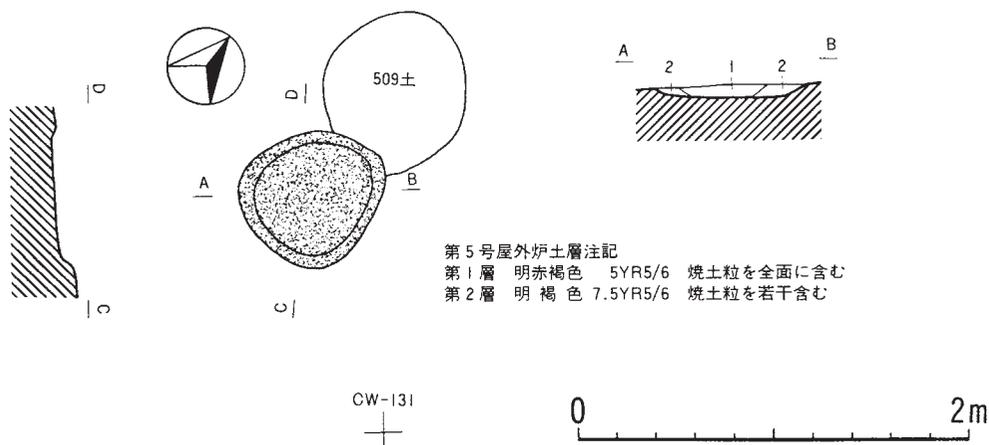
<壁・底面> 上端から底面にかけて傾斜している。壁は火熱を受けておらず軟らかい。底面は、ほぼ平坦で壁同様に軟らかい。

<堆積土> 2層に分層でき、焼土粒を多く含んでいる。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 本屋外炉と第509号土壇は遺物が出土しなかったため、時期は不明である。

(成田 滋彦)



第1078図 第5号屋外炉

### 第6号屋外炉（第1079図）旧第199号住居跡

<位置と確認> 調査区CV・CW-130グリッドで、調査区中央部に位置している。第IV層を精査中に確認した。

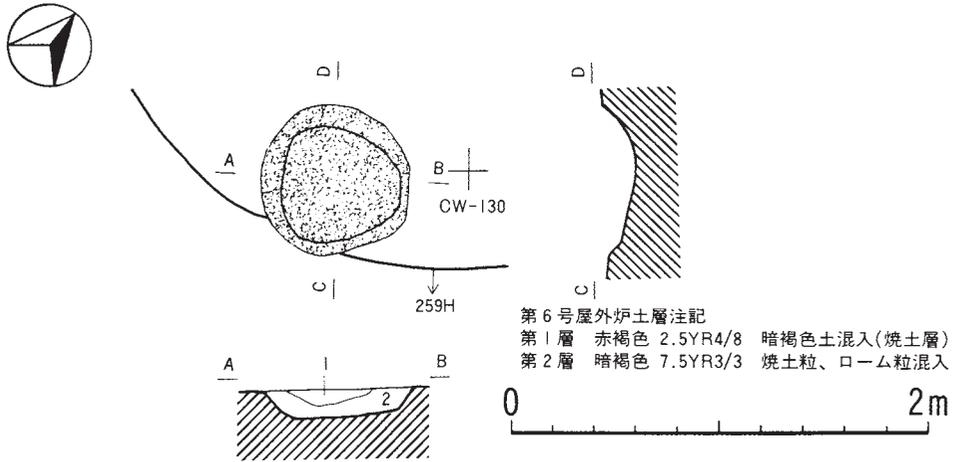
<重複> 第259号住居跡と重複し、新旧関係は本屋外炉が新しい。

<平面形・規模> 全体に丸みをもつ地床炉である。規模は、長径72cm・短径70cm・深さ13cmを測る。

<壁・底面> 上端から底面にかけて傾斜している。壁は火熱をあまり受けておらず軟らかい。底面は、ほぼ平坦で壁同様に軟らかい。

<堆積土> 2層に分層ができ、第2層上面が火床面と思われる。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。



第1079図 第6号屋外炉

<小結> 本屋外炉の時期は遺物が出土しなかったため、遺構の新旧関係から概観すると、第259号住居跡(円筒上層C・d式)以降の時期と思われる。(成田 滋彦)

第7号屋外炉(第1080図) 旧第262号住居跡

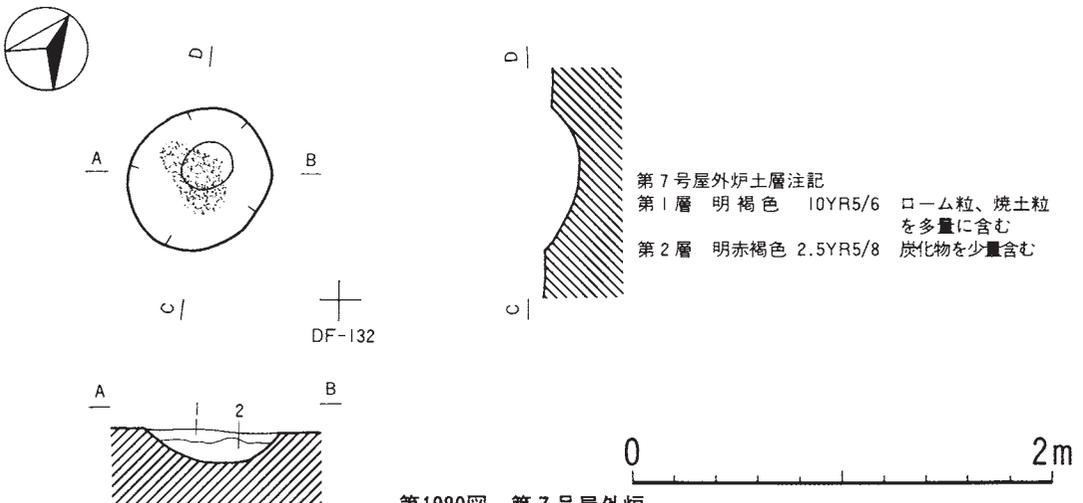
<位置と確認> 調査区DA・DB-99グリッドに位置している。第II層を精査中に確認した。

<重複> 認められなかった。

<平面形・規模> ほぼ円形の地床炉である。規模は、長径70cm・短径65cm・深さ16cmを測る。

<壁・底面> 上端から底面にかけて緩やかに傾斜し、火熱をあまり受けていないため軟らかい。底面は、断面が鍋底状で壁同様に軟らかい。

<堆積土> 2層に分層でき、第2層上面が火床面と思われる。



第1080図 第7号屋外炉

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 本屋外炉の時期は不明である。

(中島 友文)

### 第8号屋外炉 (第1081図)

<位置と確認> 調査区CV-108グリッドに位置する。第IV層を精査中に確認した。

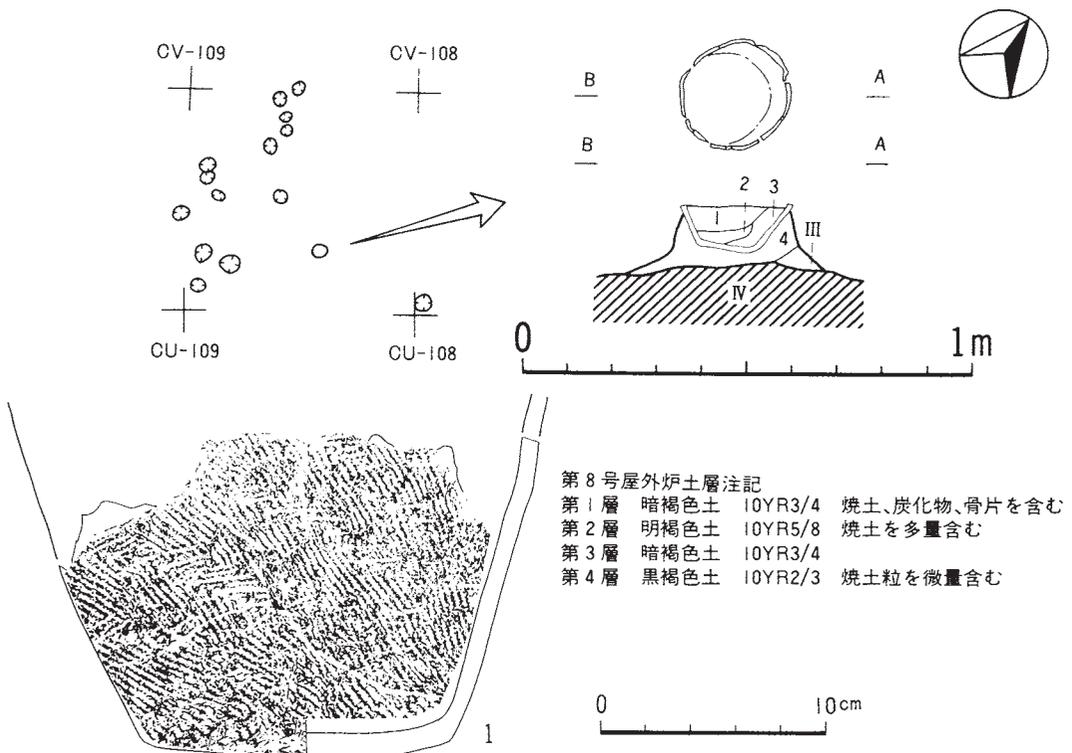
<重複> 認められなかった。

<形態と規模> 土器を用いた埋設土器炉であり、胴部から底部までの残存器高が14cmの深鉢形土器である。掘り方を有していたと思われるが、明瞭に把握できなかったが。

<堆積土> 羽状縄文を施文した土器で、火熱を受けているため器内外ともに剥落が著しい。

<小結> 土器の文様施文から、円筒上層系 (円筒上層c~e式) の土器と思われる。

(畠山 昇)



第1081図 第8号屋外炉

第9号屋外炉（第1082図）旧2号焼土状遺構

＜位置と確認＞ 調査区CY-105グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

＜重複＞ 認められなかった。

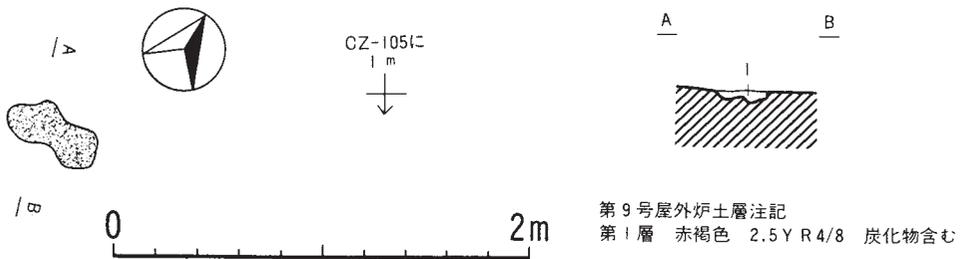
＜平面形・規模＞ 楕円形の地床炉である。規模は、長径46cm・短径21cm・深さ5cmを測る。＜

壁・底面＞ 上端から床面にかけて傾斜しており軟らかい造りである。底面は、起伏があり壁同様に軟らかい。

＜堆積土＞ 1層のみの堆積である。

＜出土遺物＞ 遺物は出土しなかった。

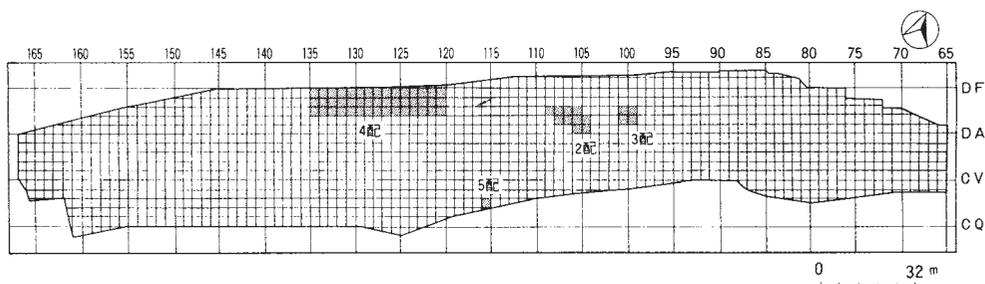
（成田 滋彦）



第1082図 第9号屋外炉

### (3)配石遺構 (第1083～1096図)

配石遺構を4基検出した。



第1083図 配石遺構位置図

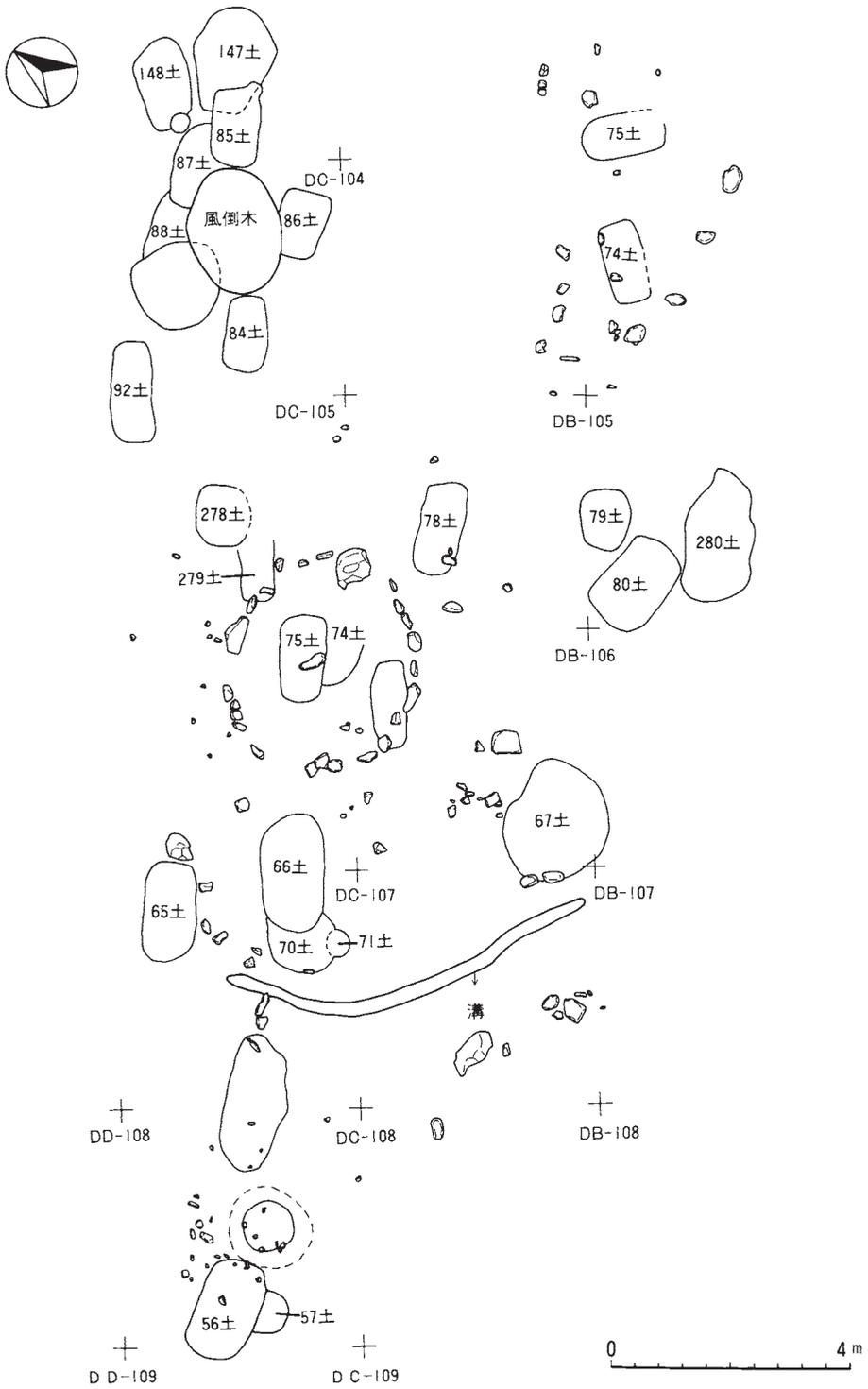
#### 第2号配石遺構 (第1084～1089図)

＜位置と確認＞ 調査区DB-104、DB・DC-105・106・107、DC-108グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

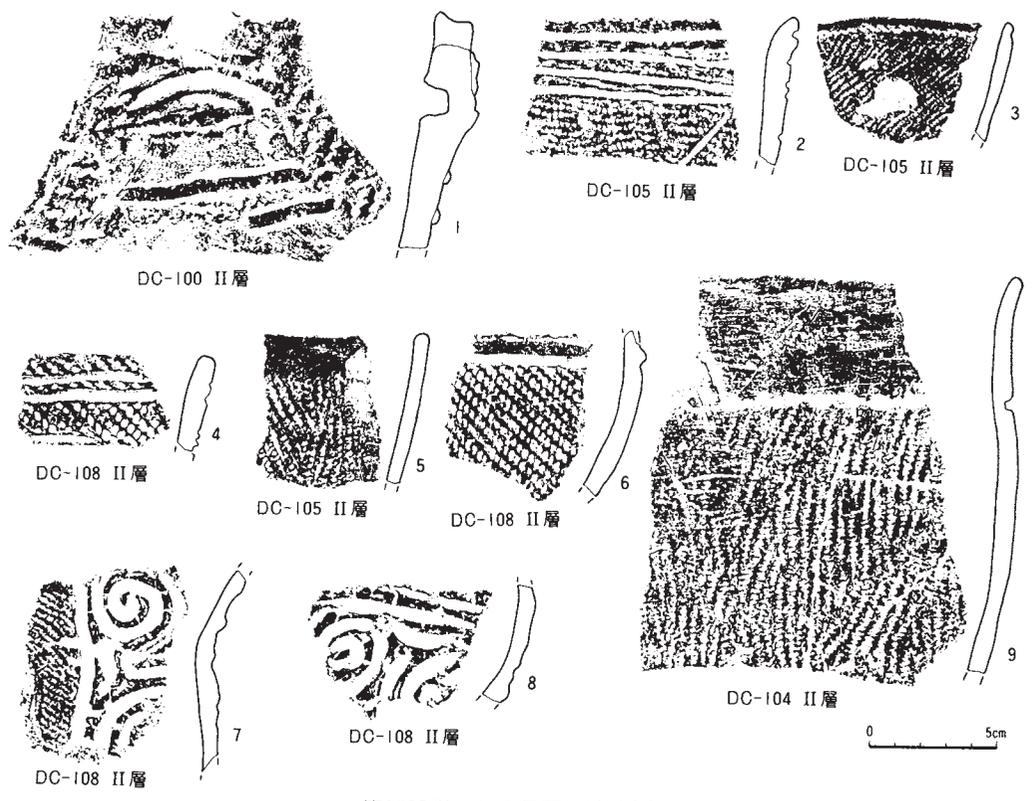
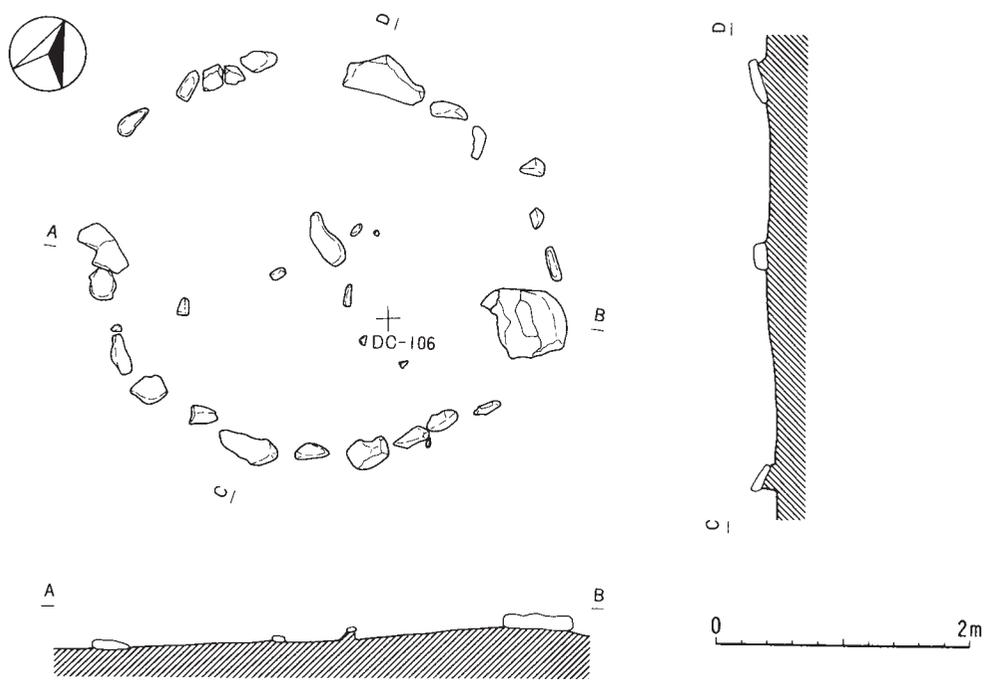
＜範囲＞ 礫の範囲は、東西約10m・南北約21mの広範囲に礫が配置している。礫の中心部には、東西3m76cm・南北2m24cmの円形の配石があり、これを中心として東西に列状に延びる配置である。しかし、本遺構は耕作により除去及び移動され、円形の配石以外は現位置を保っていない。

＜施設＞ 配石遺構の下部から、東西に長軸をもつ土墳墓を確認した。また、円形の配石の西側から幅22cm・長さ6mの弧状の溝を検出した。一周はしないが配石を区画する用途に用いられたものと思われる。

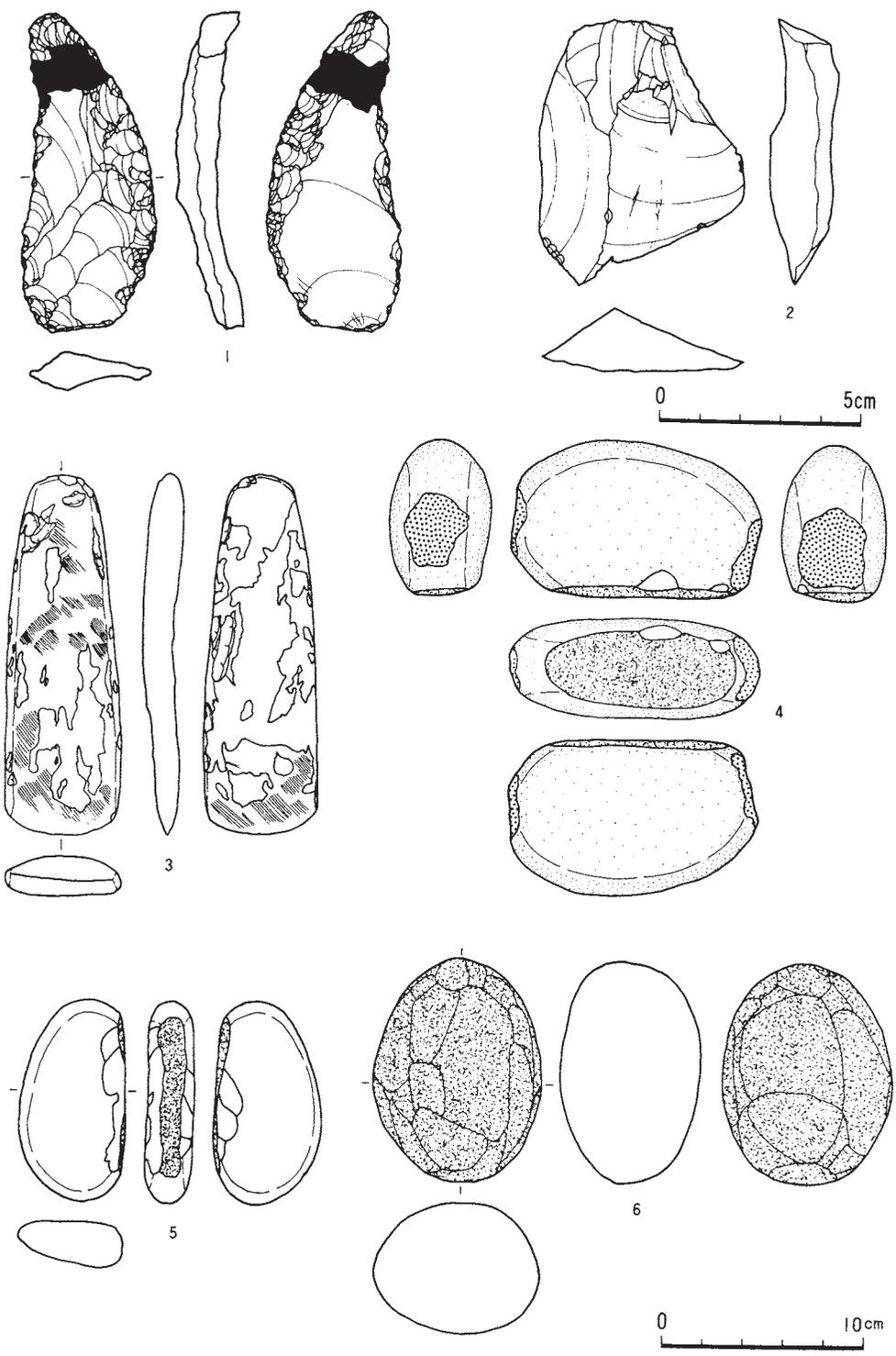
＜出土遺物＞ 配石遺構の周辺から出土した。土器は、円筒上層d式・榎林式が出土した。石器は、石匙・不定形石器・磨製石斧・敲磨器類・台石石皿・石棒が出土した。



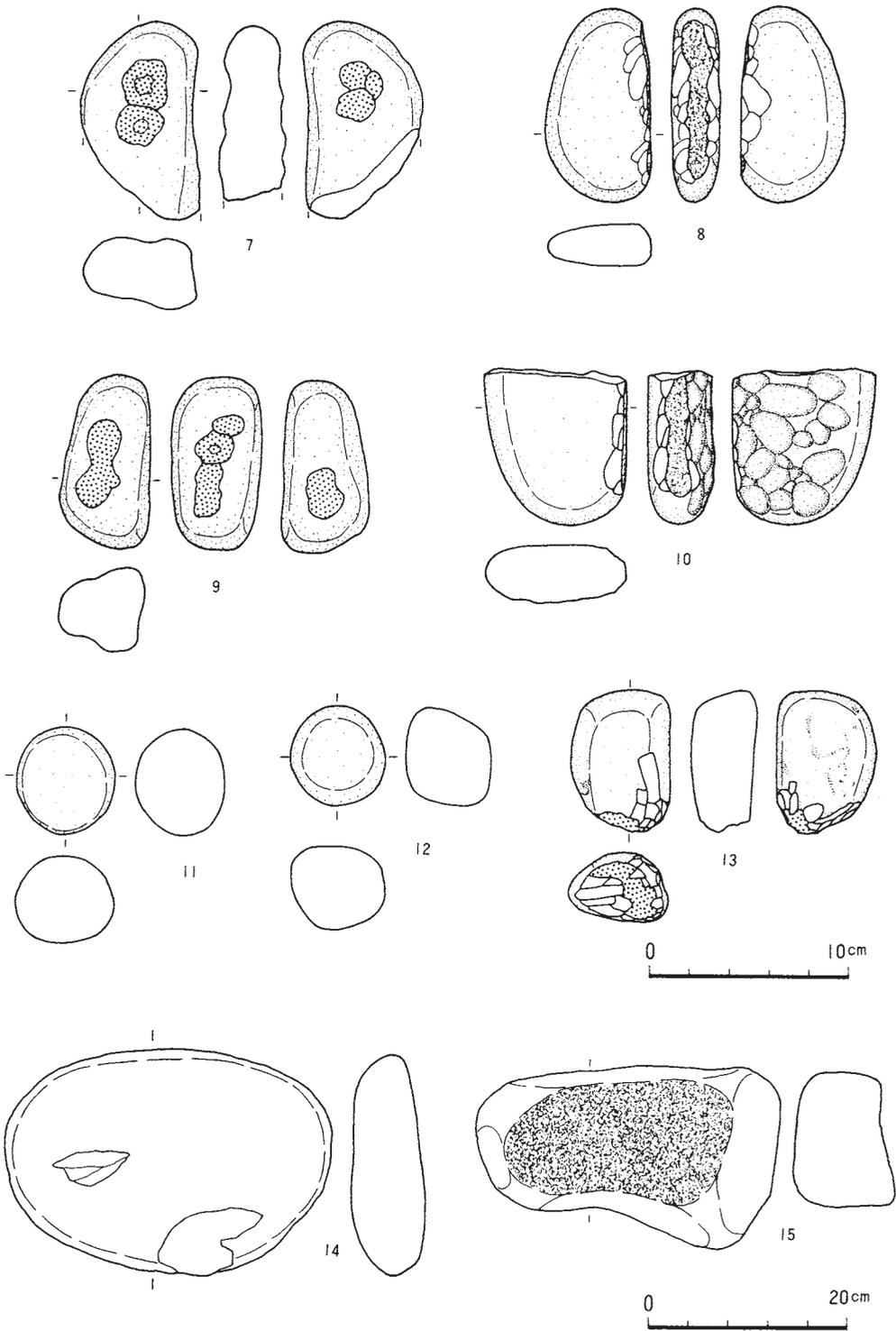
第1084図 第2号配石遺構(1)



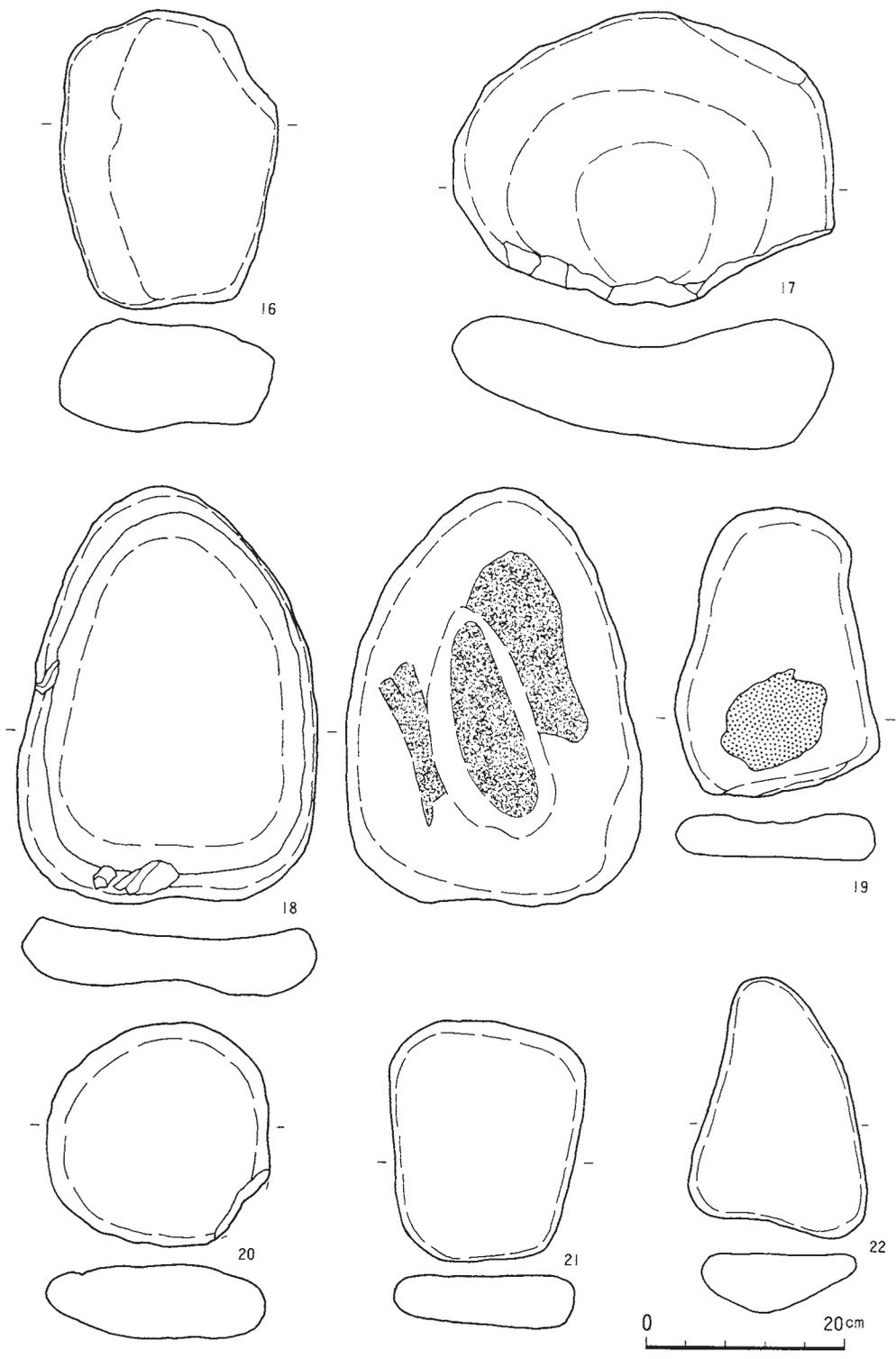
第1085图 第2号配石遺構(2)



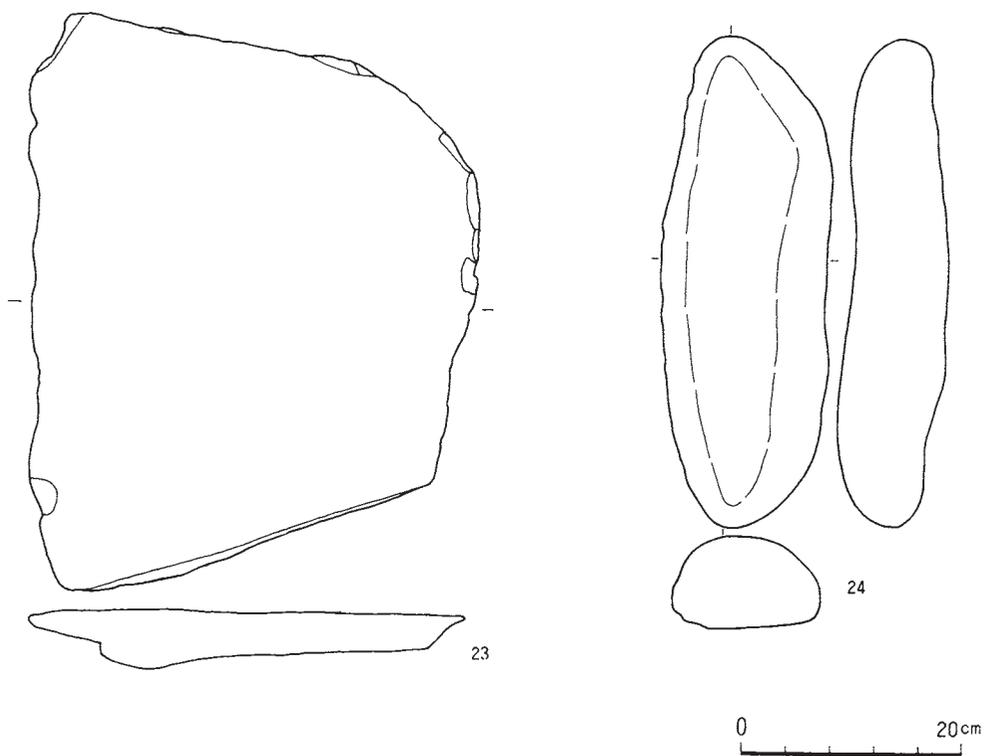
第1086図 第2号配石遺構(3)



第1087图 第2号配石遺構(4)



第1088図 第2号配石遺構(5)



第1089図 第2号配石遺構(6)

第3号配石遺構 (第1090～1094図)

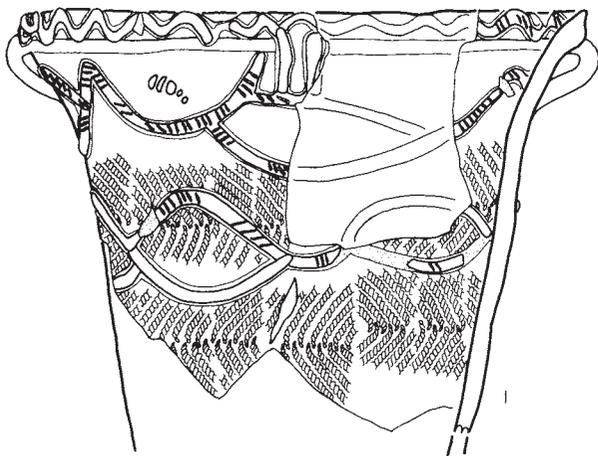
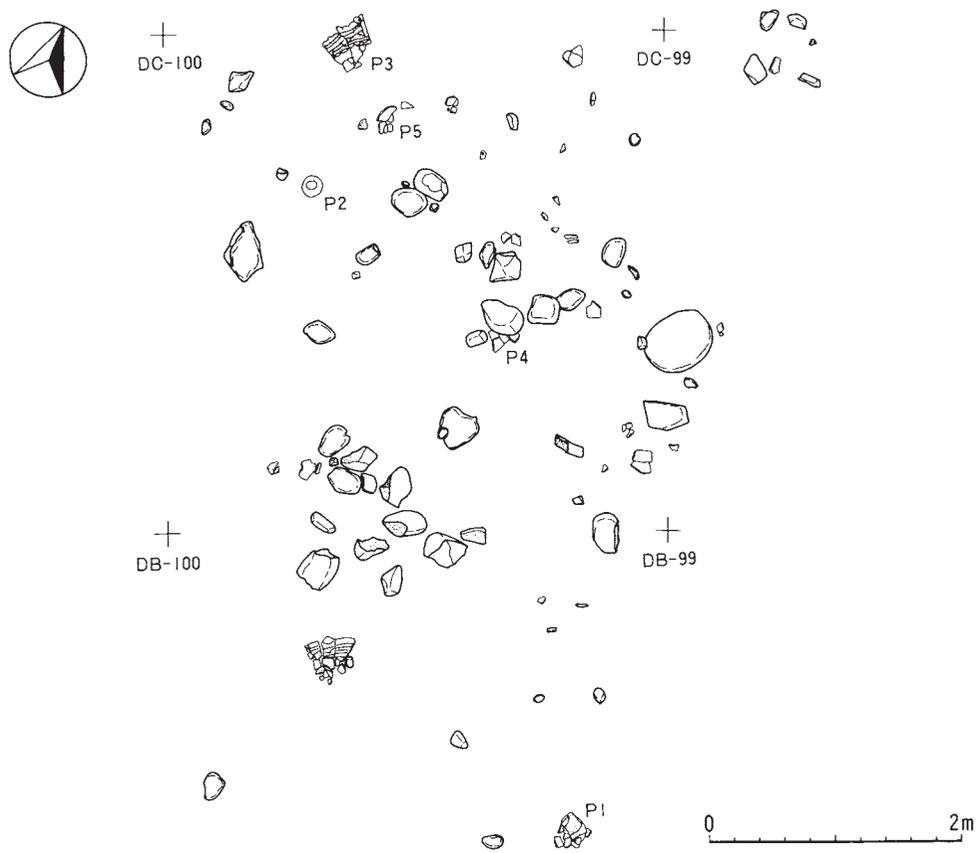
〈位置と確認〉 調査区DA・DBグリッドに位置している。第Ⅱ層を精査中に確認した。

〈範囲〉 丸みのある礫を用いて東西約6m・南北約4mの狭い範囲に集中的に配置している。

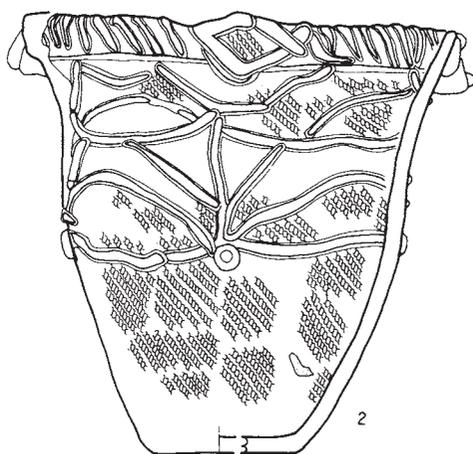
〈施設〉 配石遺構の下部から土壌は確認できなかった。

〈出土遺物〉 遺物は配石遺構の周辺から出土した。土器は円筒上層c・d式、大木7b・8式、榎林式、弥栄平(1)式が出土した。石器は、石鏃、石錐、敲磨器類、軽石、台石石皿、石棒が出土した。

(成田 滋彦)



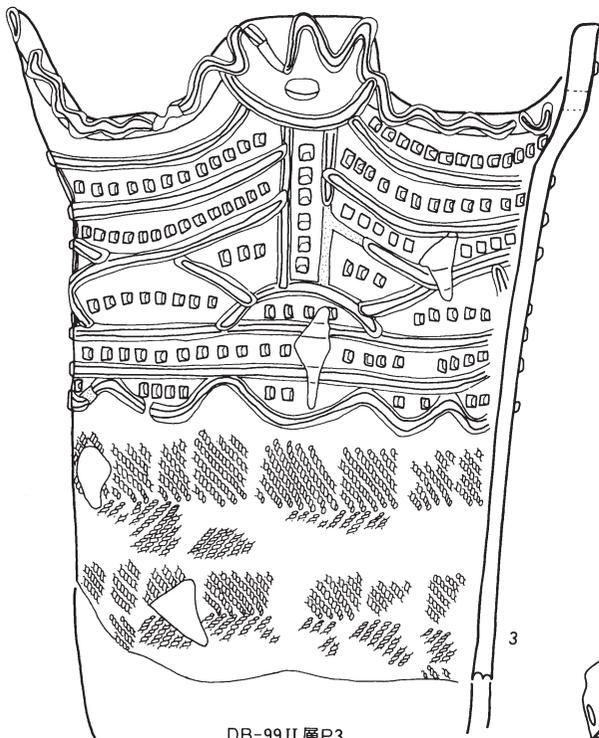
DA-99 II層P1



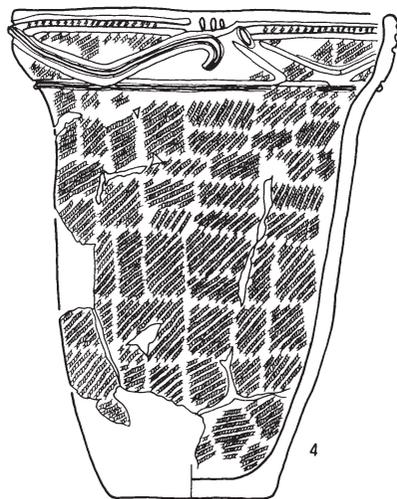
DB-99 II層P2



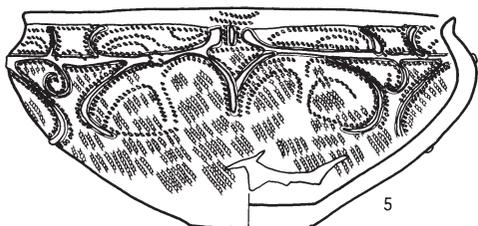
第1090図 第3号配石遺構(1)



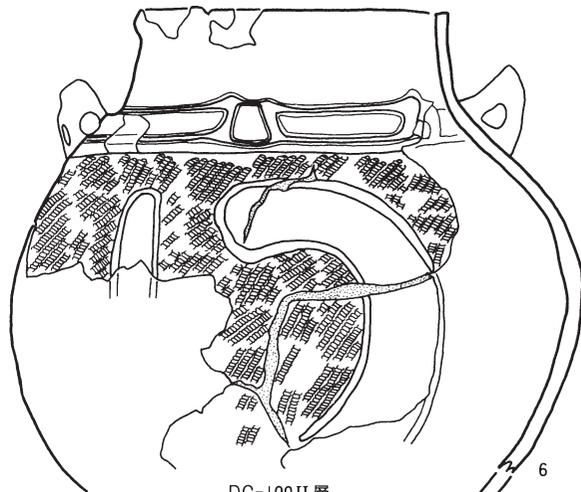
DB-99 II 層P3



DB-99 II 層P4



DB-99 II 層P5



DC-100 II 層

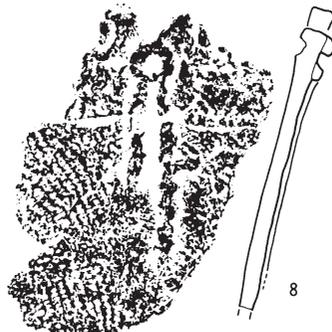
0 10cm



DB-99 II 層



7



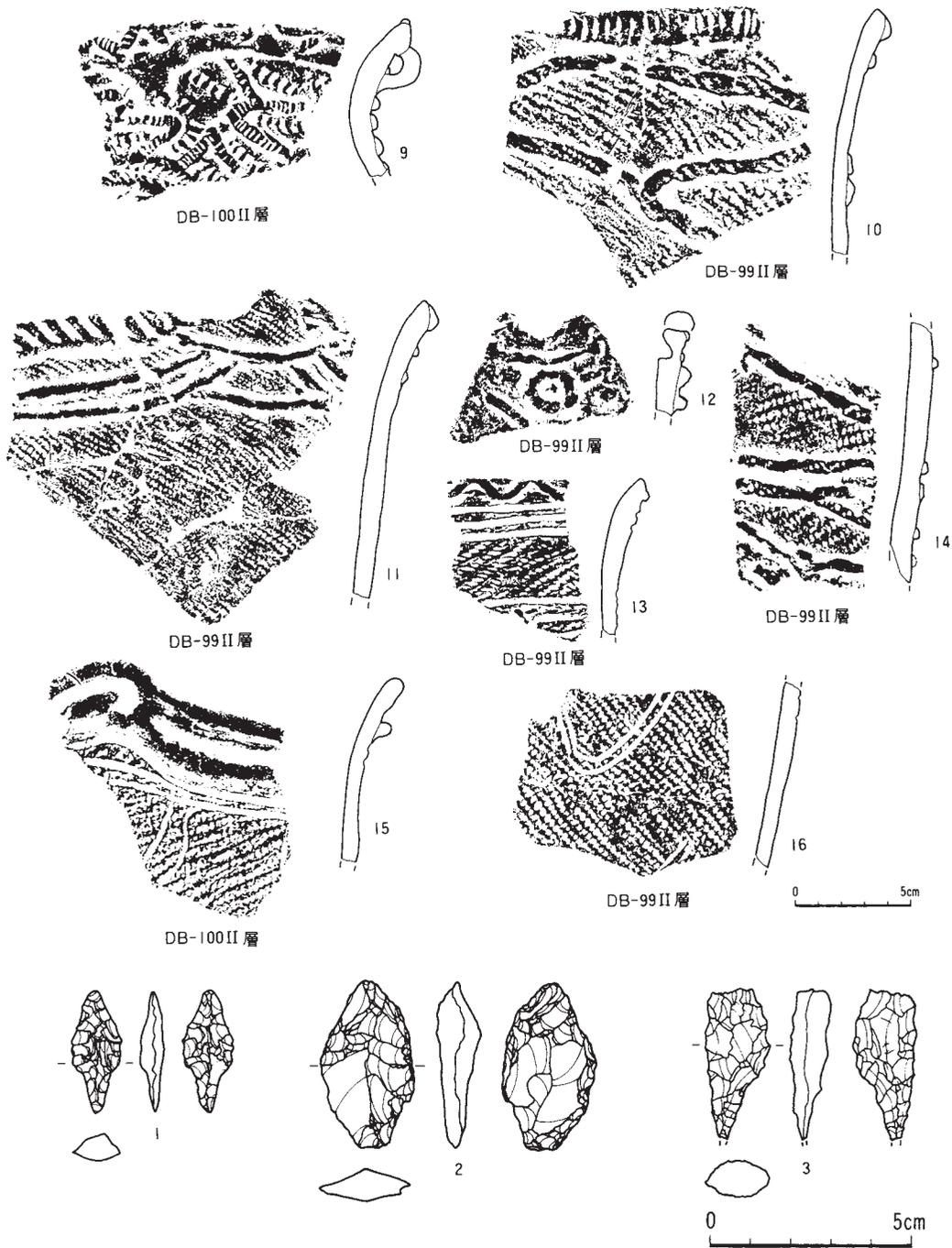
DB-99 II 層



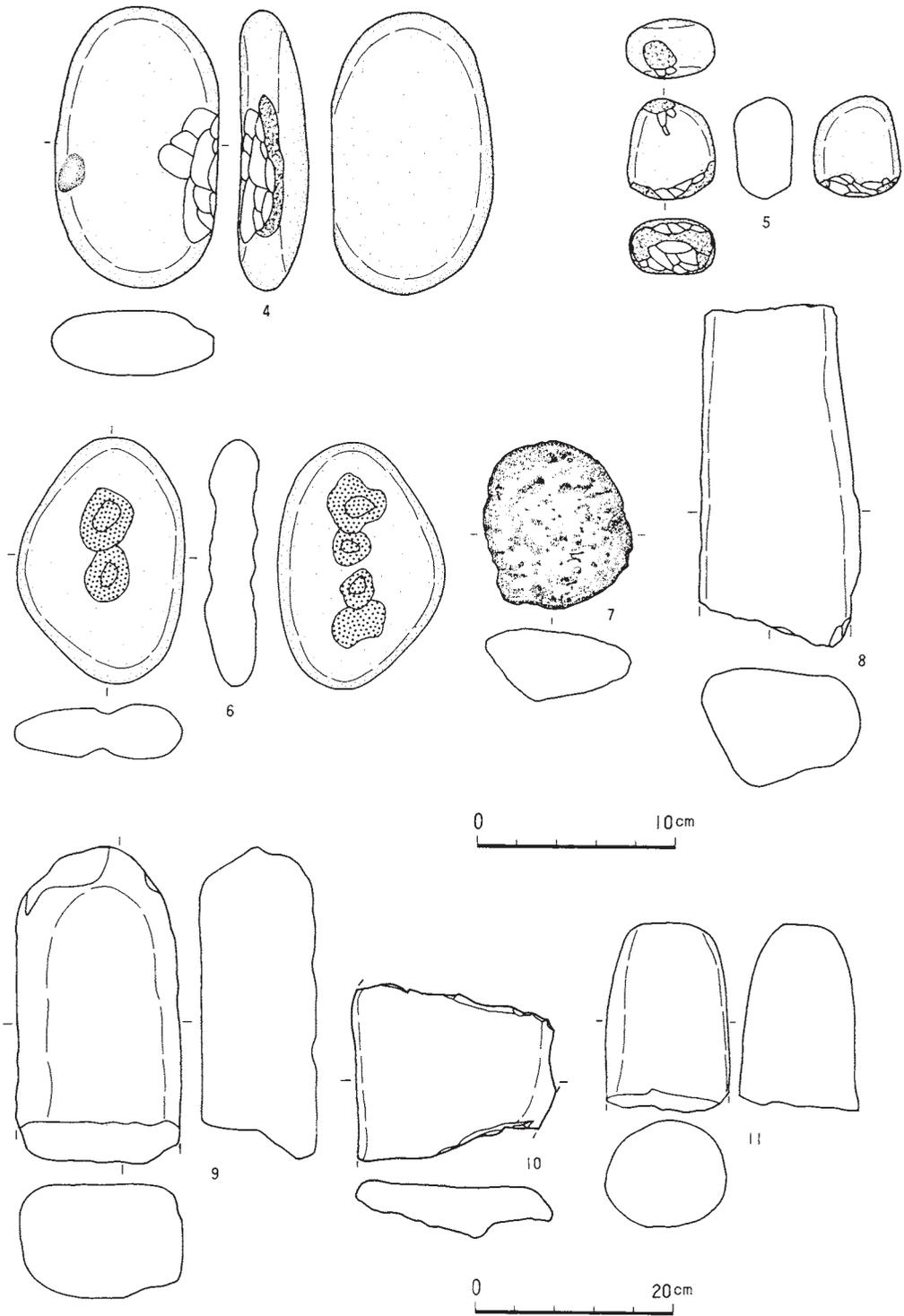
8

0 5cm

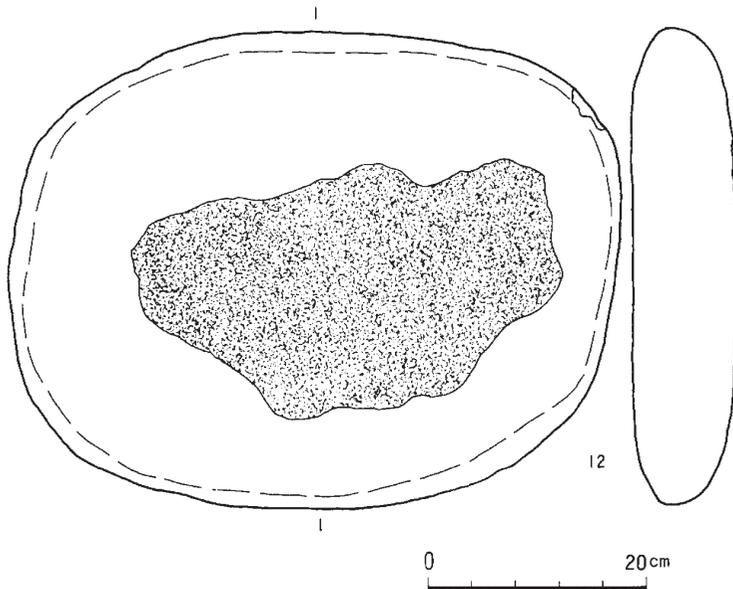
第1091图 第3号配石遺構(2)



第1092図 第3号配石遺構(3)



第1093图 第3号配石遺構(4)



第1094図 第3号配石遺構(5)

第4号配石遺構 (第1095図)

〈位置と確認〉 調査区DC・DE・DF-120~135グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

〈範囲〉 東西約60m・南北約16mの広範囲に帯び状に礫が分布している。配置は、DE-126・127グリッド及びDC-126グリッドで集中する地点も見られるが、全体的に散在状態である。礫は第2号配石遺構と同様に耕作により、礫が除去及び移動されており、すべての礫は現位置を保っていない。

〈施設〉 配石遺構の下部から、東西に長軸をもつ土墳墓を確認した。

〈出土遺物〉 配石遺構の周辺から出土した。

(成田 滋彦)

第5号配石遺構（第1096図）旧第10号配石遺構

<位置と確認> 調査区CT-115グリッドに位置している。第II層を精査中に確認した。

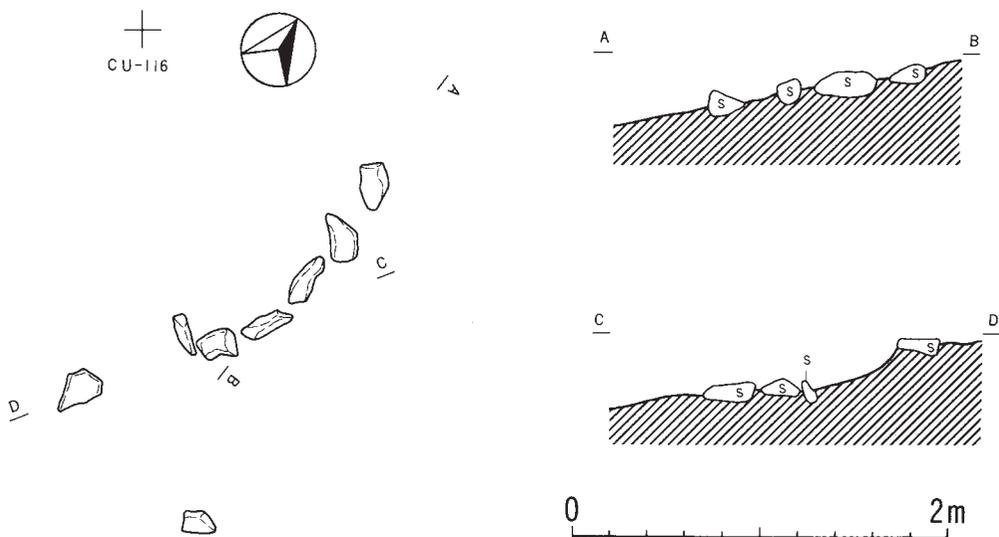
<重複> 認められなかった。

<範囲> 礫の範囲は、南北約2m・東西約1m50cmの狭い範囲で、南北に直線状に礫を配置している。礫は丸みのある安山岩を使用している。

<施設> 検出しなかった。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

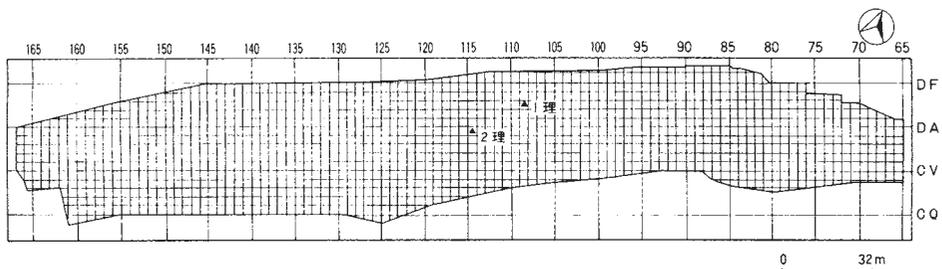
（長崎 勝巳）



第1096図 第5号配石遺構

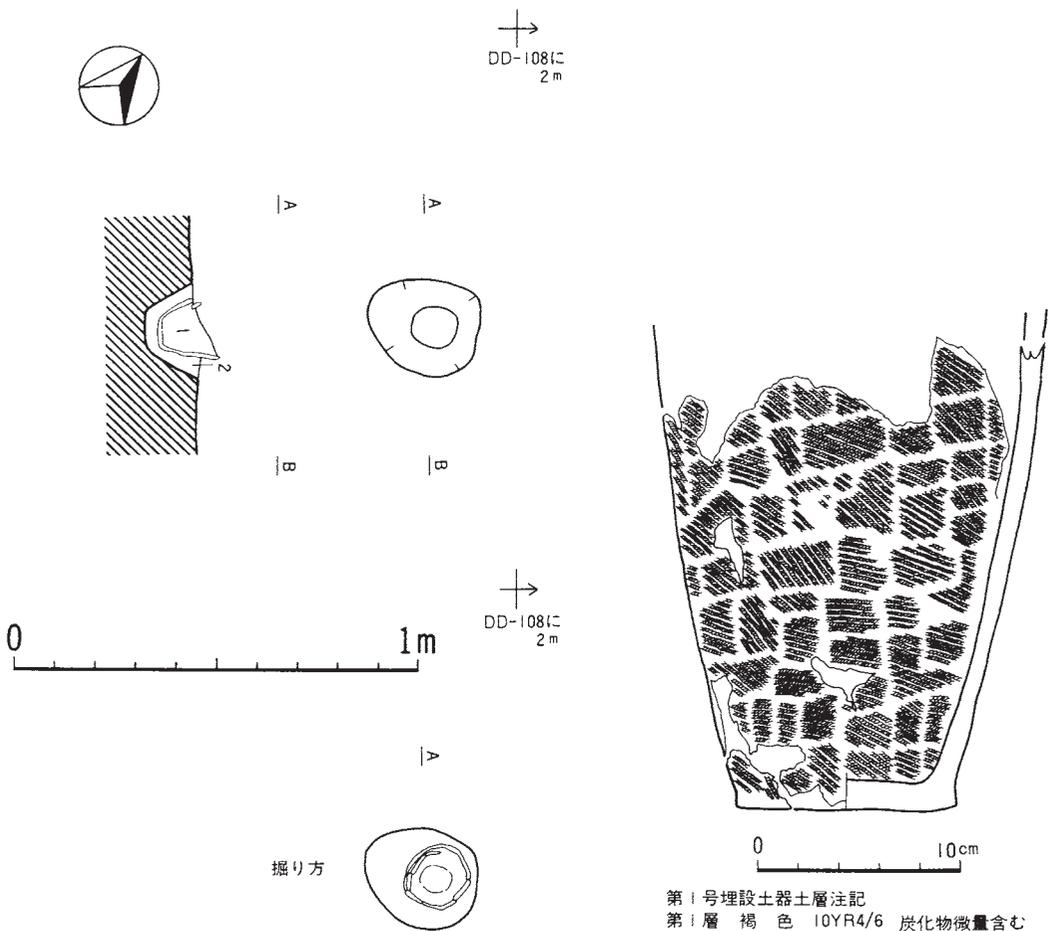
(4)埋設土器 (第1097~1099図)

埋設土器は2基検出した。



第1097図 埋設土器位置図

第1号埋設土器 (第1098図) 旧第10号埋設土器



第1098図 第1号埋設土器

<位置と確認> 調査区DC-108グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

<重複> 認められなかった。

<形態と規模> 円形の掘り方で、規模は長径29cm・短径23cm・深さ12cmを測る。土器は、掘り方の中央部に正立状態で埋設されている。

<堆積土> 2層に分層でき、土器内には炭化物を少量含む。

<出土土器> 胴部から底部にかけての深鉢形土器である。

<小結> 土器の文様施文から、円筒上層系（円筒上層c～e式）の土器と思われる。

(長崎 勝巳)

### 第2号埋設土器（第1099図）旧第4号埋設土器

<位置と確認> 調査区CZ-114グリッドに位置している。第IV層を精査中に確認した。

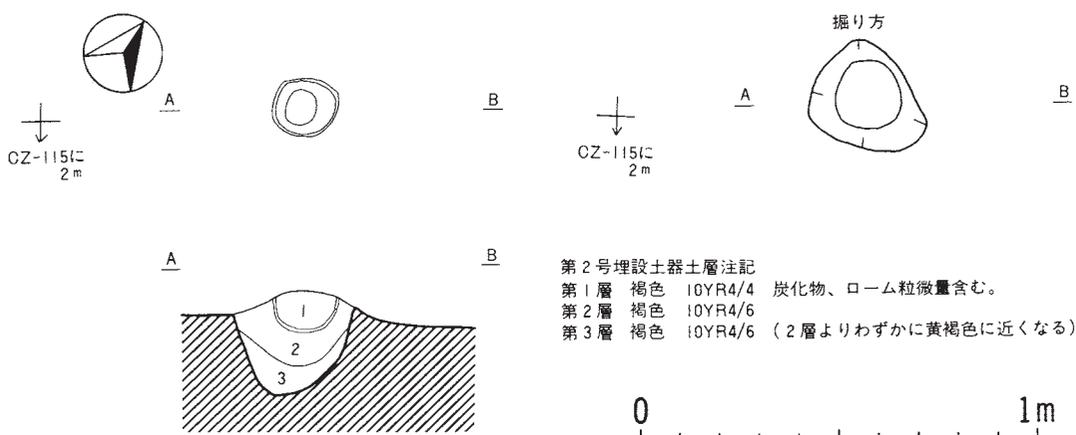
<重複> 認められなかった。

<形態と規模> 南北に長い円形の掘り方を有する。規模は、長径28cm・短径24cm・深さ26cmを測る。土器は掘り方の中央部に正立状態で埋設されている。

<堆積土> 胴部から底部にかけての深鉢形土器である。

<小結> 土器の文様施文から円筒上層系（円筒上層c～e式）の土器と思われる。

(長崎 勝巳)



第1099図 第2号埋設土器

(5)溝状遺構 (第1100図)

<位置と確認> 調査区DB・DC-107グリッドに位置する。第IV層を精査中に確認した。

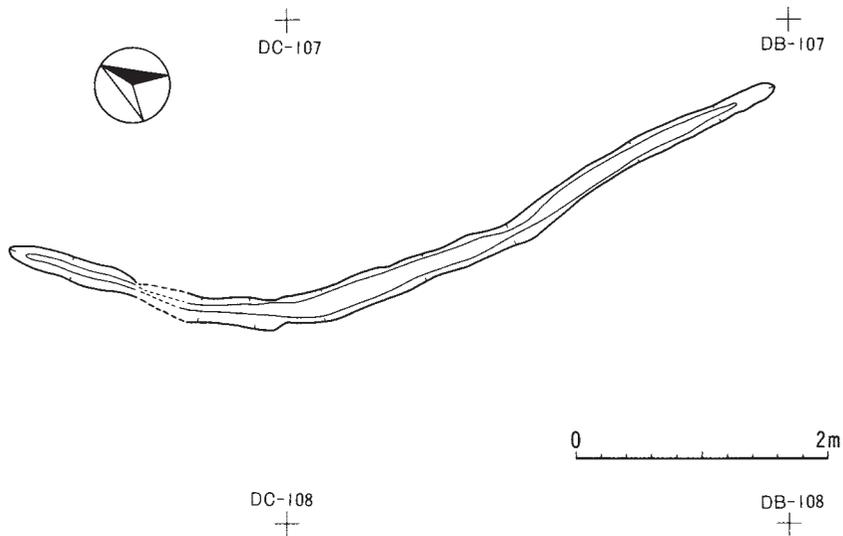
<重複> 認められなかった。

<平面形・規模> 南北に長い弧状の溝である。規模は、長さ約6m・幅25cm・深さ7cmと浅い溝である。

<壁・底面> 上端から床面にかけて傾斜しており軟らかい造りである。底面はほぼ平坦で固い。

<出土遺物> 遺物は出土しなかった。

<小結> 溝は、南・北側で途切れて確認できなかったが、第2号配石遺構を囲む位置にあり、配石遺構を区画する用途として使用したものと思われる。 (畠山 昇)



第1100図 溝状遺構

(6)小ピット群 (第1101~1103図)

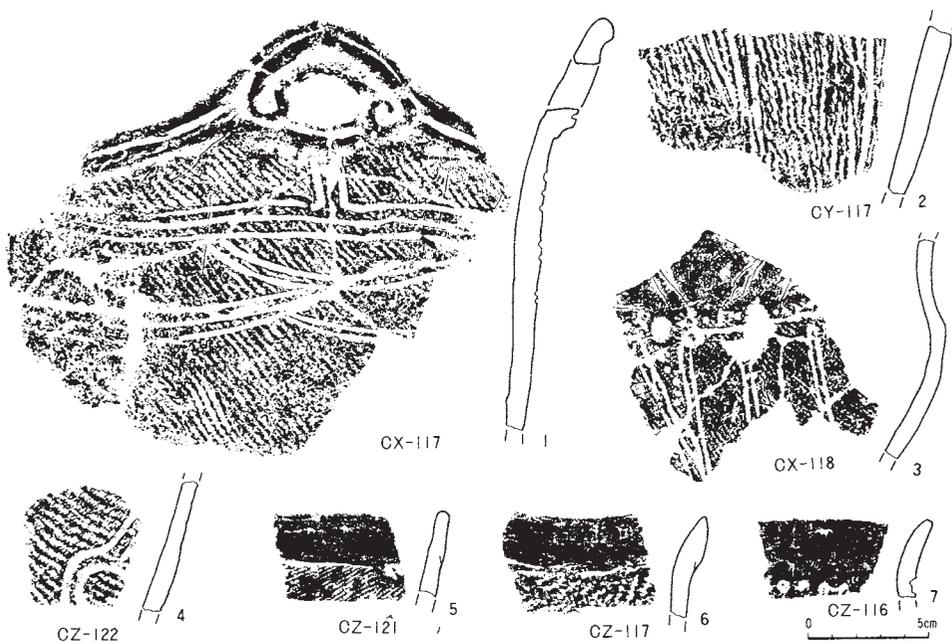
<位置と確認> 調査区104ラインから126ラインの間に位置している。第IV層を精査中に確認した。

<重複> 住居跡及び土壇と重複しているが、新旧関係は明瞭でない。

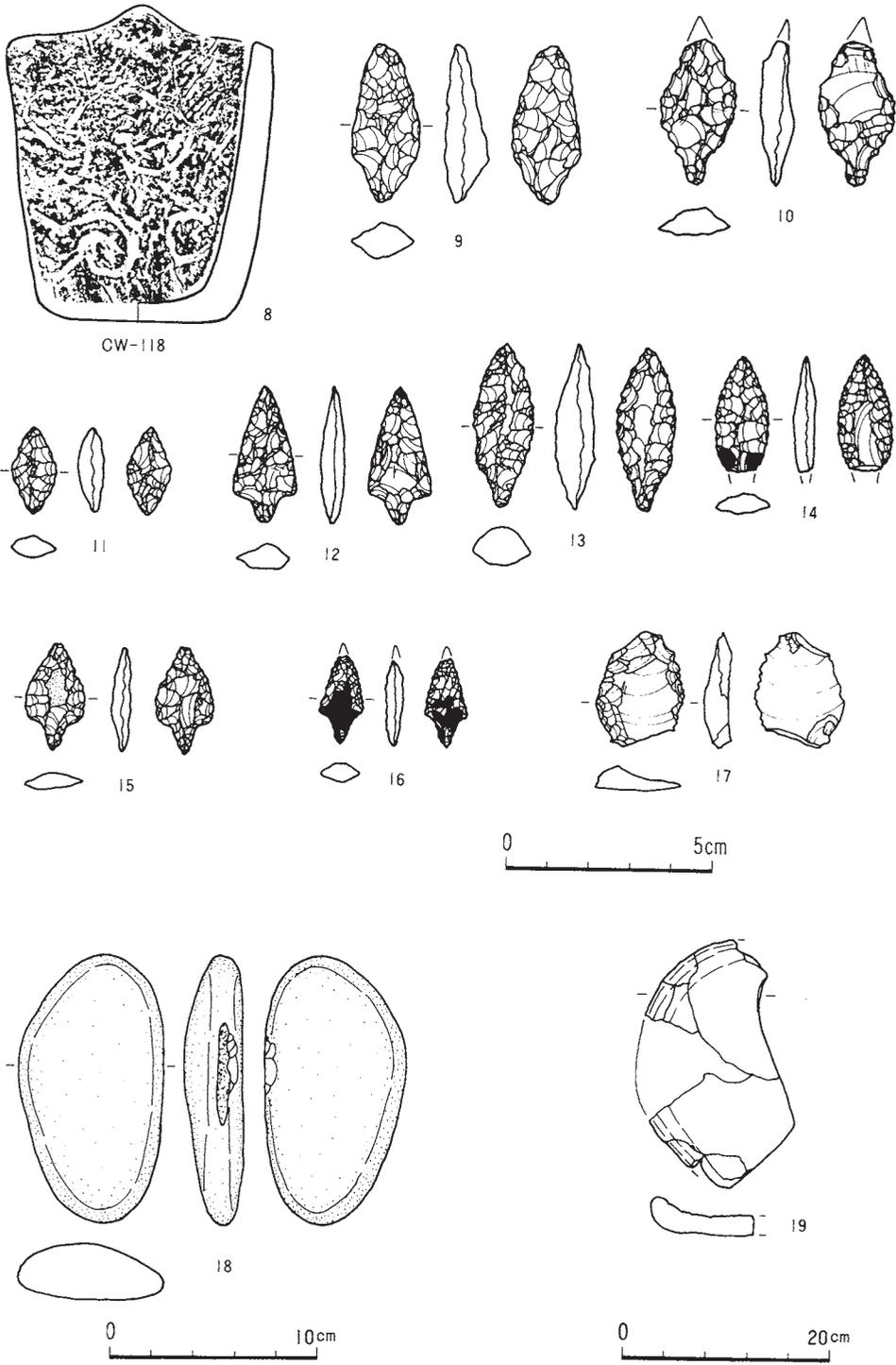
<平面形・規模> 長・短径約50cm前後で深さ15cmと浅い円形の小ピットが主体を占める。配置は、南北約44m・東西約88mの範囲の中で東西に長軸をもつ土壇墓を取り囲む様にピットが配置している。

<出土遺物> ピットの内部から少量であるが遺物が出土している。土器は、椀林式・最花式が出土し、石器は、石鏃・不定形石器・敲磨器類・台石石皿が出土した。

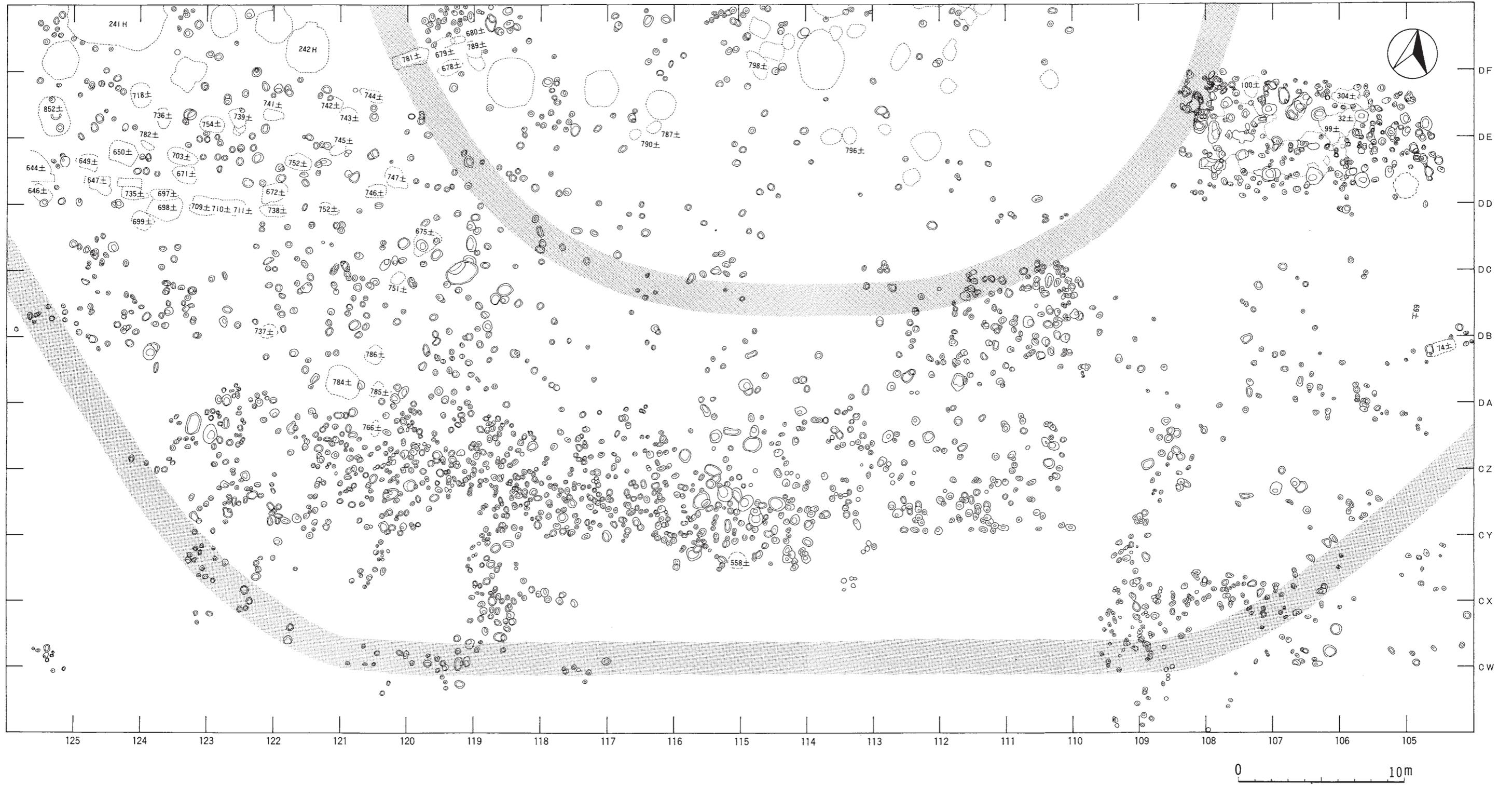
<小結> 小ピット群は、掘立柱建物跡かどうか現地で検討してみたが、多量の検出とピット同士の重複が激しく、建物構造を復元することは困難であった。そのため、掘立柱建物跡の可能性も考えられるという点に止めたいと思う。  
(成田 滋彦)



第1101図 小ピット群(1)



第1102図 小ピット群(2)



第1103図 小ピット群(3)

# 石 器 観 察 表

## 第 1 号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号 番 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第 6 図-10	フク土	79	53	31.5	189	安	L-IIIb	1	S-1
第 6 図-11	フク土	28	32	11	10.2	珪	G-I b	668	S-6 両面
第 6 図-12	フク土	31	27	11	4.0	珪	G-I b	669	片面

## 第 2 号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号 番 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第 8 図-11	フク土	30	14	7	2.2	珪	A-IIc	1	S-7 アスファルト 付着
第 8 図-12	フク土	29	14	5	1.9	珪	A-IIb	2	S-11
第 8 図-13	フク土	(76)	(62)	(54)	(32.9)	流	Q-I b	797	S-4
第 8 図-14	フク土	78	69	44	315	安	L-IIa-1	2	S-5

## 第 4 号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号 番 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第10図- 1	フク土	31	26	8	4	玉珪	F	640	S-3
第10図- 2	フク土	36	22	9	6.7	玉	G-I a	672	片面
第10図- 3	フク土	(62)	44.5	39	(175)	安	L-I c	4	S-1

## 第 5 号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号 番 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第13図-13	フク土	(30)	25	5	(13.6)	珪	C-III	531	S-8
第13図-14	フク土	23	11	(5)	(1.2)	珪	A-I d	6	S-18
第13図-15	フク土	(31)	12	6	(2)	珪	A-I c	5	S-13
第13図-16	フク土	30	10	6	1.5	珪	A-I d	4	S-12
第13図-17	床 面	(25)	9	4	(0.9)	珪	A-I	3	S-24
第13図-18	フク土	83	31	8	21.0	珪	D-I a	586	S-4
第13図-19	フク土	32	31	10	3.9	チャ	G-II	678	S-16
第13図-20	フク土	20	28	4	2.3	珪	G-I a	679	片面
第13図-21	フク土	45	31	17	19.6	珪	G-I a	676	S-12両面
第13図-22	フク土	(27)	(30)	(12)	(10.7)	珪	G-I a	597	S-14片面
第13図-23	床 面	39	23	7	3.6	珪	G-II	673	S-19極浅
第13図-24	フク土	35	22	10	9.1	珪	G-I a	675	S-5 両面
第13図-25	フク土	(123)	97	41	(548.5)	安	L-IIa-1	7	S-10

第6号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第15図-11	床面	(26)	15	6	(1.2)	玉	A-IIb	7	S-2
第15図-12	フク土	(30)	(19)	(5)	(2.4)	珪	D-I	587	
第15図-13	フク土	30	11	4	0.8	珪	C-II	532	
第15図-14	フク土	28	23	6	2.7	珪	G-Ib	680	両面
第15図-15	床面	149	74	43.5	496.5	安	L-IVb	9	S-3
第15図-16	フク土	165	68	31	720	安	L-IIIa	11	石鍾の可能性アリ?

第7号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第17図-8	床面	28	(45)	4	(8.4)	緑ホ	R-III	1	C-1
第17図-9	床面	(36)	14	6	(2.9)	珪	A-IIc	9	S-24
第17図-10	床面	34	15	6	2.2	珪	A-IIc	8	S-20アスファルト 付着
第17図-11	床面	31	22	7	11.3	珪	G-IVa	681	欠損
第17図-12	床面1	(32)	(21)	(11)	(6.5)	珪	B-I	444	S-18
第17図-13	床直	32	53	9	12.0	珪	G-Ia	689	S-15片面
第18図-14	床直	45	30	11	16.4	珪	G-Ib	691	S-19
第18図-15	フク土 上位	41	13	7	2.7	珪	A-IIb	10	S-2アスファルト 付着
第18図-16	フク土 上位	33	15	10	10.9	珪	G-II	685	S-3
第18図-17	フク土	64	23	6	9.5	珪	D-Ia	588	
第18図-18	床直	46	37	10	13.4	珪	G-II	688	S-14
第18図-19	1層	35	32	7	10.8	珪	G-Ib	683	両面
第18図-20	フク土 上位	40	53	8	15.7	玉	G-II	686	S-5
第18図-21	床面	43	34	8	11.7	珪	G-Ib	687	S-17
第18図-22	床面	217	(170)	51	(2660)	安	N-II	619	S-25

第8号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第21図-15	床面	35	11	7	1.9	珪	A-Id	13	S-63
第21図-16	床面	(28)	16	7	(2.2)	珪	A-IIc	14	S-64
第21図-17	床面	(37)	15	6	(2.4)	珪	A-IIc	15	S-67
第21図-18	床面	42	16	7	2.9	珪	A-IIc	16	S-68
第21図-19	床直	(40)	(28)	(14)	(14.0)	珪	B	445	S-53
第21図-20	床面	32	25	7	4.1	珪	G-II	694	S-66
第21図-21	床面	50	36	7	12.9	珪	G-II	693	S-62
第21図-22	床直	(101)	(119)	79	(1,530)	安	N-I 3	623	S-56
第21図-23	フク土	(85)	(55)	(98)	(480)	流	Q-Ib	798	S-52 819(102H)接

第22図-24	フク土	51	21	9	11.2	珪	B-I	449	
第22図-25	フク土	(45)	22	9	(9.5)	珪	B-II	448	
第22図-26	フク土	19	21	5	1.5	珪	D-IIb	589	S-24
第22図-27	フク土	(62)	27	12	(18.8)	珪	B-I	447	
第22図-28	フク土	77	35	19	47.1	珪	E-II	598	
第22図-29	フク土	51	32	7	11.5	珪	G-I b	700	S-59片面
第22図-30	フク土	41	22	8	6.2	珪	G-I a	698	S-27片面
第22図-31	フク土	45	12	9	4.4	珪	G-II	703	極浅
第22図-32	フク土	41	28	7	8.4	珪	G-I a	707	両面
第22図-33	フク土	36	17	8	3.7	珪	G-I a	699	S-46両面
第22図-34	フク土	35	17	6	2.5	珪	G-II	696	S-38極浅
第23図-35	フク土	61	34	9	30	緑凝	I-I la	838	
第23図-36	フク土	66.5	59	52	260	安	L-IIb-2	24	S-15
第23図-37	フク土	(100)	72	32	(384)	安	L-I a-2	16	S-10(半分欠損)
第23図-38	フク土	127	76	47	548.5	安	L-I d	17	S-23
第23図-39	フク土	(130)	57.5	58	(763)	安	L-I c	15	S-3
第23図-40	フク土	109	56	28	261	安	L-I a-2	22	

#### 第9号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第25図-1	床面	52	(25)	5	(7.7)	緑ホ	R-V	2	S-1
第25図-2	床直	70	22	16	20.5	珪	B-I	450	S-2
第25図-3	床面	39	32	10	11.4	玉	G-II	710	S-3
第25図-4	pit 2	(17)	(10)	(5)	(0.5)	珪	A	19	
第25図-5	フク土	49	28	14	11.9	珪	G-I b	713	両面

#### 第10号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第27図-1	床面	(54)	11	10	(4.4)	珪	A-I d	20	S-34
第27図-2	フク土	39	12	7	2.3	珪	A-I d	22	S-9
第27図-3	フク土	42	29	16	15.4	珪	G-II	725	S-10
第27図-4	フク土	36	21	6	4.2	珪	G-I a	726	S-11片面
第27図-5	フク土	54	55	16	56.8	珪	G-II	731	
第27図-6	フク土	39	24	11	72	珪	G-I a	732	両面
第27図-7	フク土	(38)	(23)	(7)	(9.2)	珪	B	452	S-12
第27図-8	床直	(150)	(157)	87	(2,780)	安	N-II	626	S-32

第11号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第29図-1	床面	28	15	8	2.9	珪	A-IIc	23	S-9未製品
第29図-2	床面	35	13	7	2.5	珪	A-IIc	24	S-11
第29図-3	床直	44	15	9	3.9	珪	A-I d	25	S-5
第29図-4	床直	20	35	10	6.8	珪	G-I b	735	S-3両面
第29図-5	床直	38	28	11	12.3	珪	G-II	737	S-7
第29図-6	床直	107	92	52	738	安	L-IIb-2	27	S-2(焼け痕)
第29図-7	床直	(145)	158	57	(1570)	安	N-I 3	628	S-1

第13号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第30図-4	床面	95	50	30	236	安	L-I a-2	28	S-1

第14号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第32図-13	フク土	30	14	6	1.9	玉珪	A-IIb	29	
第32図-14	床面	40	14	6	2.6	珪	A-IIc	28	S-7
第32図-15	床面	31	(16)	6	(2.1)	珪	A-I b	27	S-2
第32図-16	床面	(23)	13	4	(0.7)	珪	A-IIc	30	S-1
第32図-17	床面	46	15	8	3.6	珪	A-IIc	26	S-6
第32図-18	床面	37	26	10	8.3	珪	G-I a	747	S-1両面
第32図-19	フク土	43	22	14	10.3	珪	G-I a	741	両面槍の未製品?
第32図-20	床面	31	23	8	4.1	珪	G-II	746	S-1極浅
第32図-21	床面	(77)	26	5	(16.8)	粘	R-III	3	S-5
第32図-22	床面	100	89	47	639	安	L-I a1	29	S-1

第20号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第36図-29	フク土	(70)	65	31	(238)	安	L-I a1	33	S-3(半分欠損)
第36図-30	フク土	38	36.5	27	52	安	L-I b1	36	S-18
第36図-31	フク土	(146)	66	53.5	(650)	安	Q-II	800	S-4
第36図-32	フク土	(271)	(134)	(116)	(7200)	流	Q-I b	799	S-2
第36図-33	フク土	515	352	130	36,900	安	N-I 3	629	S-1
第37図-34	床面	31	13	5	1.7	珪	A-IIc	7001	S-48
第37図-35	フク土	40	15	7	3.0	珪	A-IIc	415	光沢
第37図-36	フク土	34	20	8	4.4	珪	A-I c	33	S-13
第37図-37	pit 6	31	15	6	2.0	珪	A-IIc	39	

第37図-38	フク土	42	19	6	4.3	珪	A-IIc	417	
第37図-39	フク土	57	(16)	10	(7.3)	珪	A-IIc	409	S-4
第37図-40	フク土	52	19	10	10.6	珪	B-I	453	S-12
第37図-41	フク土	(30)	(17)	(7)	(2.3)	珪	A	412	S-8
第37図-42	床 面	27	17	7	2.5	珪	A-IIc	7002	S-48
第37図-43	フク土	(47)	(14)	(7)	(3.9)	珪	A	35	S-27
第37図-44	フク土	27	13	7	1.9	珪	C-II	7131	
第37図-45	フク土	34	12	7	2.7	珪	C-II	31	S-9
第37図-46	フク土	33	14	9	3.0	珪	C-II	584	S-8
第37図-47	フク土	47	20	11	8.3	珪	G-I a	7204	両面檜の未製品？
第37図-48	フク土	30	13	6	1.7	玉	G-II	753	S-31
第37図-49	フク土	35	23	12	5.1	珪	G-I a	636	S-6両面
第37図-50	フク土	41	22	10	7.3	玉	G-II	745	S-1
第37図-51	フク土	37	27	9	7.9	珪	G-I b	750	S-20両面
第37図-52	フク土	51	23	14	16.7	珪	G-II	743	S-1極浅
第38図-53	フク土	60	33	18	28.9	珪	G-I a	599	S-21両面
第38図-54	フク土	62	38	11	20.0	珪	G-I a	748	S-2片面
第38図-55	フク土	47	26	12	13.5	珪	G-I b	742	S-1両面
第38図-56	フク土	33	52	9	17.7	珪	G-I b	754	S-36片面
第38図-57	フク土	28	27	6	5.8	珪	G-I a	7202	(P-20)両面
第38図-58	フク土	27	37	10	8.3	珪	G-II	752	S-26極浅
第38図-59	フク土	103	56	42	255	安	L-IIIa	3503	S-46
第38図-60	フク土	(78)	65	31	(161.5)	安	L-I a 1	35	S-17(半分欠損)
第38図-61	フク土	(95)	55	37	(348)	凝	L-I d	38	S-30(焼け痕)
第38図-62	フク土	63	55	41	194	安	L-I b 1	3502	S-24

#### 第21号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第40図-1	床 面	(100)	60	37	(356)	頁	I-I 1 a	44	S-4
第40図-2	床 面	175	179	98	3900	安	N-II	632	S-2
第40図-3	床 面	(214)	185	57	(1260)	凝	N-I 1 b	633	S-3
第40図-4	床 面	227	185	(48)	(3.140)	安	N-II	631	S-1

#### 第22号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第41図-1	フク土	(28)	14	6	(1.9)	珪	A-IIc?	41	S-3 アスファルト 付着
第41図-2	床 面	26	18	5	1.8	珪	G-I b	755	S-4片面

第23号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第47図-1	床直	30	17	7	3.0	玉	A-IIc	7003	S-53
第47図-2	床面	(29)	17	(6)	(2.3)	珪	A-IIb	46	S-18
第47図-3	床面	(41)	16	6	(2.6)	珪	A-IIb	45	S-12アスファルト 付着
第47図-4	床面	40	16	7	3.0	珪	A-IIc	42	S-3アスファルト 付着
第47図-5	床面	(46)	13	8	(3.4)	珪	A-IIc	43	S-5
第47図-6	床直	69	22	9	16.4	珪	B-II	7102	S-54
第47図-7	床面	51	26	13	17.5	珪	G-Ia	772	S-23両面
第47図-8	床面	41	26	12	10.6	珪	G-Ib	759	S-22片面
第47図-9	床直	62	29	11	14.0	珪	B-III	7101	S-53
第47図-10	床下	41	19	11	7.5	珪	G-II	1679	極浅
第47図-11	床直	37	22	9	6.3	珪	G-Ia	7220	S-58両面
第47図-12	床面	27	24	7	4.9	玉珪	G-Ib	757	S-6片面
第48図-13	床面	20	64	11	15.1	珪	H	1685	S-13
第48図-14	床面	28	18	8	3.0	珪	G-Ia	44	S-6両面
第48図-15	床直	21	24	7	3.1	珪	F	7181	S-51
第48図-16	床面	221	266	72	6210	安	N-I4	630 634	S-21 630(20H)
第48図-17	床面	35	39	10	16.1	珪	G-Ia	758	S-17両面 片方1調整
第48図-18	フク土	(36)	15	7	(2.7)	玉	A-IIc	47	S-8アスファルト 付着
第48図-19	フク土	32	12	5	2.0	玉	A-IIc	52	
第48図-20	床下	41	36	33	56	安	L-Ib1	48	
第48図-21	フク土	(39)	12	6	(2.2)	珪	A-IIc	51	
第48図-22	フク土	54	21	8	8.5	珪	B-III	454	S-2
第48図-23	フク土	45	26	6	10.8	玉	B-I	455	S-7
第49図-24	フク土	44	39	14	19.9	珪	G-Ia	763	両面
第49図-25	フク土	71	30	13	32.7	珪	B-III	456	
第49図-26	フク土	49	28	6	8.7	珪	G-Ia	760	S-4 片面
第49図-27	フク土	57	27	14	16.0	珪	G-Ia	765	両面ベラの未製品
第49図-28	フク土	45	27	12	13.4	珪	G-Ia	773	S-1 両面
第49図-29	フク土	49	45	36	112	安	L-Ib1	54	
第49図-30	フク土	122	69	46	651	安	L-Ia1	53	
第49図-31	フク土	98	56	23	222	安	L-Ia2	52	
第49図-32	フク土	80	100	14	25.1	軽	P	5	

第24号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第52図-1	床面	41	74	14	49.4	珪	G-Ib	775	S-20両面、ダフ スス付着、大型
第52図-2	床面	27	13	5	1.3	玉	A-IIb	55	S-28アスファルト 付着

第52図-3	床 面	51	75	13	64.5	珪	G-I a	778	S-29片面、ダフ スス付着、大型
第52図-4	床 面	39	13	10	3.6	珪	A-I d	54	S-23
第52図-5	床 面	57	22	7	9.0	珪	B-I	457	S-21
第52図-6	床 面	81	44	19	57.3	珪	G-I b	779	S-30 片面
第52図-7	床 直	72	30	11	20.3	珪	B-I	458	S-18
第52図-8	床 直	51	20	10	8.7	珪	B-III	459	
第52図-9	pit 1	35	27	11	12.2	珪	G-I a	7465	両面
第53図-10	床 直	67	24	13	17.8	珪	B-I	7103	S-7
第53図-11	床 直	83	49	17	80.0	珪	G-I a	790	両面、スス付着
第53図-12	床 直	27	30	8	5.7	珪	G-I b	7222	S-6 片面
第53図-13	床 直	31	33	11	10.2	珪	G-I b	7221	S-8 片面
第53図-14	床 直	110	43	20	80.0	珪	G-I a	782	両面、ダフ、大型
第53図-15	床 直	30	40	10	13.9	珪	G-I a	792	両面
第53図-16	床 直	47	83	15	75.3	珪	G-I a	783	片面、スス付着、 ダフ?、大型
第54図-17	床 直	155	61	48	533	安	L-IIIc	3506	S-10
第54図-18	床 直	55	43	33	109	安	L-I b 1	61	
第54図-19	床 直	50	44	30	94	チャ	L-I b 1	60	
第54図-20	床 直	35	38	21	36	安	L-I b 1	59	
第54図-21	フク土	23	19	7	0.8	珪	C-II	7132	
第54図-22	フク土	38	15	8	2.7	珪	A-IIc	7008	
第54図-23	フク土	40	22	9	7.5	珪	B-I	461	未製品・光沢
第54図-24	フク土	49	21	11	10.7	珪	G-I a	460	両面
第54図-25	フク土	43	22	6	6.4	珪	G-I a	7225	片面
第54図-26	フク土	22	23	7	3.6	珪	G-I b	462	片面
第54図-27	フク土	80	38	15	35.0	珪	B-III	7104	
第54図-28	フク土	75	34	12	18.0	珪	G-II	7229	極浅
第55図-29	フク土	99	83	60	669	安	L-II b 2	64	
第55図-30	フク土	63	53	50	239	安	L-I b 1	65	
第55図-31	フク土	114	74.5	31	383	安	L-I a 2	62	
第55図-32	床 直	114.5	63	41	544	安	M	63	
第55図-33	フク土	93.5	67	22	209	安	L-I a 1	3507	(半分欠損)
第55図-34	フク土	109	74.5	46	486	緑凝	O	4	

#### 第25号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第58図-5	床 直	31	21	6	3.3	珪	G-II	800	S-2 極浅
第58図-6	フク土	31	19	5	2.7	珪	G-IVa	802	
第58図-7	フク土	36	32	8	13.6	珪	G-I b	801	両面
第58図-8	床 面	129	45.5	44	334.5	安	L-IIIa	66	S-3

第52図-3	床 面	51	75	13	64.5	珪	G-I a	778	S-29片面、ダフ スス付着、大型
第52図-4	床 面	39	13	10	3.6	珪	A-I d	54	S-23
第52図-5	床 面	57	22	7	9.0	珪	B-I	457	S-21
第52図-6	床 面	81	44	19	57.3	珪	G-I b	779	S-30 片面
第52図-7	床 直	72	30	11	20.3	珪	B-I	458	S-18
第52図-8	床 直	51	20	10	8.7	珪	B-III	459	
第52図-9	pit 1	35	27	11	12.2	珪	G-I a	7465	両面
第53図-10	床 直	67	24	13	17.8	珪	B-I	7103	S-7
第53図-11	床 直	83	49	17	80.0	珪	G-I a	790	両面、スス付着
第53図-12	床 直	27	30	8	5.7	珪	G-I b	7222	S-6 片面
第53図-13	床 直	31	33	11	10.2	珪	G-I b	7221	S-8 片面
第53図-14	床 直	110	43	20	80.0	珪	G-I a	782	両面、ダフ、大型
第53図-15	床 直	30	40	10	13.9	珪	G-I a	792	両面
第53図-16	床 直	47	83	15	75.3	珪	G-I a	783	片面、スス付着、 ダフ?、大型
第54図-17	床 直	155	61	48	533	安	L-IIIc	3506	S-10
第54図-18	床 直	55	43	33	109	安	L-I b 1	61	
第54図-19	床 直	50	44	30	94	チャ	L-I b 1	60	
第54図-20	床 直	35	38	21	36	安	L-I b 1	59	
第54図-21	フク土	23	19	7	0.8	珪	C-II	7132	
第54図-22	フク土	38	15	8	2.7	珪	A-IIc	7008	
第54図-23	フク土	40	22	9	7.5	珪	B-I	461	未製品・光沢
第54図-24	フク土	49	21	11	10.7	珪	G-I a	460	両面
第54図-25	フク土	43	22	6	6.4	珪	G-I a	7225	片面
第54図-26	フク土	22	23	7	3.6	珪	G-I b	462	片面
第54図-27	フク土	80	38	15	35.0	珪	B-III	7104	
第54図-28	フク土	75	34	12	18.0	珪	G-II	7229	極浅
第55図-29	フク土	99	83	60	669	安	L-II b 2	64	
第55図-30	フク土	63	53	50	239	安	L-I b 1	65	
第55図-31	フク土	114	74.5	31	383	安	L-I a 2	62	
第55図-32	床 直	114.5	63	41	544	安	M	63	
第55図-33	フク土	93.5	67	22	209	安	L-I a 1	3507	(半分欠損)
第55図-34	フク土	109	74.5	46	486	緑凝	O	4	

#### 第25号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第58図-5	床 直	31	21	6	3.3	珪	G-II	800	S-2 極浅
第58図-6	フク土	31	19	5	2.7	珪	G-IVa	802	
第58図-7	フク土	36	32	8	13.6	珪	G-I b	801	両面
第58図-8	床 面	129	45.5	44	334.5	安	L-IIIa	66	S-3

第66図-5	床 面	128	84	56	893	安	L-IIa 1	78	S-29
第66図-6	床 面	132	95	51	985	安	L-IVa	79	S-34
第66図-7	床 面	46.5	43	31.5	86.5	珪	L-I b 1	77	S-28
第67図-8	フク土	(33)	17	8	(3.7)	珪	A-IIc	65	
第67図-9	確認面	(38)	15	5	(2.6)	珪	A-IIc	64	
第67図-10	フク土	34	32	5	3.4	玉珪	C-III	534	
第67図-11	床 直	39	35	8	7.6	珪	G-II	828	S-11
第67図-12	フク土	68	39	20	55.5	珪	G-II	830	
第67図-13	フク土	293	92	67	2500	閃	Q-II	801	
第67図-14	確認面	(85)	51	31	(224)	閃	I-I a	841	
第67図-15	確認面	138	83	53.5	926	安	L-IVa	83	

### 第31号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第70図-1	床 面	32	58	11	24.9	珪	G-I b	841	両面
第70図-2	床 面	(125)	50	32	(334)	閃	I-I 2	842	
第70図-3	フク土	31	11	6	1.5	玉珪	A-IIc	66	
第70図-4	フク土	45	15	7	3.9	珪	A-I b	68	
第70図-5	床 面	36	28	6	6.3	珪	G-I a	843	両面
第70図-6	床 面	32	29	10	11.9	珪	G-II	833	S-6
第70図-7	フク土	37	24	9	8.0	珪	G-I b	834	片面
第70図-8	フク土	32	14	6	2.1	珪	A-IIc	67	
第70図-9	床 面	42	28	8	11.3	珪	G-I a	842	両面

### 第32号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第70図-10	フク土	(24)	19	6	(2.5)	珪	A	69	

### 第33号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第72図-1	炉 内	54	18	14	9.2	珪	C-II	535	
第72図-2	床 直	50	37	17	28	珪	G-I a	847	S-14 両面
第72図-3	床 直	32	12	9	1.2	珪	G-II	848	S-22 極浅
第72図-4	床 直	30	56	11	16.3	珪	G-II	845	
第72図-5	床 直	45	25	7	9.1	珪	G-I a	850	S-1 両面
第72図-6	床 直	35	37	16	21.6	珪	G-II	641	S-4
第72図-7	床 直	23	16	7	1.1	珪	G-II	846	S-8
第72図-8	フク土	52	19	5	5.5	珪	G-I b	851	片面
第72図-9	床 直	227	172	146	9100	珪	N-II	638	S-9

第34号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第73図-1	床面	35	27	11	7.8	珪	C-III	536	S-2
第73図-2	床面	30	17	6	2.7	珪	C-III	537	S-4

第35号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第75図-8	床面	130	66	47	534	安	L-IIc	94	S-2
第75図-9	床面	53	21	12	8.4	珪	G-II	853	S-5

第36号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第76図-1	床面	51	37	13	36	珪	G-II	854	
第76図-2	床面	23	28	7	7.4	珪	G-II	855	
第76図-3	床直	133	74.5	39	557	安	L-IVb	98	S-3 側縁有溝石器

第37号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第77図-1	床直	44	51	16	30.8	珪	G-Ib	857	S-11 片面
第77図-2	床直	43	26	15	15.7	珪	G-Ib	856	S-4 両面

第38号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第82図-1	床面	384	92	87	4600	流	Q-Ib	3658	S-8
第82図-2	フク土	268	144	40	(960)	砂	N-I1b	3625	S-3
第82図-3	フク土	29	11	5	1.1	珪	A-IIc	7083	
第82図-4	フク土	38	14	5	2.2	珪	A-IIc	7011	
第82図-5	フク土	25	12	4	10	珪	A-IIc	7058	
第82図-6	フク土	44	18	6	3.3	珪	A-Ia	70	S-10
第82図-7	フク土	(39)	13	9	(3.9)	珪	A-IIc	71	S-13
第82図-8	フク土	(38)	(12)	(8)	(3.2)	珪	A	405	
第82図-9	フク土	38	11	8	2.7	珪	C-II	7147	
第82図-10	フク土	22	10	5	0.9	珪	A-I d	7082	
第82図-11	フク土	57	27	13	18.0	珪	B-II	464	S-15
第82図-12	フク土	37	15	7	2.9	珪	G-Ib	1606	片面
第82図-13	フク土	84	25	15	280	珪	B-II	7105	
第82図-14	フク土	32	19	8	4.8	珪	G-Ib	1603	両面

第82図-15	フク土	26	33	9	9.2	鉄石	G-I a	1601	S-6	両面
第83図-16	フク土	(55)	24	7	(4.0)	珪	D-I a?	7162		
第83図-17	フク土	57	27	19	28.6	珪	G-I a	862	両面、石籠の欠損	
第83図-18	フク土	29	48	4	6.3	珪	G-I a	859	S-16	片面
第83図-19	フク土	36	25	9	6.5	珪	G-I a	7406	ほぼ両面	
第83図-20	フク土	30	26	8	7.1	珪	G-I a	858	S-11両面、スス付着、実形の一部?	
第83図-21	フク土	38	48	10	15.6	珪	G-I b	7401	両面	
第83図-22	フク土	38	30	11	16	珪	G-I a	1604	両面	
第83図-23	フク土	37	22	11	8.3	珪	G-I b	7409		
第83図-24	フク土	73	35	12	29.1	チャ	G-I b	860	S-22両面、ダブの欠損品?	
第83図-25	フク土	(43)	35	16	(31)	閃	I-I 5	3688		
第84図-26	フク土	116	66	34	452	輝緑岩	L-I a-3	101	S-26	
第84図-27	フク土	66	51	30	125	安	L-I b 1	3508	S-28	
第84図-28	フク土	(70.5)	59	53	(165)	安	L-I a 3	3550	(半分欠損)	
第84図-29	フク土	55	51	15	4.4	軽	P	(軽石製品) <sup>7)</sup>	C-1	
第84図-30	フク土	(224)	220	114	(8.500)	安	N-II	641	S-30	

#### 第39号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第85図-1	フク土	33	50	10	11.4	珪	G-I b	11503	
第85図-2	床直	150	135	36	780	安	N-II	5001	S-12

#### 第40号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第86図-3	フク土	314	243	162	16.400	安	N-II	642	S-2

#### 第42号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第88図-7	床面	(30)	10	5	(1.0)	珪	A-IIc	75	S-3
第88図-8	床面	28	13	5	1.3	玉珪	A-IIb	76	S-5
第88図-9	フク土	31	28	11	7.6	珪	G-II	868	極浅
第88図-10	フク土	34	24	4	4	緑色細粒凝灰岩	I-I	843	
第88図-11	床面	95.5	56	27	259	安	L-I a-1	103	S-4

#### 第43号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第91図-14	床面	(30)	13	6	(1.9)	珪	A-IIc	79	S-15
第91図-15	床面	30	17	6	2.9	珪	A-I b	82	S-23

第91図-16	床 面	22	13	5	0.8	珪	A-IIc	86	S-37
第91図-17	床 面	(33)	15	6	(2.6)	珪	A-IIc	84	S-31
第91図-18	フク土	49	12	9	6.1	珪	A-I b	469	S-26
第91図-19	床 面	51	13	6	3.1	珪	A-IIc	78	S-13
第91図-20	床 面	25	13	6	1.4	珪	A-IIc	81	S-18
第91図-21	床 面	25	15	5	1.3	珪	A-IIc	80	S-17
第91図-22	床 面	25	13	5	1.2	珪	A-I d	83	S-30
第91図-23	フク土	38	15	6	28	珪	A-IIc	90	
第91図-24	フク土	75	24	10	16.5	珪	B-II	468	S-6
第91図-25	床 面	60	23	17	16.2	珪	B-I	466	S-14
第91図-26	床 面	35	15	5	1.8	珪	C-III	85	S-32
第92図-27	フク土	47	9	8	2.4	珪	C-II	540	S-4
第92図-28	フク土	42	15	10	4.0	珪	C-II	539	S-1
第92図-29	床 面	35	24	7	4.8	珪	C-II	538	S-16
第92図-30	床 面	40	17	7	5.8	珪	G-I a	869	両面 S-19
第92図-31	床 面	81	41	27	63.1	珪	G-I a	601	両面
第92図-32	フク土	61	31	12	33.6	珪	G-I a	871	両面
第92図-33	床 面	35	25	11	10.9	珪	G-I a	874	両面 S-29
第92図-34	床 面	40	28	9	14.0	珪	G-I a	600	両面S-22
第92図-35	フク土	33	23	9	4.6	珪	G-IVb	872	90°尖端欠損
第92図-36	フク土	52	25	15	19.3	珪	G-II	876	S-5
第92図-37	床 面	49	24	12	12.7	珪	G-I a	467	片面 S-33
第92図-38	フク土	(126)	46	33	(332)	閃	I-I 2	844	S-8
第92図-39	フク土	65	60	49	253.5	安	L-I b 1	121	
第92図-40	フク土	112	56	28	35.8	軽	P	9	S-3
第93図-41	フク土	304	74	68	2400	安	Q-I b	802	
第93図-42	床 面	277	174	109	8,000	安	N-I 3	643	S-36
第93図-43	フク土	216	303	202	14900	安	N-I 2	646	S-24
第93図-44	フク土	(218)	160	80	(4630)	安	N-I 3	647	S-47
第93図-45	フク土	214	244	64	5600	安	N-I 3	644	S-11
第93図-46	フク土	200	278	114	(7500)	安	N-I 3	645	S-24

#### 第45号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第101図-1	フク土	(36)	15	6	(2.4)	珪	A-IIc	100	S-23
第101図-2	フク土	(33)	13	6	(2.0)	玉	A-IIc	98	S-3
第101図-3	床 面	(29)	15	7	(2.1)	玉珪	A-IIc	92	S-73
第101図-4	床 面	(24)	12	5	(1.1)	珪	A-IIb	93	S-85
第101図-5	フク土	(32)	16	9	(3.8)	珪	A-IIc	104	S-80
第101図-6	床 直	35	16	6	3.3	珪	A-IIc	95	S-77

第101図-7	床直	(39)	16	8	(3.4)	珪	A-IIc	94	S-72
第101図-8	床直	26	12	4	0.8	珪	A-IIc	96	S-91
第101図-9	フク土	24	9	4	0.8	珪	A-IIc	101	S-51
第101図-10	フク土	(41)	14	6	(2.7)	珪	C-II	542	
第101図-11	フク土	(39)	13	6	(2.4)	珪	C-II	541	S-29
第101図-12	床面	52	23	11	12.8	珪	B-III	472	S-78
第101図-13	フク土	39	25	7	8.5	珪	C-III	7233	
第101図-14	フク土	29	16	6	2.4	珪	C-III	7238	
第101図-15	フク土	36	15	7	2.7	珪	E-IV	917	
第101図-16	フク土	60	32	12	18.9	珪	G-Ia	919	片面
第101図-17	床面	53	32	12	26.9	珪	G-Ia	891	両面 S-89
第101図-18	フク土	18	30	9	3.8	珪	G-Ib	920	片面
第101図-19	床面	17	15	8	1.5	珪	G-II	888	S-78
第102図-20	フク土	50	34	6	8.2	珪	G-Ia	7244	
第102図-21	フク土	35	22	10	6.6	珪	G-Ib	7237	両面
第102図-22	フク土	47	14	4	2.6	珪	G-Ib	925	スス付着
第102図-23	フク土	34	17	11	5.9	珪	G-Ia	896	両面 S-21
第102図-24	フク土	44	20	15	9.3	珪	G-Ib	7236	両面
第102図-25	フク土	36	20	5	3.0	珪	G-IVb	7239	わん曲している
第102図-26	フク土	40	20	11	7.2	珪	G-Ia	913	両面 S-65
第102図-27	フク土	42	32	14	17.5	珪	G-Ia	907	片面 S-54
第102図-28	フク土	45	27	10	12.4	珪	G-Ia	909	両面 S-58
第102図-29	フク土	40	33	8	11.1	珪	G-Ib	903	両面 S-39
第102図-30	フク土	21	25	9	4.3	珪	G-Ia	901	石ベラ S-37
第102図-31	床面	113	75	71	165	軽	P	11	S-82
第102図-32	フク土	(101)	56	36	(290)	閃	I-I1a	845	S-60
第103図-33	フク土	282	87	76	2000	安	L-IIb1	803	S-46
第103図-34	フク土	75	71.5	54	408	チャ	L-Ib2	118	S-41
第103図-35	床面	63.5	53.5	53	286.5	凝	L-Ib1	113	S-83
第103図-36	フク土	101	48.5	53	172	安	L-IIIb	120	S-68
第103図-37	フク土	127	79	42	389	安	L-Ia	3510	
第103図-38	床直	143	93	31	539	凝	L-Ia1	110	S-74
第103図-39	フク土	(258)	131	93	(5500)	安	Q-II	3651	
第103図-40	床面	222	76	60	2000	安	Q-II	804	

#### 第46号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第108図-21	床面	30	15	6	2.6	珪	A-I d	107	S-8
第108図-22	床面	34	14	10	3.1	珪	A-IIc	106	S-2
第108図-23	床面	(33)	14	5	(2.2)	珪	A-IIc	108	S-17

第108図-24	床直	(35)	13	7	(2.6)	珪	A-IIc	110	S-41
第108図-25	床直	31	15	5	2.0	珪	A-IIc	111	S-42
第108図-26	床直	(32)	15	7	(2.8)	玉	A-IIc	112	S-53
第108図-27	床直	(40)	13	8	(3.6)	珪	A	113	S-55
第108図-28	床直	(44)	13	8	(3.2)	珪	A-IIc	127	S-3
第108図-29	床直	31	13	8	2.2	珪	A-IIc	114	S-56
第108図-30	床直	36	13	6	2.4	珪	C-I	109	S-18
第108図-31	床直	33	24	10	6.4	玉珪	G-Ia	935	両面 S-39
第109図-32	床面	65	24	13	16.1	珪	B-I	475	S-7
第109図-33	床直	32	25	10	7.0	珪	G-Ia	936	両面 S-40
第109図-34	床直	32	19	9	5.0	玉珪	G-Ia	974	両面 S-4
第109図-35	床直	49	43	13	34.0	珪	G-II	932	S-2
第109図-36	床直	7.5	3.5	1.0	31.0	珪	E-II	602	S-26
第109図-37	床面	45	27	11	9.6	珪	G-Ia	978	両面 S-73
第109図-38	フク土	(119)	(77)	22	(140)	凝	N-III	648	S-27
第109図-39	床直	53	48.5	48	139	安	L-Ib1	124	S-23
第109図-40	床直	70	59	52.5	306	安	L-Ib1	131	S-5
第109図-41	床直	119	73	24.5	340.5	安	L-Ia1	126	S-27
第109図-42	床直	(90)	55	26	(248)	緑ホ	I-I1a	846	S-9
第110図-43	フク土	23	16	5	14	珪	A-IIb	119	S-32
第110図-44	フク土	35	13	6	2.3	珪	A-IIc	401	S-5
第110図-45	フク土	29	9	5	1.0	珪	A-IIc	117	S-11
第110図-46	フク土	50	12	6	2.3	珪	A-IIc	121	S-59
第110図-47	フク土	37	17	5	2.1	珪	A-IIb	128	S-1
第110図-48	フク土	27	(16)	7	(2.4)	玉	A-IIc	122	S-60
第110図-49	フク土	27	17	8	2.8	玉珪	A-Ib	124	
第110図-50	床直	70	24	9	1.3	珪	C-II	543	S-44
第110図-51	フク土	70	24	9	16.6	珪	B-II	7106	S-5
第110図-52	フク土	52	20	9	9.1	珪	B-III	476	
第110図-53	フク土	32	16	8	2.9	珪	C-II	545	
第110図-54	フク土	47	24	8	10.5	珪	B-III	477	S-20
第110図-55	フク土	70	40	6	18.5	珪	D-Ie	590	
第110図-56	床面	28	32	8	5.6	珪	G-Ia	930	両面 S-3
第110図-57	フク土	22	37	7	3.7	珪	G-Ib	944	両面 S-22
第111図-58	フク土	32	23	8	5.6	珪	C-IV	544	S-60
第111図-59	フク土	6.5	5.0	1.5	3.7	珪	G-Ib	941	片面 S-3
第111図-60	フク土	30	28	10	6.7	珪	G-Ia	975	両面 S-2
第111図-61	フク土	43	56	10	30.0	碧玉 (赤)	G-II	949	極浅S-34
第111図-62	フク土	50	20	7	7.7	珪	G-II	967	極浅
第111図-63	フク土	24	47	14	21.1	玉珪	G-II	1586	

第111図-64	床直	29	45	14	11.3	珪	G-II	938	S-46
第111図-65	フク土	30	42	11	12.1	珪	G-II	955	極浅
第111図-66	フク土	59	28	11	23.9	珪	G-I a	956	両面
第111図-67	フク土	32	28	9	8.2	珪	G-I b	953	片面
第112図-68	フク土	59	37	17	43.5	珪	G-I a	960	両面
第112図-69	フク土	42	33	13	17.1	珪	G-I a	969	両面
第112図-70	フク土	46	27	16	17.9	珪	G-I a	950	両面 S-50
第112図-71	床面	40	34	4	4.4	珪	G-II	931	極浅 S-6
第112図-72	フク土	40	24	8	9.2	珪	G-I a	939	両面 S-46
第112図-73	フク土	43	25	9	10.1	珪	G-I b	1587	両面 S-3
第112図-74	床面	155	108	80	242	軽	P	14	C-10
第112図-75	フク土	61	59	21	11.1	軽	P	13	C-1

#### 第48号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第115図-6	フク土	(35)	15	6	(2.4)	珪	A-IIc	7016	
第115図-7	フク土	43	20	10	8.8	珪	C-III	7133	S-6
第115図-8	床面	33	15	8	3.1	珪	A-IIc	7012	S-19
第115図-9	フク土	41	29	12	10	珪	C-III	7270	
第115図-10	床直	36	23	10	8.4	珪	G-I a	7253	両面 S-25
第115図-11	フク土	(52)	29	13	(19.8)	珪	E-II	7171	
第115図-12	フク土	45	42	11	27.2	珪	G-I a	7260	両面
第115図-13	フク土	59	24	19	23.3	珪	G-I a	7266	両面製品? 石ベラの未
第115図-14	床直	43	21	8	5.8	珪	G-I b	7252	両面 S-24 スス付着
第115図-15	床直	37	20	6	3.4	珪	G-I b	7249	片面 S-15
第115図-16	フク土	39	31	5	5.8	珪	G-I a	7262	両面
第116図-17	フク土	50	28	14	15.9	珪	G-I a	7275	両面 S-71
第116図-18	床面	(47)	36	12.5	(31)	緑細凝	I-I 1 a	3674	S-21
第116図-19	フク土	46	14	4	3.7	粘	R-III	5	C-1
第116図-20	フク土	85	82	40	504	安	L-I a 4	3513	北海道式石冠(半損)
第116図-21	フク土	177	86.2	68	1580	安	L-II a 1	3514	
第116図-22	フク土	124	74.5	4.0	563	安	L-I a 2	3512	S-1

#### 第49号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第120図-27	床面	(52)	17	6	(3.6)	珪	A-IIc	130	S-80
第120図-28	フク土	41	16	7	3.7	珪	A-IIc	138	S-52
第120図-29	フク土	30	16	5	2.2	珪	A-IIc	135	S-42
第120図-30	フク土	52	17	9	4.8	珪	A-IIc	482	

第120図-31	フク土	(34)	14	6	(2.5)	珪	A-IIb	136	S-43
第120図-32	床 面	34	16	6	2.3	珪	A-IIb	131	S-81
第120図-33	床 直	(33)	14	7	(2.5)	珪	A-IIc	132	S-82
第120図-34	フク土	21	14	2	0.7	珪	A-IIc	91	
第120図-35	フク土	21	13	5	1.1	玉珪	A-IIc	141	
第120図-36	床 面	(33)	18	6	(3.3)	珪	A	129	S-73
第120図-37	フク土	37	14	7	2.8	珪	A-IIc	139	S-67
第121図-38	フク土	(90)	38	11	(51.1)	珪	B-III	480	S-46
第121図-39	床 面	48	19	8	10.6	珪	B-III	478	S-72
第121図-40	床 面	(26)	(18)	(6)	(2.6)	珪	B	479	S-92
第121図-41	フク土	42	19	13	7.1	珪	C-III	7134	S-67
第121図-42	フク土	(24)	12	4	(1.2)	珪	C-I	134	S-15
第121図-43	フク土	(46)	(29)	(8)	(10.2)	珪	D-I	591	S-49
第121図-44	フク土	36	16	7	3.4	珪	C-I	546	S-57
第121図-45	フク土	(38)	30	13	(12.0)	珪	E-I	604	
第121図-46	フク土	37	17	12	9.5	珪	E-I	471	
第121図-47	フク土	(47)	27	12	(19.9)	珪	E-II	7172	S-69
第121図-48	フク土	21	32	9	5.9	珪	G-IVb	887	一部欠損、角度不明
第121図-49	フク土	56	32	15	20.7	玉珪	G-I a	603	S-78
第122図-50	床 面	57	37	18	35.0	珪	G-I b	979	両面 S-84
第122図-51	フク土	41	43	8	15.0	珪	G-I b	1013	片面
第122図-52	フク土	79	29	16	38.3	珪	G-I b	995	片面
第122図-53	フク土	44	24	11	15.2	珪	G-I a	481	両面 S-28
第122図-54	フク土	32	18	4	1.6	珪	G-I a	1011	片面
第122図-55	フク土	40	22	9	8.4	玉珪	G-I a	1012	両面 尖頭状になっている
第122図-56	フク土	40	19	6	7.5	珪	G-I a	1003	片面 S-66
第122図-57	フク土	21	32	9	5.9	珪	G-I a	883	両面
第122図-58	床 面	37	26	8	6.7	珪	G-I a	486	片面
第122図-59	床 面	42	23	11	10.4	珪	G-I b	1014	両面 焼けはげて
第122図-60	フク土	40	37	8	6.9	珪	G-II	884	極浅
第122図-61	フク土	40	23	11	13.2	珪	G-I a	1009	両面
第122図-62	フク土	41	32	4	9.1	珪	G-I b	986	片面 S-8
第122図-63	フク土	23	36	8	6.4	玉珪	G-I a	7272	両面 S-68
第123図-64	床 面	33	27	6	6.5	珪	G-I a	1018	両面
第123図-65	フク土	44	18	10	6.6	珪	G-I b	983	両面 S-4
第123図-66	フク土	35	26	9	9.0	珪	G-I b	1019	両面
第123図-67	床 面	45	39	14	12.0	凝	R-III	6	C-2
第123図-68	フク土	105	59	21	203	閃	L-I a2	142	137、138 接
第123図-69	フク土	133	67	34.5	527	安	L-I a1	149	S-65
第123図-70	床 直	107	84	82	815	安	L-I a	136	S-91

第123図-71	フク土	143	69	43	637	安	L-I a 2	137 138	接
第123図-72	床 面	61	55	48	224	安	L-I b 1	133	S-87

#### 第50号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第125図-7	床 面	(29)	11	5	(1.2)	珪	A-IIc	144	S-4
第125図-8	床 面	(25)	13	5	(1.7)	珪	A	145	S-7
第125図-9	床 直	58	25	10	17.1	珪	G-I	1023	両面 品? 定形の欠損
第125図-10	床 直	73	35	15	52.1	珪	G-I b	1022	両面S-16
第125図-11	床 面	25	29	5	3.0	珪	G-II	1021	S-10
第125図-12	床 面	34	23	8	6.0	玉	G-II	1020	S-7
第125図-13	フク土	168	131	118	4000	石安	Q-II	805	

#### 第51号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第128図-1	フク土	82	50	17	43.4	珪	G-II	1028	S-5
第128図-2	フク土	110	76	35	429	安	L-I a 2	159	S-4
第128図-3	フク土	126	70	47	608.5	安	L-I a 1	158	S-2
第128図-4	床 面	(153)	215	81	(4,000)	珪	N-II	651	S-1
第128図-5	床 直	(100)	(95)	41	(480)	安	N-I 3	652	S-3

#### 第53号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第132図-1	溝1層	28	33	9	7.1	珪	G-I b	1029	S-3 両面
第132図-2	床 面	60	58	43	177	安	L-I b 1	162	S-7
第132図-3	床 直	102	66	48	404	輝緑岩	L-I d	161	S-6
第132図-4	1 層	143	79	35	674	安	L-I a 2	163	S-1
第132図-5	1 層	(94)	84	40.5	(450)	安	L-I a 1	164	S-4
第132図-6	床 面	(128)	(184)	47	(1,970)	安	N-I 3	653	S-3

#### 第55号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第135図-5	フク土	46	31	11	16	珪	G-I b	1030	片面 S-3
第135図-6	床 面	346	71	56	2100	流	Q-II	806	S-1

#### 第58号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第143図-1	3 層	260	150	55	2800	安	N-I 3	656	S-5

第143図-2	3 層	326	223	87	9,000	安	N-I 3	655	S-1
---------	-----	-----	-----	----	-------	---	-------	-----	-----

#### 第59号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第146図-1	1 層	(142)	52	34	(442)	閃	I-I 2	847	S-4

#### 第60号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第149図-1	床 面	319	278	83	9400	安	N-I 3	657	S-1

#### 第63号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第155図-1	1 層	(267)	229	92	(8,500)	安	N-I 3	658	S-1

#### 第65号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第160図-1	床 面	34	11	6	1.9	珪	A-I d	147	S-13
第160図-2	床 直	30	18	7	2.8	珪	A-I d	148	S-8
第160図-3	床 直	33	17	5	2.7	珪	A-I d	149	S-9
第160図-4	床 直	35	15	6	2.3	玉珪	A-IIc	150	S-10
第160図-5	フク土	45	34	10	13.1	玉珪	E-I	605	S-12
第160図-6	フク土	67	42	18	31.9	珪	G-I a	1035	両面 S-12
第160図-7	フク土	61	40	13	38.5	珪	G-I b	1031	両面 S-1
第160図-8	フク土	19	15	3	1.0	珪	G-I a	1034	両面 S-12

#### 第66号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第163図-1	フク土	(24)	14	4	(1.0)	玉珪	A-I a	158	
第163図-2	フク土	(17)	18	3	(0.9)	珪	A-I a	153	S-3
第163図-3	フク土	23	15	5	1.1	珪	A-IIc	155	S-17
第163図-4	フク土	(28)	14	4	(1.4)	珪	A-IIc	157	S-107
第163図-5	フク土	52	24	10	11.0	珪	B-I	487	S-4
第163図-6	フク土	38	17	5	3.5	珪	E-IV	1048	S-34
第163図-7	フク土	39	17	9	3.4	玉珪	E-I	606	
第163図-8	床 面	36	21	15	11	珪	F	642	S-49
第163図-9	フク土	32	23	7	8.1	珪	G-I a	1046	S-31 両面
第163図-10	フク土	83	31	15	33.3	珪	G-I a	1052	両面

第67号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第165図-2	床直	(90)	55	26	(248)	緑ホ	I-I 1a	846	S-9

第68号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第166図-1	確認	40	31	11	12.9	珪	G-I b	1060	両面

第69号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第170図-1	フク土	49	13	7	2.5	珪	A-IIc	161	S-23
第170図-2	フク土	35	13	9	2.9	珪	A-IIc	162	
第170図-3	フク土	(27)	15	4	(1.4)	珪	A-IIb	164	S-22
第170図-4	フク土	67	27	15	22.4	珪	B-II	489	S-18
第170図-5	フク土	36	13	9	4.1	珪	C-II	547	
第170図-6	フク土	67	23	11	(19.2)	珪	D-I a	490	S-19
第170図-7	フク土	35	24	5	5.0	珪	G-I a	1076	片面
第170図-8	フク土	30	19	6	3.0	珪	G-I b	1063	片面 スス付着 S-5
第170図-9	フク土	31	54	13	18.4	珪	G-I a	1065	両面 S-16
第170図-10	フク土	49	43	13	24.8	珪	G-II	1072	極浅
第170図-11	フク土	61	50	10	21.4	珪	G-II	1064	S-15
第170図-12	フク土	52	47	9	20.3	珪	G-I b	1062	片面 S-5
第171図-13	フク土	141	90	60	1100	安	L-I a 4	198	北海道式石冠
第171図-14	フク土	(58)	57	35	(171)	安	L-I a 2	193	S-2 (半損)
第171図-15	フク土	140	99	43	721	安	L-I a 1	192	S-1 石鍾の可能性あり?
第171図-16	床直	182	243	60	3,820	安	N-I 3	663	
第171図-17	フク土	(208)	221	41	(1,110)	凝	N-I 1 b	665	S-17
第171図-18	フク土	(120)	(77)	41	(300)	凝	N-I 1 b	664	S-4

第70号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第174図-1	フク土	(30)	14	6	(1.7)	珪	A-IIc	169	S-6
第174図-2	フク土	(33)	15	6	(2.3)	玉	A-I d	168	S-45
第174図-3	フク土	(37)	15	6	(2.7)	珪	A-IIc	170	S-10
第174図-4	フク土	(32)	15	7	(1.6)	珪	A-IIc	548	S-40
第174図-5	フク土	(19)	13	5	(1.1)	珪	A-IIc	167	S-37
第174図-6	フク土	45	32	13	8.9	珪	E-I	607	S-38
第174図-7	フク土	49	37	12	24.1	珪	G-II	1081	S-24

第174図-8	フク土	(159)	85	54	(1070)	安	L-IIc	209	S-18
第174図-9	フク土	(140)	57	26.5	(353.5)	安	L-I a 1	211	S-32(半損)
第174図-10	フク土	(69)	62	31.5	(213)	安	L-I a 1	212	S-42(半損)
第174図-11	フク土	116	40	26	216	ホ	I-I 2	856	S-41
第175図-12	フク土	97	44	24	154	緑凝	I-I 1 a	859	
第175図-13	床直	108	42	24	148	閃	I-I 1 a	855	S-48
第175図-14	フク土	(115)	45	29	(233)	輝緑凝灰岩	I-I 1 a	857	S-21
第175図-15	床直	60	49	18	83	緑凝	I-1 a	854	S-47
第175図-16	フク土	73	54	33	106	珪	N-I 1 a	3630	S-8 ミニチュア
第175図-17	フク土	(195.5)	77	50	(1200)	流	Q-I b	808	S-19
第175図-18	床面	227	132	55	1,860	珪	N-I 1 b	666	S-46
第175図-19	フク土	150	78	17	240	珪	N-I 1 a	667	S-13
第175図-20	フク土	(97)	(78)	33	(160)	珪	N-I 1 a	3631	P-6

### 第71号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第182図-1	床面	57	70	9	30.7	珪	G-I b	1087	両面? 石匙の未製 S-15
第182図-2	床面	61	33	20	32.7	珪	G-I a	609	片面 S-13
第182図-3	床面	37	39	11	21.9	珪	G-II	1085	S-13
第182図-4	フク土	38	27	7	9.8	玉珪	G-I a	1094	両面
第182図-5	床面	39	25	7	5.9	珪	G-II	1088	極浅 S-15
第182図-6	床面	(27)	12	5	(1.3)	珪	A-IIc	171	
第182図-7	フク土	(39)	16	8	(4.1)	珪	A-IIc	173	
第182図-8	床面	80	24	15	36.1	珪	E-II	491	S-4
第182図-9	床面	75	24	10	27.8	珪	B-II	492	S-9
第183図-10	床面	7.5	3.7	1.9	52.9	珪	E-II	608	S-11
第183図-11	床面	41	24	7	5.8	珪	G-II	1680	極浅
第183図-12	床面	36	24	10	6.8	珪	G-I a	1086	両面 S-14
第183図-13	フク土	34	51	7	10.5	珪	G-II	1092	極浅
第183図-14	フク土	(197)	284	61	(5,400)	安	N-I 2	907	S-1
第183図-15	フク土	110.9	73.5	40	571	安	L-IIb2	218	S-2
第183図-16	フク土	110	72	32	318	安	L-I a 1	222	S-10
第183図-17	フク土	(58)	43	29	(113)	閃	I-I 1 a	860	

### 第72号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第187図-1	床面	(40)	15	6	(2.6)	珪	A-IIc	175	S-5
第187図-2	床直	31	15	7	2.3	珪	A-IIc	176	S-7
第187図-3	フク土	36	32	13	11.0	珪	G-II	1103	

第187図-4	フク土	45	24	13	13.6	珪	B-II	493	
第187図-5	フク土	(27)	14	5	(1.4)	珪	A-IIc	177	
第187図-6	フク土	19	25	7	3.0	珪	G-Ia	1102	両面
第187図-7	床直	321	330	59	7400	安	N-I3	670	S-9
第187図-8	炉石	(75)	(107)	57	(320)	砂岩 (凝灰岩)	N-I1a	699	S-42
第187図-9	床面	357	177	150	13300	安	N-II	668	S-8
第187図-10	フク土	463	377	128	32000	安	N-1a	670	S-13

第74号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第191図-1	床面	(19)	15	3	(0.5)	珪	A-Ia	181	S-16
第191図-2	床直	27	12	3	0.6	珪	A-Ia	185	S-25
第191図-3	床面	51	38	12	10.4	珪	E-I	610	S-3
第191図-4	床面	32	14	6	1.7	珪	A-IIc	179	S-13
第191図-5	床面	(39)	12	9	(3.8)	珪	A-IIc	183	S-24
第191図-6	床面	50	36	7	18.4	珪	G-II	1105	極浅 S-5
第191図-7	床面	(23)	15	4	(10.8)	珪	A-IIb	182	S-18
第191図-8	床直	74	48	12	38.9	珪	G-Ib	1108	両面 S-1
第191図-9	床面	(23)	15	4	(0.9)	珪	A-IIc	180	S-13
第191図-10	床直	38	11	6	2.2	珪	C-I	184	S-23
第191図-11	床面	70	61	15	45.8	珪	G-Ia	1107	両面(片面は另程) S-19
第192図-12	床面	40	53	10	17.8	珪	G-Ia	1104	片面 S-4
第192図-13	床面	(42)	(27)	11	(19)	粘	I-I5	861	S-13
第192図-14	フク土	21	15	3	0.6	珪	A-Ia	186	
第192図-15	上層	95	64	32	297.5	チャ	L-Ib2	549	
第192図-16	フク土	30	16	8	3.2	珪	C-III	550	
第192図-17	フク土	25	17	10	4	玉	F	644	
第192図-18	フク土	41	19	11	9.8	珪	G-Ia	1117	両面 片方調整
第192図-19	フク土	28	17	9	5.4	珪	F	643	
第192図-20	フク土	34	23	8	3.9	珪	G-Ib	1121	片面
第192図-21	床直	112	61	27	230	安	L-IIIb	242	S-17
第192図-22	炉石	(207)	276	64	(6000)	安	N-I3	672	S-1
第192図-23	フク土	130	63	48	647	安	L-IVa	243	S-2
第192図-24	床面	126	63	43	418	安	L-IIa1	237	S-10

第75号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第194図-1	床面	(24)	12	5	(1.1)	珪	A-IIc	188	S-8
第194図-2	床直	26	17	7	1.8	珪	A-IIb	193	S-11

第194図-3	床直	33	14	6	2.2	珪	A-IIc	190	S-1
第194図-4	床直	37	15	5	2.2	珪	A-IIc	192	S-4
第194図-5	床直	32	9	7	1.1	珪	C-II	189	S-1
第194図-6	床直	(34)	13	6	(1.2)	珪	A-IIc	191	S-2
第194図-7	床直	113	78	35	506	閃	L-I a 2	246	S-5
第194図-8	床直	65	66	50	294	チャ	L-I b 2	245	S-7
第194図-9	床直	219	159	82	3570	安	N-II	674	S-6
第194図-10	炉	247	203	76	5390	カコウ 閃緑岩	N-I 3	677	S-13
第194図-11	炉	338	251	102	11600	安	N-II	676	S-12

第76号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第196図-1	フク土	(30)	14	5	(1.6)	珪	A-IIc	195	
第196図-2	床面	33	28	10	8.1	珪	G-I b	1129	S-1 片面
第196図-3	床面	46	23	14	13.4	珪	G-II	1130	S-2
第196図-4	フク土	52	36	9	16.5	珪	G-II	1132	
第196図-5	床面	308	215	78	8,500	安	N-I 3	681	S-8
第196図-6	床直	(98)	33	19	(92)	ホ	I-I 2	862	S-5
第196図-7	床直	(80)	(42)	22	(119)	頁	I-I 1 a	863	S-6
第196図-8	フク土	(52)	35	17	(92)	緑凝	I-I 1 a	864	S-4

第77号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第197図-8	フク土	(78)	29	14	(48)	緑細凝	I-I 1 a	865	
第197図-9	床面	(156)	260	78	(4230)	安	N-I 3	678	S-9

第78号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第198図-3	フク土	27	14	6	2.1	珪	G-I a	196	
第198図-4	フク土	33	17	10	5	玉珪	G-I a	1134	両面
第198図-5	フク土	48	20	13	(10.6)	珪	B-III	495	
第198図-6	フク土	25	18	7	2.6	珪	G-I b	1136	片面
第198図-7	フク土	35	20	7	3.6	珪	G-I a	1135	片面

第79号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第201図-11	炉	89	78	59	575.5	チャ	L-II b 2	250	S-1
第201図-12	床下	118	60	25	267	安	L-II a 1	251	S-14

第201図-13	フク土	130	107	36	645	安	N-I 4	5327	S-2
第202図-14	フク土	40	11	6	3.7	珪	E-I	611	
第202図-15	フク土	69	46	13	39.9	珪	G-I a	1143	両面、スス附着 片面 <sup>1/3</sup> S-2
第202図-16	フク土	41	25	8	9.8	珪	G-I b	1160	両面
第202図-17	フク土	31	12	9	2.8	珪	G-I b?	1159	片面
第202図-18	フク土	(40)	(23)	8	(7.3)	珪	D-I d	592	
第202図-19	フク土	34	18	9	4.7	珪	G-I a	1156	両面
第202図-20	フク土	35	16	5	2.6	珪	G-I a	1164	両面
第202図-21	フク土	18	26	5	2.5	玉珪	G-IVa	1152	原石面多し95° S-15
第202図-22	フク土	19	21	4	1.1	珪	G-I a	1150	両面 S-10
第202図-23	フク土	24	10	7	2.3	玉珪	F	646	S-10
第202図-24	フク土	35	22	8	6.6	玉珪	F	648	S-15
第202図-25	フク土	27	15	7	3.5	珪	F	649	
第202図-26	フク土	22	29	10	6.2	玉	F	647	S-10
第202図-27	フク土	29	25	10	7.4	珪	F	650	
第203図-28	床 直	(35)	15	7	(2.9)	珪	A-IIc	197	S-9
第203図-29	床 面	23	26	7	3.8	珪	G-II	1140	S-8
第203図-30	床 面	35	33	20	170	珪	G-II	1137	極浅
第203図-31	床 面	32	45	9	15.2	珪	G-II	1138	
第203図-32	床 面	20	26	8	2.9	珪	G-II	1139	極浅
第203図-33	床 面	2.8	2.3	8	5.4	玉	F	645	
第203図-34	床 面	37	25	6	7	線ホ	I-4	866	S-7
第203図-35	床 下	(34)	17	6	(1.9)	珪	A-IIc	198	S-10
第203図-36	フク土	23	11	3	0.6	珪	A-IIc	203	
第203図-37	床 下	34	17	10	2.2	珪	A-IIc	199	S-11
第203図-38	床 下	25	40	11	11.6	玉珪	G-I a	1141	両面 S-13
第203図-39	フク土	28	14	8	2.7	玉珪	A-IIc	201	S-1
第203図-40	フク土	(38)	17	8	(4.9)	珪	A-IIc	202	S-3
第203図-41	フク土	42	8	7	1.9	珪	C-II	551	

第80号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第205図-1	フク土	31	11	4	1.2	珪	A-IIc	211	S-10
第205図-2	フク土	30	16	5	1.9	玉珪	A-IIb	213	S-11
第205図-3	フク土	46	27	14	15.7	珪	G-II	1170	極浅 S-14
第205図-4	フク土	57	25	14	13.3	珪	G-I b	1169	片面 S-13
第205図-5	フク土	103	60	35	333	安	L-I a 1	256	S-1
第205図-6	フク土	(285)	229	66	(1,500)	凝	N-I 3	3602	S-108

第81号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第211図-1	フク土	20	14	4	0.9	玉	A-I a	217	S-23
第211図-2	フク土	23	13	5	1.1	珪	A-I a	215	S-18
第211図-3	フク土	24	16	4	1.0	玉	A-I a	7020	S-111
第211図-4	フク土	28	(16)	4	(1.0)	珪	A-I a	218	S-24
第211図-5	フク土	25	(14)	3	(0.7)	珪	A-I a	233	S-16
第211図-6	フク土	17	12	3	0.3	珪	A-I a	239	S-75
第211図-7	フク土	23	14	3	0.7	珪	A-I a	250	
第211図-8	フク土	21	13	3	0.5	珪	A-I a	240	S-76
第211図-9	フク土	17	14	3	0.7	珪	A-I b	231	S-55
第211図-10	フク土	21	16	6	1.2	珪	A-II b	237	S-73
第211図-11	フク土	25	18	5	1.0	珪	A-II c	219	S-25
第211図-12	フク土	26	15	5	1.1	珪	A-II c	225	S-44
第211図-13	フク土	(26)	16	6	(1.3)	珪	A-II b	7018	S-18
第211図-14	フク土	(26)	14	8	(2.1)	珪	A-II c	247	S-97
第211図-15	フク土	25	20	5	1.2	珪	A-II b	230	
第211図-16	フク土	(34)	14	8	(2.3)	珪	A-II c	221	S-35
第211図-17	フク土	(50)	19	7	(4.8)	珪	A-II c	254	
第211図-18	フク土	(38)	20	8	(4.0)	珪	A-II b	249	S-122
第211図-19	フク土	27	13	5	1.0	玉	A-II b	229	S-54
第211図-20	フク土	(36)	11	5	(1.6)	珪	A-II b	245	S-96
第211図-21	フク土	62	26	10	17.4	珪	B-III	496	S-13
第211図-22	フク土	61	22	12	13.6	珪	B-II	498	S-31
第211図-23	フク土	40	24	10	7.7	珪	B-III	500	
第212図-24	フク土	(39)	(33)	(10)	(13.4)	珪	B	497	S-30
第212図-25	フク土	38	13	8	2.2	珪	C-II	553	S-21
第212図-26	フク土	25	15	7	2.3	珪	C-III	552	S-18
第212図-27	フク土	36	9	6	1.5	珪	C-II	560	
第212図-28	フク土	27	17	8	2.7	珪	C-III	558	S-97
第212図-29	フク土	29	19	5	1.0	珪	C-II	557	S-59
第212図-30	炉内	33	12	11	3.4	珪	C-II	559	S-70
第212図-31	フク土	19	13	5	0.8	珪	C-II	556	S-59
第212図-32	フク土	29	12	3	0.8	珪	C-II	7135	S-109
第212図-33	床直	(24)	(23)	(6)	(4.3)	珪	D-I c	593	S-67
第212図-34	フク土	30	13	6	2.4	玉珪	E-I	613	
第212図-35	フク土	35	25	10	6.8	珪	E	7173	
第212図-36	フク土	45	(30)	9	(12.0)	珪	E-I	612	S-3
第212図-37	フク土	48	27	13	10.6	珪	E-I	614	

第212図-38	フク土	32	15	12	5.1	珪	F	651	S-52
第212図-39	フク土	22	18	7	2.2	珪	F	1213	S-122
第212図-40	フク土	26	31	8	6.0	玉珪	G-I b	1199	両面 S-55
第212図-41	フク土	27	17	8	3.3	珪	G-I b	1209	両面 S-95
第212図-42	フク土	34	26	13	7.6	珪	G-I b	1216	片面 S-122
第212図-43	フク土	30	28	8	6.4	玉珪	G-I a	1228	両面
第213図-44	フク土	24	46	9	8.4	珪	G-I b	1208	両面 S-94
第213図-45	フク土	17	33	10	4.6	珪	G-II	1178	S-6
第213図-46	床直	54	28	12	13.3	珪	G-II	1173	極浅 S-79
第213図-47	フク土	75	46	16	55.6	珪	G-I a	1206	片面 S-91
第213図-48	フク土	17	27	4	1.5	珪	G-I a	1180	両面 S-18
第213図-49	フク土	36	19	8	4.0	珪	G-I a	7290	片面 ドリル?
第213図-50	フク土	25	39	10	10.6	珪	G-I a	1221	両面
第213図-51	床直	40	32	8	12.8	玉珪	G-I a	1171	両面 S-68
第213図-52	フク土	48	24	6	4.4	珪	G-II	1191	極浅 S-30
第213図-53	フク土	51	23	11	8.5	珪	G-I b	1196	両面 S-44
第213図-54	床直	37	30	14	12	碧玉 (赤)	G-II	1175	S-81
第213図-55	床直	33	25	11	6.5	珪	G-I b	1172	両面 S-79
第213図-56	フク土	22	23	17	4.8	珪	G-I a	1183	両面 S-20
第214図-57	フク土	115	65	30	407	閃	L-I a?	288	
第214図-58	フク土	120	69	56	612	安	L-IVb	284	S-84
第214図-59	フク土	79	60	26	203	安	L-I a 1	279	S-44
第214図-60	フク土	62	48.5	23	100.5	チャ	L-I b 2	282	S-71
第214図-61	フク土	(117)	84	45	(701)	安	L-I a	270	S-16
第214図-62	フク土	118	48	36	250	安	L-IIIa	269	S-12
第214図-63	フク土	121	58	38	352.5	安	L-IIIa	275	S-34
第214図-64	フク土	103	56	38	340	安	L-I a 1	273	S-30
第215図-65	フク土	(77)	39	1	(48)	ホ	I-I 1 a	877	S-121
第215図-66	フク土	(91)	47	25	(173)	緑凝	I-I 1 a	870	S-4
第215図-67	フク土	(91)	(53)	25	(167)	頁	I-I 1 a	871	S-4
第215図-68	フク土	(19.5)	29.5	8.5	(6)	緑凝	I-I 5	874	S-89
第215図-69	床直	(18.5)	35	12	(8)	緑凝	I-I 5	869	S-64
第215図-70	フク土	(48)	25	13	(21)	頁	I-I 5	878	
第215図-71	フク土	(28.5)	(26.5)	16	(15.5)	緑凝	I-I 1 a	3675	S-18
第215図-72	床面	(98)	(77)	53	(280)	凝	N-I 1 a	684	S-98
第215図-73	床面	206	148	37	1,270	安 (多孔質)	N-I 1 b	685	S-78
第215図-74	フク土	234	197	46	3,500	安	N-I 3	687	S-10
第215図-75	フク土	141	142	43	1100	安	N-I 3	688	S-48
第215図-76	フク土	(74)	(105)	41	(340)	安 (多孔質)	N-I 1 b	689	S-62
第216図-77	床直	(150)	(146)	65	(1800)	安	N-I 3	683	S-80

第216図-78	フク土	(165)	155	55	(1,160)	凝	N-I 1b	692	
第216図-79	フク土	155	228	44	2700	安	N-I 2	693	
第216図-80	フク土	205	78	57	1700	流	Q-I b	809	S-65

第82号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第221図-1	フク土	27	13	3	0.8	珪	A-I b	261	S-25
第221図-2	フク土	37	18	7	3.7	珪	A-I a	502	S-35
第221図-3	フク土	33	15	4	1.0	珪	A-I a	265	(P)-40
第221図-4	フク土	29	14	3	1.1	珪	A-I a	277	S-63
第221図-5	フク土	20	16	6	1.3	珪	A-I b	270	S-53
第221図-6	フク土	28	15	7	1.9	玉珪	A-IIc	274	S-53
第221図-7	フク土	28	15	8	2.8	珪	A-IIc	278	S-67
第221図-8	フク土	44	20	9	6.4	珪	A-IIc	286	
第221図-9	フク土	(30)	14	7	(2.2)	玉	A-IIc	272	S-53
第221図-10	フク土	40	16	4	1.9	玉珪	A-IIc	280	S-87
第221図-11	フク土	42	11	8	2.3	珪	A-IIc	282	
第221図-12	フク土	33	11	5	1.2	玉珪	A-IIc	7026	
第221図-13	フク土	24	22	5	1.3	珪	A-IIc	269	S-53
第221図-14	フク土	19	10	3	0.6	珪	A-IIc	283	
第221図-15	フク土	(47)	14	9	(6.1)	珪	A-IIc	267	S-44
第221図-16	フク土	52	16	6	3.5	珪	A-IIc	279	S-85
第221図-17	フク土	(31)	13	7	(1.9)	珪	A-IIc	260	S-25
第222図-18	フク土	45	21	10	8.4	珪	B-I	503	S-86
第222図-19	フク土	(47)	(20)	(11)	(12.4)	珪	B	501	S-21
第222図-20	フク土	(49)	(17)	(7)	(6.4)	珪	B	7107	
第222図-21	フク土	24	9	5	0.9	珪	C-II	268	S-48
第222図-22	フク土	29	26	10	7.3	玉珪	F	653	S-53
第222図-23	フク土	29	25	14	10.2	玉珪	F	657	S-54
第222図-24	フク土	31	21	9	6.5	玉珪	F	655	S-53
第222図-25	フク土	31	22	11	6.8	玉珪	F	656	S-53
第222図-26	フク土	27	18	5	2.2	玉珪	F	654	S-53
第222図-27	フク土	23	31	10	7.5	玉珪	F	658	S-58
第222図-28	フク土	38	21	5	3.4	光沢痕	G-I a	1241	片面 S-45 スス付着
第222図-29	フク土	38	19	8	5.4	珪	G-I b	1263	両面
第222図-30	フク土	22	46	9	7.1	珪	G-II	1242	S-45
第222図-31	フク土	36	24	8	8.1	珪	G-I b	1251	両面 S-53
第222図-32	フク土	30	40	10	15.3	珪	G-I a	1264	両面
第222図-33	フク土	26	24	9	5.8	珪	G-IVa	1256	欠損 S-70
第223図-34	フク土	53	54	19	44	珪	G-I a	1261	両面

第223図-35	フク土	42	26	11	8.9	珪	G-I a	1260	両面
第223図-36	床 面	26	38	11	8.3	珪	G-I a	1230	両面 S-83
第223図-37	床 面	32	33	4	3.5	珪	G-I b	7291	片面 S-80
第223図-38	フク土	42	38	35	78.5	安	L-I b 1	301	
第223図-39	フク土	143	67	28	356	安	L-I a 2	300	
第223図-40	床 直	(50)	(45)	(10)	(19)	頁	I-I 5	880	S-76
第223図-41	フク土	(65)	79	36.5	(295)	安	L-I d	294	S-62
第223図-42	フク土	114	79	49	563	安	L-IIIb	298	S-86
第224図-43	フク土	192	168	57	2820	石安	N-II	697	S-84
第224図-44	床 面	(141)	122	56	(1720)	珪	N-II	3606	S-81
第224図-45	床 面	(154)	(126)	55	(1,350)	珪	N-II	695	S-77
第224図-46	床 直	(132)	(111)	114	(2,000)	流	Q-I b	810	S-74

第83号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第226図-1	フク土	53	20	12	11.9	珪	B-III	504	
第226図-2	フク土	(23)	(13)	(6)	(1.7)	珪	A-IIc	288	S-1
第226図-3	フク土	41	22	9	6.6	玉珪	G-II	1275	極浅
第226図-4	フク土	26	30	8	7.1	珪	G-I b	1277	両面
第226図-5	フク土	29	33	6	5.5	玉珪	G-II	1278	
第226図-6	フク土	25	31	10	7.3	珪	G-I b	1279	両面
第226図-7	フク土	40	28	12	11.7	珪	G-I b	1280	片面
第226図-8	床 面	(98)	51	37	(295)	閃	I-I 2	881	S-6
第226図-9	フク土	(82)	(29.5)	(18)	(41)	緑細粒	I-I 5	882	

第84号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第228図-1	床 面	36	12	7	2.5	玉珪	A-IIc	289	S-3
第228図-2	床 面	30	13	7	1.6	珪	A-IIc	291	S-23
第228図-3	床 面	20	11	4	0.6	珪	A-IIc	292	S-28
第228図-4	床 直	23	16	6	1.7	玉珪	A-IIc	293	S-12
第228図-5	床 面	(59)	27	9	(16.7)	珪	B-I	505	S-24
第228図-6	床 面	37	11	7	2.5	珪	C-II	290	S-16
第228図-7	床 面	33	13	7	2.2	玉珪	C-II	561	S-18
第228図-8	フク土	38	29	10	9.6	珪	G-II	1290	S-10
第228図-9	床 面	37	50	15	19.6	珪	G-II	1282	極浅 S-2 スス付着
第228図-10	床 面	39	66	13	34.6	珪	G-II	1294	極浅 S-4
第228図-11	フク土	29	17	4	1.6	珪	G-I a	1292	片面
第228図-12	床 面	31	38	12	11.7	珪	G-I a	1285	片面 S-36

第228図-13	床 面	38	40	13	14.6	珪	G-II	1284	極浅 S-25
第229図-14	フク土	38	29	10	9.6	珪	G-I a	1291	両面 S-10
第229図-15	床 面	37	61	12	15.3	珪	G-II	1283	極浅 S-20
第229図-16	フク土	51	26	13	16	珪	G-I a	1289	両面 S-10
第229図-17	床 直	(52)	(32)	(13.5)	(34)	緑細粒	I-I 1 a	883	S-34
第229図-18	床 面	95	63	34	255	安	L-IVb	276	S-38
第229図-19	床 直	52	49	39.5	134	安	L-I b 1	304	S-6
第229図-20	フク土	395	52	16	453	千	Q-III	7	
第230図-21	床 直	434	163	154	18600	安	Q-I b	812	S-9
第230図-22	炉 石	192	143	33	(1,140)	安(多孔質溶岩)	N-I 1b	698 700	S-41
第230図-23	炉 石	(75)	(107)	57	(320)	砂岩(凝灰岩)	N-I 1a	699	S-42

#### 第85号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第233図-9	床 面	56	55	14	46.0	珪	G-II	1296	P-4
第233図-10	床 面	52	24	11	12.8	珪	B-I	506	S-4
第233図-11	床 面	52	29	14	15.9	珪	G-II	1295	P-4
第233図-12	床 面	29	14	10	3.6	珪	G-II	1297	P-4
第233図-13	フク土	43	30	10	12.2	珪	G-I b	715	片面
第233図-14	フク土	(27)	13	3	(0.9)	珪	A-IIc	18	
第233図-15	フク土	43	18	8	7.4	珪	B-III	451	

#### 第86号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第235図-1	フク土	33	55	15	22.8	珪	G-I b	1300	片面
第235図-2	床 直	(179)	129	84	(2640)	安	N-II	701	S-4
第235図-3	フク土	50	28	13	16.9	珪	G-I a	1302	両面
第235図-4	フク土	18	43	6	2.7	珪	G-I b	1301	両面

#### 第87号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第238図-1	フク土	35	13	7	2.4	玉珪	A-IIc	295	S-14
第238図-2	フク土	27	16	7	2.4	玉珪	A-IIc	296	S-14
第238図-3	フク土	31	16	9	3.5	珪	A-IIc	305	未製品
第238図-4	フク土	34	12	5	1.5	珪	A-IIb	303	
第238図-5	フク土	(42)	15	7	(3.3)	珪	A-IIc	299	S-15
第238図-6	フク土	(33)	14	6	(1.7)	玉珪	A-IIc	302	
第238図-7	フク土	(40)	16	4	(3.0)	珪	A-IIc	298	S-14
第238図-8	フク土	(22)	10	6	(1.3)	珪	C-II	563	

第238図-9	フク土	24	9	5	0.7	珪	C-II	562	
第238図-10	フク土	47	28	9	6.1	珪	C-III	564	
第238図-11	フク土	42	23	0.7	5.5	珪	E-I	615	S-14
第238図-12	フク土	36	23	11	8.4	珪	G-Ia	1311	両面
第238図-13	フク土	24	17	7	2.2	玉珪	G-IVa	1313	90°
第238図-14	フク土	51	21	8	11.6	珪	G-Ib	1305	両面 スス付着
第238図-15	フク土	64	28	10	15.2	珪	G-Ia	1303	両面 S-3
第238図-16	フク土	51	40	13	26	珪	G-Ib	1310	両面
第239図-17	フク土	(71)	71.5	34.5	(281)	安	L-Ia2	313	半損
第239図-18	フク土	133	64	26	339	安	L-Ia2	317	S-18
第239図-19	フク土	123	57	45	376	安	L-IIIc	318	S-20
第239図-20	フク土	131	65	32	435	安	L-Ia2	314	S-6
第239図-21	フク土	333	298	14	1,1060	安	N-II	703	S-1
第239図-22	フク土	395	52	16	453	硬玉	R-I	硬4	

第89号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第241図-1	床直	21	13	3	0.5	珪	A-Ia	7029	S-49
第241図-2	床直	(25)	14	6	(1.7)	珪	A-IIc	7028	S-49
第241図-3	床面	36	14	4	1.7	珪	A-IIb	306	S-47
第241図-4	フク土	23	13	4	0.8	玉	A-IIc	308	S-4
第241図-5	フク土	57	14	6	4.1	珪	A-IIc	311	S-15
第241図-6	フク土	(24)	12	4	(0.8)	珪	A-IIc	314	S-25
第241図-7	フク土	33	16	7	2.7	珪	A-IIc	316	
第241図-8	フク土	32	14	5	1.2	玉珪	A-IIb	310	S-14
第241図-9	フク土	43	20	10	9.4	珪	B-III	507	
第241図-10	床直	60	30	12	9.4	珪	C-II	7136	S-49
第241図-11	フク土	22	10	6	1.2	玉珪	C-II	7137	S-69
第241図-12	フク土	(22)	13	4	(0.9)	玉珪	C-II	7138	
第241図-13	フク土	23	14	6	1.7	玉珪	C-III	7140	
第241図-14	フク土	31	13	10	4.0	玉珪	C-III	7039	
第241図-15	フク土	28	9	6	1.1	珪	C-II	7139	
第241図-16	フク土	32	13	8	2.2	玉珪	C-II	568	
第241図-17	フク土	37	17	7	3.2	珪	E-I	7175	
第241図-18	フク土	40	17	8	5.3	玉	E-I	7174	
第241図-19	フク土	(40)	(26)	12	(13.4)	珪	E-I	616	S-16
第242図-20	フク土	30	8	6	1.3	珪	C-II	566	S-53
第242図-21	床面	38	20	9	6.3	玉珪	E-I	617	S-44
第242図-22	フク土	34	15	8	3.4	珪	E-I	618	S-23
第242図-23	フク土	19	23	5	1.9	玉珪	F	7182	

第242図-24	フク土	30	22	10	6.3	珪	F	7184	
第242図-25	フク土	(31)	(26)	9	(8.0)	珪	F	7183	
第242図-26	フク土	31	23	8	5.8	玉珪	F	659	
第242図-27	床 面	31	21	5	2.1	珪	G-I a	1316	両面 S-62
第242図-28	フク土	27	18	7	3.4	珪	G-IVa	1318	原石面あり 欠損 S-1
第242図-29	フク土	50	35	7	12.7	珪	G-I a	1322	片面 S-21
第242図-30	フク土	45	59	5	15.8	珪	G-I b	1333	両面
第242図-31	フク土	36	27	8	7.6	珪	G-I a	7299	両面
第242図-32	フク土	42	21	13	6.1	珪	G-I b	7298	両面? 石鉄の未製
第242図-33	フク土	21	17	6	2.6	玉珪	G-I a	1331	両面
第242図-34	フク土	(49)	51	17	(72)	緑細粒	I-I 1 a	884	S-17
第243図-35	炉 石	70	61	51	308.5	安	L-IIc	327	S-80
第243図-36	フク土	100	63.5	44	347	安	L-IIa 1	3518	
第243図-37	フク土	110	67	43	498	安	L-IIb 1	3519	
第243図-38	フク土	153	87	49	842	安	L-IVb	323	S-38
第243図-39	床 面	188	217	82	5,820	安	N-II	705	S-61
第243図-40	床 面	(137)	(128)	62	(1,620)	安	N-II	707	S-63
第243図-41	床 面	(90)	(104)	90	(980)	石安	N-II	704	S-52
第243図-42	床 面	(87)	(115)	(36)	(600)	安	N-I 3	706	S-62
第243図-43	炉	229	147	76	2890	安	N	711	S-79
第243図-44	フク土	91	79	67	320	凝	N	712	
第243図-45	フク土	74	96	39	130	安	N	710	S-28
第244図-46	フク土	(100)	109	34	(310)	安	N-I 3	3607	S-66
第244図-47	床 面	(137)	218	70	(2,340)	安	N-I 3	3610	S-67
第244図-48	床 面	(196)	(167)	94	(4040)	安	N-I 3	3609	S-51
第244図-49	フク土	(306)	(235)	104	(11,800)	安	N-I 3	3608	S-33
第244図-50	フク土	485	243	38	(5,570)	凝	N-I 1b	<sup>713</sup> 716	S-45
第244図-51	床 面	447	198	121	16500	安	Q-II	816	S-74
第244図-52	フク土	401	74	52	2400	流	Q-I b	815	S-42
第244図-53	床 面	417	149	111	10200	安	Q-I b	817	S-76
第244図-54	フク土	335	1145	80	3500	流	Q-II	3653	S-32
第245図-55	フク土	363	97	43	1590	安	Q-III	47	

第90号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第246図-1	フク土	(27)	14	7	(1.7)	玉珪	A-IIb	318	S-2
第246図-2	フク土	52	18	9	6.8	珪	G-II	1339	極浅 S-3
第246図-3	フク土	36	27	14	11.4	珪	G-I a	1342	両面 S-4

第91号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第249図-1	床面	35	14	5	1.7	珪	A-IIb	319	S-7
第249図-2	床面	35	17	10	5.5	珪	G-Ib	1347	両面 S-7
第249図-3	床面	44	22	8	6.0	珪	G-II	1350	S-7
第249図-4	床直	63	23	10	12.4	珪	G-Ib	1352	両面 S-14
第249図-5	床直	(67)	59	29	(182)	流	L-Ia2	331	S-3 半損
第249図-6	床面	112	68	33	414	安	L-Ia2	341	S-20
第249図-7	床面	31	20	6	3.7	珪	G-Ia	1344	両面 S-7
第249図-8	床面	(223)	(136)	(28)	(1000)	安	N-I4	715	S-17
第249図-9	床面	(153)	(89)	(39)	(450)	安	N-I3	714	S-8

第92号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第250図-3	3層	78	76	48	389.5	チャ	L-IIb2	344	
第250図-4	3層	37	27	17	16.4	珪	G-II	1357	
第250図-5	3層	45	24	11	10.5	珪	G-II	1355	

第94号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第252図-1	床面	67	24	7	12.4	珪	B-I	509	S-20
第252図-2	フク土	52	32	13	11.4	珪	G-II	1372	
第252図-3	床面	(32)	17	8	(3.2)	珪	A	324	S-20
第252図-4	フク土	(38)	(27)	(10)	(11.5)	珪	B	510	

第95号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第254図-1	床直	33	19	7	3.0	珪	A-IIb	7041	S-11
第254図-2	床直	38	16	8	4.3	珪	A-Ic	7042	S-11
第254図-3	床直	(28)	12	6	(1.4)	珪	A-IIc	7040	S-4
第254図-4	フク土	(26)	14	5	(1.3)	珪	A-IIc	325	
第254図-5	フク土	27	17	6	2.8	珪	G-Ia	1373	両面 尖頭状(石 鏝の未製品?)
第254図-6	床面	29	19	6	3.2	珪	G-II	7313	S-8
第254図-7	床面	48	40	10	27.9	珪	G-Ia	7176	S-16
第254図-8	床直	26	46	9	11.3	珪	Gドリル	7315	S-2
第254図-9	床直	64	37	20	40.8	珪	G-Ia	7320	S-19
第254図-10	床直	129	69	50	576.5	安	L-IIa1	3524	S-13

第96号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第255図-3	フク土	67	32	11	22.3	珪	E-I	620	
第255図-4	フク土	57	39	19	32.6	珪	G-I b	1374	両面 S-2
第255図-5	床面	32	15	5	1.7	玉	A-IIb	326	S-1

第97号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第257図-1	床直	(33)	14	7	(2.4)	珪	A-IIb	322	S-3
第257図-2	炉	34	17	7	3.2	玉珪	E-I	622	S-1
第257図-3	フク土	45	(21)	12	(10.4)	珪	E-I	619	
第257図-4	1層	58	40	9	17.0	珪	E-I	623	S-1
第257図-5	床直	(48)	(33)	(9)	(20.4)	珪	B-II	508	S-2
第257図-6	フク土	24	23	6	4.9	珪	G-I a	1367	両面石べらの欠損品 スス付着
第257図-7	床直	25	21	5	2.6	珪	G-I a	1364	石檜の尖頭部?
第257図-8	床直	30	23	6	3.3	珪	G-I b	1363	片面 S-2
第257図-9	床面	47	30	10	15.5	珪	G-I a	1358	片面
第257図-10	床面	66	64	34	193	チャ	L-I b2	348	S-3

第98号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第259図-11	床面	56	57	18	54.6	珪	G-I a	1379	両面 S-2
第259図-12	床面	30	14	7	2.0	珪	A-IIc	333	S-3
第259図-13	床面	39	28	8	6.4	珪	E	624	S-13
第259図-14	床面	41	14	6	1.8	珪	A-IIc	336	S-14
第259図-15	床面	28	16	4	1.3	珪	A-I a	334	S-4
第260図-16	床面	51	45	15	34.4	珪	G-I b	1381	両面 S-10
第260図-17	床面	28	16	4	1.3	珪	A-I a	335	S-4
第260図-18	フク土	25	10	6	1.2	珪	C-II	572	
第260図-19	フク土	27	22	9	5.5	玉珪	F	660	
第260図-20	フク土	25	17	5	1.5	珪	C-III	571	
第260図-21	フク土	36	20	9	6.4	珪	G-I b	1385	両面
第260図-22	床面	24.4	9.8	7.0	1930	安	L-II d	359	S-16
第260図-23	床面	53	40.5	25	66.5	安	L-I d	357	S-1
第260図-24	床直	(373)	256	111	(13300)	安	N-I 3	721	S-18
第260図-25	炉	335	240	90	10500	安	N-II	722	S-17
第260図-26	床面	(91)	(95)	43	(380)	砂 (凝灰質)	N-I 1b	719	S-7

第99号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第262図-3	床面	(26)	16	6	(1.5)	玉	A-IIb	339	S-1
第262図-4	床面	35	15	5	1.6	珪	A-IIc	338	S-1
第262図-5	フク土	36	23	9	7.5	珪	G-Ia	1390	両面
第262図-6	床直	33	46	12	14.6	珪	G-II	1389	S-4
第262図-7	フク土	355	184	29	2,440	珪	N-I1b	3612	S-1
第262図-8	床面	(71)	(65)	31	(140)	珪	N-I1b	723	S-3
第262図-9	フク土	74	80	35	274	安	L-IIc	3525	

第100号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第264図-10	床面	115	46.5	32.5	276	安	L-IIc	362	S-2
第264図-11	フク土	31	15	7	2.1	玉珪	A-IIc	340	
第264図-12	フク土	20	25	9	3.3	珪	G-Ib	1395	片面
第264図-13	フク土	42	22	9	7.8	珪	G-Ia	1392	両面
第264図-14	床面	97	24	16	43.5	頁	R-VI	8	C-3
第264図-15	床面	62	15	18	23.5	頁	R-VI	9	C-1

第101号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第266図-11	フク土	(39)	(13)	6	(2.5)	珪	A-IIc	7045	
第266図-12	フク土	28	15	6	1.8	珪	A-IIb	7043	S-3
第266図-13	フク土	55	10	8	6.7	玉珪	B-II	7108	
第266図-14	フク土	27	14	8	1.7	玉珪	C-I	573	S-1
第266図-15	フク土	34	10	7	2.0	珪	C-II	574	S-1
第266図-16	フク土	18	10	6	1.1	鉄石	C-II	7141	
第266図-17	フク土	25	36	7	7.0	珪	F	7185	
第266図-18	フク土	22	14	5	1.5	玉珪	G-Ib	7322	両面S-3
第266図-19	フク土	52	30	7	12.9	珪	G-II	7471	極浅P-4
第266図-20	フク土	27	21	6	3.5	玉珪	G-Ia	1396	極浅1/2
第266図-21	フク土	38	22	9	6.1	珪	G-Ib	1398	両面
第266図-22	フク土	(42)	(23)	(16)	(20.8)	緑細凝	I-I5	3677	
第266図-23	フク土	(164)	(128)	66	(700)	凝	N-I1a	3614	

第102号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第269図-1	床面	26	12	6	1.2	珪	A-IIc	344	S-26

第269図-2	床面	22	15	5	0.9	珪	A-IIb	345	S-34
第269図-3	床面	(19)	14	5	(1.0)	玉	A-IIc	347	S-68
第269図-4	床面	(22)	14	4	(0.8)	玉珪	A-IIb	341	S-3
第269図-5	床面	25	12	5	1.0	玉珪	A-IIb	346	S-58
第269図-6	床面	(34)	15	7	(2.4)	珪	A-IIc	343	S-25
第269図-7	床面	38	14	7	2.4	珪	A-IIc	342	S-21
第269図-8	床面	38	18	6	4.0	珪	E-I	625	S-33
第269図-9	床面	52	20	10	11.8	珪	B-I	512	
第269図-10	床面	(28)	(27)	(8)	(7.7)	珪	G-Ia	511	両面S-5
第269図-11	床面	39	12	9	2.1	珪	C-II	575	S-67
第269図-12	床面	33	26	13	4.0	珪	G-Ib	1409	片面S-69
第269図-13	床面	92	26	14	15.8	珪	G-Ia	627	床面S-57
第269図-14	床面	31	11	9	2.4	玉珪	G-II	1405	S-24
第269図-15	フク土	166	93	48	84.0	軽	P	78	C-1
第269図-16	床面	(99)	(70)	95	(819)	流	Q-Ib	819	S-72
第269図-17	フク土	75	44	41	143	砂	Q-II	10	S-25
第270図-18	床面	35	25	5	4.0	玉	G-Ia	1404	両面S-23
第270図-19	床面	49	64	36	168	チャ	L-Ib2	368	S-10
第270図-20	床面	(148)	(134)	59	(1600)	安	N-I3	725	S-54
第270図-21	床面	(102)	159	44	(870)	安	N-I3	724	S-52
第270図-22	床直	30	13	5	0.9	安	A-IIc	348	S-15
第270図-23	床直	19	15	3	0.6	安	A-Ia	350	S-19
第270図-24	床直	24	(11)	3	(0.6)	玉	A-Ia	349	S-16
第270図-25	床直	38	18	7	5.8	玉	E	626	S-49
第270図-26	床直	49	33	11	16.6	珪	G-Ib	1420	S-46
第270図-27	床直	73	39	10	29.9	珪	G-Ia	1414	S-13
第270図-28	床直	66	53	30	79.6	珪	G-Ia	1413	S-12
第270図-29	床直	64	18	7.5	14	ホ	I-I3a	887	S-43
第271図-30	床面	(25)	(29.5)	(4)	(4)	粘	I-I3a	886	S-37
第271図-31	床直	55	59	51	226	安	L-Ib1	377	S-28
第271図-32	フク土	49	13	6	3.2	珪	A-I d	7090	
第271図-33	フク土	42	18	4	1.9	玉	A-Ia	7089	S-7
第271図-34	フク土	28	13	4	1.3	玉珪	A-IIc	7092	
第271図-35	フク土	35	14	8	3.0	珪	C-II	7149	
第271図-36	フク土	29	18	7	3.9	珪	F	662	
第271図-37	フク土	21	17	6	2.1	珪	F	661	
第271図-38	フク土	(25)	(16)	7	(3.1)	珪	F	7187	
第271図-39	フク土	(35)	(23)	(4)	(2.9)	珪	D-I	7163	
第271図-40	フク土	38	28	13	12.7	珪	G-Ia	1424	両面
第271図-41	フク土	32	25	8	6.4	珪	G-Ib	7434	両面

第271図-42	フク土	46	27	14	12.3	珪	G-I a	7442	両面檜の末製品
第271図-43	フク土	40	30	15	18.1	珪	G-I a	1423	両面
第272図-44	フク土	84	31	19	78	安	L-I c	3570	
第272図-45	フク土	90	32	19	72.5	安	L-I c	3568	
第272図-46	フク土	58	52.5	25	110	チャ	L-I d	3574	S-5
第272図-47	フク土	10.9	67	34	294	安	L-IIIb	3565	S-14
第272図-48	フク土	(74)	32	19	(63.5)	安	L-I d	3569	
第272図-49	フク土	102	55	28	165.5	安	L-IIc	3562	S-11
第272図-50	フク土	113	55.5	36	274.5	安	L-IIIb	3567	
第272図-51	フク土	392	326	100	18500	安	N-II	764	S-9
第272図-52	フク土	(270)	24	56	(1790)	凝	N-I 1a	727	S-14
第272図-53	フク土	(106)	(75)	32	(310)	安	N-I 1b	3627	S-8
第273図-54	フク土	61	32	13	24.1	珪	G-I a	7437	両面檜の末製品？
第273図-55	フク土	34	20	8	6.4	珪	G-I a	1427	両面石檜の欠損品？
第273図-56	フク土	58	19	14	8.9	珪	G-II	1422	極浅
第273図-57	フク土	30	34	8	5.8	珪	G-I b	7456	片面
第273図-58	フク土	51	23	6	8.4	珪	G-I b	7427	
第273図-59	フク土	37	21	7	3.9	珪	G-I b	7450	両面
第273図-60	フク土	39	21	6	3.3	珪	G-I b	7449	片面
第273図-61	フク土	(42)	28	11	(15.5)	緑ホ	I-I 1a	3693	
第273図-62	フク土	(68)	(20)	(8.5)	(13.5)	緑ホ	I-I 5	3692	
第273図-63	フク土	(71)	(30)	(8)	(19.5)	ホ	I-I 5	3694	
第273図-64	フク土	(91)	67	50	(464)	閃	L-I a3	3559	S-2 (半損)
第273図-65	フク土	93	72	28	274.5	安	L-IVb	3560	S-8

#### 第104号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第275図-1	フク土	14	13	3	0.3	珪	A-I b	223	S-41
第275図-2	フク土	26	22	9	4.0	玉珪	C-III	555	S-41

#### 第105号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第277図-7	フク土	(23)	14	4	(1.2)	珪	A-IIb	7021	S-114
第277図-8	フク土	34	26	12	7.8	珪	C-III	576	
第277図-9	フク土	301.5	59	45	1600	安	Q-I b	820	

#### 第107号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第280図-1	フク土	(50)	16	6	(4.2)	珪	A-IIc	7046	

第280図-2	フク土	35	10	8	2.7	玉珪	C-II	7142	
第280図-3	フク土	28	9	5	1.1	珪	C-I	7143	
第280図-4	フク土	30	31	6	5.5	珪	G-I a	1443	片面
第280図-5	フク土	48	29	12	16.5	珪	G-I b	7332	片面
第280図-6	フク土	57	20	12	8.6	珪	G-II	1442	極浅

#### 第109号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第282図-1	床面	314	88	80	1900	凝	Q-I b	821	S-2
第282図-2	フク土	52	44	13	17.4	珪	G-II	7338	極浅

#### 第110号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第284図-10	床直	26	10	7	1.4	玉珪	A-IIc	353	S-13
第284図-11	フク土	27	10	7	1.5	玉珪	A-IIc	7050	
第284図-12	フク土	32	14	5	1.7	珪	A-IIb	357	
第284図-13	フク土	19	12	4	0.7	玉	A-IIc	356	S-12
第284図-14	フク土	43	16	6	3.2	珪	A-IIb	354	S-7
第284図-15	フク土	29	10	9	1.3	珪	C-II	577	S-10
第284図-16	フク土	52	26	12	15.4	珪	B-I	513	
第284図-17	フク土	48	18	13	8.7	珪	B-III	7109	S-4
第284図-18	フク土	35	17	8	7.3	珪	G-I b	1445	片面
第284図-19	フク土	45	31	12	14.1	珪	G-II	1447	極浅
第284図-20	フク土	24	25	11	6.2	玉珪	G-I a	1446	両面
第284図-21	フク土	34	26	10	11	緑細	I-I la	889	S-8

#### 第112号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第286図-1	フク土	36	15	6	2.3	珪	A-IIb	7094	
第286図-2	フク土	56	20	10	7.8	珪	G-I a	7341	片面
第286図-3	床面	93	34	12	37.0	珪	P-I a	514	S-1

#### 第113号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第288図-6	炉石	425	308	62	13,100	安	N-I 2	729	S-1
第288図-7	フク土	(81)	60	42	(304.5)	チャ	L-IIb2	386	

第115号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第290図-1	炉石	(170)	139	56	(1,910)	砂(凝灰質)	N-II	730	S-1
第290図-2	フク土	(129)	114	32	(360)	凝	N-I 1a	731	S-12

第116号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第294図-1	フク土	(37)	17	8	(3.9)	珪	A-IIc	359	
第294図-2	フク土	54	18	7	4.9	珪	D-Ic	594	
第294図-3	フク土	49	21	12	8.5	玉珪	G-Ib	1450	片面
第294図-4	床直	44	46	10	14.5	珪	G-II	1448	極浅スス付着S-3
第294図-5	フク土	129	102	80	146	軽	P	24	
第294図-6	フク土	(70)	37	12	(43.2)	頁	R-III	12	
第294図-7	フク土	90	58.5	20	183	ホ	L-I a1	388	
第294図-8	炉石	(191)	(127)	40	(780)	凝	N-I 1a	732 3577	S-12接
第294図-9	炉石	150	78	66	1200	安	Q-II	822	S-9
第294図-10	フク土	(209)	198	31	(910)	凝	N-I 1b	734	S-1

第121号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第296図-3	床面	40	24	13	8.6	珪	G-II	1455	S-5
第296図-4	床面	68	27	12	24.0	珪	B-I	516	S-3
第296図-5	床面	52	29	14	19.2	チャ	G-I a	1454	S-2両面

第122号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第297図-4	フク土	50	28	9	21	珪	G-I a	1458	S-4極浅
第297図-5	フク土	21	35	5	3.9	珪	G-II	1456	S-4両面
第297図-6	床面	98	75	47	567	安	L-I b 2	392	S-2

第126号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第302図-1	フク土	(35)	15	6	(1.5)	珪	A-IIa	365	S-2
第302図-2	フク土	30	11	6	1.6	珪	A-IIc	368	S-25
第302図-3	フク土	21	(15)	5	(1.1)	玉珪	A-I a	366	S-18
第302図-4	フク土	(39)	11	5	(2.0)	珪	A-IIc	369	アスファルト
第302図-5	フク土	(52)	25	9	(10.9)	珪	B-I ?	7111	

第302図-6	フク土	68	24	10	(17.5)	珪	D-I d	595	S-24
第302図-7	フク土	58	28	16	25.9	珪	E-II	632	
第302図-8	フク土	47	38	13	25.0	珪	E-II	631	
第302図-9	フク土	37	22	12	7.3	珪	E-I	629	S-5
第302図-10	フク土	52	17	7	5.2	珪	E-I	630	S-30
第302図-11	フク土	28	19	7	4.1	玉	F	664	S-18
第302図-12	フク土	34	58	13	23.4	珪	G-II	1470	S-4
第302図-13	フク土	36	25	9	8.1	珪	G-I a	1483	S-23片面
第303図-14	フク土	36	20	6	3.8	珪	G-I a	1493	S-29両面
第303図-15	フク土	44	18	6	4.4	珪	G-I b	1498	両面
第303図-16	フク土	33	27	7	5.5	珪	G-I a	1507	両面
第303図-17	Pit 2	65	26	10	14.7	珪	G-I b	7344	両面、光沢あり?
第303図-18	フク土	41	29	11	13.9	チャ	G-I b	1476	S-18両面
第303図-19	フク土	(19)	(29)	12	(5)	安	I-I 5	3679	
第303図-20	フク土	46	22	6	5	安	I-I 4	891	
第303図-21	フク土	94	49	21	177	安	I-I 1 a	3678	
第303図-22	フク土	122	75.5	60	791	安	L-IIIb	408	S-14
第303図-23	フク土	106	74	40	351	安	L-IIIa	406	S-10
第304図-24	フク土	116	52	42	336	安	L-IVb	402	S-6
第304図-25	フク土	123	56	35	338	安	L-IVa	416	S-28
第304図-26	フク土	124	66	54.5	615	安	L-IIIa	421	
第304図-27	フク土	98	48	21	14.5	砂	L-I a2	410	S-19
第304図-28	フク土	(81)	70	52	(309)	安	L-II b1	119	
第304図-29	フク土	93	89	58	304.5	安	L-IIIb	403	S-6
第304図-30	フク土	124	59.5	40	487	安	L-I a2	418	
第304図-31	フク土	68	76.5	57	452	安	L-I d	415	S-27
第304図-32	フク土	(77)	53	42	(196)	安	L-I d	412	S-23
第304図-33	フク土	(99)	69	38	(210)	安 (多孔隙)	N-I 1 a	737	

第127号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第307図-1	床直	34	14	5	1.9	珪	A-IIc	7052	S-1
第307図-2	床直	33	13	6	1.5	珪	A-IIc	7053	S-3
第307図-3	床直	(27)	16	5	(1.4)	玉髓	A-IIb	7054	S-10アスファルト 付着
第307図-4	床直	42	14	7	2.8	珪	A-IIb	7055	S-15
第307図-5	床直	(44)	14	7	(3.0)	珪	A-IIb	7056	S-16アスファルト 付着
第307図-6	5層	(31)	16	7	(2.1)	玉髓	A-IIb	7057	S-11アスファルト 付着
第307図-7	フク土	(33)	14	7	(2.7)	珪	A-IIc	7062	アスファルト付着
第307図-8	フク土	(105)	37	13	(61.6)	珪	B-III	7114	
第307図-9	床面	(41)	20	10	(8.6)	珪	B-II	7112	S-7

第307図-10	フク土	54	24	14	11.4	珪	C-II	7145	
第307図-11	フク土	48	23	11	10.4	珪	B-I	515	S-24
第307図-12	フク土	42	29	5	5.8	珪	G-I b	7350	片面・細部調整あり
第308図-13	フク土	38	27	7	9	珪	G-I a	7356	両面・尖頭状である
第308図-14	フク土	39	22	10	8.9	珪	G-I b	7346	S-18両面
第308図-15	フク土	49	19	9	9	安	I-I 3 a	3681	
第308図-16	床 直	55	15	9	11	安	I-I 3 a	3680	S-1
第308図-17	床 直	127	55	34	440	安	L-I a1	3530	S-5

#### 第128号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第312図-1	フク土	25	16	6	1.8	珪	A-I c?	371	
第312図-2	フク土	36	14	5	2.0	珪	A-II b	372	アスファルト付着
第312図-3	フク土	36	16	6	2.4	珪	A-II a	373	
第312図-4	フク土	29	11	5	0.9	玉珪	A-II c	374	
第312図-5	フク土	(25)	15	7	(1.3)	玉	A-II c	375	
第312図-6	フク土	42	29	13	13.5	珪	G-I b	1510	両面
第312図-7	フク土	50	23	11	11.1	珪	G-I a	1543	両面・片面1/3調整
第312図-8	フク土	41	33	9	8.0	珪	G-I a	1527	片面
第312図-9	フク土	23	40	9	8.9	珪	G-IV a	1513	再検討?原石面あり
第312図-10	フク土	53	32	10	16.0	珪	G-II	1519	極浅
第312図-11	フク土	43	23	10	10.8	珪	G-I a	1520	片面
第312図-12	フク土	(95)	49	26	(168)	安	I-I 1 a	893	
第312図-13	フク土	36	27	8	4.5	珪	G-I a	1539	片面

#### 第129号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第313図-1	フク土	(26)	(15)	(5)	(1.2)	珪	A-II c	376	S-7
第313図-2	フク土	28	11	7	1.7	鉄石	C-II	378	S-18
第313図-3	フク土	32	27	5	5.9	珪	G-I a	1546	両面、片面1/2調整
第313図-4	フク土	59	35	16	15.5	珪	G-II	1544	S-20極浅、スス付着
第313図-5	フク土	23	33	14	4.4	玉珪	G-II	1555	
第313図-6	3 層	139	68	29	466.5	安	L-I a2	3532	S-24
第313図-7	炉石	115	83.5	67	743	安	L-III b	431	S-9

#### 第132号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第317図-1	フク土	37	15	8	3.5	珪	A-II c	379	
第317図-2	フク土	33	21	10	6.1	珪	G-I a	1558	両面

第317図-3	フク土	43	22	10	11.7	珪	G-I b	1557	両面
第317図-4	フク土	50	34	11	14.6	珪	G-I b	1559	片面
第317図-5	フク土	47	27	9	95	珪	G-I a	1560	両面、スス付着

#### 第133号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第319図-1	床面	(41)	15	8	(4.6)	珪	C-II	578	S-9
第319図-2	フク土	137	80	53	884	安	L-I a 1	435	S-5
第319図-3	床面	136.5	57	41	521	砂	L-I a 1	434	S-7
第319図-4	床面	124	207	63	2,400	安	N-II	745	S-3
第319図-5	床面	126	58	34	303	安	L-IIIa	432	S-1

#### 第134号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第320図-5	床面	46	12	6	2.4	珪	A-IIc	380	S-15
第320図-6	フク土	(46)	12	4	(2.2)	珪	A-IIc	383	S-6 アスファルト付着
第320図-7	フク土	56	12	6	3.9	珪	A-IIc	382	S-2
第320図-8	フク土	35	13	5	1.9	珪	A-IIc	381	S-1
第320図-9	床面	55	27	10	16.4	珪	G-I b	1563	S-16両面
第320図-10	床面	38	18	7	5.9	珪	G-I a	1562	S-13両面
第320図-11	床直	52	47	45	146	安	L-I b 1	437	S-10

#### 第136号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第323図-6	床面	29	20	6	2.7	珪	A-IIc	360	S-4
第323図-7	床面	44	15	9	4.0	珪	A-IIc	7066	S-8
第323図-8	床面	38	13	7	2.1	珪	A-IIc	7065	S-5
第323図-9	床面	25	12	6	1.3	玉珪	A-I a	361	S-6
第323図-10	フク土	49	22	9	9.9	珪	B-I	517	
第323図-11	フク土	(23)	14	7	(1.8)	玉珪	A-IIc	384	
第323図-12	フク土	32	23	5	5	珪	G-I a	7364	両面
第323図-13	床面	21	33	6	2.5	珪	G-II	1566	極浅
第323図-14	フク土	243	187	141	4570	安	N-I 2	3618	S-1
第323図-15	床面	71	61	55	325	安	L-I b 1	438	S-8

#### 第137号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第325図-4	床面	19	12	4	0.8	玉	A-I a	386	S-2

第325図-5	床面	(34)	16	7	(2.5)	珪	A-IIc	387	S-5
第325図-6	床面	(40)	18	8	(3.7)	珪	A-IIc	385	S-1
第325図-7	床下	(61)	21	12	(12.9)	玉珪	C-II	579	S-8
第325図-8	床面	34	46	11	12.7	珪	G-Ib	1567	S-5片面
第325図-9	フク土	140.5	72	48	745	安	L-IIa1	439	S-4
第325図-10	炉石	(336)	(283)	103	(14300)	安	N-I3	746	S-6

#### 第138号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第328図-1	床面	(23)	(12)	(6)	(0.9)	珪	A	388	S-1
第328図-2	フク土	24	12	4	0.8	珪	AIIc	329	S-4
第328図-3	フク土	38	16	5	1.7	珪	AIIc	327	S-8アスファルト 付着
第328図-4	フク土	(44)	16	9	(4.7)	珪	AIIb	328	S-16アスファルト 付着
第328図-5	フク土	35	23	9	6.9	珪	G-Ia	1376	S-15両面
第328図-6	フク土	27	13	5	1.6	玉	CII	570	S-17
第328図-7	フク土	23	11	5	1.1	珪	CII	569	S-13
第328図-8	床面	23	14	8	2.2	玉珪	CIII	580	S-1
第328図-9	フク土	42	27	6	6.2	玉珪	E-I	621	S-6
第328図-10	フク土	45	20	3	5.8	珪	G-II	1375	S-11、極浅
第328図-11	床直	123	59	45	355	安	L-IVa	353	S-2
第328図-12	床面	69	61	42	232.5	チャ	L-Ib2	354	S-3
第328図-13	床面	58	51	47	184	安	L-Ib1	355	S-7
第328図-14	フク土	(154)	(110)	44	(440)	安(多孔質熔岩)	N-I1a	717	S-18
第328図-15	フク土	(98)	(119)	33	(370)	安(多孔質熔岩)	N-I1a	718	S-20

#### 第139号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第329図-1	フク土	34	55	9	11.1	珪	G-Ia	1677	両面
第329図-2	フク土	38	49	11	20.6	珪	G-II	1567	S-2極浅
第329図-3	フク土	37	35	12	20.4	チャ	G-Ia	1570	S-3両面

#### 第142号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第331図-6	フク土	20	33	8	2.1	珪	G-Ib	1571	片面

#### 第143号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第332図-4	フク土	239	181	81	5,600	安	N-II	750	S-11

第144号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第334図-1	床面	(58)	21	1	(18)	安	I-I 3a	894	S-1
第334図-2	床面	34	22	11	6.0	珪	G-I b	1573	S-3片面

第146号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第338図-1	フク土	(38)	15	6	(3.4)	珪	A-IIc	392	S-7
第338図-2	フク土	37	17	7	2.4	珪	A-IIc	391	S-4
第338図-3	フク土	32	(13)	9	(2.3)	珪	C-II	581	S-1
第338図-4	フク土	89	46	26	144	安	L-IVa	445	
第338図-5	フク土	112	93	46	557	安	L-IIIb	446	S-3
第338図-6	床面	138	51	43	466	安	L-IIb 1	449	S-8

第147号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第340図-1	床面	(33)	(13)	(9)	(3.6)	珪	A	393	S-6
第340図-2	フク土	36	18	10	6.2	珪	G-I a	1576	S-5
第340図-3	床面	19	28	9	3.6	玉珪	G-I b	1574	S-7両面
第340図-4	Pit 2	62	36	13	31.0	珪	G-I a	633	両面

第148号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第341図-1	床直	(133)	55	32	(380)	安	I-I a	895	S-3
第341図-2	フク土	32	27	10	11.8	珪	G-I a	1578	両面
第341図-3	フク土	29	26	10	6.3	珪	G-II	1577	極浅

第149号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第345図-1	フク土	46	15	7	3.7	珪	A-IIc	7072	S-8
第345図-2	フク土	33	13	5	1.4	珪	A-IIc	363	
第345図-3	フク土	46	13	5	1.9	珪	A-IIc	394	
第345図-4	フク土	32	17	8	2.9	珪	A-IIc	7071	S-7
第345図-5	フク土	43	17	7	3.2	珪	A-IIc	7069	S-3
第345図-6	フク土	(43)	17	7	(3.3)	珪	A-IIc	7074	S-12
第345図-7	フク土	71	12	12	6.4	珪	A	7115	S-15
第345図-8	フク土	45	(14)	9	(5.0)	鉄石英	B	7110	

第345図-9	フク土	26	24	12	8.7	玉珪	F	663	
第345図-10	フク土	29	18	8	3.8	珪	G-I a	1459	両面
第345図-11	フク土	51	24	11	10.4	珪	G-I b	1579	両面
第345図-12	フク土	45	38	10	13.0	珪	G-I a	7370	S-17両面片面1/4 ぐらいの調整
第345図-13	フク土	43	22	15	11.1	珪	G-II	1463	
第345図-14	フク土	61	36	11	16.4	チャ	G-II	1462	極浅
第346図-15	フク土	125	72	63	843	安	L-I a 1	393	
第346図-16	フク土	111	60	35	384	安	L-I a 3	394	
第346図-17	フク土	83	62	53.5	422.5	安	L-I d	3539	
第346図-18	フク土	117	60	46.5	526.5	安	L-I a 3	3537	S-9 (半分欠損)
第346図-19	フク土	110	67	40	413	安	L-II a 1	3536	S-4
第346図-20	フク土	(89)	52	45	(283)	流	Q-II	3657	
第346図-21	床直	(96)	71	47	(536)	安	Q-I b	3656	S-16
第346図-22	フク土	(155)	60	55.5	(703)	流	Q-II b	3655	S-10

#### 第150号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第348図-5	炉	121	70	35	460	安	L-I a 3	3540	

#### 第153号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第351図-6	フク土	39	18	8	3.7	珪	C-I	7146	

#### 第155号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第352図-6	フク土	38	35	11	11.6	珪	G-I b	7371	両面
第352図-7	フク土	(52)	(41)	(15)	(34)	安	I-I 5	3682	
第352図-8	フク土	85	80	44	405	安	L-II b	3541	

#### 第156号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第354図-1	フク土	37	32	12	17.2	珪	G-I a	7343	両面ベラの欠損品?
第354図-2	フク土	44	36	6	7.7	珪	G-I b	7372	片面
第354図-3	フク土	42	19	8	5.5	珪	G-I b	1465	片面
第354図-4	フク土	35	14	10	3.9	玉珪	G-I a	1466	両面

第157号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第362図-1	フク土	34	12	6	2.1	珪	A-IIa	395	S-13
第362図-2	フク土	38	16	6	2.7	珪	A-IIb	7076	S-19アスファルト 付着
第362図-3	フク土	42	16	8	4.2	珪	A-IIc	407	S-12
第362図-4	フク土	(46)	16	6	(3.8)	珪	A-IIc	398	
第362図-5	フク土	78	20	12	20.8	珪	B-I	518	
第362図-6	フク土	79	20	8	12.4	珪	D-Ic	7161	
第362図-7	フク土	(48)	14	7	(3.9)	珪	A-IIc	7079	アスファルト付着
第362図-8	フク土	41	17	11	6.2	玉珪	C-III	397	
第362図-9	フク土	37	23	8	6.7	珪	G-Ia	7388	両面ソクの檜の未 製品?
第362図-10	フク土	50	23	14	16.6	珪	G-Ia	7387	両面檜の未製品?
第362図-11	フク土	61	24	14	22.2	珪	G-II	1580	
第362図-12	フク土	(64)	19	15	(22.9)	細凝	R-IV	13	炭化物付着
第363図-13	フク土	108	53	24	202	安	I-I1a	896	S-6
第363図-14	床 面	(86)	50	26	(183)	安	I-I1a	3683	S-20
第363図-15	フク土	(59)	47	32	(95)	安	I-I2	3685	
第363図-16	フク土	119	72.5	41.5	427	安	L-IIIb	3543	S-16
第363図-17	フク土	99	72	51	494	チャ	L-IVa	456	S-7
第363図-18	フク土	112	68	55	636	安	L-IIc	458	S-9
第363図-19	フク土	131	77	46.5	608	安	L-IIa1	454	S-4
第363図-20	フク土	72	57	29	158	チャ	L-Ib2	457	S-8
第363図-21	床 直	120	95	61	984	安	L-IIa2	451	S-1
第364図-22	床 面	332	190	82	6000	安	N-I3	754	S-18、753(157H) 接合
第364図-23	床 直	182	293	96	6860	安	N-II	752	S-10
第364図-24	床 直	355	138	128	8700	安	Q-II	824	S-2

第159号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第366図-6	フク土	(46)	14	7	(3.4)	珪	A-Ia	7080	
第366図-7	4 層	127	41	23	193	安	I-I2	3686	S-1
第366図-8	床 直	157	162	83	3340	安	N-II	3624	S-8

第160号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第368図-5	床 直	42	15	8	3.6	珪	A-IIc	399	S-18
第368図-6	フク土	47	22	14	9.1	珪	B-III	7116	
第368図-7	床 直	48	29	11	16.3	珪	G-Ib	7396	S-9 両面

第368図- 8	フク土	509	200	150	20900	安	Q-II	825	S-11
第368図- 9	フク土	35	32	12	13.4	珪	F	7395	
第368図-10	フク土	24	38	9	7.2	珪	G-IVb	7397	S-12片面わずかに調整
第368図-11	フク土	39	38	11	16.8	珪	G-I a	7394	S-6両面縁辺部つぶれ

#### 第161号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第369図- 1	Pit 8 最下部	(30)	14	6	(2.2)	珪	A-IIc	400	

#### 第162号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第371図- 3	フク土	46	27	8	6.5	珪	E-I	7177	
第371図- 4	床直	128	76	26.5	421	安	L-I a 3	3548	S- 1
第371図- 5	床直	237	285	63	6050	安	N-I 3	755	S- 2

#### 第163号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第373図-11	フク土	53	39	12	26.3	珪	G-II	1583	S- 1極浅
第373図-12	フク土	128	56	46	490	安	L-I a 1	460	S- 4

#### 第164号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第374図- 3	床面	134	49	47	772	安	L-I a 1	461	S- 1

#### 第169号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第379図-14	Pit 2	41	19	9	5.5	珪	A-I c	404	
第379図-15	床直	35	(17)	13	(4.3)	玉珪	A-I d	402	S- 8
第379図-16	フク土	19	11	3	0.6	珪	C-I	582	
第379図-17	フク土	23	15	7	2.5	玉珪	C-III	583	片面
第379図-18	フク土	50	21	8	7.4	珪	G-I b	1592	
第379図-19	床直	67	22	11	12.8	珪	E-I	634	S- 7
第380図-20	フク土	27	33	8	5.3	珪	G-II	1598	極浅
第380図-21	Pit 3	46	31	9	8.3	珪	G-II	1591	極浅
第380図-22	フク土	40	43	13	25.4	珪	G-II	1594	極浅
第380図-23	Pit 1	43	25	9	10.1	珪	G-I a	1588	両面
第380図-24	床面	113	36	24	122	砂	Q	14	S-14
第380図-25	フク土	(55)	40	21	(68)	安	I-I 5	897	

第380図-26	フク土	136	74	35	623	安	L-I a 2	466	
第380図-27	床 直	211	104	34	640	安	N-I 1a	758	S-12
第380図-28	床 面	(61)	50	20	(4.1)	軽	P	30	C-1、有孔

#### 第173号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第384図-1	フク土	20	14	5	1.2	玉珪	A-I a	406	
第384図-2	フク土	26	19	9	3.3	珪	G-I b	1608	片面
第384図-3	フク土	53	38	11	16.2	珪	G-I b	1609	両面
第384図-4	床 直	149	63	32	387	安	L-IVa	472	S-3
第384図-5	フク土	127	57	30	351	安	L-I a 2	473	S-7
第384図-6	フク土	256	205	88	6730	安	N-I 1c	762	S-5
第384図-7	炉	(174)	(185)	59	(2740)	安	N-I 3	760	S-9、S-10

#### 第174号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第388図-1	フク土	(34)	14	7	(3.0)	珪	A	7087	
第388図-2	フク土	(26)	25	10	(4.7)	珪	C-III	7148	
第388図-3	床 面	26	22	7	2.7	珪	G-I a	1610	S-5 両面
第388図-4	フク土	65	28	8	11.9	珪	G-I b	7419	檜・ベラの未製品?
第388図-5	フク土	63	19	5	4.5	珪	G-I b	7421	
第388図-6	フク土	35	19	5	2.1	珪	G-I b	7418	ドリル
第388図-7	フク土	159	49	35	420	安	I-I 2	3690	S-13
第388図-8	床 直	125	51.5	28	268	安	I-I 1a	3684 3689	S-8
第388図-9	フク土	121	61.5	51.5	578.5	安	L-I a 3	3556	S-2
第388図-10	床 面	138	71	46	696.5	安	L-I a 3	3552	S-11
第389図-11	フク土	72.5	58	57.5	311	安	L-I a 1	3557	S-9
第389図-12	床 直	112.5	71.5	41	536	安	L-I a 1	3554	S-5
第389図-13	床 直	131	90	56	918.5	安	L-II a 1	3555	S-6
第389図-14	床 面直	123	78	30.5	475	安	L-I a 4	3553	S-12 S-7 (北海道式石冠)
第389図-15	フク土	141	65	37	550	安	L-I a 3	3558	

#### 第176号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第391図-6	フク土	(72)	50	21	(129)	安	I-I 1a	3691	S-1
第391図-7	フク土	82	86	30	153	安	N-II	3626	S-2

## 第177号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第393図-1	フク土	61	29	8	11.0	珪	G-II	1612	極浅
第393図-2	フク土	21	22	6	2.4	珪	F	665	

## 第183号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第400図-1	フク土	78	30	23	45.5	流	B-III	10801	S-3

## 第184号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第401図-1	フク土	47	36	8	108	珪	G-II	11504	極浅

## 第186号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第405図-1	フク土	33	19	8	6.5	珪	G-I b	11515	片面
第405図-2	フク土	39	25	6	3.8	珪	G-II	11516	

## 第187号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第407図-1	2層	40	25	11	10.3	珪	G-I a	11517	S-8両面
第407図-2	1層	154	68	36	651	安	L-I a 1	4009	S-25

## 第188号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第412図-1	フク土	(25)	15	3	(1.2)	珪	A-I c	10008	S-25
第412図-2	床面	34	18	11	4.0	珪	A-II c	10006	S-29
第412図-3	フク土	47	21	9	7.6	珪	A-II c	10013	
第412図-4	フク土	37	28	10	7.6	玉珪	G-I a	10806	両面、ドリル?
第412図-5	フク土	80	24	13	28.4	珪	B-II	11011	S-4
第412図-6	フク土	77	27	12	21.1	流	B-I	10804	S-7
第412図-7	床面	47	24	6	6.3	珪	D-I e	11201	S-28
第412図-8	フク土	45	29	6	7.4	珪	D-I e	11202	S-10
第412図-9	床面	52	18	10	10.0	玉珪	G-I a	10803	両面、ペラの未製品
第412図-10	フク土	87	34	18	47.9	流	B-III	10805	
第412図-11	フク土	67	30	10	27.5	安	E-II	11364	S-3
第412図-12	床面	26	28	9	6.8	珪	G-II	11543	S-30、極浅

第413図-13	フク土	43	30	11	16.6	珪	G-I a	10808	両面
第413図-14	床 面	41	20	9	7.1	珪	G-I a	11542	S-14両面
第413図-15	フク土	29	40	7	7.5	珪	G-I b	11531	片面
第413図-16	フク土	26	15	6	1.6	珪	G-I a	11524	両面
第413図-17	フク土	42	33	9	13.5	珪	G-I b	11518	S-25片面
第413図-18	フク土	54	32	7	9.4	珪	G-II	11535	極浅
第413図-19	床 面	(150)	80	51	(714)	安	L-I a1	4015	S-27
第413図-20	床 直	170	57	51	411	安	L-IIIa	4017	S-26
第413図-21	床 面	134	55	33	288	安	I-II	4801	S-21
第413図-22	床 面	366	229	92	13000	安	N-II	5004	S-22
第413図-23	フク土	429	(130)	(131)	(10000)	安	Q-I b	5401	CR-129II 層 188H、276 H、381Hと接合

第189号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第416図-1	床 直	37	47	8	18.1	珪	G-II	11544	S-9極浅
第416図-2	床 直	37	34	9	9.2	珪	G-I b	11545	S-25片面
第416図-3	床 直	57	46	28	64	珪	G-II	11546	S-21極浅
第416図-4	床 面	52	24	7	8.7	珪	G-I a	11203	S-10両面
第416図-5	床 面	87	17	7	12.2	珪	D-I d	11204	S-15
第416図-6	床 直	(118)	63	28	(364)	安	I-I 1 a	4803	S-27
第416図-7	床 直	(40)	37	15	(31)	安	I-I 1 a	4802	S-18

第190号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第422図-1	フク土 中位	21	(15)	5	(1.7)	珪	A-I c	10021	S-108
第422図-2	床 直	33	15	5	1.9	珪	A-II c	10016	S-20
第422図-3	床 直	34	14	8	3.1	珪	A-II c	10014	S-7
第422図-4	床 直	34	13	6	1.9	珪	A-II c	10015	S-8
第422図-5	フク土 中位	48	14	7	3.4	珪	A-II c	10019	S-79アスファルト 附着
第422図-6	フク土 中位	44	23	7	5.8	珪	D-I e	11205	S-52
第422図-7	床 直	88	28	14	32.0	珪	B-I	10811	S-55
第422図-8	床 直	(87)	27	13	(25.6)	珪	B-I	10810	S-17
第422図-9	フク土 中位	44	30	16	20.9	珪	G-I a	10812	S-69両面 ベラの欠損品
第422図-10	フク土 中位	35	23	9	6.5	玉	G-I a	11551	S-99両面
第422図-11	床 直	44	23	7	10.2	珪	G-I b	11548	S-18両面
第422図-12	床 直	39	43	7	13.4	珪	G-I b	11547	S-57片面
第422図-13	フク土	59	34	11	22.9	珪	G-I a	13174	両面
第422図-14	Pit 2	40	31	7	6.2	珪	G-I a	11553	両面
第423図-15	Pit 1	111	58.5	31	362	安	L-I a 2	4051	S-111

第423図-16	床直	88	50	17	138.5	安	L-I a 2	4034	S-67
第423図-17	フク土 上	54	69.5	31	200	安	L-I a 2	4038	S-25(半分欠損)
第423図-18	床直	98	59	31	286.0	安	L-I a 2	4033	S-63
第423図-19	床直	107	67.5	48	484.5	安	L-II a 1	4029	S-10
第423図-20	床面	89	55.5	36	22.3	安	L-III a	4026	S-41
第423図-21	床直	69	33	22	62	細凝	0	8	S-5
第423図-22	床直	(303)	185	(112)	(8100)	安	N-II	5010	S-1
第423図-23	床面	(304)	(272)	87	(10,000)	安	N-I 3	5009	S-40
第423図-24	床面	181	272	83	6260	安	N-II	5008	S-39

#### 第191号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第425図-5	フク土	19	21	7	1.8	珪	G-I b	11559	片面
第425図-6	床直	35	13	8	3.7	珪	A-II c ?	10026	S-5 アスファルト 付着
第425図-7	フク土	52	46	12	2.6	珪	G-I b	11558	両面
第425図-8	床直	132.5	80	57	817	安	L-II a 1	4053	S-6

#### 第192号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第427図-4	フク土	31	14	6	2.3	珪	A-II c	10028	アスファルト付着
第427図-5	床面	206	235	111	8400	安	N-I 3	5015	S-1

#### 第193号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第430図-1	フク土	34	13	6	1.8	珪	A-II c	10031	
第430図-2	フク土	34	14	8	2.9	珪	A-I d	10030	S-12
第430図-3	フク土	87	35	12	38.4	珪	B-I	10815	S-14
第430図-4	床直	(98)	24	15	(31.2)	珪	B-I	10813	S-7
第430図-5	床直	68	25	11	18.7	珪	B-I	10814	S-9
第430図-6	フク土	37	16	9	4.6	珪	G-II	11570	
第430図-7	フク土	26	32	18	4.9	珪	G-I a	11567	両面
第430図-8	フク土	21	19	7	2.2	玉	G-I a	11566	両面
第430図-9	フク土	(86)	56	16	(146)	安	I-I 1 a	4806	S-13
第430図-10	床直	39	41	10	13.2	珪	G-II	11564	S-6、極浅

#### 第197号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第437図-1	フク土	34	16	7	2.7	珪	A-II c	10032	S-4

第437図-2	フク土	54	22	7	8.7	珪	B-I	10816	S-9
第437図-3	フク土	53	26	9	10.5	珪	B-II	10818	
第437図-4	フク土	58	27	9	11.4	珪	B-III	10817	S-10
第437図-5	フク土 上位	91	43	21	74.2	珪	E-II	11301	S-13
第437図-6	フク土	50	21	10	8.8	珪	G-I a	11572	S-2、両面、檜の未製品
第437図-7	フク土	46	31	10	12.9	珪	G-I a	11574	S-6、片面
第437図-8	フク土	71	73	74	522.5	安	L-I b 2	4057	S-11
第437図-9	フク土	49	44	12	13.9	珪	G-I b	11577	S-17、両面

#### 第201号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第442図-1	2層	37	14	7	3.4	珪	A-IIc	10033	
第442図-2	1層	44	12	6	2.5	珪	C-I	10034	S-3
第442図-3	1層	30	32	7	8.7	珪	G-II	11581	S-4
第442図-4	フク土	29	19	8	4.6	珪	G-II	11583	S-33、極浅
第442図-5	2層 確認面	98	43	23	160	安	I-I la	4809	S-35
第442図-6	フク土	94.5	48	28	235	安	L-I a 2	4061	
第442図-7	東壁際	428	122	109	4400	安	Q-I a	5403	
第442図-8	2層	22	15	9	2.8	硬玉	R-1	7	
第442図-9	フク土 上位	77	26	13	26.4	珪	B-I	10820	
第442図-10							E		

#### 第202号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第445図-33	フク土	29	14	7	1.9	珪	A-IIc	10037	S-8
第445図-34	フク土	26	14	3	0.7	珪	A-I a	10041	S-24
第445図-35	フク土	32	12	6	1.7	珪	A-I d	10045	S-73
第445図-36	フク土	31	21	8	5.5	玉	A-I c	10047	S-95
第446図-37	フク土	(41)	(22)	(10)	(12.4)	珪	B-I	10822	S-103
第446図-38	フク土	31	12	5	13	珪	C-II	11101	S-56
第446図-39	フク土	51	28	16	15.7	玉珪	C-II	11103	
第446図-40	フク土	33	18	10	5.6	玉珪	C-IV	11102	
第446図-41	フク土	50	15	10	7.2	珪	E-I	11303	S-42
第446図-42	フク土	29	18	11	5.7	珪	F	11401	S-70
第446図-43	フク土	29	19	7	4.9	珪	F	11402	S-72
第446図-44	フク土	32	25	13	8.9	珪	F	11405	S-73
第446図-45	フク土	33	17	7	3.9	珪	F	11403	S-72
第446図-46	フク土	24	20	9	4.1	珪	F	11406	S-78
第446図-47	フク土	25	15	7	3.7	珪	F	11404	S-72
第446図-48	フク土	22	26	12	7.8	珪	F	11407	S-93

第446図-49	フク土	24	20	8	3.4	珪	F	11409	
第446図-50	フク土	32	21	13	7.1	珪	F	11408	
第446図-51	フク土	32	19	12	4.8	珪	G-I a	10046	両面S-93
第446図-52	フク土	34	22	10	6.9	珪	G-I a	10821	両面ソクの欠損品？
第446図-53	フク土	33	37	6	7.6	珪	G-I b	11596	片面S-36
第447図-54	フク土	46	50	19	47	珪	G-I b	11603	両面S-51
第447図-55	フク土	43	28	14	13.1	珪	G-I b	11586	片面S-1
第447図-56	フク土	32	20	7	5.5	珪	G-IVa	11599	先端欠損バルブありS-42
第447図-57	フク土	25	22	8	4	珪	G-I a	11606	両面定形の欠損品？S-78
第447図-58	フク土	38	26	11	9.1	珪	G-I b	11615	両面
第447図-59	フク土	28	23	7	4.9	玉珪	G-I a	11594	両面S-33
第447図-60	フク土	45	27	12	11.7	珪	G-II	11590	S-11
第447図-61	フク土	48	25	11	16	緑細凝	I-I 4	4812	S-69
第447図-62	フク土	71	36	9	34.5	緑細凝	I-I la	4814	
第447図-63	フク土	(54)	48.5	14	(47)	緑細凝	I-I la	4810	S-35
第447図-64	フク土	(64)	32.5	29	(142)	安	L-I c	4070	
第448図-65	フク土	170	52	33	294	安	L-IIa1	4065	S-83
第448図-66	フク土	91	70	54	494	安	L-IIa1	4066	S-85
第448図-67	フク土	(96)	62	43	(337)	流	Q-I b	5406	S-19
第448図-68	フク土	(116)	71.5	67	(857)	安	Q-II	5407	S-31
第448図-69	床直	512	183	140	29600	流	Q-I b	5404	S-107
第448図-70	床直	240	259	91	9000	安	N-I 3	5023	S-111
第448図-71	床面	285	167	114	8000	安	N-II	5022	S-108
第448図-72	フク土	191	168	78	3620	安	N-II	5026	S-109

#### 第203号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第450図-1	フク土	40	13	7	2.6	珪	A-IIc	10050	S-3、アスファルト付着
第450図-2	フク土	57	36	9	2.4	珪	G-I b	11618	S-2 両面
第450図-3	フク土	31	30	5	4.7	珪	G-I b	11619	片面

#### 第204号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第452図-1	7層	(163)	(163)	70	(2320)	安	N-II	5027	S-5

第206号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第454図-1	フク土	26	36	10	8	珪	G-I b	11623	S-3片面
第454図-2	フク土	151	42	27	273	安	I-I 2	4815	S-2 S-4

第209号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第460図-1	2層	57	24	11	12.4	珪	C-III	11004	

第210号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第464図-1	床面	36	13	6	2.0	珪	A-IIc	10052	S-36
第464図-2	床面	42	13	9	3.6	玉	A-IIc	10053	S-37
第464図-3	床面	46	15	8	3.9	珪	A-IIc	10055	S-52
第464図-4	5層	45	18	8	5.2	珪	A-IIc	10823	S-38
第464図-5	1層	27	18	7	2.2	珪	A-I a	10058	S-43
第464図-6	フク土	27	20	8	3.8	珪	A-I b?	10064	
第464図-7	フク土	56	19	10	8.4	珪	B-I	10826	S-28
第464図-8	フク土	50	23	8	6.2	珪	B-I	10825	S-20
第464図-9	フク土	31	14	6	2.1	珪	C-III	10061	S-1
第464図-10	1層	(33)	24	13	(6.8)	玉珪	C-II	11104	S-41
第464図-11	フク土	45	23	11	35.5	珪	E-I	11305	S-2
第464図-12	床面	65	32	16	11.6	珪	E-II	11304	S-30
第465図-13	1層	52	37	18	12.8	珪	E-I	11365	
第465図-14	フク土	27	17	13	5.3	珪	F	11410	
第465図-15	床面	90	38	17	62	珪	G-I a	11624	S-14、両面、檜の未製品?
第465図-16	フク土	50	32	9	15.3	珪	G-I a	11628	S-22、両面
第465図-17	3層	29	21	6	3.1	珪	G-I a	10824	S-46、両面、ドリル?
第465図-18	フク土	33	25	13	13.4	珪	G-I a	11641	片面、ベラの欠損品?
第465図-19	フク土	28	21	8	5.3	珪	G-I a	11638	両面、檜の欠損品?
第465図-20	床面	(44)	51	16	(34)	緑凝	I-I 1 a	4816	S-56
第465図-21	フク土	(64)	46	20	(93)	緑ホ	I-I 1 a	4818	S-25
第465図-22	1層	(29)	26	11	(14)	緑凝	I-I 1 a	4817	S-48
第466図-23	床面	137	55	38	466	安	L-I a 1	4094	S-33
第466図-24	フク土	175	81.5	43	1056	安	L-IIc	4092	S-53
第466図-25	フク土	176	88	43	909.5	安	L-I a 3	4087	S-27
第466図-26	フク土	72	35	15	98	安	L-I a 1	4088	
第466図-27	フク土	68	41	35	170	チャ	L-I b 2	4086	S-18

第466図-28	フク土	119	73	31	377	安	L-IIa 2	4084	S-9
第466図-29	フク土	(68)	57	23	(126)	安	L-IIIb	4090	
第467図-30	フク土	96	184	32	860	安	N-I 3	5032	S-5
第467図-31	フク土	115	(53)	18	(120)	砂	N-III	5033	S-26、ト石
第467図-32	5 層	554	139	145	18900	流	Q-I b	5408	S-54
第467図-35	5 層	(33)	(27)	5	(4.3)	粘	R-III	16	X-4

#### 第211号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第469図-3	フク土	35	19	4	28	珪	F	11648	S-1
第469図-4	床面	48	31	17	24.4	珪	F	11647	S-4
第469図-5	床面	(218)	152	39	(1900)	安	N-I 4	5034	
第469図-6	床直	(90)	126	51	(960)	安	N-II	5035	
第469図-7	フク土	(301)	94	73.5	(3300)	流	Q	5409	

#### 第212号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第471図-3	床直	35	10	5	1.0	珪	A-IIc	10065	S-3
第471図-4	床直	34	15	5	3.9	珪	A-IIc	10066	S-4
第471図-5	床直	29	11	0.5	1.4	玉	C-II	11170	S-3
第471図-6	床直	31	17	10	3.7	珪	G-II	11651	S-2
第471図-7	床直	42	26	10	6.3	珪	G-I b	11650	S-2、片面
第471図-8	床直	62	45	19	34.5	珪	G-III	11653	S-7、極浅
第471図-9	床直	53	21	10	19	緑凝	I-I 3 b	4819	S-4

#### 第214号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第474図-1	フク土	41	13	7	3.1	珪	A-I d	10068	S-1
第474図-2	フク土	72	27	11	22.4	珪	B	10827	S-6
第474図-3	フク土	61	26	11	16.4	珪	B-I	10828	
第474図-4	フク土	34	22	11	6.1	珪	G-I b	11656	S-8、両面
第474図-5	フク土	22	37	10	8.2	珪	G-IVb	11655	S-1
第474図-6	フク土	32	21	8	3.2	珪	G-I a	11660	両面、檜の刃部
第474図-7	フク土	63	69	29	24.4	軽	P	33	

#### 第216号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第488図-1	床面	34	15	7	2.6	珪	A-IIc	10069	S-147、アスファルト附着
第488図-2	床直	43	15	6	2.8	珪	A-IIc	10070	S-148、アスファルト附着

第488図-3	4層	(48)	14	7	(3.5)	珪	A-IIc	10072	S-62、アスファルト付着
第488図-4	フク土	(36)	15	7	(3.2)	珪	A-IIb	10076	アスファルト付着
第488図-5	4層	(61)	(27)	(14)	(23.6)	珪	B-II	10830	S-94
第488図-6	4層	98	30	9	31.0	珪	B-I	10829	S-94
第488図-7	炭化材上 面	72	26	10	18.7	珪	B-I	10832	S-128
第488図-8	フク土	(38)	(23)	(4)	(2.3)	珪	D-I e?	11206	
第488図-9	2層	26	18	10	4.8	珪	F	11411	S-20
第488図-10	4層	72	33	8	17.5	珪	E-IV	13191	S-61
第488図-11	4層	71	42	12	45.8	珪	E-II	11306	S-92
第489図-12	4層	86	41	21	65.0	珪	G-I a	11307	S-92、両面
第489図-13	2層	59	30	19	22	珪	G-I a	11673	S-74両面、ペラの欠損品?
第489図-14	4層	45	26	12	12.6	珪	G-I a	11666	S-58、片面
第489図-15	床直	55	40	17	40.0	鉄石	G-II	11663	S-131、極浅
第489図-16	フク土	40	54	13	25.3	珪	G-I a	11682	片面
第489図-17	2層	37	19	8	7.2	珪	G-I a	11672	S-30、両面、ペラの未製品
第489図-18	4層	45	27	8	8.1	珪	G-I a	11665	S-19、両面
第489図-19	4層	122	(43)	27	(196)	緑凝	I-I 1 a	4821	S-112
第489図-20	床直	(77)	26	13	(37)	緑ホ	I-I 1 a	4820	S-137
第490図-21	床面	130	89	36	674	安	L-I a 3	4103	S-138、Kの可能性あり?
第490図-22	床面	156.5	64.5	41	633	安	L-I a 2	4104	S-140
第490図-23	4層	(134)	59.5	34	(428.5)	安	L-I a 3	4108	S-57
第490図-24	4層	104.5	36	19	137.5	安	L-I d	4112	S-116
第490図-25	4層	113	63.5	23	282.5	安	L-I a 1	4110	S-93
第490図-26	2層	(74.5)	71	47	(414)	安	L-I a 3	4118	S-36
第490図-27	カン 三面	90	66.5	34	380.5	安	L-I a 3	4123	S-51
第490図-28	床面	(62)	67	33	(222)	安	L-I a 2	4105	S-141
第491図-29	4層	244	137	33	820	安	N-I 3	5044	S-98
第491図-30	ピット 22下部	252	(224)	69	(6840)	安	N-I 3	5050	
第491図-31	4層	116	101	23	380	安	N-I 3	5042	S-55
第491図-32	6層	164	118	30	660	凝	N-III	5040	S-84
第491図-33	床面	(457)	379	130	(26000)	安	N-I 2	5037	S-130
第491図-34	フク土	341	365	171	14100	安	N-I 2	5038	S-44
第491図-35	3層	(276)	(130)	98	(4030)	安	N-I 3	5045	S-39
第491図-36	1層	161	142	97	3500	安	Q-II	5415	S-27
第491図-37	4層	(151)	(90)	70	(1200)	安	Q-I b	5411	S-114
第491図-38	4層	114.5	46	40	344	流	Q-I b	5412	S-111
第492図-39	4層	109.5	95	79	1200	安	Q-II	5410	S-110
第492図-40	4層	69	52	17	38.9	凝	R-III	17	S-91
第492図-41	フク土 上位	52.5	84	43	308	安	L-I a 3	4121	北海道式石冠(半分欠損)

第218号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第494図-1	フク土	(50)	22	14	(11.5)	珪	B不明	10833	S-1
第494図-2	フク土	(33)	14	11	(3.9)	珪	C-II	11106	S-2
第494図-3	フク土	42	22	5	3.7	珪	C-III	11107	S-5
第494図-4	フク土	74	28	10	15.5	珪	G-II	11700	S-16、極浅
第494図-5	床面	44	25	9	7.9	珪	G-Ia	13177	両面
第494図-6	フク土	36	18	9	4.3	珪	G-Ia	10082	両面、石鉄の未製品
第494図-7	フク土	36	25	6	5.5	珪	G-Ia	11704	片面
第494図-8	フク土	40	39	11	14	珪	G-Ib	11699	片面
第494図-9	フク土	27	28	6	3.4	珪	G-Ib	11702	片面
第494図-10	フク土	(60)	50	22	(107)	輝緑岩	I-I1a	4823	S-4

第220号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第497図-1	フク土	26	15	4	1.2	珪	A-Ia	10084	A-21
第497図-2	フク土	35	12	6	2.0	珪	C-II	11108	S-25
第497図-3	フク土	20	48	9	7.1	珪	G-Ib	11708	S-5、両面
第497図-4	フク土	102	46	23	130.5	細凝	G-Ib	11709	S-15、両面
第497図-5	フク土	49	22	8	6.1	珪	G-Ia	11714	S-20両面、スス付着
第497図-6	フク土	58	24	13	14.4	珪	G-II	11717	極浅
第497図-7	フク土	39	46	6	10.5	珪	G-Ib	11711	S-16、両面
第497図-8	フク土	137	77	49	788	珪	L-Ia1	4132	S-30

第221号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第500図-1	床下	25	14	6	1.5	珪	A-IIb	10087	S-26、アスファルト付着
第500図-2	炉	46	20	8	3.3	珪	C-II	11109	S-16
第500図-3	フク土	16	20	5	1.6	珪	F	11412	
第500図-4	床直	43	31	9	11.6	珪	G-Ib	11720	S-3、両面
第500図-5	床直	56	38	13	27.4	珪	G-Ib	11721	S-10、両面
第500図-6	床面	27	25	8	6.5	珪	G-Ib	11718	S-25、両面
第500図-7	フク土	22	23	8	3.3	珪	G-Ia	11723	両面、定形の欠損品?
第500図-8	床直	79	41	14	68	緑ホ	I-I1a	4826	S-11
第500図-9	床直	(145)	59	32	(399)	緑凝	I-I1a	4827	S-14
第500図-10	床面	120	70	36.5	501.5	安	L-Ia2	4135	S-22
第501図-11	Pit 3	114	54	44	457.5	安	L-IIa1	4137	
第501図-12	床面	(140)	69	37	(478)	安	L-Ia1	4134	S-21

第501図-13	床 面	(194)	214	98	(4820)	安	N-I 3	5057	S-24
第501図-14	床 直	175	286	56	3580	安	N-I 3	5059	S-19
第501図-15	床 面	355	139	122	7400	安	Q-II	5417	S-23

#### 第222号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第503図-1	フク土	26	19	9	5	玉珪	F	11417	
第503図-2	床 面	23	44	12	9.9	珪	G-I b	11726	片面、S-4
第503図-3	床 面	31	20	7	3.3	珪	G-II	11724	S-4、極浅
第503図-4	床 面	29	35	8	6	玉珪	G-II	11725	S-4、極浅
第503図-5	床 面	(61)	37	17	(65)	安	I-I 1a	4828	S-6
第503図-6	床 面	33	23	10	6.5	玉珪	F	11413	
第503図-7	床 面	125	69	41	615.5	安	L-I a 1	4138	S-7 S-8
第503図-8	床 直	135	68	47	571.5	安	L-I a 2	4139	S-9

#### 第223号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第514図-1	フク土	23	14	4	0.9	珪	A-I b	10094	S-26
第514図-2	フク土	26	12	6	1.2	珪	A-IIc	10098	S-55
第514図-3	フク土	41	23	6	4.3	珪	A-IIb	10093	S-22
第514図-4	フク土	41	12	5	2.1	玉珪	A-IIc	10102	
第514図-5	フク土	(49)	(21)	11	(12.4)	珪	B-不明	10835	S-23
第514図-6	フク土	(39)	(20)	(10)	(6.3)	珪	B-不明	10834	S-8
第514図-7	床 面	24	13	5	1.4	珪	C-I	10088	S-60
第514図-8	フク土	25	14	7	2.2	珪	C-III	11100	
第514図-9	フク土	30	10	7	1.7	玉	C-II	11111	S-30
第514図-10	フク土	63	43	10	31.4	珪	E-II	11309	
第514図-11	フク土	25	20	10	3.4	珪	F	11441	
第514図-12	フク土	43	22	12	11.9	珪	G-I a	1174	両面、タール付着 黒色物付着
第514図-13	フク土	44	20	10	7.8	珪	G-I b	11753	両面
第514図-14	床 直	41	21	8	3.8	珪	G-I b	11734	S-9、片面
第514図-15	フク土	21	30	11	5.7	珪	G-I a	11758	両面
第514図-16	フク土	37	22	11	6.9	珪	G-I a	11761	両面
第515図-17	石囲炉	61	36	11	29	珪	G-II	11779	S-1 極浅
第515図-18	床 直	23	41	7	4	珪	G-II	11731	S-6 極浅
第515図-19	床 直	41	33	6	6.2	珪	G-I b	11729	S-4 片面
第515図-20	床 直	62	19	13	17.4	珪	G-II	11727	S-1 極浅
第515図-21	フク土	36	25	11	9.2	珪	G-I b	11744	S-52両面
第515図-22	フク土	76	46	16	80	珪	G-I b	11737	S-14片面

第515図-23	フク土	50	36	12	31.3	珪	G-I a	11738	S-20両面
第515図-24	フク土	60	34	9	9.9	珪	G-I b	11756	両面
第515図-25	Pit 17	21	28	5	2.3	珪	G-IVb	11777	
第516図-26	フク土	87	36	22	81.0	珪	G-I a	11308	両面
第516図-27	フク土	27	15	4	1.6	珪	G-IVa	11762	
第516図-28	フク土	38	14	3	1.5	珪	G-II	11751	極浅
第516図-29	フク土	41	38	19	11.9	珪	G-I a	11766	両面
第516図-30	フク土	(23)	(46)	14	(18)	緑凝	I-I 5	4829	S-33
第516図-31	フク土	66	46	35	189.5	チャ	L-I b 2	4146	S-44
第516図-32	フク土	(81)	44	22	(133)	緑凝	I-I 1 a	4830	S-45
第516図-33	フク土	112	103	51	647	安	L-IIc	4151	
第516図-34	フク土	(67)	59	32	(217.5)	安	L-I a 2	4148	S-51
第516図-35	フク土	116.5	77	39	522.5	安	L-I a 1	4145	S-31
第517図-36	床 面	154	89	41	969	安	L-I a 2	4141	S-61
第517図-37	フク土	147	68	34	575	安	L-IIIb	4144	S-19
第517図-38	フク土	(163)	89	61	(1100)	流	Q-I b	5418	S-32
第517図-39	床 面	(226)	298	104	(8500)	安	N-I 3	5060	S-57
第517図-40	フク土	146	(167)	26	(1130)	安	N-I 3	5063	S-41
第517図-41	床 面	(154)	241	26	(960)	安	N-I 1b	5061	S-58

#### 第226号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第521図-1	炉フク土	(33)	11	7	(1.5)	珪	A不明	11112	
第521図-2	床 直	29	17	5	1.9	珪	A-I a	10113	S-20
第521図-3	床 直	27	13	7	1.9	珪	A-I d	10108	S-3、アスファルト附着
第521図-4	床 面	23	13	4	0.7	玉珪	A-IIb	10106	S-25、アスファルト附着
第521図-5	フク土	45	16	9	4.6	珪	A-IIc	10105	
第521図-6	Pit100	(43)	17	6	(3.6)	珪	A-IIc	10114	アスファルト附着
第521図-7	床 直	(39)	16	6	(2.8)	珪	A-IIb	10112	S-12
第521図-8	床 直	29	10	5	1.0	珪	A-IIc	10109	S-6
第521図-9	炉フク土	(43)	23	10	(8.7)	珪	B-II	10837	
第521図-10	フク土	86	40	19	55.4	珪	B-II	10836	
第521図-11	Pit101	40	23	11	8	珪	G-I a	11807	両面
第521図-12	床 面	44	39	12	22.7	珪	G-I a	11784	S-26両面
第521図-13	床 面	31	26	11	9.2	珪	G-I a	11785	S-26両面、檜の欠損品?
第521図-14	炉	24	36	7	5.6	玉	G-I b	11804	両面
第522図-15	フク土	54	25	7	3.6	珪	G-I a	11794	片面、尖頭状(檜?)
第522図-16	フク土	23	39	9	8.1	珪	G-I a	11793	両面
第522図-17	炉	25	28	10	4.7	珪	G-I a	11806	両面

第522図-18	フク土	27	24	7	3.6	珪	G-I a	11795	両面、定形の欠損品？
第522図-19	フク土	36	17	9	4.2	珪	G-I b	11799	両面
第522図-20	床 面	30	30	13	13.1	珪	G-I a	11782	S-13片面
第522図-21	フク土	32	26	9	7.2	珪	G-I b	11805	両面
第522図-22	フク土	40	28	10	10.9	玉	G-I b	11798	両面
第522図-23	フク土	33	32	9	7.9	珪	G-II	11781	極浅
第522図-24	床 直	87	61	23	218	砂	L-I a 1	4161	S-5
第522図-25	床 面	139	(87)	68	(683)	安	N-I la	5066	S-28
第522図-26	床 面	140	99	40	675	安	N-I la	5065	S-26

#### 第227号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第524図-1	フク土	(27)	(10)	5	(1.0)	珪	A-IIc?	10119	
第524図-2	フク土	31	18	6	2.5	珪	E-I	11310	
第524図-3	床 面	43	20	8	7.9	珪	G-II	11809	S-3
第524図-4	フク土	70	57	8	51.3	珪	G-I a	11810	両面
第524図-5	フク土	31	16	8	3.4	珪	G-I a	11811	両面、ベラの欠損品？
第524図-6	床 面	35	41	16	26.1	珪	G-II	11808	S-2
第524図-7	フク土	136	66	38	532	安	L-I a 2	4165	
第524図-8	フク土	188.5	81	62	1400	安	L-II a 2	4166	
第524図-9	フク土	219	(298)	93	(9500)	安	N-I 3	5067	S-4

#### 第228号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第528図-1	床 直	31	14	6	1.8	珪	A-IIc	10121	S-3
第528図-2	床 直	45	17	7	3.7	珪	A-IIb	10120	S-1、アスファルト付着
第528図-3	フク土	34	32	12	10.6	珪	G-I b	11813	両面
第528図-4	床 直	(70)	21	13	(18.8)	珪	B-I	10838	S-2
第528図-5	フク土	142	63	33	354	砂	L-IIIb	4169	
第528図-6	フク土	113	80	49	600	安	L-I a 1	4168	S-4

#### 第229号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第533図-1	床 面	31	16	7	2.4	玉	A-IIc	10122	S-10
第533図-2	床 直	(20)	14	4	(0.9)	珪	A-I b	10124	S-18
第533図-3	フク土	30	9	4	0.9	珪	C-II	11115	S-8
第533図-4	フク土	38	9	8	1.7	珪	C-II	11114	S-2
第533図-5	床 直	(22)	18	4	(1.4)	玉珪	C-III	11113	S-23
第533図-6	フク土	22	20	8	3.1	珪	F	11416	S-7

第533図-7	フク土	25	20	7	3	珪	F	11415	S-7
第533図-8	フク土	26	19	9	5	玉珪	F	11417	
第533図-9	フク土	28	17	10	4.5	玉	G-IVa	11820	片面、(タール)黒色物付着
第533図-10	フク土	33	34	11	9.4	珪	G-II	11819	
第533図-11	フク土	42	49	17	40.8	珪	G-II	11816	
第533図-12	床 面	28	34	7	4.3	珪	G-II	11814	S-20極浅
第533図-13	フク土	(88)	49.5	21	(163.5)	ホ	I-I la	4833	
第533図-14	フク土	120	55	44	452	安	L-I a 1	4173	
第534図-15	フク土	(187)	71	51	(1100)	流	Q-II	5420	S-90
第534図-16	フク土	306	278	121	13500	安	N-I 2	5071	S-4
第534図-17	フク土	(312)	(214)	77	(8600)	安	N-I 3	5070	S-1
第534図-18	床 面	(79)	(128)	57	(410)	安	N-I lb	5069	S-13
第534図-19	フク土	199	(152)	49	(1740)	安	N-I 3	5072	

#### 第230号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第535図-1	フク土	33	16	10	4.4	珪	A-I b	10129	S-1
第535図-2	フク土	114	163	45	(920)	安	N-I 3	5075	

#### 第232号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第538図-2	床 面	114	66	43	508	凝	0	5	S-2
第538図-8	Pit 5	41	26	14	8.7	珪	G-II	11822	S-1
第538図-9	フク土	38	35	10	18.2	珪	G-II	11821	極浅
第538図-10	フク土	37	27	9	7.3	珪	G-I b	11824	片面

#### 第234号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第540図-8	床 直	(39)	13	7	(2.5)	珪	A-IIc	10133	S-1
第540図-9	フク土	23	41	10	3.4	珪	G-II	11825	極浅

#### 第235号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第542図-7	フク土	(36)	15	6	(2.4)	珪	A-IIc	10135	S-2、アスファルト付着
第542図-8	フク土	68	49	22	57	珪	G-II	11826	S-3極浅
第542図-9	フク土	61	57	52	185.5	安	L-I b 1	4175	S-1

第236号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第544図-10	床直	35	43	7	13.2	珪	G-II	11827	S-8極浅
第544図-11	床面	116.5	82.5	32	482	安	K	4176	S-2
第544図-12	床面	120	122	36	860	安	N-I3	5076	S-5

第237号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第547図-20	床直	22	13	3	0.7	珪	A-Ia	10137	S-16、アスファルト附着
第547図-21	床面	20	12	3	0.5	玉珪	A-Ia	10136	S-5
第547図-22	床面	71	27	16	24.1	珪	B-III	10839	S-49
第547図-23	床面	36	19	6	1.7	珪	C-II	11116	S-3
第547図-24	床直	23	7	5	0.7	玉珪	C-II	11117	
第547図-25	フク土	47	16	4	2.3	珪	D-II	11835	
第547図-26	床直	53	28	12	16.4	珪	E-I	11313	S-46
第547図-27	床面	38	23	7	5.5	珪	E-I	11312	S-44
第547図-28	床面	29	20	6	3.0	珪	E-I	11311	S-44
第547図-29	床直	27	18	7	3.2	珪	G-Ib	11841	S-23、片面
第548図-30	Pit 2	43	56	11	29.6	玉	G-Ib	11844	片面
第548図-31	床面	41	21	9	3.9	珪	G-II	11833	S-28、極浅
第548図-32	床面	33	45	16	17.6	珪	G-II	11830	S-2、極浅
第548図-33	床直	51	33	11	13.7	珪	G-III	11840	S-21、光沢、極浅
第548図-34	床直	41	25	10	11.1	玉	G-Ia	11842	S-26、両面
第548図-35	床直	123.5	73	46	66.3	安	L-IVa	4182	S-43

第238号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第550図-6	フク土	48	14	9	3.5	珪	A-IIc	10140	S-5、アスファルト附着
第550図-7	床面	(64)	23	13	(14.8)	珪	B-III	10840	S-12
第550図-8	フク土	40	22	9	7.3	珪	G-Ia	11849	両面
第550図-9	床面	32	22	8	3.2	珪	G-II	11845	S-14極浅
第550図-10	床面	22	14	7	2.6	硬玉	R-I	8	
第550図-11	床直	128	67	56	723	安	L-IVa	4181	S-38
第550図-12	フク土	(67)	57	28	(171)	安	L-Ia1	4183	S-33(半分欠損)

第239号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第551図-6	フク土	30	13	5	1.6	玉珪	A-IIc	10763	アスファルト付着

第240号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第551図-12	床直	54	26	11	6.5	珪	G-Ib	11851	両面

第241号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第555図-1	床直	26	17	6	2.6	珪	A-Ic	10143	S-5、未製品
第555図-2	フク土	(58)	13	9	(5.9)	珪	A-IIc	10756	S-16
第555図-3	フク土	27	15	6	1.8	珪	A-IIc	10147	
第555図-4	フク土	28	12	7	1.8	玉珪	C-I	11118	
第555図-5	フク土	(35)	(20)	(9)	(5.2)	珪	B-I	10841	
第555図-6	床直	30	14	4	1.3	珪	C-I	10142	S-1
第555図-7	床直	68	33	15	35.5	珪	E-II	11314	S-22
第555図-8	フク土	37	24	16	11.7	珪	G-Ib	11860	両面
第555図-9	床直	37	32	10	13.0	珪	G-II	11854	S-12
第555図-10	床直	51	29	5	6	珪	G-Ib	11855	S-15、片面、極浅
第555図-11	新もっこりの粘土中	28	29	10	5.8	珪	G-Ia	11867	S-103、両面
第555図-12	フク土	40	24	15	10.0	珪	G-Ia	13152	両面
第555図-13	フク土	38	28	8	10.6	珪	G-Ib	11865	片面
第554図-13	フク土	104	63.5	28	228	安	L-Ia2	4186	
第554図-14	フク土	104	47	28	184.5	安	L-Ia1	4188	

第242号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第558図-1	フク土	74	33	8	26.5	珪	G-Ib	13185	両面
第558図-2	床面	(93)	59	33	(234)	凝	I-I3	4836	S-3

第244号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第565図-1	床直	29	13	5	1.3	珪	A-Ia	10148	S-55
第565図-2	フク土	39	14	9	5.1	珪	A-IIc	10168	
第565図-3	床直	39	13	7	3.2	珪	A-Id	10151	S-72
第565図-4	フク土	40	14	6	2.4	珪	A-IIc	10173	

第565図-5	フク土	44	16	4	2.2	珪	A-IIc	10165	S-45
第565図-6	フク土	(46)	17	8	(4.4)	珪	A-IIc	10163	S-40
第565図-7	フク土	(39)	14	9	(4.2)	珪	A-IIc	10158	S-18、アスファルト ト付着
第565図-8	フク土	(58)	13	9	(5.9)	珪	A-IIc	10156	
第565図-9	フク土	(55)	12	7	(4.1)	珪	A-IIc	10174	
第565図-10	フク土	29	12	9	1.2	凝	C-II	10172	
第565図-11	フク土	28	13	9	2.0	玉珪	C-III	11119	S-40
第565図-12	フク土	(43)	(25)	(14)	(10.4)	珪	B不明	10846	
第565図-13	2層	(73)	(33)	16	(25.0)	珪	B不明	10842	S-82
第565図-14	2層	(60)	25	13	(15.4)	珪	B-II	10843	S-85
第565図-15	3層床面	52	25	15	19.8	珪	G-Ia	11871	S-87、両面、檜の未 製品？
第565図-16	1層	46	22	10	8.6	珪	G-Ia	11887	片面、尖頭状？
第565図-17	床直	40	21	6	5.2	珪	G-Ia	11873	S-56、両面
第565図-18	フク土	23	34	6	4	珪	G-Ia	11913	片面
第566図-19	2層	31	24	8	6.2	珪	G-Ib	11882	S-85、片面
第566図-20	フク土	31	23	9	6.9	玉	G-Ia	11909	両面
第566図-21	床直	39	27	4	3.8	珪	G-Ib	11876	S-67、両面、ドリ ル？
第566図-22	フク土	37	39	12	17.1	珪	G-Ib	11905	片面
第566図-23	1層	44	31	10	12.3	珪	G-Ia	11888	両面
第566図-24	フク土	51	22	8	8.3	珪	G-Ia	11896	S-64、片面
第566図-25	フク土	43	26	6	7.7	珪	G-III	11923	光沢、極浅
第566図-26	床直	49	19	8	6.3	珪	G-II	11872	S-52、極浅
第566図-27	Pit 1	38	27	6	6.3	珪	G-Ia	11931	両面、片面1/3調整
第566図-28	フク土	54	34	15	22.7	珪	G-Ia	11917	両面
第566図-29	4層床直	63	33	8	13.9	珪	G-II	11880	S-88、極浅
第566図-30	フク土	74	28	20	40.0	珪	E-II	11315	S-49
第566図-31	フク土	66	46	15	47.7	珪	E-II	11316	
第566図-32	床直	78	38	30	94.0	珪	G-Ia	11879	両面、コア？S-75、ベラの 未製品？(大型)
第567図-33	フク土	128	50	41	178	珪	I-II	4912	S-38
第567図-34	フク土	(119)	53	42	(400)	閃	I-I 2	4873	S-18
第567図-35	フク土	(70)	70.5	45.5	(363)	安	L-Ia 1	4199	S-3 (半分欠損)
第567図-36	2層	123.5	57	50	559	安	L-Ia 1	4207	S-78
第567図-37	フク土	129	66	35	487	安	L-Ia 1	4198	S-2
第567図-38	フク土	131	72	37	389	安	L-Ia 1	4200	S-7
第567図-39	床直	145.5	78	56	856	安	L-IVa	4197	S-76
第567図-40	床直	120.5	79.5	39	388	安	L-IIIb	4194	S-63
第567図-41	床直	94	62.5	31.5	258	安	L-Ia 1	4196	S-71

第246号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第575図-1	フク土	37	18	7	5.5	珪	A-I d	10178	S-61、未製品
第575図-2	フク土	(32)	17	5	(2.5)	珪	A-IIc	10179	S-69
第575図-3	床直	77	21	10	17.0	珪	C-II	10847	S-16
第575図-4	フク土	30	21	9	5.2	珪	G-I b	11934	S-10、両面
第575図-5	フク土	38	27	12	8.8	珪	G-I b	11938	両面
第575図-6	フク土	58	23	12	16.1	珪	G-I a	10848	両面、ヤリの未製品?
第575図-7	フク土	39	16	7	37	珪	C-I	10177	S-59
第575図-8	Pit 2	92	30	12	59	緑凝	I-I 1 a	4840	S-37
第575図-9	フク土	109	78.5	40	454	安	L-IIIb	4215	
第575図-10	フク土	(100)	94	43.5	(690)	安	L-I d	4213	S-45
第575図-11	フク土	192	220	40	2530	安	N-II	5087	S-1
第575図-12	フク土	193	183	86	4980	安	N-II	5088	S-3

第247号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第578図-1	床直	51	26	12	13.6	珪	G-I b	11939	S-15、両面
第578図-2	1層	23	19	6	3.1	珪	G-IVb	11942	S-8
第578図-3	フク土	115	48	26	181	安	I-I 2	4219	S-8 S-11
第578図-4	床面	118	59	42.5	473	安	L-I a 1	4218	S-5

第249号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第582図-1	フク土	36	14	6	2.5	珪	A-IIc	10180	
第582図-2	フク土	61	30	11	13.8	珪	E-I	11317	
第582図-3	フク土	83	43	10	31.0	珪	E-IV	13192	S-1
第582図-4	フク土3	33	42	18	22.4	珪	G-II	11944	極浅

第250号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第585図-1	床面	52	19	9	76	珪	B-I	10849	S-5
第585図-2	床面	(20)	16	5	(1.2)	玉	A-I b	10181	S-9、アスファルト付着
第585図-3	フク土	35	16	7	3.1	玉珪	C-III	10755	

第251号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第589図-1	床面	33	14	5	1.8	珪	A-IIc	10182	S-39
第589図-2	Pit 2	35	13	8	2.5	珪	C-I	11165	
第589図-3	フク土	33	14	5	1.7	珪	A-IIc	10184	S-14、アスファルト附着
第589図-4	フク土	56	16	8	6.6	珪	A-IIc	10183	S-13
第589図-5	床面	90	29	14	29.2	珪	B-III	10851	S-35
第589図-6	床面	(82)	30	9	(24.6)	珪	B-I?	10850	S-29
第589図-7	フク土	(52)	26	7	(9.8)	珪	D-I	11207	S-2
第589図-8	床面	42	24	7	7.0	珪	E-II	11319	S-36
第589図-9	フク土	62	30	13	24.2	珪	E-II	11321	S-22
第589図-10	床面	75	32	17	35.3	珪	E-II	11318	S-34
第589図-11	フク土	70	30	14	25.3	珪	B-I	10852	S-28
第589図-12	フク土	62	53	14	48.7	珪	E-II	11320	S-18
第590図-13	フク土	(62)	27	8	(13.9)	珪	C-Ia	11120	S-11
第590図-14	床面	33	42	18	22.4	珪	G-II	11948	S-42、極浅
第590図-15	床面	29	41	10	13.3	珪	G-II	11947	S-16、極浅
第590図-16	フク土	31	22	8	5.7	珪	G-IVa	11955	
第590図-17	フク土	49	69	6	10.5	珪	G-II	11953	S-31、黒色物付着のこぎり刃状
第590図-18	フク土	92	39	10	47.4	珪	G-Ib	11951	S-31両面、ペラの未製品?
第590図-19	床面	38	61	13	28.3	珪	G-Ib	11946	S-15、片面、スス付着
第590図-21	床面	(71)	52	28	(137)	閃	I-I1a	4841	S-37
第590図-22	床面	496	106	102	7000	流	Q-Ib	5423	S-40

第252号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第592図-1	床直	(40)	14	6	(3.0)	玉珪	A-IIc	10776	S-4、アスファルト附着

第253号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第594図-8	フク土	65	63	16	64.0	珪	G-II	11960	S-2、極浅
第594図-9	フク土	62	39	12	26	珪	G-Ib	11961	両面

第255号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第598図-1	床面	45	16	7	3.8	珪	A-IIc	10187	S-21
第598図-2	Pit 10	24	27	4	2.7	珪	G-Ib	11966	片面

第598図-3	フク土	48	36	13	16.1	珪	G-I b	11968	片面
第598図-4	床 面	63	32	18	32.1	珪	G-I b	11962	S-22、片面
第598図-5	フク土	55	21	16	14.8	珪	G-I a	11964	S-14、両面定形の刃部片
第598図-6	フク土	56	25	17	18.6	珪	G-I a	10853	ペラの未製品？両面S-10

#### 第257号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第602図-1	床 面	128	68	33	469	安	L-I a 4	4228	S-6 (北海道式石冠)
第602図-2	床 面	363	91	60	2800	安	Q-II	5424	S-7

#### 第259号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第606図-1	フク土	27	15	7	2.2	珪	A-I b	10190	
第606図-2	フク土	34	17	8	3.7	珪	G-I b	11974	片面
第606図-3	フク土	23	41	7	6.5	珪	G-I a	11973	両面

#### 第261号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第609図-1	床 直	(92)	48	27	(185)	緑凝	I-I 1 a	4843	S-2

#### 第263号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第611図-1	床 直	83	26	12	27.3	珪	B-I	10856	S-2
第611図-2	床 直	(63)	(27)	11	(21.4)	珪	B-I	10855	S-4
第611図-3	フク土	53	41	13	35.1	珪	G-II	11981	
第611図-4	床 面	52	65	12	28.8	珪	G-I a	11984	両面、S-6
第611図-5	3 層	40	39	10	13.1	珪	G-II	11986	S-10、極浅
第611図-6	2 層	119	71.5	42	553	安	L-I a 4	4234	
第611図-7	床 面	225	120	46	1680	安	N-II	5093	S-7
第611図-8	床 面	150	120	98	2360	安	N-II	5092	S-1

#### 第264号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第614図-1	フク土	42	14	10	3.7	珪	A-IIc	10191	S-3
第614図-2	床 面	44	31	10	12.3	珪	G-I a	11988	S-4、両面
第614図-3	床 面	46	22	10	8.6	珪	G-I a	11987	S-2、片面

第265号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第617図-1	床面	29	15	8	2.5	珪	A-IIc	10192	S-2
第617図-2	床面	25	18	10	4.9	玉珪	F	11419	S-4チップ群
第617図-3	フク土	29	18	7	3.1	珪	G-IVa	11996	
第617図-4	床面	30	17	5	1.5	珪	G-Ib	11994	S-6チップ群片面
第617図-5	床面	33	24	5	3.5	珪	G-Ia	11993	S-6チップ群片面
第617図-6	床面	35	18	4	2.4	珪	G-Ib	11989	S-1チップ群
第617図-7	壁際	37	22	6	3.4	珪	G-Ia	11997	ペラの未製品S-3
第617図-8	床面	35	37	9	3.7	珪	G-Ib	11992	両面
第617図-9	Pit 1	238	76	57.5	1600	砂	Q-II	5426	S-7

第266号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第620図-1	フク土	38	14	9	3.4	珪	C-I	11121	
第620図-2	2層	36	20	8	5.4	珪	G-IVa	10193	S-5
第620図-3	2層	31	29	10	8.1	珪	G-Ia	11998	S-4、両面
第620図-4	フク土	49	30	17	12.5	珪	G-II	11999	極浅

第267号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第622図-1	フク土	42	11	7	2.8	珪	C-II	11122	S-3

第269号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第624図-1	床面	35	24	6	5.0	珪	G-Ib	12001	S-5、片面
第624図-2	床面	45	35	11	14.0	珪	G-Ib	12000	S-5、両面
第624図-3	床面	(137)	99	58	(1142)	安	L-Ib	4237	S-4
第624図-4	床直	99	57	46	376	流	0	3	S-2
第624図-5	3層	105	80	70	546	緑凝	0	2	S-1

第270号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第626図-1	床直	76	27	14	27.3	珪	B-II	10857	S-1

第272号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第629図-1	フク土	25	20	8	3.3	玉	C-III	11123	S-9
第629図-2	フク土	43	17	7	2.9	珪	A-IIb	10194	S-25
第629図-3	フク土	42	25	15	12.8	珪	G-II	12004	S-32
第629図-4	フク土	77	28	12	(24.9)	珪	B-II	10858	S-23
第629図-5	フク土	26	35	12	9.1	珪	G-II	12006	S-47、極浅
第629図-6	フク土	(50)	33	10	(28)	粘	I-I 1 a	4845	S-27
第629図-7	フク土	125	60	35	888.5	安	L-IVa	4238	S-7
第629図-8	フク土	116	69	33	427.5	安	L-I a 1	4241	S-31

第273号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第633図-1	フク土	29	12	6	1.8	玉珪	A-I b	10195	
第633図-2	フク土	27	32	11	7.5	珪	G-I a	12009	両面
第633図-3	フク土	(25)	19	10	(7.0)	滑石	R-III	19	C-1
第633図-4	フク土	(78)	66	33	(286)	安	L-I a 4	4245	北海式石冠(半分欠損)
第633図-5	フク土	55	29	13	17.6	珪	G-I a	12007	両面

第274号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第636図-1	フク土	32	12	7	1.7	珪	A-IIc	10198	
第636図-2	フク土	43	22	11	9.0	玉	B-III	10859	
第636図-3	フク土	43	23	11	11.2	珪	G-II	12012	
第636図-4	フク土	111	62	27	283.5	安	L-I a 1	4247	

第276号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第647図-1	床面	34	12	7	2.0	珪	A-IIc	10199	S-67
第647図-2	床面	32	10	8	1.6	珪	C-II	11124	S-42
第647図-3	床直	49	20	10	8.0	珪	G-I a	10861	S-10両面、ヤリの未製品
第647図-4	床面	35	19	8	5.0	珪	A-I c	10200	S-68
第647図-5	床直	72	28	11	19.9	珪	B-I	10863	S-42
第647図-6	床面	48	23	10	10.8	珪	B-II	10860	S-61
第647図-7	床直	(57)	20	9	(10.1)	珪	B-I	10862	S-23
第647図-8	床直	73	26	7	16.0	珪	D-I e	11209	S-18
第647図-9	フク土	99	27	10	19.5	珪	D-I c	11210	S-53
第647図-10	Pit 2	55	27	11	20	珪	G-I b	12027	片面

第647図-11	フク土	75	33	20	52.7	珪	G-I b	11324	S-35
第647図-12	床 直	35	47	8	9.3	珪	G-II	12018	S-17
第647図-13	床 直	28	46	10	11.0	珪	G-II	12019	S-21、極浅
第648図-14	床 直	38	64	11	24.4	珪	G-I a	12020	S-52、片面
第648図-15	フク土	40	21	8	4.0	珪	G-I b	12022	S-32
第648図-16	Pit 3	37	60	11	20.9	珪	G-II	12028	
第648図-17	床 直	57	69	14	41.6	珪	G-II	12013	S-15、極浅
第648図-18	床 直	46	27	12	11.4	珪	G-I a	12021	S-55、両面
第648図-19	床 面	24	30	10	6.8	珪	G-IV	12017	S-63
第648図-20	壁 面	79	(20)	11	(38)	緑凝	I-I 1 a	4848	S-65
第648図-21	床 面	118	73	40	509	安	L-I a4	4250	北海道式石冠S-59
第648図-22	床 直	103.5	51	32	290	安	L-I a 1	4253	S-43
第648図-23	床 直	(86)	45	(13)	(48)	安	I-I 1 a	4847	S-62
第648図-24	フク土	(124)	(53)	32	(321)	凝	I-I 1 a	4849	S-5
第648図-25	床 面	57	31	5	13.1	粘	R-III	20	C-1

#### 第279号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第652図-1	フク土	30	12	5	1.3	珪	A-IIc	10765	S-6
第652図-2	床 面	32	12	6	1.6	玉珪	A-IIc	10777	S-2
第652図-3	床 面	(29)	(16)	6	(1.6)	珪	A-IIc	10778	S-3
第652図-4	Pit 2	29	27	9	6.9	珪	G-I a	13907	両面ベラ・檜の刃部?

#### 第281号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第655図-6	床 面	72	26	12	21.1	珪	B-I	10864	S-1
第655図-7	カクニ面	29	24	6	6.1	珪	G-I b	13911	両面
第655図-8	カクニ面	62.5	60	42	204	安	L-I b 1	4261	
第655図-9	カクニ面	(191)	210	57	(2980)	安	N-I 3	5105	

#### 第282号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第657図-7	フク土	32	13	6	2.1	珪	A-I d	10206	S-4
第657図-8	床 直	35	45	10	10.8	珪	G-II	12030	極浅1/2S-8
第657図-9	床 面	58	34	14	23.9	珪	G-I a	12029	両面S-18
第657図-10	床 直	50	29	15	19	珪	G-I b	12032	片面檜の未製品? S-12
第657図-11	床 直	57	35	21	27.2	珪	G-II	12034	極浅1/3S-17
第657図-12	フク土	27	32	12	6.9	珪	G-II	12040	極浅1/3

第285号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第664図-1	フク土	31	18	5	1.8	珪	A-I a	10217	
第664図-2	床 面	45	46	5	8.9	珪	G-II	12047	極浅1/2S-10
第664図-3	フク土	(31)	11	7	(1.8)	珪	A-IIc	10207	
第664図-4	フク土	(44)	15	8	(4.3)	珪	A-IIb	10214	
第664図-5	フク土	(42)	18	6	(4.4)	珪	A-IIc	10757	S-106
第664図-6	フク土	35	12	8	2.0	珪	A-IIc	10758	S-107
第664図-7	フク土	27	11	5	1.0	珪	A-IIc	10215	
第664図-8	フク土	91	45	25	103.0	珪	E-II	11325	S-12
第664図-9	フク土	68	23	12	18.6	珪	B-III	11012	
第664図-10	フク土	30	17	12	6.5	珪	F	11420	
第664図-11	フク土	51	24	16	15.4	珪	B-III	10865	
第664図-12	フク土	89	38	19	68.1	珪	E-II	11326	S-9
第665図-13	フク土	56	24	14	20.9	珪	G-I a	12056	両面ベラの未製品?
第665図-14	フク土	52	28	5	7.3	珪	G-I b	12052	両面S-105
第665図-15	フク土	45	15	8	3.4	珪	G-II	12043	極浅2/3S-9
第665図-16	フク土	17	39	10	2.9	緑ホ	G-I b	12041	片面S-1
第665図-17	フク土	20	25	8	3.3	珪	G-I b	12054	両面
第665図-18	フク土	133	74	42	708	安	L-I a 4	4263	北海道式石冠S-8
第665図-19	フク土	(114)	52	31	(291)	閃	I-I 2	4850	S-2
第665図-20	フク土	128.5	63	35	415	安	L-I a 2	4267	S-5
第665図-21	フク土	134	60	46	506	安	L-I a 4	4262	北海道式石冠S-4
第665図-22	フク土	134	56	33	344	安	L-I c	4264	S-10
第665図-23	床 直	89	80	53	563.5	チャ	L-I b 2	4266	S-11
第666図-24	床 面	393	309	106	17100	安	N-I 2	5109	S-111
第666図-25	フク土	(166)	(171)	48	(1250)	安	N-I 4	5106	S-2
第666図-26	フク土	(205)	(121)	33	(1153)	安	N-I 3	5297	S-112
第666図-27	フク土	130	97	55	1150	安	N-II	5108	S-3
第666図-28	フク土	(187)	75	63	1500	安	Q-I b	5478	S-108
第666図-30	フク土	45	42	11	12.2	凝	R-III	21	C-1

第286号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第668図-10	床 面	33	11	7	1.9	珪	A-IIc	10218	S-1
第668図-11	フク土	43	38	8	6.5	珪	G-II	12057	極浅1/2

第287号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第668図-12	フク土	40	14	10	4.3	珪	A-I d	10220	
第668図-13	フク土	36	32	12	12.3	珪	G-I b	12059	両面

第288号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第675図-1	床直	430	317	73	13600	安	N-I 3	5111	S-14
第675図-2	床面	65	29	8	13.6	珪	B-II	10866	S-5
第675図-3	床直	34	15	6	2.2	珪	A-IIc	10221	S-13
第675図-4	床面	(37)	14	7	(2.6)	珪	A-IIc	10230	S-5
第675図-5	床面	38	26	9	7.5	珪	G-II	12090	極浅1/2S-6
第675図-6	床直	49	21	7	7.5	珪	G-I b	12060	片面S-6
第675図-7	フク土	66	14	5	3.8	珪	A-IIc	10224	S-16
第675図-8	フク土	(35)	17	6	(3.0)	珪	A-IIc	10699	S-111
第675図-9	フク土	60	26	10	16.4	珪	B-III	10868	
第675図-10	2層	37	15	7	2.8	珪	A-IIc	10231	S-2
第675図-11	フク土	44	25	13	11.6	珪	G-I b	12062	両面
第675図-12	フク土	33	39	10	7.0	珪	G-II	12092	極浅1/3
第675図-13	フク土	(48)	(28)	(13)	(13.6)	珪	B	10867	S-7
第676図-14	床面	151	63.5	41	620	安	L-I a 2	4271	S-15
第676図-15	床直	82.5	59	43	200	チャ	L-I b 2	4272	S-12
第676図-16	床面	101.5	59.5	32	340.5	安	L-I a 1	4270	S-4
第676図-17	フク土	161	80	49	1004	安	L-IVb	4287	側縁有溝石器S-1
第676図-18	フク土	134	74.5	33	544	安	L-I a 2	4278	
第676図-19	フク土	(77)	58	34	(255)	安	I-I 1 a	4851	S-1
第676図-20	フク土	143.5	(58)	40	(564)	安	L-I a 2	4275	

第289号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第677図-4	床面	138.5	66.5	30	462	安	L-I a 2	4279	S-25
第677図-5	床面	156	62	46	686	流	L-I a 1	4280	S-24
第677図-6	フク土	146	79	38	657	安	L-I a 2	4281	S-6
第677図-7	フク土	118.5	61	34	373	安	L-I a 2	4285	
第677図-8	フク土	174	87	32	837	安	N-I 4	5112	S-7
第679図-21	フク土	31	14	4	1.2	珪	A-IIb	10223	S-5
第679図-22	フク土	26	14	4	1.1	珪	A-IIc	10229	
第679図-23	フク土	66	35	21	57.6	珪	G-I a	12069	両面ベラの未製品?

第679図-24	フク土	52	25	7	8.8	珪	B-I	10870	
第679図-25	フク土	38	24	9	6.7	珪	G-I a	12082	両面
第679図-26	フク土	32	25	8	5.5	珪	G-I a	12075	両面石鏝の未製品?
第679図-27	フク土	53	19	5	4.6	珪	G-II	12078	極浅2/3
第679図-28	フク土	40	20	9	4.8	珪	G-I a	12089	片面槍の欠損品? S-10
第679図-29	フク土	21	23	7	2.9	珪	G-I a	12083	両面欠損品?
第679図-30	フク土	32	19	7	4.0	珪	G-I b	12088	片面S-3
第679図-31	フク土	42	56	23	39.0	安	R-III	23	S-11
第679図-32	フク土	32	28	6	7.1	粘	R-III	22	

第293号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第684図-25	床直	33	13	6	1.7	玉珪	A-IIc	10236	
第684図-26	フク土	(39)	13	5	(2.0)	珪	A-IIc	10243	
第684図-27	床直	(54)	15	8	(6.1)	珪	A-IIc	10235	S-33
第684図-28	フク土	(36)	16	6	(2.4)	珪	A-IIc	10245	
第684図-29	フク土	58	27	8	14.0	珪	B-III	10871	
第684図-30	フク土	40	15	10	4.7	珪	C-II	11125	S-18
第684図-31	フク土	58	43	16	42.6	珪	E-II	11327	
第684図-32	フク土	38	39	12	17	珪	G-I a	12100	片面S-21
第684図-33	フク土	30	39	8	11.8	珪	G-I b	12116	両面
第684図-34	フク土	33	31	10	10.2	珪	G-I b	12102	片面
第684図-35	フク土	37	23	5	4.1	珪	G-I b	12104	両面
第684図-36	フク土	27	25	8	4.5	珪	G-I a	12120	片面
第685図-37	フク土	54	35	14	25.7	珪	G-I b	12110	片面
第685図-38	フク土	41	29	10	7.9	珪	G-II	12112	極浅
第685図-39	フク土	140.5	82.5	41	695.5	珪	L-I a 2	4297	焼け痕あり
第685図-40	フク土	102.5	60.5	28.0	296	珪	L-I a 1	4294	S-29
第685図-41	フク土	227	95	54	700	安	L-II a 1	5432	S-1
第685図-42	フク土	153	70.5	33	602	安	L-I a 2	4292	S-25⊕S-26⊕
第685図-43	フク土	87.5	46	27	132	安	L-I a 2	4293	S-28
第685図-44	フク土	63	51	48	184	安	L-I d	4299	
第686図-45	フク土	(99)	(63)	96	(801)	安	Q-I b	5435	S-8
第686図-46	フク土	393	150	138	11600	安	Q-I a	5434	遺構外CZ-107S-6
第686図-47	フク土	(203)	115	(89)	(2600)	安	Q-II	5436	S-10
第686図-48	フク土	49	43	10	14.6	凝	R-III	24	C-1
第686図-49	フク土	68	28	14	31.1	凝	R-IV	25	C-2

第294号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第697図-1	床直	24	11	5	1.0	珪	A-IIc	10247	
第697図-2	床直	25	11	5	0.9	玉珪	A-IIc	10246	
第697図-3	フク土3	33	16	7	2.2	珪	A-IIc	1026	
第697図-4	フク土3	37	10	7	1.3	珪	A-IIc?	10260	
第697図-5	フク土3	27	11	4	0.9	珪	A-IIc	10260	
第697図-6	フク土	(26)	(15)	5	(1.3)	玉	A-IIc	11166	
第697図-7	Pit 2	(60)	29	9	(15.4)	珪	B-IV	10879	S-8
第697図-8	Pit 2	69	24	10	16.0	珪	B-I	10882	S-11
第697図-9	Pit 2	136	33	21	91.0	珪	B-III	10880	S-9
第697図-10	フク土	(43)	(23)	(11)	(10.6)	珪	B	10877	
第697図-11	Pit 2	71	23	8	11.7	珪	B-I	10881	S-10
第697図-12	フク土	67	20	9	10.2	珪	B-I	10874	S-27
第698図-13	フク土	92	28	12	28.5	珪	B-I	10875	S-32
第698図-14	3層	76	29	15	25.6	珪	B-III	10876	
第698図-15	フク土	63	24	10	15.4	珪	B-II	11006	
第698図-16	フク土3	29	15	8	3.4	珪	C-III	10258	
第698図-17	フク土	42	28	13	9.6	珪	C-III	11126	
第698図-18	フク土3	40	15	11	4.5	珪	C-II	10256	
第698図-19	フク土	82	50	21	90.8	珪	E-II	11328	S-34
第698図-20	フク土	64	39	23	52.4	珪	E-II	11329	
第698図-21	フク土3	31	18	10	6.1	珪	F	11421	
第698図-22	フク土3	39	29	8	6.7	珪	G-III	12156	光沢極浅1/2
第698図-23	フク土	33	19	10	6.3	玉	G-Ia	12143	両面
第699図-24	床直	60	22	11	7.3	珪	G-Ia	12123	片面S-37
第699図-25	フク土	57	54	10	19.9	珪	G-II	12126	極浅◎S-21
第699図-26	床直	51	32	11	19.7	珪	G-Ia	10873	両面定形の基部?
第699図-27	フク土3	54	49	11	22.7	珪	G-II	12150	極浅2/3
第699図-28	フク土3	49	32	8	11.3	珪	G-II	12161	極浅2/3ハッチ 1 ゴあり
第699図-29	フク土3	59	45	16	34.8	珪	G-Ib	12155	片面
第699図-30	フク土3	51	26	10	12.9	珪	G-Ia	12162	片面
第699図-31	フク土	36	40	9	9.2	珪	G-Ia	12125	片面S-7
第699図-32	フク土	62	33	12	22.3	珪	G-Ib	12134	片面
第700図-33	床下	(124)	54	34	(374)	緑細凝	I-Ia	4852	S-46
第700図-34	フク土	(105)	61	47	(479)	安	L-Ia2	4306	S-5(半損)
第700図-35	床直	78	57.5	34	176	チャ	L-Ib2	4303	S-38
第700図-36	フク土	112	61	31	342	安	L-Ia1	4310	S-15
第700図-37	フク土	148	64	37	574.5	安	L-Ia1	4307	S-6

第700図-38	フク土	75	59	42	239	チャ	L-IVa	4315	S-29
第700図-39	フク土	97.5	88	73	915	安	L-I b 2	4313	S-25
第700図-40	フク土B	95	57	35	301	安	L-I a 1	4317	
第701図-41	フク土	357	267	62	8700	安	N-I 3	5123	S-2
第701図-42	フク土	(518)	(398)	52	(15100)	安	N I 4	5125	S-12
第701図-43	フク土	266	12.4	110	5600	流	Q-I a	5437	S-3
第701図-44	床 面	117	76	68	607	緑凝	0	1	C-1
第701図-45	フク土	58	25	4	9.1	粘	R-III	26	C-2

#### 第295号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第703図-1	床 直	(104)	79	44	(538)	安	L-I a 3	4322	(半損)

#### 第297号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第705図-8	床 面	39	15	7	2.8	珪	A-IIc	10271	S-3
第705図-9	床 面	37	16	7	31	珪	A-IIc	10270	S-2
第705図-10	床 直	37	41	10	10.9	珪	G-I b	12165	片面S-5
第705図-11	床 面	40	39	16	19.9	珪	G-I b	12164	両面S-4
第705図-12	フク土	28	18	5	1.6	珪	G-I b	12166	片面ドリル?

#### 第298号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第709図-1	床 面	(36)	11	6	(1.5)	珪	A-IIc	10272	S-3
第709図-2	床 面	42	12	8	3.5	珪	C-II	10273	S-14
第709図-3	床 直	42	40	13	21.4	珪	G-II	12170	
第709図-4	フク土	54	13	8	3.6	珪	A-IIc	10277	S-3
第709図-5	フク土	26	15	5	2.7	珪	A-IIc	10279	
第709図-6	フク土	38	16	7	2.3	珪	G-I b	12173	両面
第709図-7	床 面	33	17	7	4.5	珪	G-II	12169	極浅1/4S-12
第709図-8	フク土	36	22	6	2.5	珪	G-I b	13043	両面
第709図-9	フク土	65	40	8	19.9	珪	G-II	13156	極浅1/2P-25
第709図-10	フク土	27	26	7	4.8	珪	G-I a	12172	片面
第709図-11	フク土	67	26	15	25.8	珪	G-I a	13160	片面ベラの未製品?
第709図-12	フク土	40	21	11	6.6	珪	G-I a	13158	両面檜の欠損品?
第709図-13	フク土	161	152	24	1080	安	N-I 4	5126	S-4
第709図-14	フク土	(145)	(109)	75	(1400)	安	N-I 3	5296	S-3
第710図-15	床 直	(99)	71	56	(593)	安	L-I a 4	4325	北海道式石冠? S-10

第 図-16	フク土	80	51	23	164	安	L-I a1	4659	S-1
第710図-17	フク土	142	76	45	707	安	L-I a2	4660	S-2
第710図-18	フク土	111	64.5	39	421	安	L-I a2	4662	S-109
第710図-19	フク土	97	68	33	347	安	L-I a2	4329	(焼け痕)
第710図-20	フク土	124	66	42	550	安	L-I a4	4663	北海道式石冠S-110
第710図-21	フク土	(125)	74	39.5	(447)	安	L-I a3	4327	S-7

#### 第299号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第713図-9	フク土	25	31	6	3.3	珪	G-II	12176	極浅1/2S-5
第713図-10	床面	36	20	10	5.6	珪	G-I b	12174	両面石鍬の未製品?
第713図-11	床直	84	35	10	32.5	珪	E-III	11330	S-12
第713図-12	フク土	(43)	14	7	(3.0)	珪	A-IIc	10284	
第713図-13	床面	31	15	5	1.8	珪	A-IIb	10282	S-3
第713図-14	フク土	37	47	12	18.9	珪	G-I a	12175	両面S-2

#### 第300号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第716図-1	床面	31	16	6	2.2	珪	A-I b	10285	S-1
第716図-2	フク土	40	17	7	4.2	珪	G-I a	12183	両面S-323石鍬の未製品?
第716図-3	床直	35	22	9	7.8	珪	G-II	12185	極浅1/4S-3
第716図-4	フク土	57	27	8	8.5	珪	G-II	12184	極浅1/2

#### 第302号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第722図-1	フク土	27	11	6	1.1	珪	A-IIc	10306	
第722図-2	床面	24	12	4	0.8	珪	A-IIc	10287	S-24
第722図-3	床直	27	15	5	1.2	珪	A-IIc?	10289	S-13
第722図-4	床面	(22)	12	4	(1.0)	珪	A-IIc	10286	S-19
第722図-5	床直	36	13	7	2.3	珪	A-IIc	10290	S-14
第722図-6	フク土	34	17	6	2.3	珪	A-IIb	10297	S-304
第722図-7	床面	38	13	7	2.2	珪	A-IIc	10288	S-25
第722図-8	床直	43	14	7	3.2	珪	A-IIc	10291	S-16
第722図-9	フク土	(33)	(22)	(9)	(5.7)	珪	A	10750	
第722図-10	床面	62	32	15	27.6	珪	B-III	10883	S-21
第722図-11	フク土	17	9	5	0.8	珪	C-II	10308	
第722図-12	フク土	74	22	14	17.5	珪	B-I	10884	S-318
第722図-13	フク土	42	20	14	11.2	珪	C-III	11129	
第722図-14	床面	40	16	8	3.7	珪	C-II	11128	S-23

第722図-15	床 面	33	19	4	2.5	珪	C-III	11127	S-22
第722図-16	フク土	21	55	8	13.0	珪	H	13193	S-308
第723図-17	フク土	65	38	20	26.0	珪	G-I b	12194	両面 ベラの未製 品? S-315
第723図-18	フク土	43	39	12	13.2	珪	G-I b	12199	片面
第723図-19	フク土	66	53	9	29.9	珪	G-I b	12192	両面 S-310
第723図-20	フク土	34	24	9	6.2	珪	G-II	12215	
第723図-21	フク土	38	20	12	7.1	珪	G-I a	12208	片面
第723図-22	フク土	22	31	8	6.7	珪	G-II	12216	極浅1/3
第723図-23	床 面	35	28	15	16.8	珪	G-II	12186	S-22
第723図-24	フク土	60	38	12	33.8	珪	G-I b	12193	両面 S-312
第723図-25	フク土	337	244	67	6020	凝	N-I 2	5127	
第724図-26	フク土	100	58	36	349	安	L-IVa	4335	S-319
第724図-27	フク土	(59)	70	40	(236)	安	L-I a 1	4336	S-326
第724図-28	フク土	132	60	38	492.5	砂	L-I a 4	4340	北海道式石冠
第724図-29	フク土	(90)	84	31	275.5	安	L-IIIb	4338	
第724図-30	フク土	(62)	73	28	(191)	安	L-IIc	4339	

#### 第303号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第727図-1	床 直	35	14	6	2.3	珪	A-IIc	10309	S-7
第727図-2	フク土	36	14	9	4.0	珪	A-I d	10312	S-20
第727図-3	床 直	19	34	13	7.3	珪	G-II	12220	
第727図-4	床 直	30	25	8	5.9	珪	G-I b	12221	両面 S-13
第727図-5	床 面	24	31	8	6.2	珪	G-I b	12218	片面 S-4
第727図-6	フク土	27	23	8	4.1	珪	G-II	12222	S-322
第727図-7	床 面	46	60	10	20.5	珪	G-III	12219	黒光り(光沢) S -12
第727図-8	フク土	126	51	32	344	安	L-I d	4344	S-15

#### 第305号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第731図-7	フク土	72	35	12	42.3	珪	E-II	11331	S-2
第731図-8	フク土	59	32	8	15.6	珪	G-I a	12239	両面
第731図-9	フク土	481	28	12	13.7	珪	G-I a	10885	両面
第731図-10	フク土	44	28	11	11.4	珪	G-I a	12238	両面
第732図-11	フク土	(32)	13	5	(2.0)	珪	A-IIc	10313	S-2
第732図-12	フク土	44	40	13	15.5	珪	C-III	11130	S-1
第732図-13	フク土	(66)	31	12	(24.3)	珪	B-III	10887	
第732図-14	フク土	(60)	29	12	(21.2)	珪	B-III	10888	
第732図-15	フク土	71	31	12	25.1	珪	B-III	10891	

第732図-16	フク土	71	29	16	27.6	珪	B-II	10890	
第732図-17	フク土	(50)	28	11	(16.2)	珪	B-III	10889	
第732図-18	フク土	56	28	11	17.2	珪	B-II	10892	

第306号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第733図-2	床面	45	14	7	3.0	珪	A-IIc	10314	S-4
第733図-3	フク土	31	28	12	11.1	玉珪	F	11423	
第733図-4	床面	49	28	12	14.3	玉珪	G-Ib	12241	両面 S-3

第307号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第741図-43	フク土	40	19	11	5.7	珪	A-I d	10335	
第741図-44	フク土	(27)	22	6	(3.1)	玉	A-IIc?	10337	
第741図-45	床直	(33)	19	9	(4.2)	玉珪	A-IIc	10318	S-215
第741図-46	フク土	(30)	13	7	(2.6)	珪	A-IIb	10329	S-52
第741図-47	フク土	38	15	9	3.1	珪	A-IIb	10331	S-204
第741図-48	床面	32	17	9	3.8	玉珪	A-I d	10315	S-223
第741図-49	床直	37	14	6	2.2	珪	A-IIc	10316	S-206
第741図-50	フク土	66	23	9	9.2	珪	B-IV	10898	S-55
第741図-51	フク土	49	21	11	9.0	珪	B-I	10899	
第741図-52	床面	(36)	(20)	(6)	(3.0)	珪	B	10893	チップと一緒に
第741図-53	フク土	(117)	31	15	(47.4)	珪	B	10900	S-225
第742図-54	カクニ面	115	31	18	57.7	珪	B-III	11008	
第742図-55	フク土	(70)	34	20	(46.7)	珪	B-II	10897	S-49
第742図-56	フク土	78	25	16	27.1	珪	B-III	10896	S-27
第742図-57	床直	(65)	29	14	(22.2)	珪	B	10895	S-201
第742図-58	床面	30	19	8	3.7	玉	C-I	11132	
第742図-59	床面	36	11	3	0.9	珪	C-II	11131	S-217
第742図-60	フク土	60	21	8	10.4	珪	D-I a	11211	S-44
第742図-61	フク土	27	27	11	7.8	珪	F	11426	
第742図-62	フク土	27	28	8	6.9	珪	F	11425	S-202
第742図-63	フク土	36	25	13	12.1	玉珪	F	11427	
第743図-64	床面	36	29	14	12.2	珪	F	11424	S-222
第743図-65	フク土	32	23	10	7.2	珪	G-I a	12270	両面
第743図-66	床面	25	16	5	1.4	珪	G-I b	12242	両面 S-210
第743図-67	フク土	36	31	9	9.8	珪	G-I a	12272	両面
第743図-68	床面	38	28	9	8.7	珪	G-IVa	12246	チップ1
第743図-69	床面	68	31	14	26.9	珪	G-I a	12244	両面 S-214

第743図-70	床 面	103	47	14	118	緑細凝	I-I 1a	4853	S-214
第743図-71	床 面	137	87	41	802	安	L-I a 2	4346	S-216
第743図-72	フク土	144	81	44	748.5	安	L-I a 3	4349	S-24
第743図-73	フク土	(117)	71	43	(545.5)	安	L-I a 1	4354	S-45 半損
第744図-74	フク土	(77)	(68)	(96)	(572)	流	Q-I b	5439	S-39
第744図-75	床 面	194	142	39	(1425)	安	N-II	5130	S-219

### 第308号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第750図-8	床 直	39	15	7	2.9	珪	A-IIc	10317	S-209
第750図-9	周構内	24	18	7	2.4	珪	A-IIc	10343	
第750図-10	フク土	40	31	8	8.2	珪	G-I a	12290	片面
第750図-11	床 直	26	16	10	2.6	珪	C-III	11133	S-208
第750図-12	フク土	29	24	8	4.4	珪	G-I a	12295	両面
第750図-13	フク土	29	44	9	6.5	珪	G-I b	12292	両面
第751図-14	床 面	60	40	13	35.9	珪	G-II	12283	S-217
第751図-15	フク土	60	34	9	12.2	珪	G-II	12289	極浅1/3
第751図-16	フク土	44	32	10	12.8	珪	G-I b	12291	片面
第751図-17	床 面	41	48	19	34.7	珪	G-I a	12284	両面 S-219
第751図-18	床 面	45	35	10	15.1	珪	G-I a	12287	片面
第751図-19	カクニ面	(82)	49	34	(210)	閃	I-I 2	4855	
第751図-20	フク土	110	82	57.5	725	安	L-IIIa	4351	S-29
第751図-21	フク土	120	70	41	589.5	安	L-I a 3	4353	S-33
第751図-22	フク土	81.5	30	13	52.5	安	L-I d	4352	S-32
第752図-23	床 面	425	345	102	19000	安	N-I 2	5131	S-216
第752図-24	床 面	276	257	123	12300	安	N-II	5132	S-223

### 第311号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第756図-16	フク土	26	16	5	1.6	玉	A-IIb	10348	
第756図-17	フク土	32	17	7	2.6	玉珪	A-IIc	10350	
第756図-18	フク土	36	16	6	2.2	珪	A-IIb	10346	S-11
第756図-19	フク土	44	27	11	11.4	珪	B-I	10901	S-1
第756図-20	フク土	82	29	11	25.1	珪	B-I	10902	
第757図-21	フク土	49	26	13	13.6	珪	G-I a	11333	両面
第757図-22	フク土	43	26	11	10.4	珪	G-I a	12298	片面
第757図-23	フク土	98	41	17	82.8	珪	E-II	11332	S-9
第757図-24	フク土	31	24	13	6.9	珪	G-I a	12297	両面S-11
第757図-25	床 面	125	69	45	637.5	安	L-I a 4	4360	北海道式石冠 S-5

第757図-26	フク土	(75)	62	34	(284)	安	L-I a 1	4361	(半損)
第757図-27	床 面	114	59	31	325	安	L-IVa	4358	S- 8
第757図-28	床 面	(102)	53	44	(380)	閃	I- I 2	4856	S- 7

### 第312号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第760図- 1	床 面	22	11	5	0.8	珪	A-IIc	10353	S-10
第760図- 2	フク土	32	20	10	4.6	珪	G- I a	12301	両面 ドリル？
第760図- 3	フク土	38	29	8	6.6	珪	G- I b	12305	片面
第760図- 4	フク土	61	48	11	45.8	珪	G- I b	12300	片面
第760図- 5	フク土	59	32	11	21.4	珪	G- I a	12307	片面 石槍？
第760図- 6	フク土	65	40	10	33.8	珪	G- I a	12303	両面
第760図- 7	フク土	80	33	16	38.3	珪	B-III	10903	S- 7

### 第313号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第762図- 1	床 直	28	17	7	2.2	珪	A- I c	10355	S- 4
第762図- 2	フク土	42	19	7	4.3	珪	A-IIc	10356	S- 7
第762図- 3	フク土	56	26	9	13.3	珪	B- II	10905	
第762図- 4	フク土	31	47	12	13.6	珪	G-II	12310	
第762図- 5	フク土	52	19	9	7.4	珪	B-III	10904	
第762図- 6	床 面	33	37	11	10.5	珪	G- II	12308	極浅1/2 S- 9
第762図- 7	フク土	68	46	18	43.2	珪	G- II	12309	極浅1/2
第762図- 8	フク土	(36)	(31)	3	(6.0)	粘	R-III	27	
第762図- 9	床 直	86	66	34	252	安	L- II a 1	4365	S- 2
第762図-10	床 面	(61)	36	( 8)	(32)	頁	I- I 1 a	4857	S- 5

### 第314号住居跡

図版番号	層位	最 大 計 測 値				石質	分類	整 理 号	備 考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第767図- 1	フク土	49	18	8	4.5	珪	A-IIc	10363	S- 9
第767図- 2	床 面	(32)	16	7	(2.7)	珪	A-IIa	10362	S-18
第767図- 3	床 面	(37)	13	7	(3.0)	珪	A-IIc	10361	S-17
第767図- 4	フク土	46	24	12	11.7	珪	B- II	10906	S-11
第767図- 5	フク土	43	20	11	8.1	珪	B- II	10907	
第767図- 6	フク土	85	41	24	69.5	珪	E- II	11334	S-16
第767図- 7	フク土	30	20	7	3.6	珪	G- II	13925	極浅1/2
第767図- 8	フク土	54	29	14	14.0	珪	G- I a	12312	片面 S- 3
第767図- 9	床 面	39	43	4	12.9	粘	R- III	28	C- 1
第767図-10	フク土	(83)	51	21	(147)	緑細凝	I- I 1 a	4858	

第768図-11	フク土	129	73	52	601	安	L-IVa	4370	
第768図-12	フク土	115	93.5	76	1210	安	L-IVa	4368	S-5

### 第316号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第771図-1	床直	35	14	10	3.3	玉珪	A-IIc	10368	S-3
第771図-2	フク土	47	16	4	2.3	珪	C-II	11135	
第771図-3	フク土	42	31	7	6.4	珪	G-II	12313	極浅1/2 S-1
第771図-4	床下pit <sub>2</sub>	(166)	60	33	(594)	砂	I-I 2	4860	S-5
第771図-5	床下pit <sub>2</sub>	156	61	19	314	砂	I-I la	4859	S-4
第771図-6	フク土	118.5	74.5	56	688	安	L-IVa	4373	

### 第317号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第774図-1	フク土	33	16	6	2.5	珪	A-IIc	10371	
第774図-2	フク土	51	18	9	1.5	珪	A-IIc	10369	S-1
第774図-3	フク土	106	44	19	98	珪	I-II	4913	
第774図-4	フク土	54	29	12	10.9	珪	G-I a	12316	片面 S-4
第774図-5	フク土	21	35	8	5.5	珪	G-I a	12319	両面
第774図-6	フク土	28	50	12	17.1	珪	G-II	12318	極浅1/3
第774図-7	フク土	30	17	7	2.5	玉	G-I a	12322	両面品? 石鉄の欠損
第774図-8	フク土	79	57	29	169	チャ	L-IIb2	4375	S-10

### 第318号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第776図-5	炉	(26)	16	5	(1.8)	珪	A-IIc	10372	S-1
第776図-6	施設内	131	97	68	1260	安	N-II	5134	S-3

### 第319号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第777図-8	フク土	115	82	55	779	安	L-I a1	4380	

### 第320号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第780図-8	床面	50	15	5	2.9	珪	A-IIc	10373	S-1
第780図-9	フク土	48	33	10	17.7	珪	G-I a	12323	片面 S-2
第780図-10	フク土	31	26	8	4.5	珪	G-II	12325	極浅1/2
第780図-11	フク土	26	29	11	8.0	珪	G-II	12324	

第321号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第783図-1	床面	35	14	8	2.8	珪	A-IIc	10374	S-2
第783図-2	フク土	32	13	7	2.2	珪	A-IIc	10375	
第783図-3	フク土	26	24	10	7.9	珪	F	11429	
第783図-4	床面	183	184	69	3400	安	N-II	5135	S-3
第783図-5	床直	(209)	91	38.5	(641)	安	N-I la	5137	S-1

第322号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第785図-1	フク土	(47)	15	5	(3.0)	珪	A-IIc	10379	
第785図-2	床面	29	14	5	1.5	珪	A-IIc	10376	S-7
第785図-3	床面	(36)	19	6	(3.2)	珪	A-IIc	10377	S-7
第785図-4	フク土	38	18	3	1.8	珪	G-II	12329	極浅
第785図-5	床面	58	52	13	50.9	珪	G-II	12327	S-8
第785図-6	フク土	43	35	13	16.0	珪	G-II	12328	極浅

第323号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第788図-4	フク土	22	28	7	4.1	珪	G-I a	12331	両面

第324号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第790図-1	フク土	109	71	46	586	輝緑岩	L-I a4	4385	S-5 北海道式 石冠
第790図-2	床面	228	(116)	83	(2440)	安	N-I 3	5140	S-5

第326号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第792図-8	床直	71	26	10	16.3	珪	B-II	10908	S-4
第792図-9	フク土	46	34	7	14.8	珪	G-I b	12338	片面
第792図-10	掘形	26	18	6	1.6	珪	G-IVb	12335	
第792図-11	掘形	26	46	11	12.3	珪	G-I b	12334	片面
第792図-12	フク土	(102)	111	101	(1425)	安	N-I 2	5141	

第327号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第793図-1	フク土	(27)	17	9	(2.8)	玉珪	A-不明	10380	

第793図-2	フク土	34	13	6	2.0	珪	A-IIc	10381	
第793図-3	フク土位	40	23	10	8.0	珪	G-II	12344	
第793図-4	フク土位	54	33	12	21.7	珪	G-Ia	12342	両面
第793図-5	床直	110	81.5	36	398	凝	L-Ia1	4387	S-5

### 第329号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第797図-1	フク土	37	13	7	2.2	珪	A-IIc	10384	アスファルト付着
第797図-2	フク土	36	13	5	1.7	珪	A-IIc	10383	
第797図-3	床直	61	26	11	15.5	珪	B-II	10909	S-5
第797図-4	上面	30	12	8	2.0	玉	C-I	11168	
第797図-5	フク土	(32)	11	5	(1.4)	玉	C-I	11167	ベルト
第797図-6	フク土位	51	13	5	1.6	珪	C-II	11136	
第797図-7	フク土位	(27)	(19)	(6)	(3.3)	珪	D-I	11212	
第797図-8	フク土	55	31	9	14.5	珪	G-Ia	13932	片面
第797図-9	フク土	22	29	6	5.1	玉珪	G-Ib	12349	両面
第797図-10	上面	53	18	7	6.6	珪	G-Ia	13936	両面-ドリル?
第797図-11	フク土	(91)	53	38	(97)	砂	I-I2	4862	
第797図-12	フク土	(48)	56	22	(73)	チャ	L-I d	4395	
第798図-13	フク土	109	157.5	54	780.5	凝	N-I3	5146	S-1
第798図-14	床面	150	(117)	24	(446.5)	安	N-III	5145	S-10
第798図-15	床面	(123)	(125)	43	(860.5)	安	N-I3	5144	S-6
第798図-16	床直	510	104	86	7400	流	Q-Ib	5446	S-4
第798図-17	フク土位	44	19	7	5.9	珪	A-IIc	10382	
第798図-18	フク土位	34	34	3	4.5	珪	G-Ib	12347	片面
第798図-19	フク土位	148	88	28	586	安	L-Ia2	4389	
第798図-20	フク土	44.5	47	33	94	安	L-Ib1	4392	

### 第331号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第800図-6	床面	38	13	7	2.5	珪	A-IIc	10387	S-4
第800図-7	5層	34	33	7	5.5	珪	G-Ia	12350	片面
第800図-8	周床溝下	21	33	10	6.7	珪	G-Ia	12351	両面

### 第333号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第803図-1	フク土	(21)	12	4	(0.8)	珪	A-IIc	10392	
第803図-2	フク土	41	20	10	6.1	珪	A-I d	10389	
第803図-3	フク土	44	17	8	4.3	珪	A-II	10395	アスファルト付着

第803図-4	フク土	120	34	13	54.6	珪	B-III	10910	
第803図-5	フク土	28	13	4	1.1	珪	C-I	10390	
第803図-6	フク土	31	20	9	5.7	玉珪	G-I a	12358	両面
第803図-7	pit 2	32	40	18	21.1	珪	G-I a	12352	両面 対つぶしあり(基部?)
第803図-8	フク土	39	27	11	8.7	珪	G-I b	12354	片面
第803図-9	フク土	44	26	12	12.3	珪	G-I a	12361	両面
第803図-10	フク土	42	61	16	40.2	珪	G-I a	12360	両面
第804図-11	フク土	120	49	13	132	緑凝	I-I la	4863	
第804図-12	フク土	116	64.5	45	580	輝緑岩	L-1a2	4404	
第804図-13	Pit 55	130	70.5	36	523	安	L-1a2	4403	
第804図-14	フク土	127	63.5	42	385	安	L-IIIc	4405	
第804図-15	床 直	(69)	(68)	17	(121)	安	N-I 4	5174	S-18
第804図-16	1 層	150	167	50	1610	安	N-I 3	5150	
第804図-17	1 層	282	169	111	(5760)	安	N-II	5149	S-1
第804図-18	確認面	358	107	84	5000	流	Q-II	5441	S-11
第804図-19	フク土	(143)	88.5	67	(1200)	流	Q-II	5442	

#### 第334号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第807図-1	フク土	41	15	7	2.7	珪	A-IIb	10400	
第807図-2	フク土	(34)	13	7	(2.7)	珪	A-IIc	10401	
第807図-3	フク土	69	34	12	18.6	珪	G-I a	12365	両面
第807図-4	確認面	111	82	44	541.5	安	L-1a2	4408	Kの可能性あり?
第807図-5	確認面	255	(136)	82	(4400)	安	N-I 3	5151	

#### 第335号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第810図-8	床 直	34	13	5	1.7	珪	A-IIc	10403	S-3 アスファルト附着
第810図-9	2 層	37	20	10	6.2	玉珪	G-I a	10405	両面 石鉄の未製品
第810図-10	床 直	142	74	35	662	安	L-1a4	4410	S-4 北海道式石冠
第810図-11	床 直	309	139	105	5650	安	N-I 3	5152	

#### 第336号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第814図-1	1 層	41	16	8	3.7	玉珪	A-IIc	10414	未製品
第814図-2	1 層	32	17	7	2.8	珪	A-I d	10411	
第814図-3	床 直	(25)	16	6	(1.6)	珪	A-IIc	10407	
第814図-4	1 層	35	15	6	2.1	珪	A-IIc	10417	アスファルト附着
第814図-5	床 直	28	19	5	2.3	珪	A-I b	10406	S-13

第814図-6	1層	(54)	22	10	(11.5)	珪	B-II?	10913	
第814図-7	2層	(78)	30	13	(30.5)	珪	B-不明	10911	S-10
第814図-8	床直	28	10	7	1.6	珪	C-II	11137	S-12
第814図-9	床直	45	24	6	6.3	珪	G-Ia	12368	S-12 片面
第814図-10	床面	30	36	7	8.8	珪	G-II	12367	S-6 極浅
第814図-11	フク土	48	36	10	8.5	珪	G-Ib	12392	片面
第814図-12	1層	62	30	13	20.9	珪	G-Ia	12372	両面
第814図-13	1層	54	30	11	10.8	珪	G-II	12375	極浅
第814図-14	1層	26	39	7	3.6	珪	G-Ib	12381	片面
第815図-15	1層	24	28	14	8.6	珪	G-Ia	12384	両面, ベラの基部?
第815図-16	1層	41	32	12	11.0	珪	G-Ib	12377	両面
第815図-17	1層	117	64.5	40	275.5	安	L-IIIb	4417	
第815図-18	1層	80	56	49	315	チャ	L-Ib2	4418	
第815図-19	2層	119	58	43.5	271	安	L-IIIc	4416	
第815図-20	2層	85	80	41.5	439	安	L-Ia1	4415	半分欠損
第815図-21	1層	(61)	59	30.5	(151)	安	L-Ia1	4419	半分欠損
第815図-22	2上層面	(155)	248	57	(3120)	安	N-I3	5156	S-8
第815図-23	1層	67	31	37	8.4	軽	P	52	有孔

### 第338号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第816図-1	2床層面	(41)	15	6	(2.9)	珪	A-IIc	10419	S-4
第816図-2	2床層直	40	13	5	2.0	珪	A-IIc	10420	S-1
第816図-3	フク土	48	36	10	8.5	珪	G-Ib	12393	片面

### 第339号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第821図-1	上位	(42)	16	8	(4.1)	珪	A-IIc	10080	S-5
第821図-2	床直	29	16	8	2.7	珪	A-Ib	10421	S-21
第821図-3	床直	(29)	16	6	(2.4)	珪	A-IIb	10422	S-21
第821図-4	床直	28	15	6	1.6	珪	A-IIc	10423	S-24
第821図-5	床面	69	22	12	14.8	珪	B-III	10914	S-6
第821図-6	pit 3	59	25	13	16.9	珪	B-II	10917	
第821図-7	床直	63	26	13	16.1	珪	B-III	10916	S-9
第821図-8	床直	69	39	15	34.9	珪	B-II	10915	S-9
第821図-9	上位	23	24	10	6.6	玉珪	F	11418	S-14
第821図-10	床直	49	24	6	7.4	珪	G-Ia	12400	片面, 檜の未製品?
第821図-11	フク土	62	34	21	45.6	珪	G-Ib	11684	S-11, 両面
第821図-12	フク土	42	26	10	11.0	珪	G-Ib	11685	S-11, 両面

第822図-13	フク土	54	56	10	18	珪	G-I b	11686	S-13, 片面, スス 付着
第822図-14	床直	43	25	9	8.3	珪	G-I b	12399	S-9, 両面
第822図-15	床直	43	22	13	8.2	珪	G-I b	12401	S-23, 両面
第822図-16	フク土	37	25	6	5.7	珪	G-I b	12408	片面
第822図-17	床直	37	29	8	8.6	珪	G-I b	12398	片面 S-9
第822図-18	床直	52	53	16	49.6	珪	G-II	12394	S-9
第822図-19	床直	23	32	6	3.7	珪	G-II	12396	S-9
第822図-20	1層	(90)	68	37	(342.5)	安	L-I a 1	4125	S-10 半分欠損
第822図-21	床直	147.5	67.5	45	721	安	L-I a 1	4423	S-2
第823図-22	4C層	125	57	40	425	安	L-I a 2	4427	S-1
第823図-23	フク土	(85)	71	39	(338)	安	L-I a 1	4428	S-9
第823図-24	床直	404	166	122	11900	安	Q-II	5444	S-16
第823図-25	床面	376	232	101	12500	安	N-I 3	5157	S-4
第823図-26	フク土	(120.5)	(108)	117	(1470)	安	N-II	5161	
第823図-27	フク土 上位	69	44	14	37.8	珪	G-II	11689	極浅
第823図-28	上位	(217)	292	105	(9500)	安	N-I 3	5051	S-1

#### 第340号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第824図-3	フク土	36	20	8	5.5	珪	G-I a	10621	両面

#### 第341号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第825図-1	フク土	(79)	62	43	(306)	安	L-I a 1	4430	S-23, 半分欠損
第825図-2	フク土	(94)	58	39	(333)	安	L-I a 1	4433	半分欠損
第825図-3	フク土	(75)	(42)	40	(123)	チャ	L-I d	4431	S-28
第825図-4	フク土	74	42	17	16.3	軽	P	54	B-4
第825図-5	床直	(108)	(184)	58	(3540)	安	N-I 4	5162	S-36
第825図-6	床直	262	184	84	3360	礫	N-I 3	5163	S-37
第825図-7	床直	297	66	53	1500	流	Q-I b	5445	S-35
第826図-8	フク土	(38)	11	7	(2.4)	珪	A-IIc	10426	S-12
第826図-9	フク土	30	17	6	2.0	珪	A-I a	10431	S-33
第826図-10	フク土	49	18	9	6.9	珪	A-I b	10433	S-33
第826図-11	フク土	68	28	16	29.7	珪	B-III	10921	S-32
第826図-12	フク土	66	24	9	14.2	珪	B-II	10920	S-25
第826図-13	フク土	57	18	12	8.2	珪	B-II	10918	S-17
第826図-14	フク土	80	26	17	31.6	珪	B-I	10919	S-22
第826図-15	フク土	24	9	5	0.8	珪	C-II	10428	S-25
第826図-16	フク土	(45)	(23)	(5)	(4.8)	珪	D-I	11213	S-19

第826図-17	フク土	50	25	10	11.2	珪	G-I b	12422	S-32, 両面
第826図-18	フク土	52	28	13	17.5	珪	G-I a	12419	S-20, 両面
第826図-19	フク土	43	46	19	27.9	珪	G-II	12416	S-13, 極浅
第826図-20	フク土	46	27	9	11.3	珪	G-I a	12423	S-34, 両面

#### 第343号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第831図-1	フク土	(36)	13	8	(2.6)	珪	A-IIc	10436	S-2, アスファルト付着
第831図-2	フク土	39	21	12	7.9	珪	B-I	10924	
第831図-3	フク土	51	20	11	11.6	珪	B-III	10923	
第831図-4	フク土	46	20	9	8.0	珪	B-I	10922	
第831図-5	フク土	(35)	(19)	(9)	(5.6)	珪	D-I	11214	S-2
第831図-6	フク土	33	21	11	5.7	珪	G-II	12430	
第831図-7	フク土	33	30	6	3.7	珪	G-II	12428	極浅
第831図-8	フク土	34	25	6	4.1	珪	G-II	12431	極浅
第831図-9	フク土	67	21	5	6.7	珪	G-II	12425	S-2, 極浅
第831図-10	フク土	40	27	13	11.8	珪	G-I b	12426	S-2, 両面
第831図-11	フク土	(116)	74	30	(414)	安	L-I a1	4436	S-1, 半分欠損

#### 第344号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第834図-1	2層	28	14	4	1.0	珪	A-IIb	10437	S-3, アスファルト付着
第834図-2	2層	26	12	4	0.9	玉	A-IIc	10439	S-5
第834図-3	2層	(19)	14	4	(0.7)	玉珪	A-IIc	10440	S-7
第834図-4	2層	33	12	5	1.7	珪	A-I d	10441	S-8, アスファルト付着
第834図-5	フク土	35	26	9	5.9	珪	E-I	11335	
第834図-6	フク土	21	14	7	1.8	珪	F	11430	
第834図-7	フク土	35	19	10	6.5	珪	F	11431	
第834図-8	フク土	29	27	11	5.7	珪	G-I a	12433	両面
第834図-9	フク土	39	19	9	5.5	珪	G-I b	12434	両面
第834図-10	フク土	47	29	12	14.0	珪	G-II	12438	極浅
第834図-11	1層	126	63	34	461	安	L-I a2	4438	S-6
第834図-12	pit 1	76	60	31	189	チャ	L-I b	4440	
第834図-13	床直石	267	23	76	4420	安	N-I 2	5165	S-9

#### 第348号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第840図-1	フク土	(35)	15	7	(2.7)	珪	A-IIc	10446	S-7, アスファルト付着
第840図-2	フク土	48	16	8	5.4	珪	A-IIc	10444	S-1

第840図-3	フク土	55	22	13	9.7	珪	B-IV	10926	
第840図-4	5 層	57	20	12	9.4	珪	C-II	10925	S-14
第840図-5	フク土	53	26	12	11.2	珪	G-I b	12449	両面
第840図-6	フク土	36	20	8	4.5	珪	G-I b	12445	両面
第840図-7	フク土	39	38	17	24.8	珪	G-II	12441	
第840図-8	フク土	46	35	12	17.4	珪	G-I b	12444	片面
第840図-9	床 面	47	27	14	14.8	珪	G-I b	12440	両面
第840図-10	5 層	(55)	42	20	(76)	緑凝	I-I 1 a	4866	S-13
第841図-11	床 面	62	58.5	55	237	安	L-1 b 1	4443	S-11
第841図-12	フク土	95	79	55	512	安	L-I a	4449	北海道式石冠
第841図-13	4 層	114	65	39	306	安	L-I a 1	4446	S-18
第841図-14	フク土	(110.5)	74	39	(549)	安	L-I a 2	4448	S-5
第841図-15	5 層	122.5	72	34	410	安	L-I a 1	4444	S-10
第841図-16	4 層	109	47	25.5	199	安	L-I a 1	4445	S-8
第841図-17	フク土	(79)	65	19	(12.2)	軽	P	55	穿孔痕有り
第841図-18	フク土	(168)	(103)	(112)	(2500)	安	Q-I b	5448	S-6
第841図-19	床 面	(147)	77	65	(1100)	安	Q-I b	5447	S-19

#### 第349号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第842図-3	フク土	21	12	3	0.3	珪	A-I a	10449	S-1

#### 第350号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第847図-1	フク土	55	14	7	3.9	珪	A-II b	10458	
第847図-2	フク土	(38)	12	6	(2.2)	鉄石	A-II b	10454	S-13
第847図-3	フク土	30	15	5	1.9	珪	A-II c	10457	アスファルト付着
第847図-4	フク土	42	21	9	5.8	珪	C-II	11138	
第847図-5	フク土	86	33	19	39.6	珪	D-I a	11215	S-16
第847図-6	フク土	62	30	12	17.9	珪	E-II	11337	S-11
第847図-7	フク土	(35)	34	9	(26.5)	珪	E-I	11338	S-11
第847図-8	フク土	33	45	10	8.7	珪	G-II	12450	S-3, 極浅
第847図-9	フク土	50	29	13	15.7	珪	G-I a	12485	両面
第847図-10	フク土	40	28	8	7.0	珪	G-I a	12470	両面
第847図-11	フク土	42	24	10	10.4	珪	G-I b	12488	両面
第848図-12	フク土	46	28	14	15.8	珪	G-I a	12458	S-11, 両面
第848図-13	フク土	63	32	13	36.5	珪	G-I a	12453	S-5, 両面, ベラの未製品, 欠損品
第848図-14	フク土	48	28	11	13.7	珪	G-I a	12480	両面, 尖頭状
第848図-15	フク土	62	40	9	17.5	珪	G-II	12482	極浅

第848図-16	フク土	28	27	5	3.7	珪	H	13194	S-11
第848図-17	フク土	(47)	65	32	(145)	安	L-Ia3	4453	S-14 半分欠損
第848図-18	フク土	78.5	72.5	47.5	375	チャ	L-Ib2	4452	S-14
第848図-19	フク土	108	50.5	25.5	196	安	L-IVa	4455	
第849図-20	フク土	137	77	41	478	安	L-Ia2	4457	
第849図-21	フク土	83	86	33	(310)	安	L-Ia2	4456	半分欠損
第849図-22	フク土	110	72	43	625	安	L-Ia3	4451	S-7 (敲打痕あり)
第849図-23	フク土	92	51	20	180	緑凝	L-Ia	4867	

#### 第352号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第853図-1	1層	42	17	7	5.9	珪	G-Ia	13945	S-1, 両面

#### 第353号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第855図-1	フク土	46	23	7	8.6	珪	G-Ia	12503	S-2, 両面
第855図-2	フク土	35	25	9	8.9	凝	R-III	31	C-1
第855図-3	pit 1	129	63	30	349	安	L-Ia2	4460	S-6

#### 第354号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第860図-1	床直	57	24	14	11.2	珪	G-Ia	12504	S-1, 両面

#### 第355号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第863図-1	フク土	(34)	(21)	(9)	(5.8)	珪	B-不明	10927	
第863図-2	フク土	21	29	10	4.8	珪	G-II	12505	極浅

#### 第356号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第866図-1	フク土	50	26	13	14.8	珪	G-II	12506	S-3, 極浅

#### 第357号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第869図-1	フク土	(73)	(76)	56	395	安	L-Ia4	4463	S-1, 北海道式石冠, 半分欠損

第358号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第872図-1	フク土	36	18	7	2.5	珪	A-IIc	10460	S-4
第872図-2	フク土	24	19	8	2.6	珪	A-Ia	10467	
第872図-3	フク土	46	13	9	3.6	珪	A-IIc	10462	S-12
第872図-4	フク土	25	11	3	0.7	珪	A-IIc	10465	S-31
第872図-5	フク土	35	18	8	3.4	珪	C-I	11139	S-8
第872図-6	pit内	59	29	16	22.0	珪	B-III	10931	S-1
第872図-7	フク土	41	16	6	3.3	珪	A-IIc?	10461	S-5
第872図-8	フク土	86	34	18	46.9	珪	B-III	10930	S-35
第872図-9	フク土	65	22	10	14.2	珪	B-III	10928	S-6
第872図-10	フク土	23	9	7	1.3	玉	C-II	11141	
第872図-11	フク土	34	24	7	4.1	珪	C-III	11140	
第872図-12	フク土	40	23	6	4.0	緑ホ	C-III	11143	
第872図-13	フク土	(68)	24	13	(17.5)	珪	B-I	10929	S-7
第872図-14	フク土	40	15	9	5.3	珪	G-Ia	12518	両面
第873図-15	フク土	38	27	8	7.2	鉄石	G-Ia	12510	両面
第873図-16	フク土	29	22	6	3.5	珪	G-II	12529	
第873図-17	フク土	40	22	7	5.5	珪	G-Ib	12523	両面
第873図-18	フク土	60	38	12	30.3	珪	G-Ia	11346	S-27, 両面
第873図-19	フク土	62	26	11	15.8	珪	G-Ia	12519	両面
第873図-20	フク土	98	65.5	34	278	安	L-Ia2	4465	S-9
第873図-21	フク土	136	68	32	475	安	L-Ia2	4469	S-22
第873図-22	フク土	(95)	67	40	(239)	安	L-IIIc	4467	S-17
第873図-23	フク土	53	50	43	150	安	L-IIb2	4466	S-14

第359号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第876図-1	フク土	22	13	5	1.0	珪	A-IIc	10473	S-56, アスファルト付着
第876図-2	床面	(35)	12	6	(2.2)	珪	A-不明	10470	S-53, アスファルト付着
第876図-3	フク土	(28)	16	7	(2.8)	珪	A-I d?	10531	S-9, 未製品
第876図-4	フク土	23	16	4	0.8	珪	A-Ia	10485	
第876図-5	フク土	(58)	12	9	(5.4)	珪	A-IIc?	10477	S-67
第876図-6	フク土	50	22	12	10.7	珪	B-II	10933	S-22
第876図-7	フク土	29	14	5	1.9	珪	A-IIc	10483	
第876図-8	フク土	178	31	22	139	珪	B-I	10932	S-19
第876図-9	フク土	59	25	11	13.4	珪	B-III	10934	S-58
第876図-10	フク土	49	21	10	6.1	珪	C-II	11146	
第876図-11	フク土	57	28	10	9.7	珪	C-III	11145	

第877図-12	フク土	66	17	13	11.3	珪	C-II	11144	
第877図-13	フク土	25	12	6	1.4	玉	C-I	10475	S-61
第877図-14	東側 pit	27	18	8	3.0	珪	G-I b	12540	チップと一緒 両面、ドリル？
第877図-15	フク土	50	27	9	13	珪	G-I a	12642	S-2, 両面
第877図-16	フク土	87	42	20	14.0	珪	E-II	11339	S-33
第877図-17	フク土	29	20	6	2.6	珪	G-I a	12643	両面
第877図-18	フク土	30	22	6	3.5	珪	G-IVa	12558	
第877図-19	フク土	33	25	9	4.7	珪	G-I a	12534	両面, 定形の欠損品？
第877図-20	フク土	42	27	10	9.4	珪	G-I b	12545	両面, 尖頭状
第877図-21	床 面	25	40	14	9.8	珪	G-II	12536	S-59
第877図-22	床 面	26	45	9	11.6	珪	G-II	12531	極浅
第877図-23	フク土	30	22	11	7.1	珪	G-I b	12554	両面
第878図-24	フク土	106.5	71	42.5	470	安	L-I a 1	4474	S-30
第878図-25	フク土	96	59	23.5	191	安	L-I a 2	4514	S-5
第878図-26	フク土	104	77	44	368.5	安	L-IIIb	4515	S-14
第878図-27	フク土	221	55	46	883	流	Q-II	5451	S-28
第878図-28	フク土	213	87	59	1500	安	Q-II	5452	S-29

#### 第360号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第881図-1	フク土	(36)	15	9	(3.9)	安	A-I d	10488	S-11
第881図-2	フク土	34	16	8	3.5	安	A-IIc	10489	S-29
第881図-3	床 面	25	11	9	1.3	琥珀	R-II	13	加工有り
第881図-4	フク土	84	28	13	27.9	珪	D-I d	11216	
第881図-5	フク土	55	33	19	68.0	珪	E-II	11340	S-32
第881図-6	フク土	90	72	50	431	安	L-IIIb	4484	S-28
第881図-7	フク土	(103)	(58)	88	(632)	流	Q-I b	5453	S-1
第881図-8	床 面	136	63	31	390	安	L-I a 2	4478	S-35
第881図-9	フク土	105	55	20	185	安	L-I a 1	4483	S-25

#### 第361号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第885図-1	フク土	46	19	10	5.7	珪	A-I d	10497	S-10, 未製品
第885図-2	フク土	32	15	4	1.3	珪	A-IIc	10501	S-45
第885図-3	床 面	(27)	15	6	(2.1)	珪	A-IIc	10491	S-77
第885図-4	床 面	38	15	8	3.3	珪	A-IIc	10490	S-75
第885図-5	床 面	44	11	7	2.9	珪	A-I b	10492	S-82
第885図-6	フク土	42	19	10	5.7	玉	A-I d	10498	S-36
第885図-7	フク土	34	13	7	2.5	珪	C-II	11147	

第885図-8	フク土	44	22	11	9.5	珪	G-I b	12570	両面
第885図-9	フク土	90	29	16	35.6	珪	B-II	10935	S-21
第885図-10	フク土	77	28	10	19.0	珪	B-I	10938	S-92
第885図-11	フク土	38	25	11	9.0	珪	G-I a	12578	両面、ドリル?
第885図-12	フク土	43	48	10	17.1	珪	G-I a	12563	S-33, 両面
第885図-13	フク土	50	23	13	11.1	珪	B-III	10937	S-54
第885図-14	フク土	42	22	5	4.0	珪	G-I a	12581	片面
第885図-15	フク土	40	49	22	37.4	珪	G-I a	12567	S-67, 両面
第885図-16	フク土	49	18	12	8.4	珪	B-III	10936	S-53
第885図-17	フク土	61	33	17	26.3	珪	G-I a	12564	S-35, 片面, 1方 1/3調整
第886図-18	フク土	(40)	34	15	(29)	緑凝	I-I 1 a	4869	S-97
第886図-19	フク土	84	43	16	94	ホ	I-I 1 a	4868	S-59
第886図-20	フク土	(46)	69	38	(144)	安	L-1 a 1	4490	S-25, 半分欠損
第886図-21	フク土	68	63	19	103	安	L-I d	4491	S-55
第886図-22	フク土	81	70	57	447.5	チャ	L-1 b 2	4488	S-17
第886図-23	床 面	109	56	46	338.5	安	L-II b 1	4485	S-80
第886図-24	フク土	143	90	35	714.5	安	L-1 a 1	4486	S-2
第886図-25	フク土	125	68	34	450.5	安	L-1 a 2	4494	S-60(焼け痕)
第886図-26	フク土	111	89	64	924	安	L-1 a 4	4492	S-57 北海道式 石冠
第886図-27	フク土	(81)	96	34	(264)	安	L-III b	4493	S-58
第886図-28	フク土	(76)	62	15	(10.2)	軽	P	60	S-79 有孔
第886図-29	フク土	(190)	127	73	(2820)	安	N-I 3	5181	S-10
第886図-30	床 面	(175)	(133)	111	(3442)	安	N-II	5180	S-83
第886図-31	pit 3	363	302	100	(6080)	砂	N-I 2	5187	

#### 第362号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第889図-1	フク土	64	58	23	70.0	珪	G-II	12528	極浅
第889図-2	床 直	184	145	37	1130	安	N-I 4	5188	S-5

#### 第364号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第892図-1	フク土	(25)	14	6	(1.6)	珪	A-I a	10509	S-7
第892図-2	床 面	37	16	6	2.6	珪	A-II b	10507	S-12
第892図-3	フク土	47	37	12	26.6	珪	G-I a	12585	S-8, 両面, ベラ の基部?
第892図-4	フク土	43	27	13	9.8	珪	G-II	12586	
第892図-5	フク土	(95)	46	23	(149)	緑凝	I-I 1 a	4870	S-5

第366号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第896図-1	フク土	21	10	5	0.7	珪	A-I a	10516	S-37
第896図-2	フク土	(18)	(13)	4	(0.5)	珪	A-I a	10521	S-72
第896図-3	pit 6	21	12	6	1.4	緑ホ	A-II c	10522	
第896図-4	床面	31	(18)	8	(3.5)	珪	A-I c	10510	S-66
第896図-5	床面	38	18	6	3.4	珪	A-II c	10511	S-78
第896図-6	フク土	36	18	4	2.2	珪	A-II b	10518	S-44
第896図-7	フク土	30	13	5	1.3	珪	A-II c	10512	S-28, アスファルト ト付着
第896図-8	フク土	26	13	6	1.6	珪	A-II c	10528	
第896図-9	フク土	46	(11)	7	(1.2)	珪	C-II	11148	S-34
第896図-10	pit 13	33	16	7	3.6	珪	C-I	10525	
第896図-11	フク土	48	32	12	18.5	珪	E-II	11343	S-62
第896図-12	フク土	77	28	11	18.3	珪	BIV	10941	S-63
第896図-13	フク土	45	22	9	9.9	珪	B-III	11003	S-62
第896図-14	フク土	41	18	6	5.6	珪	A-I b	11009	
第896図-15	フク土	43	27	7	9.0	珪	G-II b	12611	両面
第896図-16	フク土	58	39	15	14.3	珪	G-I a	12641	片面
第896図-17	フク土	52	31	12	16.4	珪	B-II ?	10940	
第897図-18	フク土	84	40	22	79.8	珪	G-I a	11341	両面
第897図-19	フク土	84	38	16	52.5	珪	E-II	11342	S-12
第897図-20	フク土	24	27	10	5.5	珪	G-I b	12638	両面
第897図-21	フク土	25	30	12	9.2	珪	G-I b	12631	両面
第897図-22	フク土	39	53	13	22.8	珪	G-I b	12599	S-62, 片面
第897図-23	フク土	28	33	4	3.2	珪	G-I b	12626	片面
第897図-24	フク土	45	48	8	16.0	珪	G-I a	12591	S-2, 片面
第897図-25	フク土	25	41	17	11.9	珪	G-I a	12614	両面
第897図-26	フク土	27	40	9	7.9	珪	G-I a	12640	両面
第897図-27	フク土	43	33	16	17.8	珪	G-I a	12593	S-9, 両面
第897図-28	フク土	41	30	7	7.0	珪	G-I b	12628	片面
第898図-29	フク土	(83)	38	13	(63)	安	I-I 1 a	4871	S-35
第898図-30	フク土	129	69	46	568.5	安	L-1 a 1	4512	
第898図-31	フク土	124	70	41	539	安	L-1 a 1	4506	S-15
第898図-32	フク土	(106)	(54)	96	(482)	安	Q-I b	5457	S-70
第898図-33	フク土	94	46	32	117.5	安	L-II a 1	4509	S-45
第898図-34	フク土	112	55	40	291	安	L-III b	4507	S-19
第898図-35	フク土	130	60	38	324	安	L-II a 2	4504	S-6
第898図-36	フク土	44	7	7	7.0	滑石	R-V	34	C-1 半分欠損
第898図-37	フク土	(80)	76	28	(191)	安	L-III b	4503	S-3

第898図-38	フク土	177.5	189	97.5	3360	安	N-II	5196	S-42
第898図-39	フク土	144	125	32	461	砂	N-III	5198	S-59
第898図-40	フク土	(104)	(88)	35	(200)	凝	N-III	5191	S-1
第898図-41	フク土	96	50	45	34	砂	N-III	5197	S-58

### 第368号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第903図-1	床面	27	12	6	1.4	玉珪	A-IIc	10533	S-1
第903図-2	フク土	34	23	12	6.8	珪	G-Ia	12652	両面, 定形の基部?
第903図-3	フク土	42	19	12	6.0	珪	A-Id	10506	S-2
第903図-4	フク土	44	25	12	11.1	珪	G-Ia	12650	両面
第903図-5	床面	51	36	17	29.1	珪	G-Ia	12648	S-14, 両面, 欠損品?
第903図-6	フク土	38	27	7	6.3	珪	G-Ib	12584	S-1, 両面
第903図-7	フク土	24	53	10	9.3	珪	G-II	12588	極浅
第903図-8	フク土	(119)	53	42	(400)	閃	I-I2	4873	S-18
第903図-9	フク土	125	69	30	329	安	L-IVa	4518	S-8
第903図-10	床面	213	96	78	2000	流	Q-Ib	5458	S-12, 244H フク土と接合

### 第369号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第906図-1	床直	46	27	12	8.2	珪	G-Ib	12654	S-1, 両面
第906図-2	床直	(219)	(124)	44	(1500)	安	N-I3	5199	S-3 (366HS-61接合)

### 第371号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第910図-1	フク土	41	13	5	3.2	珪	G-Ib	13948	S-2? 片面, ピエ
第910図-2	フク土	76	56	34	219	チャ	L-Ib2	4521	S-14
第910図-3	フク土	97	52	20	128	安	I-II	4875	S-19

### 第373号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第913図-1	フク土	29	26	8	6.4	珪	G-II	12659	極浅
第913図-2	フク土	25	34	6	4.2	珪	G-II	12658	
第913図-3	フク土	61	35	7	16.6	珪	D-Ie	11217	

### 第374号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第916図-1	フク土	(23)	(12)	(5)	(0.7)	珪	A-不明	10535	

第916図-2	フク土	38	31	9	9.2	珪	G-I a	12666	両面
第916図-3	床直	50	22	9	8.7	珪	C-II	11150	S-3
第916図-4	フク土	65	53	13	38.3	珪	G-II	12665	極浅
第916図-5	フク土	28	43	9	8.6	珪	G-II	12664	極浅
第916図-6	床面	(89)	42	22	(139)	緑凝	I-I 1 b	4876	S-2

### 第376号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第920図-1	フク土	39	12	7	2.5	珪	A-II c	10536	
第920図-2	フク土	46	31	10	10.6	珪	G-II	12669	極浅
第920図-3	床面	30	42	9	10.5	珪	G-II	12668	S-1 極浅

### 第378号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第922図-1	床面	382	286	72	(13500)	安	N-I 3	5203	S-1

### 第379号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第924図-1	床直	40	42	12	22.7	珪	G-I b	12679	S-4, 片面
第924図-2	1層	31	16	10	3.7	珪	A-I c	10538	S-2

### 第381号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第933図-1	フク土	26	13	7	(1.8)	珪	A-I d	10543	S-91
第933図-2	フク土	37	13	8	2.5	緑ホ	A-II c	10546	S-127
第933図-3	床直	(46)	(18)	9	(6.1)	珪	B-不明	10944	S-65
第933図-4	床面	46	14	8	3.7	珪	A-II c	10539	S-59 アスファルト付着
第933図-5	フク土	33	15	9	3.7	珪	C-II	11152	S-92
第933図-6	フク土	35	18	7	4.4	珪	G-I a	12705	S-107, 両面
第933図-7	フク土	33	29	7	3.3	珪	G-I b	12701	S-101, 両面
第933図-8	pit 7	30	22	4	3.3	珪	G-I a	12714	両面, 檜の尖頭部
第933図-9	床直	26	20	8	5	珪	F	11432	S-2
第933図-10	床面	31	15	9	4.0	珪	F	12682	S-26
第933図-11	pit 5	21	27	11	3.8	珪	G-II	12713	極浅
第933図-12	フク土	64	26	10	15.4	珪	B-III	10945	S-8
第933図-13	床直	52	21	9	10.4	珪	G-I a	12685	S-58, 両面
第933図-14	フク土	56	(24)	10	(11.1)	珪	B-II	10946	S-53
第933図-15	床面	76	35	11	32.7	珪	E-II	11344	S-23

第933図-16	フク土	72	36	19	48.5	珪	E-II	11345	S-118
第934図-17	フク土	30	35	11	9.2	珪	G-Ia	12691	S-9, 両面
第934図-18	フク土	37	25	10	7.6	珪	G-IVa	12689	S-138
第934図-19	フク土	37	25	9	7.1	珪	G-Ia	12692	S-22, 片面
第934図-20	床 面	40	30	12	11.9	珪	G-II	12683	S-85
第934図-21	フク土	43	41	12	13.0	珪	G-Ib	12706	S-109, 片面
第934図-22	フク土	42	31	10	17	珪	G-Ia	12690	S-6, 両面, 打斧
第934図-23	フク土	(135)	69	25	(381)	輝	J	4553	S-55
第934図-24	フク土	(107)	50	31	(232)	閃	I-I2	4878	S-79
第934図-25	フク土	(57)	49	(8)	(29)	頁	I-I1a	4877	S-77
第934図-26	床 直	(56)	65.5	30	(164)	安	L-Ia1	4539	S-19
第934図-27	フク土	87	37.5	14	71	安	L-I d	4555	S-108
第934図-28	フク土	(71)	70	46	(350)	安	L-Ia1	4547	S-7
第934図-29	床 面	139	74	35.5	565	安	L-Ia1	4528	S-42
第934図-30	床 直	126	56	33	409	安	L-Ia2	4544	S-113
第934図-31	床 面	119	55	28	273	安	L-Ia1	4530	S-68
第935図-32	フク土	57	51	12	22.7	凝	R-III	35	C-1
第935図-33	床 面	33	28	10	5.6	凝	R-III	37	C-3
第935図-34	床 面	60	20	6	11.9	粘	R-III	36	C-2
第935図-35	pit 9	468	378	(46)	(12100)	安	N-I3	5210	S-147
第935図-36	床 面	298	82	67	2400	流	Q-Ia	5461	S-1
第935図-37	フク土	276	91	67	2300	流	Q-II	5464	S-43

#### 第384号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第938図-1	床 面	49	23	13	9.6	珪	B-I	10949	S-1
第938図-2	床 面	42	28	11	13.3	珪	G-Ib	13949	S-1 片面
第938図-3	pit 6	27	11	10	1.9	珪	C-II	11151	

#### 第386号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第942図-1	床 面	(28)	14	5	(1.9)	玉珪	A-IIc	10051	S-23
第942図-2	床 直	(27)	14	6	(1.6)	珪	A-IIc	10549	S-12, アスファルト付着
第942図-3	床 直	21	13	5	0.9	珪	A-IIc	10550	S-20, アスファルト付着
第942図-4	フク土	26	9	4	0.7	珪	A-IIc	10552	S-17
第942図-5	床 面	27	30	5	4.4	珪	G-Ib	12715	S-22, 片面
第942図-6	フク土	39	(18)	10	(6.5)	珪	B-III	10950	
第942図-7	フク土	40	18	11	6.9	珪	G-Ib	12717	両面
第942図-8	フク土	147	82	53	948	安	L-Ia1	4560	S-2

第942図-9	壁面	105	85	21	20.5	軽	P	67	S-14. 有孔
第942図-10	確認面	375	302	96	8200	安	N-I 3	5211	S-1

#### 第388号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第945図-6	フク土	49	11	10	3.2	珪	A-IIc	10553	S-1
第945図-7	フク土	29	33	5	2.9	珪	G-II	12725	極浅

#### 第390号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第948図-4	フク土	28	22	7	2.9	珪	C-II	11153	
第948図-5	pit 1	30	15	9.5	2.8	珪	G-II	12729	
第948図-6	フク土	26	15	5	1.5	玉珪	G-II	12728	
第948図-7	pit 3	44	21	14	8	珪	G-I b	12730	片面
第948図-8	床面	39	24	9	9.4	珪	G-I b	12722	S-2. 両面
第948図-9	床面	(220)	103	67	(2100)	流	Q-II	5465	S-1

#### 第391号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第953図-1	フク土	29	15	7	2.5	玉	A-I d	10555	S-28
第953図-2	フク土	29	14	8	2.3	珪	A-I d	10560	未製品
第953図-3	フク土	42	19	11	7.2	玉珪	A-I d	10564	未製品
第953図-4	フク土	36	24	10	4.4	珪	C-II	11155	
第953図-5	フク土	(51)	12	8	(4.0)	珪	A-I d	10559	S-65
第953図-6	フク土	35	36	15	13.6	珪	G-II	12744	
第953図-7	フク土	40	20	7	4.0	珪	C-II	11154	
第953図-8	床面	45	26	12	10.2	珪	G-I b	12731	S-60. 片面
第953図-9	フク土	71	23	12	22.3	珪	B-II	10952	S-34
第953図-10	フク土	66	30	11	18.8	珪	B-II	10953	S-57
第953図-11	フク土	43	27	13	10.5	珪	G-I a	12732	両面 定形の基部?
第953図-12	フク土	39	(18)	10	(6.5)	珪	B-III	10951	
第953図-13	フク土	(49)	(25)	(17)	(13.5)	珪	B-不明	10954	
第953図-14	フク土	(76)	43	16	(89)	緑凝	I-I 1 a	4880	
第953図-15	pit 7	107	(50)	25.5	(210)	緑凝	I-I 1 a	4881	
第954図-16	フク土	147	88.5	40	847	安	L-1 a 4	4564	S-67 石冠 北海道式
第954図-17	フク土	154	66	(37)	(575)	閃	J	4562	S-4
第954図-18	フク土	(136.5)	145	168.5	(4320)	安	N-II	5220	S-40
第954図-19	フク土	414	(216)	54	(7350)	安	N-I 3	5221	S-42

第393号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第958図-1	フク土	29	12	6	1.4	珪	A-IIc	10591	
第958図-2	床面	27	13	6	1.2	珪	A-IIc	10568	S-100
第958図-3	フク土	43	19	13	8.0	珪	A-I d	10556	S-32
第958図-4	フク土	29	13	9	3.0	珪	C-II	10590	
第958図-5	フク土	44	14	10	4.8	珪	A-I c	10574	S-11
第958図-6	フク土	(33)	22	6	(2.7)	黒曜石	A-IIc?	10754	S-36
第958図-7	フク土	43	15	7	3.3	珪	A-IIc	10578	S-25
第958図-8	フク土	33	11	8	1.9	珪	C-II	10584	S-96
第958図-9	フク土	28	18	7	3.1	珪	A-I c	10587	
第958図-10	床直	50	15	7	3.5	珪	A-IIc	1569	S-76
第958図-11	フク土	41	19	11	7.4	珪	A-不明	10752	未製品
第958図-12	床直	29	23	6	3.3	珪	G-I a	12753	S-84, 片面
第958図-13	フク土	79	34	18	43.1	珪	B-II	10956	S-6
第958図-14	フク土	95	33	18	54.5	珪	B-III	10959	S-18
第958図-15	フク土	38	23	6	5.4	珪	G-I a	12764	S-53, 両面
第958図-16	床直	43	23	9	7.0	珪	G-I a	12751	S-75, 両面
第959図-18	フク土	53	22	7	7.3	珪	D-I c	11219	S-20
第959図-19	フク土	(56)	(24)	(6)	(9.0)	珪	D-I	11218	S-19
第959図-20	フク土	69	23	12	20.2	珪	B-III	10958	
第959図-21	フク土	36	20	11	6.5	珪	G-I a	12767	S-62, 両面, 石鉄の未製品?
第959図-22	床面	33	32	6	7.3	緑ホ	G-II	12748	S-74
第959図-23	床直	37	32	14	11.5	珪	G-I a	12752	S-80, 両面
第959図-24	フク土	74	25	12	22.6	珪	B-III	10957	S-95
第959図-25	フク土	76	27	18	24.0	珪	B-II	10960	S-69
第959図-26	フク土	38	23	10	7.4	玉珪	G-I a	10751	S-33, 両面
第959図-27	フク土	87	33	18	57.4	珪	E-II	11347	
第959図-28	フク土	55	36	8	16.5	珪	G-I a	12775	両面
第959図-29	フク土	68	38	20	36.6	珪	G-I a	12768	S-65, 両面, ベラの未製品?
第960図-30	フク土	(53)	23	6	(17)	粘	I-I 3 a	4885	S-60
第960図-31	フク土	(48)	38	13	(36)	緑凝	I-I 1 a	4883	S-37
第960図-32	フク土	(119)	44	18	(142)	緑凝	I-I 1 a	4887	S-64
第960図-33	床直	151	97	46	1075	安	L-1 a 4	4567	S-83 北海道式石冠
第960図-34	フク土	154	69	63	965	安	L-I d	4572	
第960図-35	フク土	126	80	33	461	安	L-1 a 2	4569	S-58
第960図-36	フク土	295	68	42	1400	流	Q-II	5468	S-93
第960図-37	フク土	(744)	126	116	(9400)	安	Q-I b	5467	S <sup>52</sup> 432H と接合
第960図-38	フク土	(382)	105	64	4700	流	Q-II	5469	S-102, 104

第394号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第967図-1	床面	26	14	6	1.5	珪	A-IIb	10597	S-16
第967図-2	床面	(31)	13	6	(1.4)	珪	A-IIc	10598	S-18
第967図-3	床面	40	17	7	3.2	珪	A-IIb	10595	S-4
第967図-4	フク土	76	18	11	12.1	珪	B-I	10962	S-14
第967図-5	床面	61	25	11	14.2	珪	B-II	10961	S-3
第967図-6	フク土	(57)	23	12	(14.3)	珪	B-II?	10963	
第967図-7	床面	28	32	15	8.6	珪	G-II	13034	S-1
第967図-8	床面	19	42	8	6.0	珪	G-II	12804	S-19
第967図-9	フク土	80	42	24	50.0	珪	G-Ia	11348	S-15, 両面
第967図-10	フク土	73	29	6	10.6	珪	G-Ia	12806	S-2, 片面
第968図-11	床直	42	27	13	13.1	珪	G-Ib	12805	S-20, 片面
第968図-12	床面	43	21	8	6.6	珪	G-Ia	10596	両面, 石鉄の欠損品, S-5
第968図-13	フク土	132	103	29	58.5	安	N-I3	5224	S-1

第395号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第970図-1	床直	36	15	6	2.3	珪	A-IIc	10600	S-17
第970図-2	フク土	30	13	4	1.5	珪	A-IIc	10605	S-12, 未製品
第970図-3	床面	33	11	5	1.9	珪	C-II	10698	S-1
第970図-4	フク土	43	14	11	4.5	珪	C-II	10602	S-2
第970図-5	フク土	47	19	11	9.1	珪	B-III	10964	S-11
第970図-6	フク土	74	24	10	16.9	珪	B-I	10988	
第970図-7	フク土	54	30	16	24.7	珪	E-II	11351	S-6
第970図-8	フク土	70	33	15	34.0	珪	E-II	11353	
第970図-9	フク土	58	29	12	16.8	珪	G-Ia	11352	S-9, 両面
第970図-10	フク土	34	22	12	7.4	珪	G-Ia	12825	両面
第970図-11	床直	52	28	12	19.8	玉珪	G-Ia	11349	S-10, 両面
第970図-12	床面	36	25	13	10.6	珪	G-Ia	13039	S-1, 両面
第971図-13	フク土	62	29	15	25.0	珪	G-Ia	11350	S-5, 両面
第971図-14	床直	69	27	15	28.2	玉珪	G-Ia	12816	S-15, 両面, 槍orペラの未製品?
第971図-15	床下	63	30	16	23.5	珪	G-II	12818	S-24
第971図-16	床面	47	27	8	7.5	珪	G-Ia	12814	S-20, 片面
第971図-17	フク土	139	68	54	535	安	L-IVb	4652	
第971図-18	床面	(253)	236	110	(7980)	安	N-I3	5226	S-14

第396号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第976図-1	床面	52	15	5	3.2	珪	A-IIc	10606	S-18. アスファルト付着
第976図-2	フク土	36	18	8	4.0	珪	G-Ib	12836	S-2. 片面
第976図-3	フク土	37	23	9	6.7	珪	G-IVa	12839	S-14
第976図-4	フク土	79	32	13	27.4	珪	B-III	10965	S-8
第976図-5	フク土	53	35	12	22.6	珪	G-Ia	12838	S-11. 両面ベラの未製品?

第397号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第978図-4	フク土	52	35	9	10.9	珪	G-II	12842	

第398号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第979図-4	フク土	(69)	41	(4)	(14)	頁	I-I1a	4890	
第979図-5	床直	(146)	50	31.5	(345)	安	I-I2	4889	S-2
第979図-6	床直	(130)	48.5	34	(346)	閃	I-I2	4888	S-1

第401号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第982図-4	フク土	58	16	8	6.0	珪	A-IIb	10609	
第982図-5	フク土	67	27	13	18.5	玉	B-III	10966	
第982図-6	床面	110	66	46	579.5	安	L-Ia2	4583	北海道石冠S-3
第982図-7	床面	444	(246)	104	(12800)	安	N-I3	5228 5229	S-2

第402号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第985図-1	床直	35	13	6	2.1	珪	A-IIC	10610	S-4
第985図-2	フク土	28	(13)	4	(1.3)	珪	A-IIb	10612	
第985図-3	カクニ面	78	33	18	38.0	珪	E-II	11354	
第985図-4	床直	25	31	6	4.5	珪	G-II	12848	極浅1/2S-7
第985図-5	床直	44	38	7	10.2	珪	G-Ib	12847	片面S-7
第985図-6	カクニ面	60	33	15	24.8	珪	G-Ia	12854	両面
第985図-7	カクニ面	(116.5)	61.5	58	(748)	安	L-Ia4	4585	北海道式石冠
第985図-8	床直	(125)	48	31	(295)	閃	I-I2	4891	S-6
第985図-9	フク土上	44	25	13	11.0	珪	G-Ib	12851	両面

第403号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第987図-1	カクニ面	39	17	7	3.1	珪	A-IIc	10615	
第987図-2	フク土	47	28	5	6.7	珪	G-II	12855	極浅2/3スス付着

第404号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第991図-1	南西床盛 ローム内	29	15	6	(1.6)	珪	A-IIc	10617	
第991図-2	床直	37	13	6	2.4	珪	A-IIc	10619	S-11
第991図-3	フク土	(54)	(22)	(10)	(8.8)	玉	B-IV	10967	S-3
第991図-4	フク土	64	17	10	8.1	玉	B-IV	10970	S-7
第991図-5	フク土	91	24	13	26.4	玉	B-I	10968	S-5
第991図-6	フク土	(55)	23	7	(12.4)	玉	B	10969	S-9
第991図-7	床面	46	14	8	4.1	珪	C-II	10618	S-20
第991図-8	床直	57	23	14	13.2	珪	G-Ib	12858	両面スス付着S-19
第991図-9	フク土	(57)	41	15	(66)	緑細凝	I-I la	4892	
第991図-10	フク土位 上	44	26	9	11.7	珪	G-Ia	12861	両面
第991図-11	フク土位 上	38	27	7	5.3	珪	G-IVb	12862	

第408号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第996図-1	床面	(43)	14	6	(29)	珪	A-IIc	10622	S-42
第996図-2	フク土	(44)	16	7	(3.3)	珪	A-IIc	10626	
第996図-3	フク土	(37)	19	5	(1.6)	珪	A-Ia	10631	
第996図-4	フク土	(34)	17	7	(3.4)	玉	A-IIC?	10628	
第996図-5	フク土	56	20	8	10.9	珪	B-II	10972	
第996図-6	1層下	41	19	10	5.7	珪	A-I d?	10624	
第996図-7	フク土	50	29	13	19.4	珪	B-III	10973	
第996図-8	1下	29	27	14	3.3	珪	C-III	11157	
第996図-9	1C層	47	31	12	10.3	珪	C-III	11158	
第996図-10	1層下	69	28	13	30.1	珪	E-II	11355	
第996図-11	1層	29	21	9	6.0	玉	G-Ia	12869	両面
第996図-12	1層	23	35	8	5.8	珪	G-Ib	12871	片面
第996図-13	床面	52	51	14	32.0	珪	G-Ib	12867	両面S-43
第996図-14	フク土	55	36	18	28.6	珪	G-Ia	11356	両面
第997図-15	床直	143	74	40	703	安	L-Ia1	4590	S-25
第997図-16	1C層	124	70	47	549	安	L-Ia4	4594	北海道式石冠S-23
第997図-17	1層下	(45)	63	37	(106)	安	L-IIc	4597	

第997図-18	1層下	117	83	52	7325	安	L-IIb1	4598	
第997図-19	1層	123	45	30.5	248.5	安	L-IIb1	4601	
第997図-20	2層	74	63	56	369	安	L-Ib1	4604	
第997図-21	1層	104	61	28	284	安	L-Ia2	4602	
第997図-22	1C層	93	69	47	426	チャ	L-Id	4607	
第998図-23	1C層	(286)	285	95	(3480)	凝	N-IIa	5245	S-3
第998図-24	1C層	132	78	44	314	凝	N-III	5246	S-7
第998図-25	床直	(205)	(137)	29	(1290)	安	N-I4	5242	S-29
第998図-26	床直	157	79	59	930	安	N-I3	5243	S-34
第998図-27	1a層	215	116	71	3160	安	N-I3	5251	S-11
第998図-28	床直	(75)	122	70	(1100)	安	N-II	5240 5241	S-29
第998図-29	床面	195	177	37	(1033)	安	N-II6	5238	S-26.35
第998図-30	床面	283	169	67	4040	安	N-II	5237	S-39
第998図-31	1b層	378	263	140	17500	安	N-II	5253	S-4
第998図-32	床面	261	103	75	3,010	安	N-II	5239	S-30
第998図-33	1b層	29	16	7	5.6	硬玉	R-1	9	

409号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1002図-1	3層	35	12	7	2.6	珪	A-I d	10632	S-21
第1002図-2	2層	23	16	5	1.2	珪	A-IIc	10634	S-21
第1002図-3	1層	24	12	8	1.8	珪	A-IIc	10637	S-21
第1002図-4	床直	85	23	11	21.4	珪	B-II	10974	S-27
第1002図-5	2層	132	38	10	59.9	黒曜石	B-II	10977	S-1
第1002図-6	2層	48	17	7	3.8	珪	C-II	11159	
第1002図-7	フク土	(34)	9	6	(1.5)	珪	C-II	11160	S-43
第1002図-8	床直	42	22	11	8.4	珪	G-Ib	10975	両面S-38
第1002図-9	3層	42	17	9	6.1	珪	G-Ia	10976	両面S-41
第1002図-10	床直	48	29	14	14.6	珪	G-Ib	12879	片面S-28
第1002図-11	1層	27	52	14	13.7	珪	G-Ib	12893	片面
第1002図-12	床直	33	27	11	10.0	珪	G-Ia	12880	両面S-33
第1003図-13	2層	115	71	30	391	安	L-Ia2	4613	S-19
第1003図-14	2層	100	81.5	45	434	安	L-IIa1	4615	S-23
第1003図-15	1層	(99)	68	66	(530)	安	L-IIb1	4619	
第1003図-16	フク土	119	71	38	368	安	L-IIIc	4620	
第1003図-17	床直	(119)	174	45	(572)	礫	N-I1b	5254	S-31
第1003図-18	1層	(120)	193	65	(1880)	安	N-I3	5266	S-14
第1003図-19	1層	116	120	44	896	安	N-I3	5265	S-12
第1003図-20	床面	248	218	56	2200	礫	N-I3	5256	S-32
第1003図-21	2層	(273)	(114)	78	(2580)	安	N-I3	5264	

第411号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1005図-1	フク土	(54)	15	6	(4.3)	珪	A-IIc	10639	
第1005図-2	フク土	59	41	13	25.9	珪	G-II	12903	極浅1/2
第1005図-3	フク土	46	43	12	20.7	珪	G-II	12904	極浅2/3タール付 着

第412号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1007図-1	フク土	(34)	15	5	(2.9)	珪	A-IIC	10640	S-1
第1007図-2	フク土	36	27	8	6.6	珪	G-I a	10978	両面S-3
第1007図-3	フク土	44	30	12	12.4	珪	G-I b	12915	片面
第1007図-4	フク土	58	46	12	29.0	珪	G-II	12910	極浅1/3
第1007図-5	フク土	51	26	13	13.8	珪	G-I a	12907	両面槍、未製品 S-2
第1007図-6	フク土	145	72	77	718	珪	L-IVa	4624	
第1007図-7	フク土	(111)	60	24	(238)	珪	L-I d	4623	
第1007図-8	フク土	129	70	45	613	珪	L-I a 4	4622	北海道式石冠

第413号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1011図-1	フク土	34	15	7	2.4	珪	A-IIc	10643	
第1011図-2	フク土	29	14	3	1.2	珪	A-IIc	10641	S-5
第1011図-3	フク土	48	21	10	8.1	珪	B-I	10979	
第1011図-4	フク土	65	27	12	18.7	珪	B-I	10980	
第1011図-5	フク土	66	27	16	31.3	珪	E-II	11336	
第1011図-6	フク土	31	28	14	13.8	珪	G-IIb	12922	両面
第1011図-7	フク土	47	27	14	16.7	珪	G-I a	12929	両面
第1011図-8	フク土	43	28	13	16.4	珪	G-I a	11357	両面
第1011図-9	床直	30	28	8	4.4	珪	G-II	12936	S-1
第1011図-10	フク土	66	27	15	30.2	珪	G-I a	12934	片面
第1012図-11	フク土	56	35	10	18.0	珪	G-b	12439	片面S-1
第1012図-12	フク土	133	61.5	27	310	珪	L-I a 2	4625	
第1012図-13	フク土	204	188	91	4150	安	N-II	5166	S-2
第1012図-14	床直	(189)	(197)	30	(1270)	安	N-I 4	5270	S-12
第1012図-15	床直	136	112	34	314	砂	N-I	5269	S-4
第1012図-16	フク土	343	220	176	8800	安	N-II	5272	S-11
第1012図-17	フク土	(139)	(130)	57	(1600)	安	N-I 4	5271	S-6
第1012図-18	フク土	138	38	45	80.0	軽	P	71	S-8

第414号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1014図-1	床面	32	14	9	2.7	玉	A-IIc	10647	S-17
第1014図-2	床面	(45)	14	8	(4.4)	珪	A-IIc	10646	S-16
第1014図-3	床面	29	38	7	4.6	珪	G-II	12938	極浅
第1014図-4	床面	26	26	10	6.0	珪	G-Ib	12937	両面
第1014図-5	床面	253	262	84	5565	安	N-I 4	5274	S-13
第1014図-6	床直	216	180	173	11600	安	N-II	5275	S-14

第415号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1016図-8	フク土	(44)	15	6	(3.1)	珪	A-IIc	10648	S-2 アスファルト 付着
第1016図-9	フク土	(32)	23	8	(3.6)	珪	A-IIb	10650	アスファルト付着
第1016図-10	フク土	35	15	6	2.3	珪	C-I	10649	
第1016図-11	フク土	30	20	4	1.5	珪	G-Ib	12941	S-2 片面
第1016図-12	フク土	31	25	20	16.8	珪	G-Ia	12940	S-2 両面

第417号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1017図-1	カクニ面	190	69.5	36	458	安	L-Ia	4629	

第422号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1019図-1	フク土	56	34	19	39.4	珪	G-Ia	12962	両面、未製品

第423号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1022図-7	床面	42	21	9	7.6	珪	G-Ia	10981	両面、ゾクの欠損品?
第1022図-8	フク土	48	21	8	7.7	珪	G-Ia	12963	S-3、片面檜の未 製品、欠損品?
第1022図-9	フク土	227	197	27	1600	安	N-I 4	5278	S-2
第1022図-10	床面	259	81	54.5	1600	流	Q-II	5474	S-5

第424号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1024図-7	フク土	(40)	16	6	(3.5)	珪	A-IIc	10651	
第1024図-8	フク土	105	40	27.5	168	安	L-Ic	4633	

第425号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1026図-1	フク土	32	13	5	1.4	珪	A-IIc	10652	S-6
第1026図-2	フク土	48	21	13	8.4	珪	B-I	10983	S-14
第1026図-3	フク土	127	(32)	18	(77.6)	珪	B-II	10982	S-3
第1026図-4	フク土	41	24	10	9.3	珪	G-II	12965	
第1026図-5	フク土	40	21	9	7.2	珪	G-Ia	12966	両面
第1026図-6	フク土	(92)	45	25	(176)	砂	I-I5	4893	S-2
第1026図-7	フク土	109	78	41	548.5	安	L-Ia4	4634	北海道式石冠S-13
第1026図-8	床直	167	168	48	1700	安	N-I3	5280	S-10
第1026図-9	床直	(178)	(127)	40	(1100)	安	N-I4	5279	S-8
第1026図-10	フク土	(142)	(88)	71	(1124)	安	N-I3	5281	S-12

第426号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1029図-4	フク土	27	13	6	1.5	玉	A-IIc	10772	P-1

第427号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1030図-4	床直	37	12	6	2.0	珪	A-IIc	10653	S-1、アスファルト附着
第1030図-5	床面	(248)	186	101	(6150)	安	N-I3	5283	S-4

第432号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1036図-8	床面	(33)	34	11	(10.9)	凝	R-III	4	C-4
第1036図-9	床面	254	41	15	239	千	Q-III	3	C-3
第1038図-34	フク土	30	15	9	3.7	珪	A-IIc	10658	
第1038図-35	南東フク土	28	14	5	1.5	珪	A-IIb	10656	
第1038図-36	フク土	(62)	27	8	(13.9)	珪	D-Ia	11220	S-11
第1038図-37	フク土上位	38	35	12	13.4	珪	G-Ib	12971	片面
第1039図-38	フク土	75	39	11	31.8	珪	G-II	12972	極浅
第1039図-39	床面	(248)	186	101	(6150)	安	N-I3	5283	S-4
第1039図-40	床直	(52)	46	25	(81)	閃	I-I2	4894	S-22
第1039図-41	フク土	84	40	17	82	安	I-I4	4895	S-6
第1039図-42	フク土	109	78	41	548.5	安	L-Ia4	4634	S-13 北海道式石冠
第1039図-43	フク土上位	115	50	29.5	260	安	L-Ia2	4639	
第1039図-44	フク土	(58)	(90)	28	(149)	安	N-I1b	5287	S-16
第1039図-45	確認面	153	100	47	929	安	N-I3	5288	S-4

第1039図-46	床 面	382	185	94	3650	安	N-II	5286	S-26
-----------	-----	-----	-----	----	------	---	------	------	------

#### 第433号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1040図-1	フク土	57	30	7	14.5	珪	G-I a	13003	両面S-6、檜の欠損品
第1040図-2	フク土	25	11	5	1.0	珪	A-I d	10672	S-8

#### 第434号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1041図-1	床 直	(230)	(173.5)	(50)	(2000)	安	N-II	5289	S-5
第1041図-2	カクニ面	224	186	127	7350	安	N-II	5290	S-1
第1043図-15	フク土	26	17	4	1.1	珪	A-II c	10664	
第1043図-16	床 直	(24)	16	7	(2.3)	珪	A-II c	10659	S-11
第1043図-17	フク土	19	11	6	1.1	珪	C-III	10663	
第1043図-18	フク土	47	24	12	10.0	珪	G-I a	12984	両面
第1043図-19	フク土	30	28	11	8.5	珪	G-I b	12997	片面
第1043図-20	床 直	31	27	8	5.6	珪	G-I b	12979	両面S-9
第1043図-21	床 直	30	38	11	9.1	珪	G-I b	12981	両面S-21
第1043図-22	フク土	32	20	8	3.2	珪	G-I b	12990	片面

#### 第435号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1047図-20	フク土	85	61	54	331	緑凝	O	6	S-22
第1048図-21	床 面	(34)	13	7	(3.0)	珪	A-不明	10666	S-13
第1048図-22	床 面	31	17	7	3.8	珪	C-I	10665	S-31
第1048図-23	床 直	47	12	8	3.7	珪	A-II c	10668	S-25、アスファルト付着
第1048図-24	床 直	26	12	5	1.4	珪	C-I	10667	S-15
第1048図-25	床 直	(70)	(36)	(11)	(34.5)	珪	B-II	11007	S-28
第1048図-26	床 面	(47)	21	7	(7.2)	珪	B-III	10984	S-9
第1048図-27	床 面	476	392	90	(17500)	安	N-I 2	5291	S-10
第1048図-28	床 面	325	117	96	4900	安	Q-II	5476	S-32
第1049図-29	フク土	34	13	5	2.0	珪	A-II c	10674	S-20、アスファルト付着
第1049図-30	フク土	29	16	9	2.7	玉珪	C-I	10655	S-10
第1049図-31	フク土	36	13	7	2.8	珪	A-I d	10676	
第1049図-32	フク土	21	11	6	1.2	珪	C-III	10673	S-18
第1049図-33	Pit 内	57	32	12	34.4	珪	G-I a	13017	
第1049図-34	床 面	37	32	11	15.2	珪	G-I a	12999	S-11、片面
第1049図-35	フク土	68	36	14	32.9	珪	G-I a	11358	両面S-23
第1049図-36	フク土	27	37	8	7.7	珪	G-IV a	13004	S-16

第1049図-37	フク土	40	28	10	9.3	珪	G-I a	13002	S-16、両面
第1049図-38	フク土	135	69	46.5	600	安	L-I a 3	4644	S-3
第1049図-39	フク土	(58)	(44)	20	(37)	緑凝	I-I 5	4896	
第1049図-40	フク土	(176)	57	27	(505)	緑凝	I-I 2	4897	S-4

#### 第437号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1053図-1	床直	41	(15)	8	(3.8)	珪	A-I d	10683	S-2
第1053図-2	床直	34	14	8	3.0	珪	C-I	10684	S-7
第1053図-3	床面	41	42	13	14.9	珪	G-I d	13019	片面S-6
第1053図-4	炉	244	154	133.5	6500	安	N-II	5293	S-5

#### 第439号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1056図-1	フク土	(31)	11	5	(1.4)	玉珪	A-IIc	10690	
第1056図-2	フク土	42	15	9	3.6	珪	C-II	10687	
第1056図-3	フク土	42	12	10	4.2	珪	C-II	10689	
第1056図-4	床面	43	27	15	18.7	珪	G-II	13027	S-6
第1056図-5	フク土	17	23	5	1.4	珪	G-I b	13033	片面
第1056図-6	フク土	27	18	3	1.4	珪	G-I a	13030	両面ドリルの欠損品?
第1056図-7	フク土	155	82.5	25.5	469	珪	L-I a 1	4651	S-1

#### 第440号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1057図-6	3層	(29)	(13)	(6)	(2.1)	珪	A-IIc	10691	S-1
第1057図-7	フク土	(40)	19	14	(8.5)	珪	A-I c	10693	
第1057図-8	床面	41	17	13	8.6	珪	B-II	10985	S-5
第1057図-9	3層	(46)	22	13	(10.4)	珪	B-I	10987	S-3
第1057図-10	3層	40	19	10	6.6	珪	B-I	10986	S-3
第1057図-11	3層	36	21	11	5.7	珪	G-I b	13025	両面
第1057図-12	3層	40	25	9	7.3	珪	G-I b	13023	両面S-4
第1057図-13	床面	20	28	8	3.8	珪	G-I b	13022	片面S-7

第448号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1060図-9	床 面	27	12	7	1.0	玉珪	A-IIc	10694	S-3
第1060図-10	フク土	32	16	5	2.9	珪	A-I d	10734	
第1060図-11	フク土	43	13	5	2.7	珪	A-IIc	10736	アスファルト付着
第1060図-12	フク土	31	16	8	5.8	玉珪	F	11440	
第1060図-13	フク土	47	17	10	5.4	珪	C-II	11164	
第1060図-14	フク土	33	18	11	6.6	珪	C-III	11163	
第1060図-15	フク土	48	18	11	8.5	珪	B-I	11001	
第1061図-16	フク土	(70)	20	11	(16.2)	珪	B-II	10989	S-2
第1061図-17	フク土	(24)	(45)	(7)	(4.4)	珪	D-IIa	11224	
第1061図-18	床 直	56	38	15	34.1	珪	G-I a	13035	S-4
第1061図-19	フク土	26	44	8	7.4	珪	G-I a	13128	両面
第1061図-20	フク土	38	26	7	5.6	珪	G-II	13126	極浅2/3
第1061図-21	フク土	55	27	10	13.5	珪	G-I a	12163	両面檜の欠損?
第1061図-22	フク土	138	128	41	1173	安	N-I 3	5328	
第1061図-23	フク土	(63)	49	18	(99)	緑凝	I-I a	4898	S-6
第1061図-24	フク土	106	66	32	313	安	K	4715	
第1061図-25	フク土	166	92	40	1026	安	L-I a 1	4653	S-1
第1062図-26	フク土	(23)	34	12	7.9	凝	R-III	40	C-1
第1062図-27	床 面	327	101	93	5000	安	Q-I b	5477	S-5

第450号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1064図-1	フク土	32	15	6	2.3	珪	A	10697	未製品
第1064図-2	フク土	35	(47)	7	(10.3)	珪	D-IIa	11221	
第1064図-3	フク土	(82)	31	24	(46.7)	珪	B-I ?	10990	
第1064図-4	床 直	47	15	9	3.8	珪	A-IIc	10695	S-2
第1064図-5	フク土	30	25	8	5.1	珪	G-I b	13038	片面
第1064図-6	フク土	152	77.5	42.5	706	安	L-I a 3	4655	S-4
第1064図-7	フク土	146.5	41	24	228	安	L-I c	4654	S-3

第453号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1065図-1	フク土	43	55	12	23.8	珪	G-II	13040	極浅1/4
第1065図-2	フク土	(90)	69.5	43.5	(437.5)	安	L-I a 1	4656	半分欠損

第456号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1067図-1	床面	412	32	93	13500	安	N-I 2	5110	

第459号住居跡

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1070図-1	フク土	29	15	5	1.8	珪	A-IIc	390	S-1 アスファルト付着
第1070図-2	床面	43	18	11	6.4	珪	A-I b	389	S-4

第1号屋外炉

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1073図-1	III層	290	(246)	72	(7500)	安	N-I 3	793	S-4

第4号屋外炉

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1077図-1	床面	(28)	14	5	(1.9)	玉珪	A-IIc	10051	S-23
第1077図-2	1層	38	45	12	16.5	珪	G-II	11621	極浅1/4S-7
第1077図-3	1層	136	53	30	372	安	L-I a 1	4072	
第1077図-4	1層	(184)	181	59	(3,200)	安	N-II	5028	S-20
第1077図-5	2上層面	387	356	115	28000	安	N-I 3	5030	S-19
第1077図-6	1層	135	221	63	2,900	安	N-I 3	5029	S-18

第2号配石遺構

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1086図-1	フク土	80	33	10	26.9	珪	D-I c	639	
第1086図-2	II層	67	52	16	43.4	チャ	G-II	1675	S-4
第1086図-3	III層	179	57	16	306.5	粘	I-I 1 a	906	S-1
第1086図-4	II層	123.5	77	48	798.5	安	L-I a 3	559	S-1 (半損)
第1086図-5	II層	100	52.5	22	201	安	L-I a 3	584	S-10
第1086図-6	II層	109	83	68	890	安	L-I d	574	S-4
第1087図-7	II層	103.5	57.5	36	271	安	L-IIIb	578	S-5
第1087図-8	II層	100	52.5	22	201	安	L-I a 3	584	
第1087図-9	II層	89	46	45	226	安	L-IIIc	575	S-4
第1087図-10	II層	(80)	73	(34)	(307.5)	安	L-I b 2	563	S-1
第1087図-11	II層	54	49	45	165	安	L-I b 1	576	S-4
第1087図-12	II層	50.5	47	40	130.5	安	L-I a 3	561	S-1
第1087図-13	II層	(74.5)	49.5	33	(185)	チャ	L-I a 3	567	S-2 (半損)
第1087図-14	II層	325	228	83	8,100	安	L-I 3	784	S-4

第1087図-15	II 層	307	184	110	8300	安	N-II	783	S-3
第1088図-16	II 層	305	220	114	11200	安	N-II	780	S-1
第1088図-17	II 層	299	386	133	17700	安	N-I 2	785	S-5
第1088図-18	II 層	420	302	64	11000	安	N-1 b	781	S-2
第1088図-19	II 層	292	205	47	4790	安	N-I 3	787	S-1
第1088図-20	II 層	227	224	73	(5180)	安	N-II	788	S-5
第1088図-21	II 層	245	198	55	4,900	安	N-I 3	789	S-3
第1088図-22	II 層	262	179	61	3,500	安	N-I 3	786	S-1
第1089図-23	II 層	525	407	60	17100	安	N-I 4	779	S-1
第1089図-24	II 層	449	153	83	8400	安	Q-II	831	S-5

### 第3号配石遺構

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1092図-1	II 層	30	17	6	1.4	珪	A-IIc	443	S-6
第1092図-2	II 層	42	23	12	8.0	珪	B-III	529	S-10
第1092図-3	II 層	(37)	16	9	(5.9)	珪	C-II	585	S-7
第1093図-4	II 層	144	81	34	624	石安	L-I a 3	591	S-3
第1093図-5	II 層	(51)	43.5	29.5	(108)	チャ	L-I b 2	590	S-3
第1093図-6	II 層	125.5	83	27	305.5	安	L-IIIb	594	S-4
第1093図-7	II 層	74	86	36	33.8	軽	P	77	S-1
第1093図-8	II 層	(174.5)	82	52	(1500)	凝	Q-I b	834	S-1
第1093図-9	II 層	(162)	82	58	(1500)	流	Q-I b	833	S-2
第1093図-10	II 層	(180)	201	68	(3850)	安	N-I 3	790	S-2
第1093図-11	II 層	(191)	123	121	(4700)	安	Q-I b	832	S-2
第1094図-12	II 層	566	436	95	42000	安	N-I 3	791	S-3

### 小ピット群

図版番号	層位	最大計測値				石質	分類	整理番号	備考
		長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)				
第1102図-9	フク土	39	17	11	5.8	珪	A-IIc	10747	
第1102図-10	フク土	(35)	18	8	(4.0)	珪	A-IIc	10762	
第1102図-11	フク土	21	11	6	1.1	珪	A-IIc	10748	
第1102図-12	フク土	34	16	6	2.1	珪	A-IIb	1683	
第1102図-13	フク土	40	14	9	4.3	珪	A-IIc	10759	
第1102図-14	フク土	(27)	13	5	(1.6)	珪	A	10761	
第1102図-15	フク土	26	14	5	1.3	珪	A-IIc	10749	
第1102図-16	フク土	(20)	10	4	(0.7)	玉珪	A-IIc	10760	
第1102図-17	フク土	28	21	6	3.0	珪	G-I a	13149	両面
第1102図-18	フク土	129	69	27	350.5	安	L-I a 3	602	
第1102図-19	フク土	(238)	(154)	30	(840)	砂	N-I b	795	

# 写 真 图 版





第1号住居跡  
E→



第2号住居跡  
S→



第3号住居跡  
S→

写真1 住居跡(1)



第4号住居跡  
S→



第5号住居跡  
S→



第6号住居跡  
S E→

写真2 住居跡(2)



第 8 号住居跡  
N→



第 8 ・ 33 号住居跡  
W→



第 9 ・ 85 号住居跡  
W→

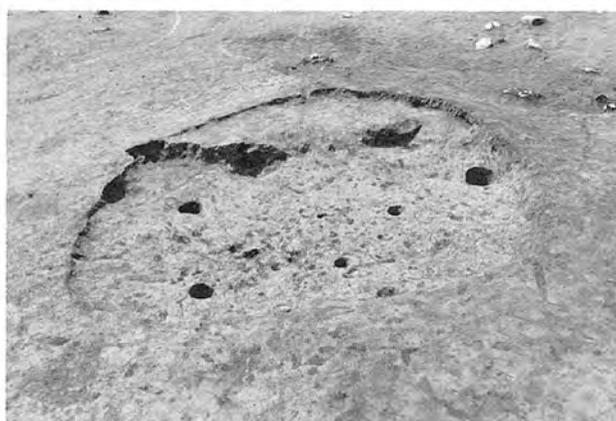
写真 3 住居跡(3)



第10号住居跡  
W→



第11号住居跡  
W→



第12号住居跡  
S E→

写真4 住居跡(4)



第20号住居跡  
E→



第20・45・49・50  
146～148号住居跡  
S→



第21号住居跡  
W→

写真5 住居跡(5)



第25～27号住居跡  
S→

上右：第25号住居跡  
上左：第27号住居跡  
下：第26号住居跡



第28号住居跡  
W→



第29号住居跡  
S→

写真6 住居跡(6)



第30号住居跡  
E→



第31号住居跡  
S→



第32号住居跡  
S→

写真7 住居跡(7)



第33号住居跡  
S→



第34号住居跡  
S→



第35号住居跡  
E→

写真8 住居跡(8)



第36号住居跡  
E→



第37号住居跡  
S→

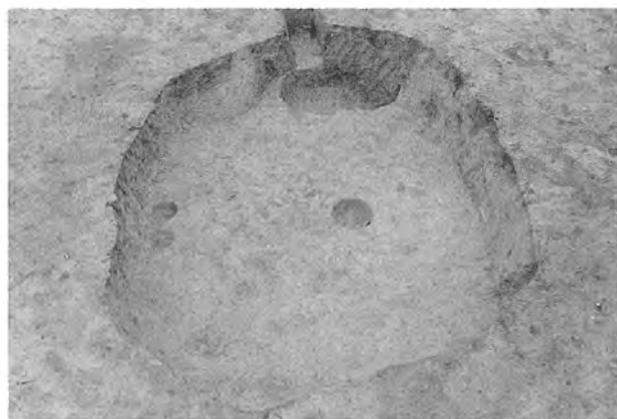


第38号住居跡  
N→

写真9 住居跡(9)



第39・231号住居跡  
E→



第40号住居跡  
N→



第41号住居跡  
N→

写真10 住居跡(10)



第42号住居跡  
W E→



第45号住居跡  
E→



第46・161 165号住居跡  
S→

写真11 住居跡(1)



第48号住居跡  
N→



第50号住居跡  
S E→



第51号住居跡  
E→

写真12 住居跡(12)



第53号住居跡  
N→



第54号住居跡  
N→

第105・109号土層



第56号住居跡  
S→

第137号土層

写真13 住居跡(13)



第57号住居跡  
N→



第60号住居跡  
S→

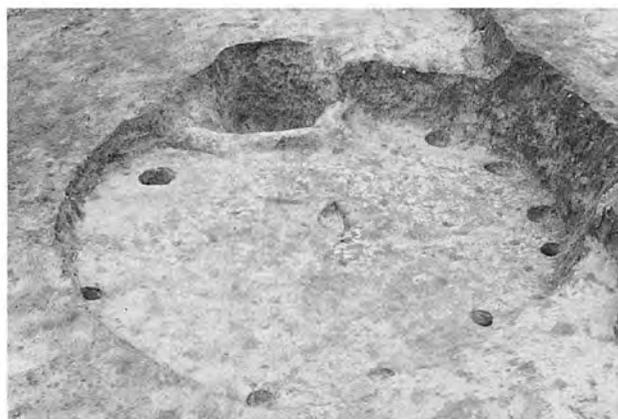


第61号住居跡  
S→

写真14 住居跡(14)



第62号住居跡  
E→



第63号住居跡  
S→



第46・165・166号住居跡  
S→

写真15 住居跡(15)



第64号住居跡  
E→



第65号住居跡  
E→



第65～67号住居跡

第146号土壇  
W→

写真16 住居跡(6)



第70号住居跡  
E→



第71号 A 住居跡  
S→



第71号 A 住居跡  
S→

写真17 住居跡(17)



第72・73号住居跡  
S→



第75号住居跡  
S→



第76・78号住居跡  
S→

写真18 住居跡(18)



第79・97号住居跡  
S→



第81・90・105・106号住居跡  
E→



第82号住居跡  
E→

写真19 住居跡(19)



第83号住居跡  
E→



第86号住居跡 第76号土壙（手前）  
W→



第87号住居跡  
S→

写真20 住居跡(20)



第94・134住居跡  
E→



第79・97号住居跡  
N→

左：第79号住居跡  
右：第97号住居跡



第98号住居跡  
S→

写真21 住居跡(2)



第101・107・110号住居跡  
N→



第103号住居跡  
E→



第108号住居跡  
N→

写真22 住居跡(2)



第109号住居跡  
E→



第116号住居跡  
E→



第117号住居跡  
E→

写真23 住居跡(23)



第149・150号住居跡  
S E→



第127号住居跡  
S→



第128号住居跡  
E→

写真24 住居跡(24)



第132号住居跡  
E→



第133号住居跡  
S E→



第137号住居跡  
N→

写真25 住居跡(25)



第144号住居跡  
S→



第146・147号住居跡  
E→



第149・154号住居跡  
S→

写真26 住居跡(26)



第139号住居跡  
S→



第142号住居跡  
第275～277号土層  
S→



第143・256号住居跡  
S→

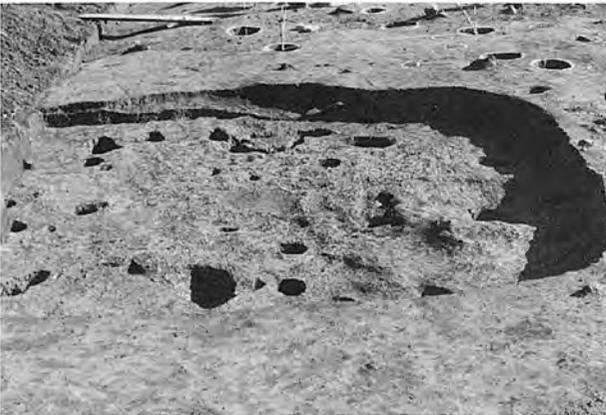
写真27 住居跡(27)



第157号住居跡  
W→



第159号住居跡  
N→



第160号住居跡  
W→

写真28 住居跡(28)



第161号住居跡  
S→



第162号住居跡  
W→



第163号住居跡  
N→

写真29 住居跡(29)



第164号住居跡  
S→



第169・177号住居跡  
W→



第174号住居跡  
N→

写真30 住居跡(30)



第176号住居跡  
W→



第176・179号住居跡  
N→



第183号住居跡  
S→

写真31 住居跡(3)



第186号住居跡  
S E→

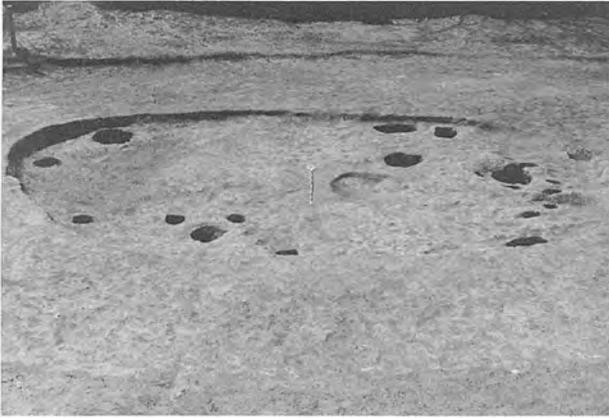


第187号住居跡  
E→



第188号住居跡  
N→

写真32 住居跡(32)



第189号住居跡  
N→

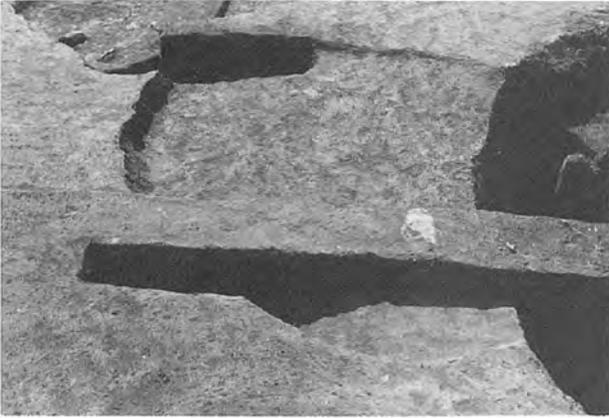


第192号住居跡  
E→



第193号住居跡  
E→

写真33 住居跡(3)



第194号住居跡  
E→



第196号住居跡  
N→



第427号土壇  
E→

第197号住居跡

写真34 住居跡34



第200号住居跡  
E→



第204号住居跡  
E→



第176・179号住居跡  
N→

写真35 住居跡(35)



第210号住居跡  
S→



第212号住居跡  
N→



第215号住居跡  
N→

写真36 住居跡(36)



第216号住居跡  
E→



第216号住居跡  
N→



第216号住居跡  
W→

写真37 住居跡(37)



第216号住居跡  
E→



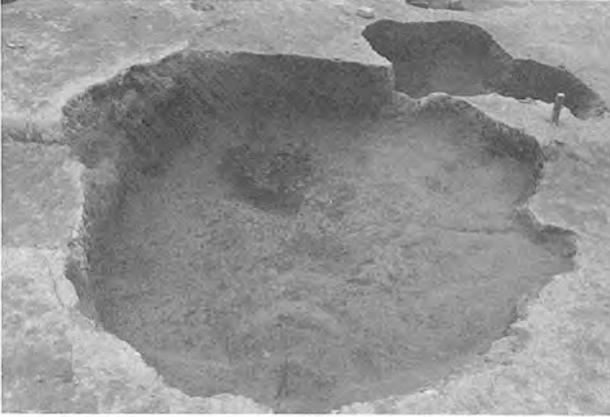
第216号住居跡  
E→



第216号住居跡  
W→



写真38 住居跡(38)



第218号住居跡  
E→



第221号住居跡  
N→



第222号住居跡  
E→

写真39 住居跡(39)



第223号住居跡周辺  
S→



第227号住居跡  
S→



第228号住居跡  
N→

写真40 住居跡(40)



第229号住居跡  
N→



第232号住居跡  
E→



第232(左)・233号(右)住居跡  
E→

写真41 住居跡(4)



第236号住居跡  
N→



第237号住居跡  
N→



第238号住居跡  
E→

写真42 住居跡(42)



第241号住居跡  
W→



第242号住居跡  
S→



第244号住居跡  
W→

写真43 住居跡(43)



第246号住居跡  
E→



第247号住居跡  
S→



第249号住居跡  
E→

写真44 住居跡(4)



第250号住居跡  
E→

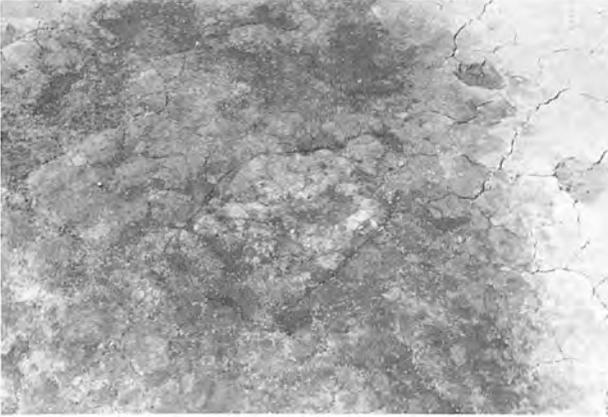


第251・252号住居跡  
N→



第253号住居跡  
E→

写真45 住居跡(45)



第254号住居跡  
E→



第255号住居跡  
N→



第257・268号住居跡  
E→

写真46 住居跡(46)



第257・269号住居跡  
E→



第258号住居跡  
E→



第259号住居跡  
S→

写真47 住居跡(47)



第261号住居跡  
E→



第263号住居跡  
E→



第266号住居跡  
E→

写真48 住居跡(48)



第273号住居跡  
N→



第274・275号住居跡  
E→



第277号住居跡  
S→

写真49 住居跡(49)



第276号住居跡  
W→



第276号住居跡  
W→



第279号住居跡  
E→

写真50 住居跡(50)



第280号住居跡  
N→



第282号住居跡  
N→

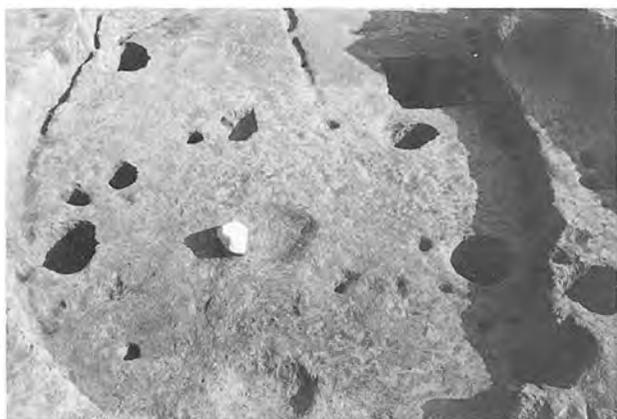


第285号住居跡  
N→

写真51 住居跡(5)



第288号住居跡  
E→



第293号住居跡  
N→



第293・310・311号住居跡  
N→

写真52 住居跡(52)



第294号住居跡  
W→

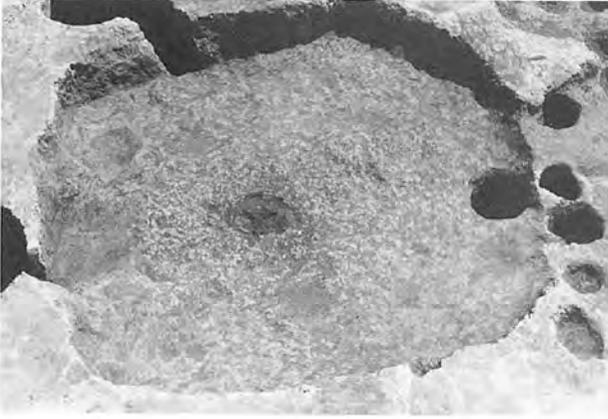


第294号住居跡  
E→



第295号住居跡  
E→

写真53 住居跡(53)



第297号住居跡  
N→



第302号住居跡  
W→

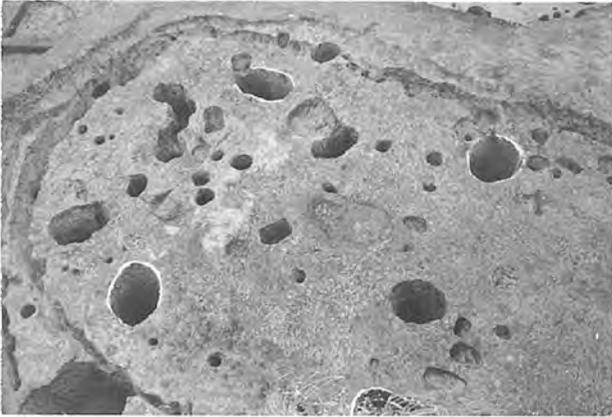


第305・306号住居跡  
N→

写真54 住居跡(5)



第307号住居跡  
S→



第308号住居跡  
S→



第293・310・311号住居跡  
S→

写真55 住居跡(55)



第311号住居跡  
N→



第314号住居跡  
S→



第316・429号住居跡  
S→

写真56 住居跡(6)



第317号住居跡  
S→



第319号住居跡  
E→



第321号住居跡  
N→

写真57 住居跡(57)



第323号住居跡  
N E →



第326号住居跡  
N →



第329号住居跡  
S E →

写真58 住居跡(5)



第331号住居跡  
E→



第333号住居跡  
S→



第334号住居跡  
S→

写真59 住居跡(59)



第335号住居跡  
S→



第336号住居跡  
E→



第338号住居跡  
W→

写真60 住居跡60



第339号住居跡  
E→



第341号住居跡  
E→



第343号住居跡  
N→

写真61 住居跡(6)



第344号住居跡  
N→



第348号住居跡  
N→



第349号住居跡  
N→

写真62 住居跡(62)



第350号住居跡  
E→



第351・352号住居跡  
W→



第353号住居跡  
W→

写真63 住居跡(63)



第355号住居跡  
E →



第358号住居跡  
S →



第360号住居跡  
E →

写真64 住居跡(64)



第361号住居跡  
W→



第364号住居跡  
N→



第374号住居跡  
E→

写真65 住居跡(65)



第375号住居跡  
N→



第376・378号住居跡  
N→



第384号住居跡  
N→

写真66 住居跡(66)



第386号住居跡  
E→



第388号住居跡  
N→



第388・389・439号住居跡  
N→

写真67 住居跡(67)



第390号住居跡  
W→



第391号住居跡  
E→



第393号住居跡  
S→

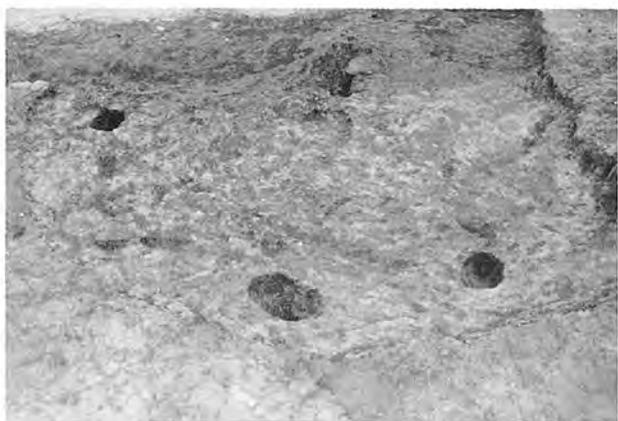
写真68 住居跡(68)



第396号住居跡  
S→



第397号住居跡  
N→

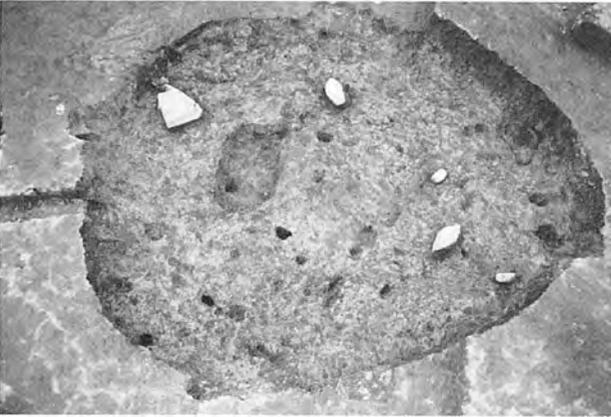


第398号住居跡  
S→

写真69 住居跡(69)



第399号住居跡  
W→



第401号住居跡  
N→



第403号住居跡  
S→

写真70 住居跡(70)



第404号住居跡  
E→



第409号住居跡  
E→



第413号住居跡  
N→

写真71 住居跡(7)



第414号住居跡  
N→



第415号住居跡  
N W→



第415号住居跡  
W→

写真72 住居跡(72)



第422号住居跡  
N→



第425号住居跡  
N→



第426号住居跡  
W→

写真73 住居跡(73)



第427号住居跡  
N→



第432号住居跡  
E→



第434号住居跡  
N→

写真74 住居跡(74)



第435号住居跡



第437号住居跡  
E →



第437号住居跡  
E →

写真75 住居跡(75)



第439号住居跡  
N→



第440号住居跡  
W→



発掘調査状況  
E→

写真76 住居跡(76)

青森県埋蔵文化財調査報告書第143集

---

# 富ノ沢(2)遺跡発掘調査報告書Ⅴ

---

—— 平成3年度 ——

発行年月日 平成4年3月31日

編集 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038 青森市大字新城字天田内152-15

発行 青森県教育委員会

〒030 青森市新町二丁目3-1

印刷 第一印刷株式会社

〒038 青森市石江字江渡3-1 ☎0177(82)2333(大代)

---

